

# 子どもの生活実態調査 報告書

広島県三原市

---

# 目次

---

## 第1章 調査の概要

1	調査の目的・対象者・方法等	1
(1)	調査の目的	1
(2)	調査対象者	1
(3)	調査方法	1
(4)	調査時期	1
2	回収状況	1
(1)	有効回答数（回答率）	1
3	集計結果の表示方法	2
4	回答者の基本属性	3
(1)	子どもの性別	3
(2)	子どもからみた回答者の続柄	3
(3)	回答者の年齢	4
(4)	世帯構成	5
(5)	居住地域	6
5	「生活困難」について	7
(1)	本調査における「生活困難」とは	7
(2)	生活困難層の割合	10

## 第2章 生活困窮の状況

1	家計の状況	11
(1)	食料が買えなかった経験	11
(2)	衣料が買えなかった経験	12
(3)	公共料金等の滞納経験	13
(4)	公共料金等を支払えなかったために困った経験	20
(4)	物品等の所有状況	27
(5)	現在の（主観的）暮らし向き	29
(6)	家計の収支状況	30
2	子どもの生活水準	31
(1)	所有物の状況	31
(2)	子供への支出	45
(3)	子供の体験	53
3	子どもの食と栄養	58
(1)	朝食の摂取状況	58
(2)	栄養群の摂取状況	59

### 第3章 子どもの学び

1	学校について	65
	(1) 学校の種類	65
	(2) 私立選択の理由	66
2	学校の成績	67
	(1) 成績の主観的評価	67
	(2) 得意教科	68
3	授業の理解や学習の状況	70
	(1) 授業の理解度	70
	(2) 授業がわからなくなった時期	71
4	学校生活の楽しみ	72
5	学校外での学習・勉強の状況	82
	(1) 勉強を教えてくれる人	82
	(2) 学校外での勉強時間	84
	(3) 学習塾・家庭教師の頻度	85
	(4) 自宅での教材使用状況	87
	(5) 計画的な勉強実施状況	89
	(6) 宿題への対応状況	90
	(7) 学校規則の遵守状況	91
6	学習環境	92
7	将来の夢	96
	(1) 夢の有無と夢がない理由	96
	(2) 将来の進学希望	99
7	子どもの教育	100
	(1) 子どもがこれまでに通った保育・教育機関	100
	(2) 子どもに受けさせたい教育レベルとその理由	102
	(3) 私立進学への保護者意向とその理由	104
8	学習関連の支援プログラムの利用意向	106

### 第4章 子どもの日常生活

1	家族や友だち	108
	(1) 家族の接し方	108
	(2) 一番仲が良い友だち	112
	(3) 友だちとの関係	113
2	平日の食事	117
	(1) 朝食を一緒にとる人	117
	(2) 夕食を一緒にとる人	119
3	平日の放課後の過ごし方	121

(1) 放課後を一緒に過ごす人 .....	121
(2) 平日の放課後を過ごす場所 .....	123
(3) 放課後児童クラブ／部活動への参加状況 .....	134
(4) 放課後児童クラブに参加していない理由 .....	135
4 休日の過ごし方 .....	137
(1) 休日の午後を一緒に過ごす人 .....	137
(2) 休日の午後を過ごす場所 .....	139
5 活動の状況 .....	141
(1) 活動の状況 .....	141
(2) 運動の状況 .....	148
(3) 読書の状況 .....	149
(4) 会話の状況 .....	150
(5) 就寝時刻 .....	157
(6) 起床時刻 .....	158
(7) 歯磨き・入浴の頻度 .....	159
6 各種経験状況 .....	161
7 居場所関連等の支援プログラムの利用意向 .....	164

## 第5章 子どもの健康と自己肯定感

1 子どもの健康状態 .....	168
(1) 子どもの主観的健康状態 .....	168
(2) 保護者からみた子どもの健康状態 .....	169
(3) 子どもの医療受診抑制経験とその理由 .....	170
(4) 予防接種状況と未接種の理由 .....	172
(5) 虫歯の本数 .....	178
(6) 身長・体重 .....	179
2 自己肯定感 .....	181
(1) 自己肯定感 .....	181
(2) 心の状態 .....	189

## 第6章 子育てと各種制度・サービス

1 子育てにかかる費用 .....	207
2 就学援助 .....	215
(1) 就学援助受給状況と受給していない理由 .....	215
(2) 支給額と実費との差が大きい経費 .....	217
3 公的年金等の支給額 .....	218
4 世帯年収 .....	223
5 子どもとのかかわり .....	225

(1) 子どもとのかかわり頻度 .....	225
(2) 子どもの将来についての会話 .....	235
6 子どものしつけ .....	236
7 子育て上の経験 .....	247
8 制度・サービスの利用 .....	249
(1) 子ども関連情報の入手方法の現状と意向 .....	249
(2) 各種支援制度の利用経験 .....	253
(3) 各種経済的支援制度の利用経験 .....	261
9 相談 .....	265
(1) 相談相手の有無 .....	265
(2) 公的相談機関の利用経験 .....	266

## 第7章 保護者の状況

1 回答者 .....	275
(1) 婚姻状況 .....	275
(2) 健康状態 .....	276
(3) 心の状態 .....	277
(4) 平日に朝食をとる頻度 .....	283
(5) 朝食を一緒にとる人 .....	284
(6) 15歳の頃の家族構成 .....	286
(7) 15歳の頃の（主観的）暮らし向き .....	288
(8) 成人するまでの体験 .....	289
(9) 子どもの頃の親の接し方 .....	291
2 家族 .....	295
(1) 同居人数 .....	295
(2) 高齢・障害の同居家族の有無 .....	296
(3) 頼れる親族・友人の有無 .....	297
(4) 転居経験 .....	298
3 母親のこと .....	299
(1) 職業 .....	299
(2) 就労時間 .....	301
(3) 税込収入 .....	302
(4) 平日日中以外の勤務状況 .....	304
(5) 最終学歴 .....	306
(6) 最終学校の卒業の有無 .....	308
4 父親のこと .....	309
(1) 職業 .....	309
(2) 就労時間 .....	311

(3) 税込収入 .....	312
(4) 平日日中以外の勤務状況 .....	314
(5) 最終学歴 .....	316
(6) 最終学校の卒業の有無 .....	318

## 第8章 三原市独自設問

1 子ども票独自設問 .....	319
(1) 放課後児童クラブについて .....	319
(2) 高校進学について .....	322
(3) 家族からの声かけなど .....	325
(4) 平日の帰宅時間 .....	327
(5) 宿題をする場所 .....	328
2 保護者票独自設問 .....	330
(1) 放課後児童クラブについて .....	330
(2) 子どもへの声かけなど .....	332
(2) 平日の帰宅時間 .....	335
(3) 学校の参観日（クラブ活動の応援）の参加頻度 .....	336
(4) 友達の名前 .....	337

# 第1章 調査の概要

## 1 調査の目的・対象者・方法等

### (1) 調査の目的

本調査は、子どもたちの支援に役立てるため、子どもの生活状況や子どもとの関わり、家庭の状況などをうかがい、今後の子ども・子育て支援施策の充実や改善につなげる基礎資料とするため、実施したものです。

### (2) 調査対象者

市内在住で公立小・中学校に通う、小学5年生及び中学2年生とその保護者

	小学5年生の家庭	中学2年生の家庭
子ども	730人	741人
保護者	730人	741人

### (3) 調査方法

調査票は「小学生票」「中学生票」（以下「子ども票」という。）と「小学生保護者」「中学生保護者」（以下「保護者票」という。）で構成され、学校を通じて配付。子どもと保護者がそれぞれ無記名で記入の上、子ども票用、保護者票用の個別封筒に入れ封かんしたのち、世帯用の封筒に入れたものを学校を通じ回収しました。

### (4) 調査時期

平成29年10月

## 2 回収状況

### (1) 有効回答数（回答率）

		小学5年生の家庭	中学2年生の家庭
子ども	有効回答数	631人	541人
	回答率	86.4%	73.0%
保護者	有効回答数	631人	533人
	回答率	86.4%	71.9%

### 3 集計結果の表示方法

- 本報告書では、子ども票、保護者票の設問をテーマごとに分類し、集計結果を掲載しています。
- 生活困難層、非生活困難層を判定するための設問で無回答のため、判定不能としたものがあります。そのため、生活困難層、非生活困難層の合計は全体数と同数ではありません。
- 「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現しています。
- 「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。
- 百分率による集計では、回答者数（該当質問においては該当者数）を100%として算出し、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記します。このため、すべての割合の合計が100%にならないことがあります。
- 複数回答（2つ以上選ぶ問）の設問では、すべての割合の合計が100%を超えることがあります。
- 図表中の「0.0」は四捨五入の結果又は、回答者が皆無であることを表します。
- 質問文を一部省略して表記しています。
- 子どもの設問文は中学生票を採用しています。
- 設問文の（保/問○）は保護者票、（子/問○）は子ども票の設問番号を表します
- グラフ及び文章中で選択肢を一部省略している場合があります。
- クロス集計グラフでは、見やすさを考慮し「0.0%」の数値表示を省略しているものがあります。

#### 【本調査における「生活状態」の取り扱いについて】

本調査では、子どもの貧困状態を世帯の所得額だけでなく家庭環境全体で把握すべきであると考え、次の3つの要素に基づいて以下のように分類しました。

##### ① 低所得

等価世帯所得※1が、厚生労働省「平成28年国民生活基礎調査」から算出される基準※2未満の世帯※3

※1 世帯所得（公的年金など社会保障給付を含めた世帯所得）を世帯人数の平方根で割って調整した所得

※2 厚生労働省「平成28年国民生活基礎調査」（所得は平成27年値）の世帯所得の中央値（428万円）を、平均世帯人数（2.47人）の平方根で除した値の50%である136.2万円

※3 低所得世帯の割合は、世帯所得の把握の方法や、可処分所得ではなく当初所得を用いている点などの違いがあるため、厚生労働省「平成28年国民生活基礎調査」で公表されている「子どもの貧困率」（13.9%）と比較できるものではありません。

##### ② 家計の逼迫

経済的な理由で、公共料金や家賃の滞納、食料・衣類を買えなかった経験など7項目のうち、1つ以上該当

##### ③ 子どもの体験や所有物の欠如

子どもの体験や所有物などの15項目のうち、経済的な理由で欠如している項目が3つ以上該当

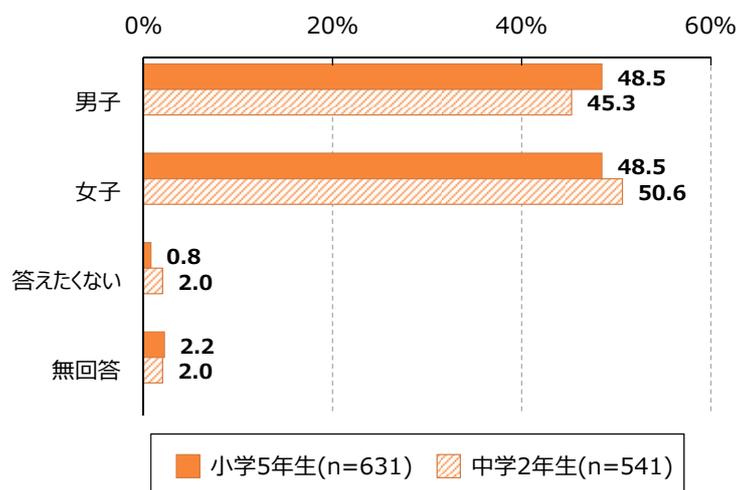
生活困難層	生活困窮層 + 周辺層
生活困窮層	2つ以上の要素に該当
周辺層	いずれか1つの要素に該当
非生活困難層	いずれの要素にも該当しない

## 4 回答者の基本属性

### (1) 子どもの性別

#### ▼ (子/問 1)

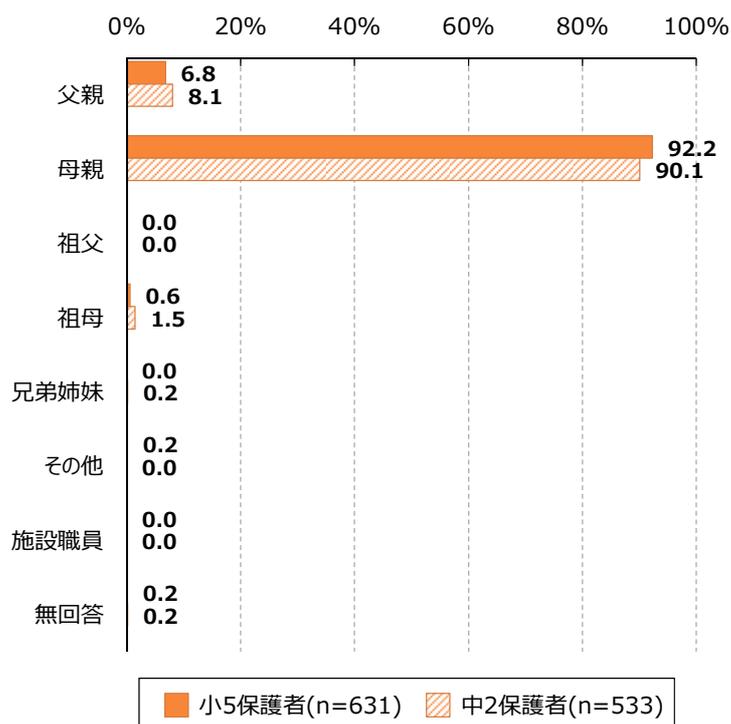
子どもの性別は、小学5年生の「男子」及び「女子」が同率で48.5%，中学2年生の「男子」が45.3%，「女子」が50.6%となっています。



### (2) 子どもからみた回答者の続柄

#### ▼ (保/問 3)

回答者は小学5年生，中学2年生ともに「母親」が9割を超え多数を占めています。

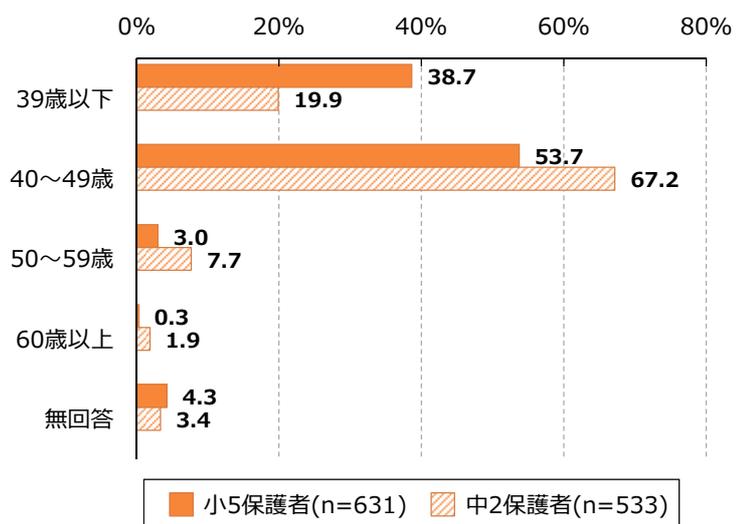


### (3) 回答者の年齢

#### ▼ (保/問 4)

回答者の年齢は、小学5年生では、「40～49歳」が53.7%で最も多く、次いで「39歳以下」が38.7%、「50～59歳」が3.0%となっています。

中学2年生では、「40～49歳」が67.2%で最も多く、次いで「39歳以下」が19.9%、「50～59歳」が7.7%となっています。



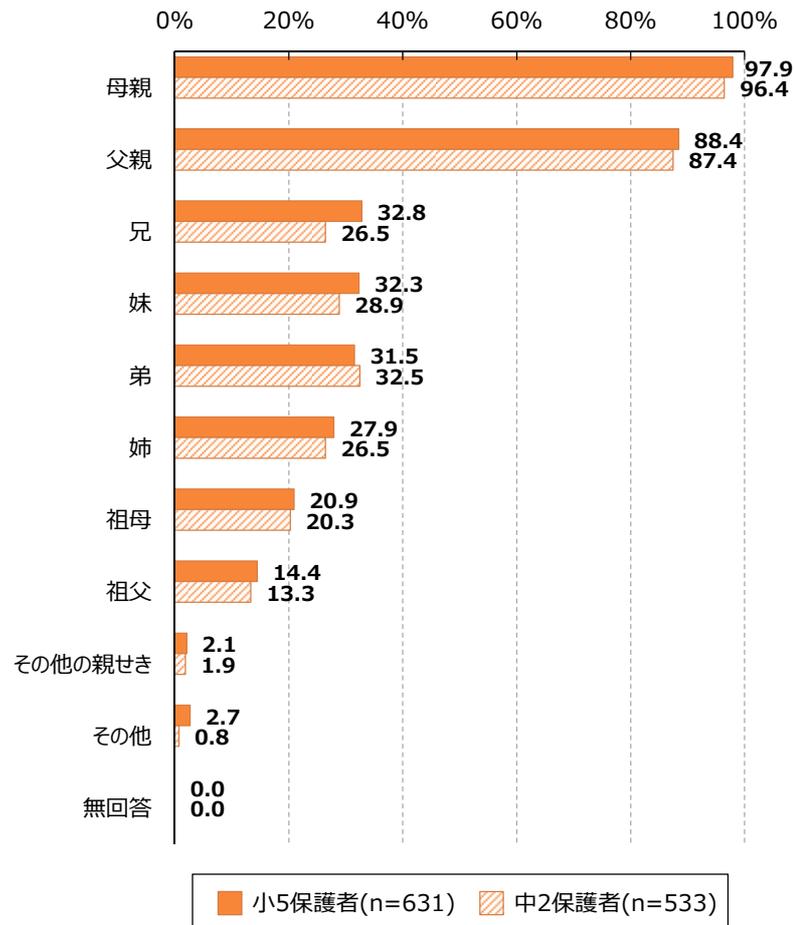
#### (4) 世帯構成

▼(保/問7)

(複数回答)

同居の家族について、小学5年生では、「母親」が97.9%で最も多く、次いで「父親」が88.4%、「兄」が32.8%、「妹」が32.3%、「弟」が31.5%、「姉」が27.9%となっています。

中学2年生では、「母親」が96.4%で最も多く、次いで「父親」が87.4%、「弟」が32.5%、「妹」が28.9%、「兄」及び「姉」が同率で26.5%となっています。

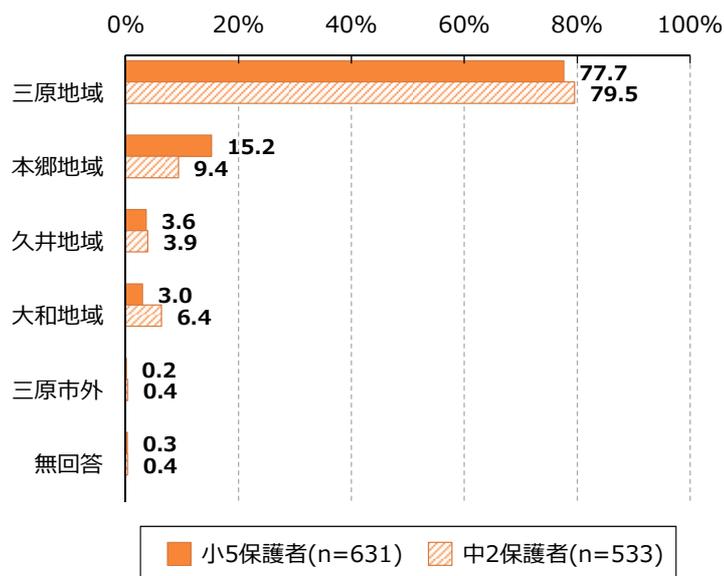


## (5) 居住地域

### ▼ (保/問 3)

居住地域は、小学5年生では「三原地域」が77.7%で最も多く、次いで「本郷地域」が15.2%、「久井地域」が3.6%、「大和地域」が3.0%、「三原市外」が0.2%となっています。

中学2年生では「三原地域」が79.5%で最も多く、次いで「本郷地域」が9.4%、「大和地域」が6.4%、「久井地域」が3.9%、「三原市外」が0.4%となっています。



## 5 「生活困難」について

### (1) 本調査における「生活困難」とは

本報告では、子どもの生活における「生活困難」を、3つの要素から分類しています。

- ① 低所得
- ② 家計の逼迫
- ③ 子どもの体験や所有物の欠如

「①低所得」は、先進諸国の貧困の測定に最も一般的に用いられ、厚生労働省も用いている指標ですが、本調査においては、自記式の質問紙調査であるため、把握できる世帯所得の精緻度が限られています。そこで、所得データを補完するために、「② 家計の逼迫」と「③ 子どもの体験や所有物の欠如」に用いられている物質的剥奪指標を用います。物質的剥奪指標は、所得データによる貧困率と一緒に用いることで、貧困の測定の精緻化が可能であることが欧州連合などを始め国内外の研究より判明しています。以下にそれぞれの詳細な定義を示します。

#### ① 低所得 .....

「低所得」を、世帯所得（勤労収入、事業収入等＋社会保障給付）を、世帯人数の平方根で割り算した値（＝等価世帯所得）が、厚生労働省「平成28年国民生活基礎調査」から算出される基準\*未満の世帯と定義します。なお、低所得世帯の割合は、世帯所得の把握の方法や、可処分所得ではなく当初所得を用いている点などの違いがあるため、厚生労働省「平成28年国民生活基礎調査」にて公表されている「子どもの貧困率」（13.9%）と比較できません。

\*：厚生労働省「平成28年国民生活基礎調査」（所得は平成27年値）の世帯所得の中央値（428万円）を、平均世帯人数（2.47人）の平方根で除した値の50%である136.2万円

#### ② 家計の逼迫 .....

「家計の逼迫」は、経済的な制約を子どもに課し、生活水準を低下させるだけでなく、親の心理的なゆとりや、心身的健康状態の悪化を通して子どもに悪影響をもたらす可能性があると言われてしています。そこで、家計の逼迫を、家計の中で大きな比重を占め、これらの欠乏により、基本的な生活水準を保つことが難しいと考えられる公共料金や食料・衣類の費用が捻出できない状況と定義します。具体的には、保護者票において過去1年間に、経済的な理由で電話、電気、ガス、水道、家賃などの料金の滞納があったか、また、過去1年間に「家族が必要とする食料が買えなかった経験」、「家族が必要とする衣類が買えなかった経験」があったかの7つの項目のうち、1つ以上が該当する場合を「家計の逼迫」と定義します。

### ③ 子どもの体験や所有物の欠如.....

上記①と②は、世帯全体の生活困難を表しますが、子ども自身の生活困難を表す指標として、「子どもの体験や所有物の欠如」を用います。ここで用いられる子どもの体験や所有物とは、日本社会において、大多数の子どもが一般的に享受していると考えられる経験や物品です。

具体的には、保護者票において過去1年間において、「海水浴に行く」、「博物館・科学館・美術館などに行く」、「キャンプやバーベキューに行く」、「スポーツ観戦や劇場に行く」、「遊園地やテーマパークに行く」ことが「経済的にできない」、「毎月お小遣いを渡す」、「毎年新しい洋服・靴を買う」、「習いごと（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる」、「学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）」、「お誕生日のお祝いをする」、「1年に1回くらい家族旅行に行く」、「クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる」ことが「経済的にできない」、または「子どもの年齢に合った本」「子ども用のスポーツ用品・おもちゃ」「子どもが自宅で宿題ができる場所」が「経済的理由のために世帯にない」（全15項目）です。これらの項目のうち3つ以上が該当している場合に、「子どもの体験や所有物の欠如」の状態にあると定義します。

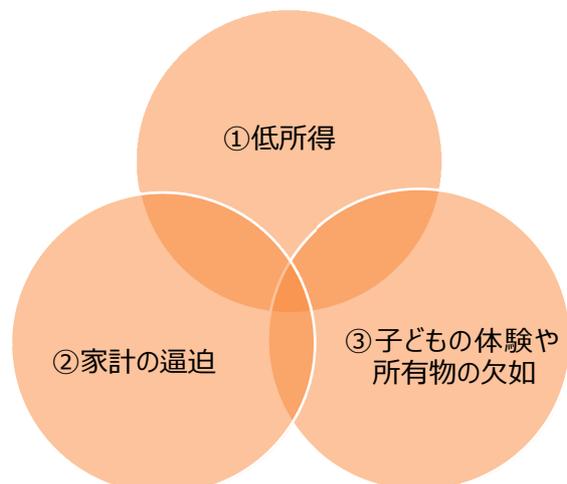
## 「生活困難層」の定義について

▼本調査では、「生活困難層」等を以下の3つの要素に基づいて分類しました。

①低所得	③子どもの体験や所有物の欠如
<p>等価世帯所得が厚生労働省「平成28年国民生活基礎調査」から算出される基準未満の世帯</p> <p>&lt;低所得基準&gt;</p> <p>世帯所得の中央値 428 万円 ÷  <math>\sqrt{\text{平均世帯人数 (2.47 人)} \times 50\%}</math>                      = 136.2 万円</p>	<p>子どもの体験や所有物などに関する次の 15 項目のうち、<u>経済的な理由</u>で、欠如している項目が3つ以上該当</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>海水浴に行く</li> <li>博物館・科学館・美術館などに行く</li> <li>キャンプやバーベキューに行く</li> <li>スポーツ観戦や劇場に行く</li> <li>遊園地やテーマパークに行く</li> <li>毎月お小遣いを渡す</li> <li>毎年新しい洋服・靴を買う</li> <li>習いごと(音楽, スポーツ, 習字等)に通わせる</li> <li>学習塾に通わせる(または家庭教師に来てもらう)</li> <li>お誕生日のお祝いをする</li> <li>1年に1回くらい家族旅行に行く</li> <li>クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる</li> <li>子どもの年齢に合った本</li> <li>子ども用のスポーツ用品・おもちゃ</li> <li>子どもが自宅で宿題をすることができる場所</li> </ol>
②家計の逼迫	
<p><u>経済的な理由</u>で、公共料金や家賃を支払えなかった経験や食料・衣類を買えなかった経験などの7項目のうち、1つ以上に該当</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>電話料金</li> <li>電気料金</li> <li>ガス料金</li> <li>水道料金</li> <li>家賃</li> <li>家族が必要とする食料が買えなかった</li> <li>家族が必要とする衣類が買えなかった</li> </ol>	

◆生活困難層（生活困窮層・周辺層）、非生活困難層

生活困難層	生活困窮層 + 周辺層
生活困窮層	2つ以上の要素に該当
周辺層	いずれか1つの要素に該当
非生活困難層	いずれの要素にも該当しない



## (2) 生活困難層の割合

「低所得」や「家計の逼迫」、「子どもの体験や所有物の欠如」のうち2つ以上に該当し、生活困窮層にあると思われる小学5年生の家庭は9.0%、いずれか1つに該当するその周辺層まで含めた生活困難層にあたる小学5年生の家庭は26.8%、同様に中学2年生の家庭は生活困窮層が8.2%、生活困難層が25.5%となっています。

また、世帯構成別では、小学5年生のひとり親家庭の21.6%が生活困窮層、中学2年生のひとり親家庭の23.4%が生活困窮層となっています。

(生活困難層の内訳)

区 分	小学5年生	中学2年生
生活困難層	26.8%	25.5%
生活困窮層	9.0%	8.2%
周辺層	17.8%	17.3%
非生活困難層	73.2%	74.5%

(世帯構成別の生活困難層の内訳)

区 分		ふたり親の家庭	ひとり親の家庭	
生活 困 難 層	生活困窮層	小学5年生	7.4%	21.6%
		中学2年生	5.8%	23.4%
	周辺層	小学5年生	16.4%	27.5%
		中学2年生	15.8%	29.8%
非生活困難層		小学5年生	76.2%	51.0%
		中学2年生	78.4%	46.8%

※端数処理の関係で、合計が100.0%とならない場合があります。

# 第2章 生活困窮の状況

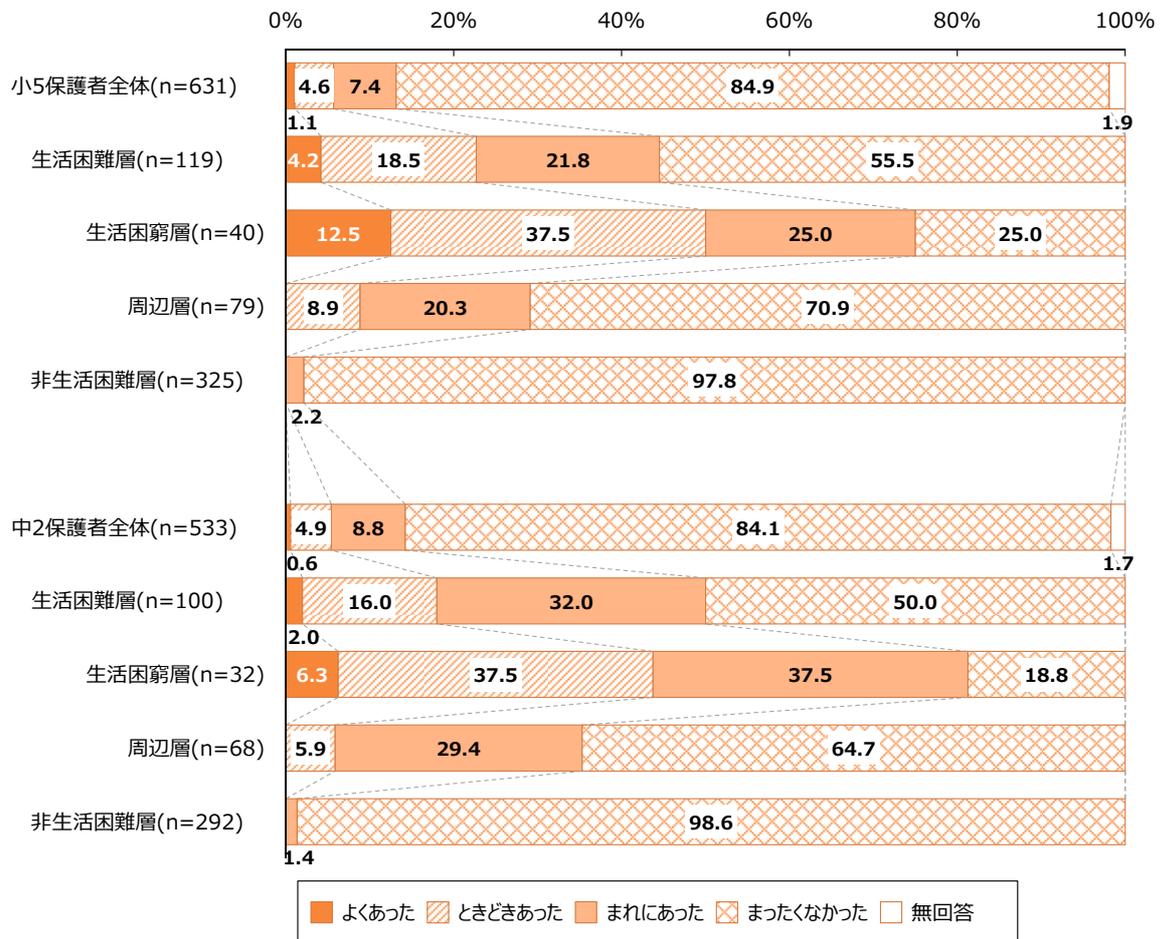
## 1 家計の状況

### (1) 食料が買えなかった経験

▼あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えないことがありましたか。(保/問31)

過去1年間に食料が買えなかったことについて、「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」を合わせた“あった”と回答した割合を生活困難度別にみると、小学5年生の生活困窮層で75.0%、周辺層で29.2%、中学2年生の生活困窮層で81.3%、周辺層で35.3%と生活困難度が高い層ほど多く、中学2年生の生活困窮層では8割以上が回答しています。

一方、非生活困窮層では「よくあった」「ときどきあった」との回答は小学5年生、中学2年生ともありませんでした。

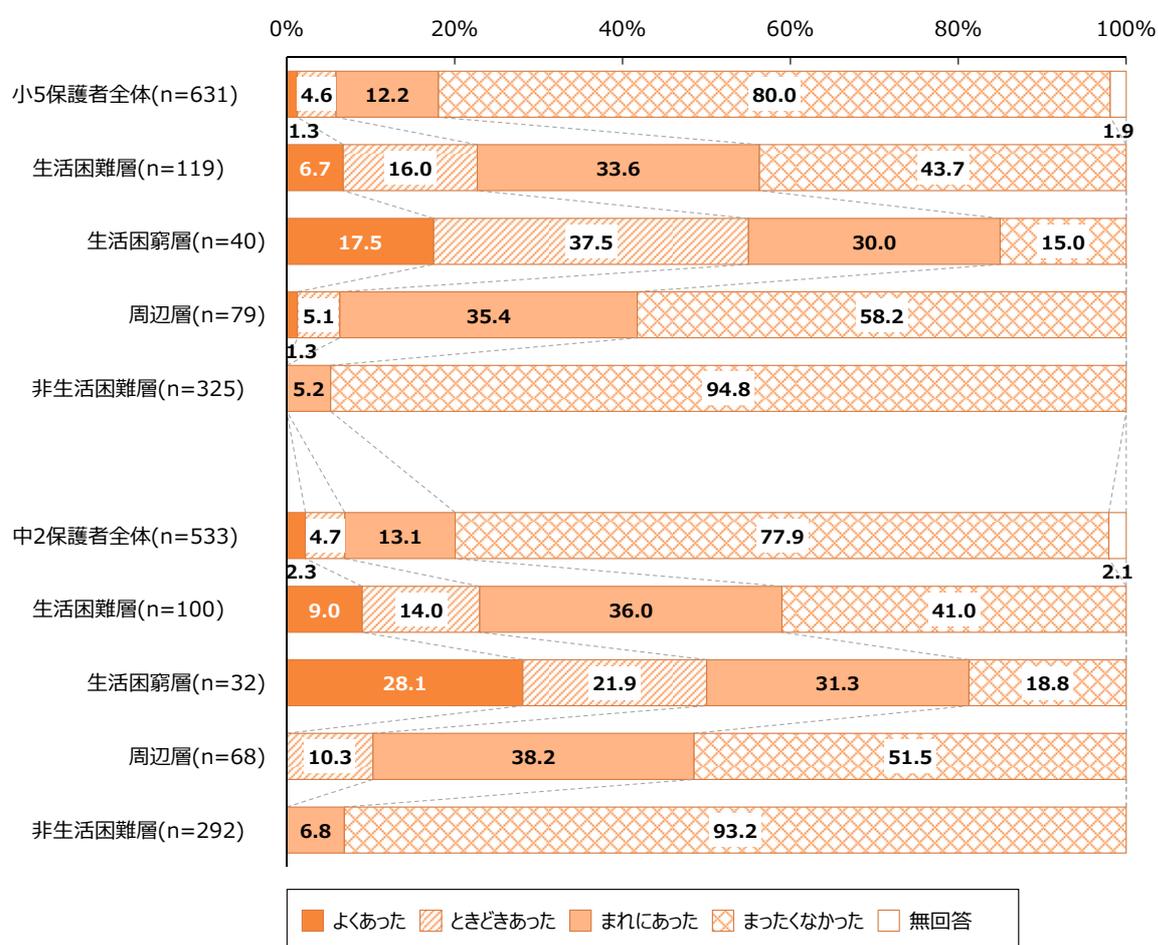


## (2) 衣料が買えなかった経験

▼あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣類が買えないことがありましたか（保/問32）

過去1年間に衣料が買えなかったことについて、「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」を合わせた“あった”と回答した割合を生活困難度別にみると、小学5年生の生活困窮層で85.0%、周辺層で41.8%、中学2年生の生活困窮層で81.3%、周辺層で48.5%と生活困難度が高い層ほど多く、生活困窮層では8割以上が“あった”と回答しています。

一方、非生活困難層では「よくあった」「ときどきあった」は小学5年生、中学2年生とも回答がありませんでした。



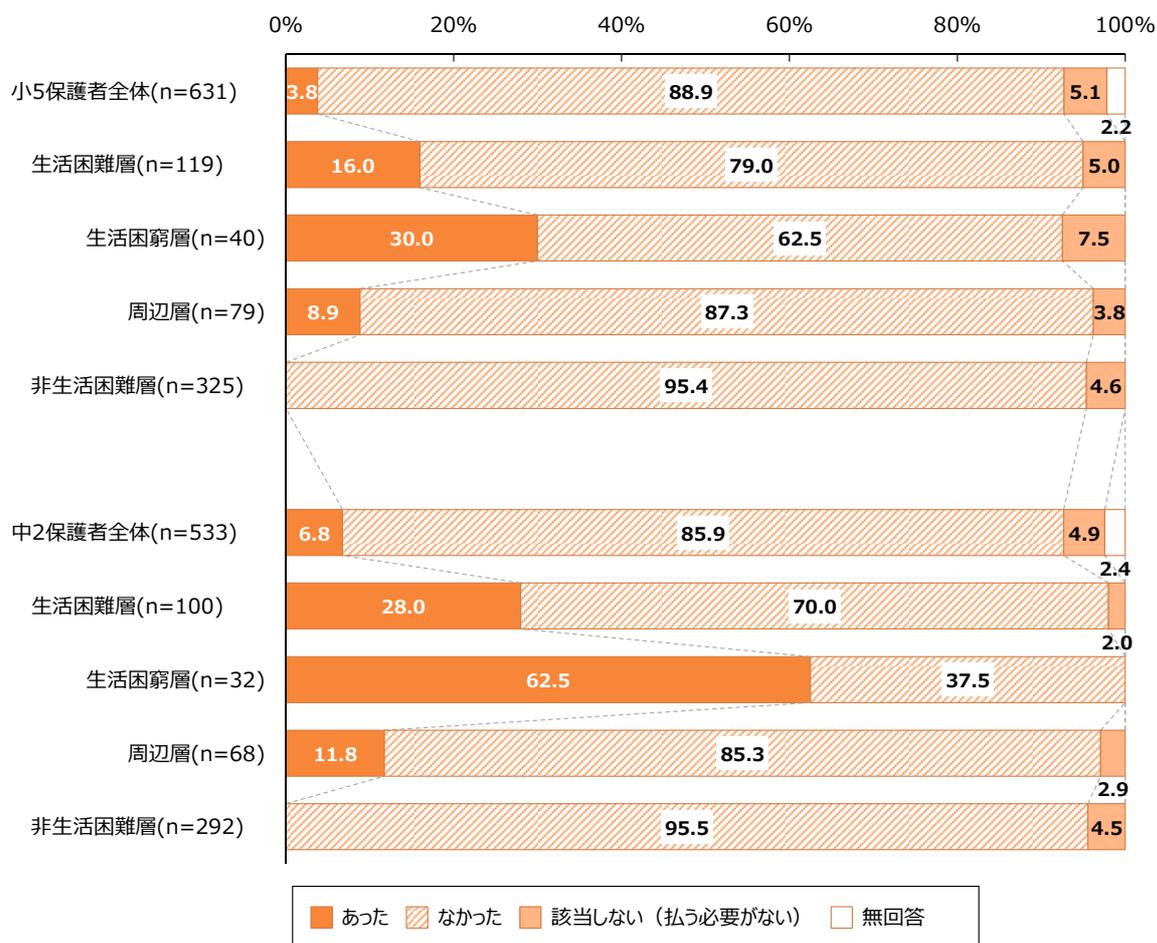
### (3) 公共料金等の滞納経験

▼過去1年の間に、経済的な理由で、以下のA～Gのサービス・料金について、支払えないことがありましたか。(保/問 33)

#### A 電話料金

過去1年間の電話料金の滞納経験について、「あった」は、小学5年生の全体で3.8%、生活困窮層で30.0%、周辺層で8.9%、中学2年生の全体で6.8%、生活困窮層で62.5%、周辺層で11.8%と、中学2年生の困窮層で6割を超えています。

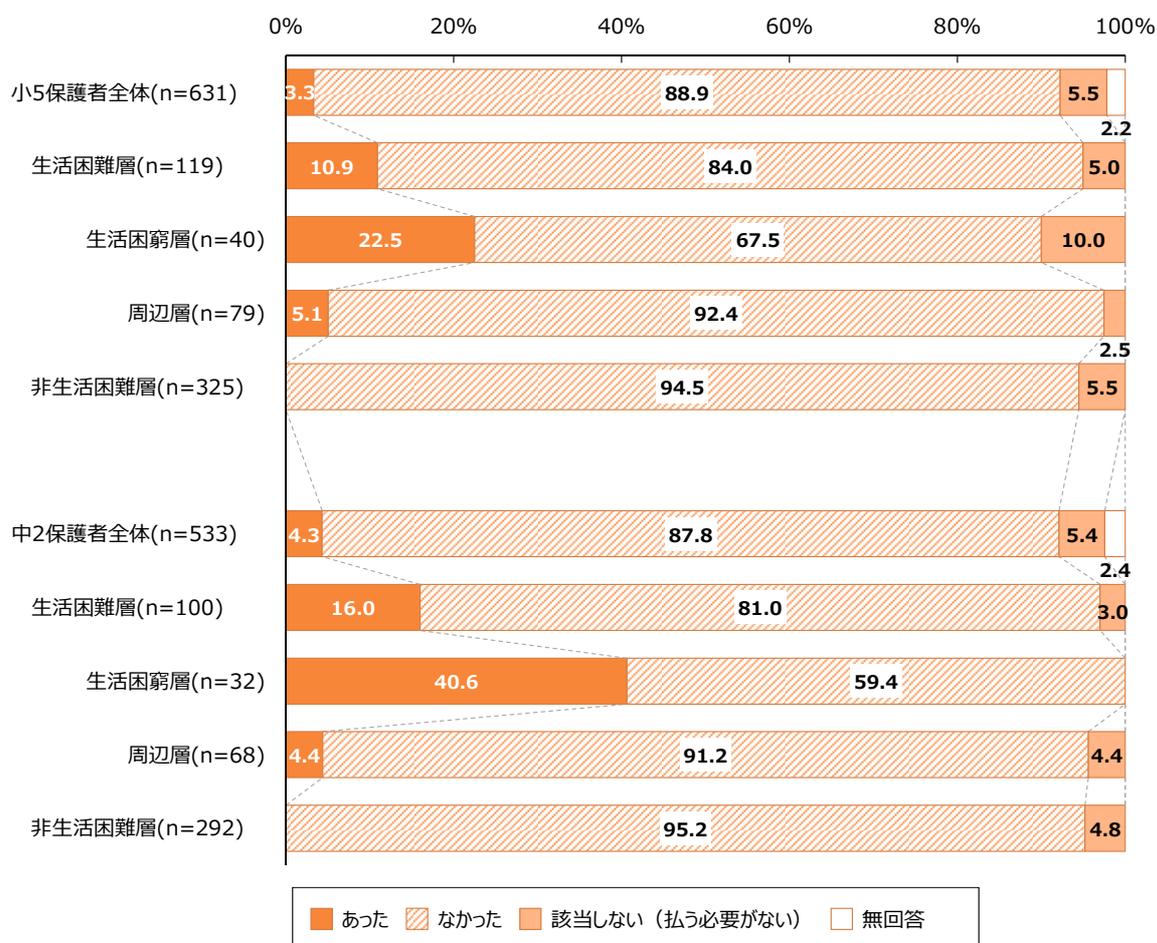
一方、非生活困難層では、小学5年生、中学2年生とも「あった」との回答はありませんでした。



## B 電気料金

過去1年間の電気料金の滞納経験について、「あった」は、小学5年生の全体で3.3%、生活困窮層で22.5%、周辺層で5.1%、中学2年生の全体で4.3%、生活困窮層で40.6%、周辺層で4.4%となっています。

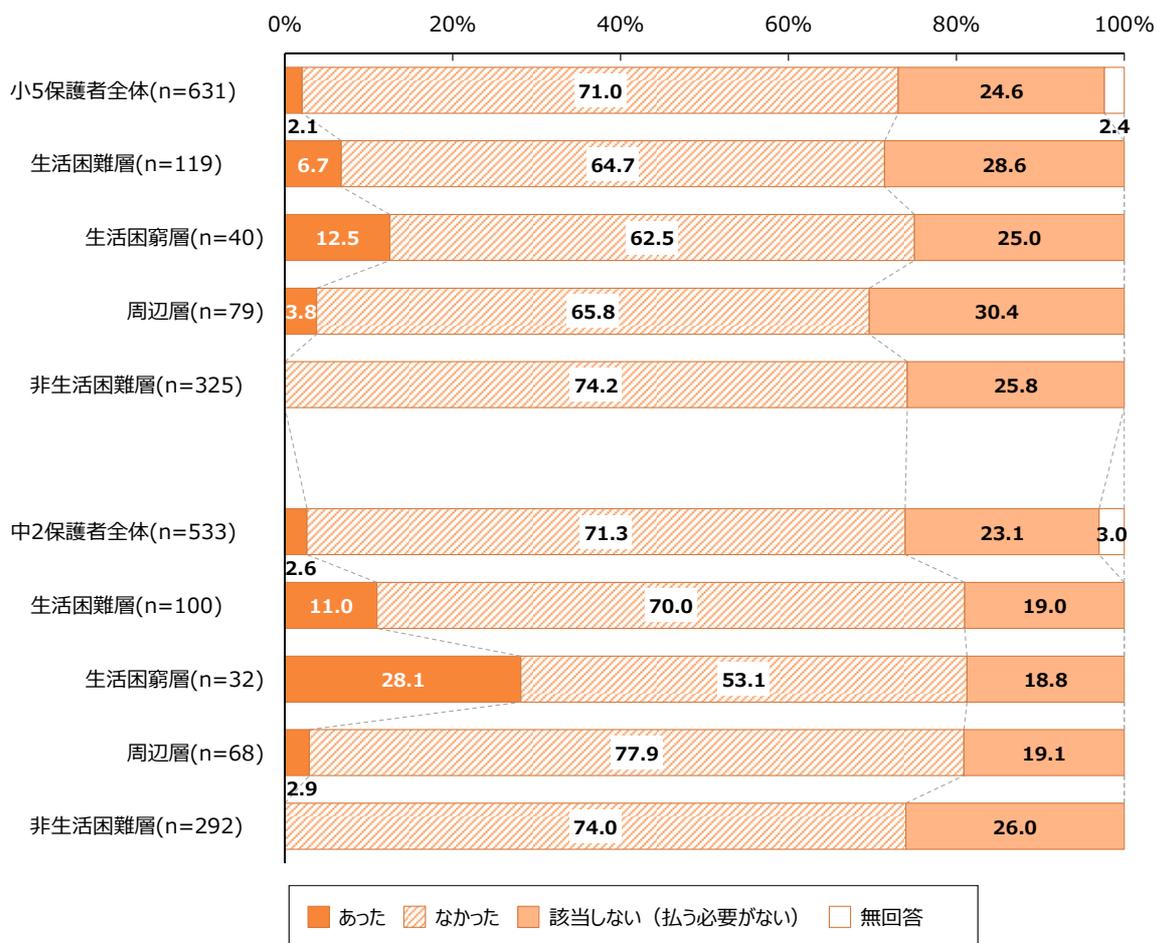
一方、非生活困難層では、小学5年生、中学2年生とも「あった」との回答はありませんでした。



## C ガス料金

過去1年間のガス料金の滞納経験について、「あった」は、小学5年生の全体で2.1%、生活困窮層で12.5%、周辺層で3.8%、中学2年生の全体で2.6%、生活困窮層で28.1%、周辺層で2.9%となっています。

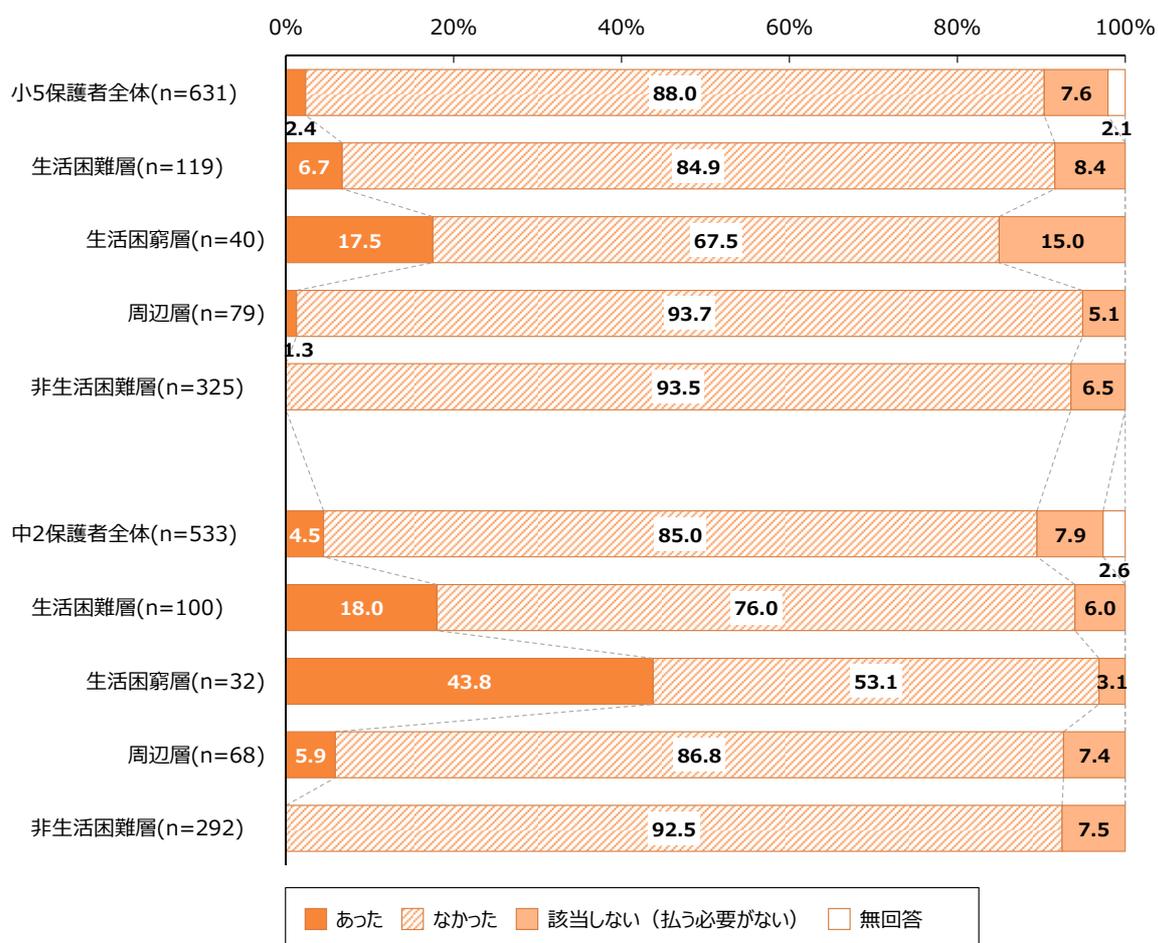
一方、非生活困窮層では、小学5年生、中学2年生とも「あった」との回答はありませんでした。



## D 水道料金

過去1年間の水道料金の滞納経験について、「あった」は、小学5年生の全体で2.4%、生活困窮層で17.5%、周辺層で1.3%、中学2年生の全体で4.5%、生活困窮層で43.8%、周辺層で5.9%となっています。

一方、非生活困難層では、小学5年生、中学2年生とも「あった」との回答はありませんでした。

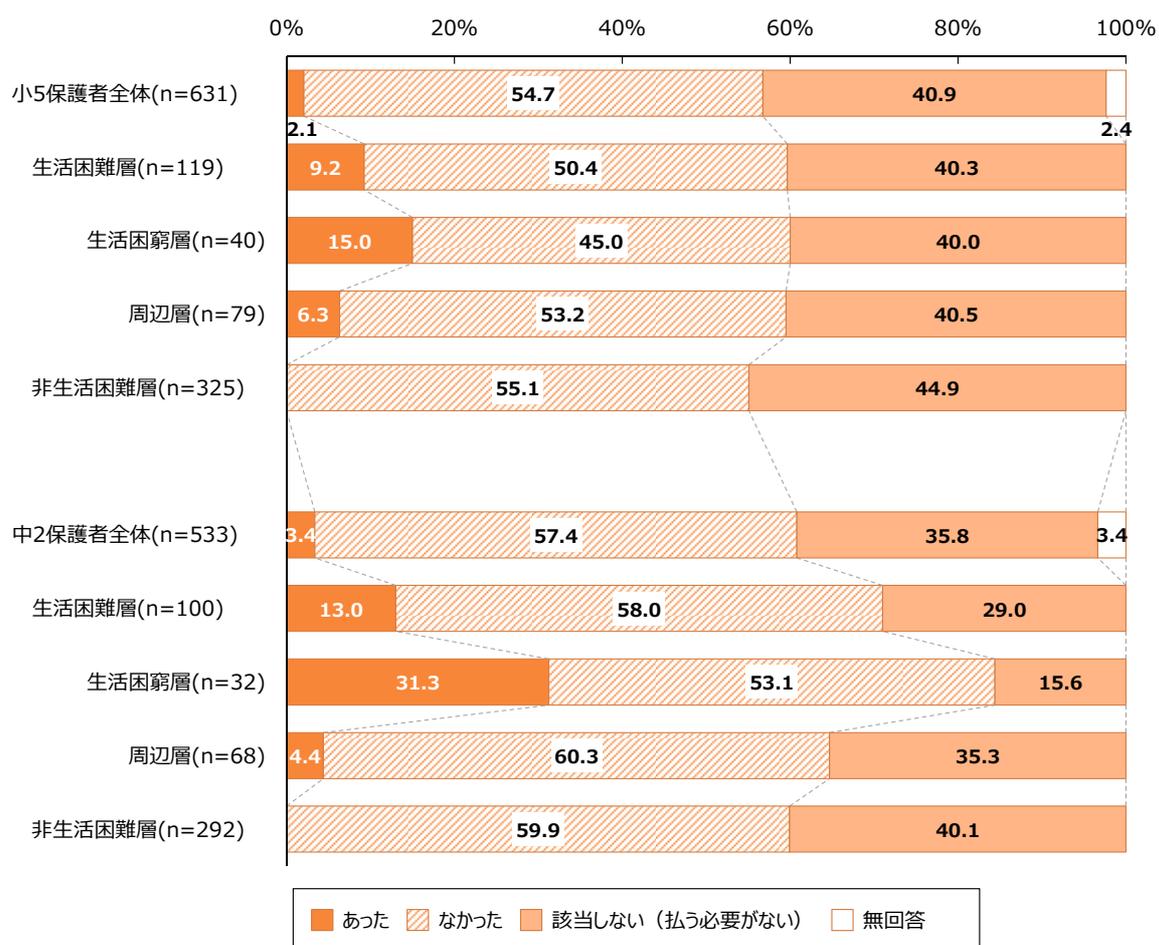


## E 家賃

過去1年間の家賃の滞納経験について、小学5年生及び中学2年生の非生活困難層の約4割は「該当しない（払う必要がない）」と回答しています。

「あった」は、小学5年生の全体で2.1%、生活困難層で15.0%、周辺層で6.3%、中学2年生の全体で3.4%、生活困難層で31.3%、周辺層で4.4%となっています。

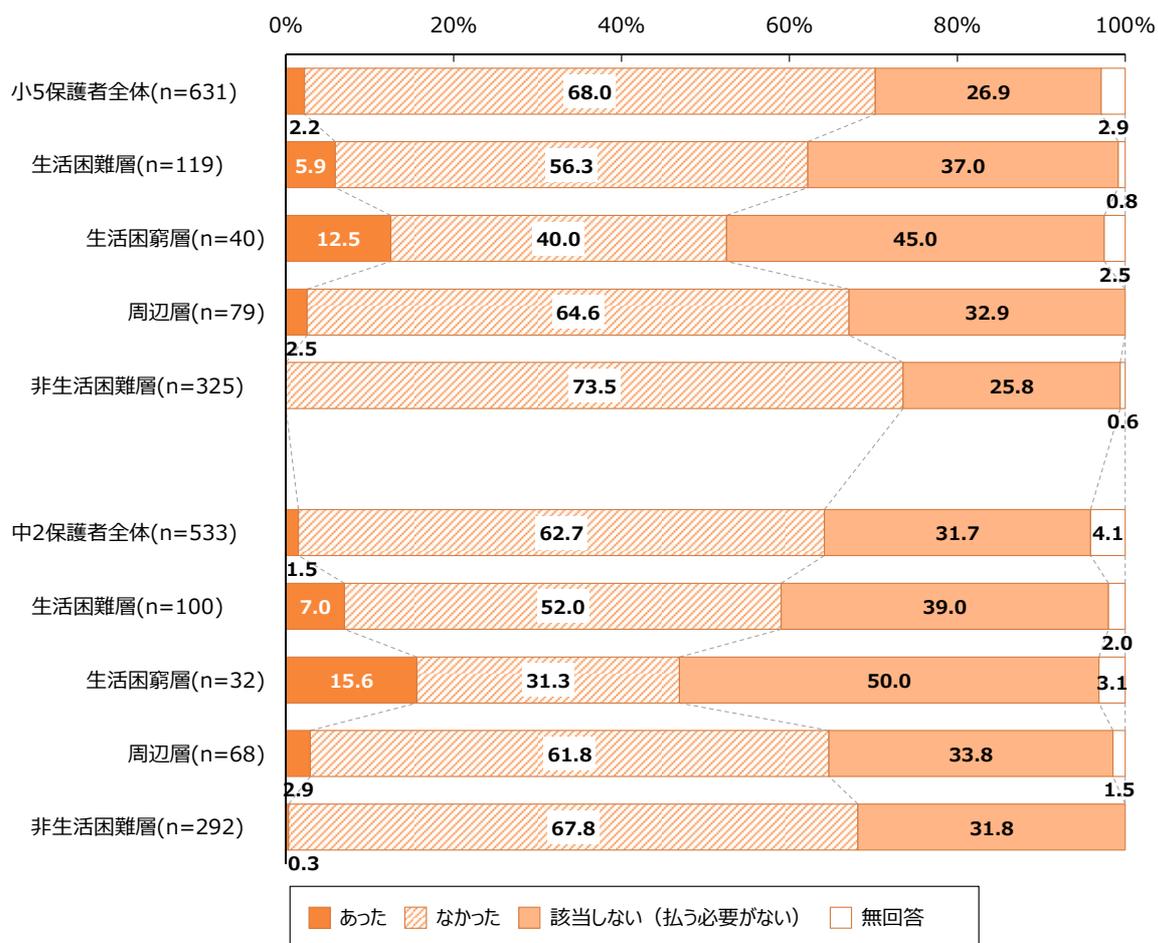
一方、非生活困難層では、小学5年生、中学2年生とも「あった」との回答はありませんでした。



## F 住宅ローン

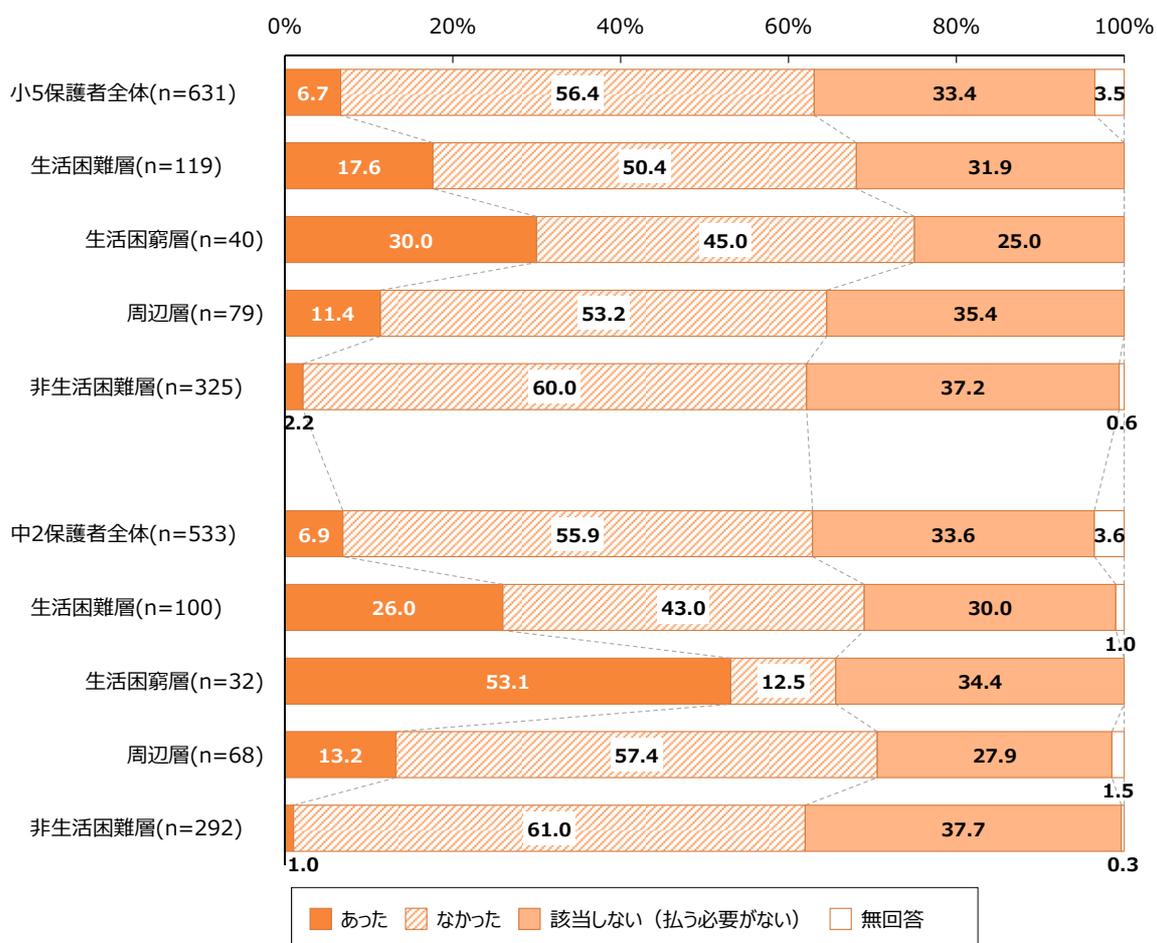
過去1年間の住宅ローンの滞納経験について、小学5年生、中学2年生とも約3~5割は「該当しない（払う必要がない）」と回答しています。

「あった」は、小学5年生の全体で2.2%、生活困窮層で12.5%、周辺層で2.5%、中学2年生では、全体で1.5%、生活困窮層で15.6%、周辺層で2.9%、非生活困難層で0.3%と生活困難度が高くなるにつれ増加しています。



## G その他の債務

過去1年間のその他の債務の滞納経験について、小学5年生・中学2年生とも3割前後は「該当しない（払う必要がない）」と回答している一方、「あった」は、小学5年生の全体で6.7%、生活困窮層で30.0%、周辺層で11.4%、非生活困難層2.2%、中学2年生では、全体で6.9%、生活困窮層で53.1%、周辺層で13.2%と中学2年生の生活困窮層で半数を超えています。



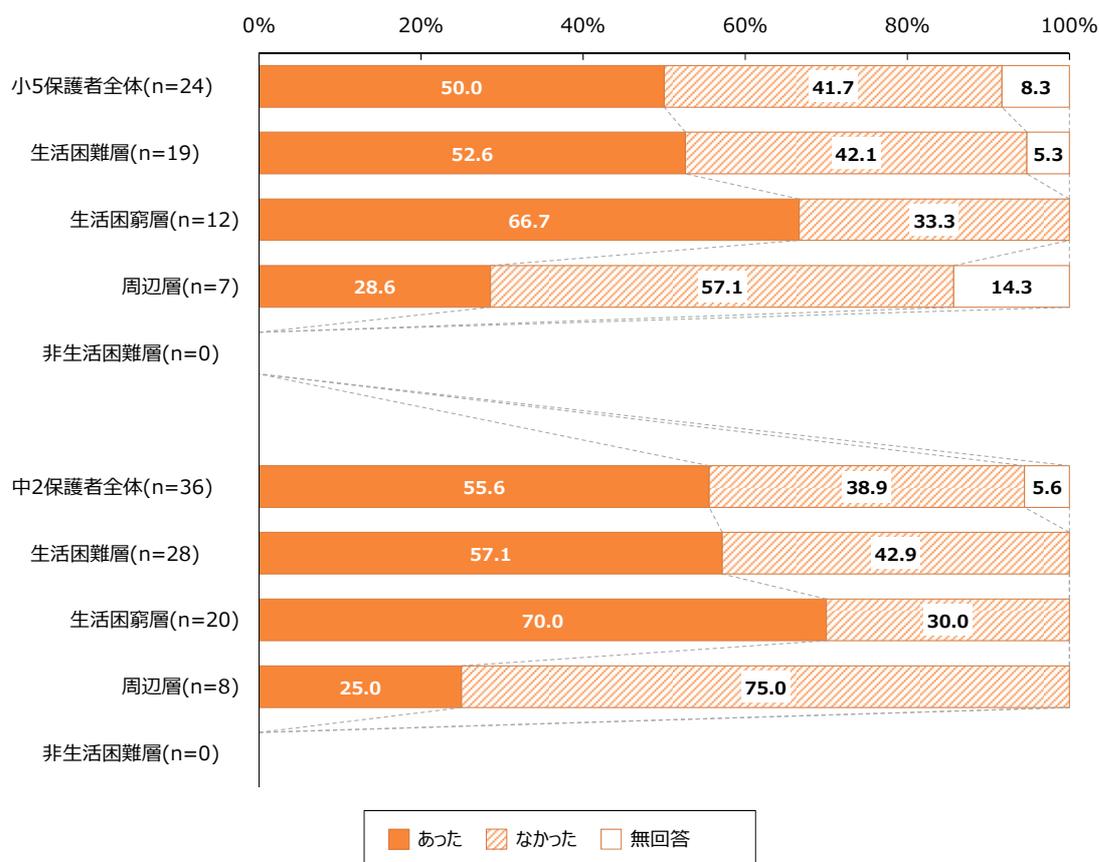
#### (4) 公共料金等を支払えなかったために困った経験

▼料金を支払えなかったために、以下のA～Gのように困ったことがありましたか。

(保/問 33-1・三原市独自)

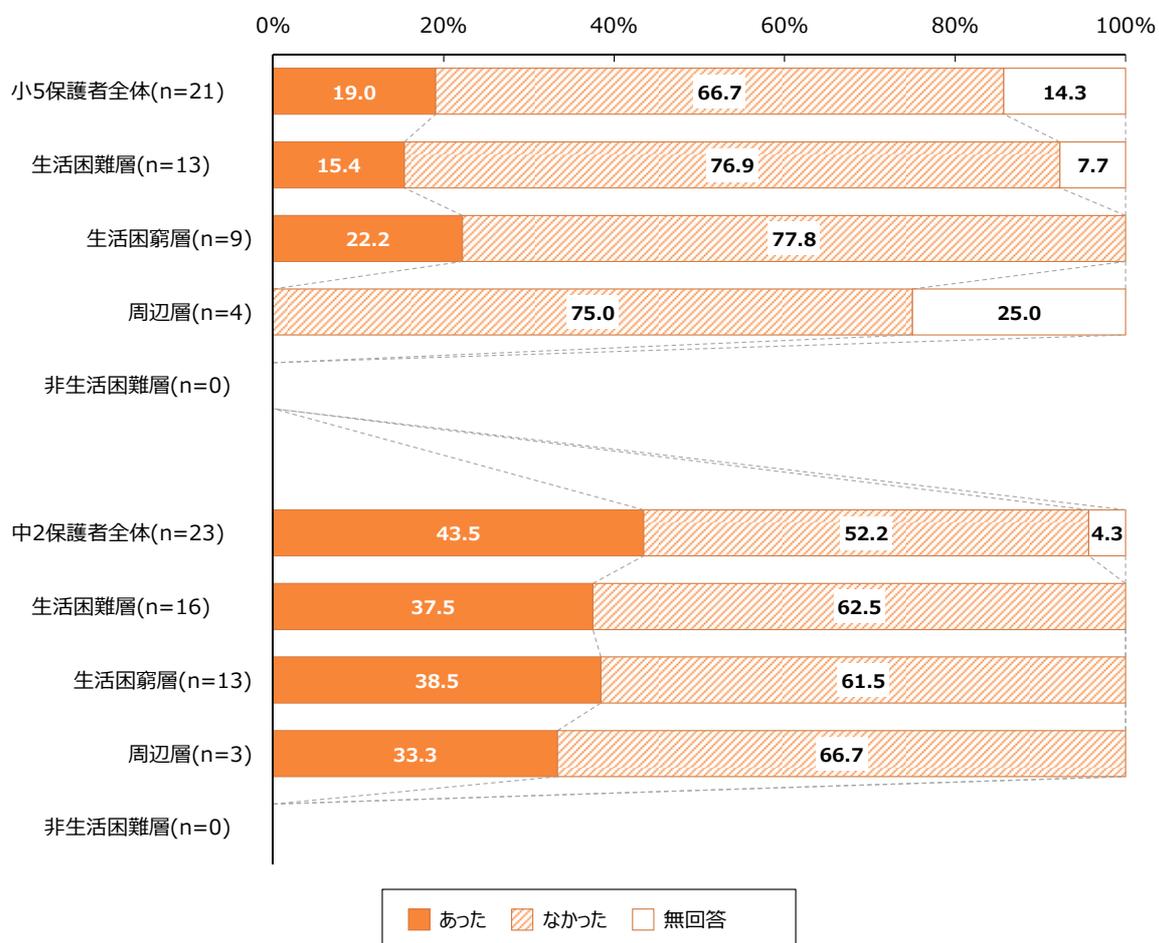
##### A 電話・携帯電話が使えなくなった

電話料金の滞納経験があり、電話・携帯電話が使えなくなったことが「あった」と回答した割合は、小学5年生の全体で50.0%、生活困窮層で66.7%、周辺層で28.6%、中学2年生の全体で55.6%、生活困窮層で57.1%、周辺層で25.0%と、生活困窮層では周辺層の2倍となっています。



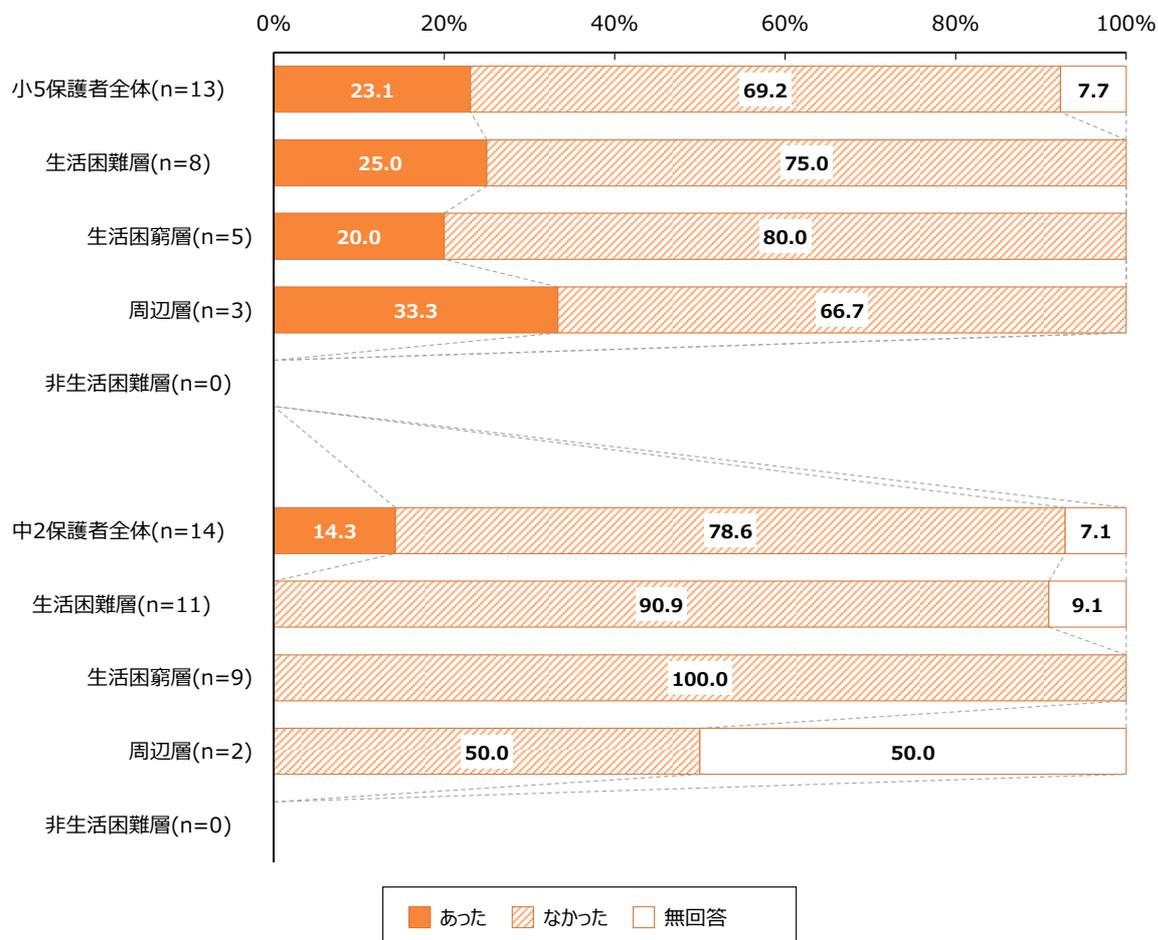
## B 電気をとめられた

電気料金の滞納経験があり、電気をとめられたことが「あった」と回答した割合は、小学5年生の全体で19.0%、生活困窮層で22.2%と2割程度であるのに対し、中学2年生では、全体で43.5%、生活困窮層で38.5%、周辺層で33.3%と高くなっています。



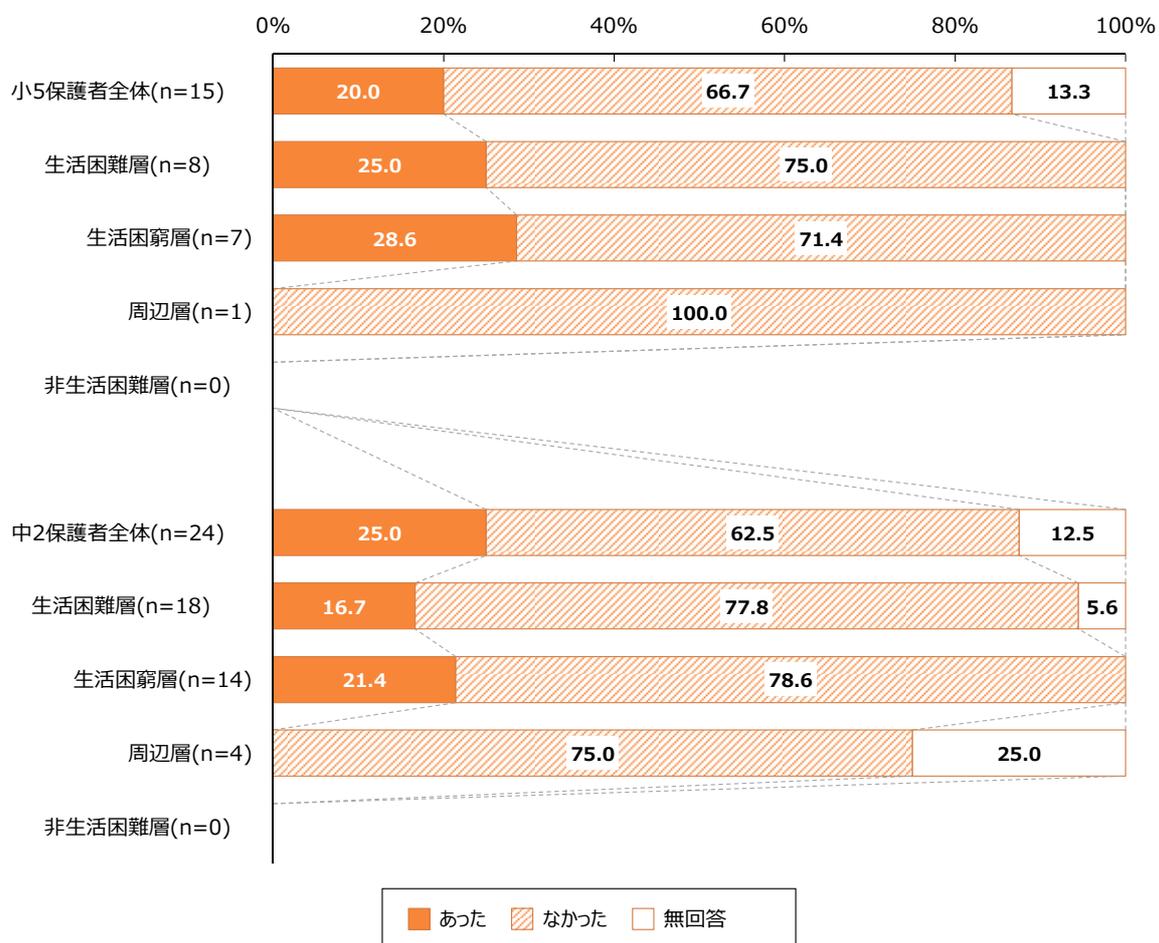
## Cガスがとめられた

ガス料金の滞納経験があり、ガスがとめられたことが「あった」と回答した割合は、小学5年生の全体で23.1%、生活困窮層で20.0%、周辺層で33.3%と周辺層で高くなっています。中学2年生では、全体で14.3%となっていますが、生活困窮層、周辺層では回答はありませんでした。



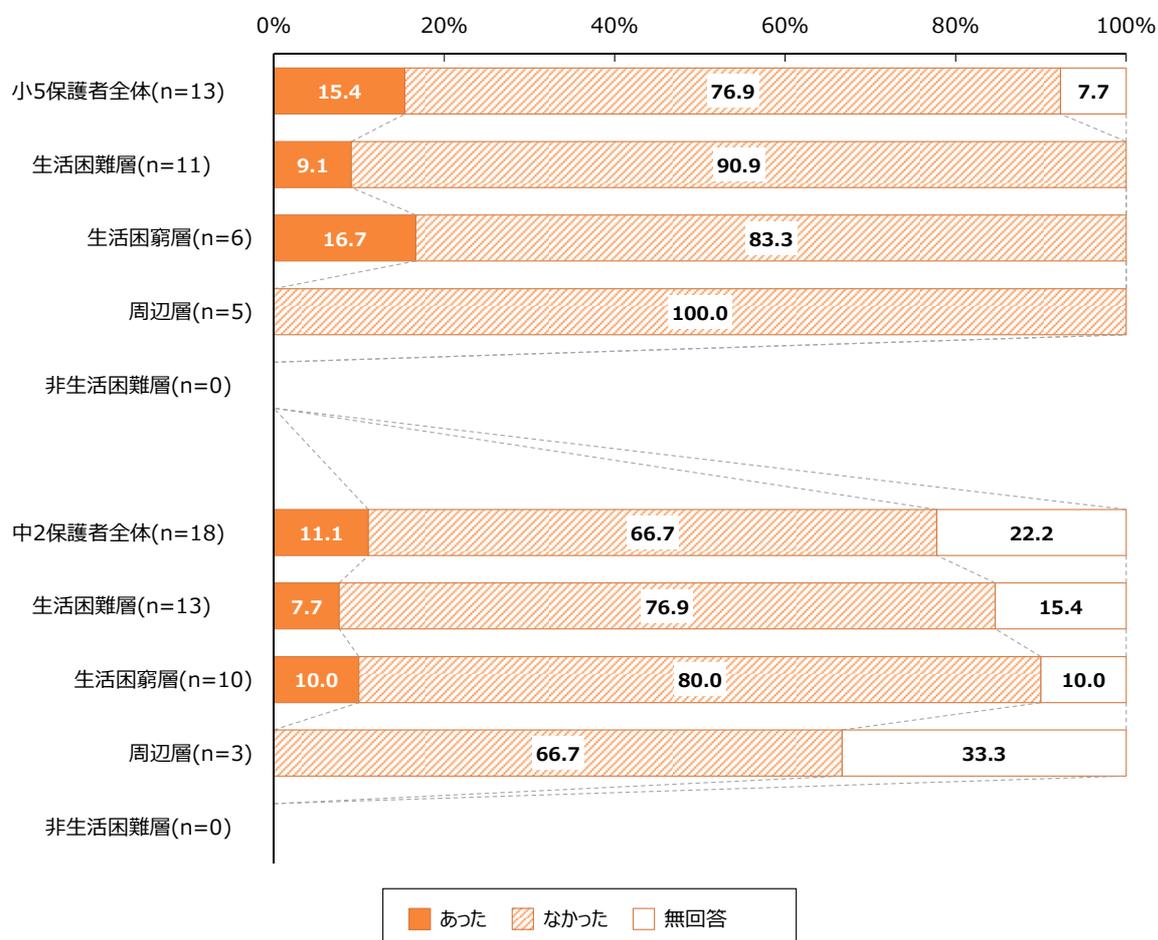
## D水道がとめられた

水道料金の滞納経験があり、水道がとめられたことが「あった」と回答した割合は、小学5年生の全体で20.0%、生活困難層で28.6%、中学2年生では、全体で25.0%、生活困難層で21.4%となっています。



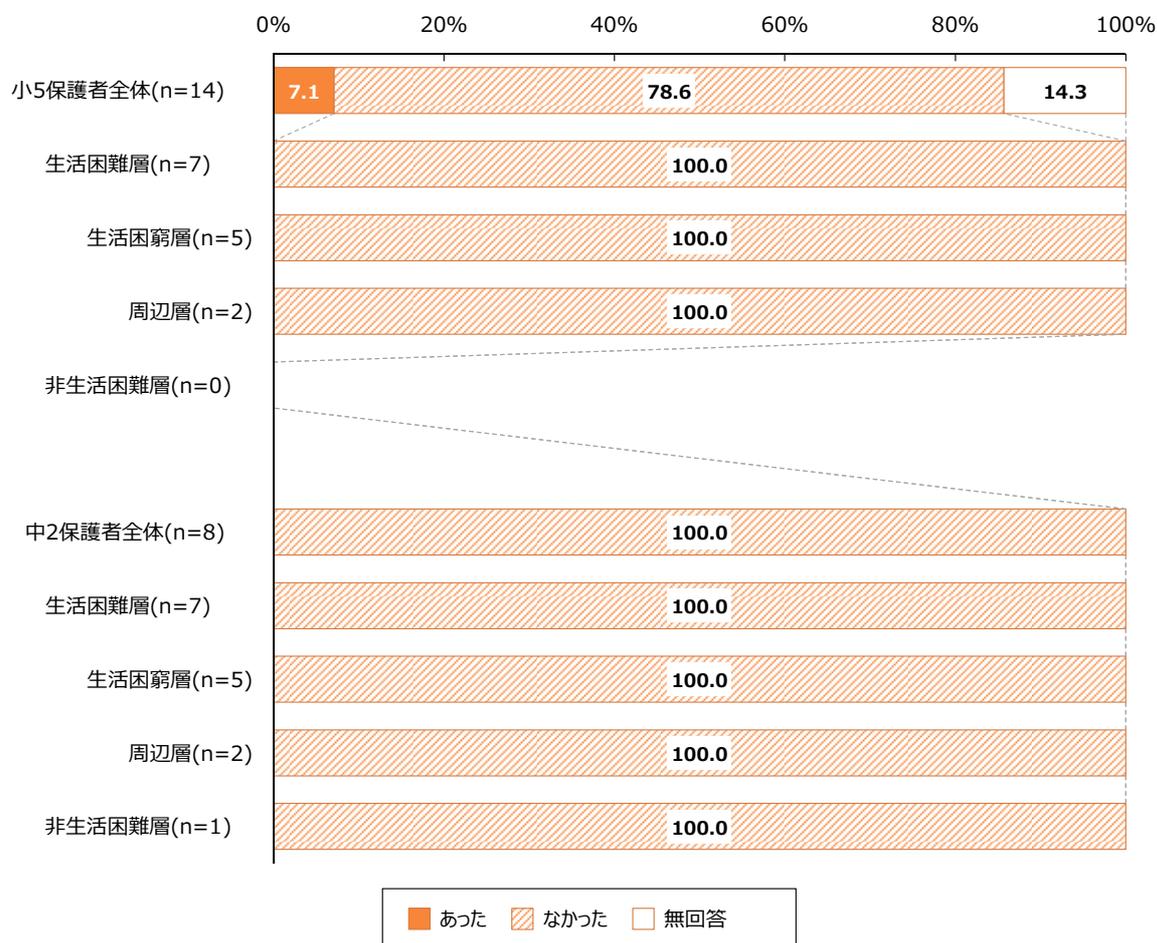
## E家に住めなくなった

家賃の滞納経験があり、家に住めなくなったことが「あった」と回答した割合は、小学5年生の全体で15.4%、生活困窮層で16.7%、中学2年生では、全体で11.1%、生活困窮層で10.0%となっています。



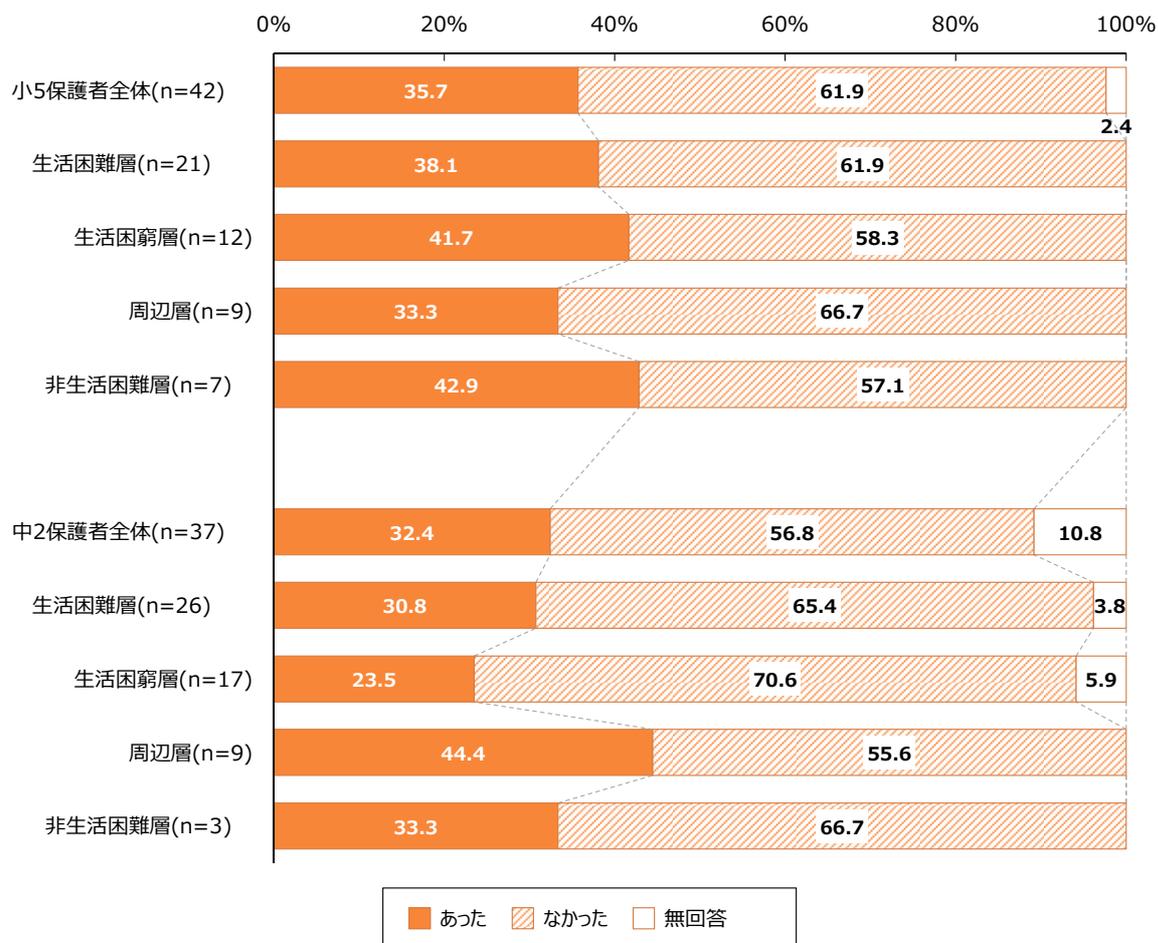
## F 家を手放すことになった

住宅ローンの滞納経験があり、家を手放すことになったことが「あった」と回答した割合は、小学5年生の全体7.1%のみでした。



## Gクレジットカードが使いなくなった

その他の債務の滞納経験があり、クレジットカードが使いなくなったことが「あった」と回答した割合は、小学5年生の全体で35.7%、生活困窮層で41.7%、周辺層で33.3%、非生活困難層で42.9%、中学2年生では、全体で32.4%、生活困窮層で23.5%、周辺層で44.4%、非生活困難層で33.3%と、小学5年生の非生活困難層、中学2年生の周辺層でやや高くなっています。

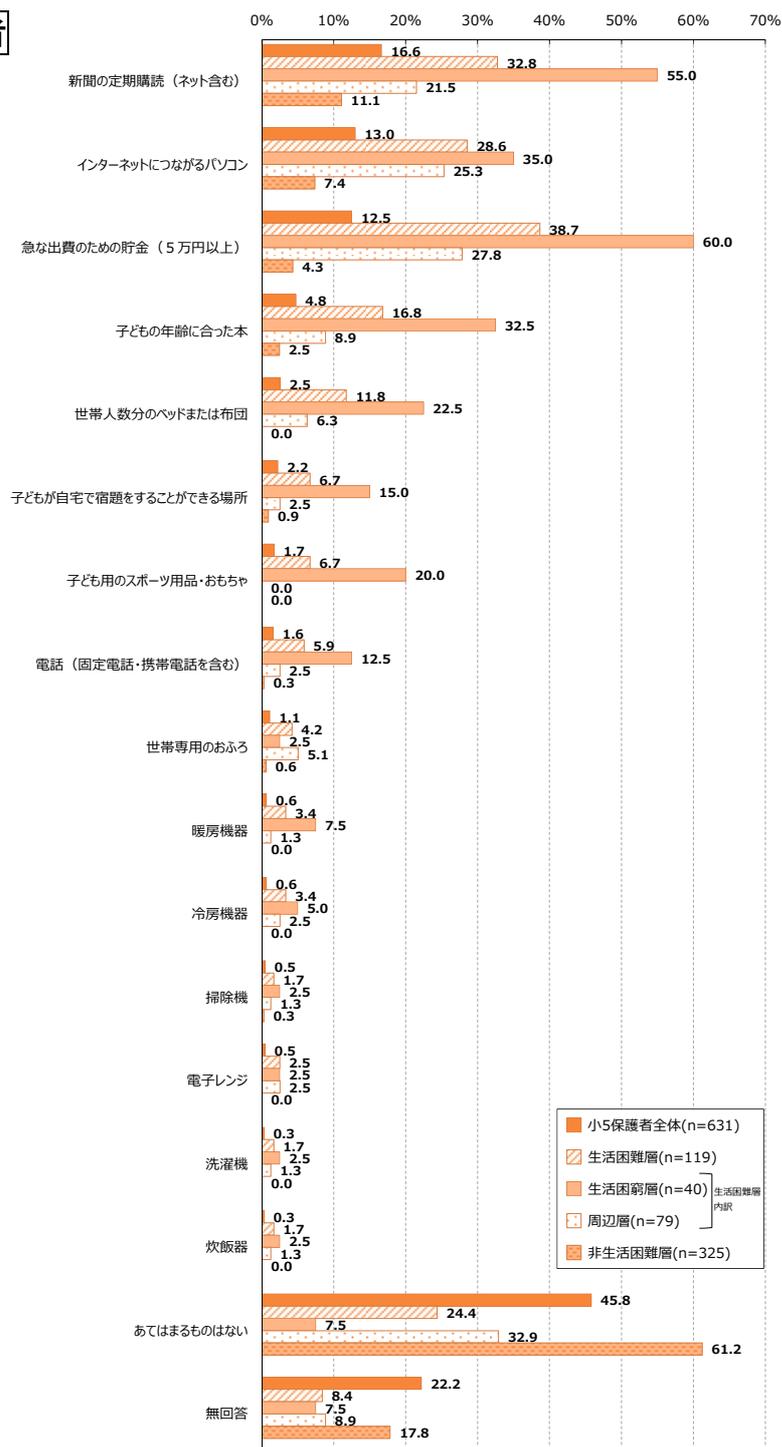


#### (4) 物品等の所有状況

▼次のもののうち、経済的理由のためにあなたの世帯にないものはありますか。  
(保/問 35-1 複数回答)

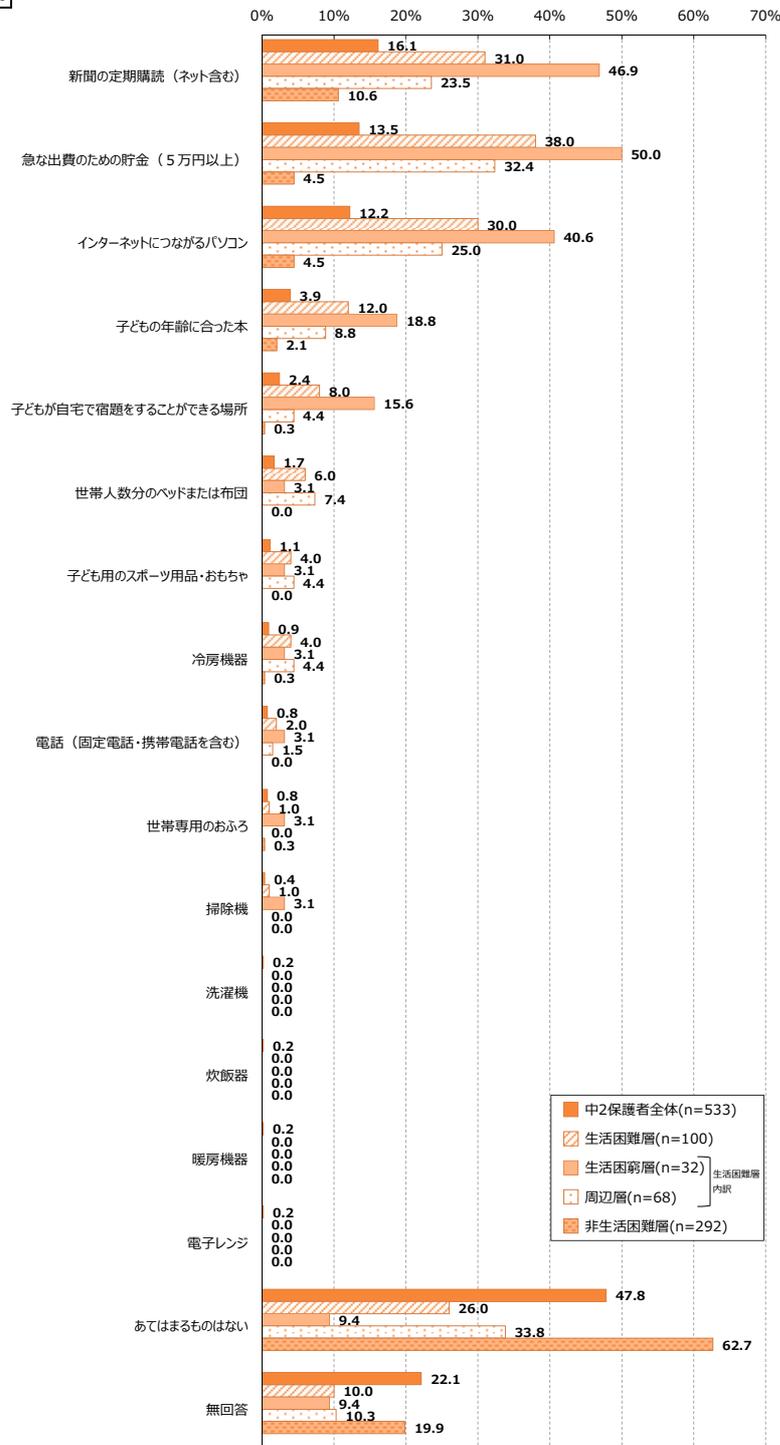
物品等の所有状況について、小学5年生の全体では、「新聞の定期購読（ネット含む）」が16.6%で最も多く、次いで「インターネットにつながるパソコン」13.0%、「急な出費のための貯金(5万円以上)」12.5%となっています。また、生活困窮層では、「急な出費のための貯金(5万円以上)」が60.0%で最も多く、次いで「新聞の定期購読（ネット含む）」が55.0%、「インターネットにつながるパソコン」が35.0%となっています。

#### 小5保護者



中学2年生の全体では、「新聞の定期購読（ネット含む）」が16.1%で最も多く、次いで「急な出費のための貯金(5万円以上)」13.5%、「インターネットにつながるパソコン」12.2%となっています。また、生活困窮層では、「急な出費のための貯金(5万円以上)」が50.0%で最も多く、次いで「新聞の定期購読（ネット含む）」が46.9%、「インターネットにつながるパソコン」が40.6%となっています。

## 中2保護者

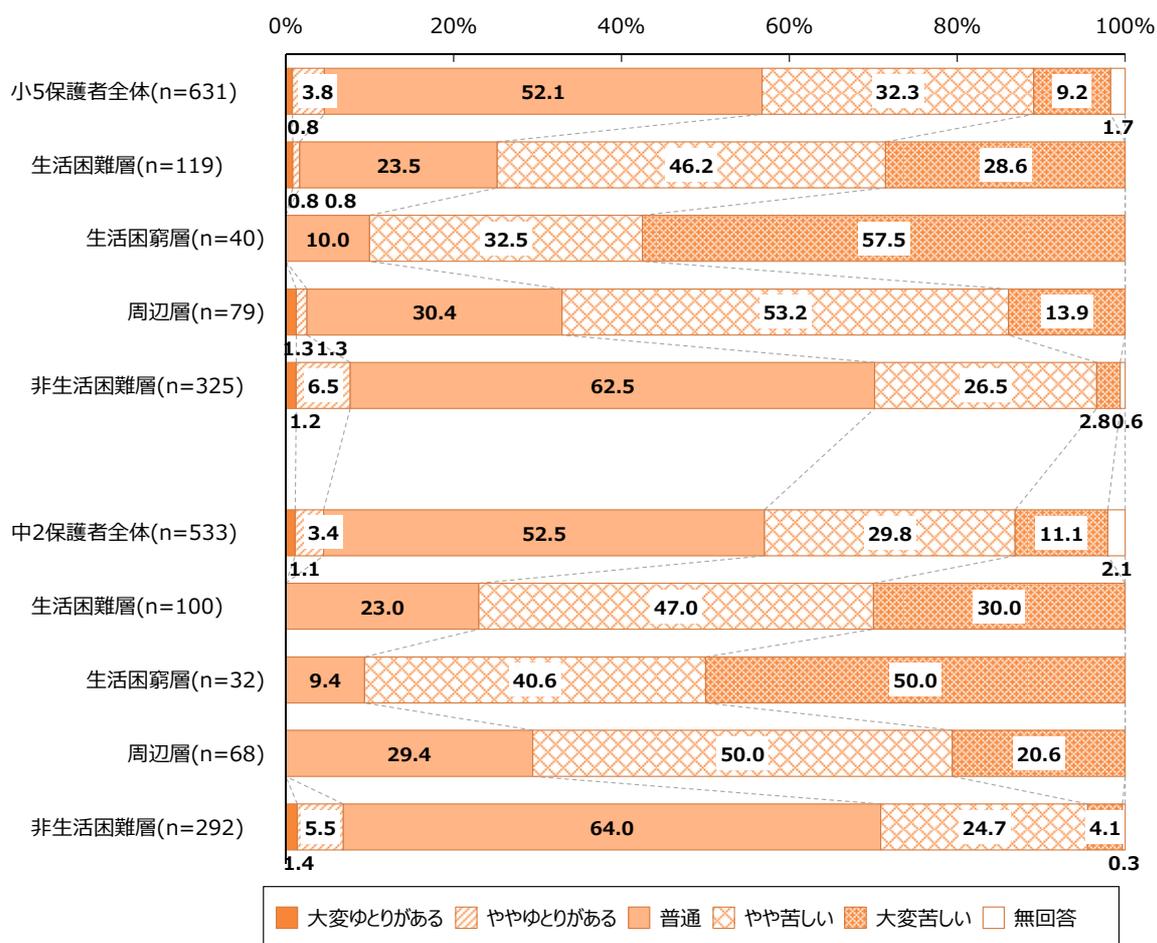


## (5) 現在の（主観的）暮らし向き

### ▼現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。（保/問 29）

現在の暮らしの状況について、「やや苦しい」「大変苦しい」を合わせた“苦しい”と回答した割合を生活困難度別にみると、小学5年生の生活困窮層で90.0%，周辺層で67.1%，非生活困難層で29.3%，中学2年生の生活困窮層で90.6%，周辺層で70.6%，非生活困難層で28.8%と生活困窮層の90%以上が苦しい状況となっています。

「大変苦しい」だけに限ってみても、小学5年生の生活困窮層で57.5%，中学2年生の生活困窮層で50.0%と半数を占めています。

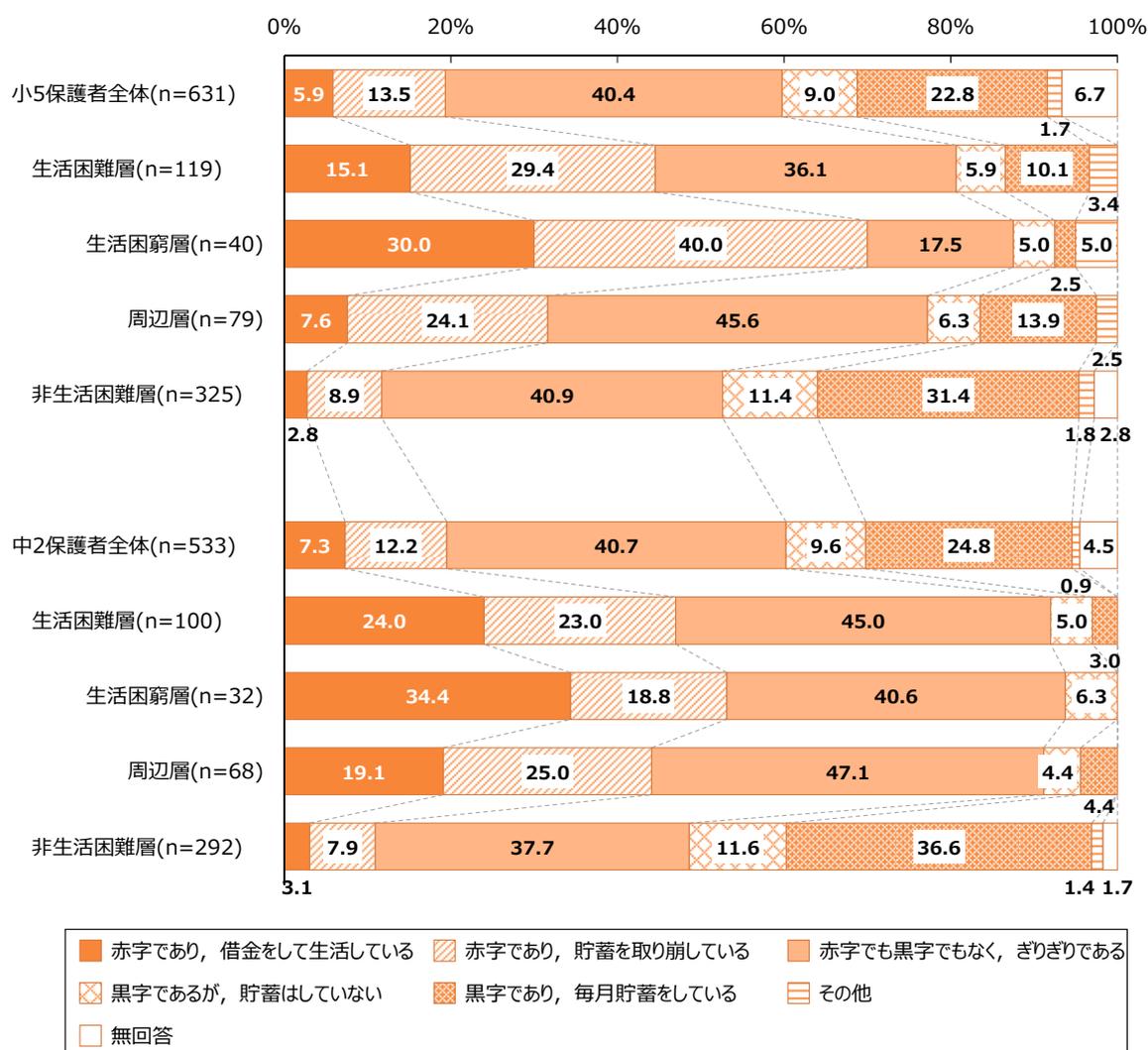


## (6) 家計の収支状況

▼ご家庭の家計について、最も近いものをお答えください。(保/問 30)

家計の状況について、小学5年生の生活困窮層の30.0%、中学2年生の生活困窮層の34.4%が「赤字であり、借金をして生活している」と回答しています。

また、「赤字であり、借金をして生活している」と「赤字であり、貯金を取り崩している」を合わせた“赤字である”と回答した割合は、小学5年生の全体で19.4%、生活困窮層で70.0%、周辺層で31.7%、非生活困難層で11.7%、中学2年生の全体で19.5%、生活困窮層で53.2%、周辺層で44.1%、非生活困難層で11.0%と、生活困窮層の赤字の状況は、非生活困難層の約5~6倍高くなっています。



## 2 子どもの生活水準

### (1) 所有物の状況

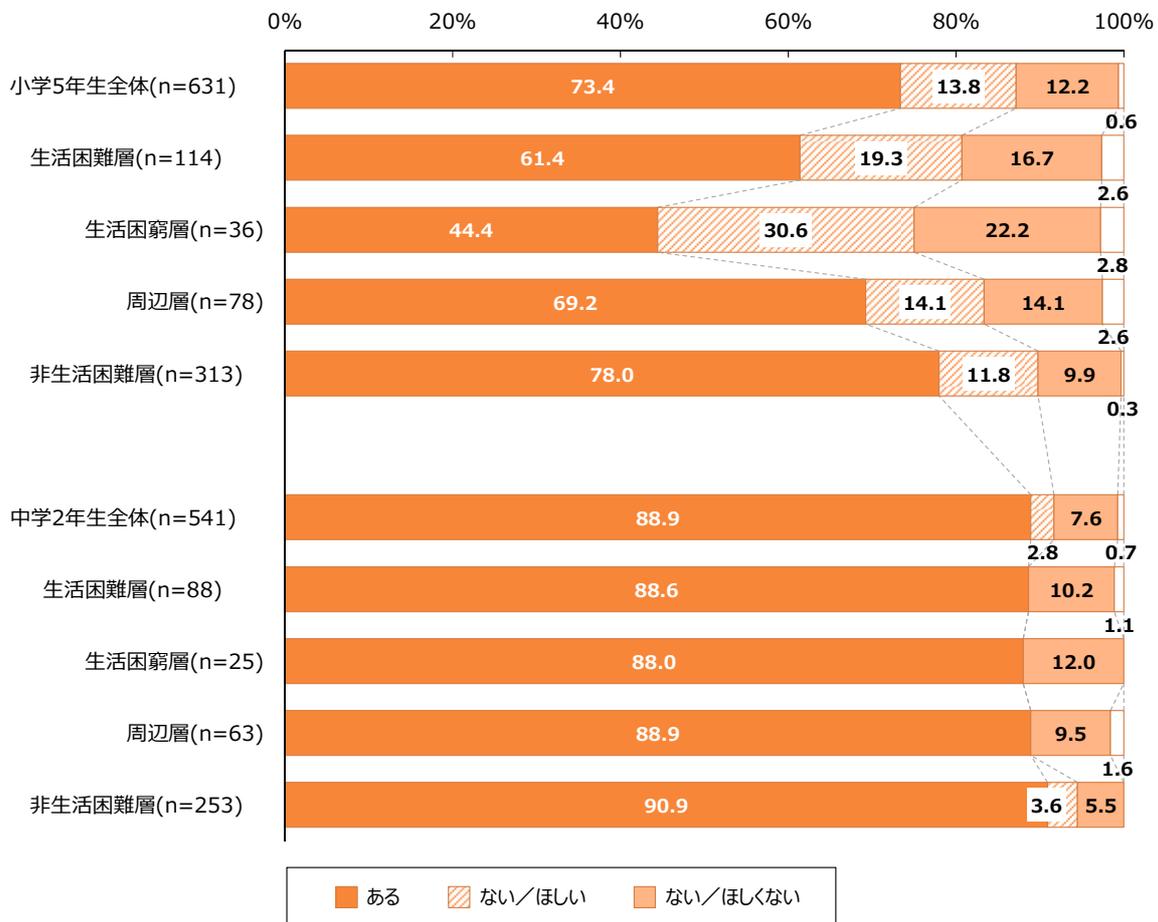
▼あなたには、自分が使うことができる、次のものがありますか。(子/問4)

#### A 自分だけの本(学校の教科書やマンガはのぞく)

自分だけの本の所有状況について、「ある」は、小学5年生の全体で73.4%、生活困窮層で44.4%、周辺層で69.2%、非生活困難層で78.0%と生活困難度が高い層ほど所有の割合は低くなっています。一方、中学2年生では生活困難度との相関はみられず、9割前後と多数を占めています。

また、「ない/ほしい」「ない/ほしくない」は、小学5年生では生活困難度との相関がみられ、生活困難度が高くなるにつれて割合は増加しています。

中学2年生では、生活困難層で「ない/ほしい」の回答はなく、「ない/ほしくない」は非生活困難層の5.5%に対し生活困窮層で12.0%となっています。

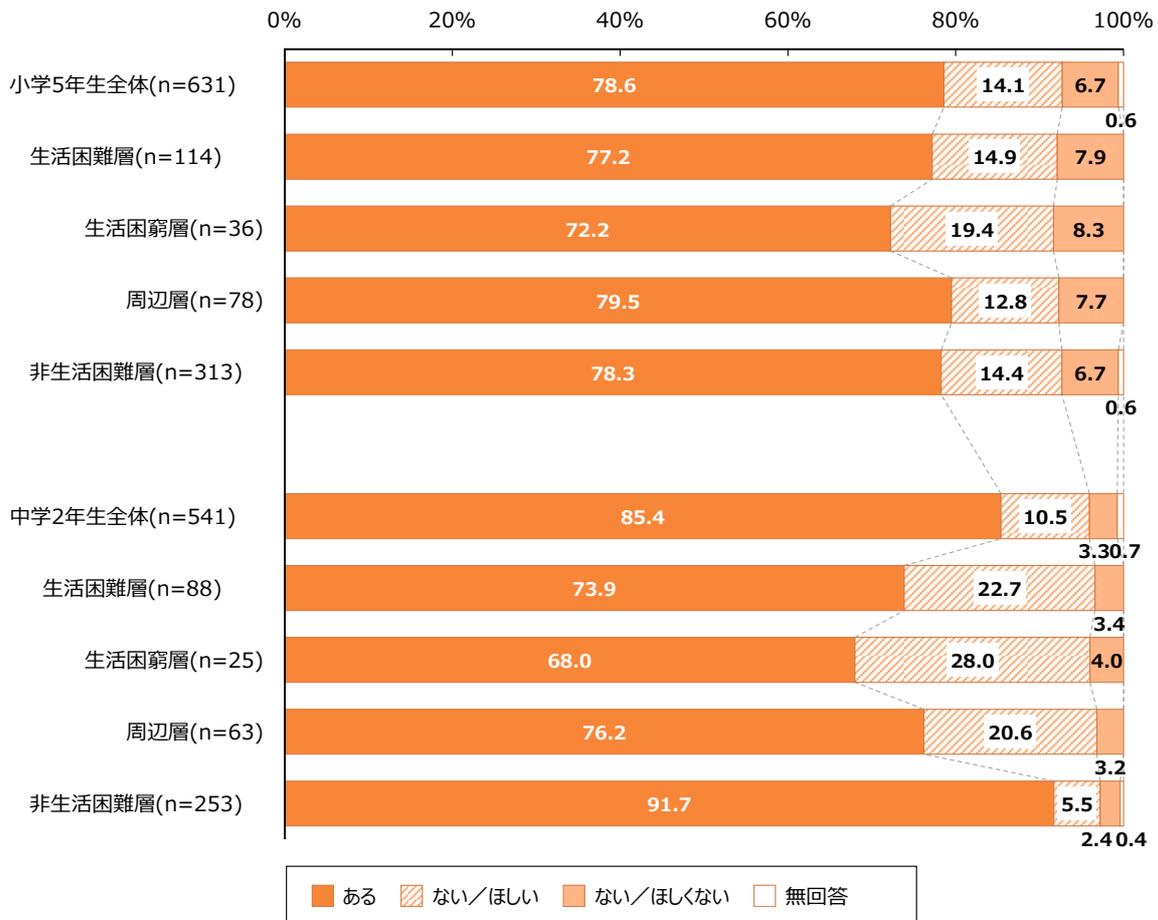


## B 子ども部屋（兄弟姉妹と使っている場合もふくむ）

子ども部屋の所有状況について、小学5年生では「ある」が7割超と生活困難度による大きな差はみられません。中学2年生では、全体で85.4%、生活困窮層で68.0%、周辺層で76.2%、非生活困難層で91.7%と生活困窮層で7割に満たない状況となっています。

また、「ない／ほしい」は、小学5年生では生活困難度による大きな差はみられません。

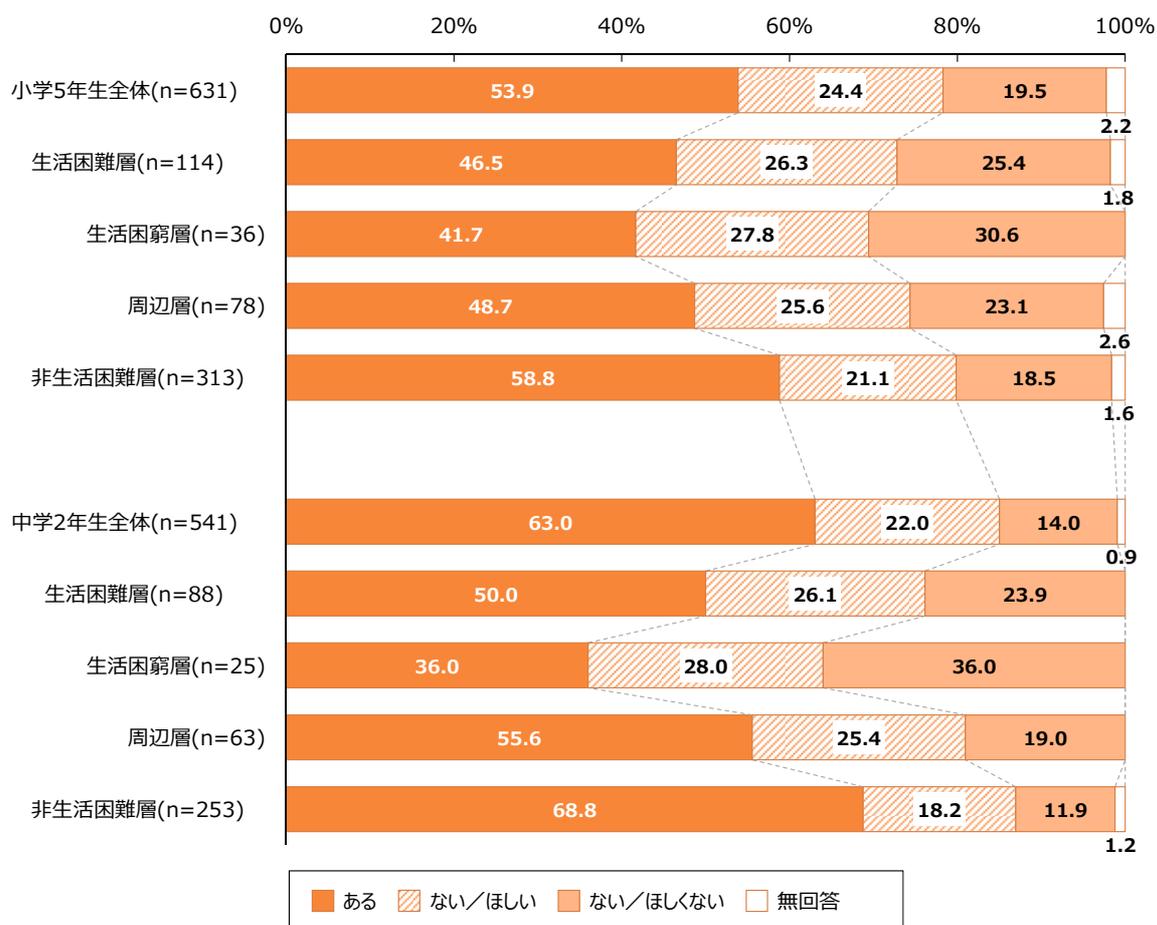
中学2年生の生活困窮層で28.0%、周辺層で20.6%、非生活困難層で5.5%と生活困難度が高くなるにつれ増加しています。



## C (自宅で) インターネットにつながるパソコン

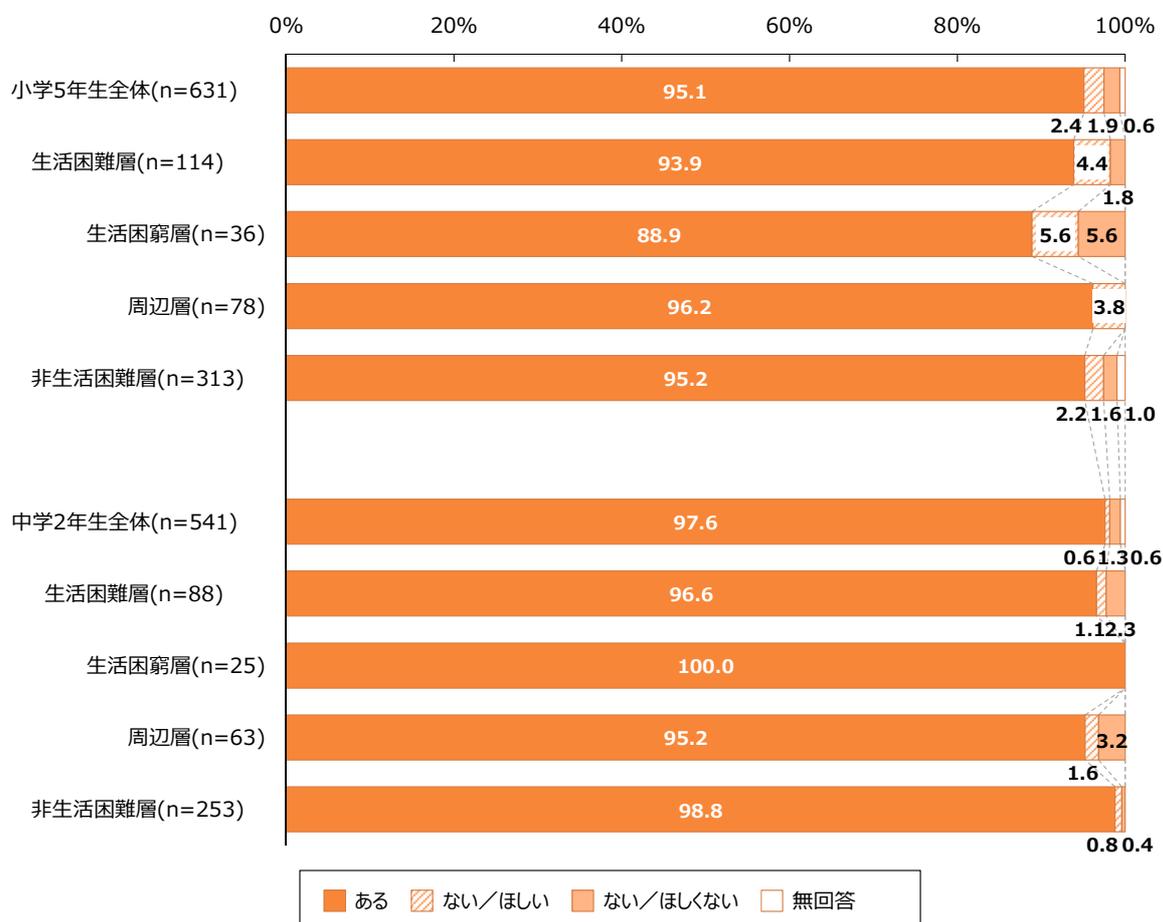
自宅でインターネットにつながるパソコンの所有状況について、「ある」は、小学5年生の全体で53.9%、生活困難度別では、生活困窮層で41.7%、周辺層で48.7%、非生活困難層で58.8%と生活困難度との相関がみられ、生活困難度が高い層ほど所有の割合は低くなっています。また、「ない／ほしい」でも、小学5年生の生活困窮層で27.8%、周辺層で25.6%、非生活困難層21.1%と、生活困難度との相関がみられ、生活困難度が高くなるにつれて増加しており、中学2年生でも同様の傾向となっています。

一方、小学5年生の生活困窮層の30.6%、中学2年生の生活困窮層の36.0%は「ない／ほしくない」と回答しています。



## D 自宅で宿題をすることができる場所

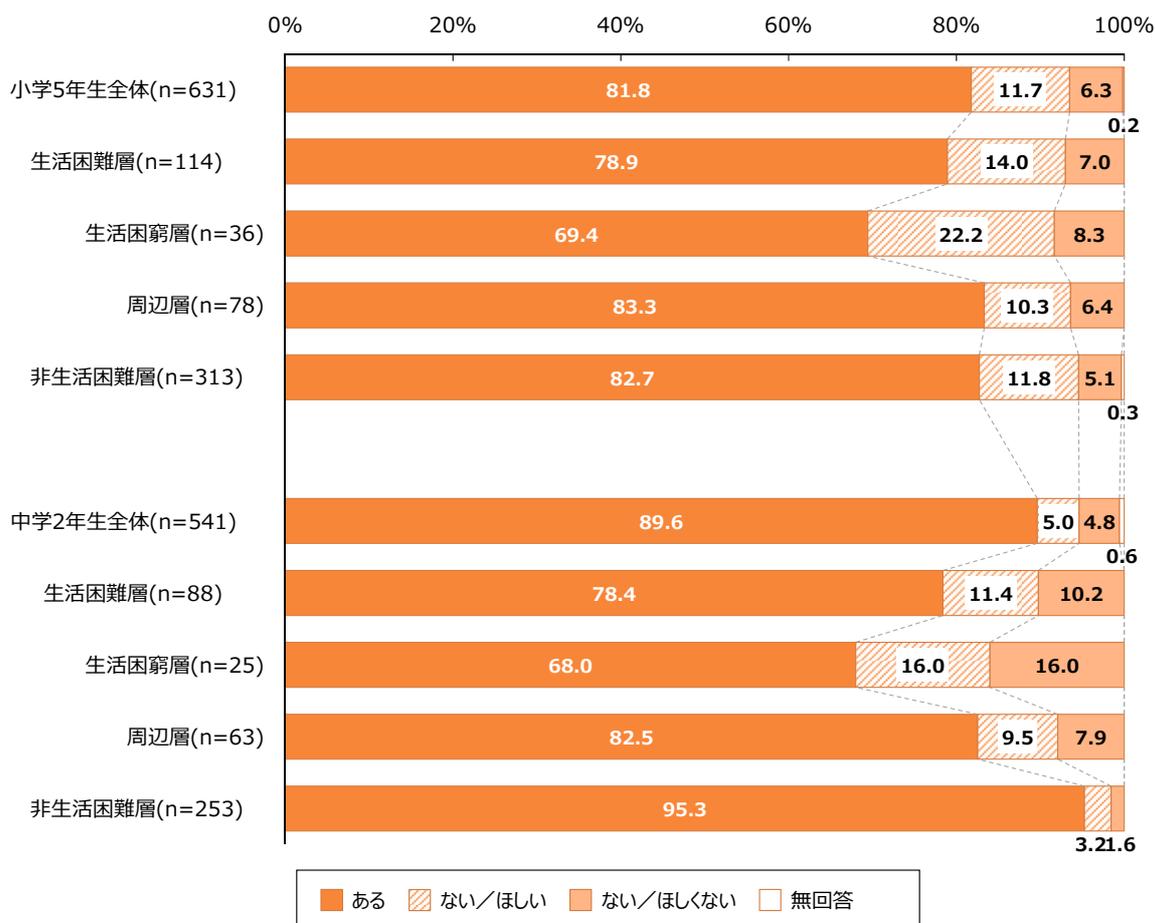
自宅で宿題をすることができる場所の所有状況について、「ある」との回答が全体，生活困難層，非生活困難層とも大多数を占めていますが，小学5年生の生活困窮層ではやや低く88.9%となっています。



## E 自分専用の勉強机

自分専用の勉強机の所有状況について、「ある」は、小学5年生の生活困窮層で69.4%、中学2年生の生活困窮層で68.0%とやや低くなっているほかは8割を超えています。

また、「ない/ほしい」は、小学5年生の生活困窮層で22.2%、周辺層で10.3%、非生活困難層で11.8%、中学2年生の生活困窮層で16.0%、周辺層で9.5%、非生活困難層で3.2%となっています。一方、中学2年生の生活困窮層の16.0%は「ない/ほしくない」と回答しています。

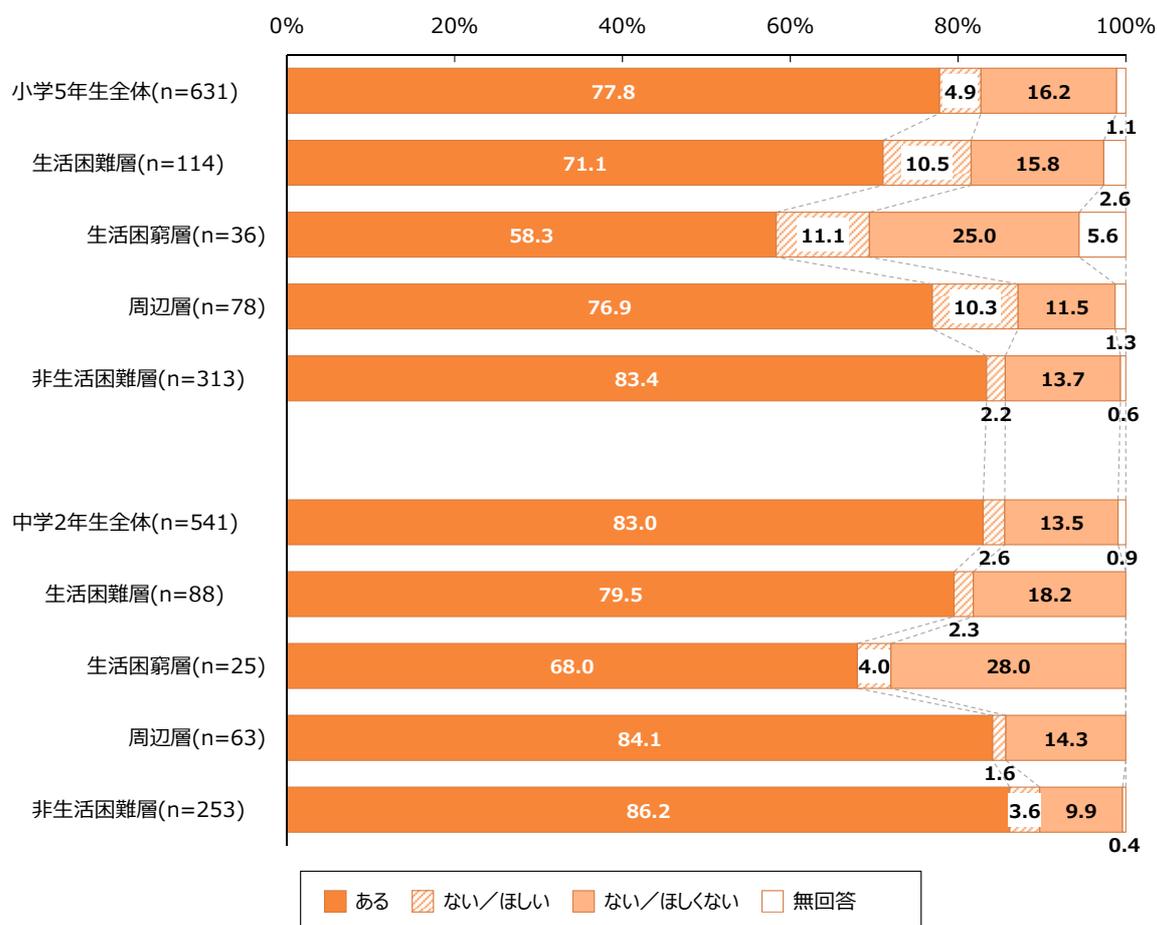


## F スポーツ用品（野球のグローブや，サッカーボールなど）

スポーツ用品の所有状況について、「ある」は，小学5年生の全体で77.8%，生活困難層で71.1%，非生活困難層で83.4%と，生活困難度により12.3ポイントの差がみられます。中学2年生では，全体83.0%，周辺層で84.1%，非生活困難層で86.2%となっているのに対し，生活困窮層では68.0%となっています。

また，「ない／ほしい」は，小学5年生の生活困窮層で11.1%，周辺層で10.3%，中学2年生の生活困窮層で4.0%，周辺層で1.6%となっています。

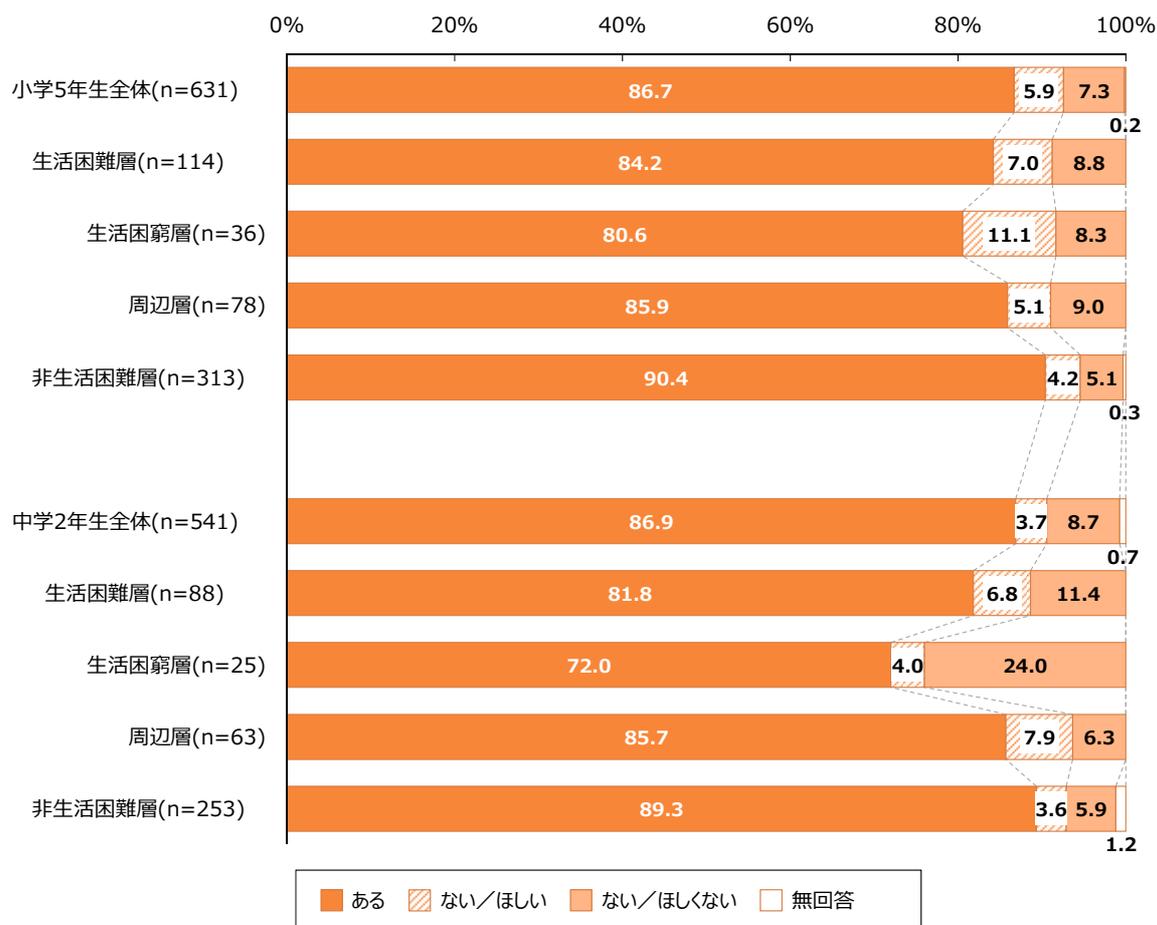
一方，「ない／ほしくない」は，小学5年生の生活困窮層で25.0%，中学2年生の生活困窮層で28.0%となっています。



## G ゲーム機

ゲーム機の所有状況については、「ある」が、中学2年生の生活困窮層で72.0%とやや低くなっているほかは8割を超えており、生活困難度による差がさほどみられません。

「ない／ほしい」の割合は、小学5年生の生活困窮層で11.1%と、やや高くなっており、「ない／ほしくない」は中学2年生の生活困窮層で24.0%とやや高くなっています。ゲーム機を所有していない生活困窮層の子どもが、小学5年生では「ほしい」、中学2年生では「ほしくない」と回答する傾向がみられます。

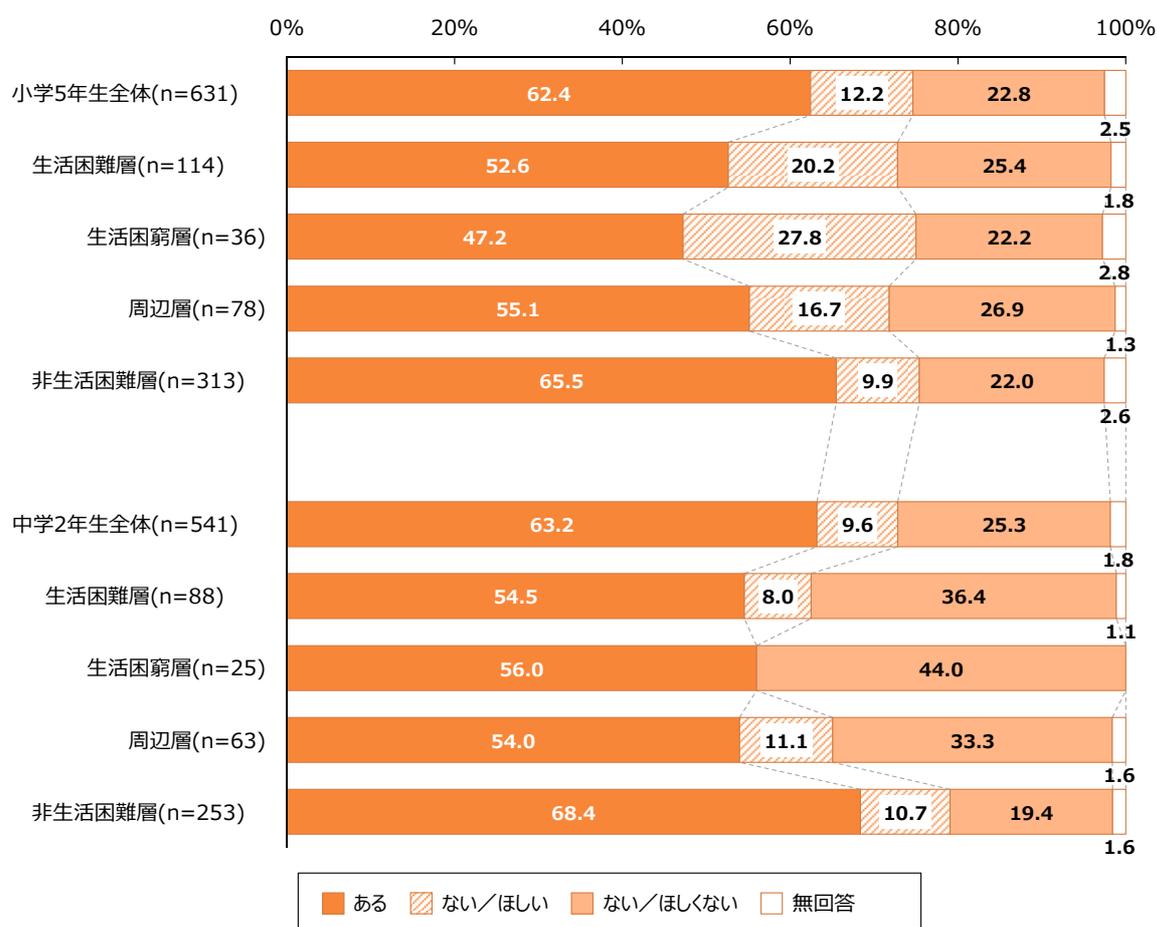


## H たいていの友だちが持っているおもちゃ

たいていの友だちが持っているおもちゃの所有状況について、「ある」は、小学5年生の全体で62.4%、生活困難層で47.2%、周辺層で55.1%、非生活困難層で65.5%、中学2年生の全体で63.2%、生活困難層で56.0%、周辺層で54.0%、非生活困難層で68.4%となっています。

また、「ない／ほしい」は、小学5年生の生活困難層で27.8%、周辺層で16.7%、非生活困難層で9.9%と、生活困難度が高い層ほど割合が高く、中学2年生は生活困難層で8.0%、非生活困難層で10.7%となっています。

一方、中学2年生の生活困難層の44.0%が「ない／ほしくない」と回答しています。

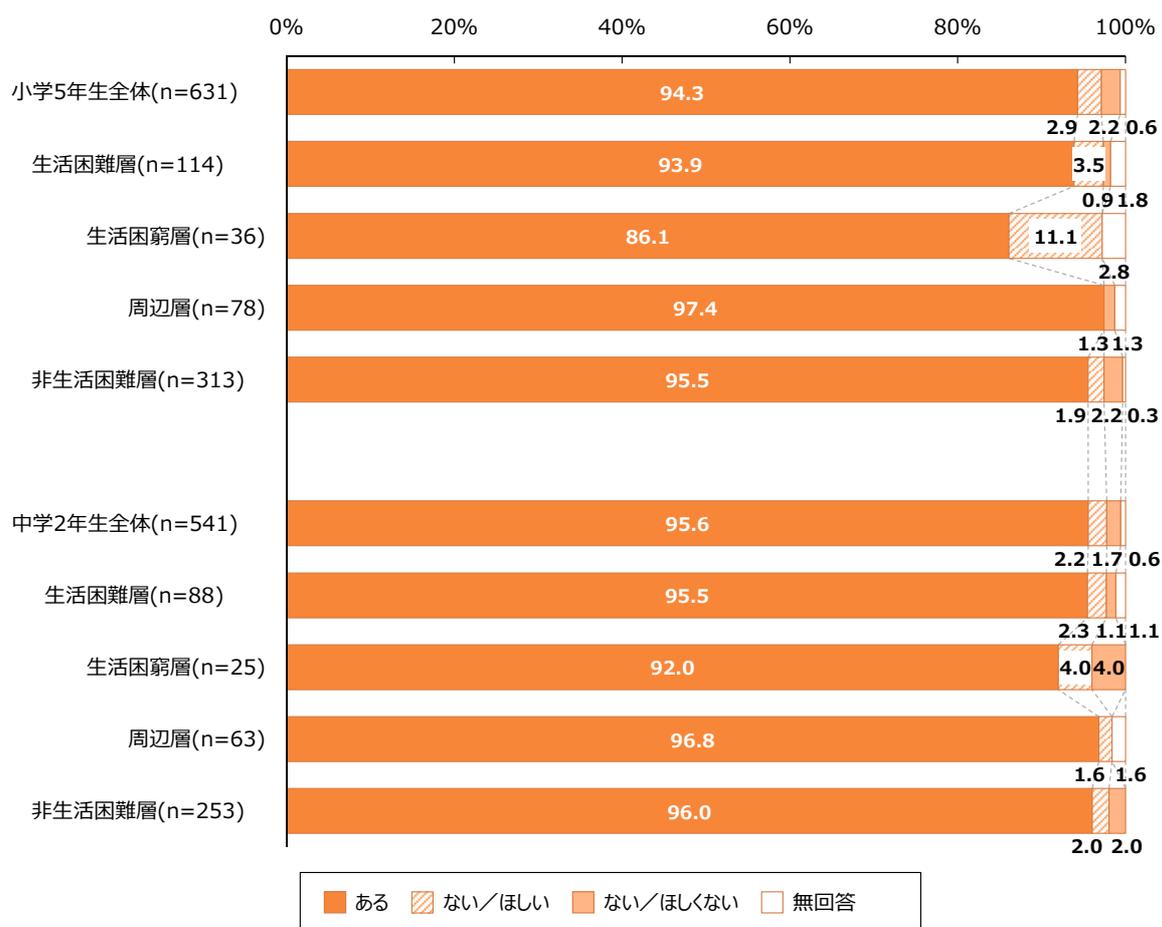


## Ⅰ 自転車

自転車の所有状況について、「ある」は、小学5年生の全体で94.3%、生活困難層で93.9%、非生活困難層で95.5%と、生活困難度による大きな差はみられません。中学2年生では、全体で95.6%、生活困窮層で92.0%、周辺層で96.8%、非生活困難層で96.0%と生活困窮層でやや低くなっています。

また、「ない／ほしい」は、小学5年生の生活困窮層で11.1%とやや高く、周辺層で1.3%、中学2年生の生活困窮層で4.0%、周辺層で1.6%となっています。

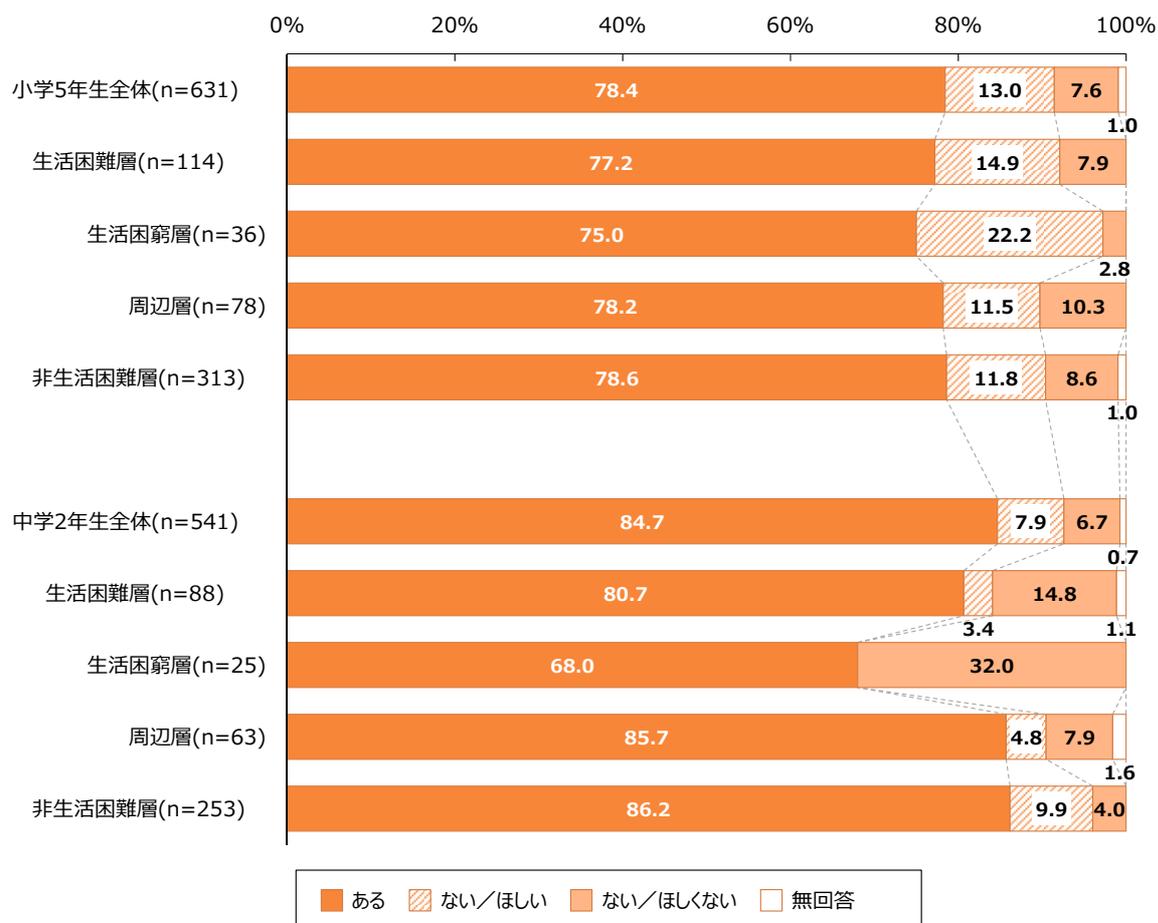
「ない／ほしくない」は、中学2年生の生活困窮層が4.0%と、比較的高くなっています。



## J おやつや、ちょっとしたおもちゃを買うおこづかい

おこづかいについて、「ある」は、中学2年生の生活困窮層が68.0%とやや低くなっているほかは、すべて75%を超えています。

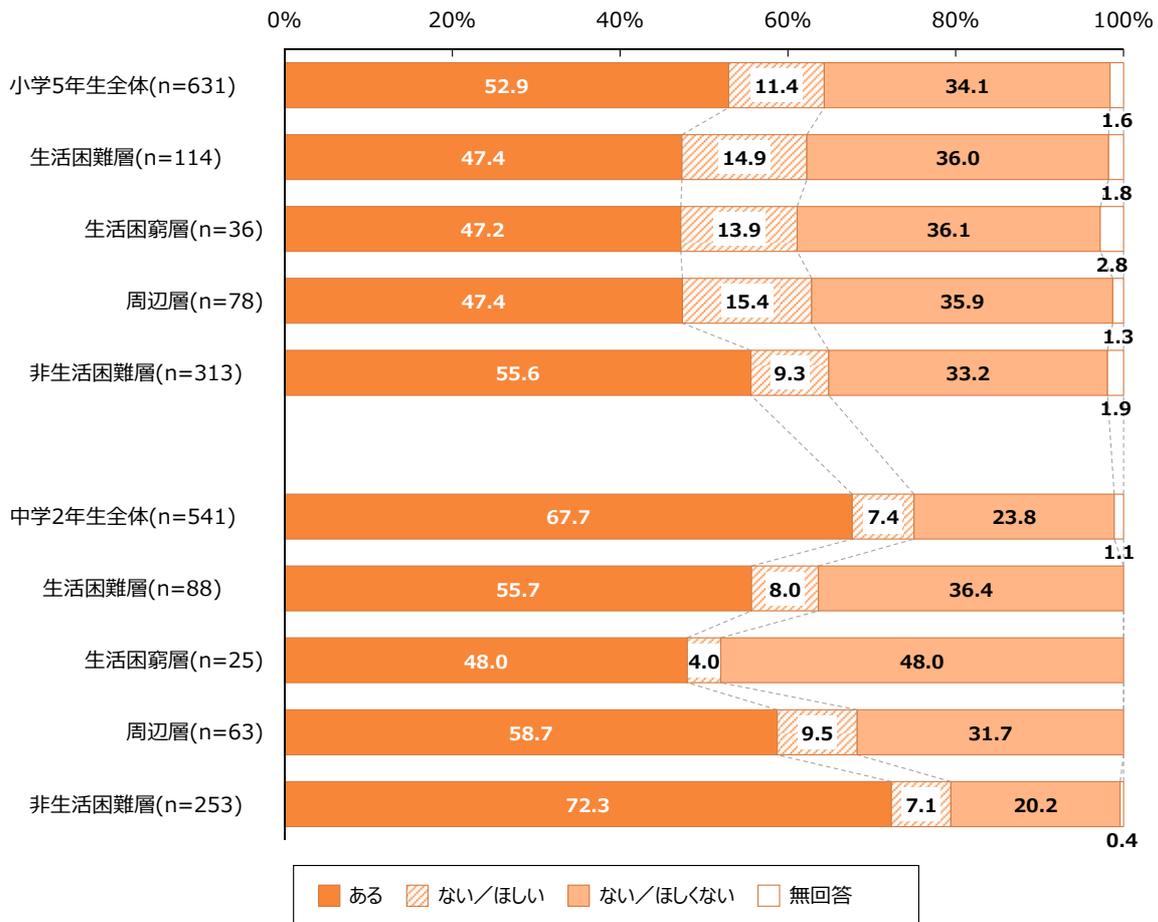
生活困窮層の「ない／ほしい」と「ない／ほしくない」をみると、小学5年生では22.2%が「ない／ほしい」と回答し、中学2年生では32.0%が「ない／ほしくない」と回答しています。「ない」の生活困窮層の子どもが、小学5年生では「ほしい」、中学2年生では「ほしくない」とする傾向がわかります。



## K 友だちが着ているのと同じような服

友だちが着ているのと同じような服の所有状況について、「ある」は、小学5年生の全体で52.9%、生活困窮層で47.2%、周辺層で47.4%、非生活困難層で55.6%、中学2年生は全体が67.7%、生活困窮層で48.0%、周辺層で58.7%、非生活困難層で72.3%となっており、生活困窮層及び小学5年生の周辺層が5割に満たない状況になっています。

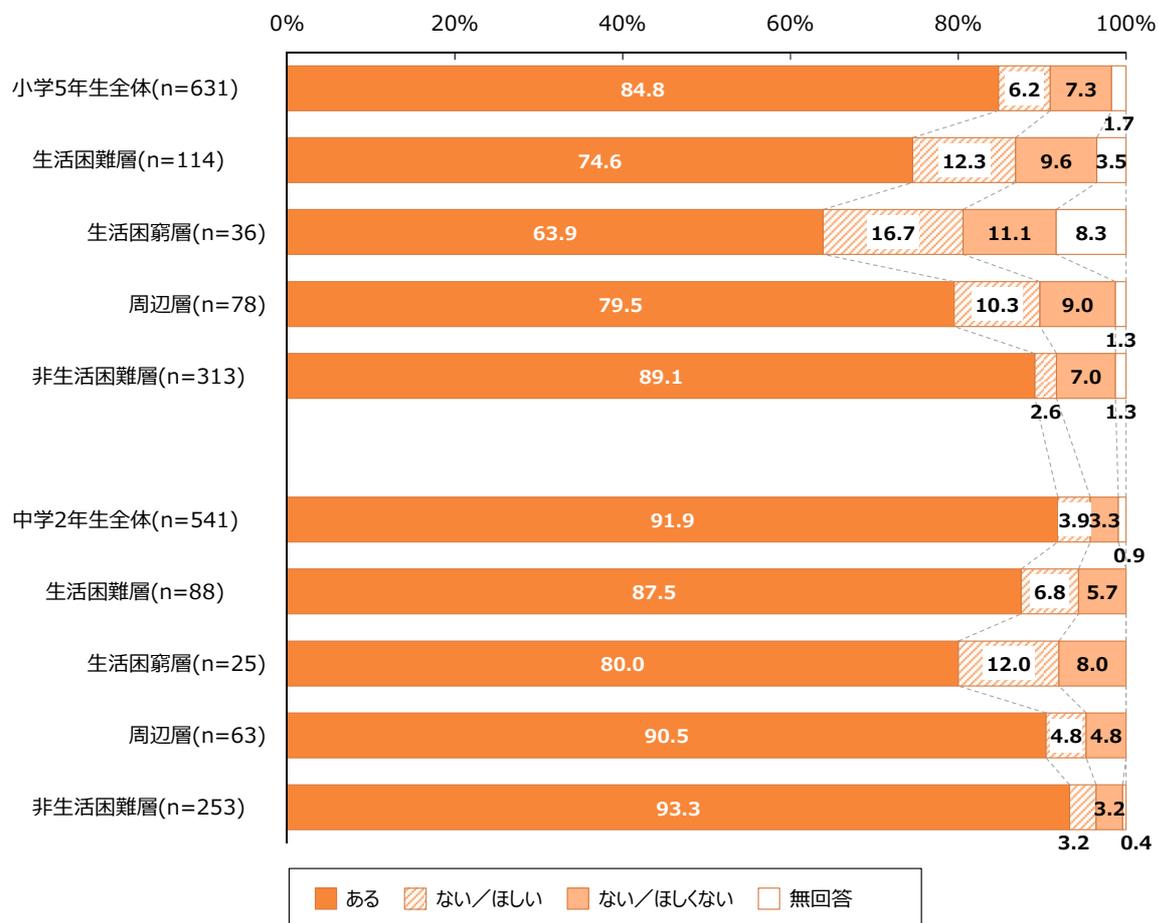
また、生活困窮層での「ない／ほしい」は、小学5年生の36.1%に対し、中学2年生では48.0%となっており、小学5年生よりも中学2年生の方が友だちが着ているのと同じような服を持ちたいと考える傾向がみられます。



## L 2足以上のサイズのあった靴

2足以上のサイズのあった靴の所有状況について、「ある」は、小学5年生の生活困窮層が63.9%で低くなっていることを除き、小学5年生、中学2年生ともほぼ8割を超えています。

また、「ない/ほしい」は、小学5年生の生活困窮層で16.7%、周辺層で10.3%、中学2年生の生活困窮層で12.0%、周辺層で4.8%となっています。

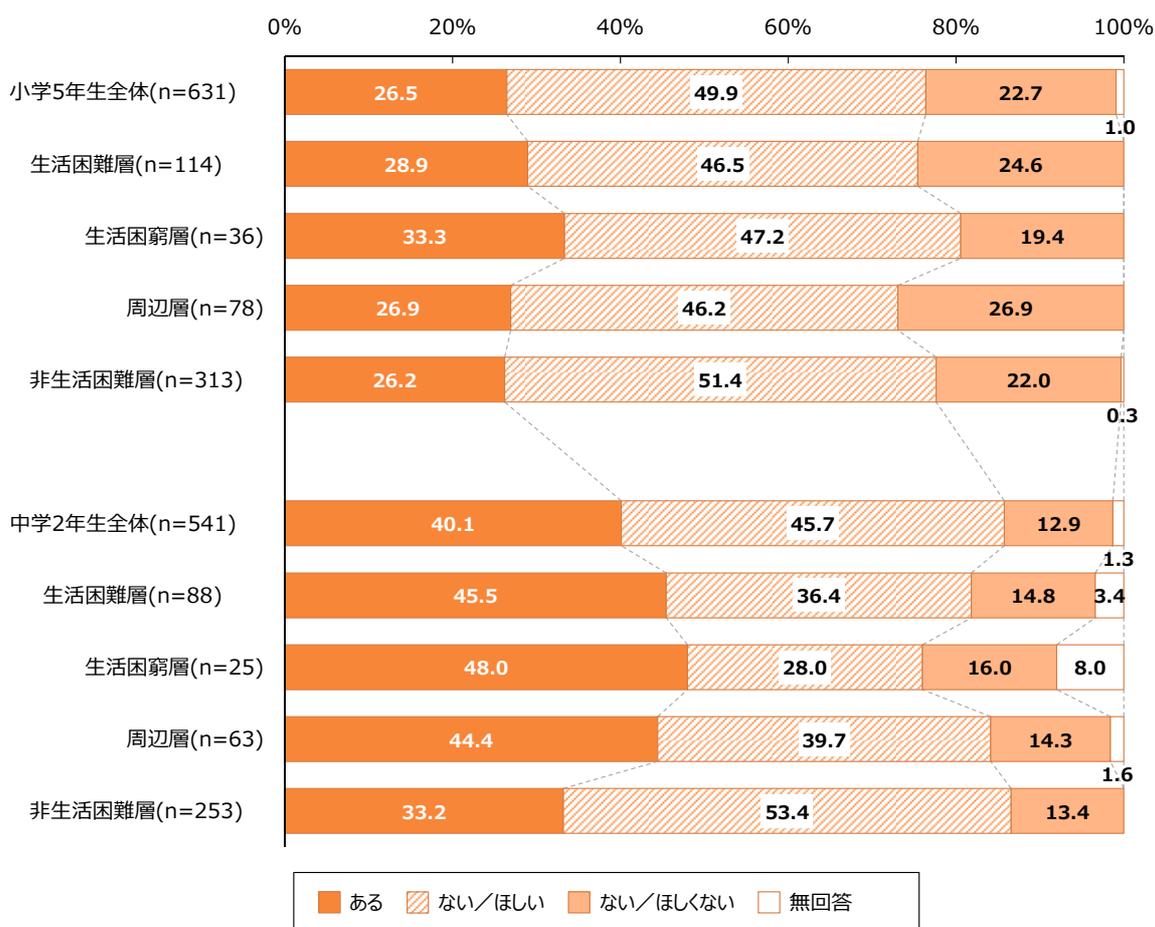


## M 携帯電話，スマートフォン

携帯電話，スマートフォンの所有状況について，「ある」は，小学5年生全体で26.5%，中学2年生全体で40.1%と，中学生の方が所有している割合が高いことがわかります。

また，「ある」は，小学5年生，中学2年生とも生活困窮層の割合が全対の割合を超えており，生活困難度との明確な相関がみられません。

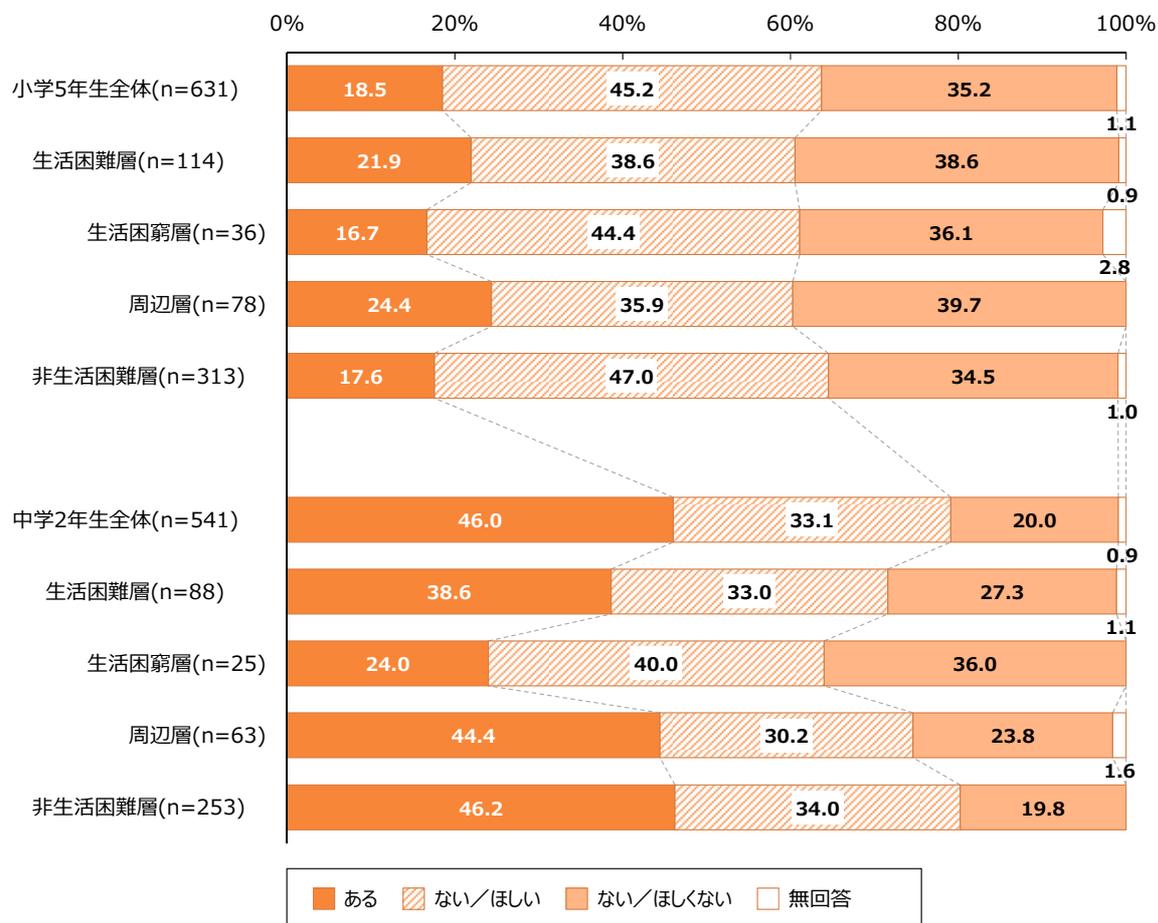
「ない／ほしい」についても，小学5年生の生活困窮層で47.2%，周辺層で46.2%，非生活困難層で51.4%，中学2年生の生活困窮層で28.0%，周辺層で39.7%，非生活困難層で53.4%と，生活困難度との相関がみられません。



## N 携帯音楽プレーヤー

携帯音楽プレーヤーの所有状況について、「ある」は、小学5年生全体で18.5%、中学2年生全体では46.0%と、中学生の方が所有している割合が高いことがわかります。

小学5年生、中学2年生ともに、生活困窮層での「ある」は、周辺層や非生活困難層と比べて低く、所有状況と生活困難度との相関がみられます。



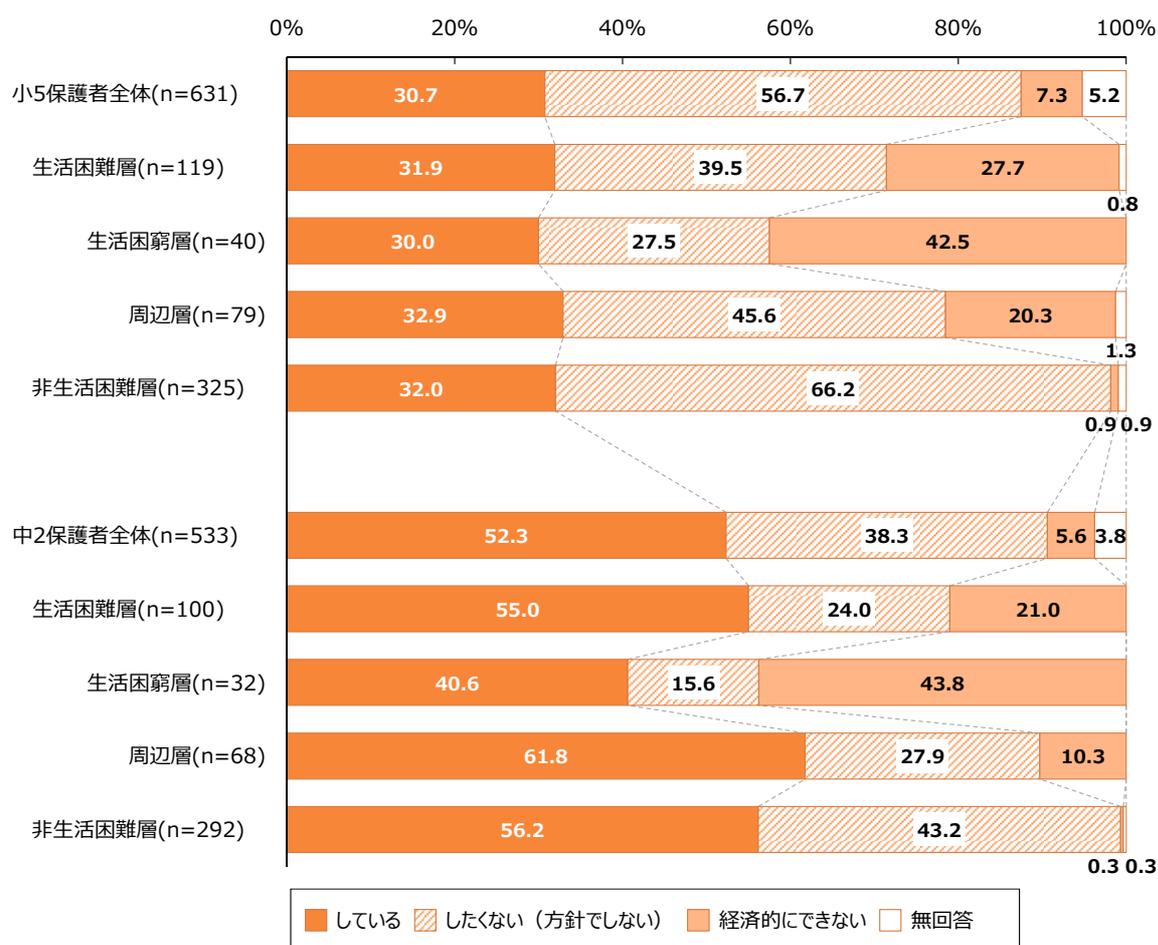
## (2) 子供への支出

▼あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。(保/問 35)

### A 毎月お小遣いを渡す

毎月お小遣いを渡すことについて、「している」は、小学5年生の全体で30.7%、生活困窮層で30.0%、周辺層で32.9%、非生活困難層で32.0%、中学2年生の全体で52.3%、生活困窮層で40.6%、周辺層で61.8%、非生活困難層で56.2%となっています。

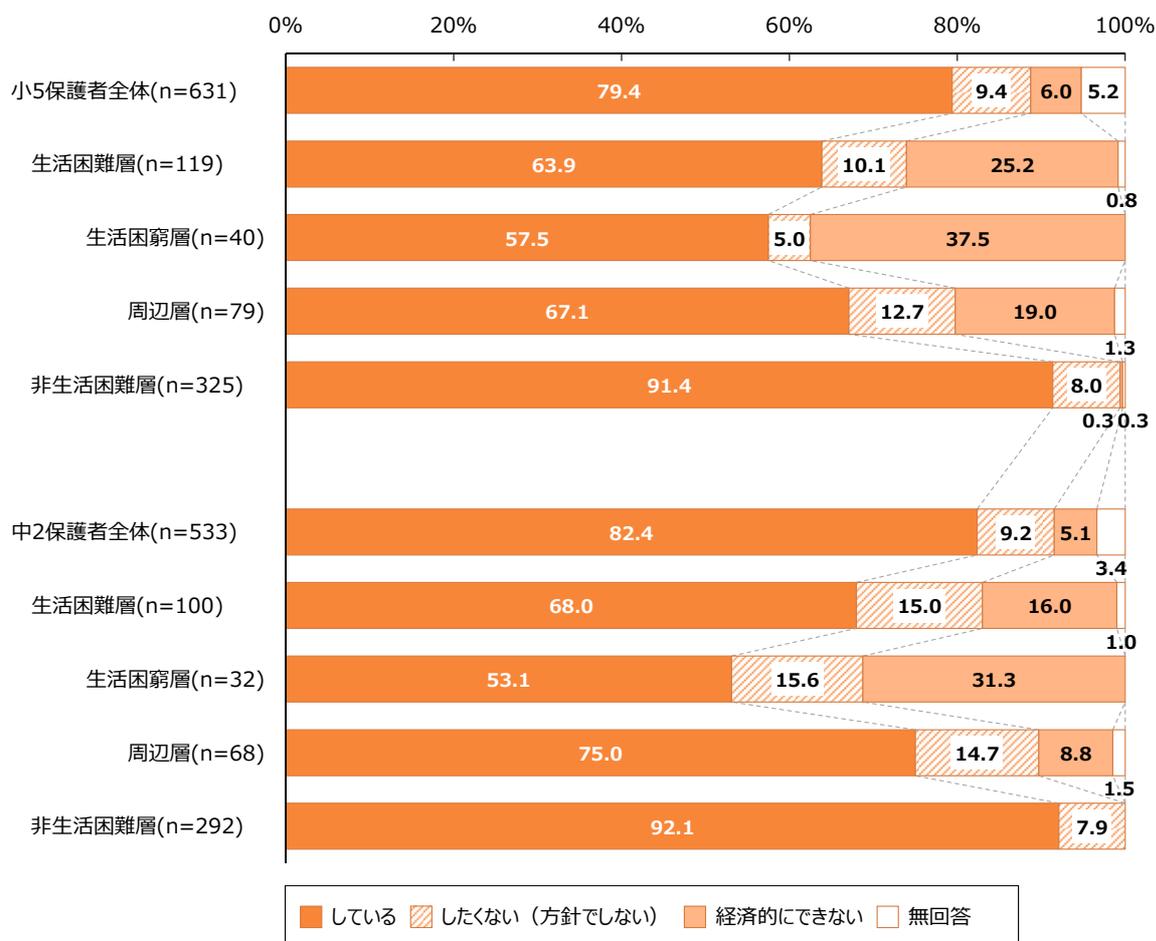
また、「経済的にできない」は、小学5年生の生活困窮層で42.5%、周辺層で20.3%、中学2年生の生活困窮層で43.8%、周辺層で10.3%と生活困窮層の割合が高くなっています。



## B 毎年新しい洋服・靴を買う

毎年新しい洋服・靴を買うことについて、「している」は、小学5年生の全体で79.4%、生活困窮層で57.5%、周辺層で67.1%、非生活困難層で91.4%、中学2年生の全体で82.4%、生活困窮層で53.1%、周辺層で75.0%、非生活困難層で92.1%となっています。

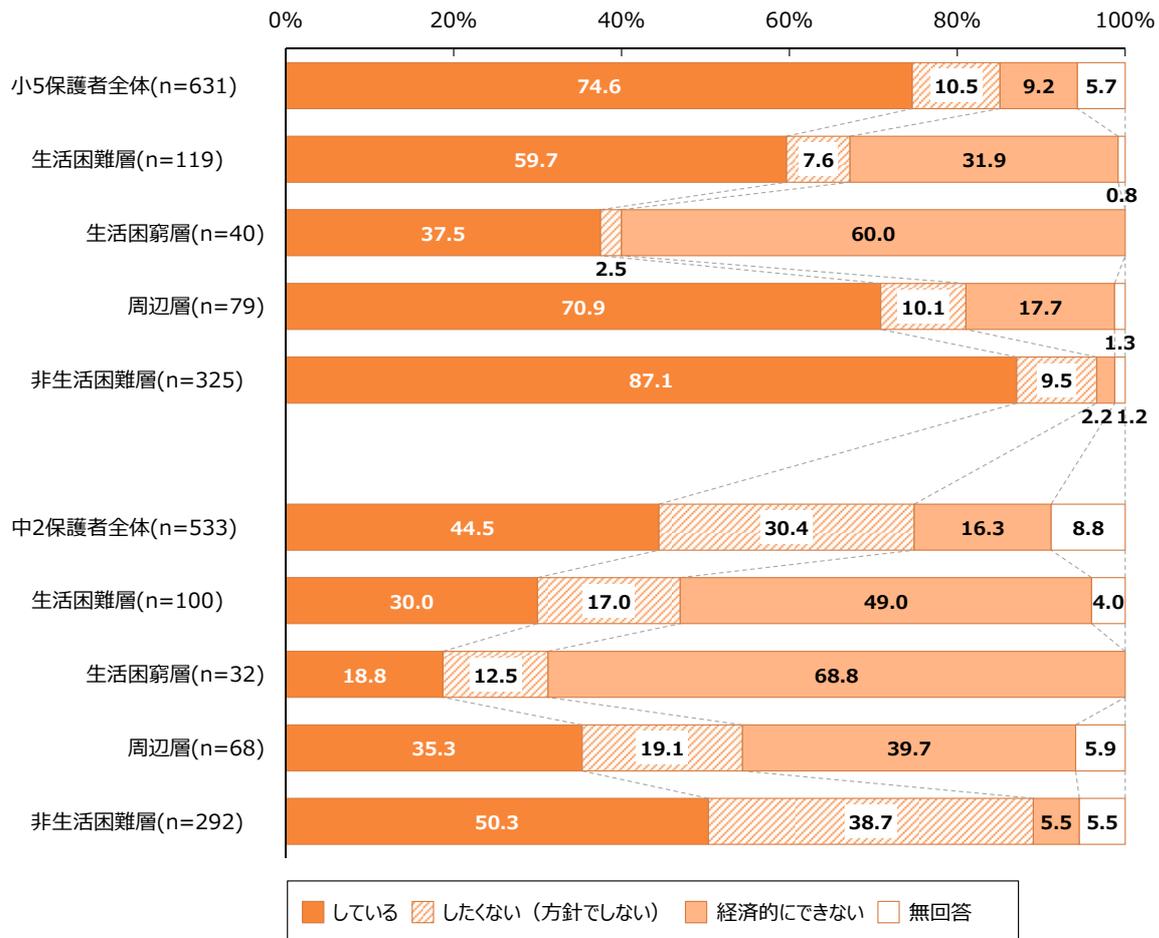
また、「経済的にできない」は、小学5年生の生活困窮層で37.5%、周辺層で19.0%、中学2年生の生活困窮層で31.3%、周辺層で8.8%と生活困窮層の割合が高くなっています。



### C 習いごと（音楽，スポーツ，習字等）に通わせる

習いごとに通わせることについて、「している」は、中学2年生よりも小学5年生で高くなっています。「している」の小学5年生は、全体で74.6%、生活困窮層で37.5%、周辺層で70.9%、非生活困難層で87.1%、中学2年生では、全体で44.5%、生活困窮層で18.8%、周辺層で35.3%、非生活困難層で50.3%となっています。

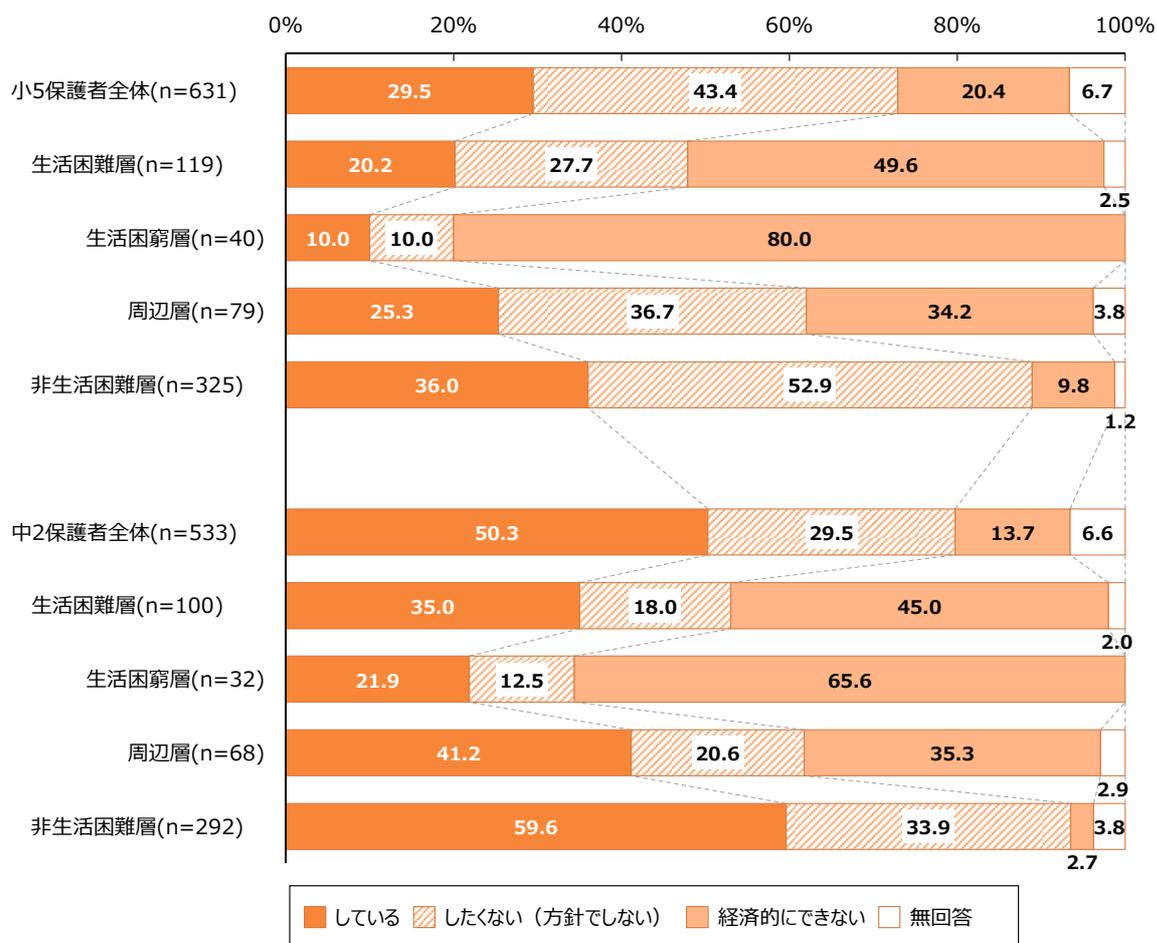
また、「経済的にできない」は、小学5年生の生活困窮層で60.0%と、全体9.2%の約6.5倍、中学2年生では生活困窮層で68.8%と、全体16.3%の約4.2倍となっています。



## D 学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）

学習塾に通わせること等について、「している」は、小学5年生の全体で29.5%、生活困窮層で10.0%、周辺層で25.3%、非生活困難層36.0%、中学2年生では、全体で50.3%、生活困窮層で21.9%、周辺層で41.2%、非生活困難層で59.6%となっています。

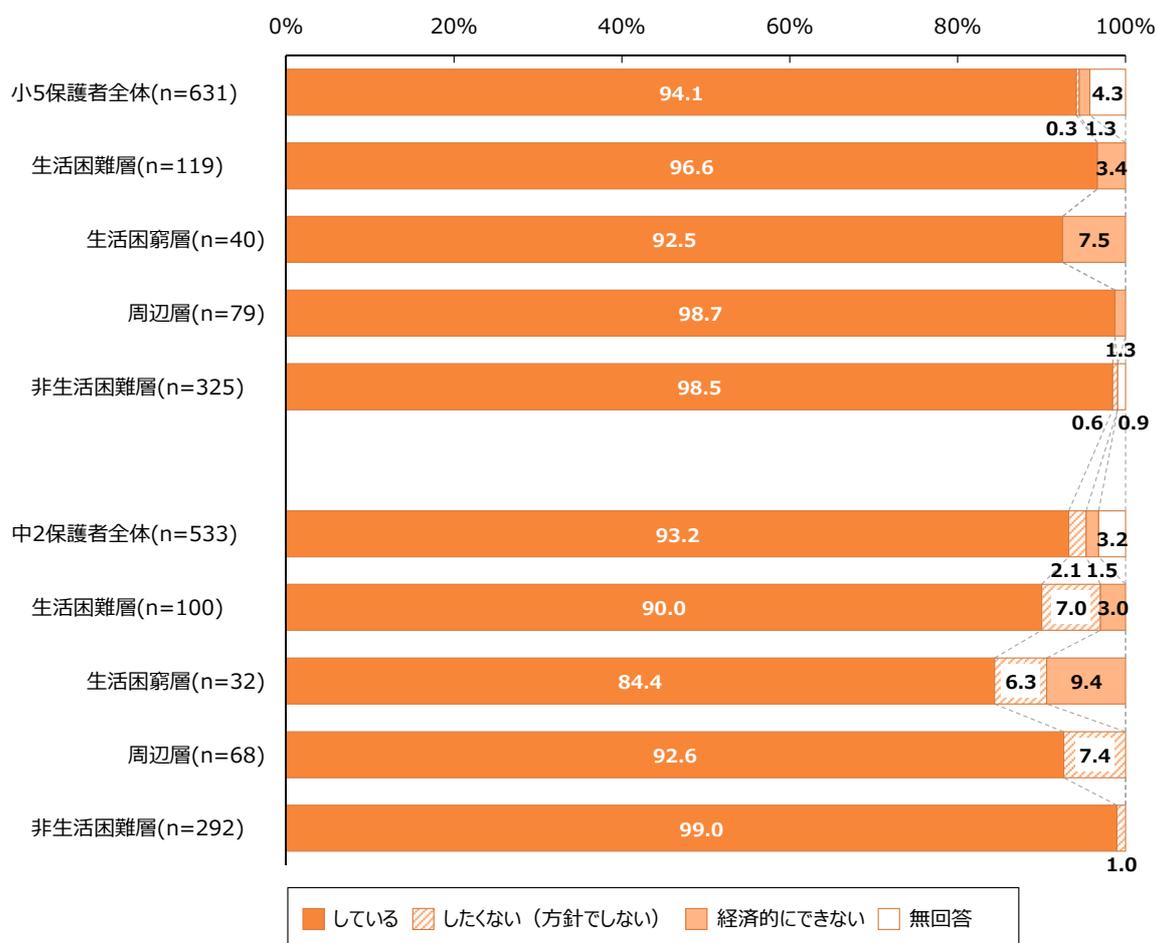
また、「経済的にできない」は、小学5年生の生活困窮層で80.0%、周辺層で34.2%、中学2年生の生活困窮層で65.6%、周辺層で35.3%となっており、小学5年生の生活困窮層で割合が高くなっています。



## E お誕生日のお祝いをする

お誕生日のお祝いをするについては、小学5年生、中学2年生ともに生活困難度による大きな差異はみられず、大多数が「している」と回答していますが、中学2年生の生活困窮層では84.4%と9割を下回っています。

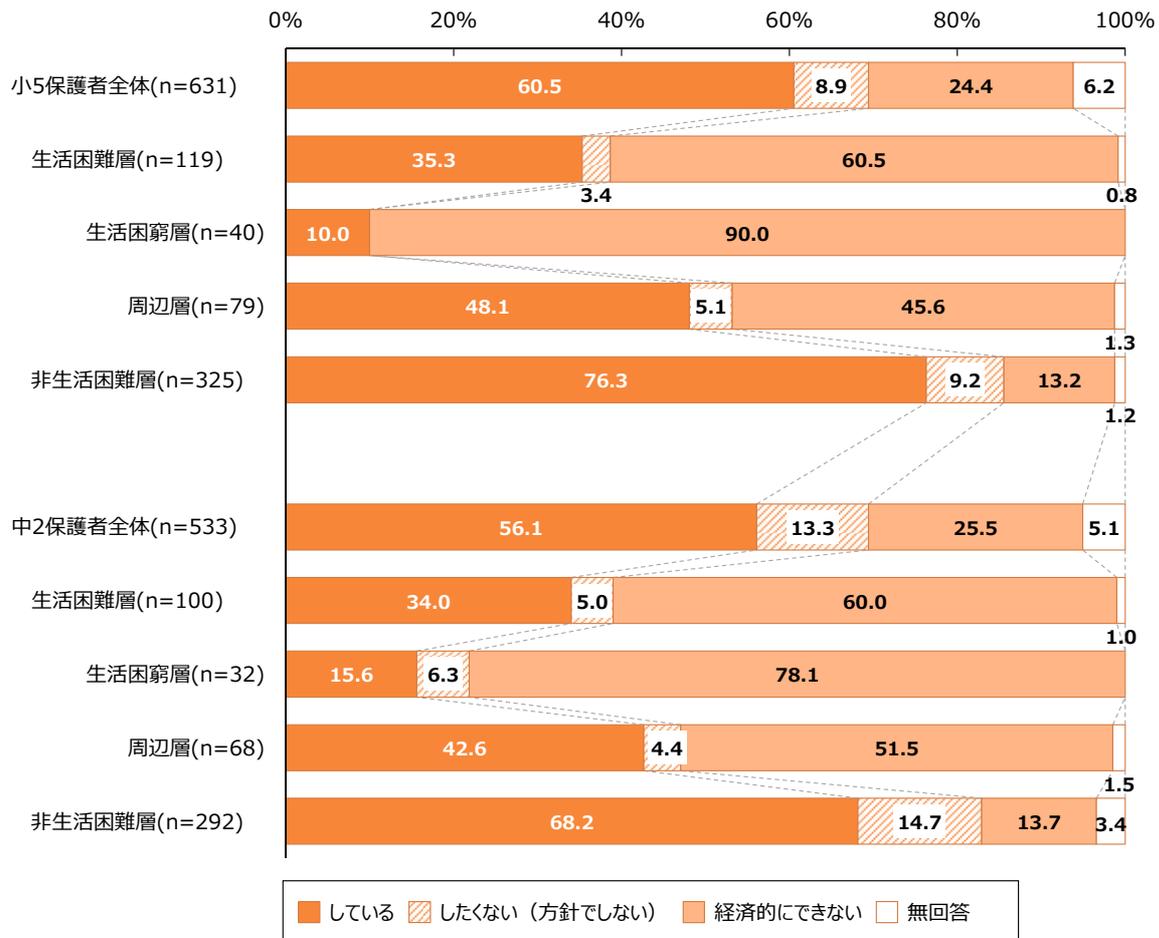
一方、「経済的にできない」は、中学2年生の生活困窮層で9.4%と割合がやや高くなっています。



## F 1年に1回くらい家族旅行に行く

1年に1回くらい家族旅行に行くことについて、「している」は、小学5年生の生活困窮層で10.0%、周辺層で48.1%、非生活困難層で76.3%、中学2年生の生活困窮層で15.6%、周辺層で42.6%、非生活困難層で68.2%となっています。

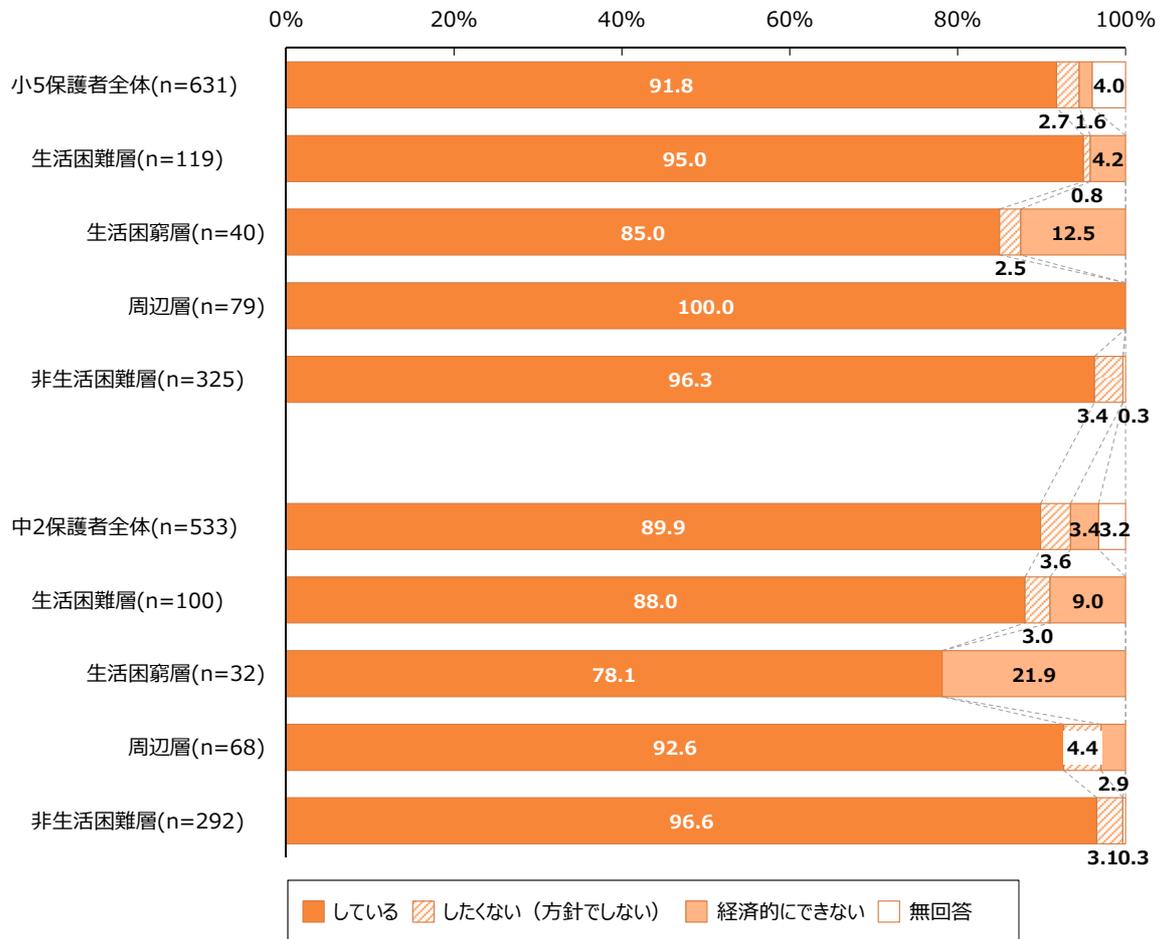
また、「経済的にできない」は、小学5年生の生活困窮層で90.0%、周辺層で45.6%、中学2年生は、生活困窮層で78.1%、周辺層で51.5%となっており、小学5年生、中学2年生ともに生活困窮層で非常に高い割合を占める状況となっています。



## G クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる

クリスマスプレゼントやお正月のお年玉をあげることについて、小学5年生の全体で91.8%、中学2年生の全体で89.9%が「している」と回答しています。

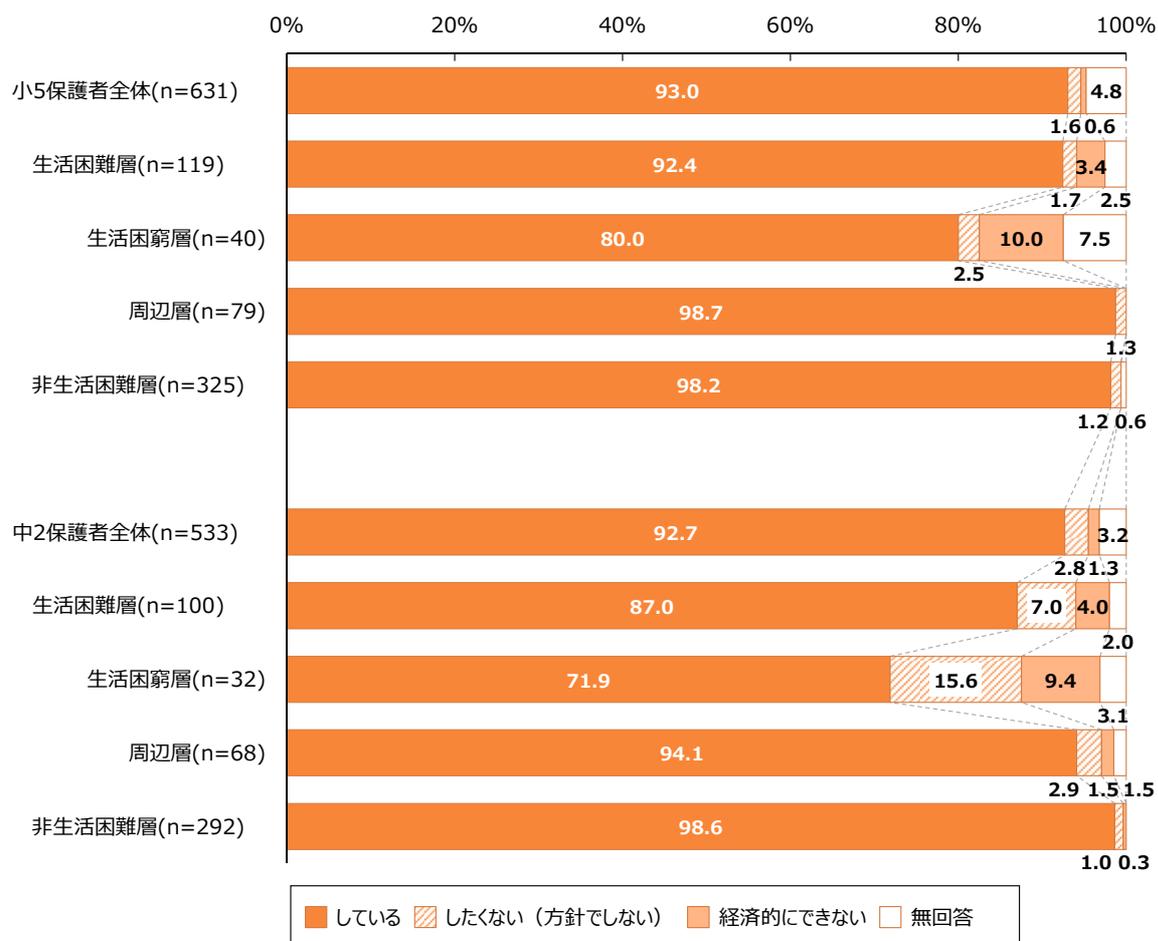
また、「経済的にできない」は、小学5年生の生活困窮層で12.5%、中学2年生の生活困窮層で21.9%となっており、生活困窮層での割合が高くなっています。



## H お子さんの学校行事などへ保護者が参加する

学校の行事などへ保護者が参加について、小学5年生では全体で93.0%が「している」と回答しており生活困難度による大きな差はみられません。中学2年生でも全体で92.7%が「している」と回答していますが、生活困窮層では71.9%とやや低くなっています。

また、「経済的にできない」は、小学5年生の生活困窮層で10.0%、中学2年生の生活困窮層で9.4%となっています。「したくない(方針ではない)」は、中学2年生の生活困窮層で15.6%と高くなっています。



### (3) 子供の体験

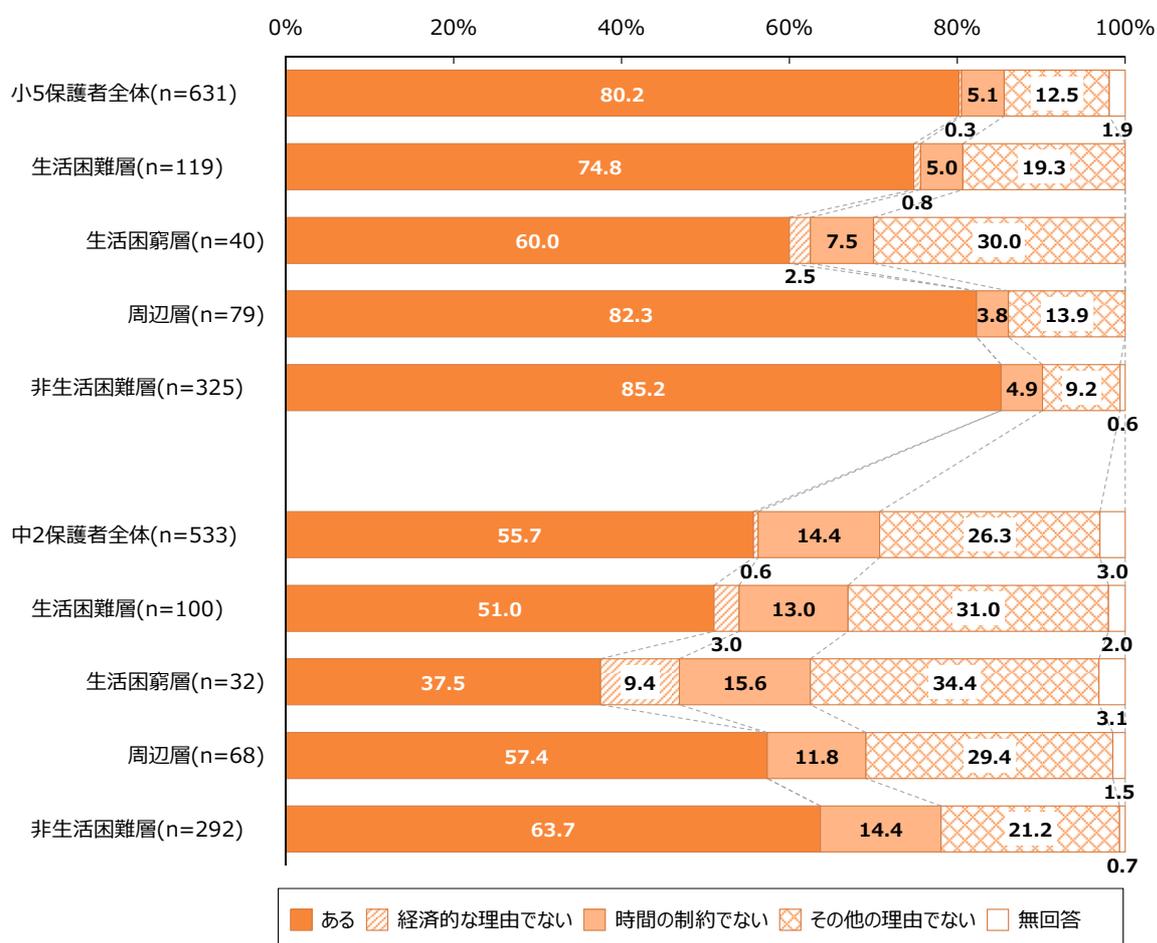
▼あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をすることがありますか。(保/問 27)

#### A 海水浴に行く

海水浴に行くことについて、小学5年生では全体で80.2%が「ある」と回答しているのに対し、中学2年生の全体では55.7%となっています。

中学2年生では、生活困窮層で、「ある」が37.5%となり、割合が低くなっています。

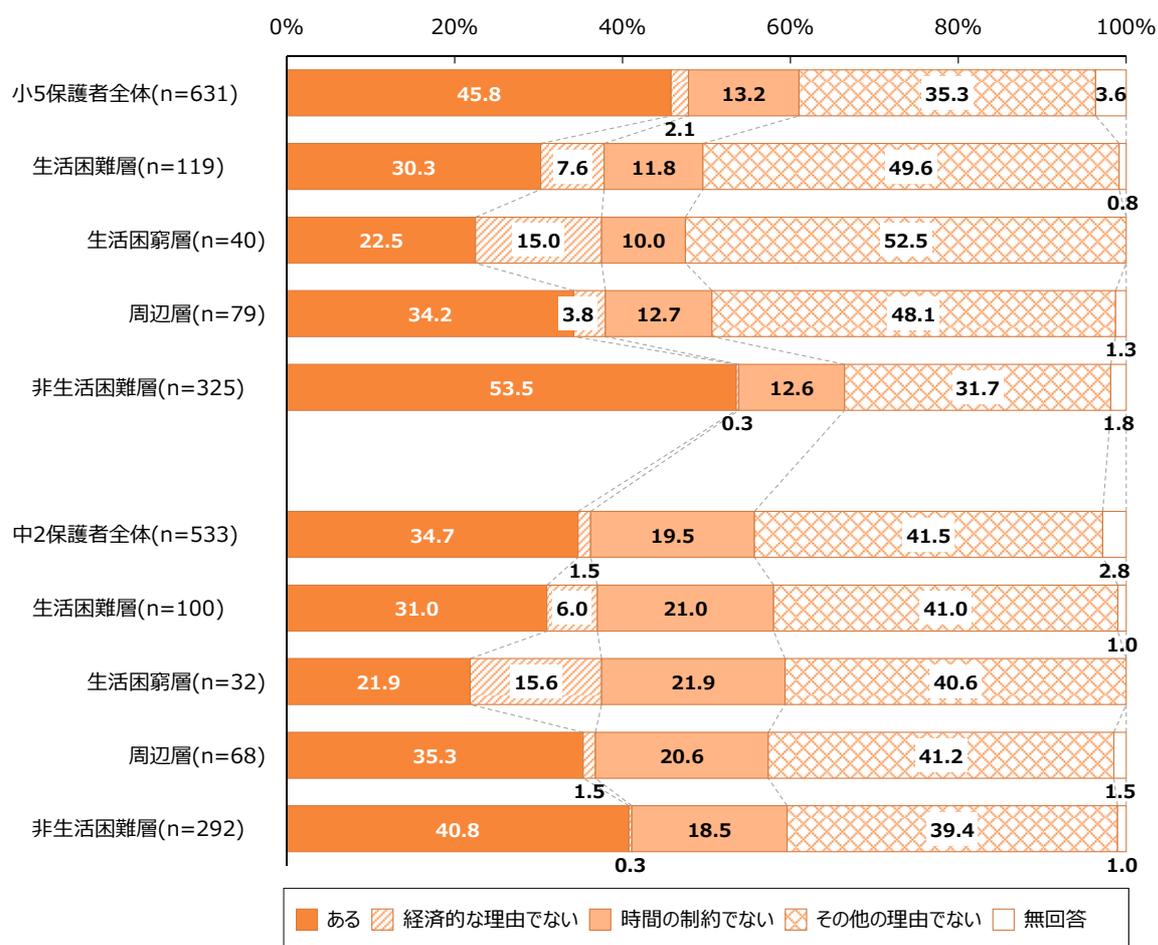
また、「経済的な理由でない」は、中学2年生の生活困窮層で9.4%となっているほかは総じて少なくなっており、対して「時間の制約でない」と「その他の理由でない」の割合が高くなっていることなどから、親子での海水浴の機会は必ずしも生活困難度との明確な相関があるわけではないことがうかがえます。ただし、時間の制約については、保護者の就労状況などとの関連がある可能性もあり、これは以下に続く親子で過ごす体験全般について留意が必要な点と思われます。



## B 博物館・科学館・美術館などに行く

博物館などに行くことについて、「ある」は、小学5年生の全体で45.8%、生活困窮層で22.5%、周辺層で34.2%、非生活困難層で53.5%となっているのに対し、中学2年生では総じて割合が低く、全体で34.7%、生活困窮層で21.9%、周辺層で35.3%、非生活困難層で40.8%となっています。

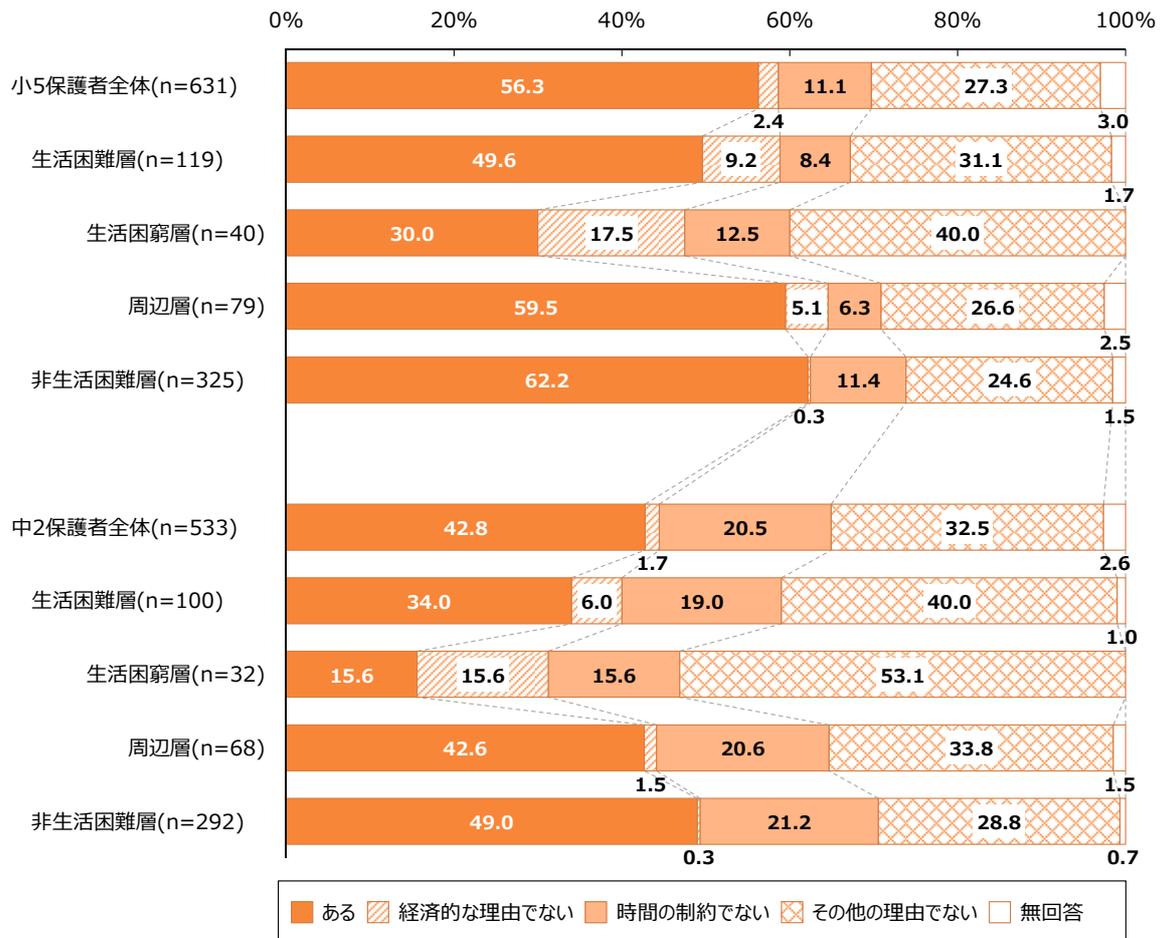
また、「経済的な理由でない」は小学5年生の生活困窮層で15.0%、中学2年生の生活困窮層で15.6%とやや高くなっている一方、いずれでも「時間の制約でない」と「その他の理由でない」が高くなっていることから、親子で博物館などに行くことについては必ずしも生活困難度との明確な相関があるわけではないことがうかがえます。



## C キャンプやバーベキューに行く

キャンプやバーベキューに行くことについて、「ある」は、小学5年生の全体で56.3%、生活困窮層で30.0%、周辺層で59.5%、非生活困難層で62.2%、中学2年生の全体で42.8%、生活困窮層で15.6%、周辺層で42.6%、非生活困難層で49.0%と生活困難度が高くなるにつれ減少しています。

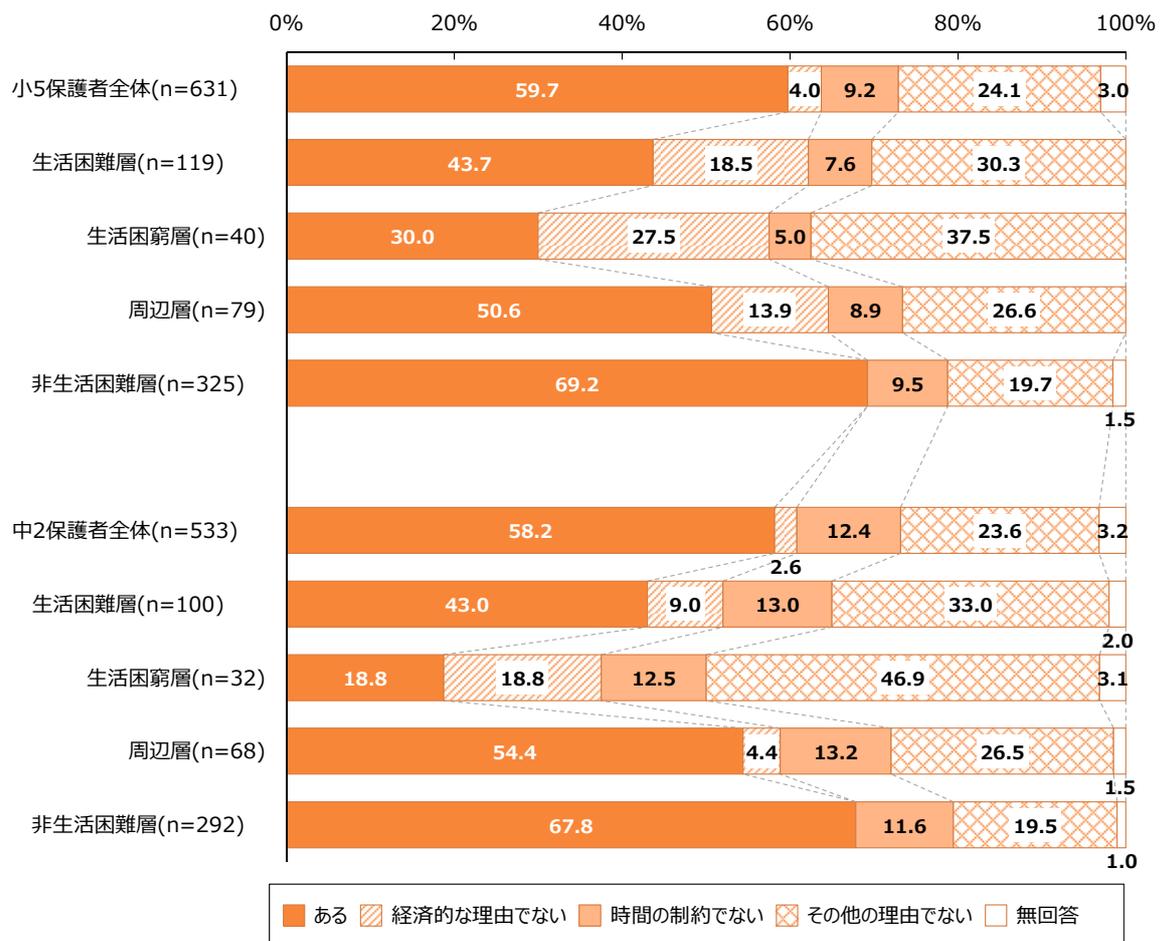
また、「経済的な理由でない」は生活困窮層で高く、小学5年生で17.5%、中学2年生で15.6%となっています。



## D スポーツ観戦や劇場に行く

スポーツ観戦や劇場に行くことについて、「ある」は、小学5年生の全体で59.7%、非生活困難層で69.2%であるのに対し、生活困窮層で30.0%、周辺層で50.6%となっています。中学2年生の全体では「ある」が58.2%、非生活困難層で67.8%であるのに対し、生活困窮層で18.8%、周辺層で54.4%となっており、いずれの年齢層でも生活困窮層の割合が低くなっています。

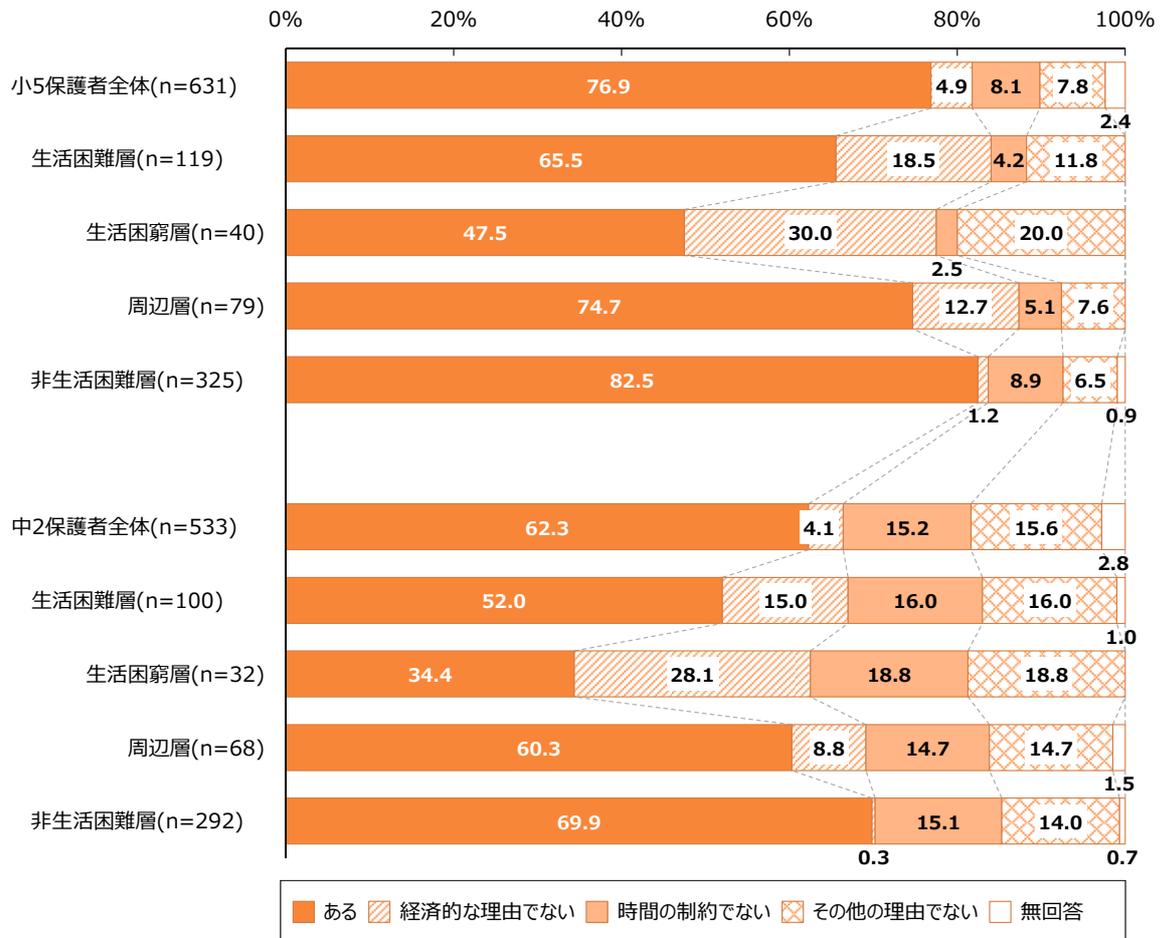
また、「経済的な理由でない」は生活困窮層で高く、小学5年生の27.5%、中学2年生の18.8%となっています。



## E 遊園地やテーマパークに行く

遊園地やテーマパークに行くことについて、「ある」は、小学5年生の全体で76.9%、中学2年生の全体で62.3%となり、子どもの成長に伴っての機会の減少がうかがえます。非生活困難層であっても小学5年生での82.5%に対し、中学2年生では69.9%となっています。

「経済的な理由でない」は生活困窮層で高く、小学5年生で30.0%、中学2年生で28.1%となっており、3割程度を占めています。



### 3 子どもの食と栄養

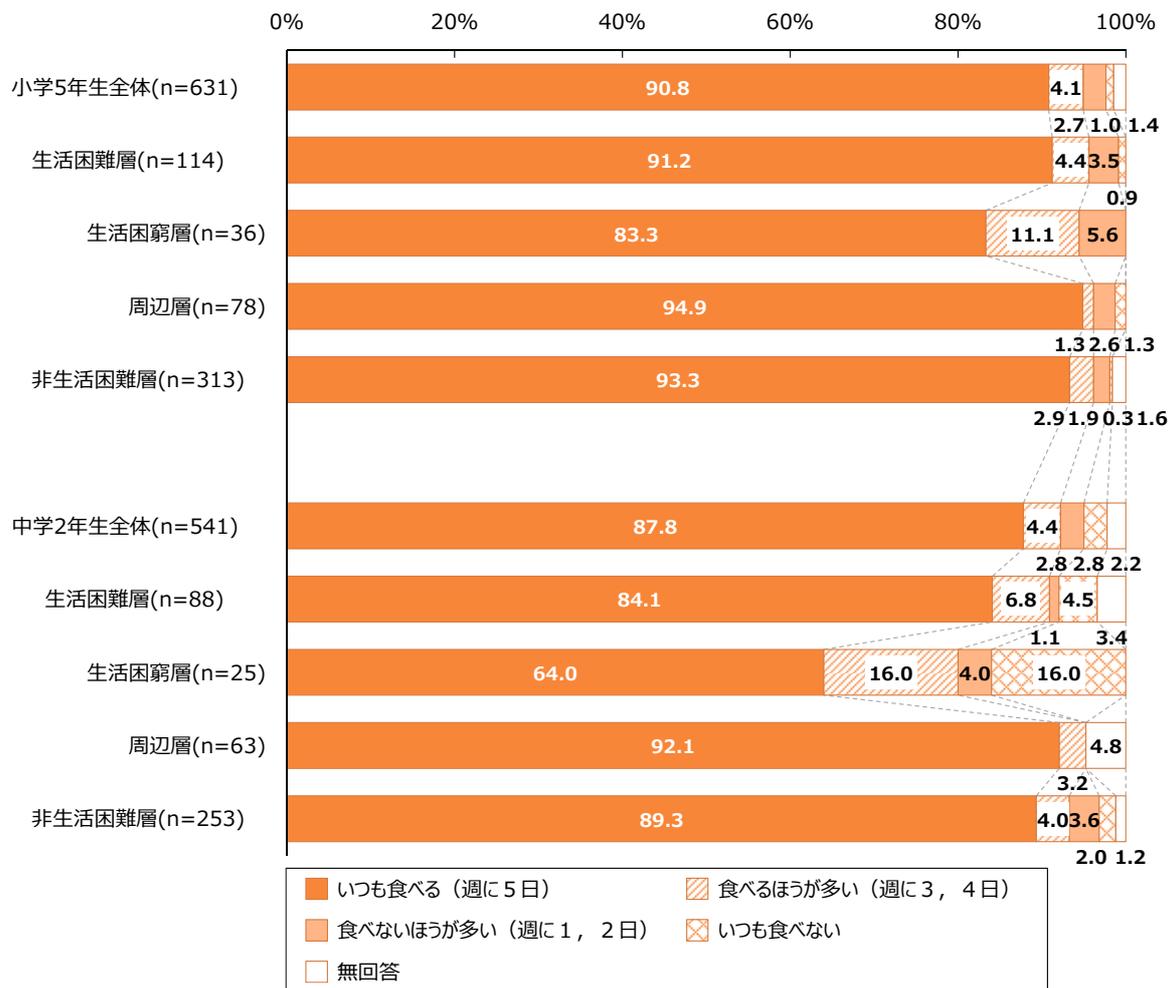
#### (1) 朝食の摂取状況

▼あなたは、平日（学校に行く日）に毎日、朝ごはんを食べますか。（子/問 21）

朝食の摂取状況について、小学5年生、中学2年生とも生活困難度による大きな差はみられず「いつも食べる」が9割前後を占めています。

一方、小学5年生の生活困窮層の5.6%、中学2年生の生活困窮層の4.0%は「食べないほうが多い（週に1, 2日）」と回答しています。

また、中学2年生の生活困窮層では「いつも食べない」が16.0%と高くなっています。

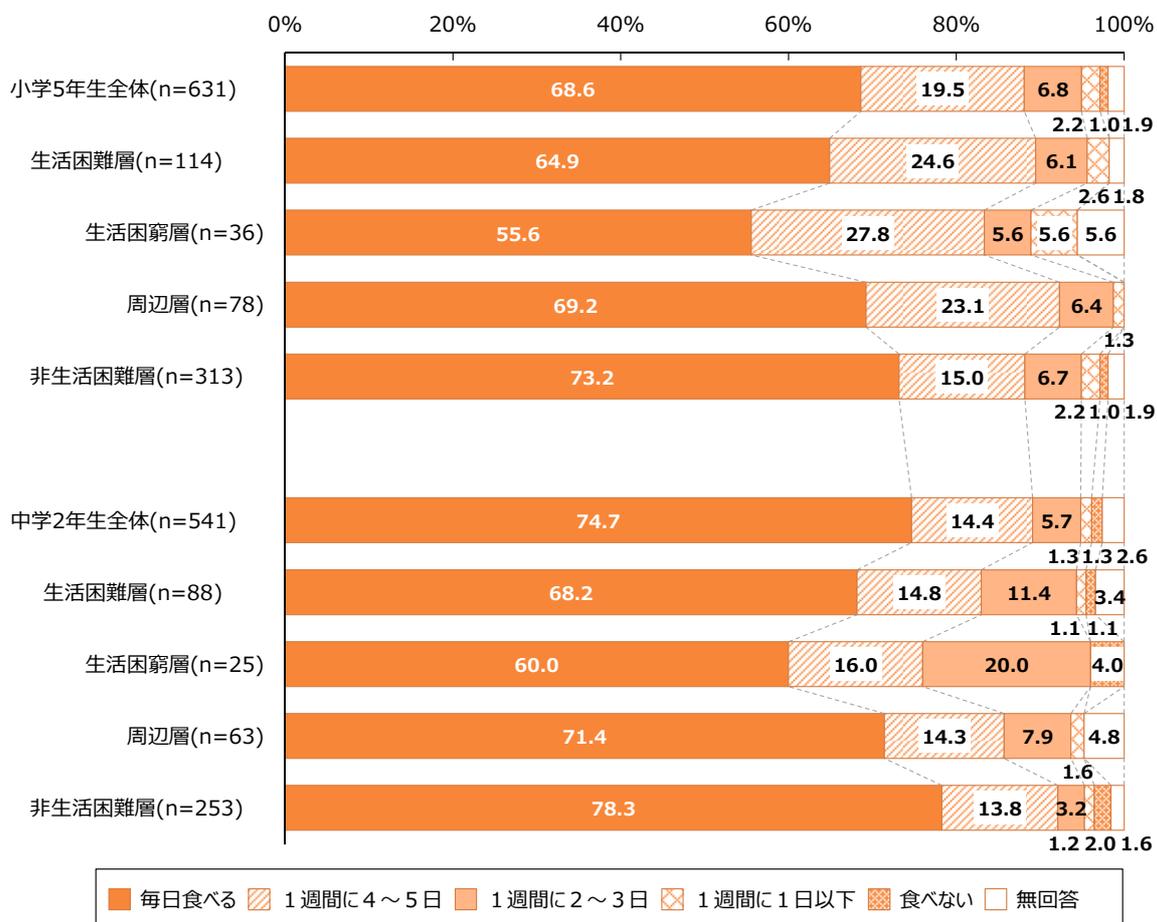


## (2) 栄養群の摂取状況

▼あなたは、給食をのぞいて、次の食物をふだんどれくらい食べますか。(子/問 24)

### A 野菜

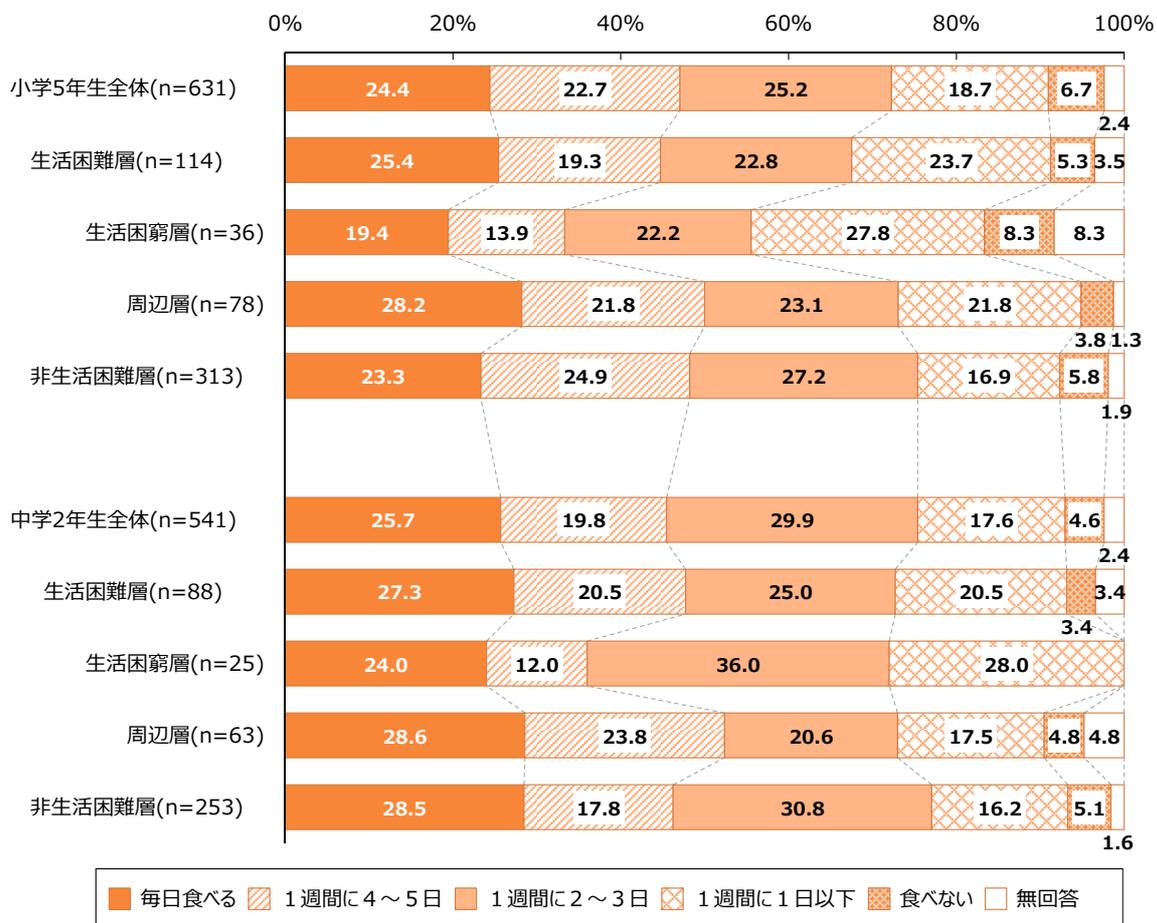
野菜を食べる頻度について、「毎日食べる」「1週間に4～5日」を合わせると、小学5年生、中学2年生とも、75%以上を占めており、生活困難度による大きな差はみられません。



## B くだもの

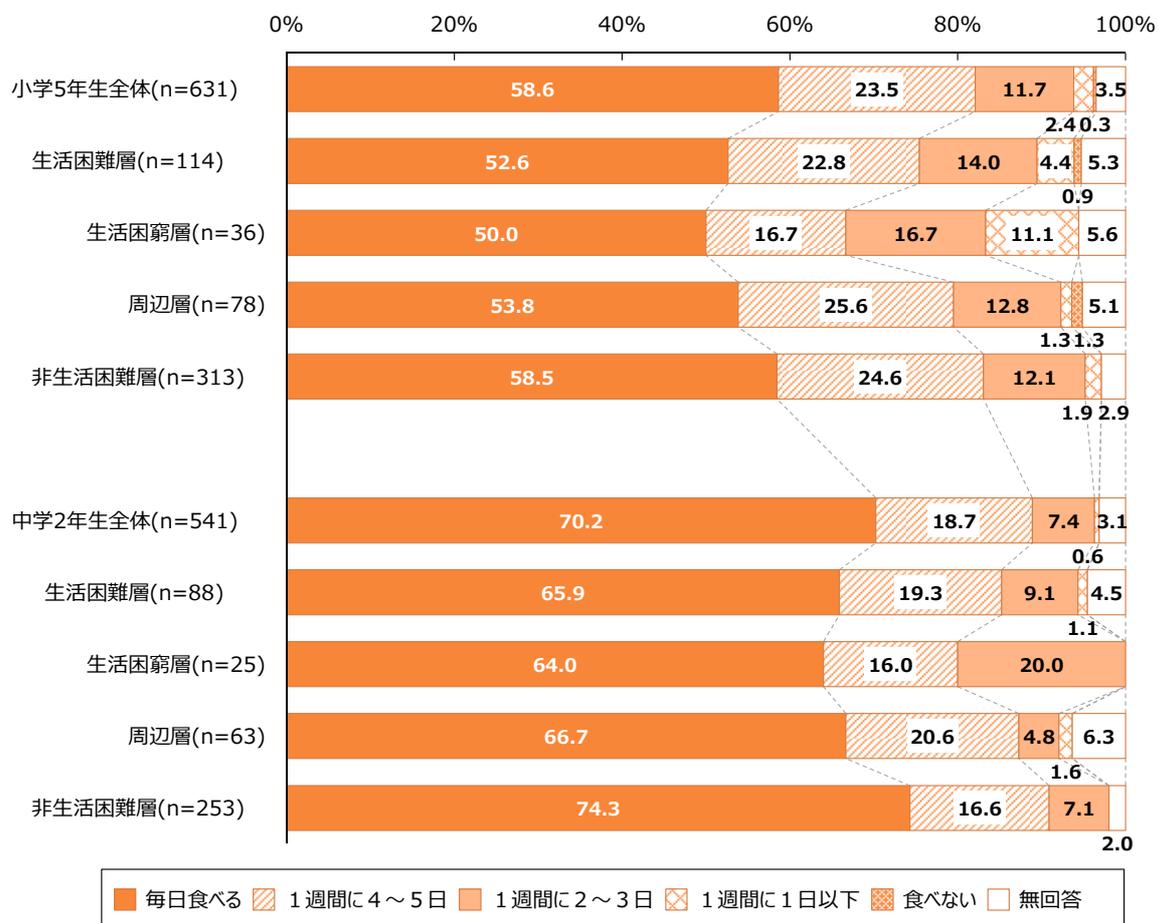
くだものを食べる頻度について、「毎日食べる」は、小学5年生の生活困窮層のみが19.4%と2割を下回っていますが、総じて25.0%前後が「毎日食べる」と回答しており、生活困難度との明確な相関はみられません。

一方、中学2年生の生活困窮層では28.0%が、「1週間に1日以下」と回答しています。



## C 肉や魚

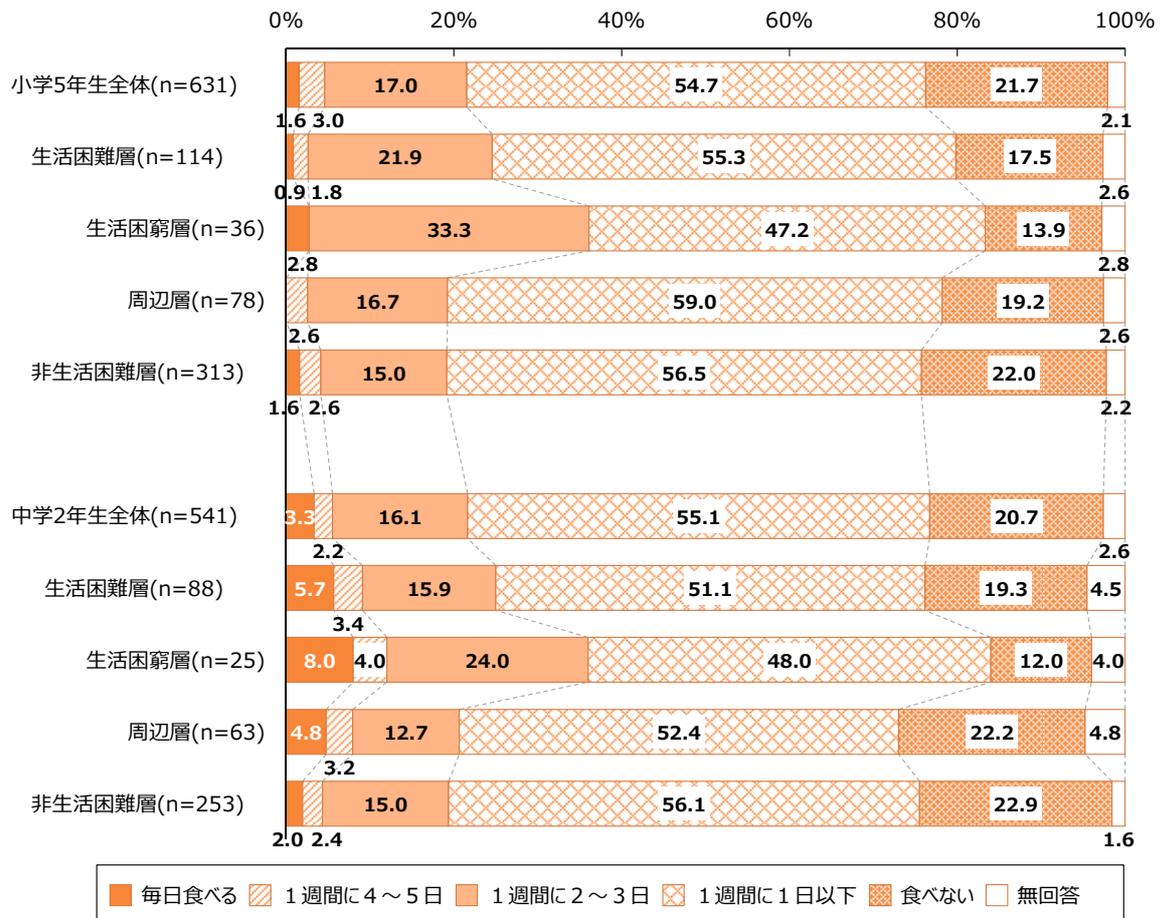
肉や魚を食べる頻度について、「毎日食べる」は、小学5年生の全体で58.6%、生活困窮層で50.0%、周辺層で53.8%、非生活困難層で58.5%、中学2年生は全体で70.2%、生活困窮層で64.0%、周辺層で66.7%、非生活困難層で74.3%と生活困難度が高くなるにつれ減少しています。



## D カップめん・インスタントめん

カップめん・インスタントめんを食べる頻度については、小学5年生、中学2年生とも生活困難度による大きな差はみられず、「1週間に1日以下」が5割前後となっています。

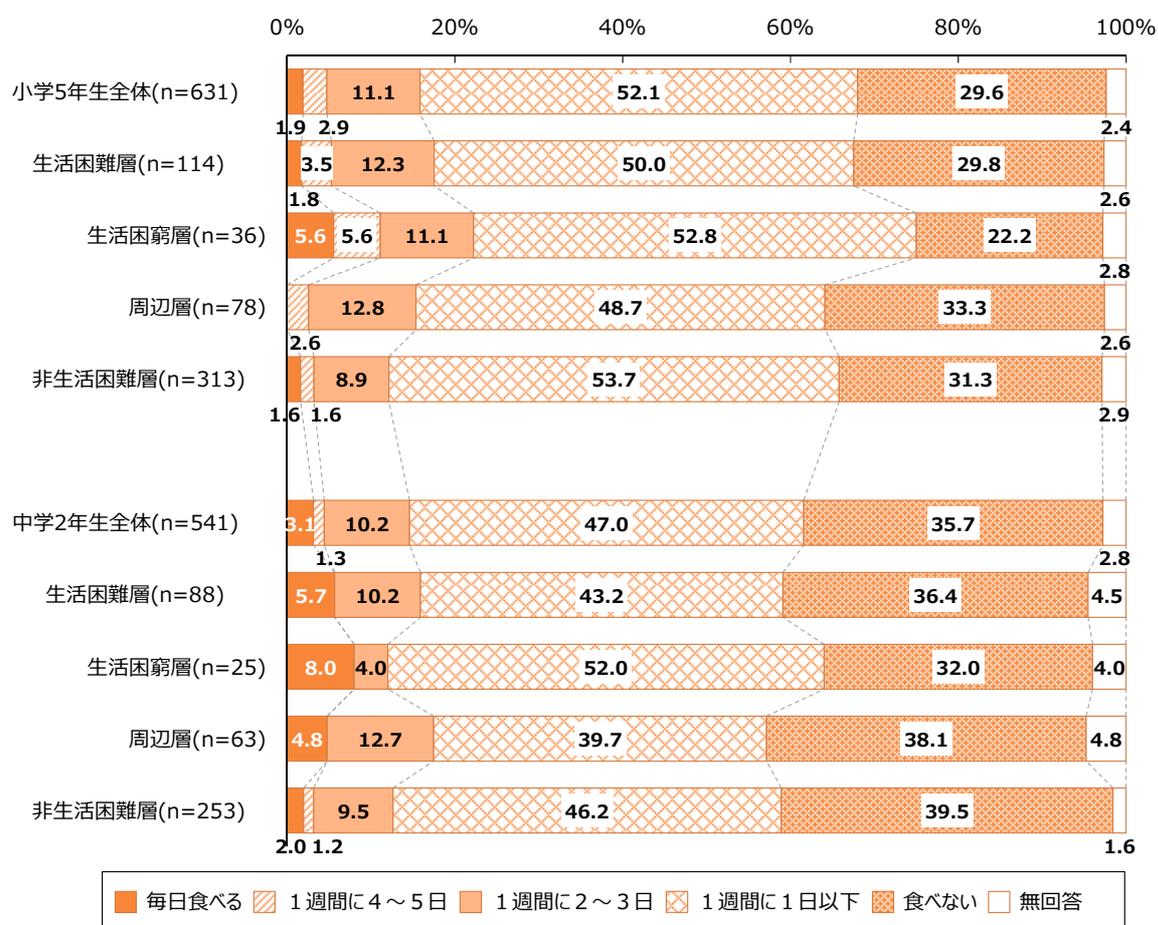
一方、中学2年生の生活困窮層では「毎日食べる」が8.0%、「1週間に4～5日」が4.0%、「1週間に2～3日」が24.0%と、カップめん・インスタントめんを食べる頻度がやや高くなっています。



## E コンビニのおにぎり・お弁当

コンビニのおにぎり・お弁当を食べる頻度については、小学5年生、中学2年生とも生活困難度による大きな差はみられず、「1週間に1日以下」が4～5割程度、「食べない」が2～4割となっています。

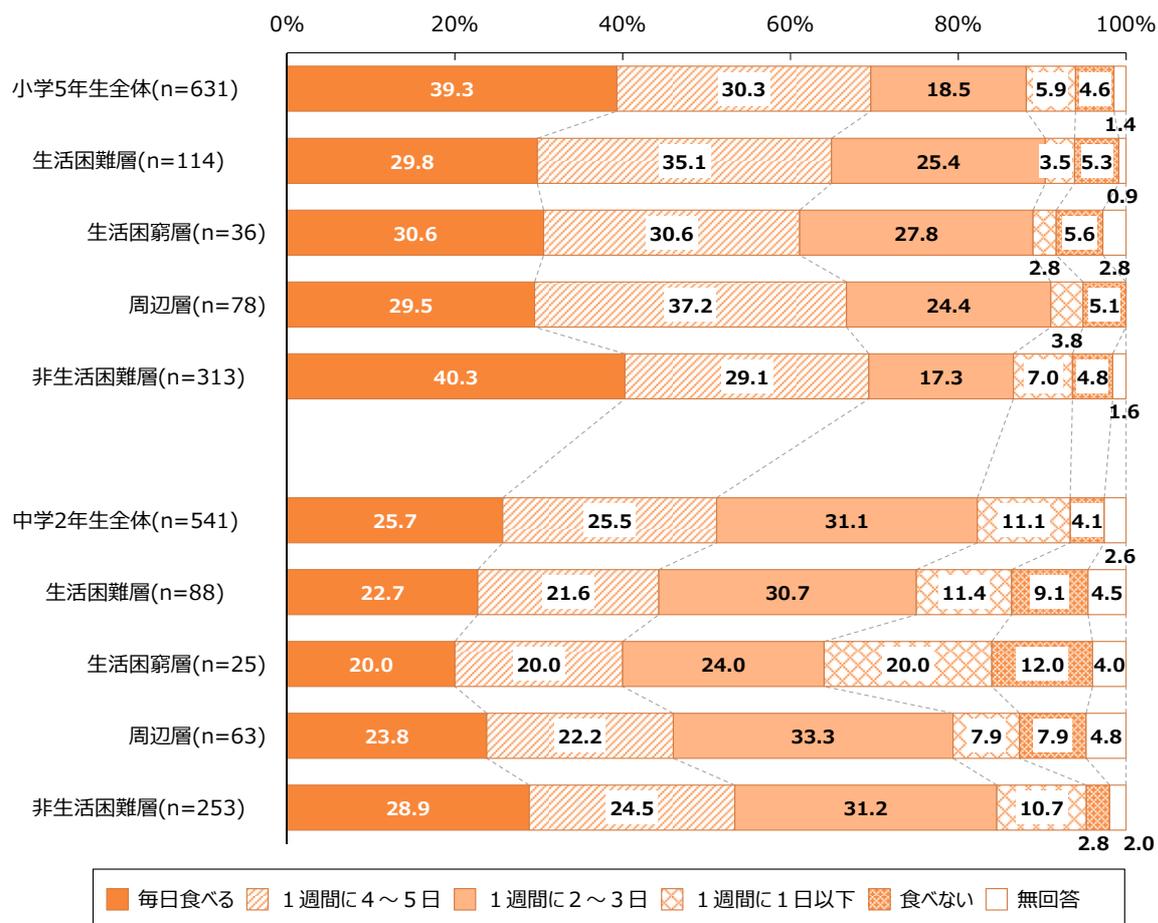
ただし、生活困窮層では、小学5年生で5.6%、中学2年生で8.0%が「毎日食べる」と回答しています。



## F お菓子

お菓子を食べる頻度について、「毎日食べる」「1週間に4～5日」を合わせた割合は、小学5年生全体で69.6%、生活困難度みると、生活困窮層で61.2%、周辺層で66.7%、非生活困難層で69.4%と生活困難度が高い層ほど高く相関がみられます。

中学2年生では、小学5年生に比べ15～20ポイントほど低くなっていますが、同様の傾向となっています。また、「食べない」の割合が、中学2年生で12.0%とやや高くなっています。



# 第3章 子どもの学び

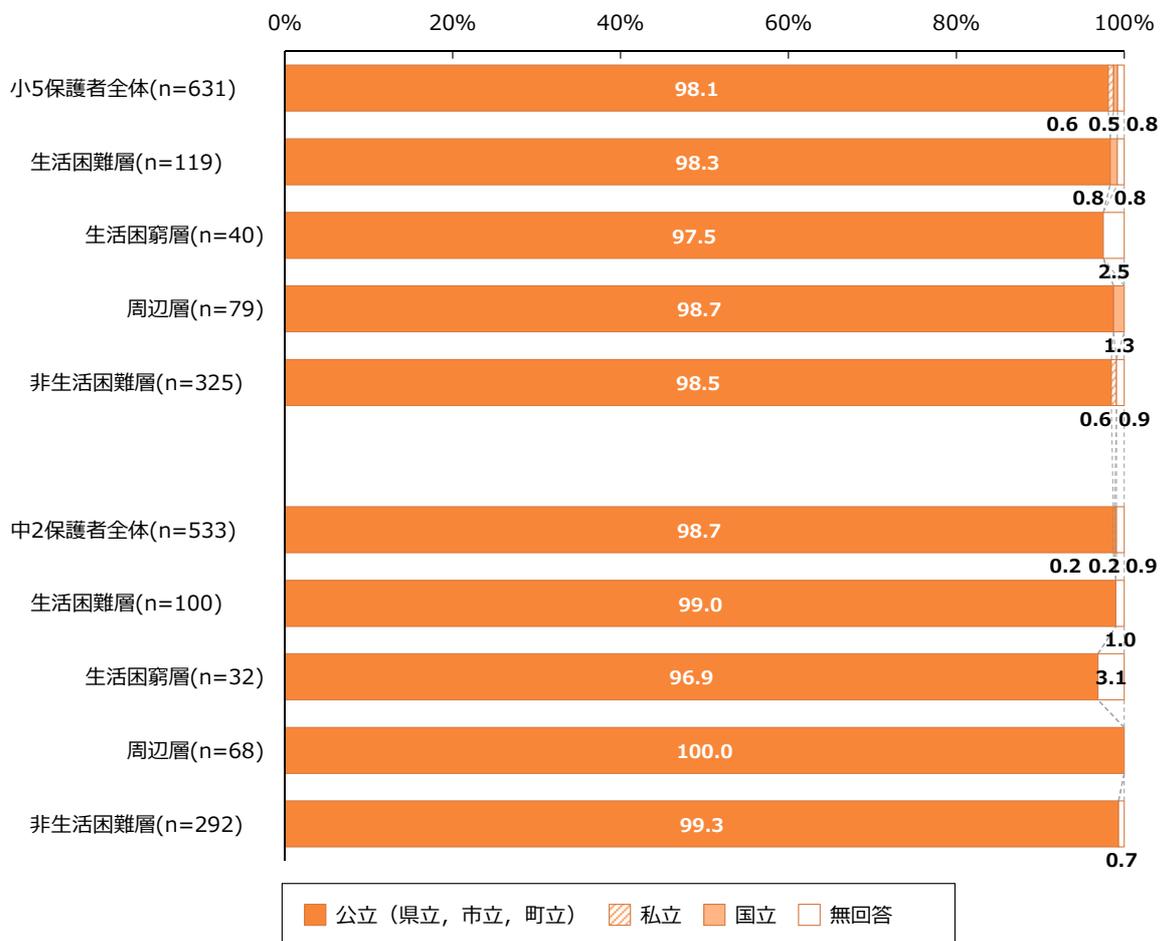
## 1 学校について

### (1) 学校の種類

▼お子さんが通学している学校の種類は、次のどれになりますか。(保/問 1)

学校の種類については、小学5年生、中学2年生とも「公立（県立，市立，町立）」が96%を超え大多数を占めています。

中学2年生の生活困窮層で、「私立」が3.1%となっています。



## (2) 私立選択の理由

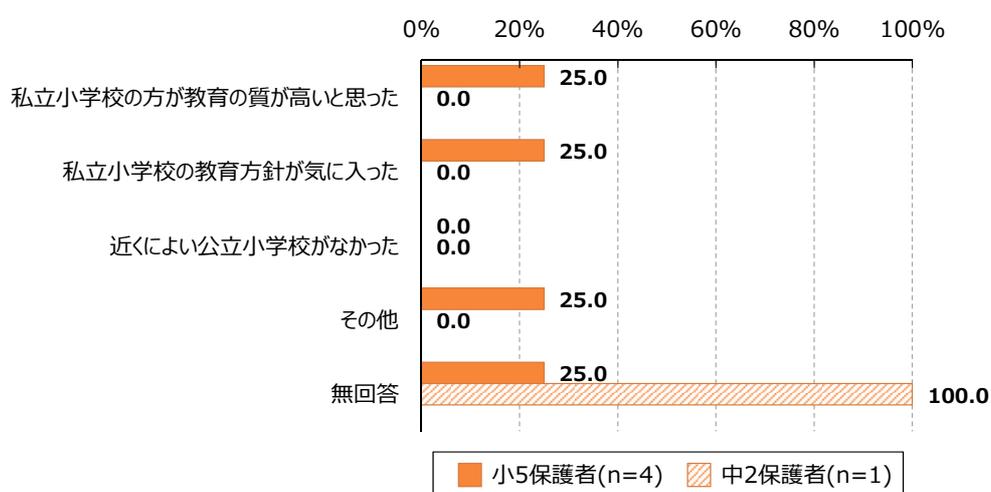
▼問1で「2 私立」を選んだ方におうかがいします。

私立の小学校に進学したのは、なぜですか。(保/問 1-1)

私立への進学理由について、小学5年生の全体では、「私立小学校の方が教育の質が高いと思った」「私立小学校の教育方針が気に入った」の回答がみられ、「近くによい公立小学校がなかった」との回答はありません。

中学2年生では、前問で生活困窮層で「私立」が3.1%となっていました。当設問では回答がありませんでした。

いずれも「私立」の回答数が少ないため、明確な傾向を把握することは困難です。



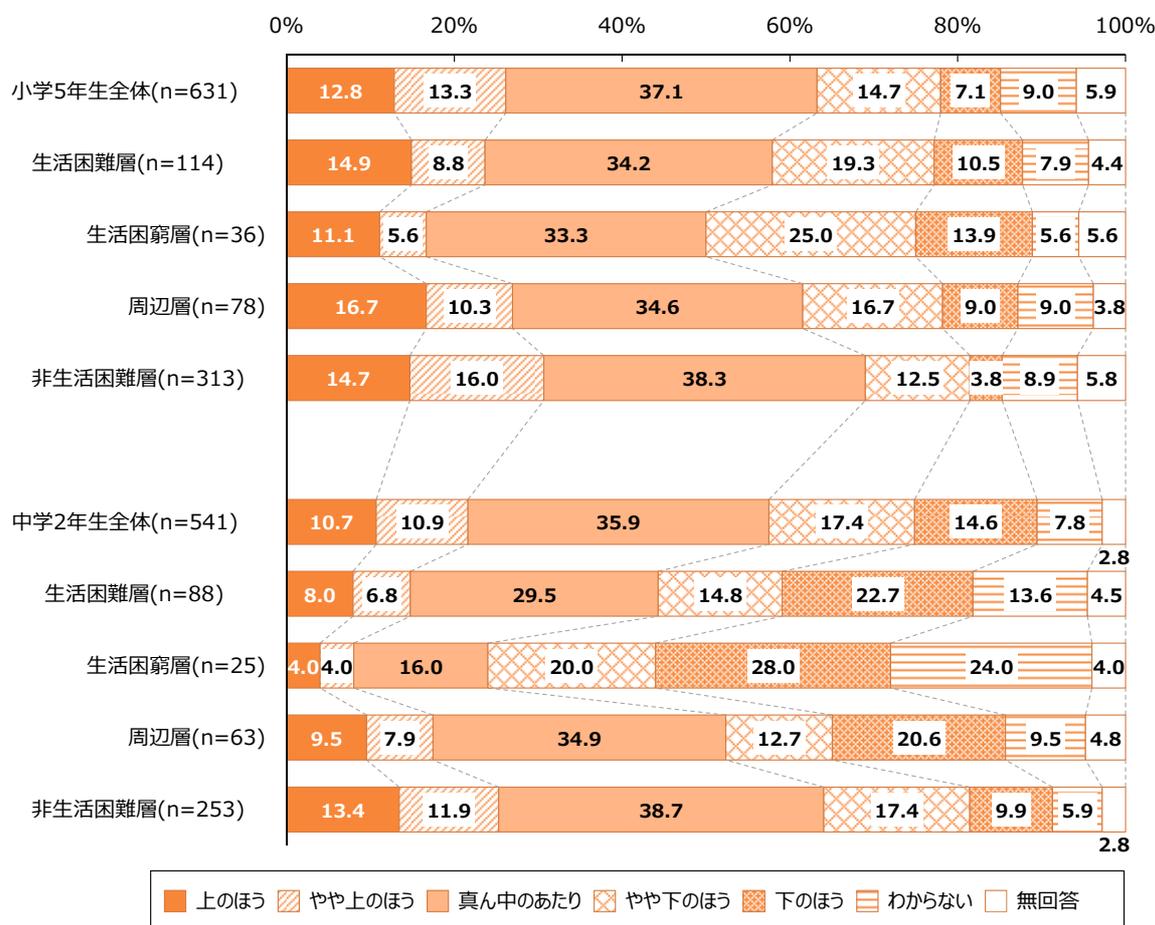
## 2 学校の成績

### (1) 成績の主観的評価

▼あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。(子/問 30)

クラスの中での成績評価について、「上のほう」と「やや上のほう」を合わせた“上のほう”の割合は小学5年生の全体で26.1%、生活困窮層で16.7%、周辺層で27.0%、非生活困難層で30.7%と生活困窮層で低くなっている一方、「やや下のほう」と「下のほう」を合わせた“下のほう”の割合は、全体で21.8%、生活困窮層で28.9%、周辺層で25.7%、非生活困難層で16.3%と、生活困窮層で高くなっています。

中学2年生では、同様の“上のほう”の割合は、全体で21.6%、生活困窮層で8.0%、周辺層で17.4%、非生活困難層で25.3%と生活困窮層で低くなっている一方、“下のほう”の割合は、全体で32.0%、生活困窮層で48.0%、周辺層で33.3%、非生活困難層で27.3%と生活困窮層で高くなっています。



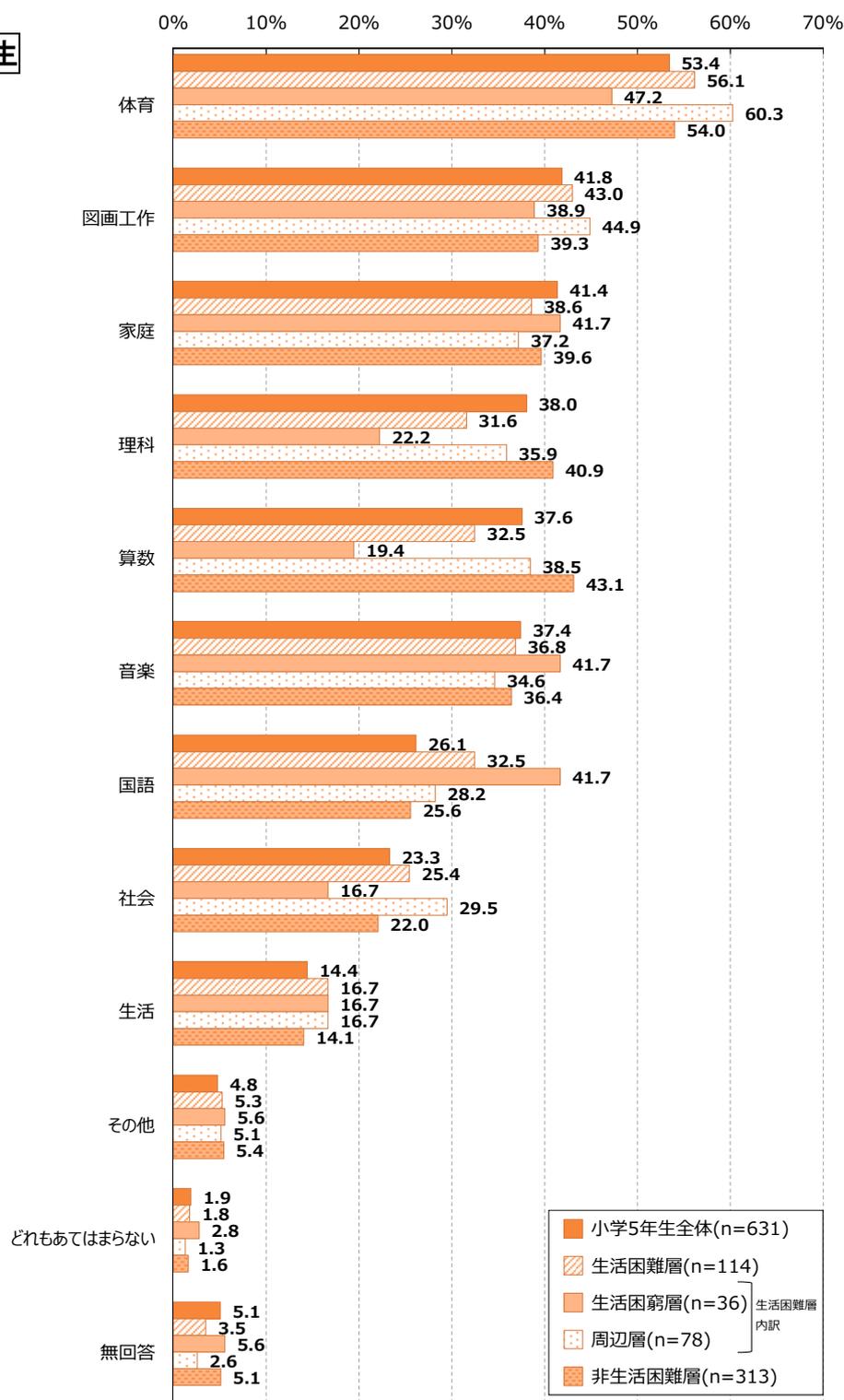
## (2) 得意教科

▼あなたの得意な教科は、どれですか。(子/問 31 複数回答)

得意教科について、小学5年生全体では割合の高い順に、「体育」53.4%、「図画工作」41.8%、「家庭」41.4%、となっています。

主要教科について生活困窮層の割合をみると、「国語」41.7%は全体よりも高く、「理科」22.2%、「算数」19.4%、「社会」16.7%は全体よりも低くなっています。

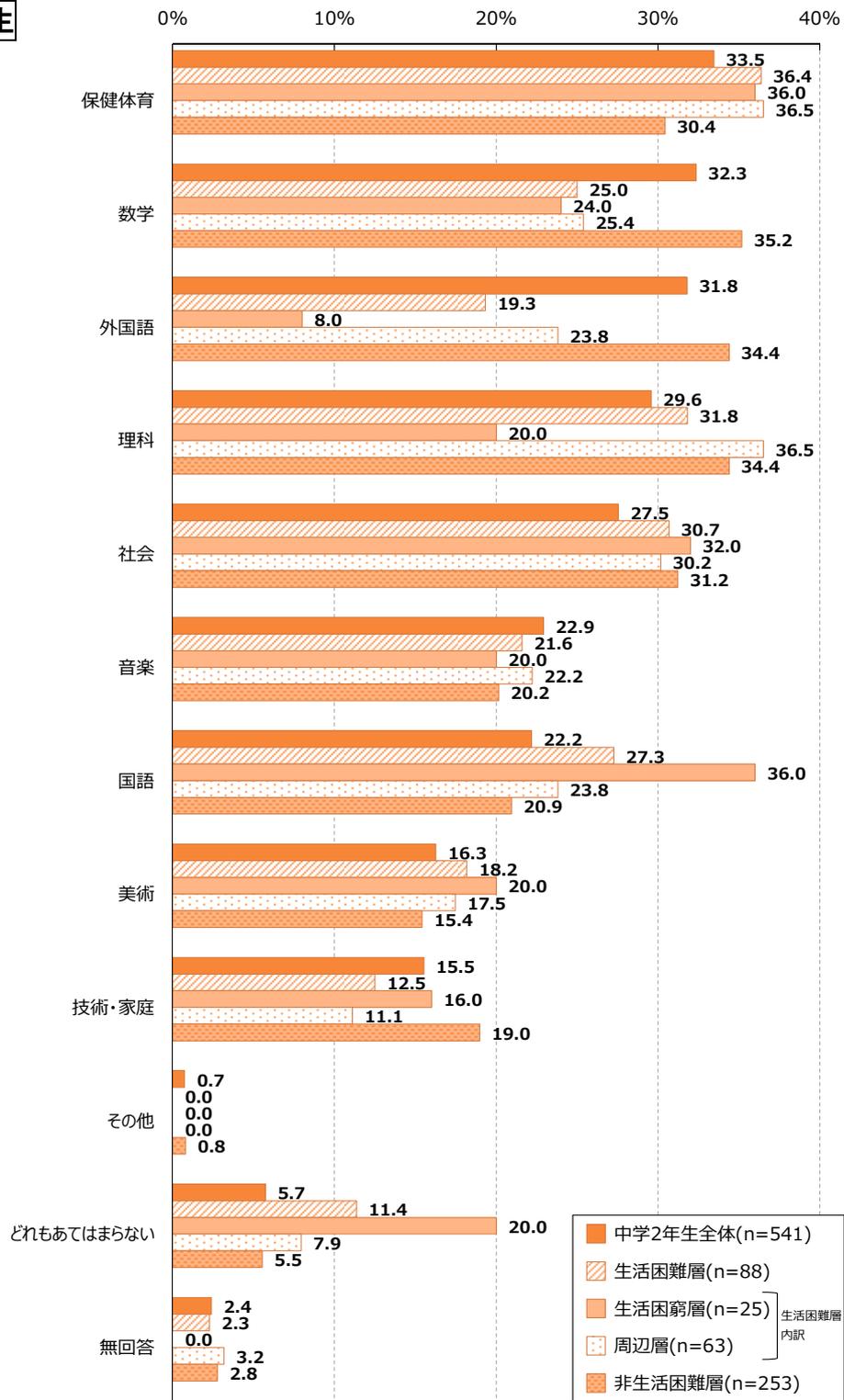
### 小学5年生



得意教科について、中学2年生全体では割合の高い順に、「保健体育」33.5%、「数学」32.3%、「外国語」31.8%となっています。

主要教科について生活困窮層の割合をみると、「国語」36.1%、「社会」32.0%は全体よりも高く、「数学」24.0%、「理科」20.0%、「外国語」8.0%は全体よりも低くなっています。

**中学2年生**



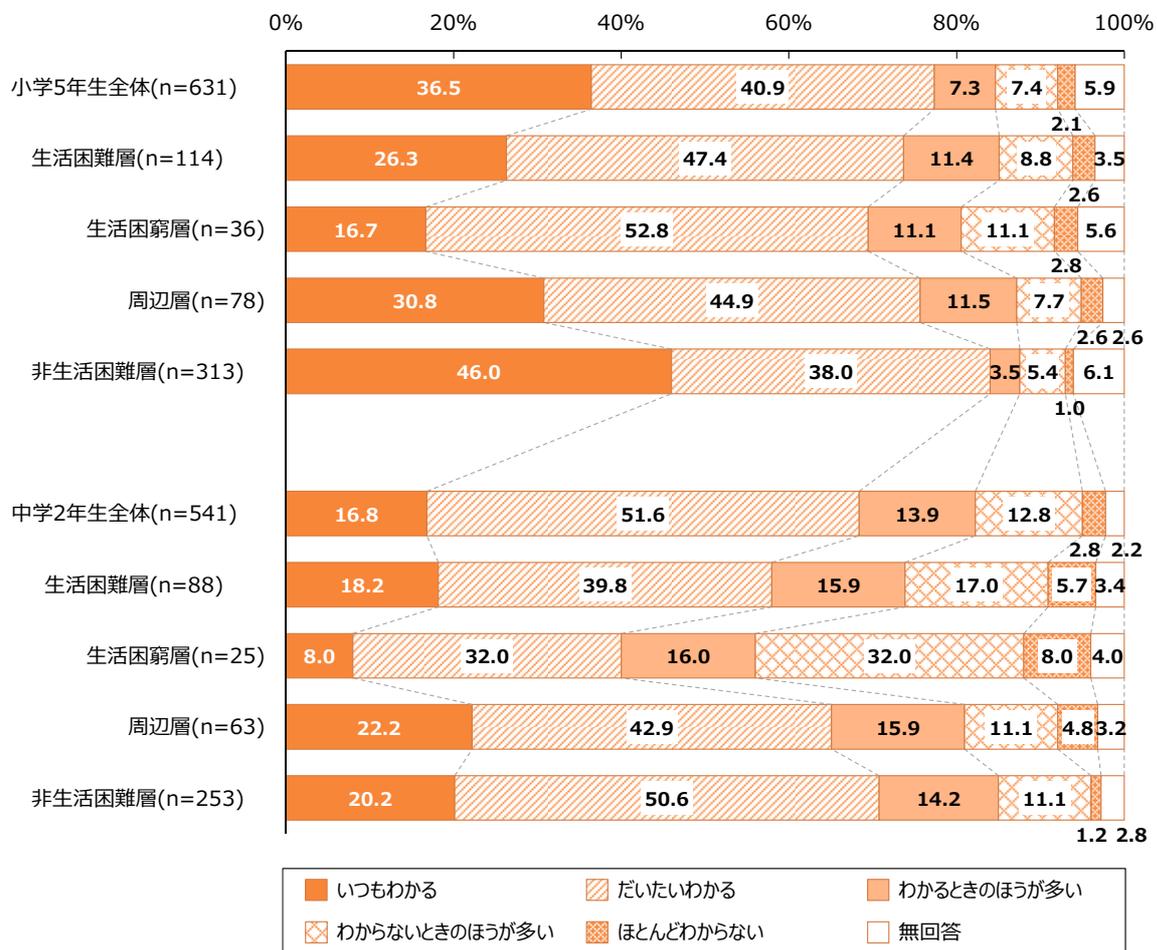
### 3 授業の理解や学習の状況

#### (1) 授業の理解度

▼あなたは、学校の授業がわかりますか。(子/問 28)

学校の授業の理解度について、「いつもわかる」は、小学5年生全体の36.5%、非生活困難層の46.0%に対して、生活困窮層では16.7%と半数以下になっています。中学2年生でも全体の16.8%、非生活困難の20.2%に対して、生活困窮層では8.0%と、小学5年生同様に半数以下となっています。

一方、「わからないときのほうが多い」と「ほとんどわからない」を合わせた割合は、小学5年生全体で9.5%、中学2年生全体で15.6%であるのに対し、生活困窮層では小学5年生で13.9%、中学2年生で40.0%と高くなっています。



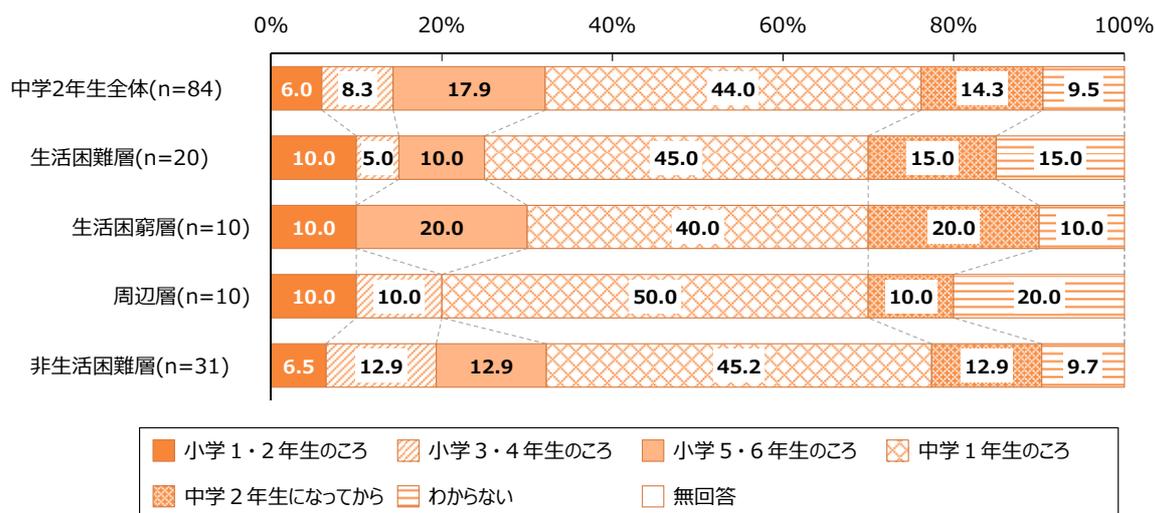
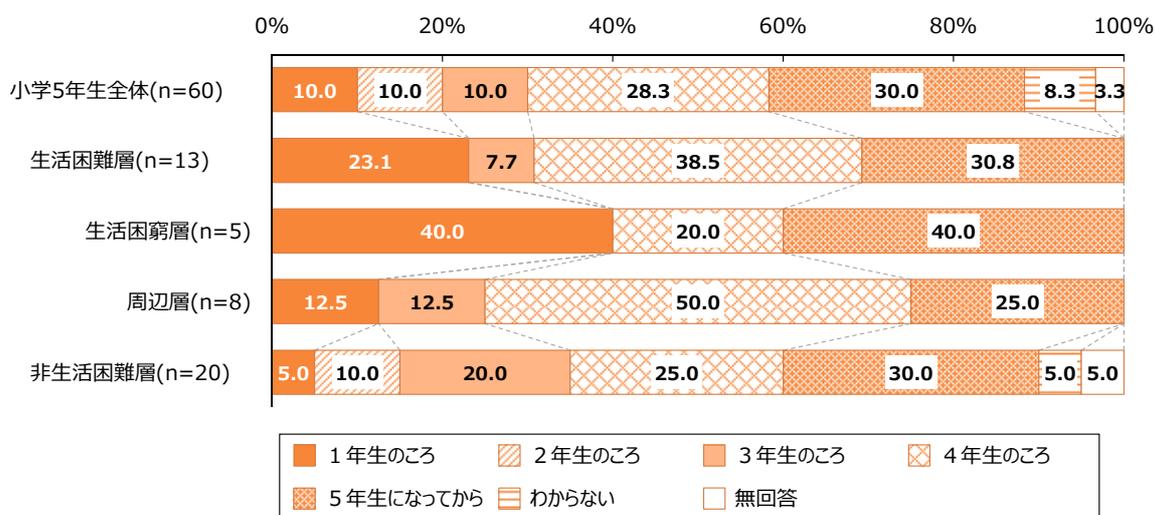
## (2) 授業がわからなくなった時期

▼学校の授業が「4 わからないときのほうが多い」または「5 ほとんどわからない」と答えた人におききます。

いつごろから、授業がわからなくなりましたか。(子/問 28-1)

小学5年生の授業がわからなくなった時期については、周辺層を除き「小学5年生になってから」が多く、全体で30.0%となっています。生活困窮層では40.0%が「1年生のころ」と回答しており、他の時期と比べ高くなっています。

中学2年生では、生活困難度による大きな差はみられませんが、生活困窮層と周辺層の10.0%が「小学1・2年生のころ」と回答しています。



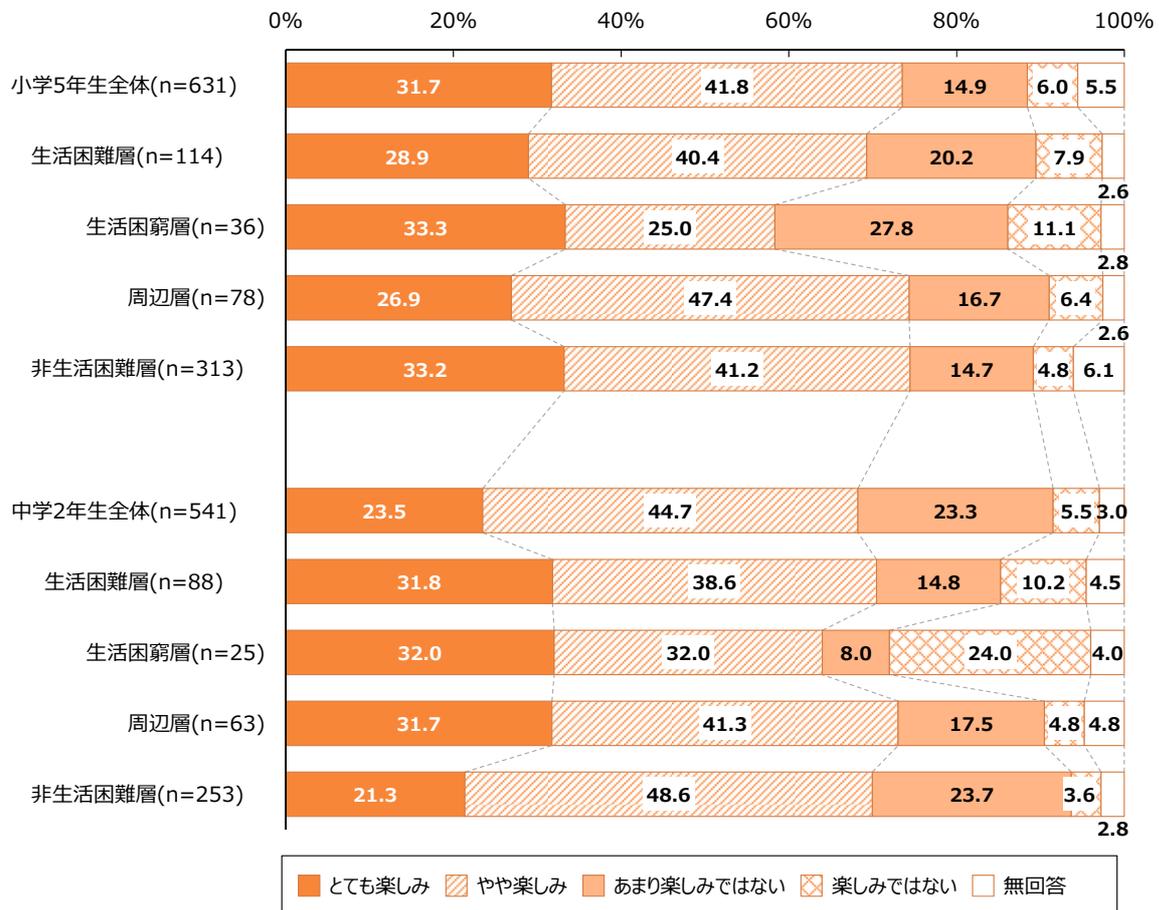
## 4 学校生活の楽しみ

▼あなたの学校生活についておたずねします。次の項目について、「1 とても楽しみ」から「4 楽しみではない」のもっとも近いものに○をつけてください。(子/問 27)

### A 学校の授業

学校生活の楽しさ/学校の授業について、「とても楽しみ」と「やや楽しみ」を合わせた“楽しみ”の割合は、小学5年生の全体で73.5%、中学2年生の全体で68.2%となっています。

「あまり楽しみではない」と「楽しみではない」を合わせた“楽しみではない”の割合を生活困難度別にみると、小学5年生では生活困窮層で38.9%、周辺層で23.1%、非生活困難層で19.5%と生活困窮層で高くなっており、中学2年生では生活困窮層で32.0%、周辺層で22.3%、非生活困難層で27.3%と、小学5年生と同様に生活困窮層で高くなっています。

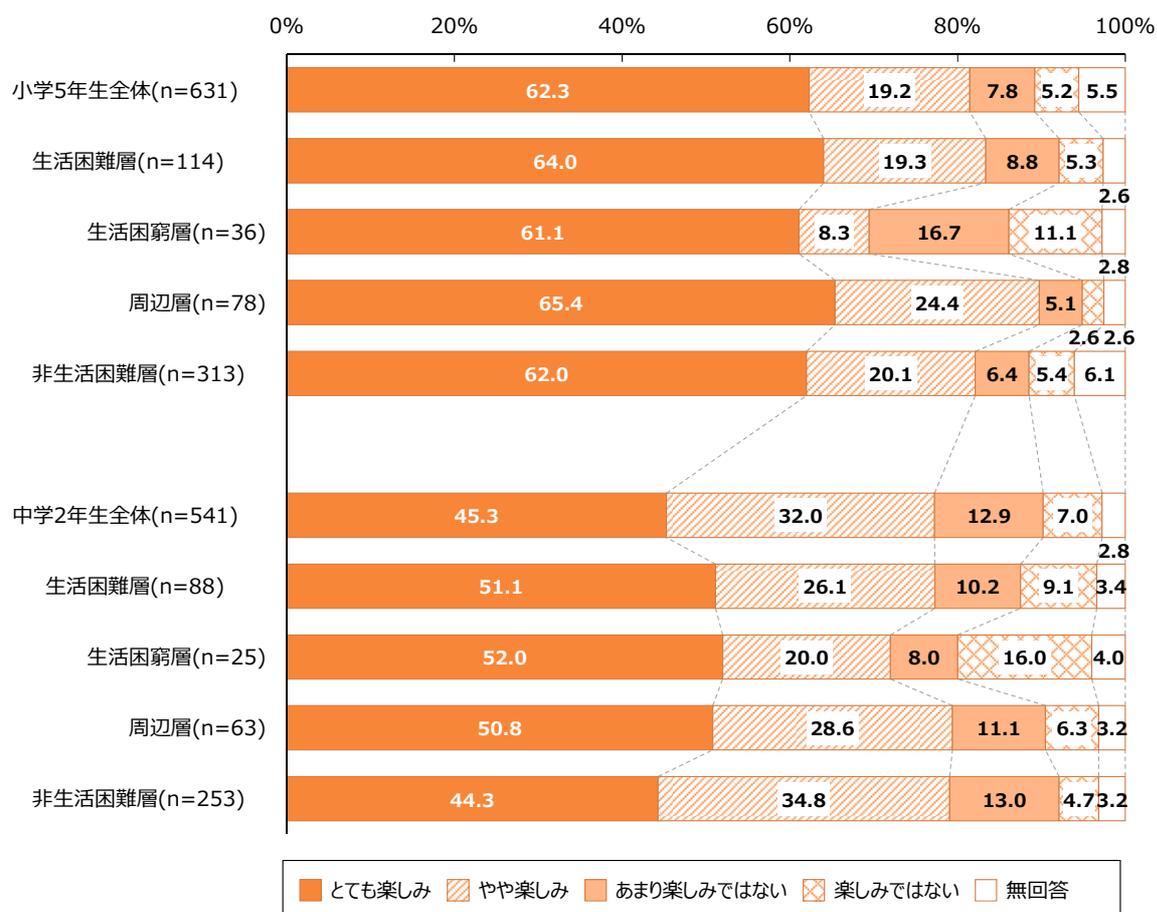


## B 体育・保健体育

学校生活の楽しさ/体育・保健体育について、「とても楽しみ」と「やや楽しみ」を合わせた“楽しみ”の割合は、小学5年生の全体で81.5%、中学2年生の全体で77.3%となっています。

生活困難度別にみると、小学5年生は生活困窮層で「あまり楽しみではない」と「楽しみではない」を合わせた”楽しみではない”が27.8%で高くなっています。

中学2年生では、“楽しみ”の割合は生活困窮層で72.0%、非生活困難層79.1%と生活困窮層でやや低くなっています。また、生活困窮層では”楽しみではない”が24.0%となっています。

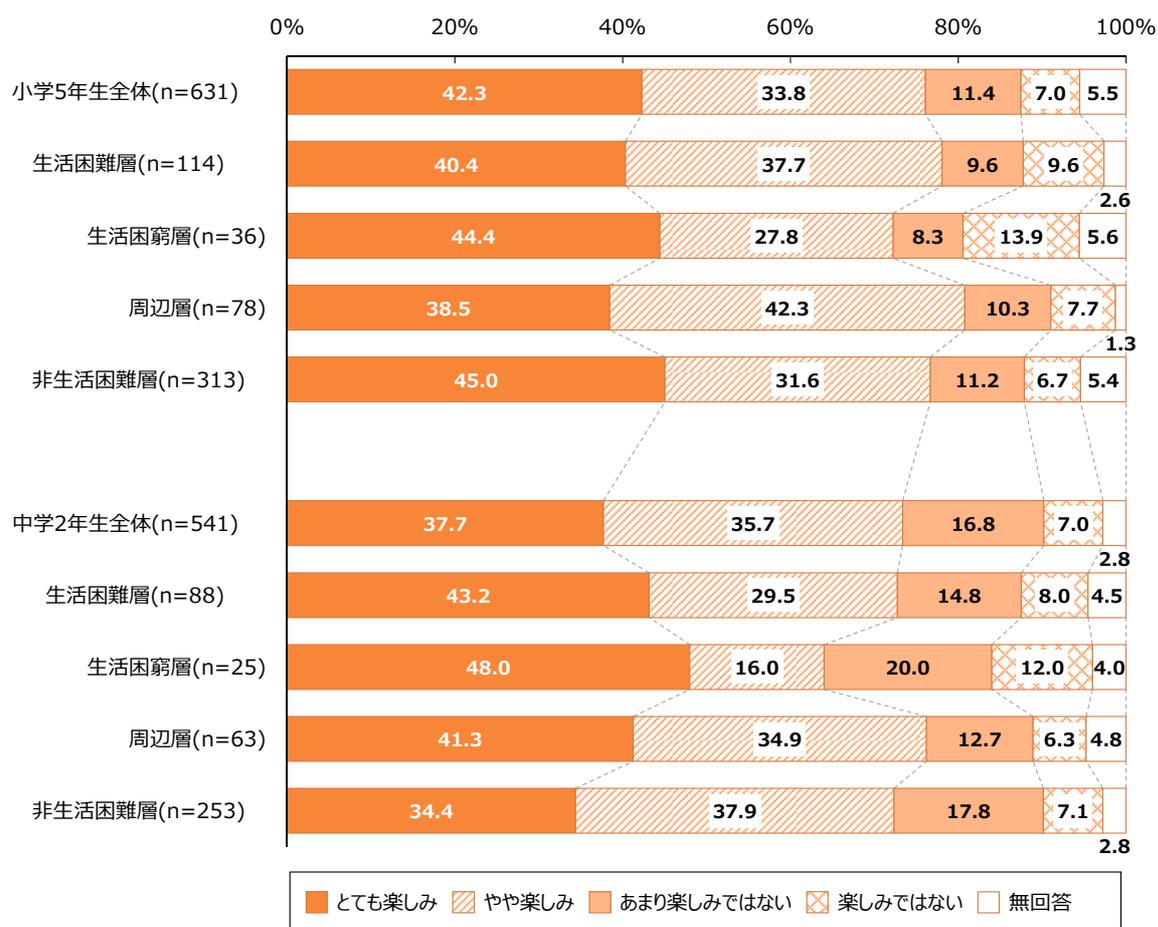


## C 音楽

学校生活の楽しさ/音楽について、「とても楽しみ」と「やや楽しみ」を合わせた“楽しみ”の割合は、小学5年生の全体で76.1%，中学2年生の全体で73.4%となっています。

生活困難度別にみると、小学5年生は生活困難度による大きな差はみられませんが、生活困窮層で「楽しみではない」が13.9%と比較的高くなっています。

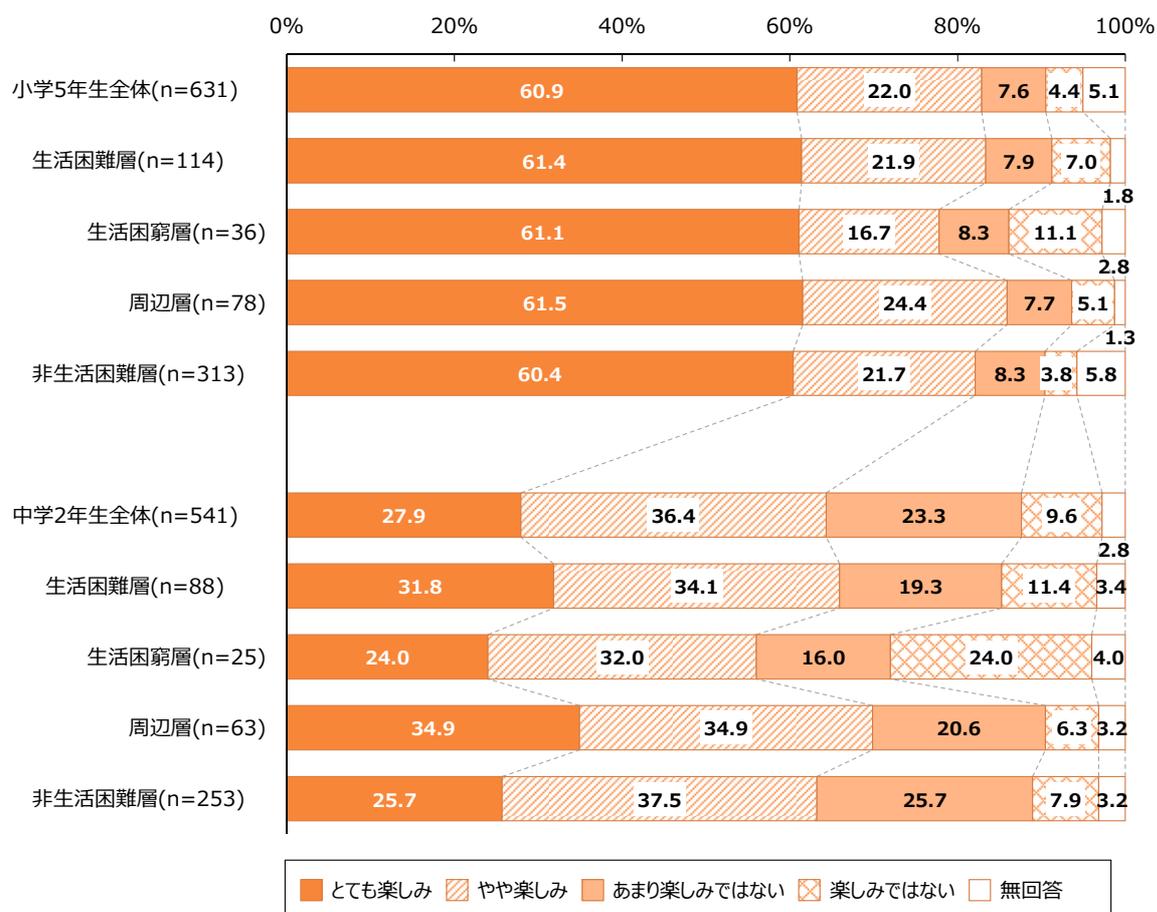
中学2年生では，“楽しみ”の割合は全体の73.4%に対し、生活困窮層で54.0%，非生活困難層72.3%と生活困窮層で低くなっています。一方、生活困窮層で「あまり楽しみではない」と「楽しみではない」を合わせた割合が32.0%とと、比較的高くなっています。



## D 図画工作／美術

学校生活の楽しさ/図画工作・美術について、「とても楽しみ」と「やや楽しみ」を合わせた“楽しみ”の割合は、小学5年生の全体で82.9%、中学2年生の全体ではやや低くなり64.3%となっています。

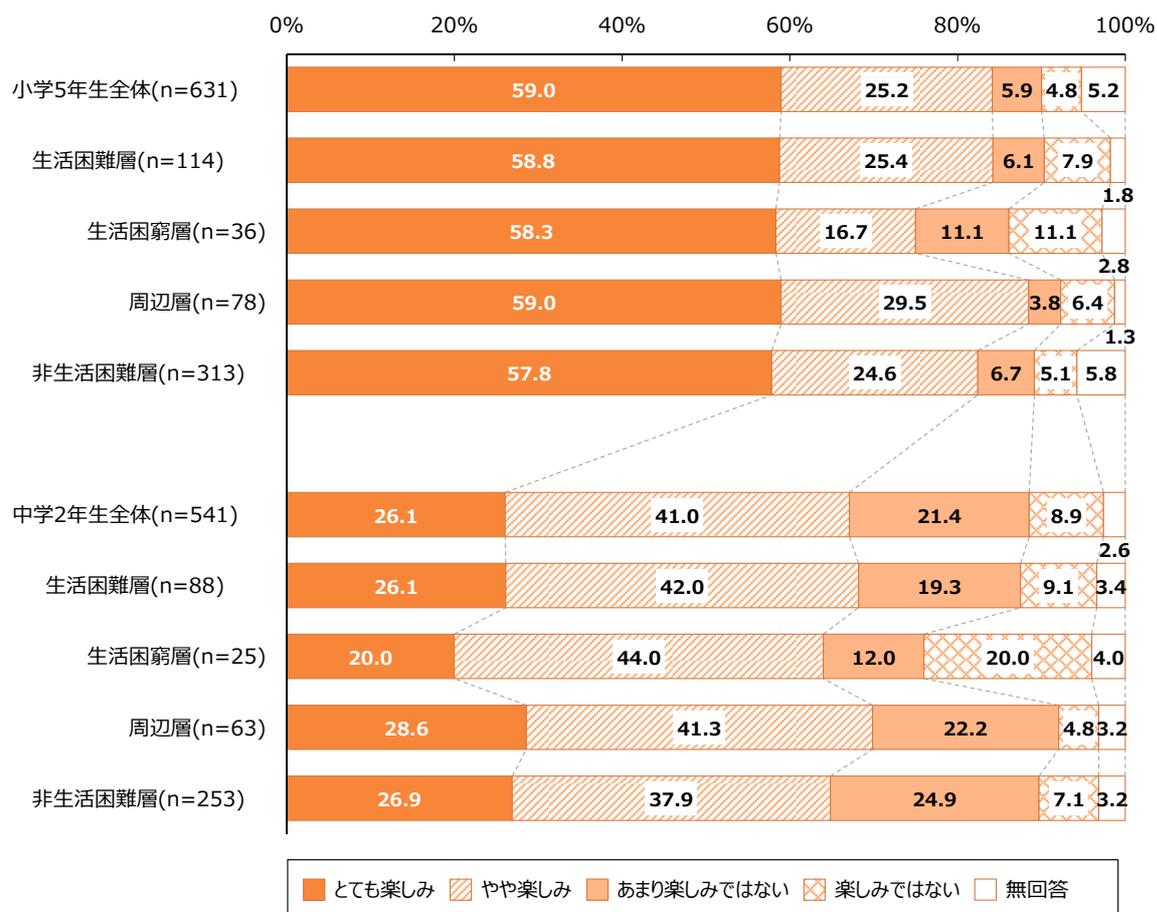
「あまり楽しみではない」と「楽しみではない」を合わせた“楽しみではない”の割合を生活困難度別にみると、小学5年生は、生活困窮層で19.4%、非生活困難層で12.1%となっており、中学2年生では生活困窮層で40.0%、非生活困難層で33.6%と、いずれも生活困窮層で高くなっています。



## E 家庭科／技術・家庭科

学校生活の楽しさ/家庭科・技術家庭科について、「とても楽しみ」と「やや楽しみ」を合わせた“楽しみ”の割合は小学5年生の全体で84.2%，中学2年生の全体で67.1%となっています。

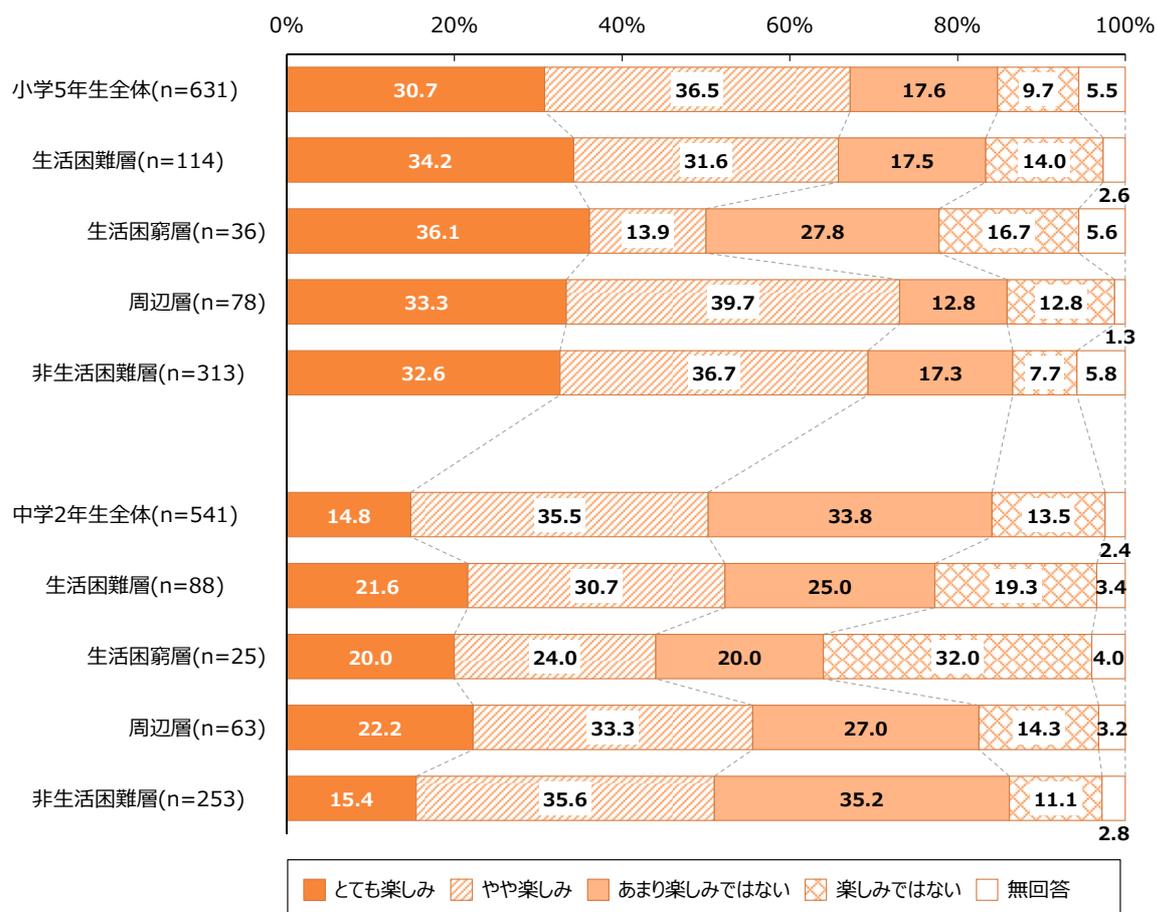
生活困難度別にみると、中学2年生の生活困窮層で“楽しみ”が64.0%となっていますが、非生活困難層でも64.8%となっており、小学5年生でも中学2年生でも生活困難度による大きな差はみられません。



## F 先生に会うこと

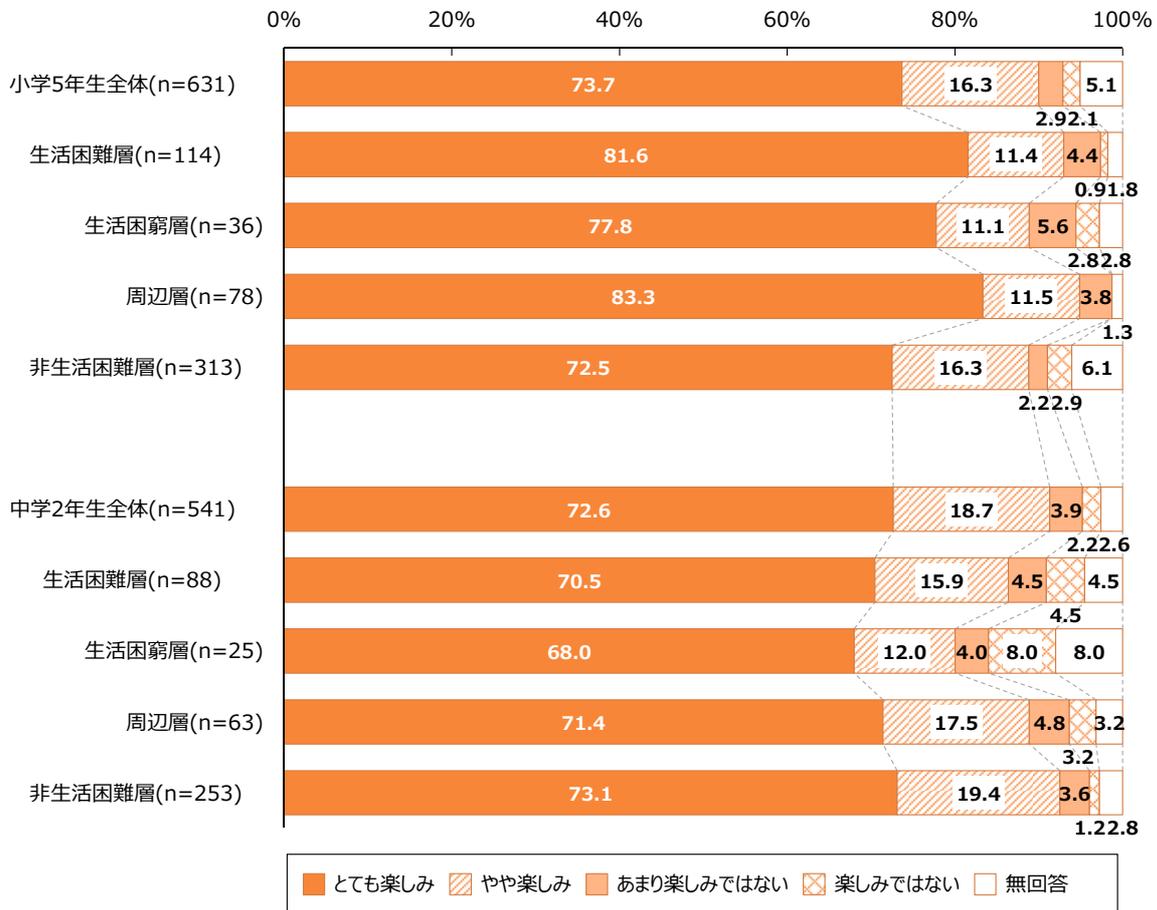
学校生活の楽しさ/先生に会うことについて、「とても楽しみ」と「やや楽しみ」を合わせた“楽しみ”の割合は小学5年生の全体で67.2%、中学2年生の全体ではやや低くなり50.3%となっています。

生活困難度別にみても、小学5年生、中学2年生とも生活困難度による大きな差はみられず、同様の傾向となっていますが、中学2年生の生活困窮層では「楽しみではない」が32.0%で高くなっています。



## G 学校の友だちに会うこと

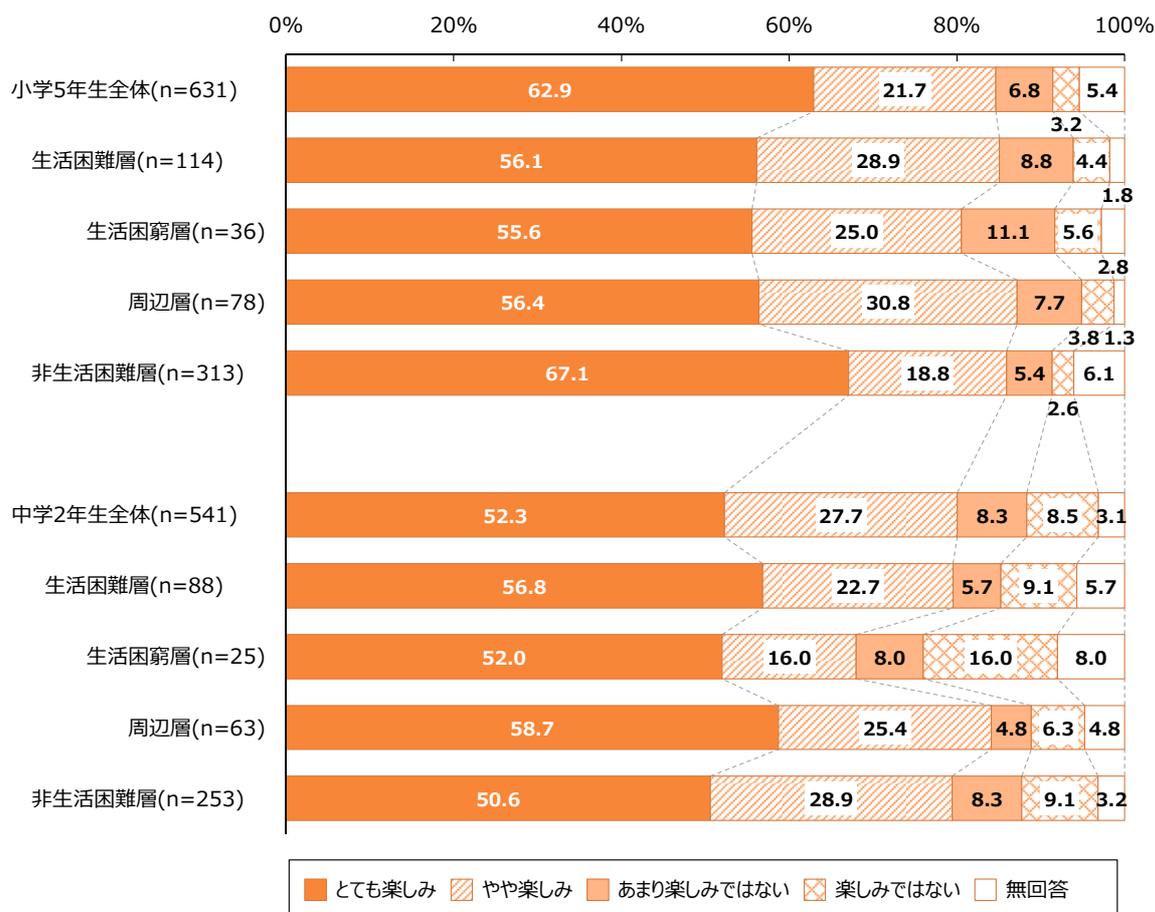
学校生活の楽しさ/学校の友だちに会うことについて、「とても楽しみ」と「やや楽しみ」を合わせた“楽しみ”の割合は小学5年生、中学2年生とも全体、生活困難層、非生活困難層で90%程度となり、多くは90%を越えています。



## H 学校のクラブ活動／部活動

学校生活の楽しさ/学校のクラブ活動・部活動について、「とても楽しみ」と「やや楽しみ」を合わせた“楽しみ”の割合は小学5年生の全体で84.6%，中学2年生の全体で80.0%となっています。

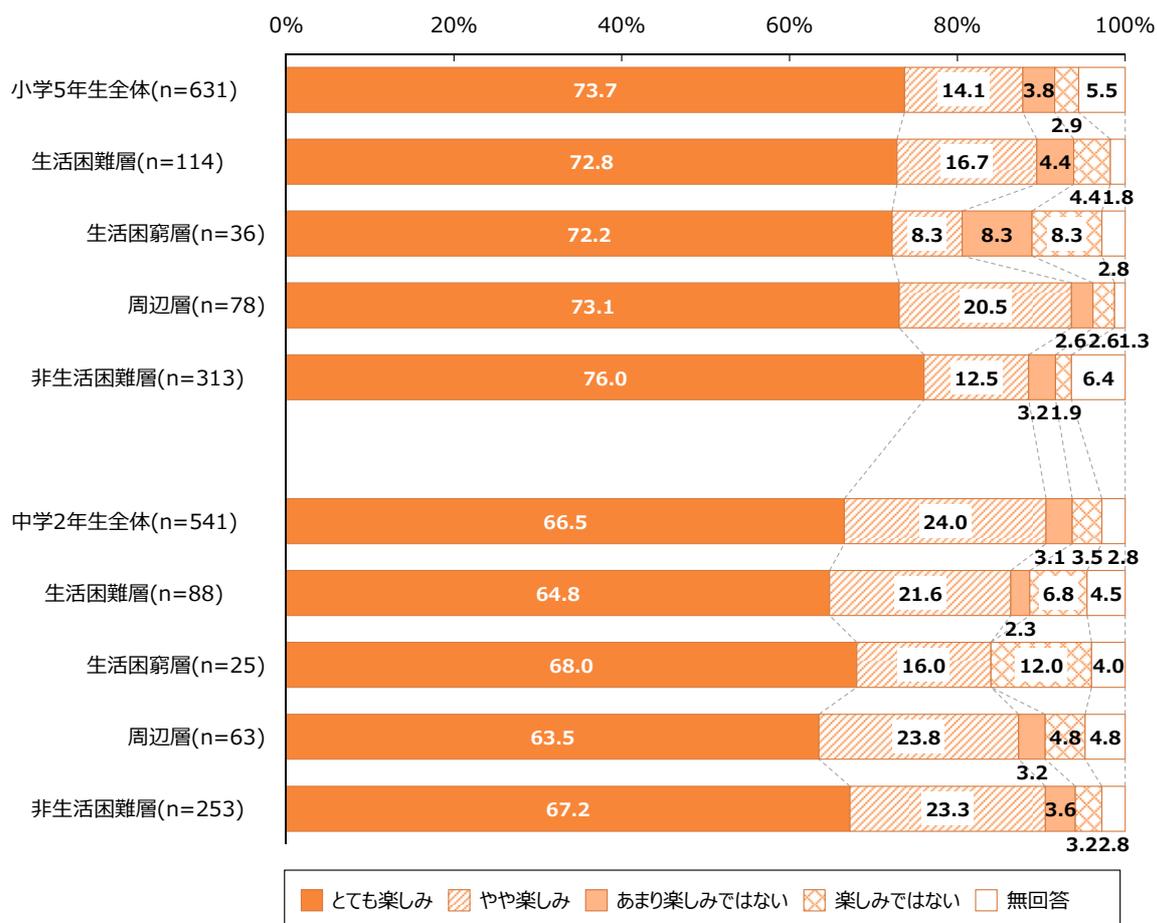
生活困難度別にみても“楽しみ”の割合は，小学5年生，中学2年生とも約8割となっていますが，「あまり楽しみではない」と「楽しみではない」を合わせた“楽しみではない”の割合は，中学2年生の生活困窮層で24.0%と比較的高くなっています。



## Ⅰ 学校の休み時間

学校生活の楽しさ/学校の休み時間について、「とても楽しみ」と「やや楽しみ」を合わせた“楽しみ”の割合は小学5年生の全体で87.8%、中学2年生の全体で90.5%と高くなっています。

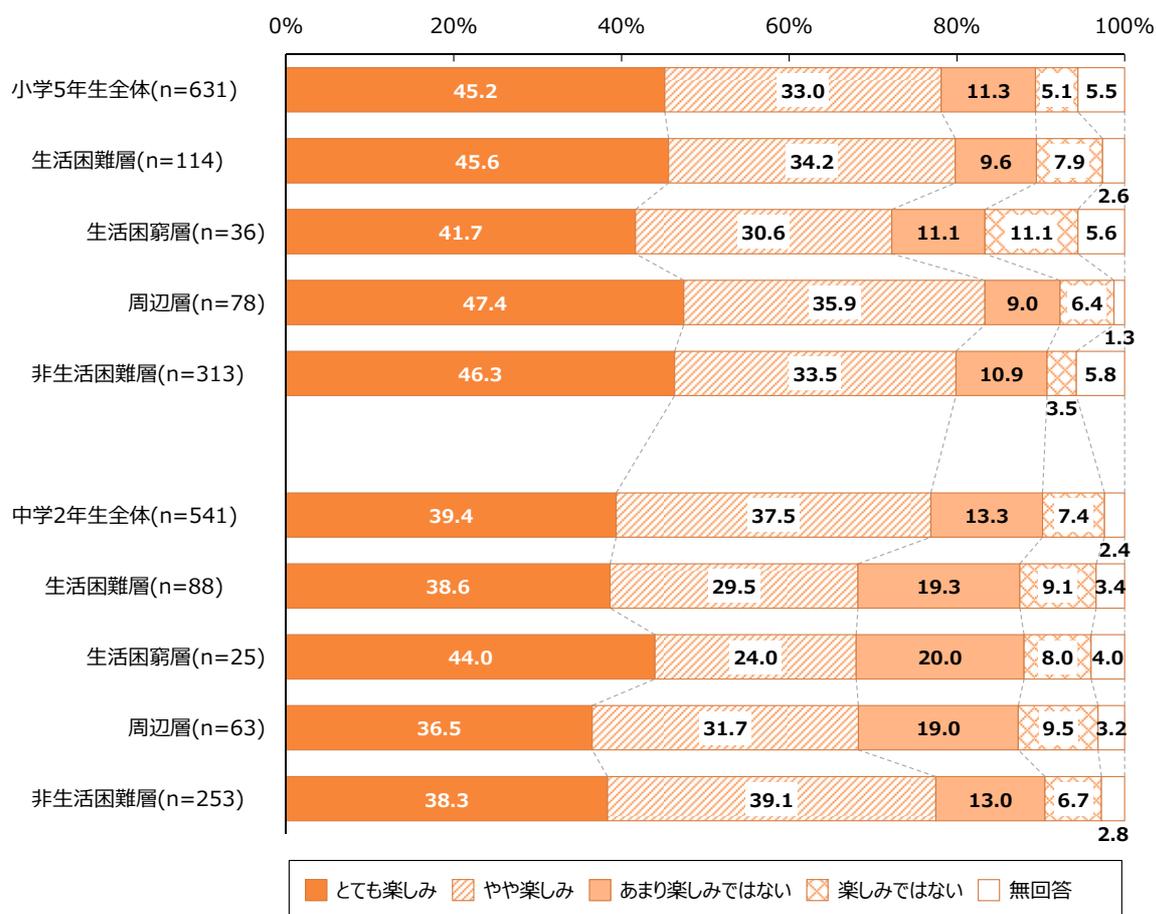
生活困難度別にみても，“楽しみ”の割合は全体的に8~9割と高くなっていますが，生活困窮層で「あまり楽しみではない」と「楽しみではない」を合わせた“楽しみではない”の割合がやや高く，小学5年生で16.6%，中学2年生で12.0%となっています。



## J 学校の給食（お弁当など）

学校生活の楽しさ/学校の給食などについて、「とても楽しみ」と「やや楽しみ」を合わせた“楽しみ”の割合は、小学5年生の全体で78.2%，中学2年生の全体で76.9%と高くなっています。

生活困難度別にみても“楽しみ”の割合は、小学5年生で7～8割，中学2年生で6～7割と高くなっていますが、「あまり楽しみではない」と「楽しみではない」を合わせた“楽しみではない”の割合は小学5年生の生活困窮層で22.2%と，周辺層，非生活困難層と比べて高くなっています。中学2年生では“楽しみではない”の割合が生活困窮層で28.0%，周辺層で27.5%となっています。



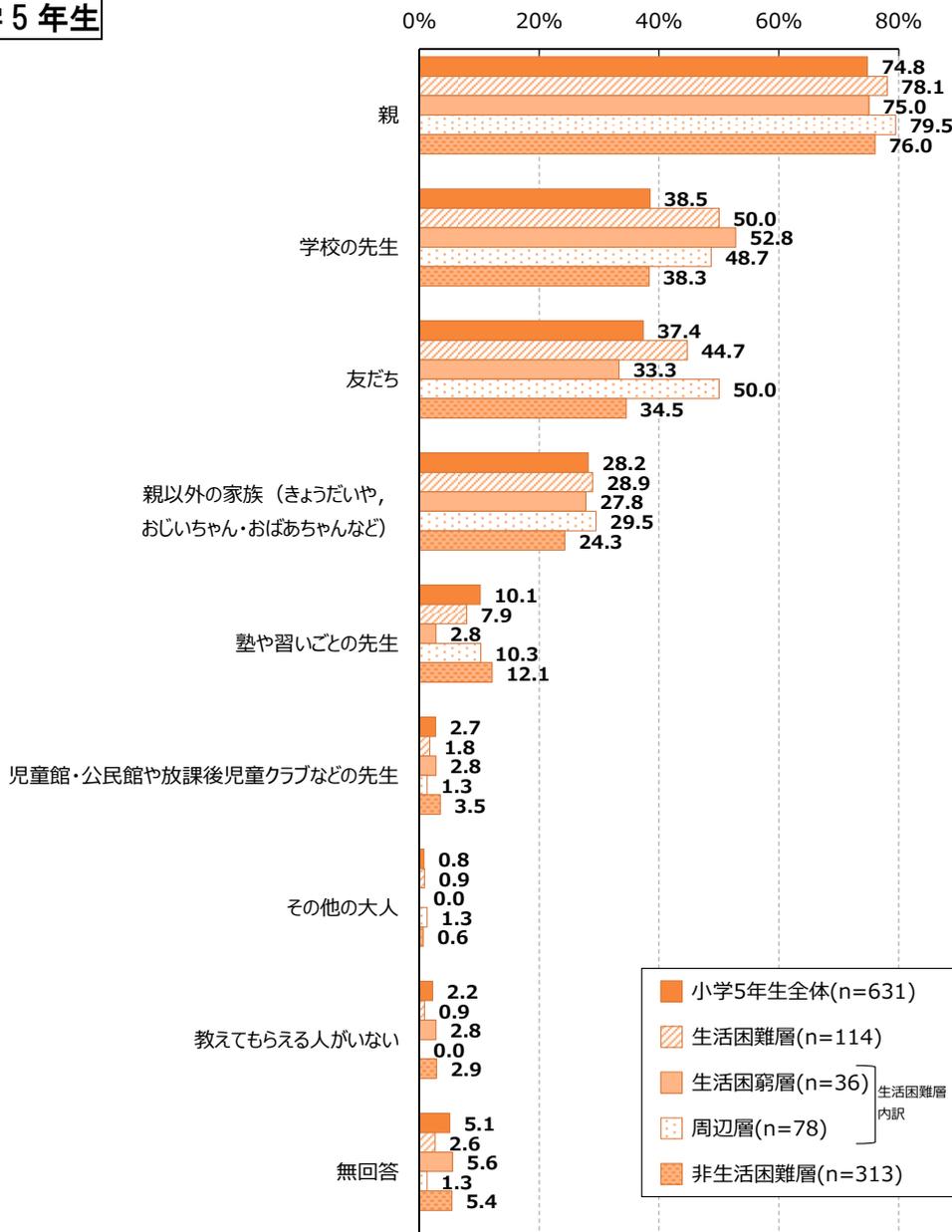
## 5 学校外での学習・勉強の状況

### (1) 勉強を教えてくれる人

▼勉強がわからないときは、誰に教えてもらいますか。(子/問 29 複数回答)

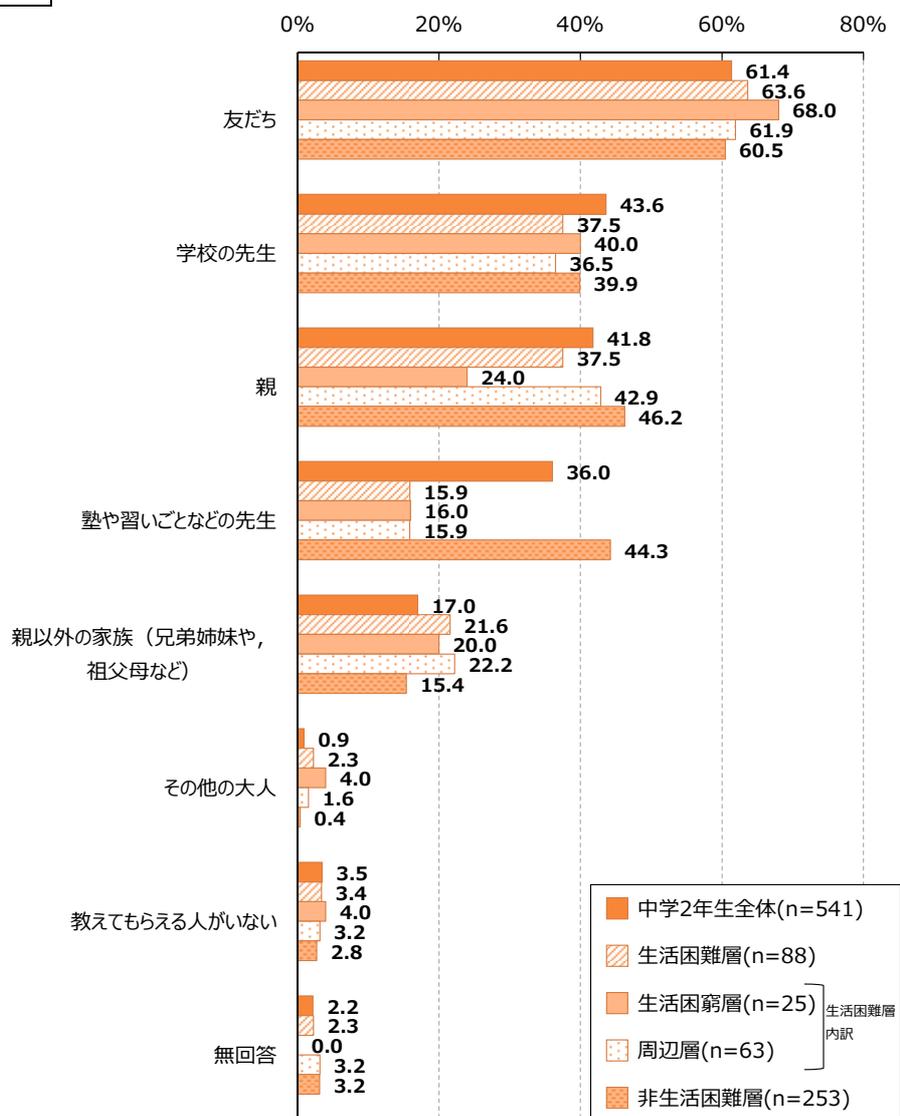
勉強を教えてくれる人は、小学5年生の全体では「親」が74.8%と最も多く、次いで「学校の先生」が38.5%、「友だち」が37.4%となっています。生活困難度別でも大きな差はみられませんが、生活困窮層では「学校の先生」が52.8%と比較的高く、「塾や習いごとの先生」は2.8%と低くなっています。

#### 小学5年生



勉強を教えてくれる人について、中学2年生全体では、「友だち」が61.4%で最も多く、次いで「学校の先生」が43.6%、「親」が41.8%となっていますが、生活困窮層では「友だち」が68.8%、「学校の先生」が40.0%、「親」が24.0%となり、親の割合が低くなっています。また、非生活困難層では、「塾や習いごとなどの先生」が44.3%で、他の層と比較すると非常に高くなっています。

### 中学2年生

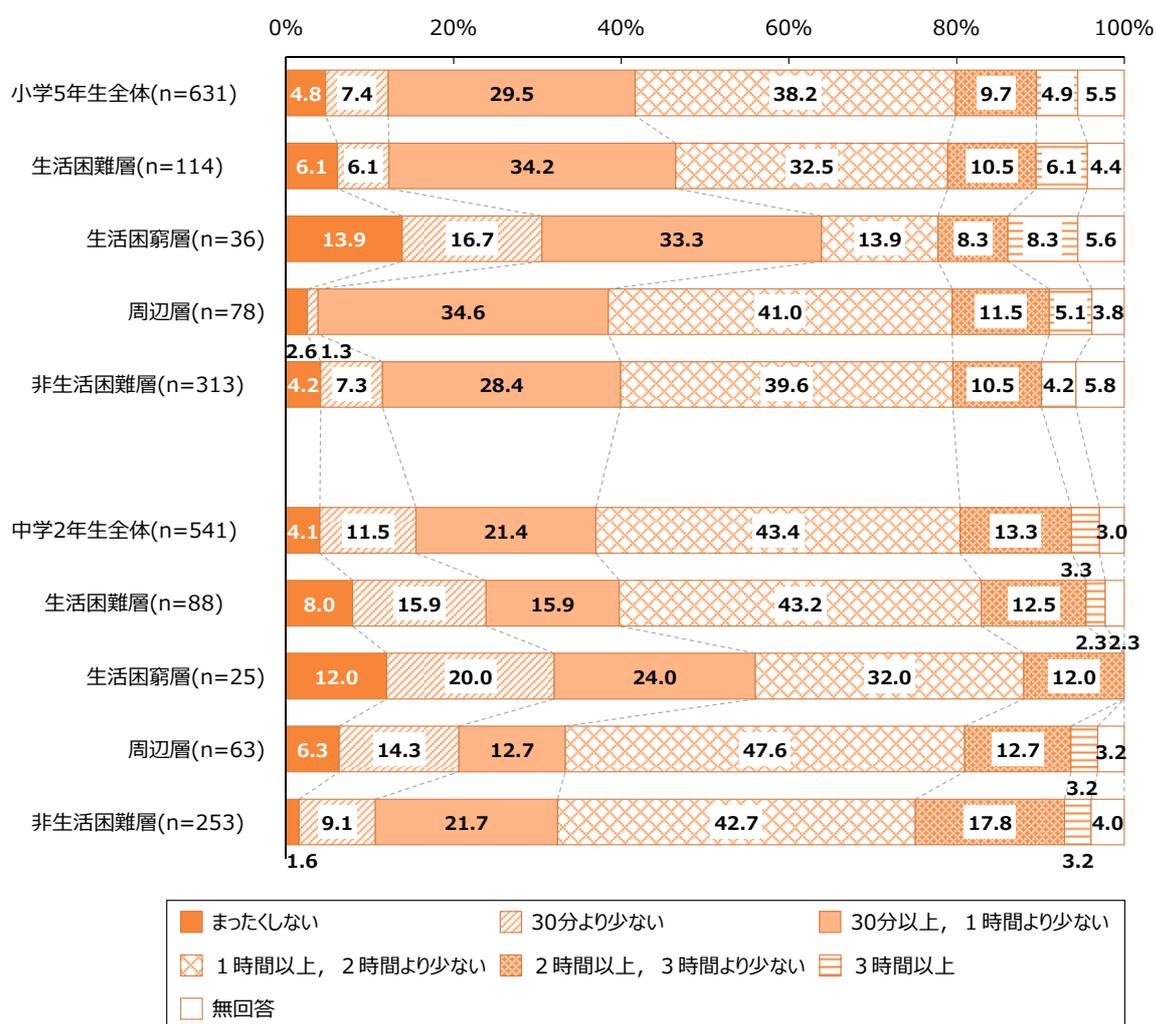


## (2) 学校外での勉強時間

▼あなたは、ふだん(月～金曜日)学校の授業以外にどれくらいの時間、勉強をしますか。1日あたりの勉強時間を教えてください。(子/問 32)

平日の勉強時間について、「まったくしない」と「30分より少ない」を合わせた割合“30分未満”は、小学5年生の全体で12.2%、中学2年生の全体で15.6%となっており、「2時間以上、3時間より少ない」と「3時間以上」を合わせた“2時間以上”の割合は、小学5年生全体で14.6%、中学2年生全体16.6%となっています。

生活困難度別にみると、生活困窮層で「まったくしない」が高く、小学5年生は13.9%、中学2年生は12.0%となっており、“30分未満”でも生活困窮層の小学5年生は30.6%、中学2年生は32.0%と、学校の授業以外での勉強時間が少ない状況がうかがえます。



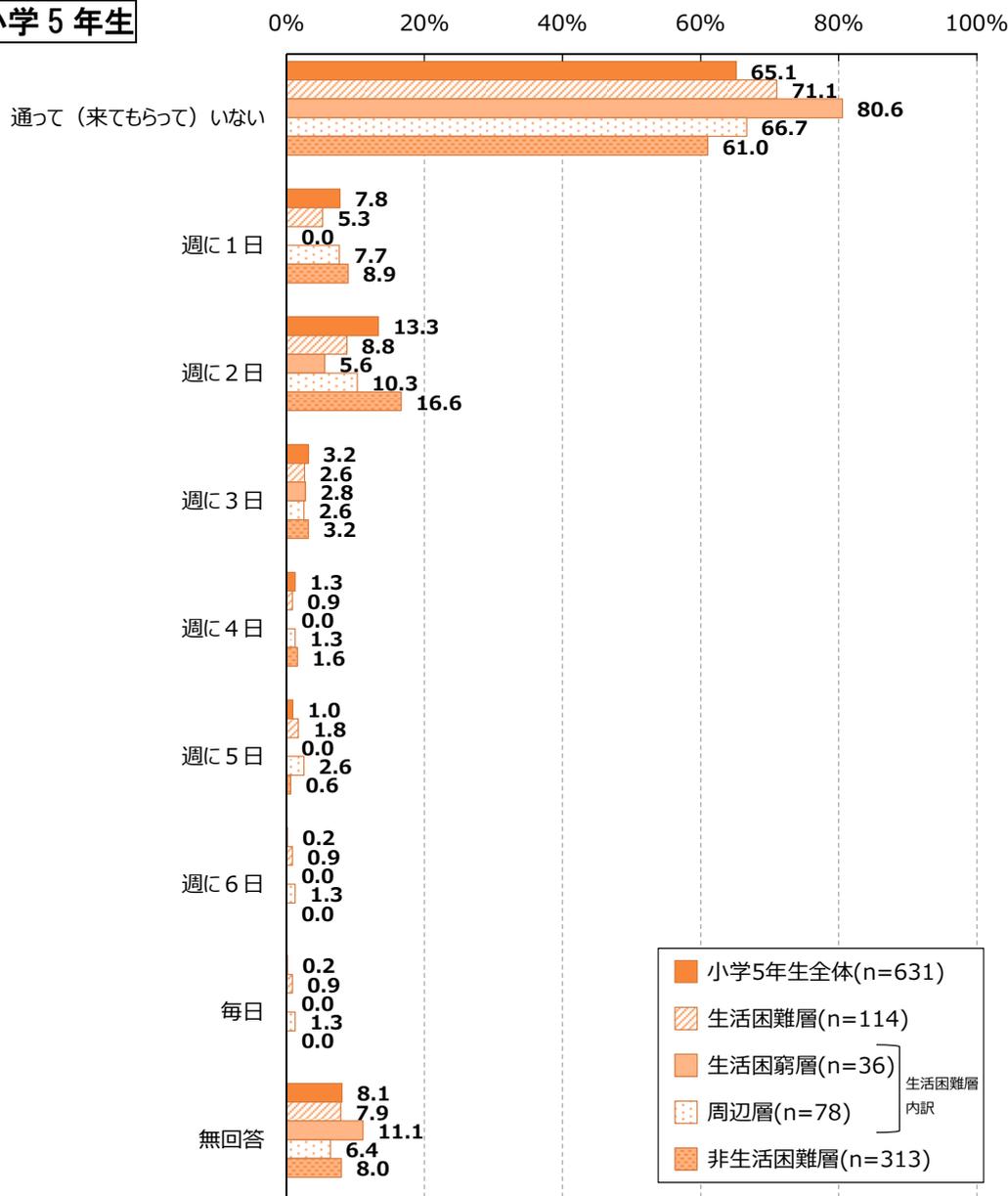
### (3) 学習塾・家庭教師の頻度

▼あなたは、学習塾に通ったり、家庭教師に来てもらっていますか。(子/問 33)

学習塾に通う・家庭教師に来てもらう頻度について、小学5年生全体では、「通って（来てもらって）いない」が65.1%で最も多く、次いで「週に2日」が13.3%、「週に1日」が7.8%となっています。

生活困難度別にみると、「通って（来てもらって）いない」が、非生活困難層の61.0%に対し生活困窮層で80.6%と約20ポイント高くなっています。

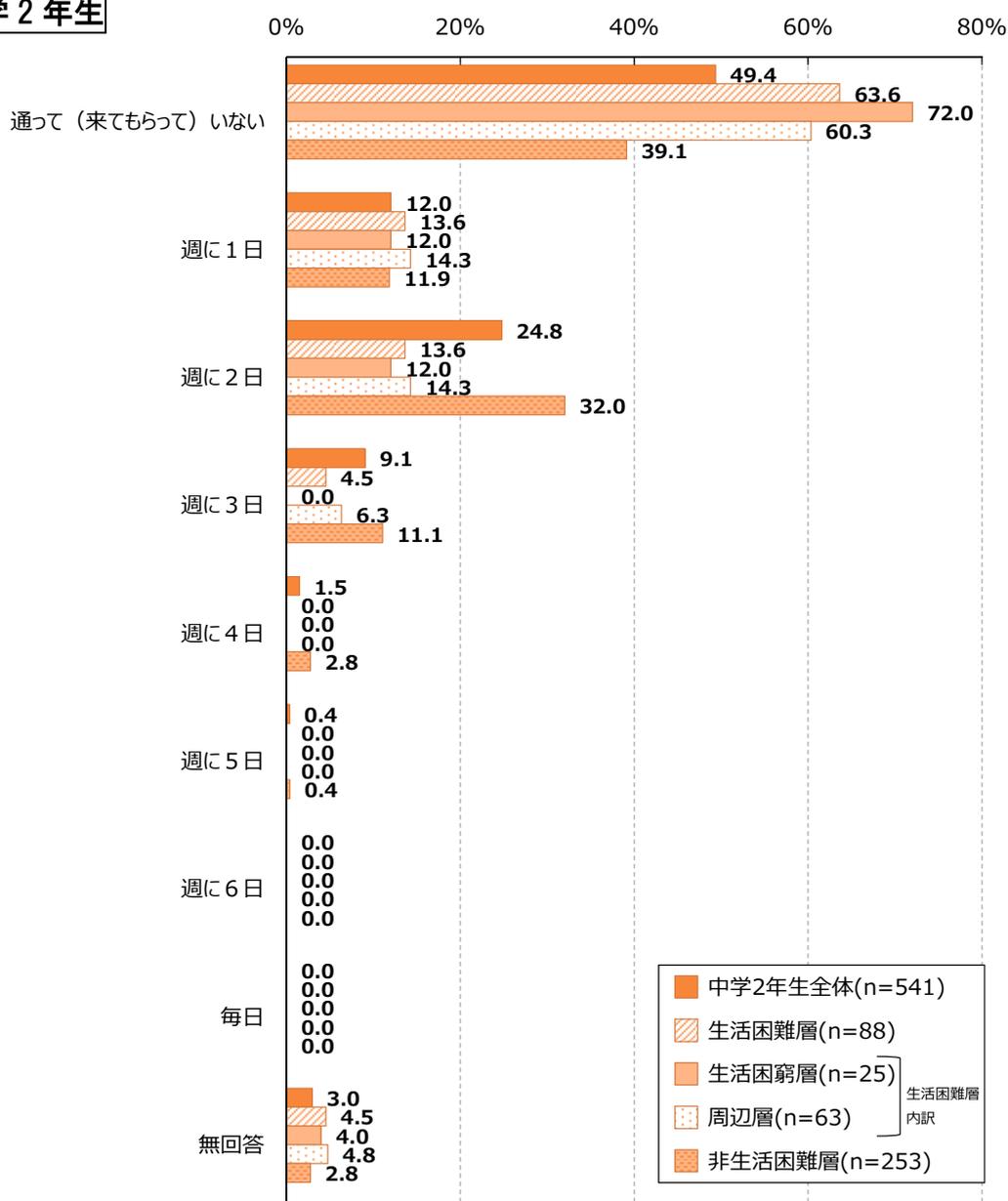
#### 小学5年生



学習塾に通う・家庭教師に来てもらう頻度について、中学2年生全体では、「通って（来てもらって）いない」が49.4%で最も多く、次いで「週に2日」が24.8%、「週に1日」が12.0%となっています。

生活困難度別にみると、「通って（来てもらって）いない」が、非生活困難層の39.1%に対し生活困窮層では72.0%と約33ポイント高くなっています。また、生活困窮層では、他の層にみられるような週に3日以上回答がいずれも0.0%となっています。

### 中学2年生



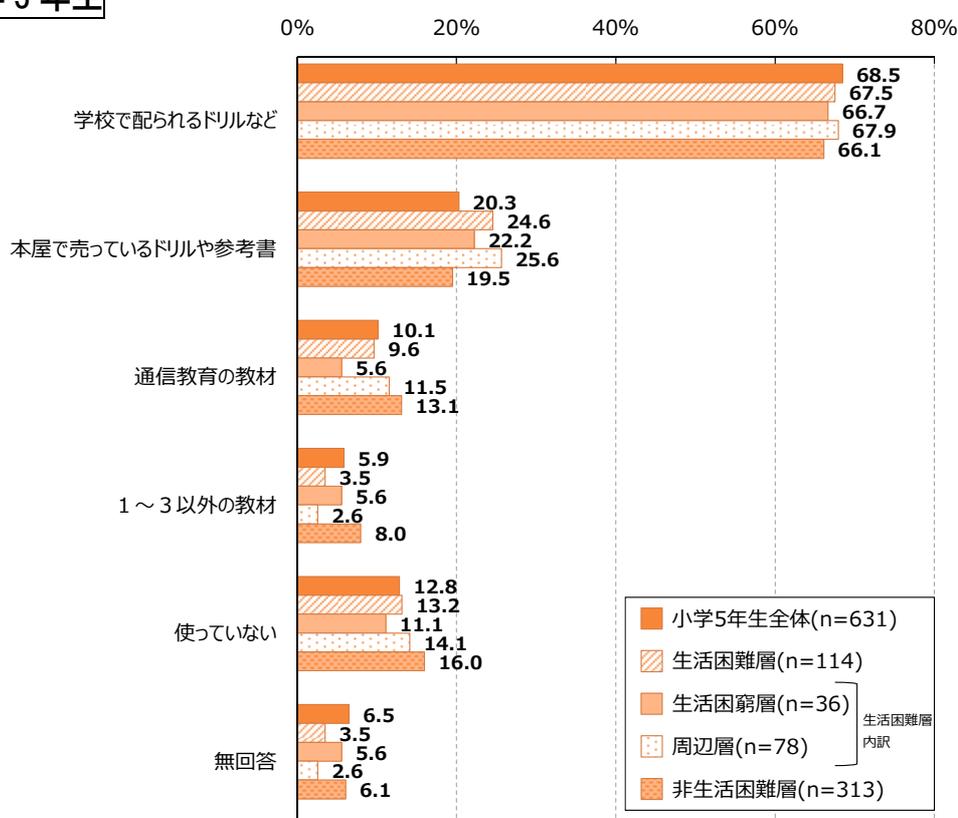
#### (4) 自宅での教材使用状況

▼あなたは、自宅で次の教材を使っていますか。(子/問 34 複数回答)

自宅で使用している教材について、小学5年生全体では、「学校で配られるドリルなど」が68.5%で最も多く、次いで「本屋で売っているドリルや参考書」が20.3%、「通信教育の教材」が10.1%となっており、「使っていない」は12.8%となっています。

生活困難度別にみると「学校で配られるドリルなど」では非生活困難層の66.1%に対し生活困窮層で66.7%と大きな差はみられませんが、「通信教育の教材」では非生活困難層の13.1%に対し生活困窮層では5.6%と7.5ポイント低くなっています。ただし、「本屋で売っているドリルや参考書」では生活困窮層の方がわずかに高く、「使っていない」では生活困窮層の方が低い割合となっています。

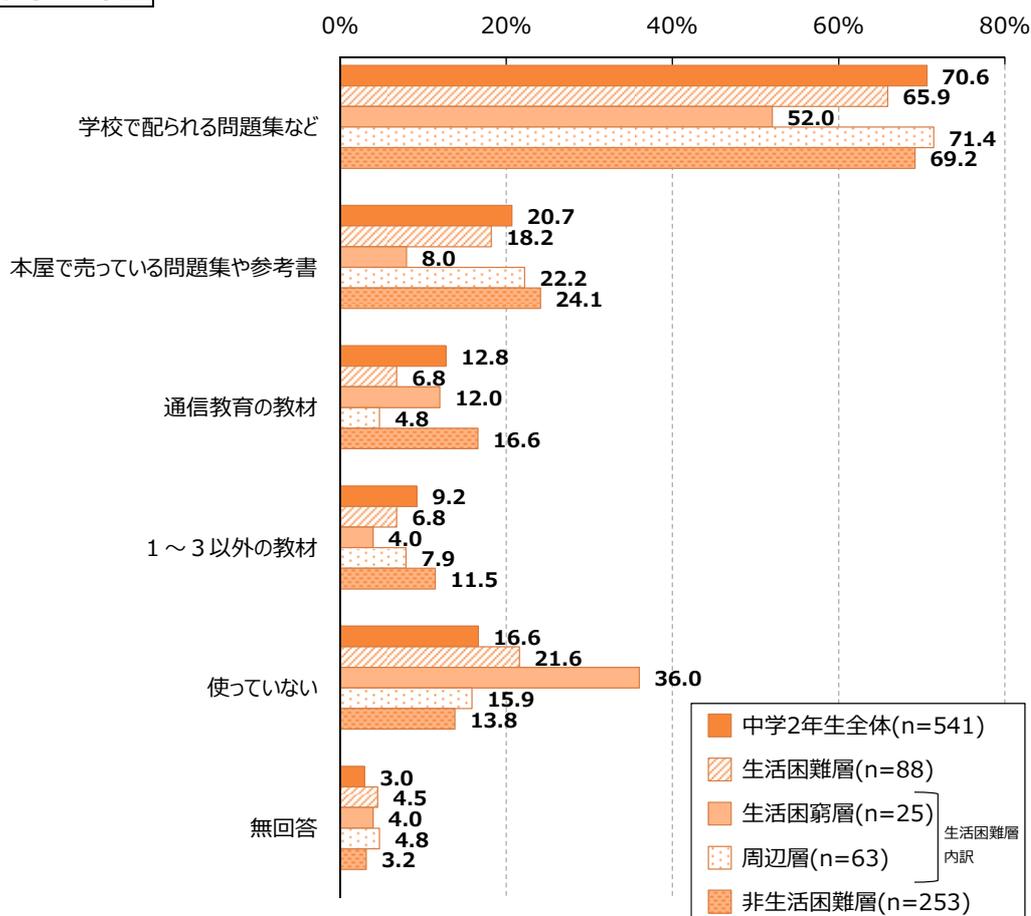
#### 小学5年生



自宅で使用している教材について、中学2年生全体では、「学校で配られる問題集など」が70.6%で最も多く、次いで「本屋で売っている問題集や参考書」が20.7%、「通信教育の教材」が12.8%となっており、「使っていない」は16.6%となっています。

生活困難度別にみると「学校で配られるドリルなど」が非生活困難層の69.2%に対し生活困窮層では52.0%と17.2ポイント程度低くなっている一方、「使っていない」が非生活困難層の13.8%に対し生活困窮層で36.0%と22.2ポイント高くなっています。

### 中学2年生

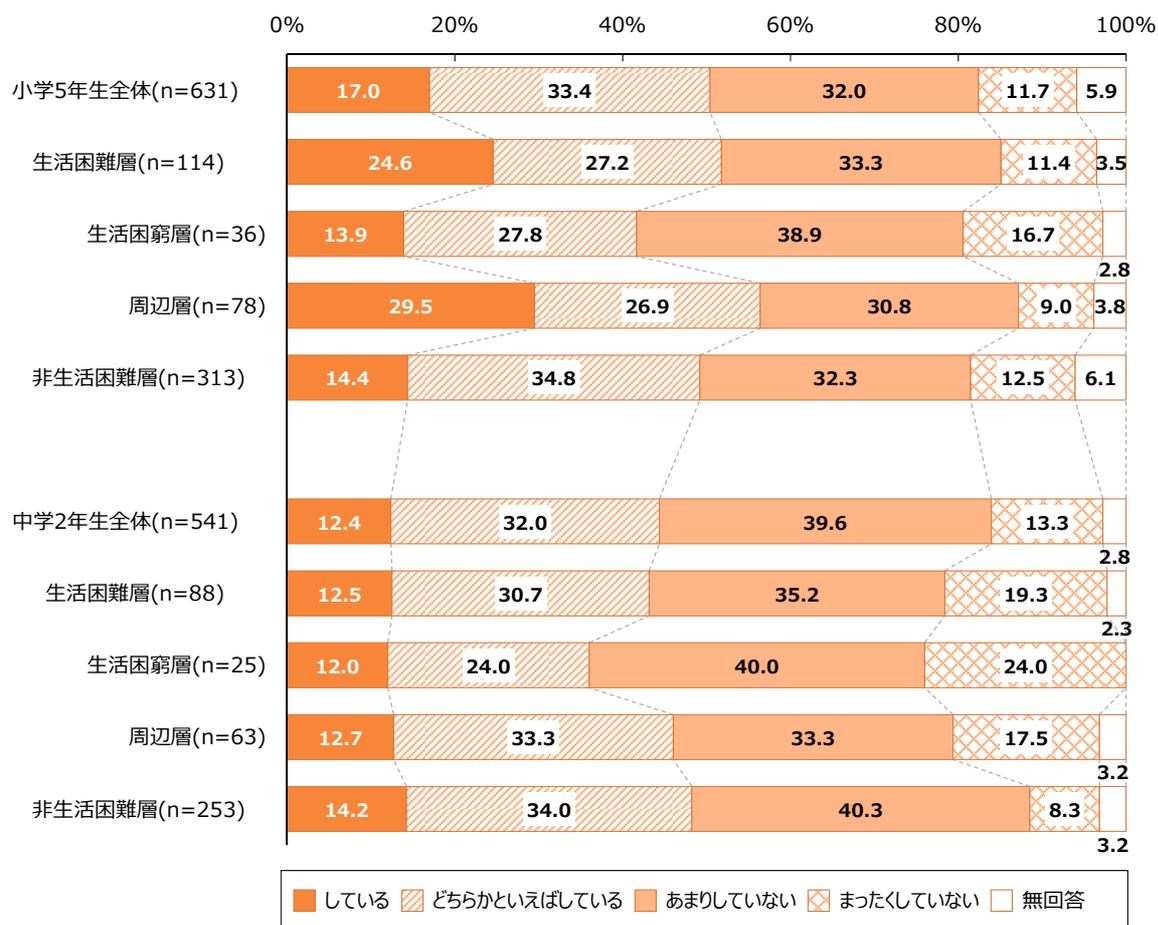


## (5) 計画的な勉強実施状況

### ▼あなたは、ふだん、自分で計画を立てて勉強をしていますか。(子/問 35)

計画を立てて勉強をしているかについて、「している」と「どちらかといえばしている」を合わせた“している”の割合は小学5年生全体で50.4%、中学2年生全体で44.4%となっている一方「まったくしていない」は小学5年生全体で11.7%、中学2年生全体で13.3%となっています。

「まったくしてい」を生活困難度別にみると、小学5年生では生活困窮層高く16.7%、中学2年生では生活困窮層で24.0%、周辺層で17.5%、非生活困難層で8.3%と生活困難度が高い層ほど割合が高く生活困難度と相関がみられます。

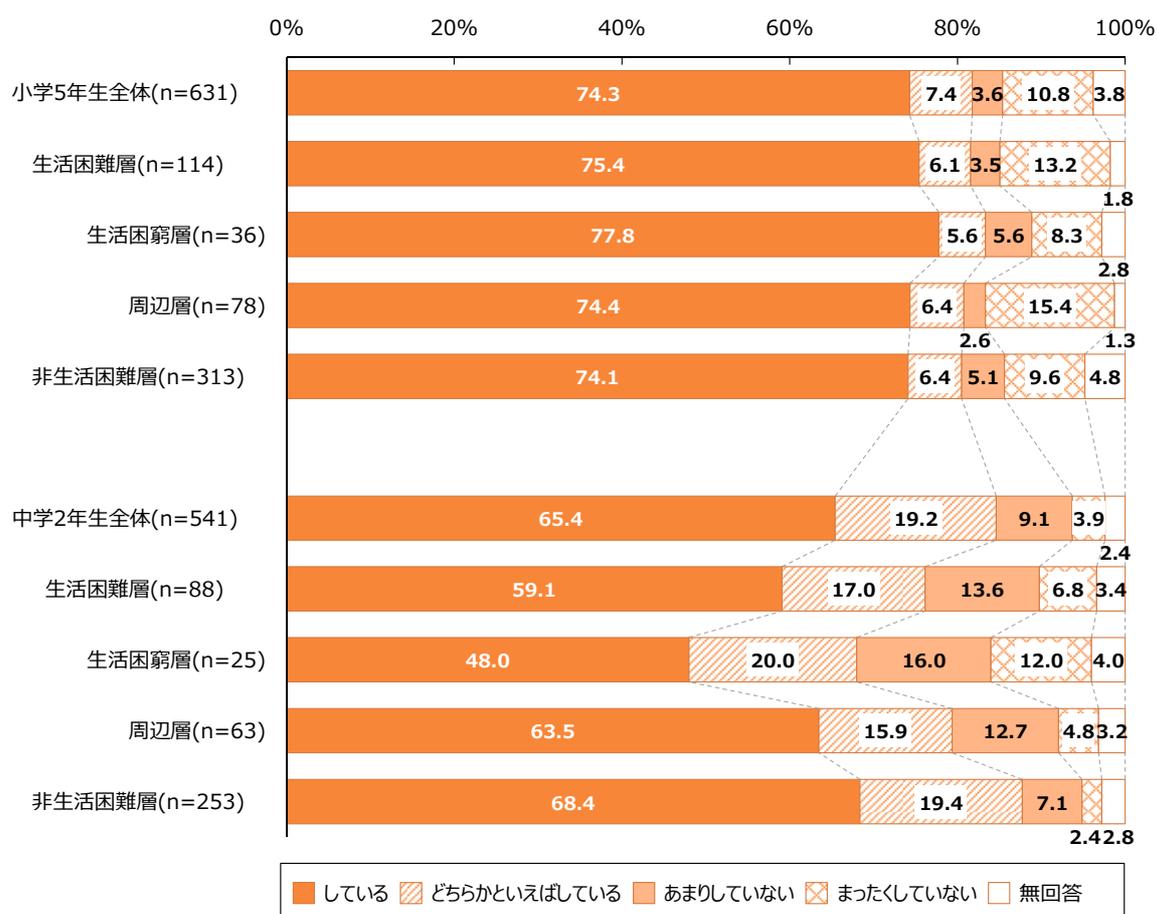


## (6) 宿題への対応状況

### ▼あなたは、ふだん、自宅や学習塾などで学校の宿題をしていますか。(子/問 36)

学校の宿題をしているかについて、「している」と「どちらかといえばしている」を合わせた“している”の割合は小学5年生全体で81.7%、中学2年生全体で84.6%となっている一方「まったくしていない」は小学5年生全体で10.8%、中学2年生全体で3.9%と、中学2年生では“している”割合が高くなっています。

“している”の割合を生活困難度別にみると、小学5年生では、生活困難度との相関はみられません。中学2年生では生活困窮層で68.0%、周辺層で79.4%、非生活困難度層で87.8%と生活困難度が高い層ほど低く生活困難度との相関がみられます。

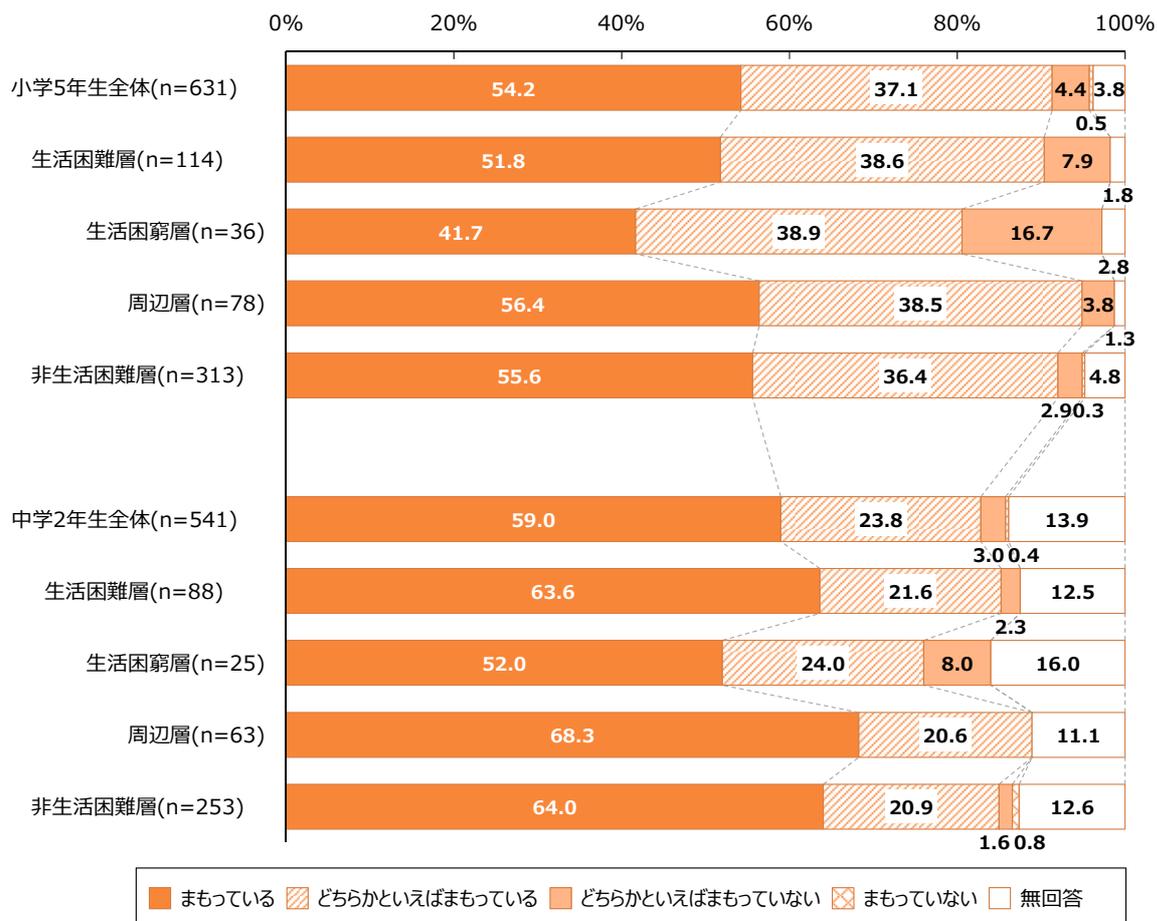


## (7) 学校規則の遵守状況

### ▼あなたは、ふだん、学校の規則をまもっていますか。(子/問 37)

学校の校則をまもっているかについて、「まもっている」と「どちらかといえばまもっている」を合わせた“まもっている”割合は小学5年生全体で91.3%、中学2年生全体で82.8%と多数を占めています。

生活困難度別では明確な相関はみられず、生活困窮層で低く、小学5年生で80.6%、中学2年生で76.0%となっています。



## 6 学習環境

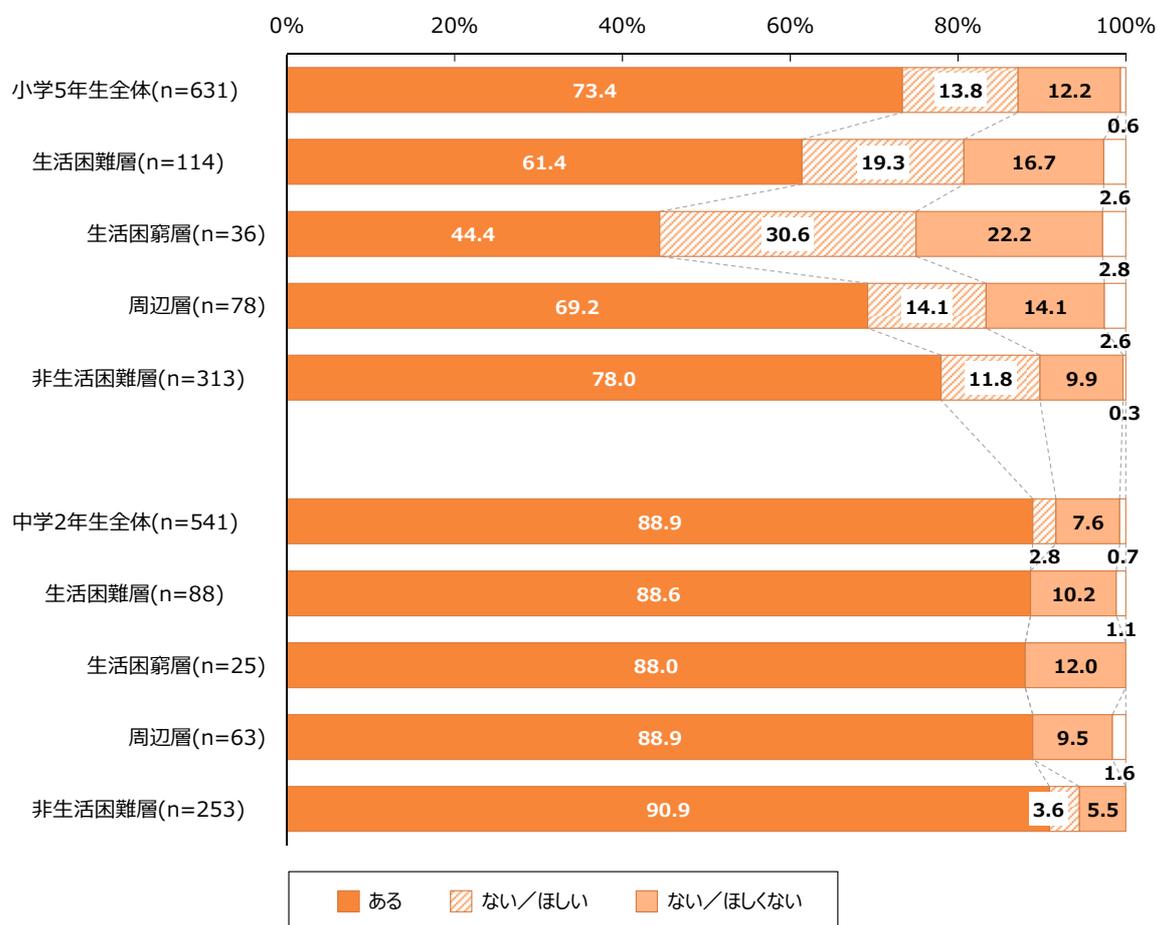
▼あなたには、自分が使うことができる、次のものがありますか。(子/問4)

### A 自分だけの本(学校の教科書やマンガは除く)【再掲】

自分だけの本の所有状況について、「ある」は、小学5年生の全体で73.4%、生活困窮層で44.4%、周辺層で69.2%、非生活困難層で78.0%と生活困難度が高い層ほど所有の割合は低くなっています。一方、中学2年生では生活困難度との相関はみられず、9割前後と多数を占めています。

また、「ない/ほしい」「ない/ほしくない」は、小学5年生では生活困難度との相関がみられ、生活困難度が高くなるにつれて割合は増加しています。

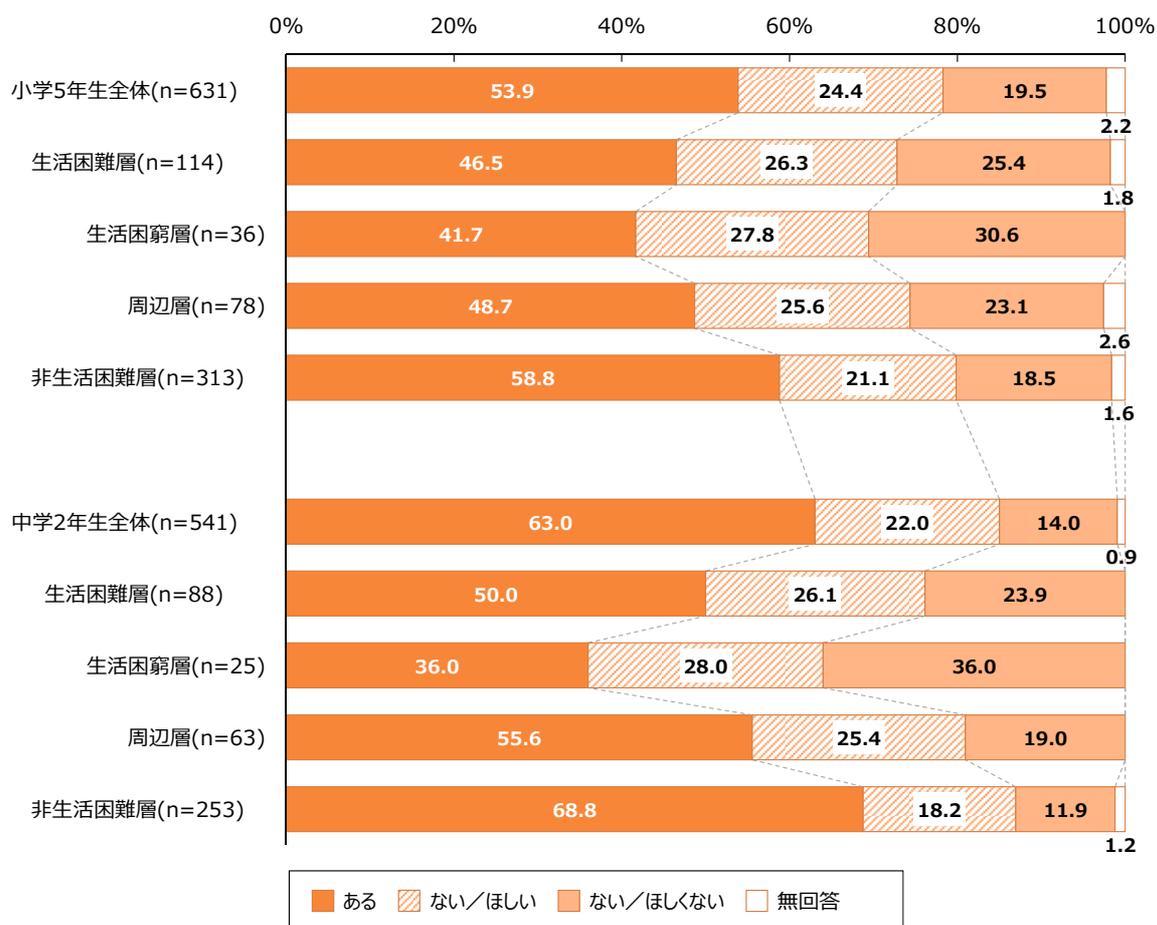
中学2年生では、生活困難層で「ない/ほしい」の回答はなく、「ない/ほしくない」は非生活困難層の5.5%に対し生活困窮層で12.0%となっています。



### C (自宅で) インターネットにつながるパソコン【再掲】

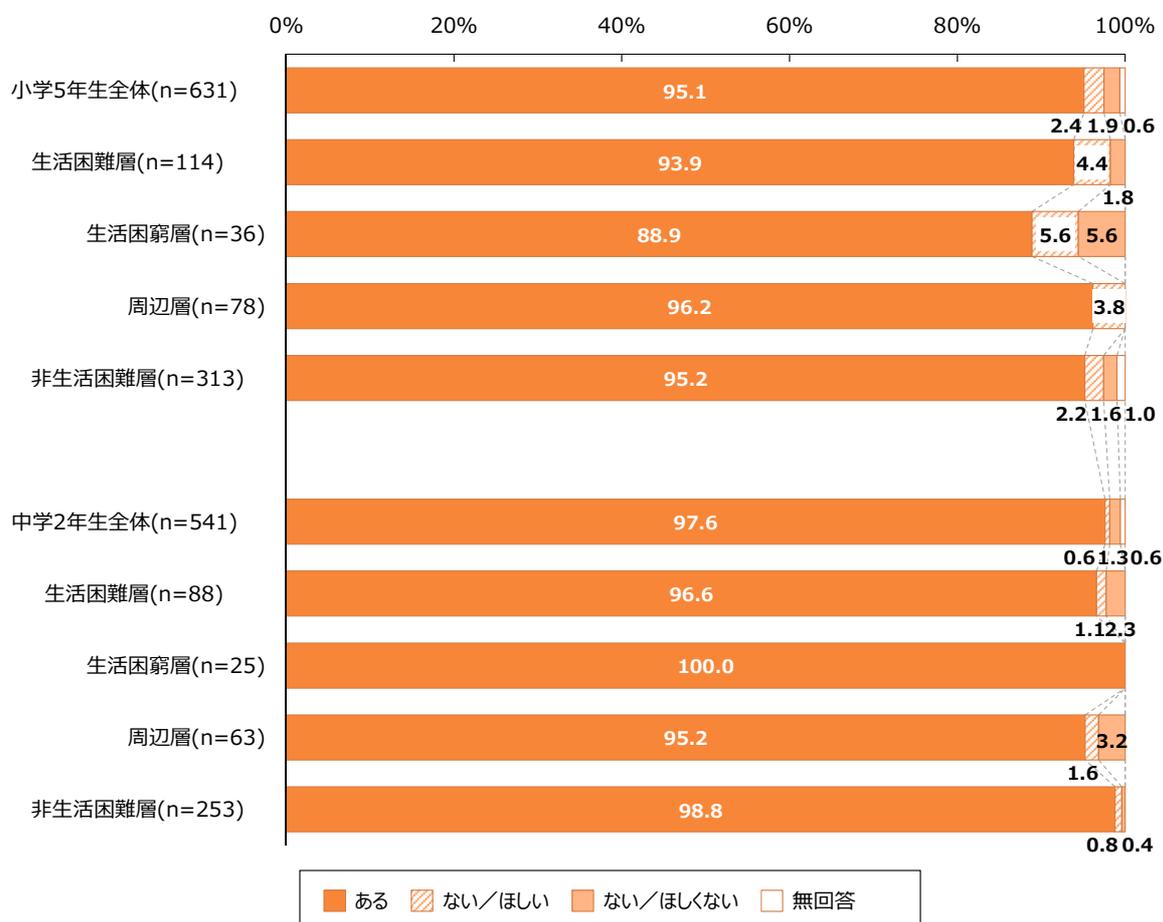
自宅でインターネットにつながるパソコンの所有状況について、「ある」は、小学5年生の全体で53.9%、生活困難度別では、生活困窮層で41.7%、周辺層で48.7%、非生活困難層で58.8%と生活困難度との相関がみられ、生活困難度が高い層ほど所有の割合は低くなっています。また、「ない／ほしい」でも、小学5年生の生活困窮層で27.8%、周辺層で25.6%、非生活困難層21.1%と、生活困難度との相関がみられ、生活困難度が高くなるにつれて増加しており、中学2年生でも同様の傾向となっています。

一方、小学5年生の生活困窮層の30.6%、中学2年生の生活困窮層の36.0%は「ない／ほしくない」と回答しています。



## D 自宅で宿題をすることができる場所【再掲】

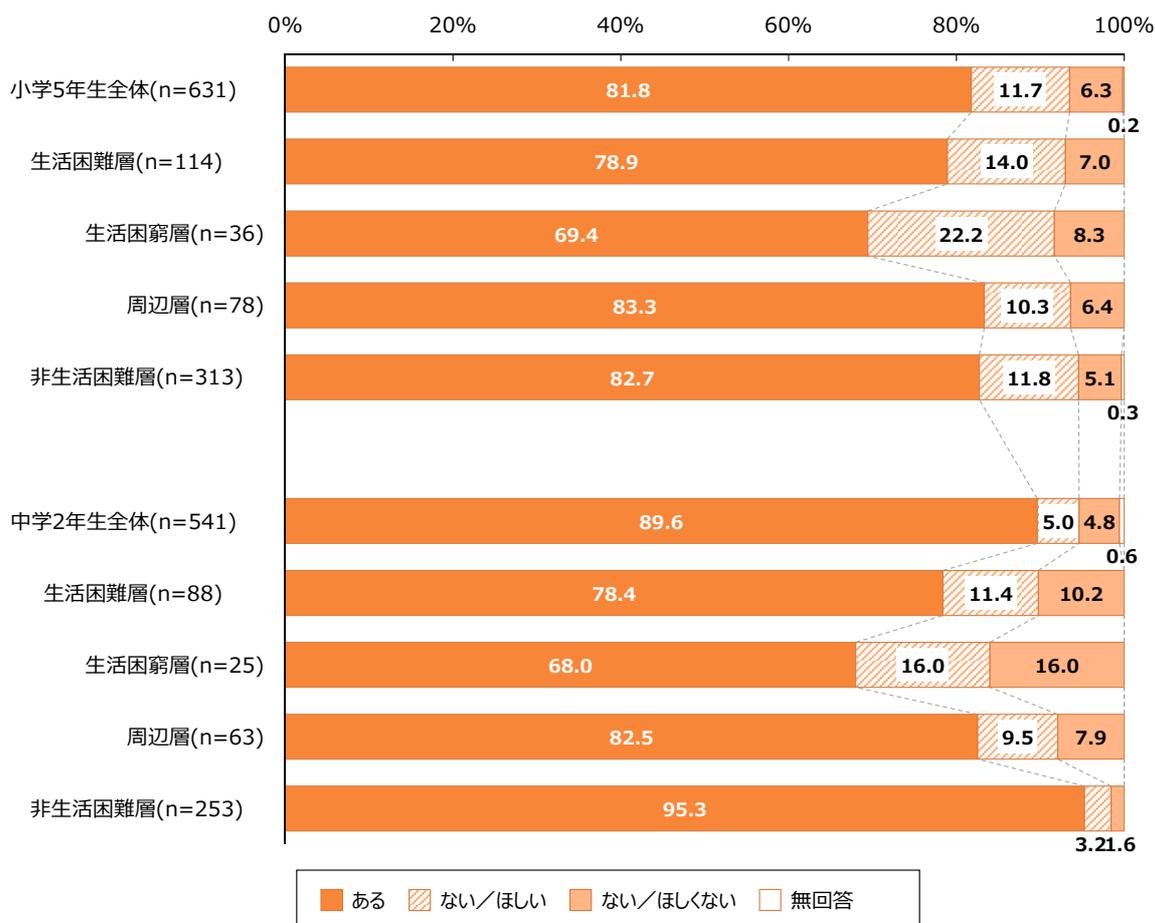
自宅で宿題をすることができる場所の所有状況について、「ある」との回答が全体、生活困難層、非生活困難層とも大多数を占めていますが、小学5年生の生活困窮層ではやや低く88.9%となっています。



## E 自分専用の勉強机【再掲】

自分専用の勉強机の所有状況について、「ある」は、小学5年生の生活困窮層で69.4%、中学2年生の生活困窮層で68.0%とやや低くなっているほかは8割を超えています。

また、「ない／ほしい」は、小学5年生の生活困窮層で22.2%、周辺層で10.3%、非生活困難層で11.8%、中学2年生の生活困窮層で16.0%、周辺層で9.5%、非生活困難層で3.2%となっています。一方、中学2年生の生活困窮層の16.0%は「ない／ほしくない」と回答しています。



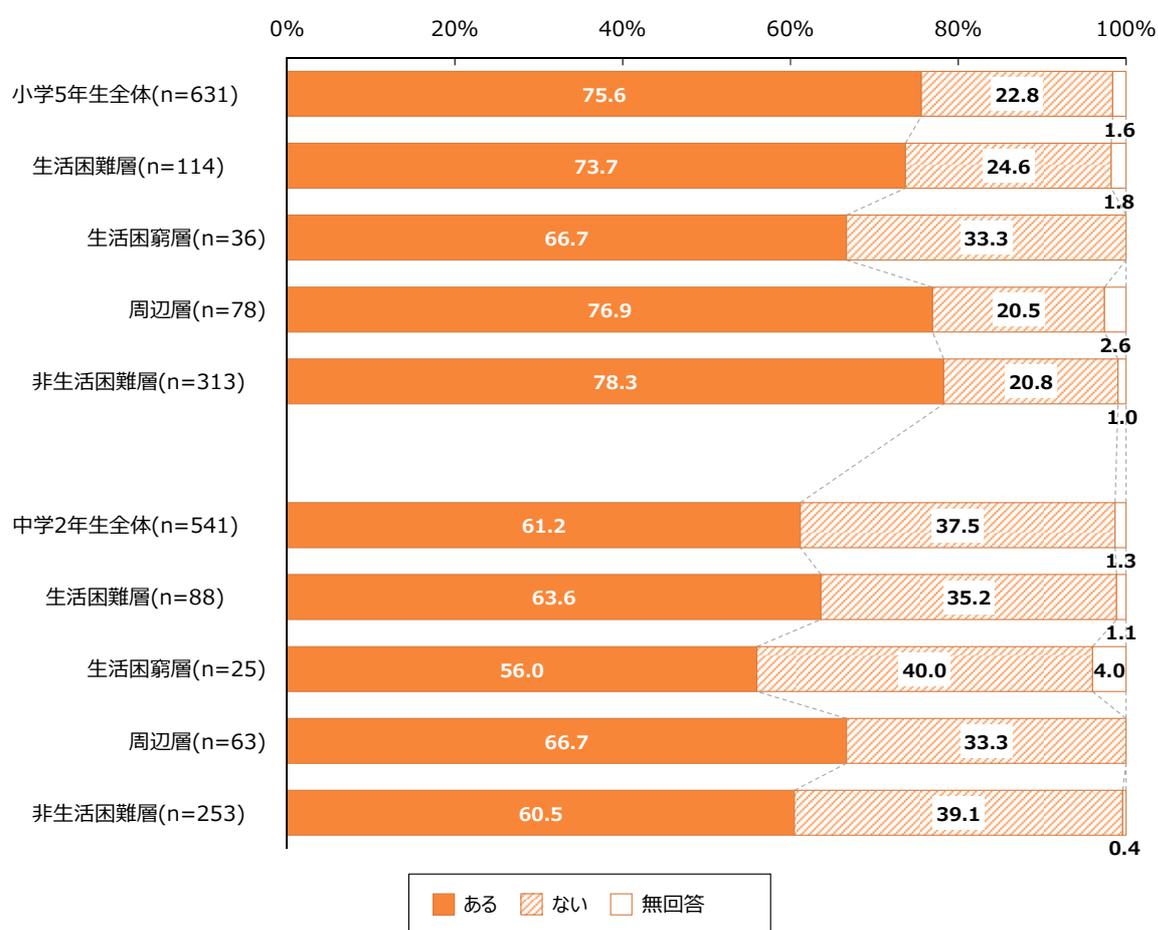
## 7 将来の夢

### (1) 夢の有無と夢がない理由

#### ▼あなたには、将来のゆめやつきたい職業がありますか。(子/問5)

将来のゆめやつきたい職業について、小学5年生全体で「ある」が75.6%、「ない」が22.8%となっています。生活困難度別に「ある」の割合をみると、生活困窮層で66.7%、周辺層で76.9%、非生活困難層で78.3%と生活困難度との相関がみられます。

中学2年生では小学5年生に比べ「ある」の割合が総じて低く、全体で61.2%、「ない」が37.5%となっています。生活困難度別に「ある」の割合をみると、明確な相関はみられず、生活困窮層で56.0%と低く、周辺層で66.7%と高くなっています。



▼将来のゆめやつきたい職業が「1 ある」と答えた人におききします。

そのゆめやつきたい職業は何ですか。(子/問5-1)

将来のゆめがあると回答した人の小学5年生、中学2年生の男女別の、ゆめや職業で回答の多かったもの上位5つは以下のとおりです。

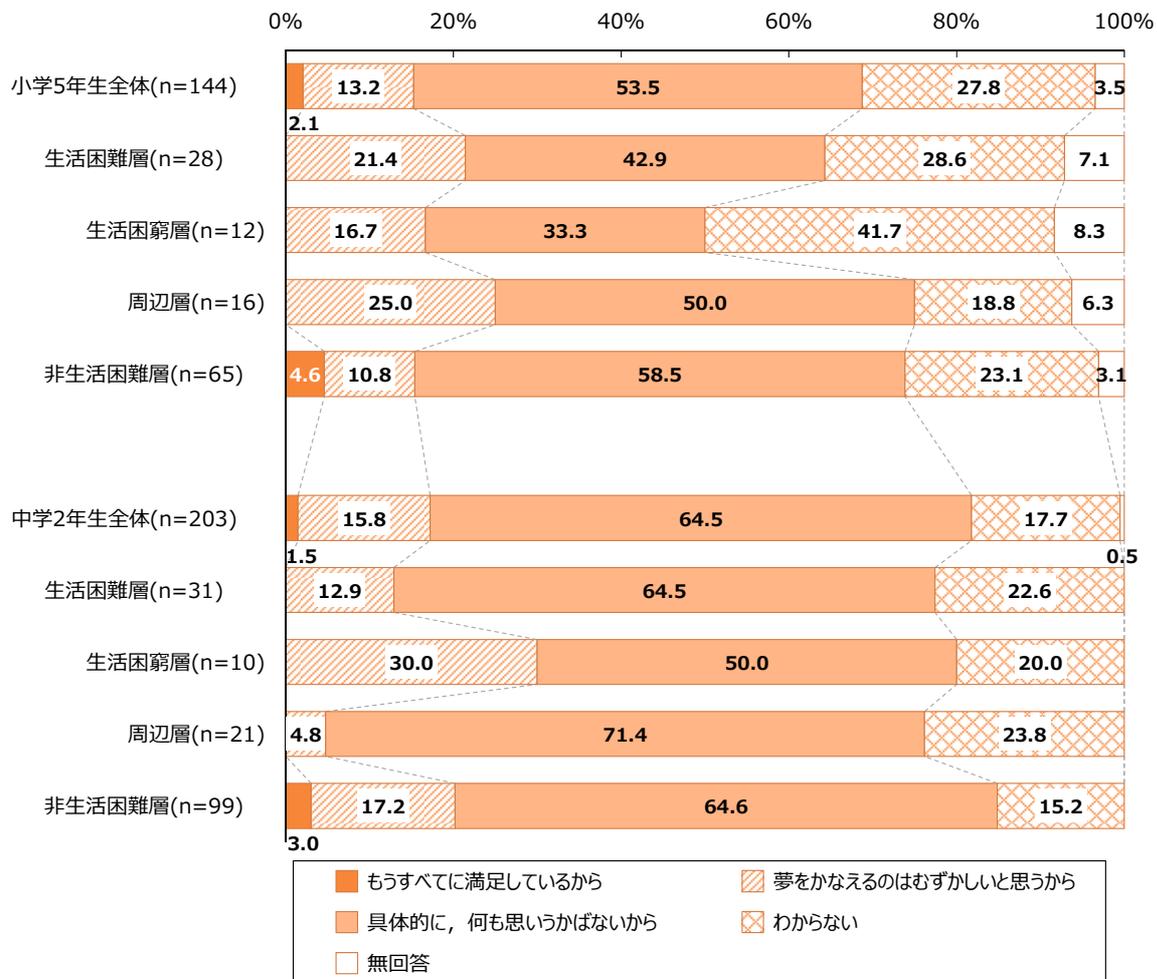
小学5年生		中学2年生	
男子	女子	男子	女子
プロ野球選手 (58)	保育士 (29)	プロ野球選手 (19)	看護師 (21)
サッカー選手 (18)	看護師 (28)	教師 (10)	保育士 (19)
大工 (11)	パティシエ (25)	スポーツ関係 (8)	教師 (12)
コック・料理人 (9)	美容師 (24)	公務員 (6)	医療関係 (10)
ユーチューバー (9)	医者 (11)	自動車関係 (6)	幼稚園の先生 (9)

※ ( ) 内は回答数

▼将来のゆめやつきたい職業が「2 ない」と答えた人におききします。

ゆめやつきたい職業がない理由は何ですか。(子/問5-2)

将来のゆめやつきたい職業がないと回答した人の理由として、小学5年生、中学2年生とも「具体的に何も思いうかばないから」が比較的多くなっていますが、小学5年生の周辺層の25.0%、中学2年生の生活困窮層の30.0%が「夢をかなえるのは難しいと思うから」と回答しています。

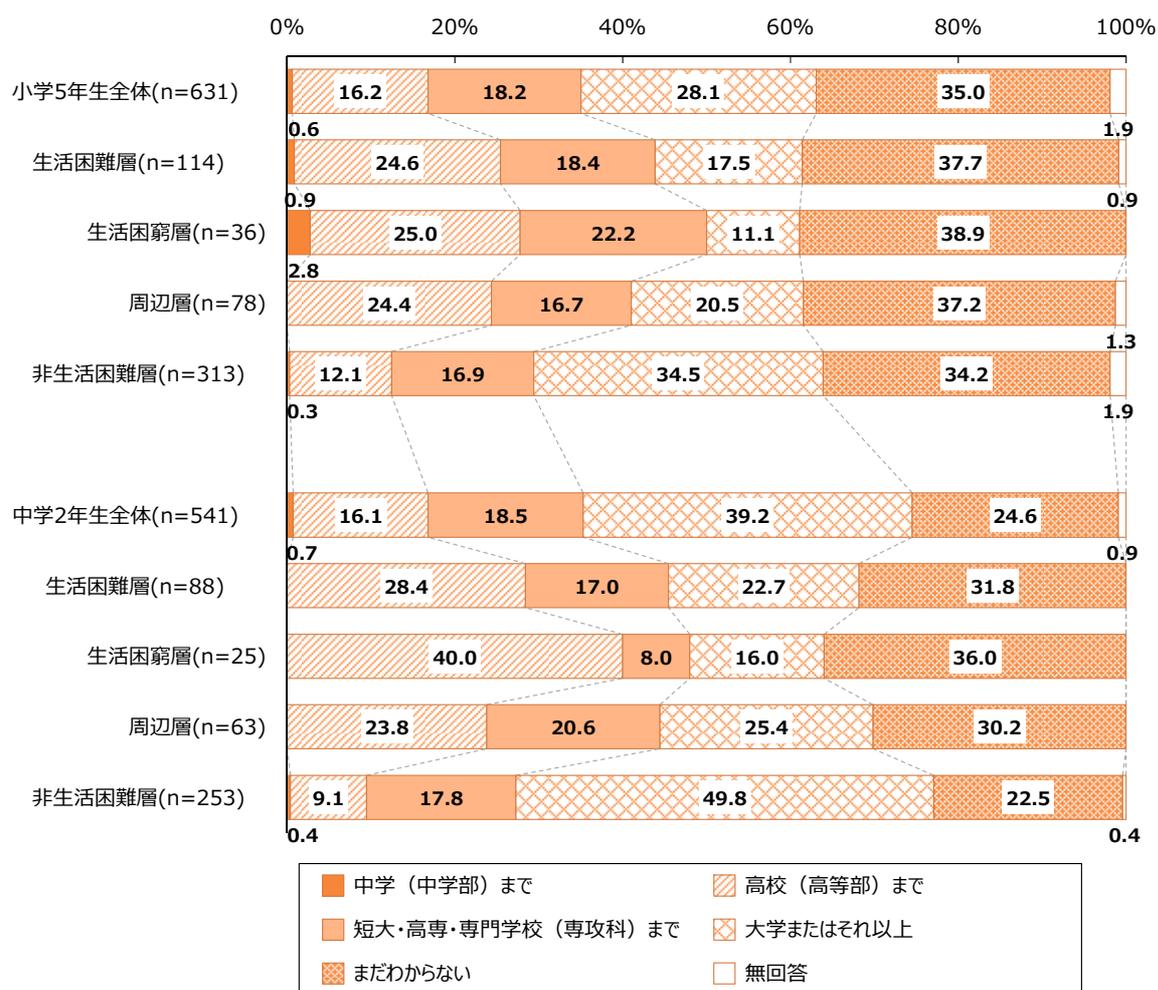


## (2) 将来の進学希望

### ▼あなたは、将来、どの段階まで進学したいですか。(子/問5-3)

将来の進学希望について、「大学またはそれ以上」が小学5年生全体で28.1%、中学2年生全体で39.2%、「高校（高等部）まで」が小学5年生全体で16.2%、中学2年生全体で16.1%となっています。

生活困難度別では、小学5年生、中学2年生とも明確な相関がみられ「大学またはそれ以上」と回答した割合は生活困難度が高い層ほど低く、反対に「高校（高等部）まで」と回答した割合は生活困難度が高い層ほど高くなっています。



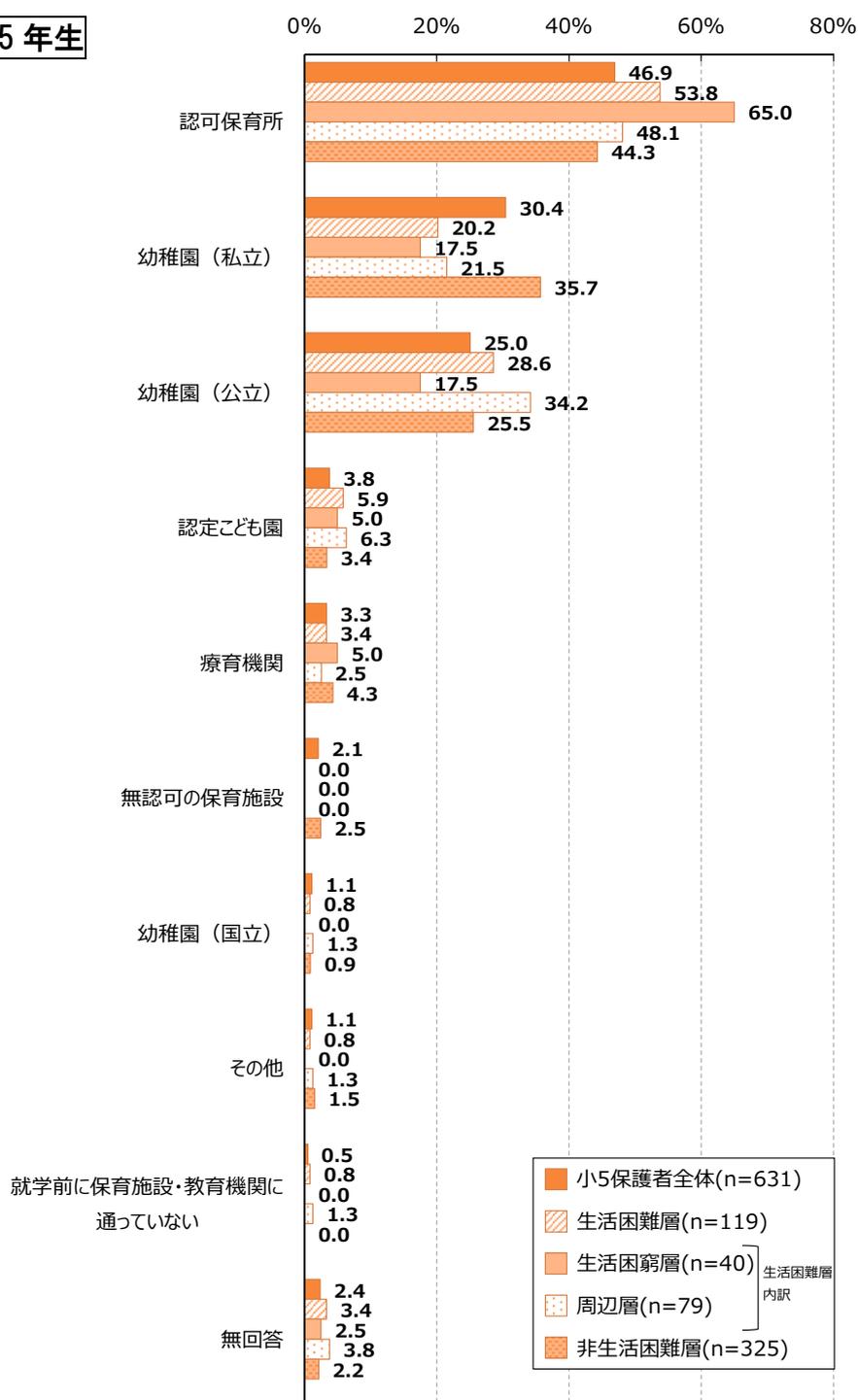
## 7 子どもの教育

### (1) 子どもがこれまでに通った保育・教育機関

▼お子さんが就学前に通ったことのある保育施設・教育機関をすべてお答えください。  
(保/問 12 複数回答)

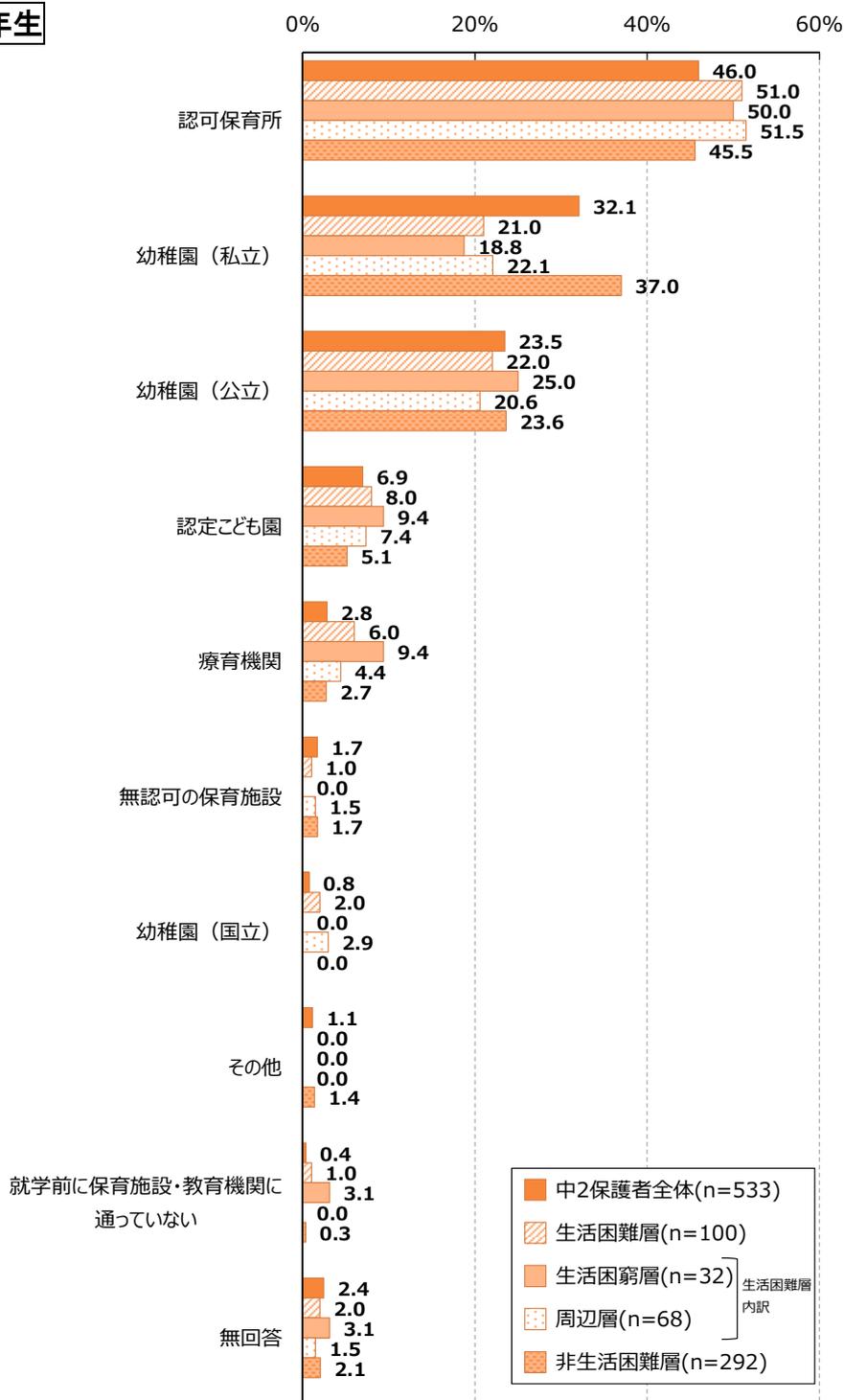
就学前に通ったことのある保育施設・教育機関について、小学5年生全体で、「認可保育所」が46.9%、「幼稚園（私立）」が30.4%、「幼稚園（公立）」が25.0%となっています。生活困窮層でも同様の傾向となっていますが、生活困窮層では他の層と比べ「認可保育所」が65.0%と高く「幼稚園（私立）」「幼稚園（公立）」が17.5%と低くなっています。

#### 小学5年生



就学前に通ったことのある保育施設・教育機関について、中学2年生全体でも同様に「認可保育所」が46.0%、「幼稚園（私立）」が32.1%、「幼稚園（公立）」が23.5%となっています。生活困窮層では「認可保育所」が50.0%、「幼稚園（公立）」が25.0%、「幼稚園（私立）」が18.8%となっています。

**中学2年生**

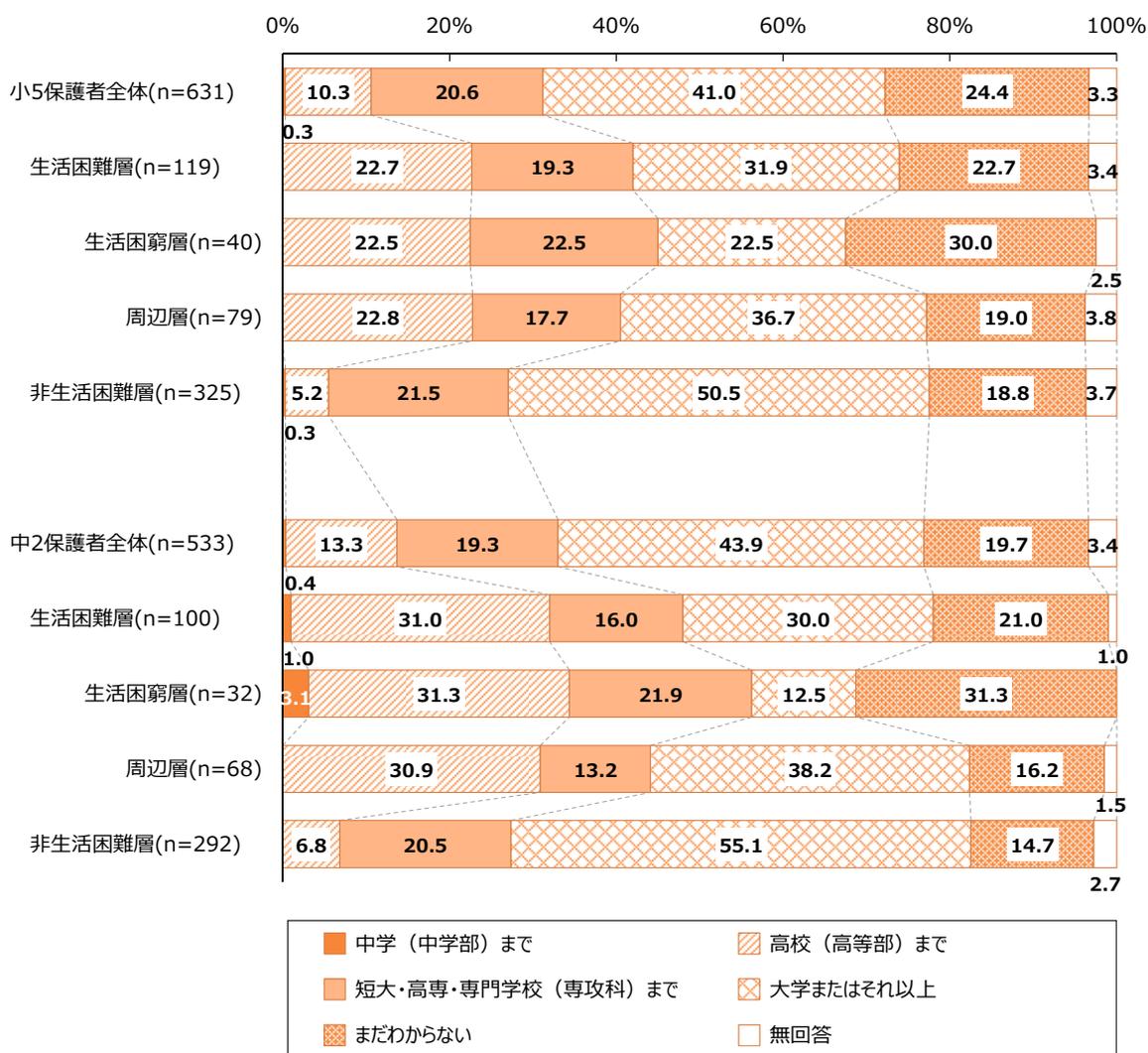


## (2) 子どもに受けさせたい教育レベルとその理由

### ▼お子さんに、どの段階までの教育を受けさせたいと考えていますか。(保/問 13)

子どもに受けさせたい教育の段階について、「大学またはそれ以上」が小学5年生全体で41.0%、中学2年生全体で43.9%、「高校（高等部）まで」が小学5年生全体で10.3%、中学2年生全体で13.3%となっています。

生活困難度別にみると、「大学またはそれ以上」は小学5年生の非生活困難層の50.5%に対し生活困難層で22.5%、中学2年生では、非生活困難層の55.1%に対し生活困難層で12.5%と低くなっている一方、「高校（高等部）まで」は小学5年生の非生活困難層5.2%に対し生活困難層で22.5%、中学2年生の非生活困難層の6.8%に対し生活困難層で31.3%と4倍以上になっています。

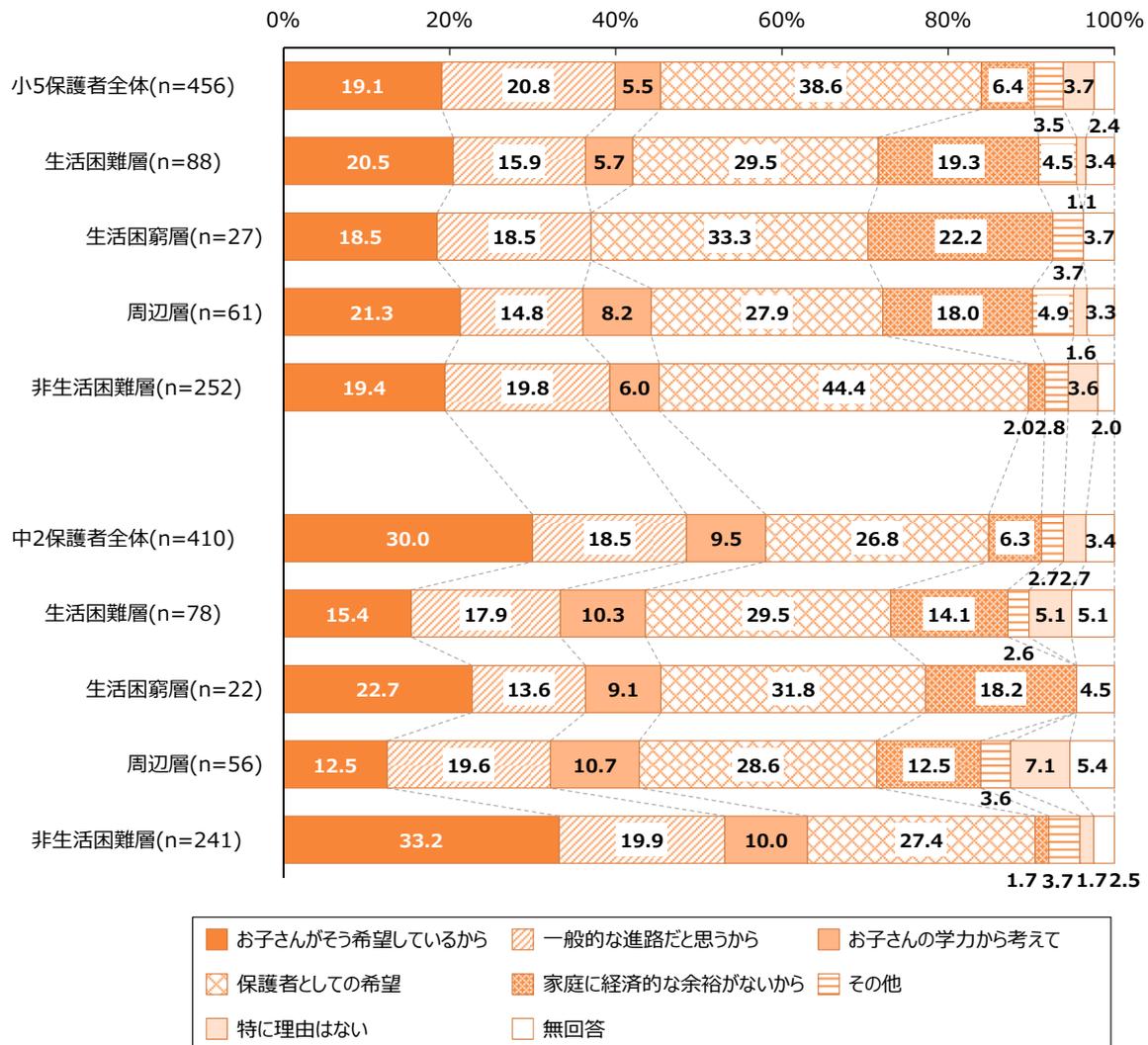


▼問13で「1」～「4」を選んだ方におうかがいします。

その理由は、何ですか。(保/問13-1)

子どもに受けさせたい教育の段階を選んだ理由について、小学5年生全体では「保護者としての希望」38.6%、「一般的な進路だと思うから」20.8%、中学2年生全体では「お子さんがそう希望しているから」30.0%、「保護者としての希望」26.8%となっています。

生活困難度別にみると、生活困窮層では「家庭に経済的な余裕がないから」が比較的高く小学5年生で22.2%、中学2年生では18.2%と非生活困窮層の10倍以上となっています。

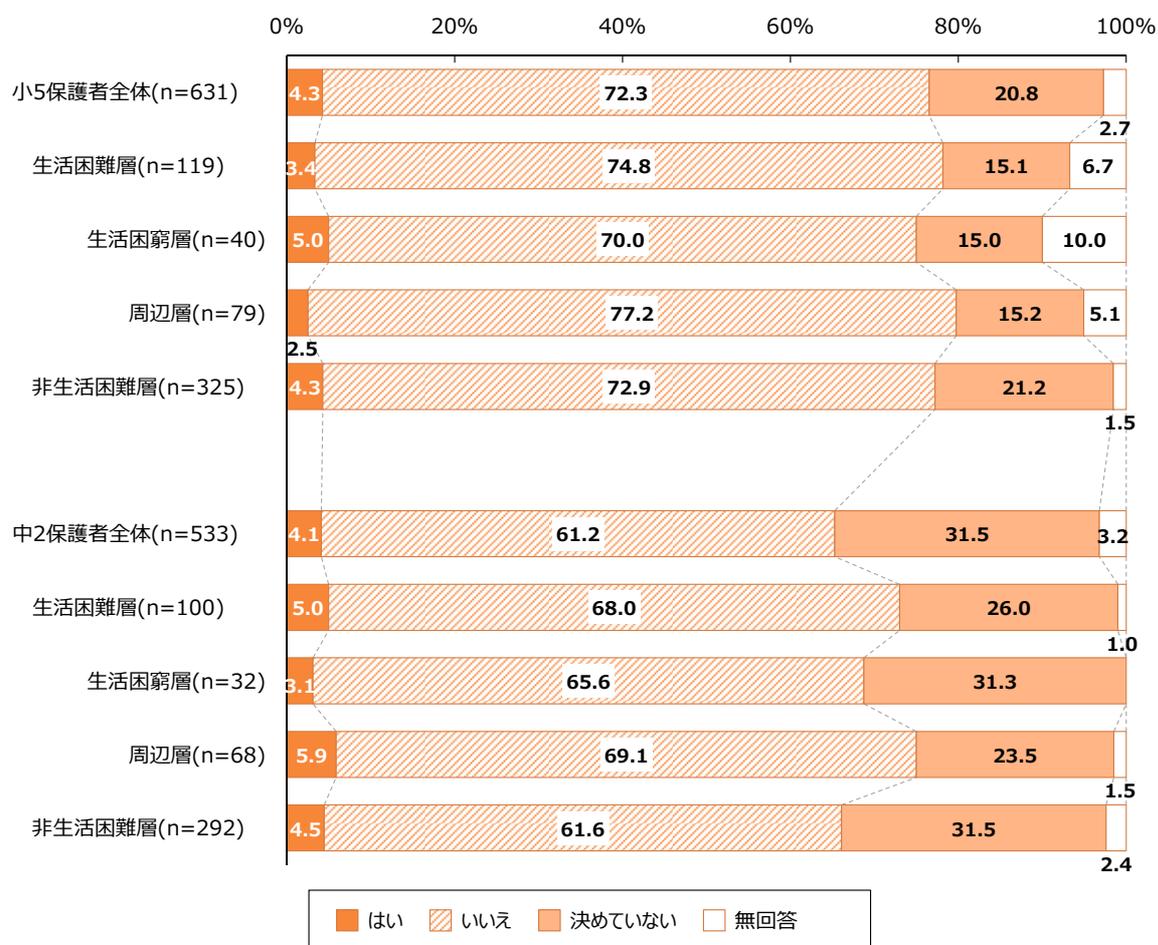


### (3) 私立進学への保護者意向とその理由

#### ▼お子さんを私立中学校（私立高校）に行かせたいと思いますか。（保/問 14）

私立進学への保護者の意向について、小学5年生では、全体で「はい」が4.3%、「いいえ」が72.3%となっています。生活困難度別でも同様に、「いいえ」が7割を超え多数を占めています。

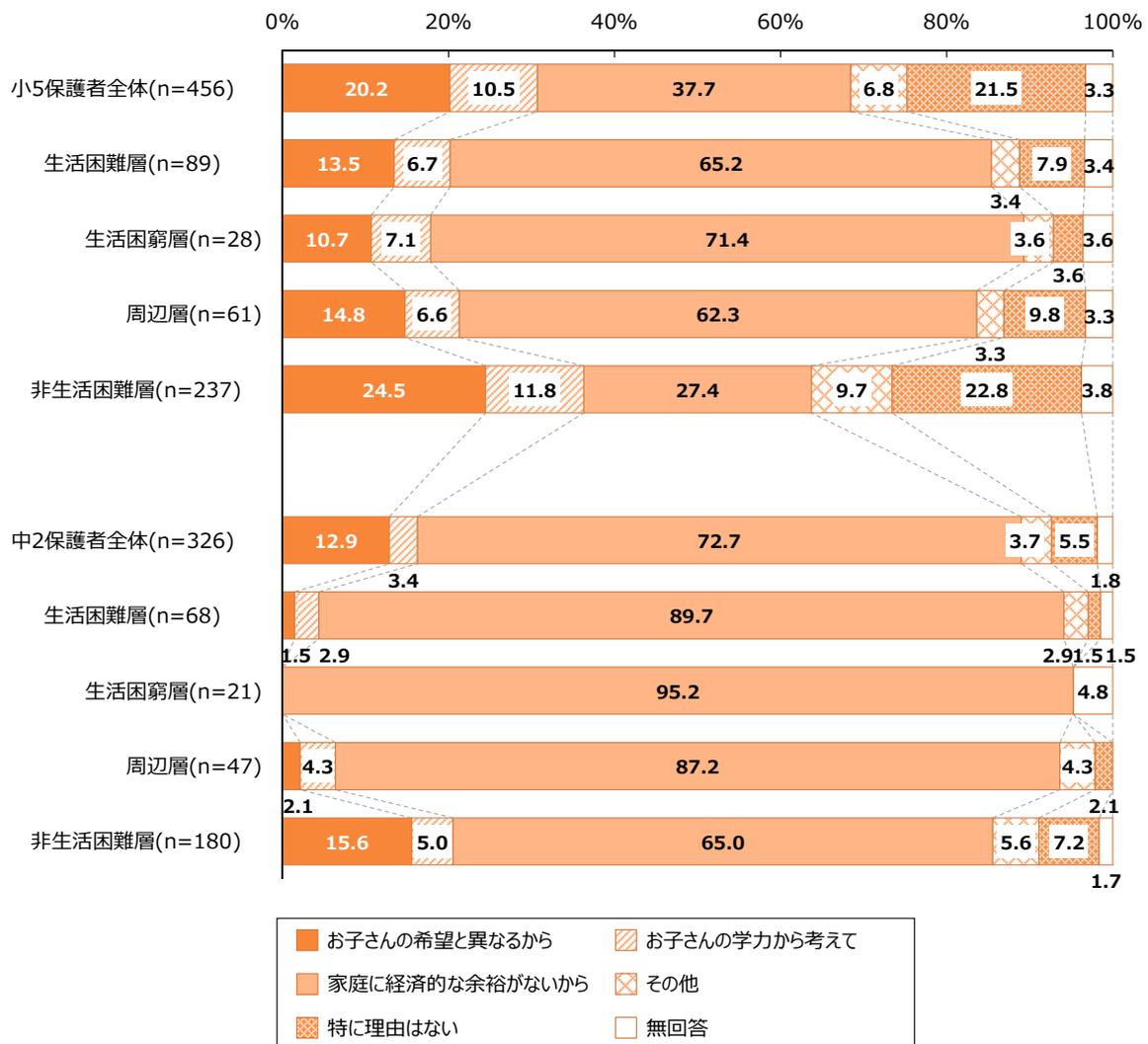
中学2年生でも、小学5年生に比べ割合は低いものの「いいえ」が多数を占めています。



▼問 14 で「2 いいえ」を選んだ方におうかがいします。その理由は、何ですか。  
 (保/問 14-1)

私立進学意向で「いいえ」を選んだ理由として、「家庭に経済的な余裕がないから」は小学 5 年生全体で 37.7%, 生活困難度別では明確な相関がみられ, 非生活困難層の 27.4%に対し, 生活困窮層で 71.4%と 2.5 倍以上となっています。

中学 2 年生では, 「家庭に経済的な余裕がないから」の割合が小学 5 年生と比べ総じて高く, 特に, 全体で 72.7%, 非生活困難層で 65.0%と高く, 生活困窮層でも 9 割を超えています。



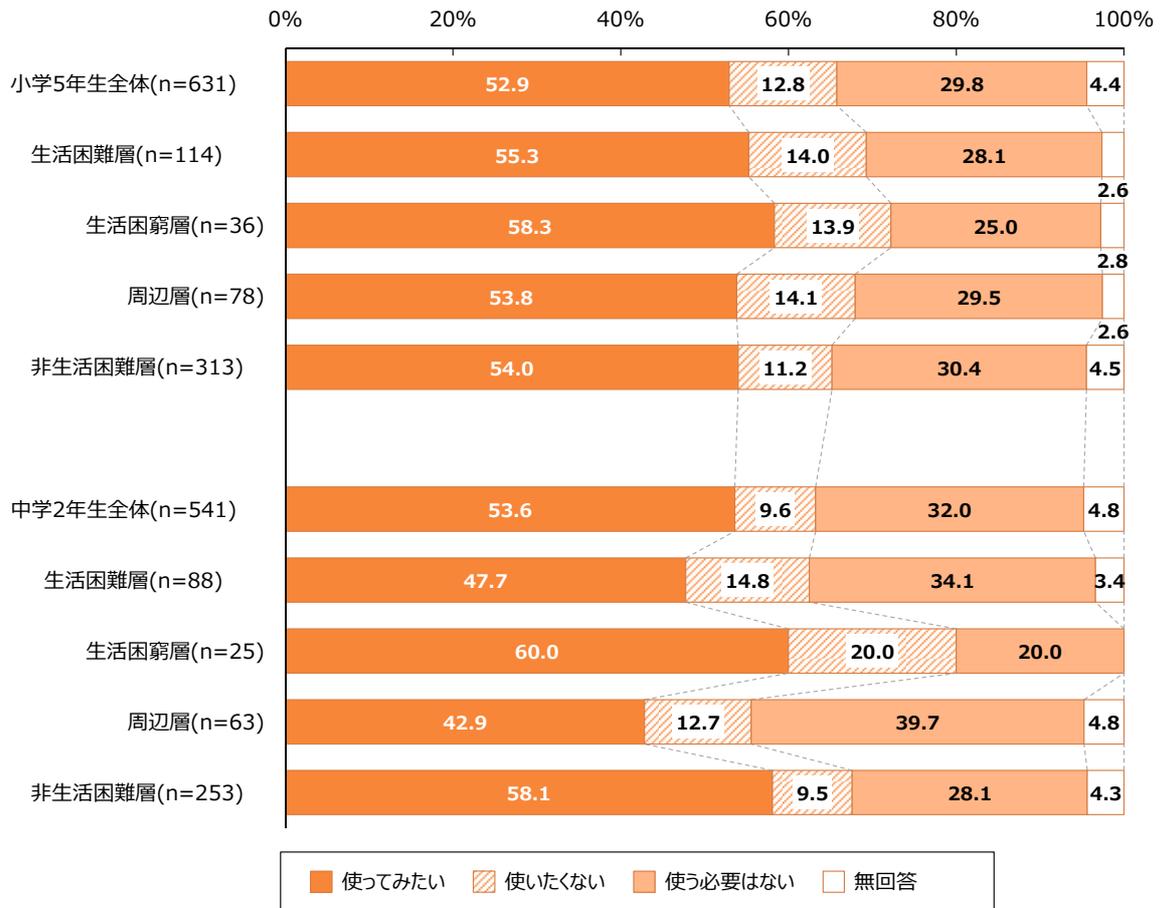
## 8 学習関連の支援プログラムの利用意向

▼あなたは、次のような場所があれば使ってみたいと思いますか。(子/問 41)

### D 家で勉強できないとき、静かに勉強ができる場所

静かに勉強ができる場所の利用意向について、「使ってみたい」は、小学5年生全体で52.9%、生活困難度別でも、いずれの層も半数以上が回答しており、明確な相関はみられません。

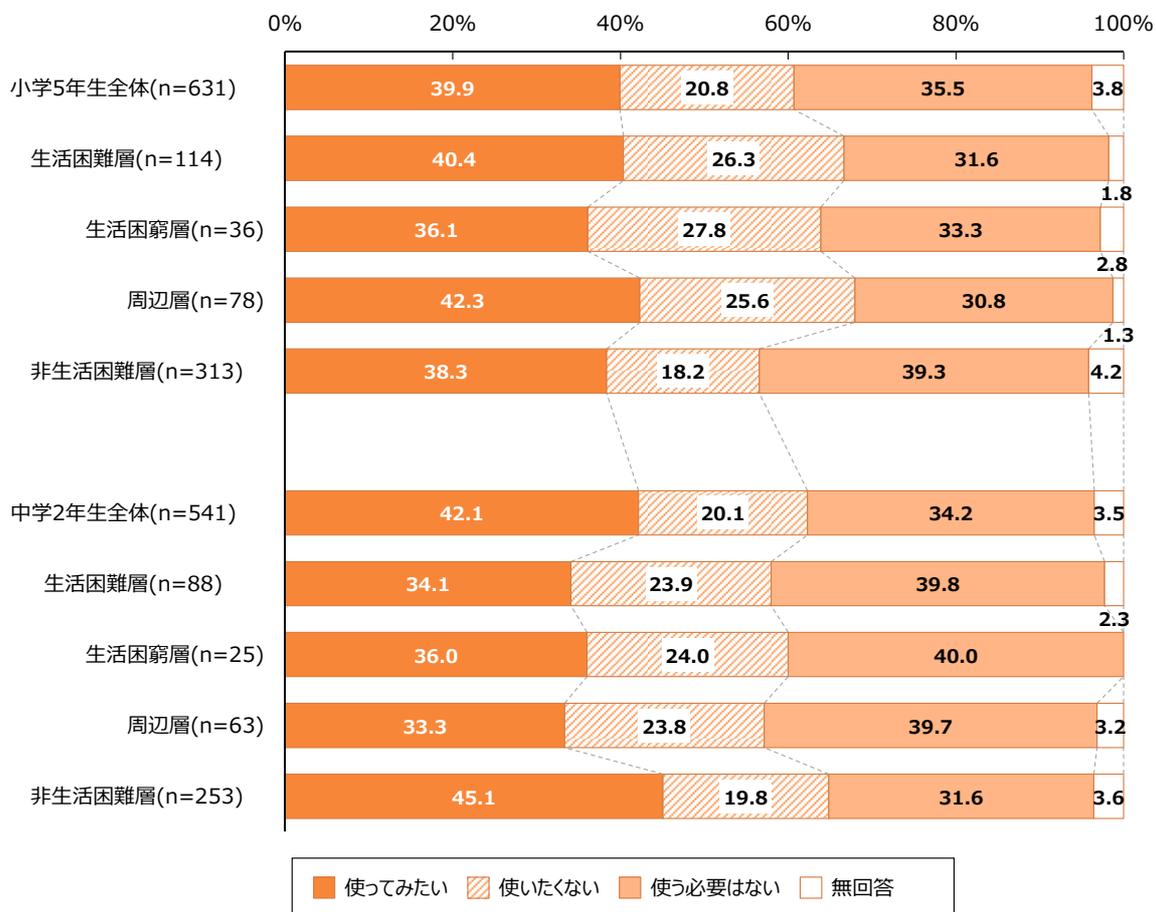
中学2年生は、生活困窮層で高く60.0%、周辺層では42.9%と低くなっています。



## E 大学生のボランティアが、勉強を無料でみてくれる場所

大学生のボランティアが、勉強を無料でみてくれる場所の利用意向について、「使ってみたは、小学5年生全体で39.9%、生活困難度別でも生活困窮層で36.1%、非生活困難層で38.3%と生活困難度による大きな差はみられません。

中学2年生は、非生活困難層で45.1%と高くなっています。



# 第4章 子どもの日常生活

## 1 家族や友だち

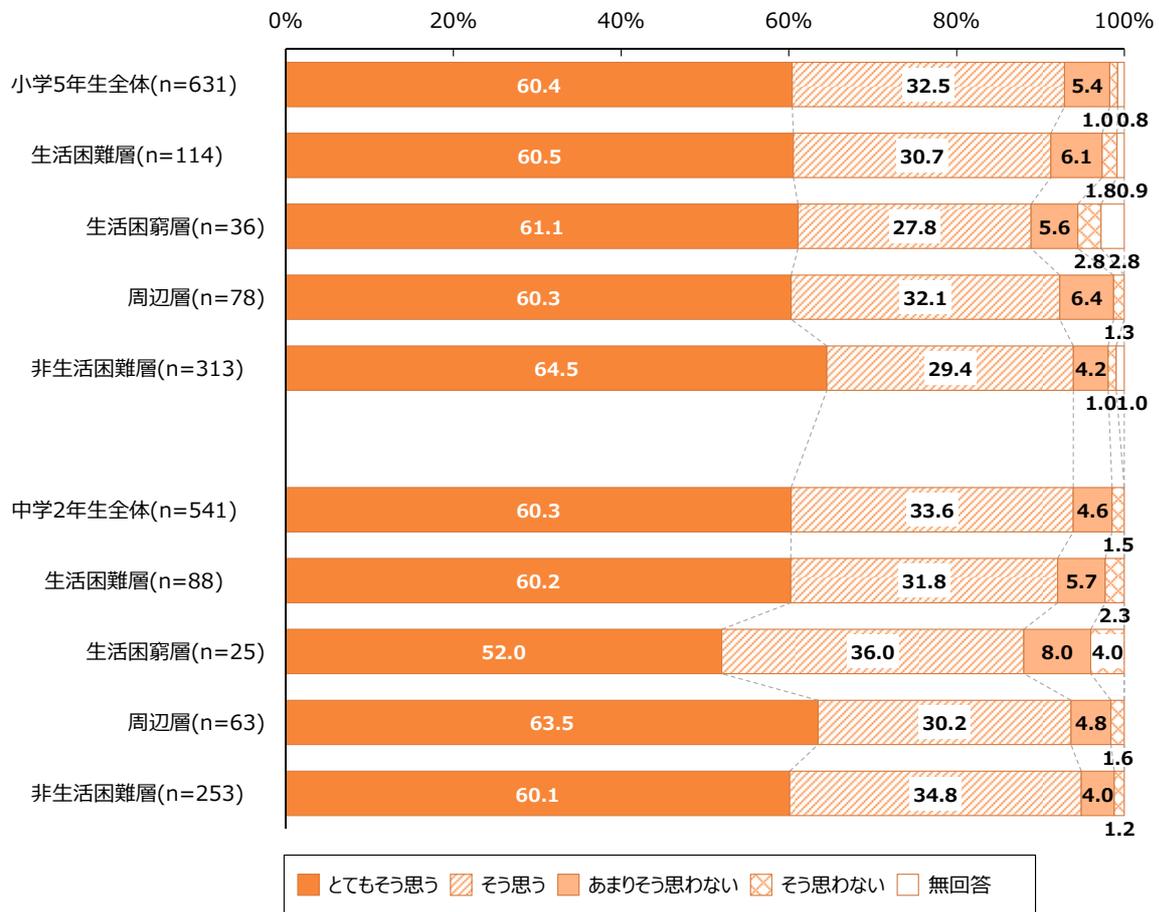
### (1) 家族の接し方

▼あなたの家族はあなたに対していつもどのようにしていますか。(子/問6)

#### A 一緒に楽しい時間を過ごしてくれる

家族の接し方/一緒に楽しい時間を過ごしてくれるかについて、「とてもそう思う」「そう思う」を合わせた“思う”の割合は、小学5年生全体で92.9%，中学2年生全体では93.9%と大多数を占めています

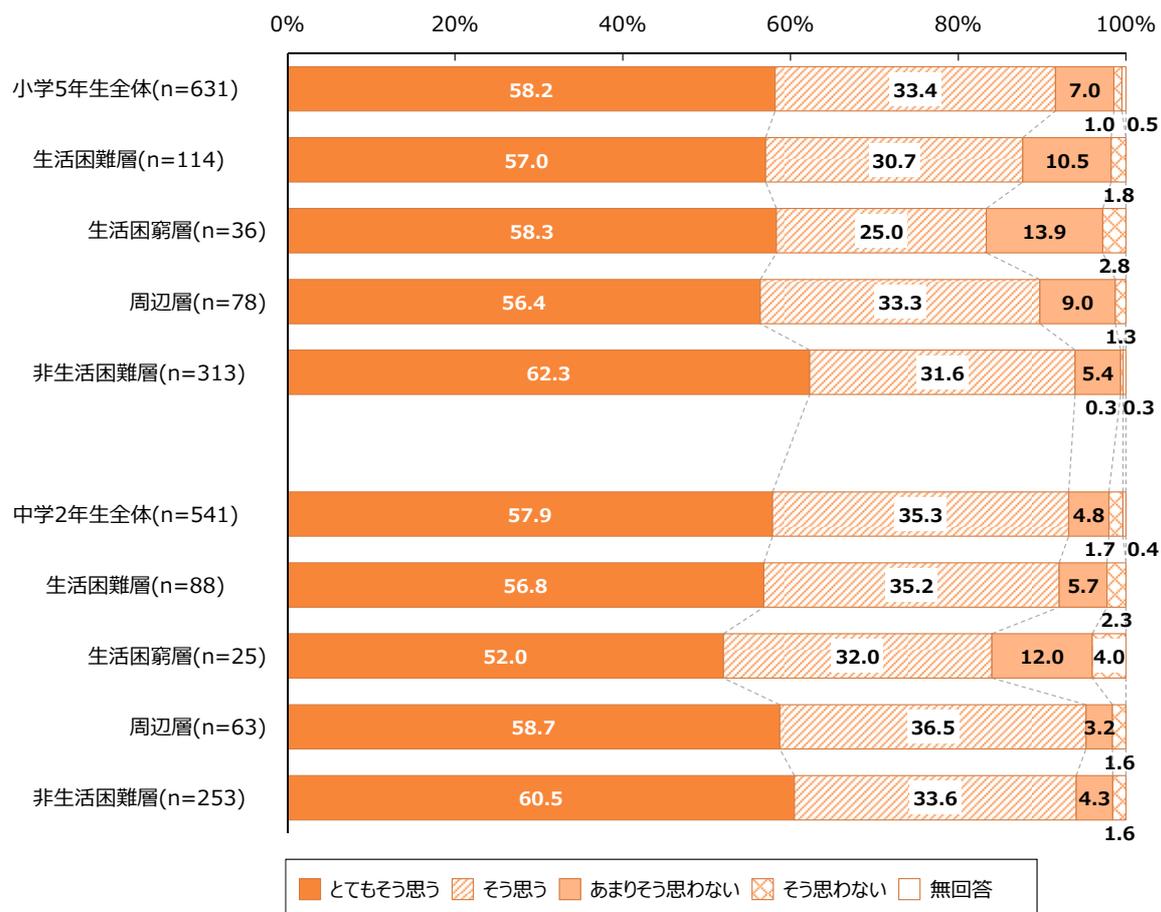
生活困難度別でも同様にいずれの層も85%以上と大多数を占めています。



## B 自分が喜ぶことをしてくれる

家族の接し方/自分が喜ぶことをしてくれるかについて、「とてもそう思う」「そう思う」を合わせた“思う”の割合は、小学5年生全体で91.6%，中学2年生全体では93.2%と大多数を占めています

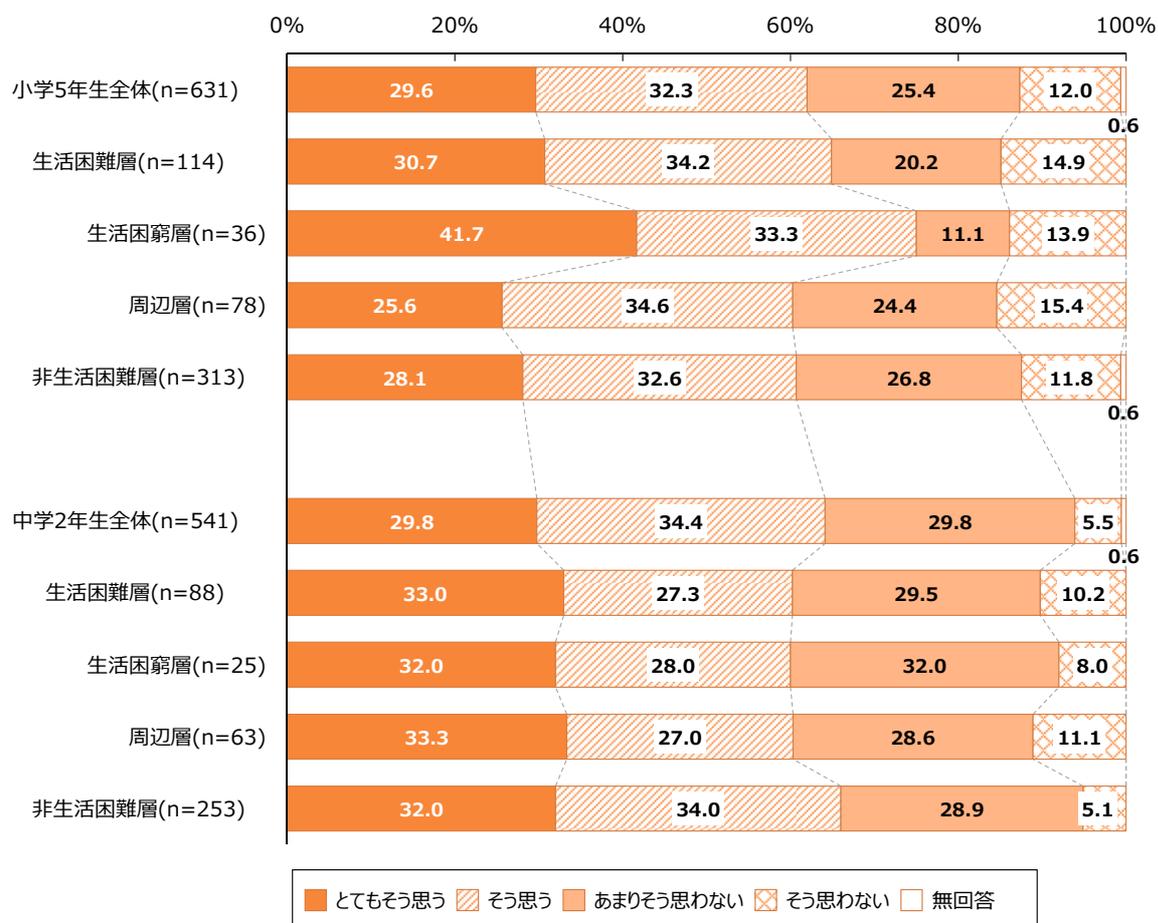
生活困難度別でも同様にいずれの層も多数を占めていますが，小学5年生の生活困窮層で83.3%，周辺層で89.7%，非生活困難層の93.9%と生活困難度が高い層で“思う”割合が低い傾向がみられます。中学2年生でも同様の傾向となっています。



## C 決まりを作ってきびしく言われる

家族の接し方/決まりを作ってきびしく言われるかについて、小学5年生全体では「とてもそう思う」が29.6%、「そう思う」が32.3%、中学2年生全体では「とてもそう思う」が29.8%、「そう思う」が34.4%となっています

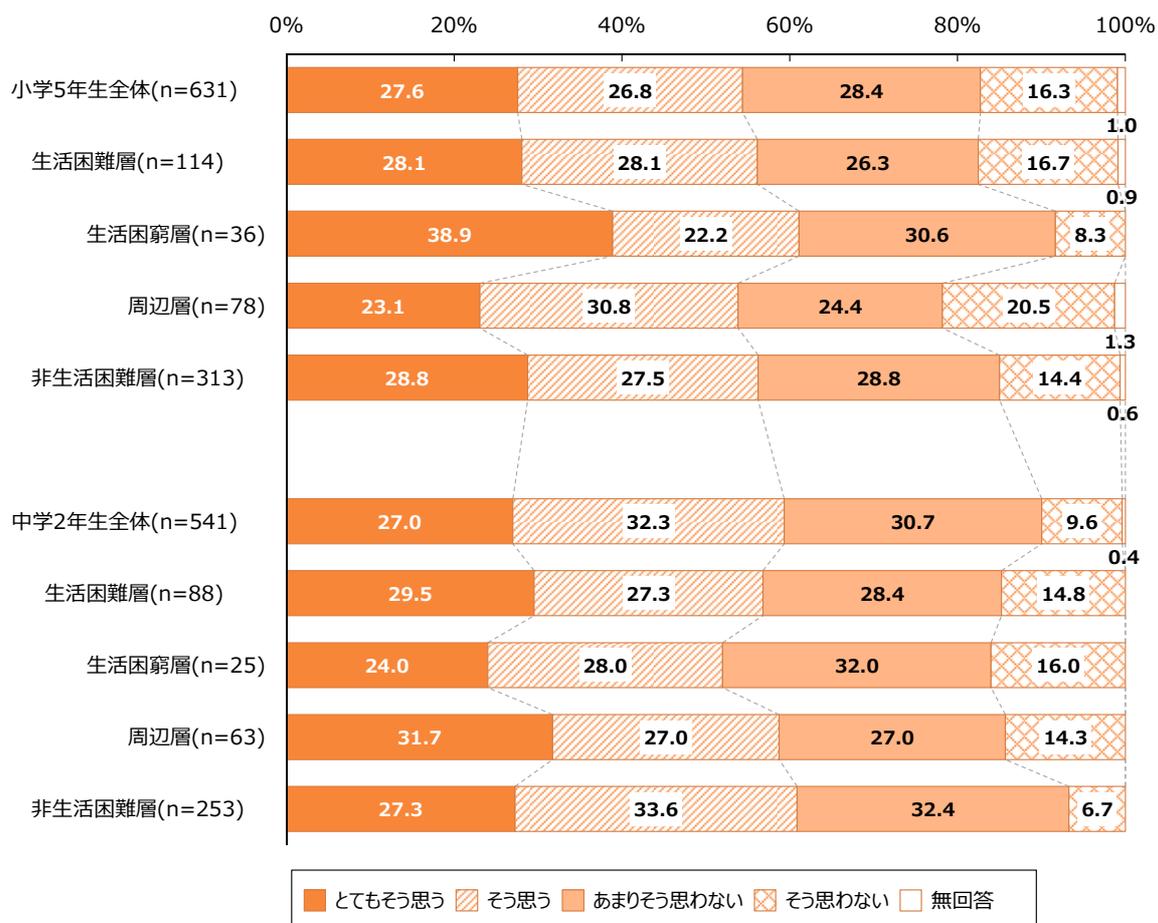
生活困難度別にみた「とてもそう思う」の割合は、小学5年生の生活困窮層で41.7%と高く、中学2年生では、生活困難度による大きな差はみられません。



## D やるべきことができるまで何度も細かく指示される

家族の接し方/やるべきことができるまで何度も細かく指示されることについて、小学5年生全体では「とてもそう思う」が27.6%、「そう思う」が26.8%、中学2年生全体では「とてもそう思う」が27.0%、「そう思う」が32.3%となっています

生活困難度別にみた「とてもそう思う」の割合は、小学5年生の生活困窮層で38.9%と高く、中学2年生では、生活困窮層が24.0%でやや低く、周辺層が31.7%でやや高くなっており生活困難度との明確な相関はみられません。



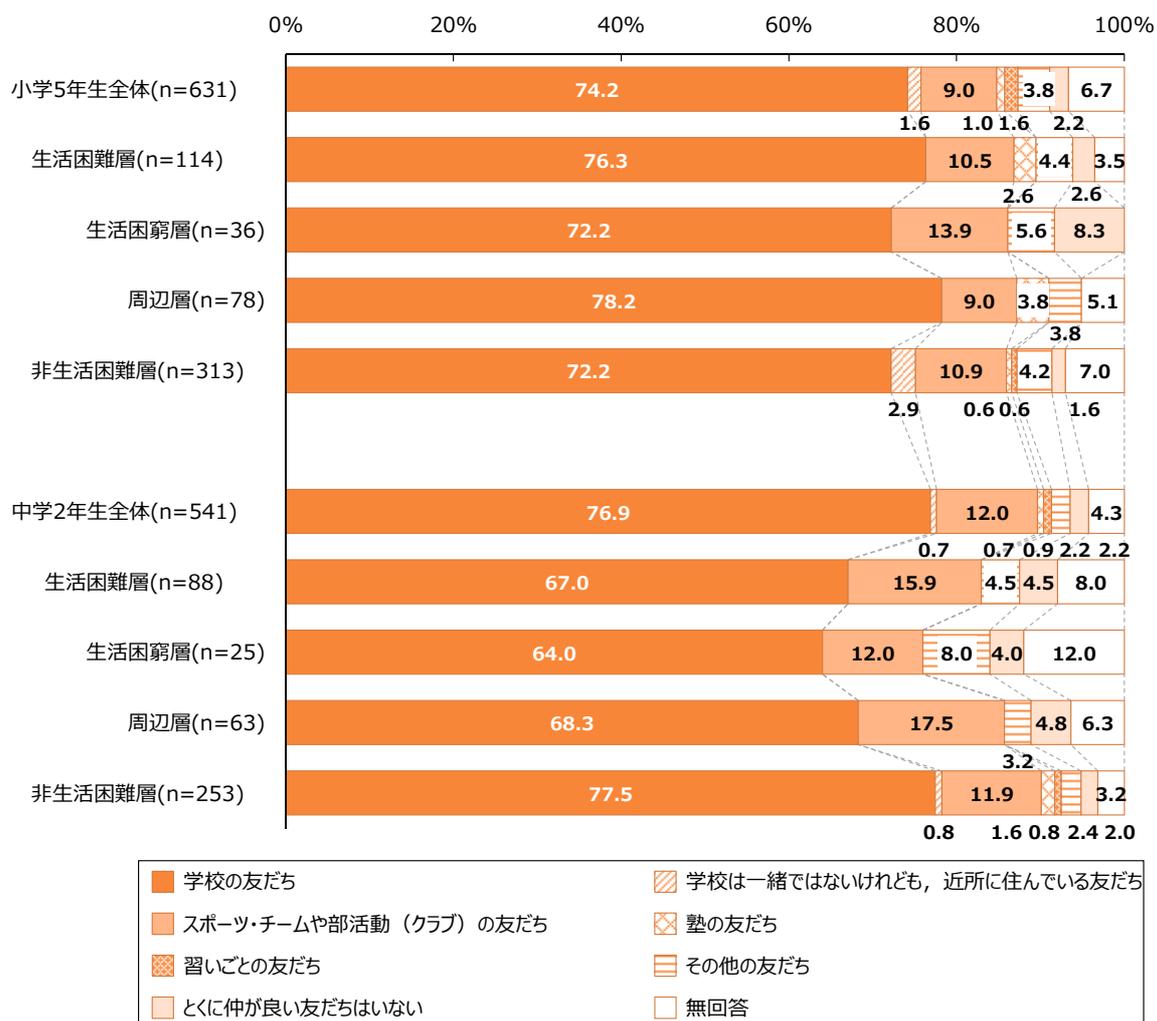
## (2) 一番仲が良い友だち

### ▼あなたの一番仲が良い友だちは、どのような友だちですか。(子/問7)

一番仲の良い友だちについて、小学5年生では、生活困難度による大きな差はみられず「学校の友だち」が7割を超えています。

中学2年生でも「学校の友だち」が多数を占めていますが、生活困難度に見ると、生活困窮層で64.0%、周辺層で68.3%、非生活困難層で77.5%と生活困難度との相関がみられます。

また、小学5年生の生活困窮層の8.3%が「とくに仲の良い友だちはいない」と回答しており、他の層と比べ高くなっています。



### (3) 友だちとの関係

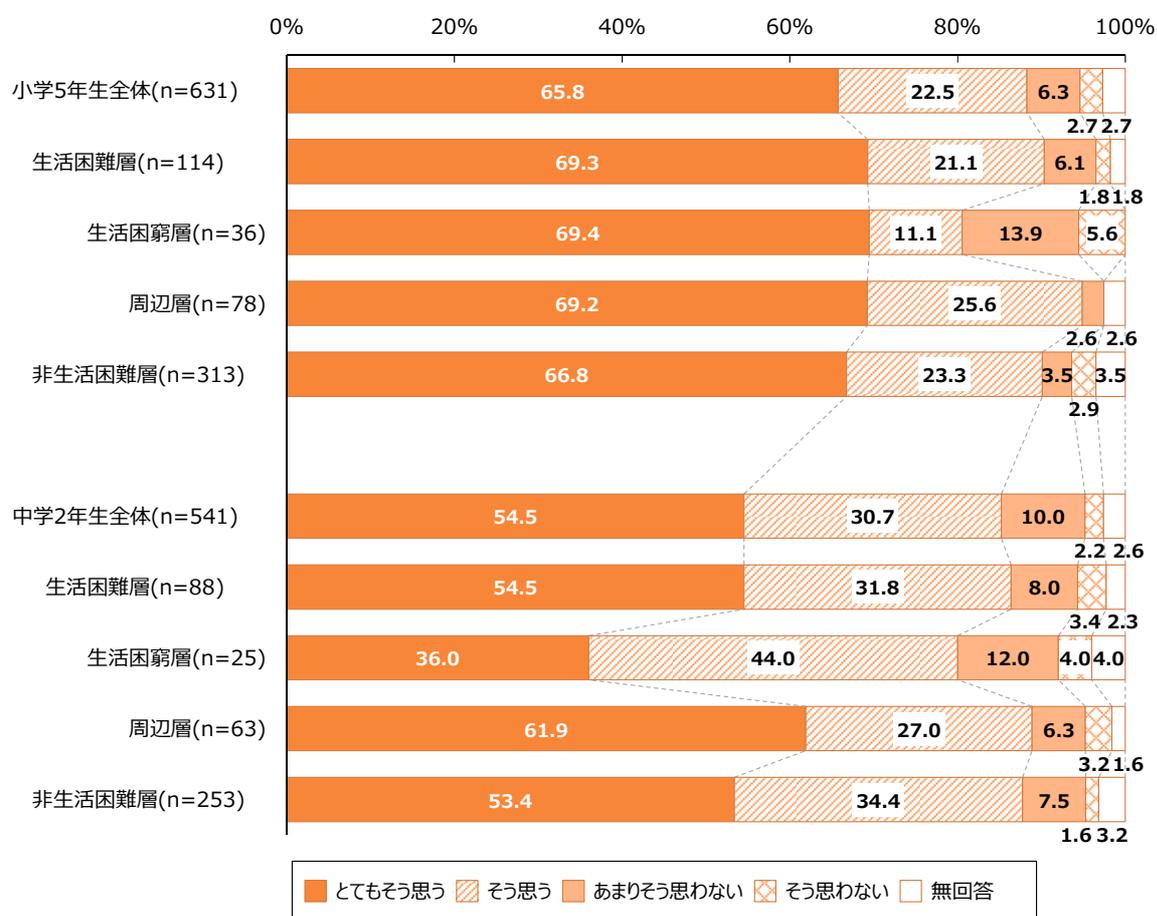
▼あなたと友だちの関係について、どのように思いますか。(子/問8)

#### A 友だちといっしょにたくさん遊んでいると思う

友だちとの関係/友だちといっしょにたくさん遊んでいると思うについて、「とても思う」と「そう思う」を合わせた“思う”の割合は、小学5年生全体で88.3%，中学2年生全体では85.2%と大多数を占めています。

生活困難度別にみた“思う”の割合は、いずれの層も多数を占めていますが，生活困窮層で若干低く，小学5年生で80.5%，中学2年生で80.0%となっています。

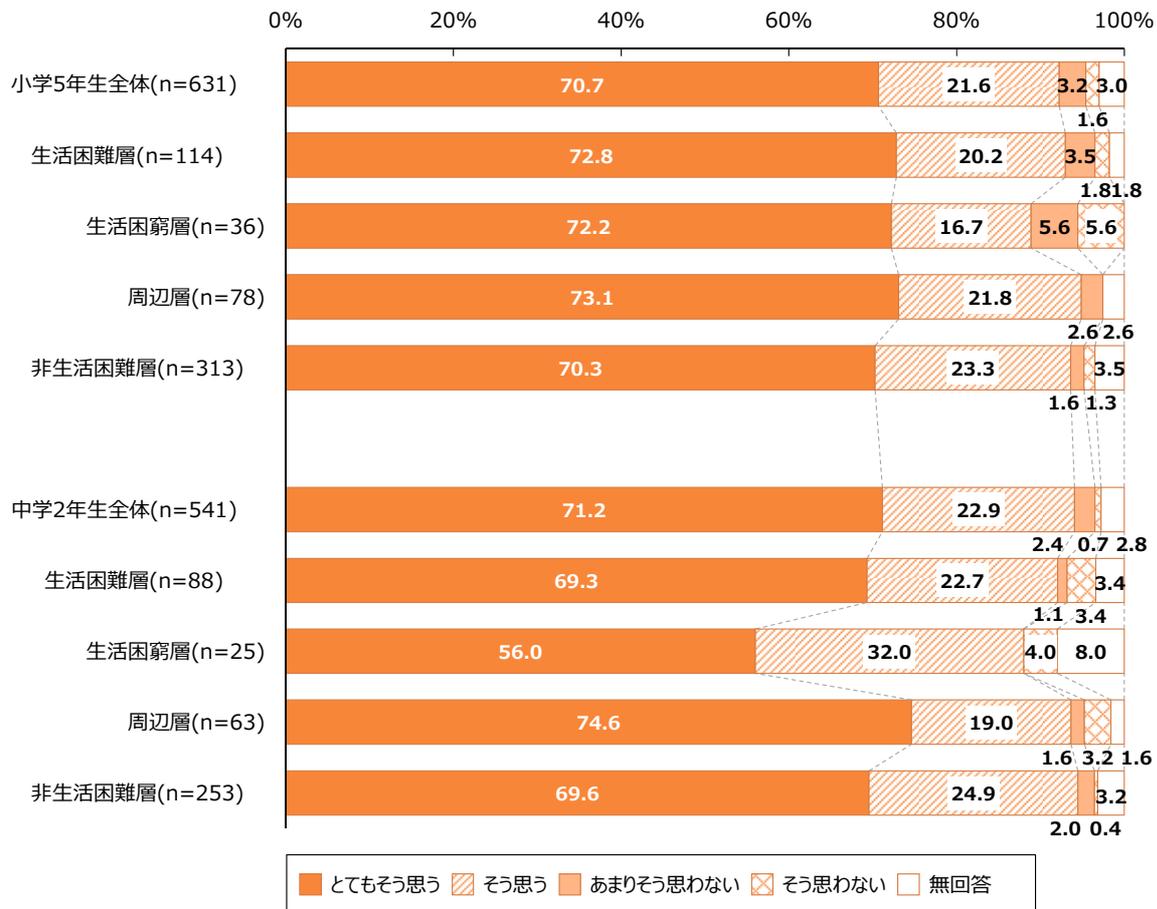
反対に，「そう思わない」割合は生活困窮層で高く，小学5年生で13.9%，中学2年生で12.0%となっています。



## B 友だちと仲良くしていると思う

友だちとの関係/友だちといっしょにたくさん遊んでいると思うについて、「とても思う」と「そう思う」を合わせた“思う”の割合は、小学5年生全体で92.3%，中学2年生全体では94.1%と大多数を占めています

生活困難度別にみた“思う”の割合は、いずれの層も大多数を占めていますが，生活困窮層で若干低く，小学5年生で88.9%，中学2年生で88.0%となっています。

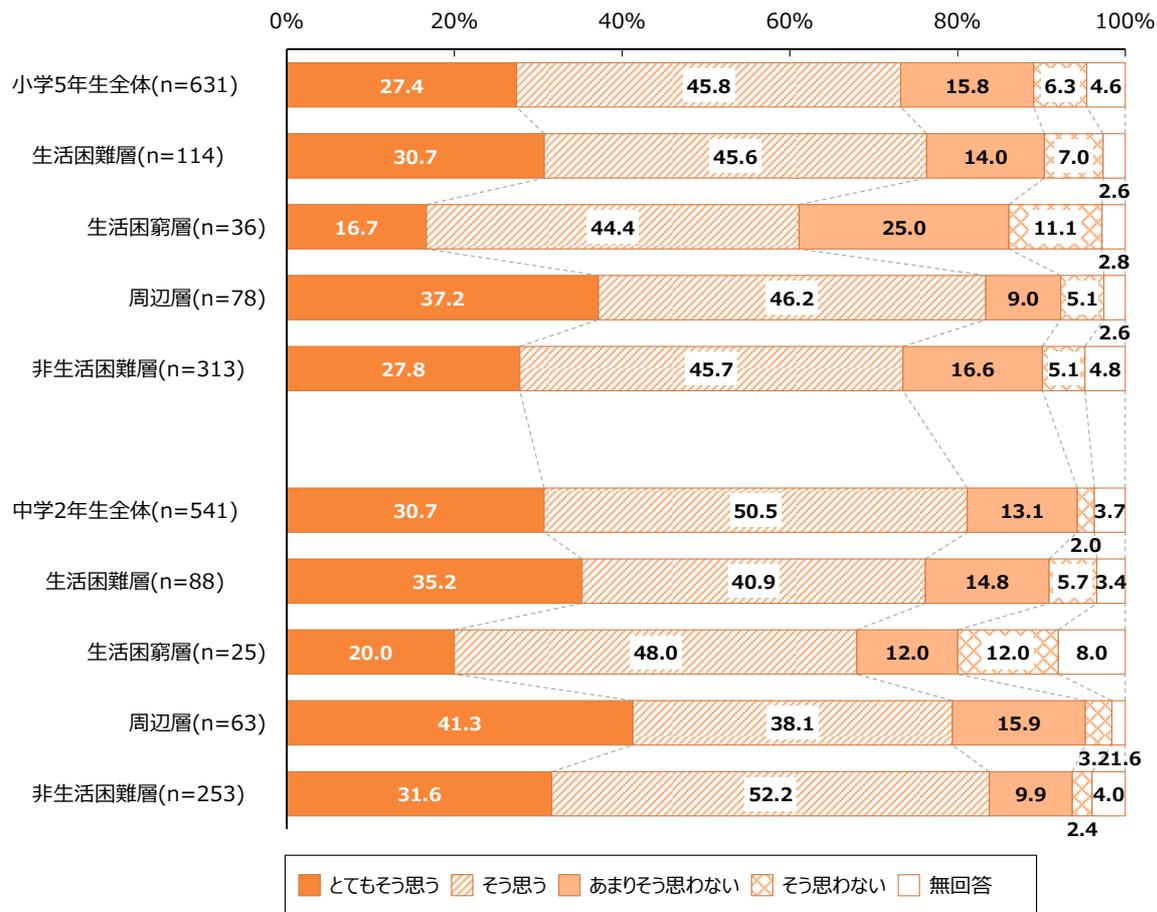


## C 友だちに好かれていると思う

友だちとの関係/友だちに好かれていると思うについて、「とてもそう思う」と「そう思う」を合わせた“思う”の割合は、小学5年生全体で73.2%、中学2年生全体では81.2%と多数を占めています

生活困難度別にみた“思う”の割合は、いずれの層も多数を占めていますが、生活困窮層で低く、小学5年生で61.1%、中学2年生で68.0%となっています。

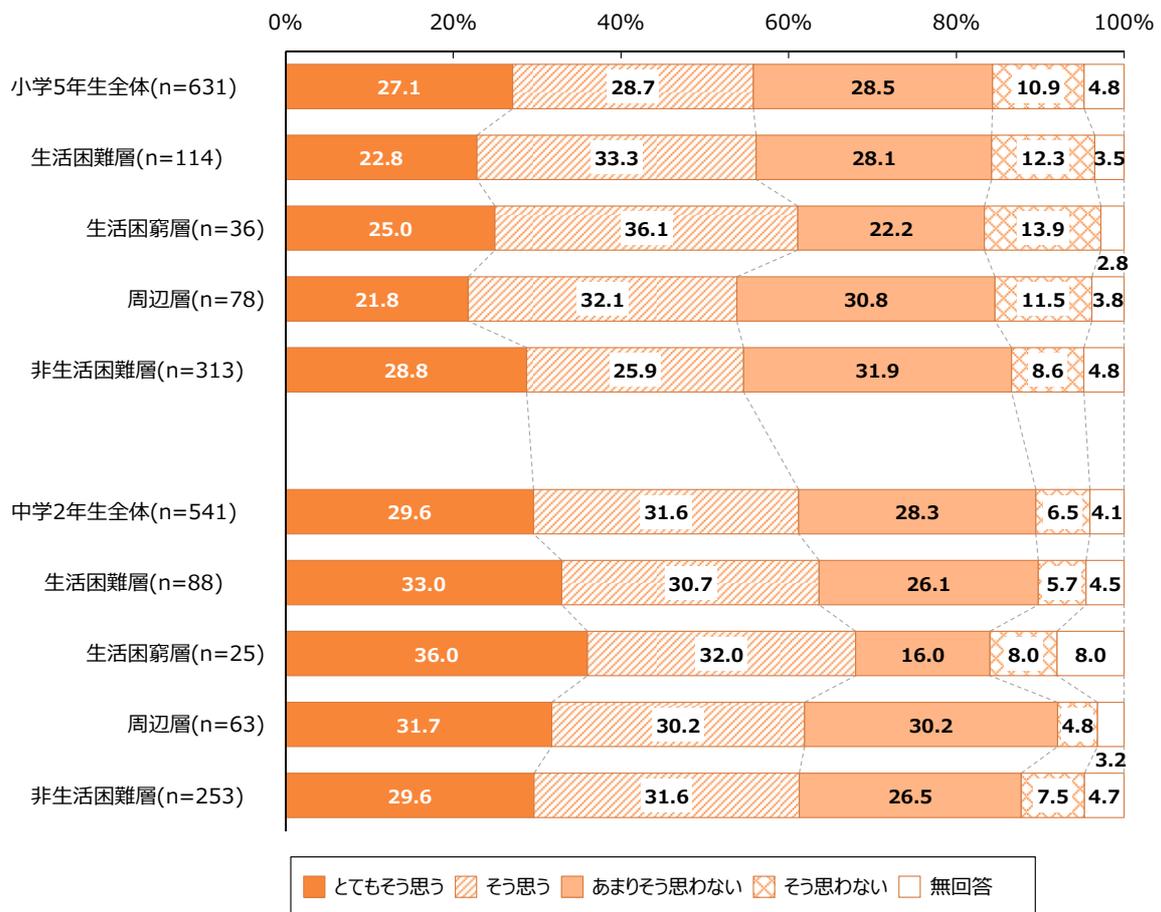
反対に、「そう思わない」割合は生活困窮層で高く、小学5年生で11.1%、中学2年生で12.0%となっています。



## D 自分は友だちとくらべて違うと思う

友だちとの関係/自分は友だちとくらべて違うと思うについて、「とてもそう思う」と「そう思う」を合わせた“思う”の割合は、小学5年生全体で55.8%、中学2年生全体では61.2%となっています

生活困難度別にみると、小学5年生では生活困窮層で61.1%、周辺層で53.9%、非生活困窮層で54.7%と生活困窮層が高く、中学2年生でも同様の傾向となっています。



## 2 平日の食事

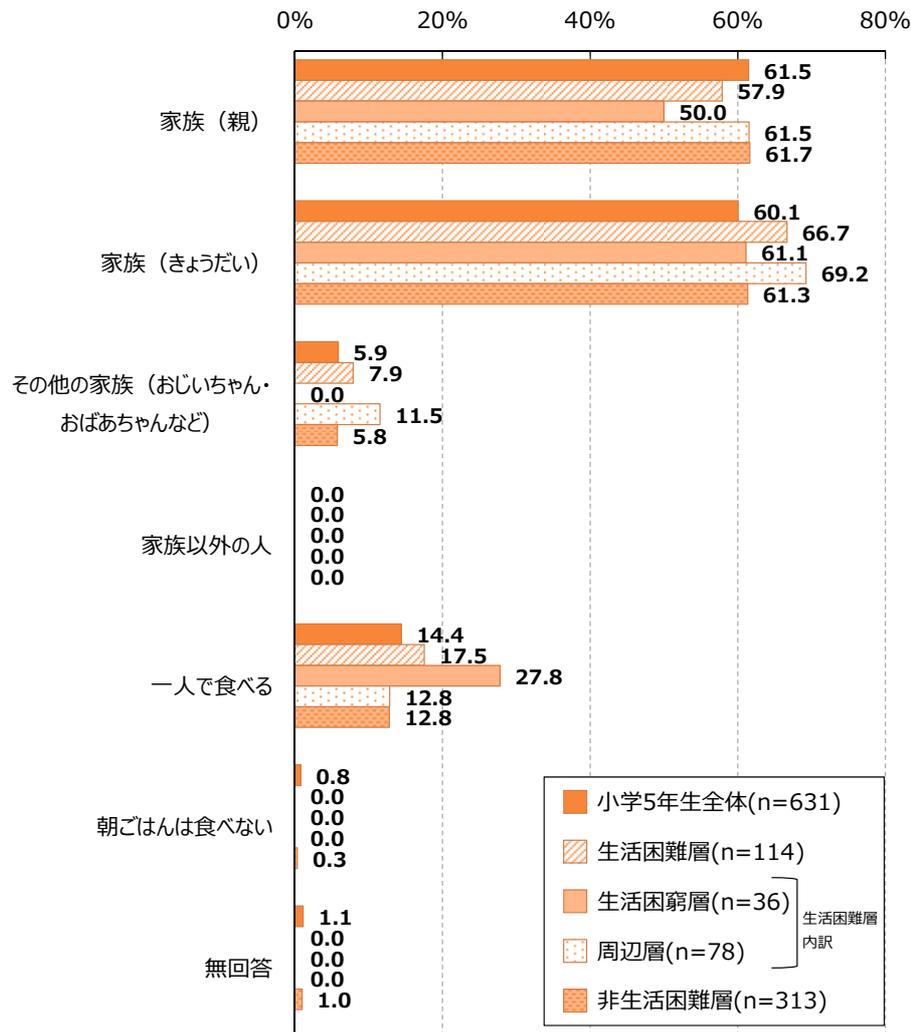
### (1) 朝食を一緒にとる人

▼あなたは、平日（学校に行く日）に朝ごはんをだれと食べますか。（子/問 22 複数回答）

平日の朝食を一緒に食べる人は、小学5年生全体で「家族(親)」が61.5%で最も多く、次いで「家族(きょうだい)」60.1%、「一人で食べる」が14.4%となっています。

生活困窮層では他の層に比べ、「家族(親)」が50.0%と低く、「一人で食べる」が27.8%と高くなっています。

#### 小学5年生

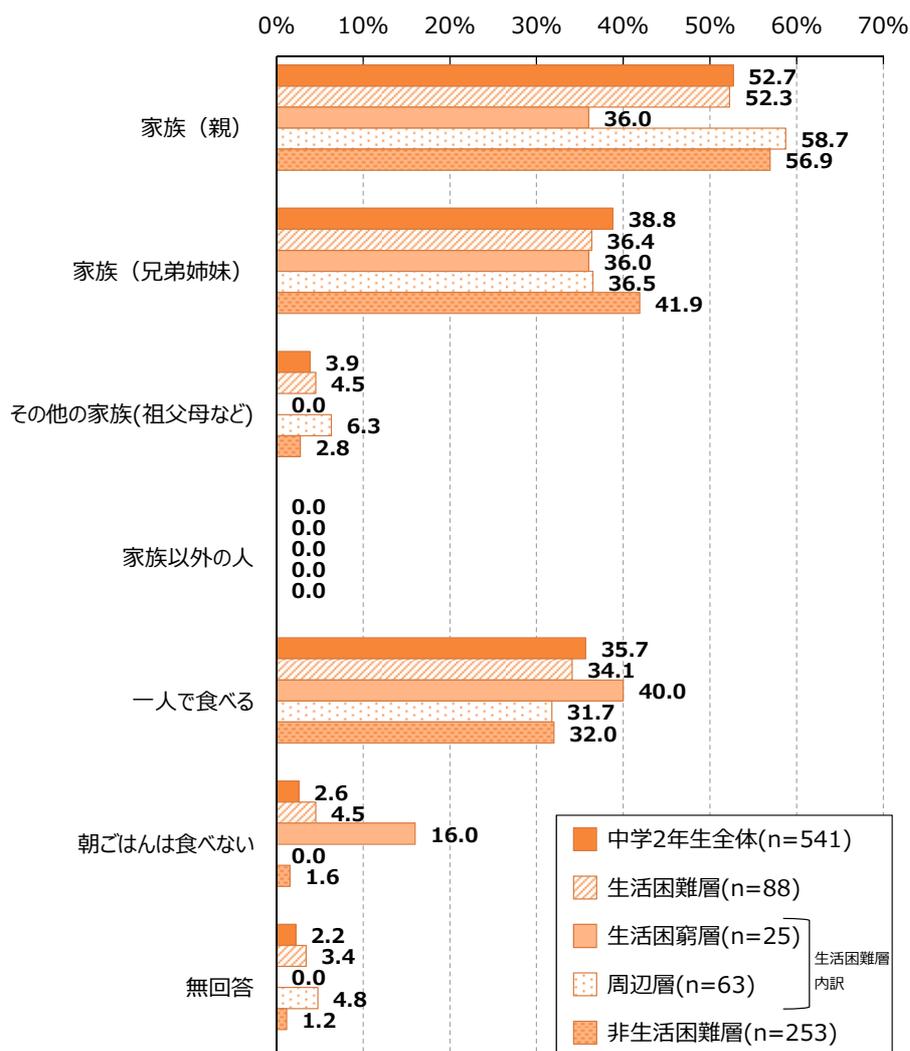


平日の朝食を一緒に食べる人は、中学2年生では、全体で「家族(親)」が52.7%で最も多く、次いで「家族(兄弟姉妹)」38.8%、「一人で食べる」が35.7%となっています。

生活困窮層では、他の層に比べ「家族(親)」が36.0%と低く、「一人で食べる」が40.0%と高くなっています。

また、生活困窮層の16.0%が「朝ごはんは食べない」が回答しており、非生活困難層の10倍となっています。

### 中学2年生



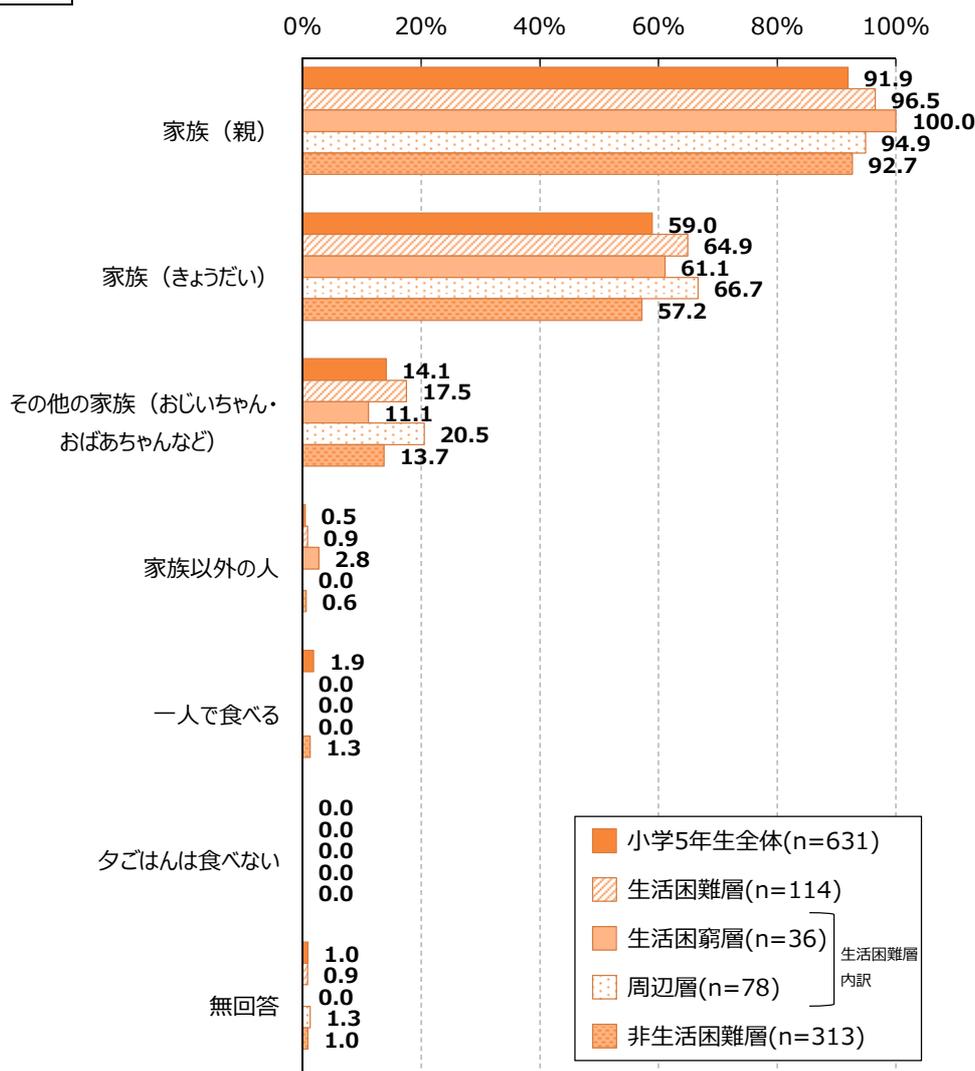
## (2) 夕食を一緒にとる人

▼あなたは、平日（学校に行く日）に夕ごはんをだれと食べますか。（子/問 23 複数回答）

平日の夕食を一緒に食べる人は、小学5年生全体では「家族(親)」が91.9%で最も多く、次いで「家族(きょうだい)」59.0%、「その他の家族」が14.1%となっています。

生活困窮層では「家族(親)」が100.0%、次いで「家族(きょうだい)」61.1%、「その他の家族」が11.1%となっています。

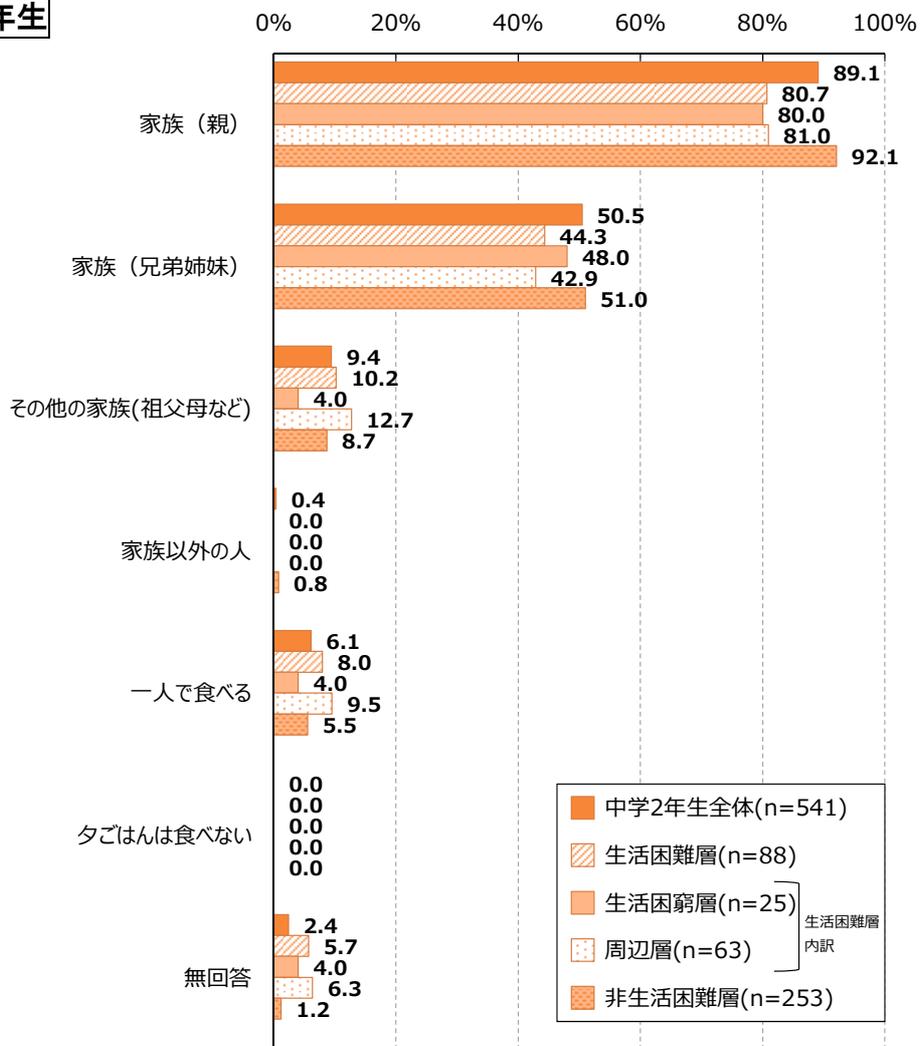
### 小学5年生



平日の夕食を一緒に食べる人は、中学2年生全体で「家族(親)」が89.1%で最も多く、次いで「家族(兄弟姉妹)」50.5%、「その他の家族」が9.4%となっています。

生活困窮層では「家族(親)」が80.0%で最も多く、次いで「家族(兄弟姉妹)」48.0%、「その他の家族」及び「一人で食べる」が4.0%となっています。

**中学2年生**



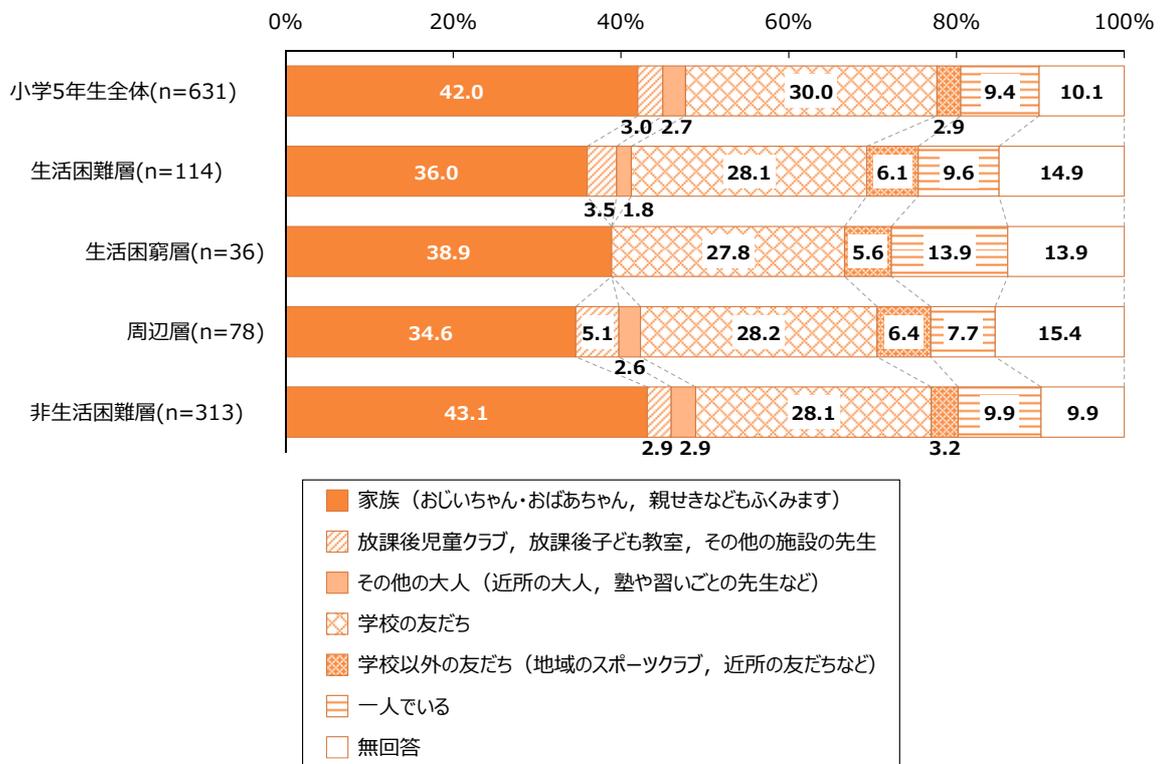
### 3 平日の放課後の過ごし方

#### (1) 放課後を一緒に過ごす人

▼あなたは、平日（学校に行く日）の放課後（夕方6時くらいまで）はだれと過ごしますか。一緒に過ごすことが一番多い人に○をつけてください。（子/問9）

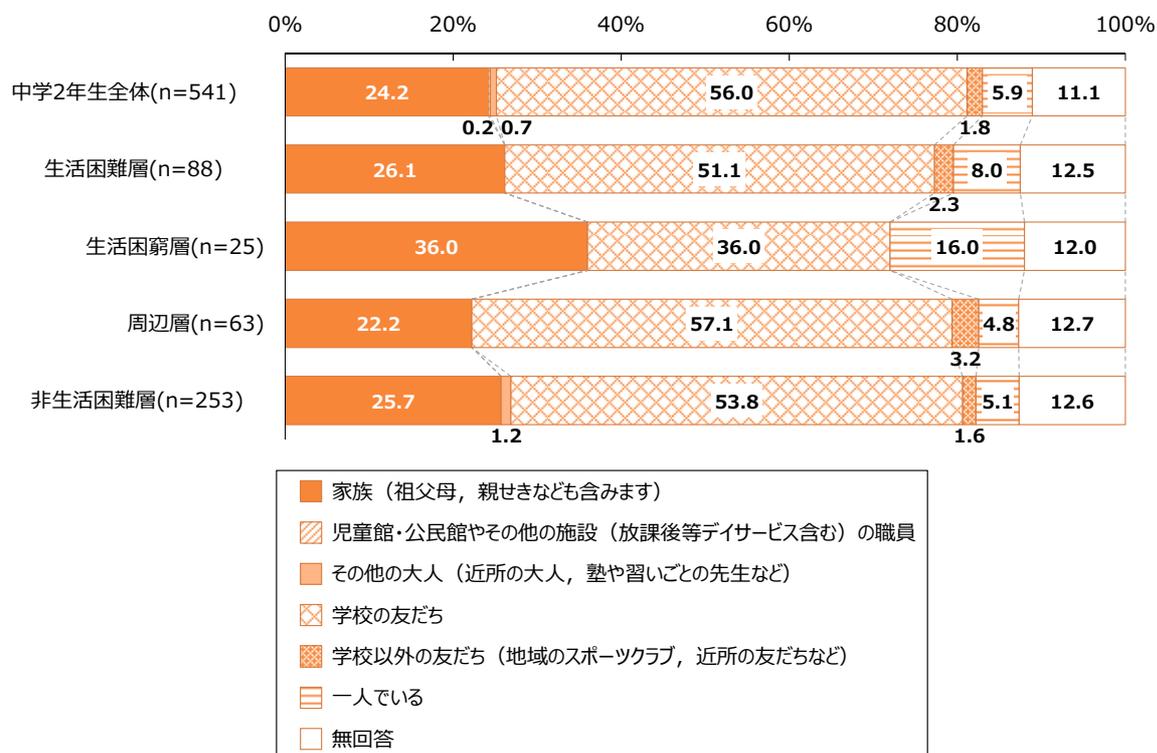
放課後を一緒に過ごす人について、小学5年生全体で「家族」が42.0%、「学校の友だち」が30.0%となっています。生活困難度別でも同様の傾向となっており、生活困難度による大きな差はみられませんが、「一人でのいる」と回答した割合は、生活困窮層で13.9%とやや高くなっています。

#### 小学5年生



放課後を一緒に過ごす人について、中学2年生では、全体で「家族」が24.2%、「学校の友だち」が56.0%となっています。生活困難度別でも同様の傾向となっており、生活困難度との明確な相関はみられませんが、生活困窮層で「家族」の割合が36.0%と高くなっています。一方、「一人でのいる」と回答した割合は、生活困窮層で16.0%と高くなっています。

### 中学2年生



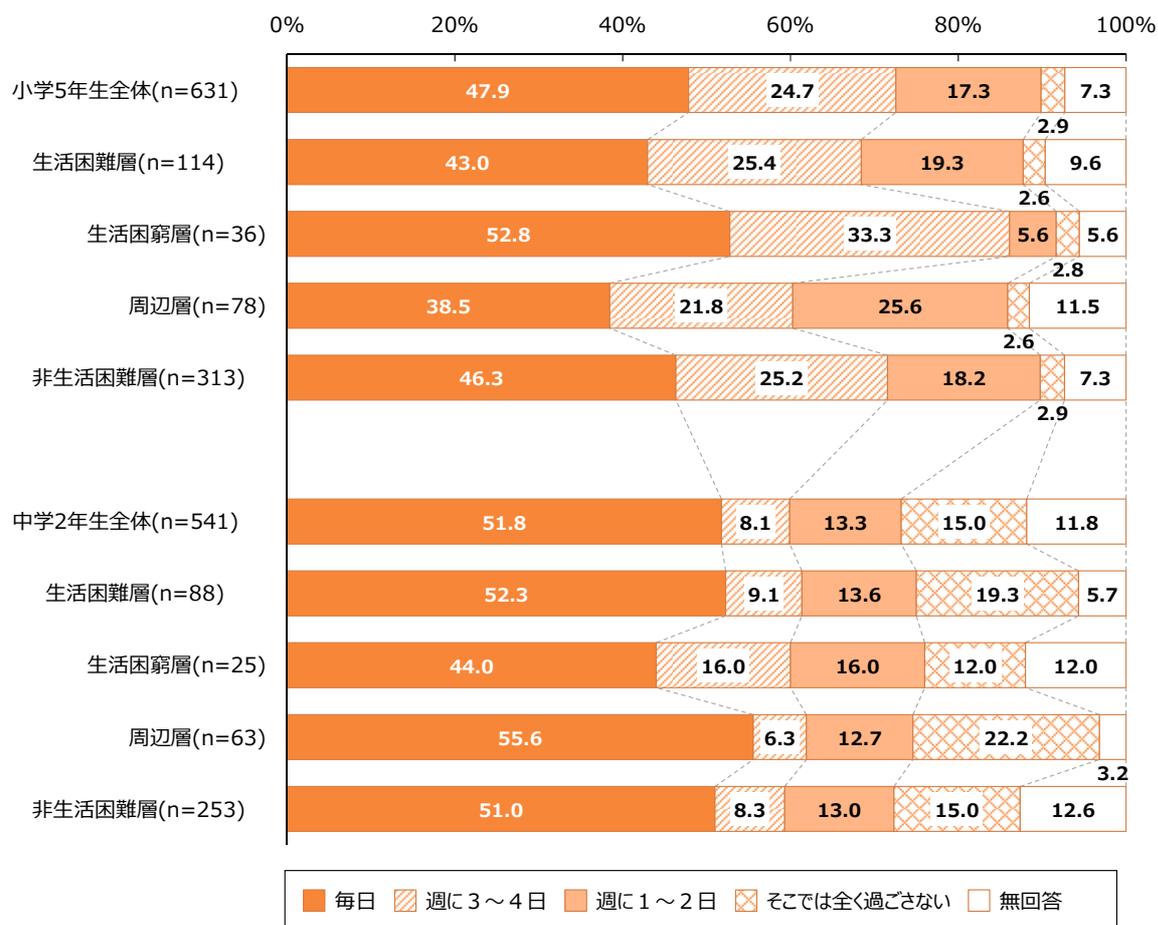
## (2) 平日の放課後を過ごす場所

▼あなたは、平日（学校に行く日）の放課後（夕方6時くらいまで）どこで過ごしますか。  
1週間のうち、そこで過ごすおおよその日数に○をつけてください。（子/問 10）

### A 自分の家

平日の放課後を自分の家で過ごす日数について、「毎日」は、小学5年生全体で47.9%、  
中学2年生全体で51.8%となっています。

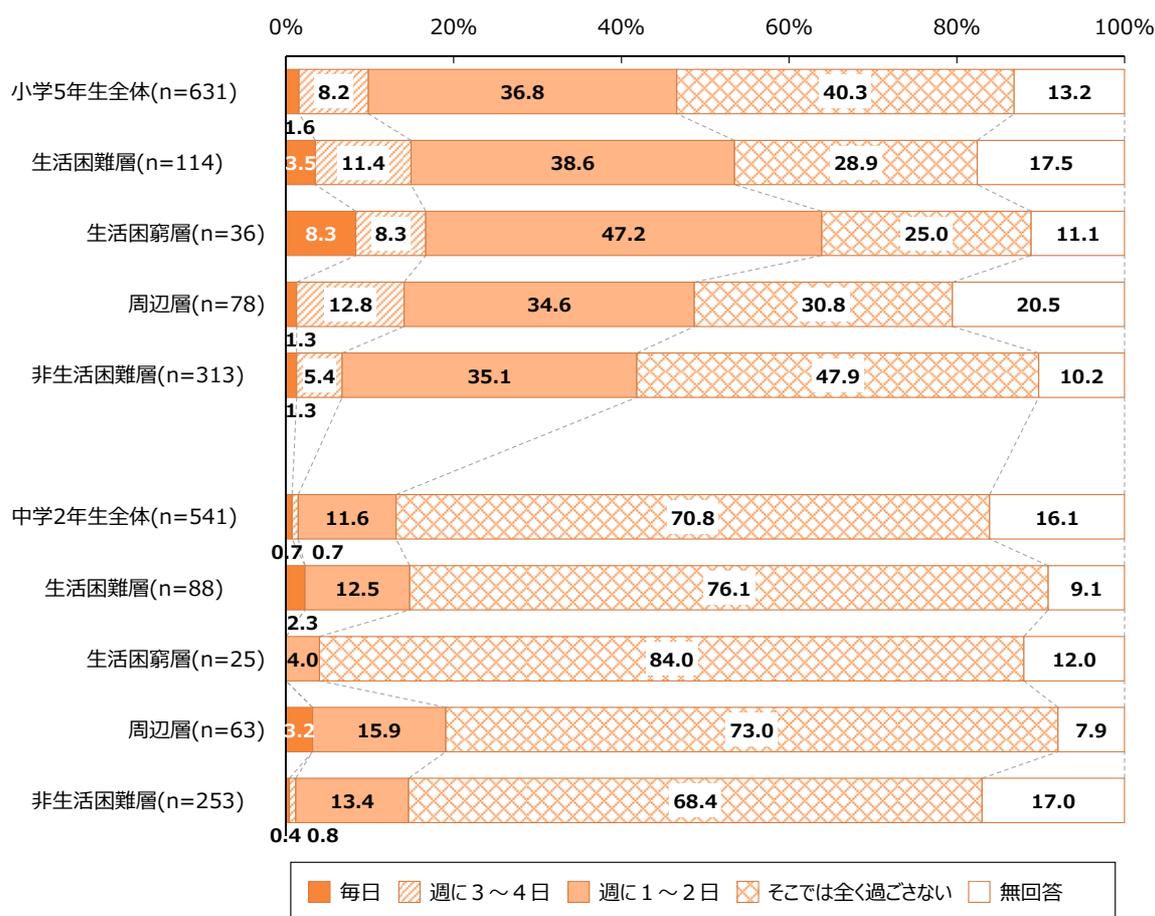
生活困難度別では、「毎日」が小学5年生の生活困窮層で52.8%と高く、中学2年生の生活困窮層で44.0%と低くなっています。また、「そこでは全く過ごさない」が中学2年生の周辺層で高く22.2%となっています。



## B 友だちの家

平日の放課後を友だちの家で過ごす日数について、小学5年生全体で「そこでは全く過ごさない」が40.3%、「週に1～2日」が36.8%と高く、生活困難度別でみると、「そこでは全く過ごさない」の割合は、生活困難度との相関がみられ、生活困窮層で25.0%、周辺層で30.8%、非生活困難層で47.9%と生活困難度が高い層ほど低くなっています。

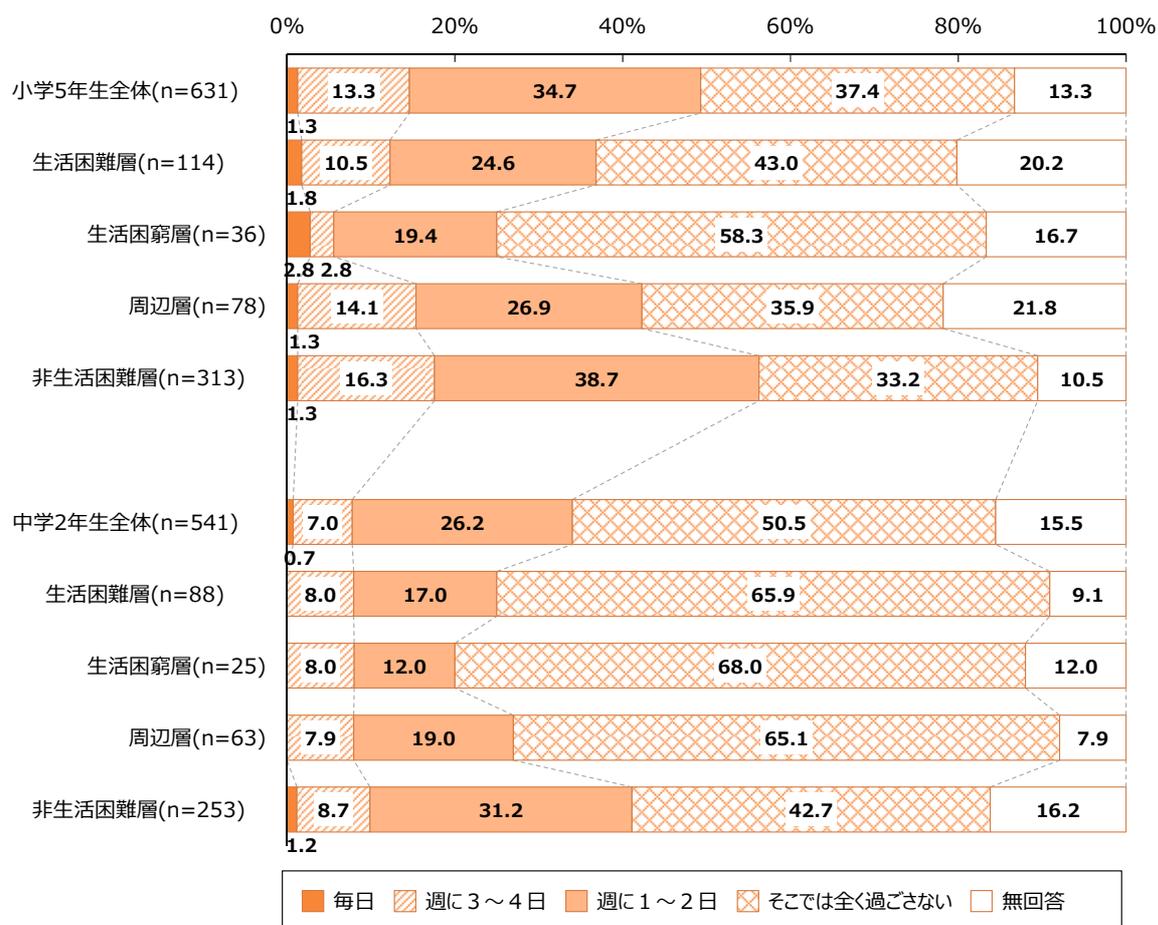
中学2年生では、小学5年生に比べ「そこでは全く過ごさない」の割合が総じて高く、全体で70.8%と多数を占めています。生活困難度別では割合は高いものの、小学5年生と同様に生活困難度との相関がみられます。



## C 塾や習いごとをする場所

平日の放課後を塾や習いごとをする場所で過ごす日数について、小学5年生全体で「そこでは全く過ごさない」が37.4%、「週に1～2日」が34.7%と高く、生活困難度別でみると、「そこでは全く過ごさない」の割合は、生活困難度との相関がみられ、生活困窮層で58.3%、周辺層で35.9%、非生活困難層で33.2%と生活困難度が高い層ほど低くなっています。

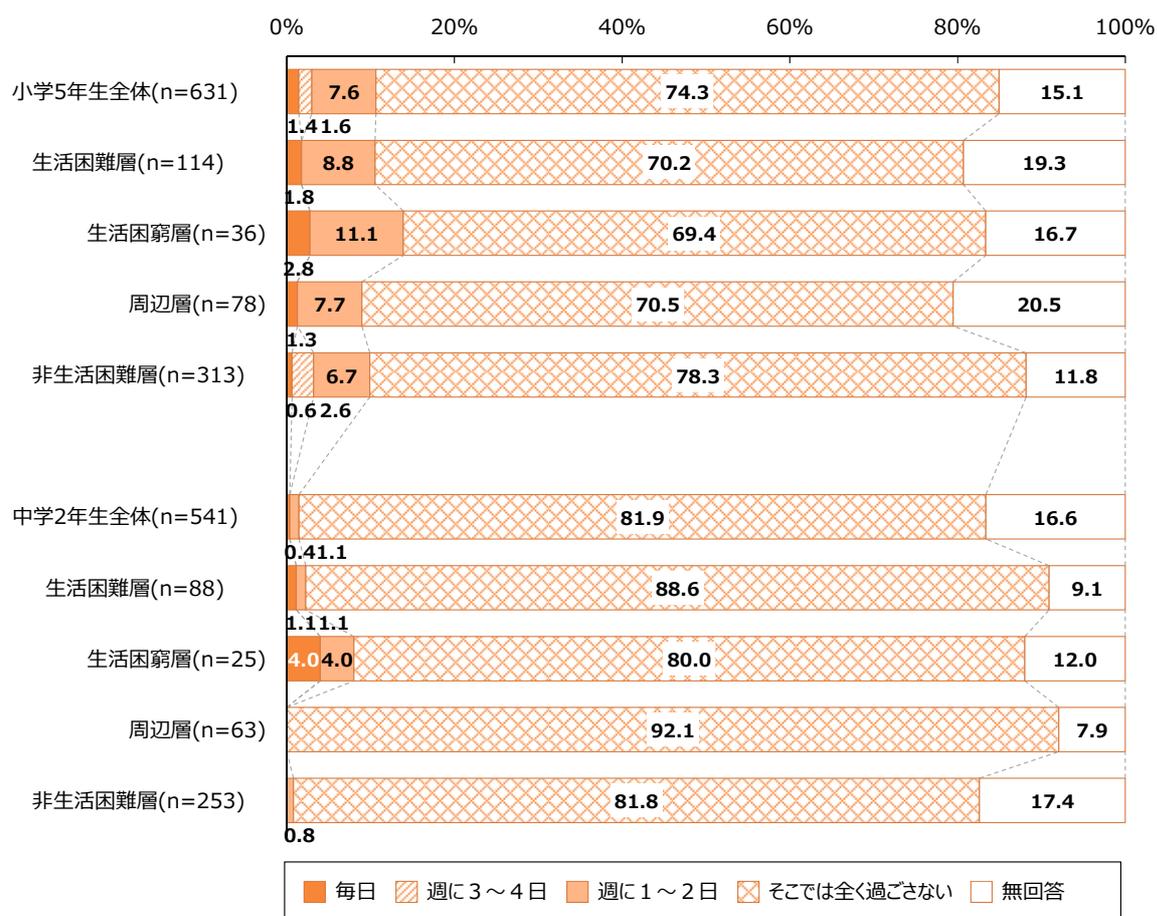
中学2年生では、小学5年生に比べ「そこでは全く過ごさない」の割合が総じて高く、全体で50.5%となっています。生活困難度別では割合は高いものの、小学5年生と同様に生活困難度との相関がみられます。



## D 児童館・公民館

平日の放課後を児童館・公民館で過ごす日数について、小学5年生全体で「そこでは全く過ごさない」が74.3%と多数を占めています。生活困難度別でみると、「そこでは全く過ごさない」の割合は、生活困難度との相関がみられ、生活困窮層で69.4%、周辺層で70.5%、非生活困難層で78.3%と生活困難度が高い層ほど低くなっています。

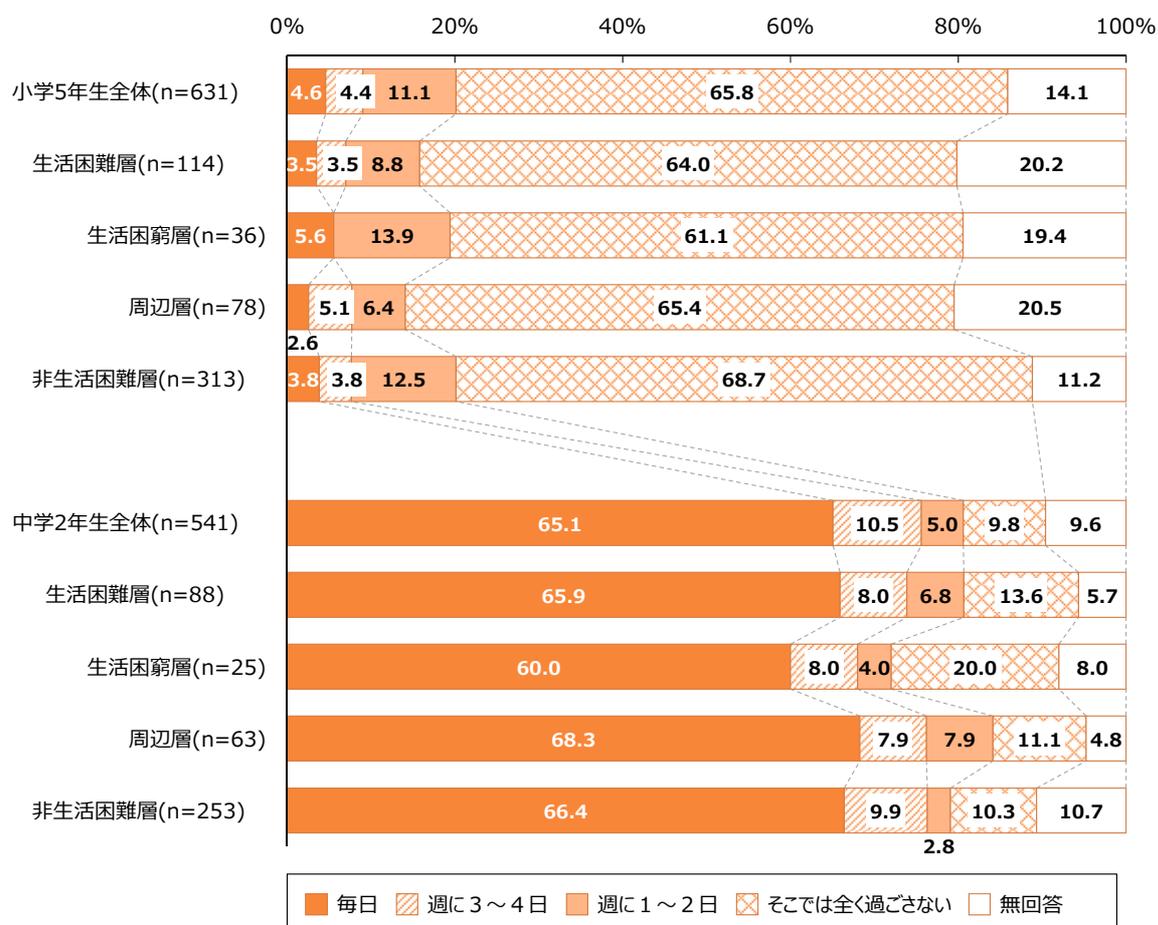
中学2年生では、小学5年生に比べ「そこでは全く過ごさない」の割合が総じて高く、全体で81.9%と多数を占めています。生活困難度別でも8割以上と高い割合となっていますが、生活困難度との明確な相関はみられません。



## E 学校

平日の放課後を学校で過ごす日数について、小学5年生では「そこでは全く過ごさない」が全体で65.8%と多数を占めており、生活困難度別でも同様の傾向となっています。

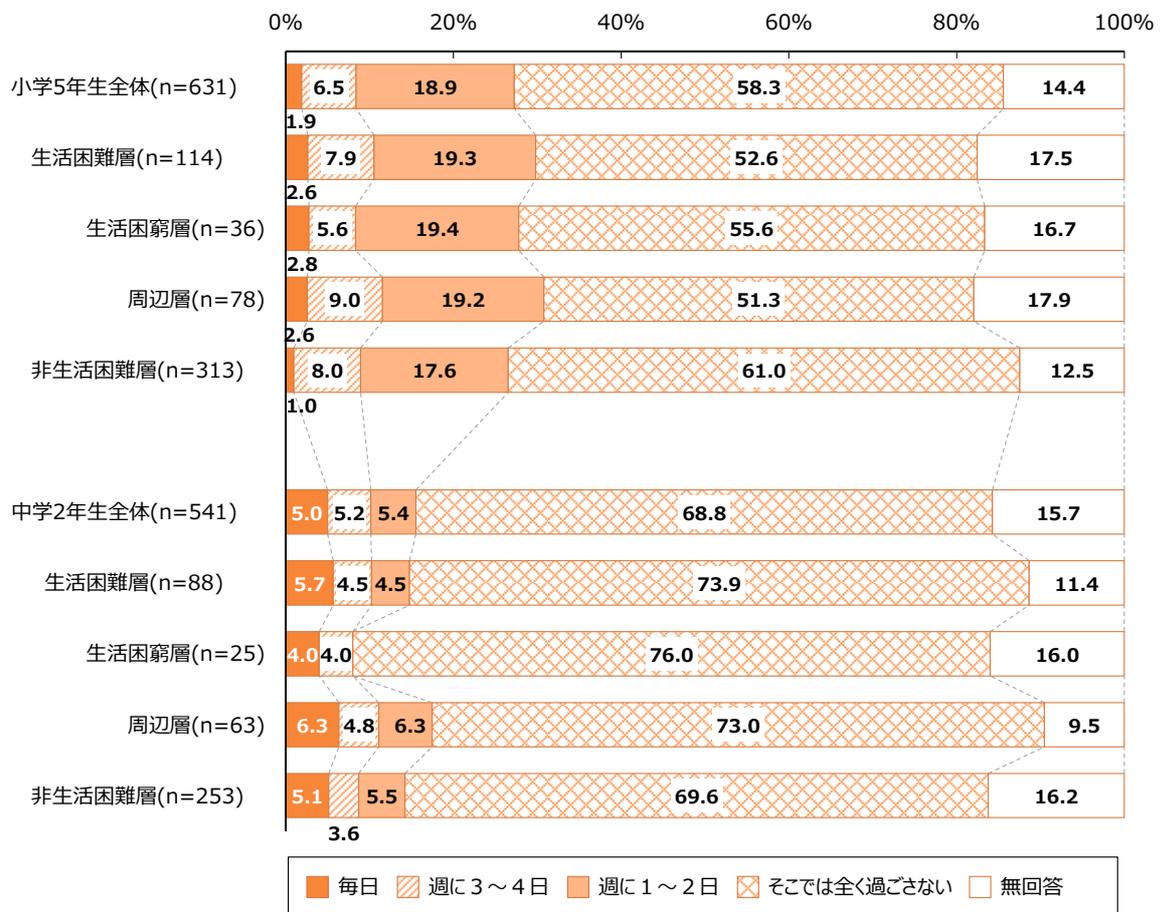
中学2年生では、「毎日」が全体で65.1%と多数を占め、生活困難度別でも同様の傾向となっていますが、生活困窮層では、「そこでは全く過ごさない」が20.0%で非生活困難層の10.3%より10ポイントほど高くなっています。



## F スポーツクラブの活動の場（野球場，サッカー場など）

平日の放課後をスポーツクラブの活動の場で過ごす日数について，小学5年生では「そこでは全く過ごさない」が全体で58.3%と半数以上を占めており，生活困難度別でも同様の傾向となっています。

中学2年生では小学5年生に比べ「そこでは全く過ごさない」の割合が総じて高く，全体で68.8%と多数を占めています。生活困難度別でも多数を占めており，生活困難度との明確な相関はみられません。

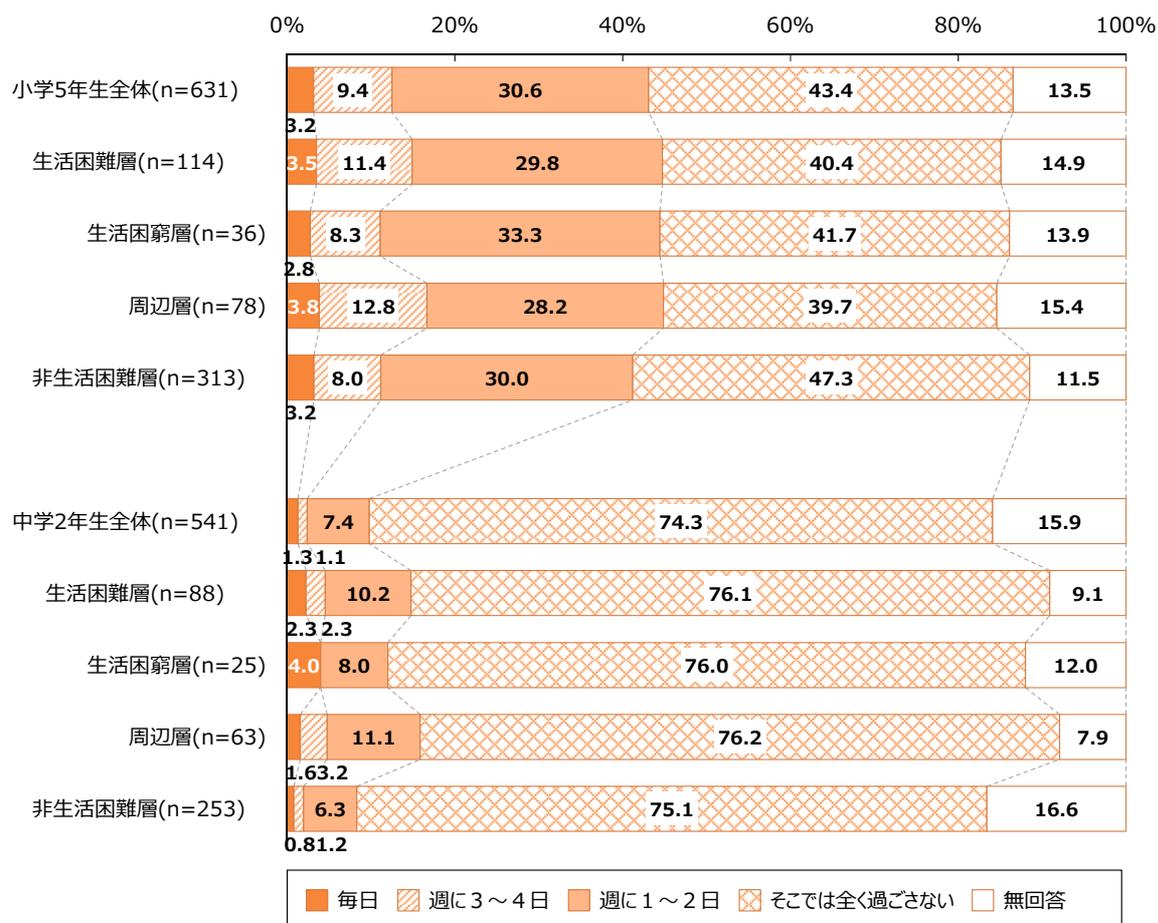


## G 公園や広場

平日の放課後を公園や広場で過ごす日数について、小学5年生全体で「そこでは全く過ごさない」が43.4%、「週に1～2日」が30.6%、「週に1～2日」が9.4%となっており、生活困難度別でも同様の傾向となっています。

中学2年生では、小学5年生に比べ「そこでは全く過ごさない」の割合が総じて高く、全体で74.3%、「週に1～2日」が7.4%となっています。

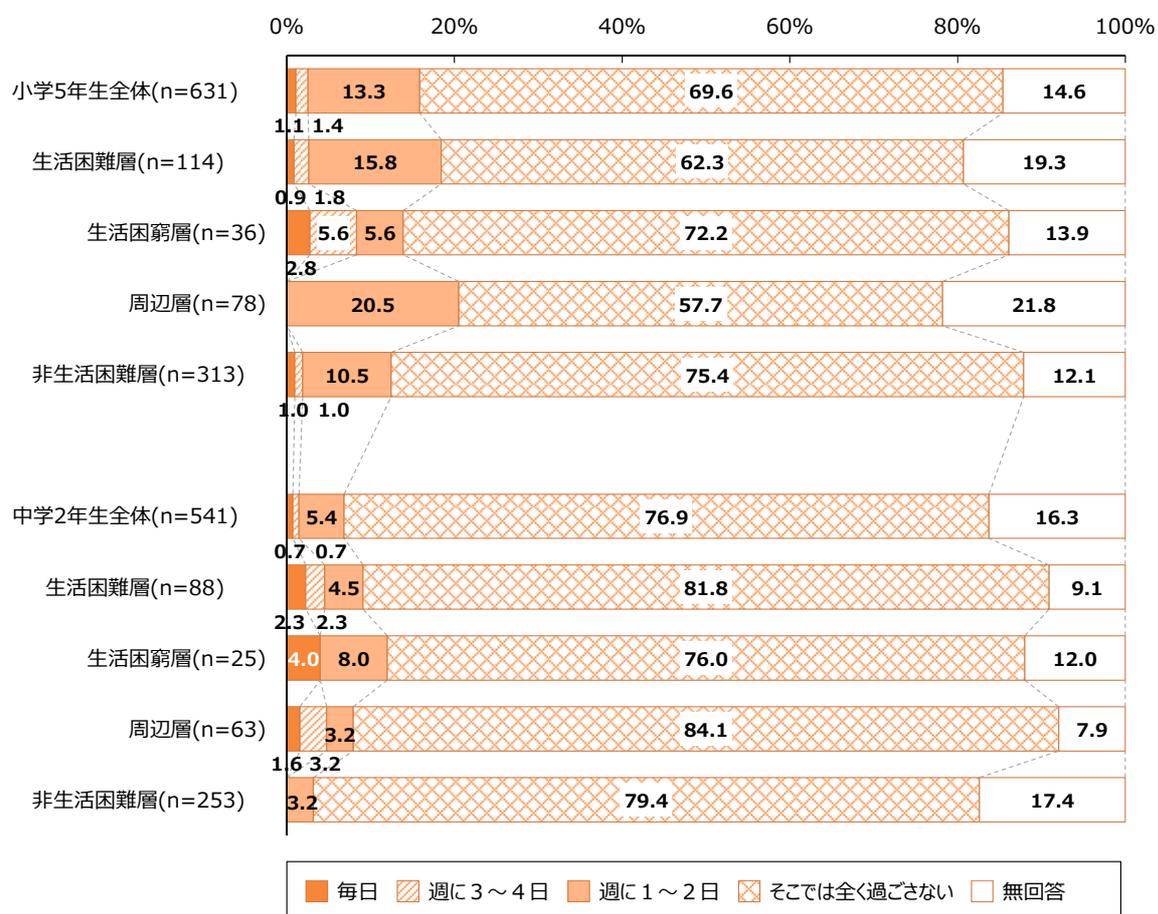
生活困難度別でも同様の傾向となっており、生活困難度との相関はみられません。



## H 図書館

平日の放課後を図書館で過ごす日数について、「そこでは全く過ごさない」は、小学5年生全体で69.6%、中学2年生全体で76.9%と多数を占めています。

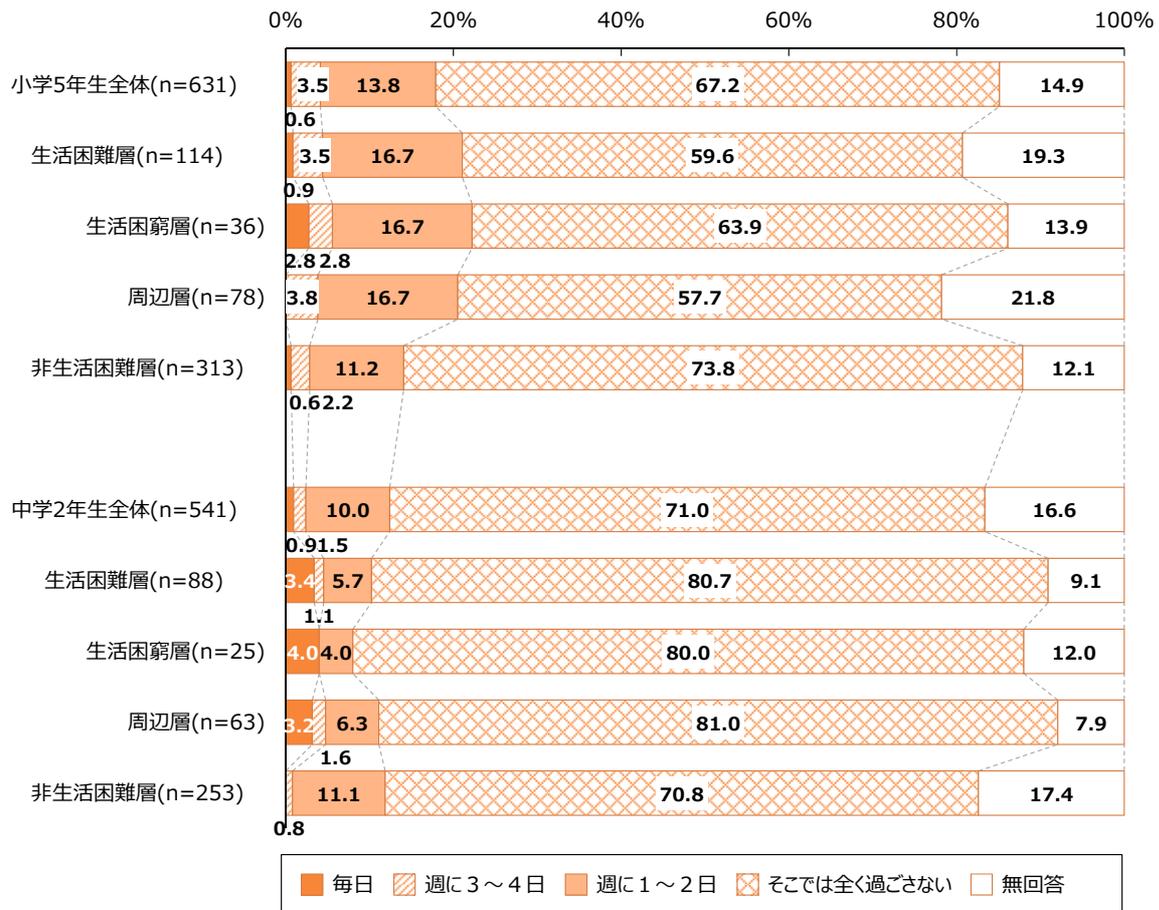
生活困難度別みても、小学5年生の周辺層の57.7%を除き、いずれの層も多数を占めており、生活困難度との明確な相関はみられません。



## Ⅰ 商店街やショッピングモール

平日の放課後を商店街やショッピングモールで過ごす日数について、小学5年生では「そこでは全く過ごさない」が全体で67.2%と多数を占めています。生活困難度別では、非生活困難層で73.8%と他の層に比べ10~15ポイント高くなっています。

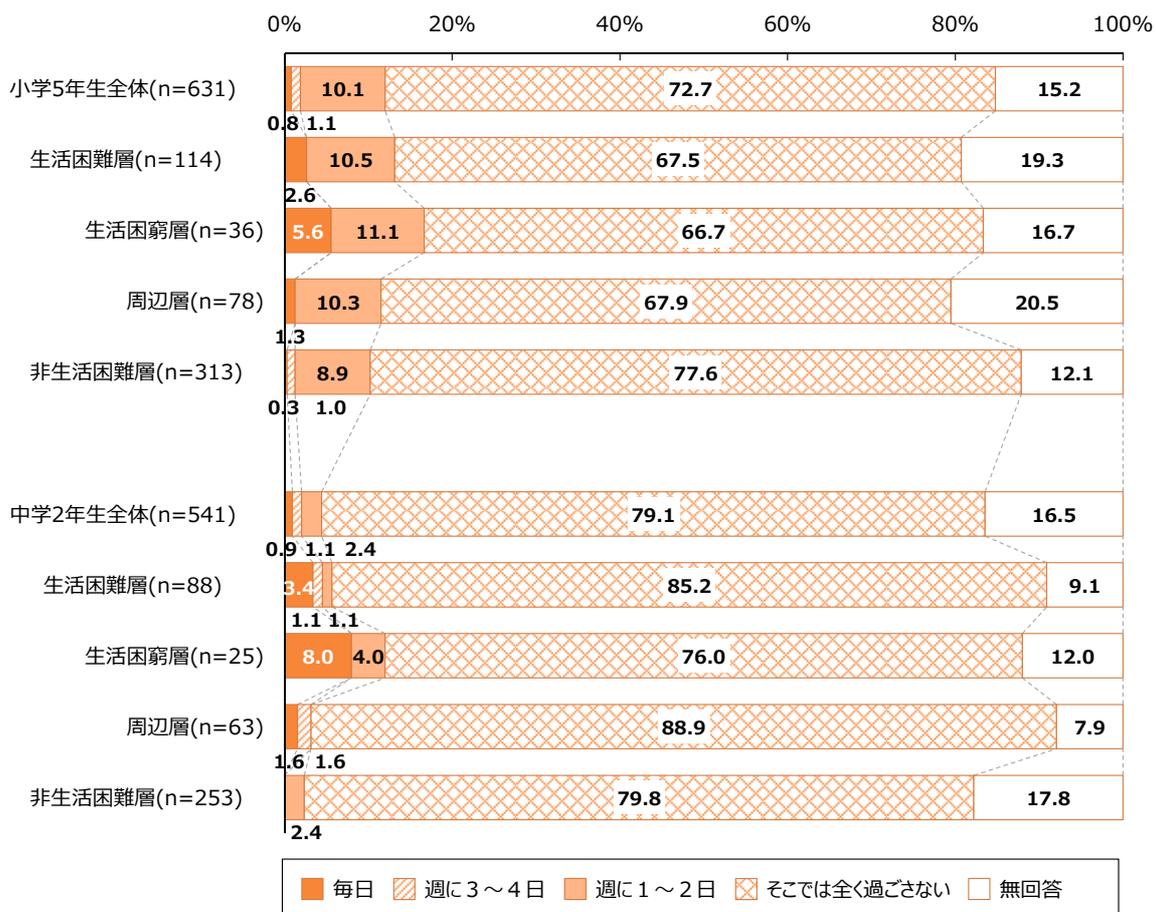
中学2年生では小学5年生に比べ「そこでは全く過ごさない」の割合が総じて高く、全体で71.0%と多数を占めています。生活困難度別では、非生活困難層の70.8%に対し、生活困窮層で80.0%、周辺層で81.0%と10ポイントほど高くなっています。



## J ゲームセンター

平日の放課後をゲームセンターで過ごす日数について、小学5年生では「そこでは全く過ごさない」が全体で72.7%と多数を占めています。生活困難度別では、非生活困難層で77.6%と他の層に比べ10ポイント高くなっています。

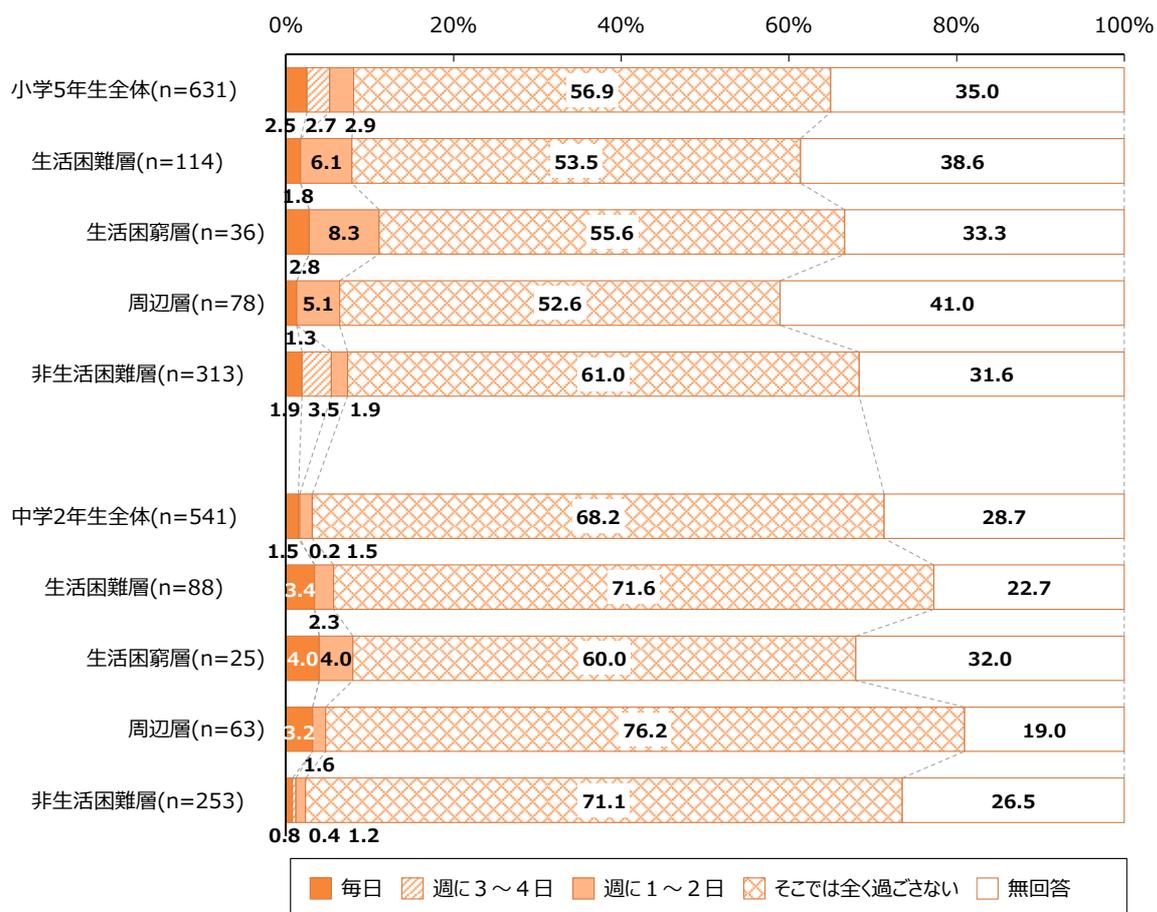
中学2年生では小学5年生に比べ「そこでは全く過ごさない」の割合が総じて高く、全体で79.1%となっています。生活困難度別では、明確な相関はみられず、周辺層で88.9%と高くなっています。



## K その他

平日の放課後をゲームセンターで過ごす日数について、小学5年生では「そこでは全く過ごさない」が全体で56.9%と半数以上を占めています。生活困難度別でも同様の傾向となっていますが、非生活困難層で61.0%とやや高くなっています。

中学2年生では小学5年生に比べ「そこでは全く過ごさない」の割合が10~15ポイントほど高く、全体で68.2%となっています。生活困難度別では、明確な相関はみられず、周辺層で76.2%と高くなっています。

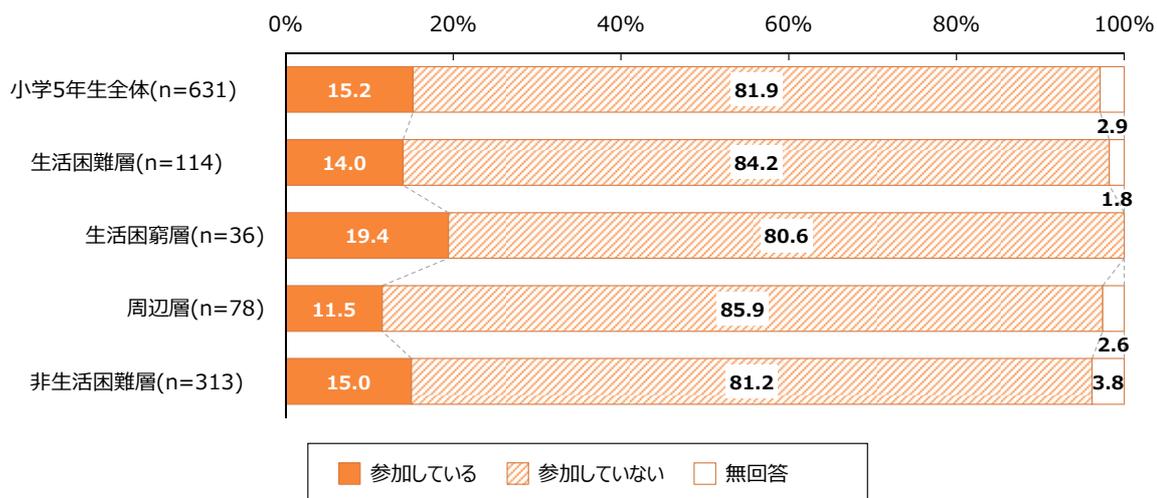


### (3) 放課後児童クラブ／部活動への参加状況

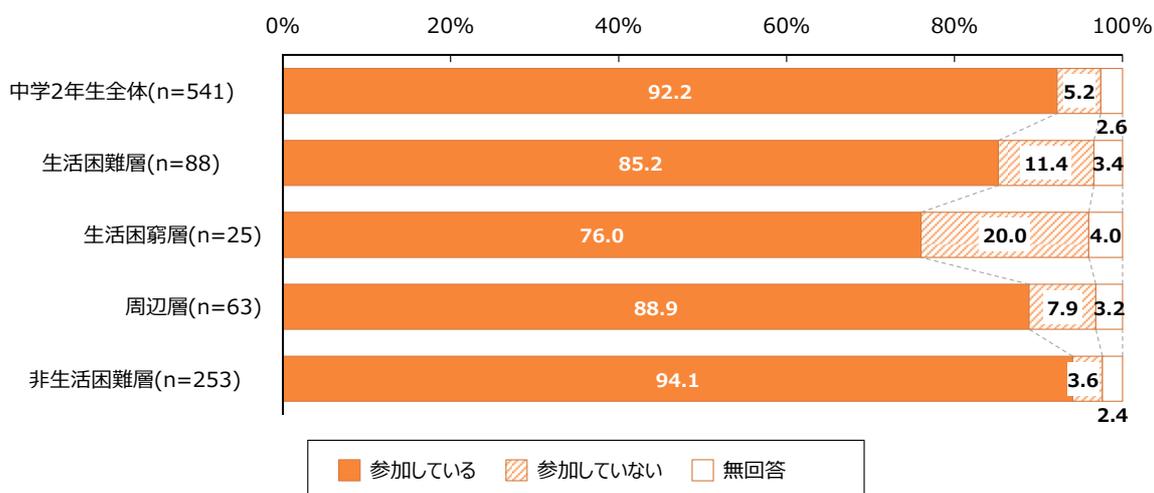
▼あなたは、放課後児童クラブや放課後子供教室(以下「放課後児童クラブなど」)に参加していますか。(子/小学生票問 11)

▼あなたは、学校の部活動に参加していますか。(子/中学生票問 11)

放課後児童クラブへの参加状況について、「参加していない」が、小学5年生全体では81.9%と多数を占めています。生活困難度別でも同様の傾向となっていますが、生活困窮層では「参加している」が19.4%と他の層に比べやや高くなっています。



学校の部活動への参加状況について、「参加している」が中学2年生全体では92.2%と大多数を占めています。生活困難度別では、明確な相関がみられ、生活困窮層で76.0%、周辺層で88.9%、非生活困難層で94.1%と「参加している」割合は多数を占めてはいますが、生活困難度が高い層で低くなっています。

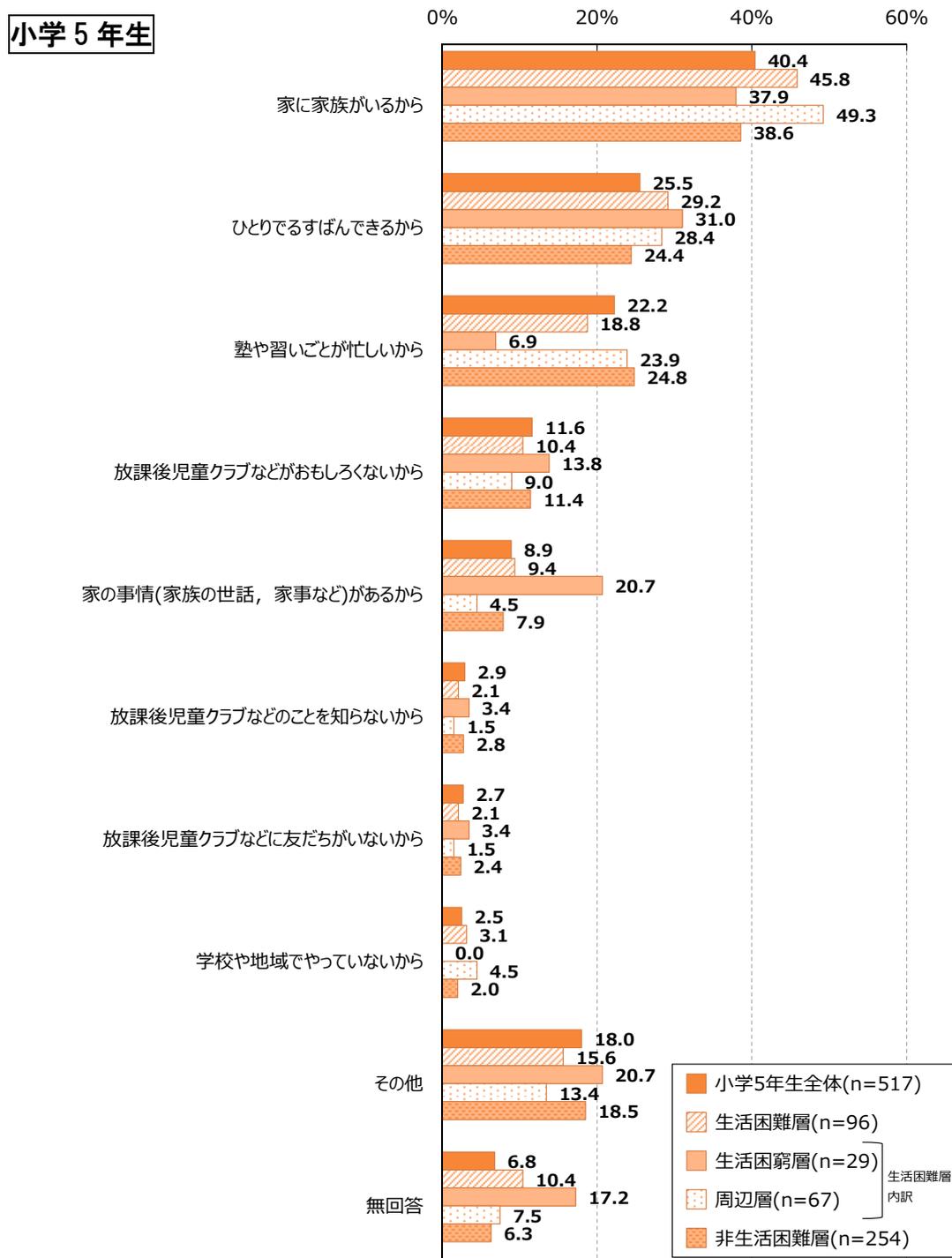


#### (4) 放課後児童クラブに参加していない理由

▼放課後児童クラブなどに「2 参加していない」と答えた人におききします。

参加しない理由は何ですか。(子/小学生票問 11-1 複数回答)

放課後児童クラブなどに参加していないと回答した人の理由について、小学5年生全体では、「家に家族がいるから」が40.4%、「ひとりですばんでできるから」が25.5%となっています。生活困窮層でも同様の傾向となっていますが、「塾や習いごとが忙しいから」は6.9%と他の層の3分の1程度、反対に「家の事情(家族の世話, 家事など)があるから」は20.7%と他の層の約3倍になっています。



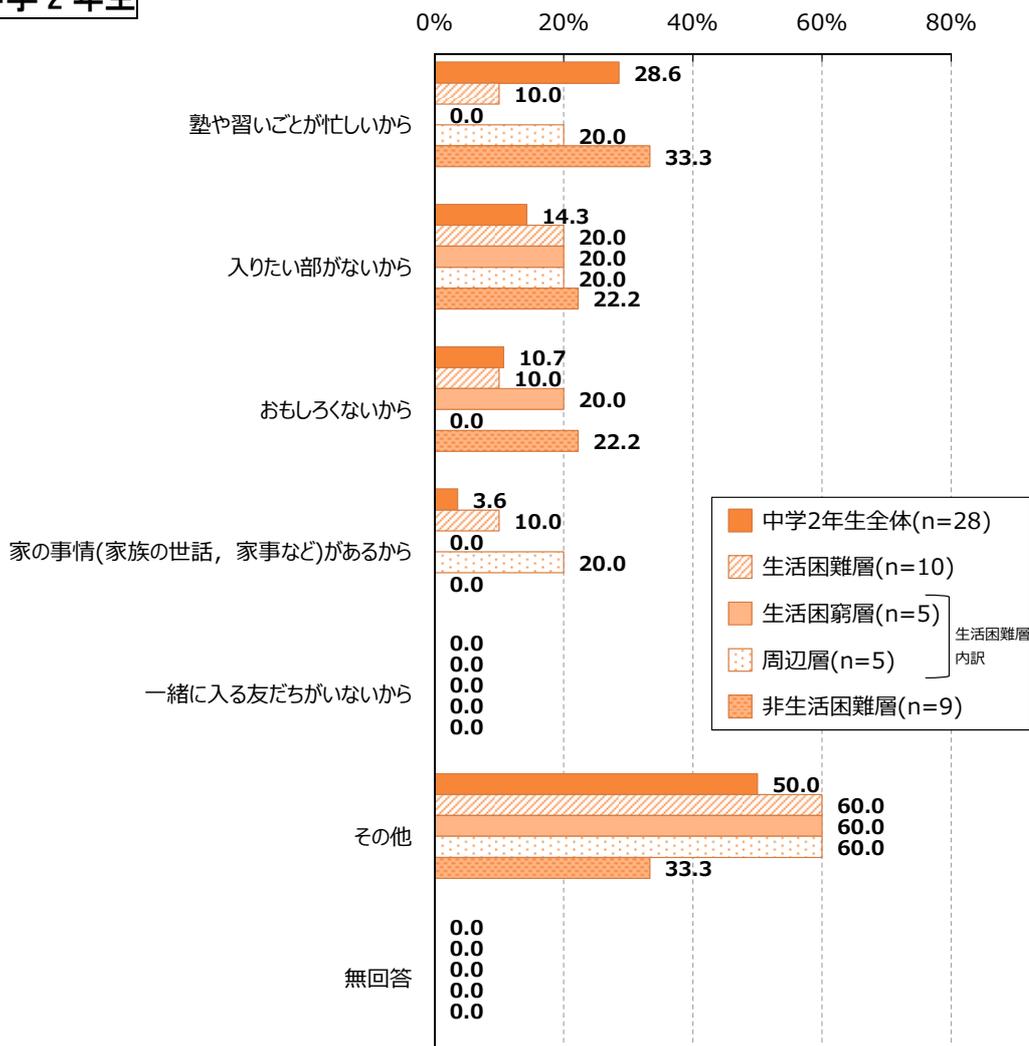
▼学校の部活動に「2 参加していない」と答えた人におききします。

参加しない理由は何ですか。(子/中学生票問 11-1 複数回答)

部活動に参加していないと回答した人の理由について、中学2年生全体では、「その他」が50.0%、「塾や習いごとが忙しいから」が28.6%、「入りたい部がないから」が14.3%となっています。

生活困窮層では生活困窮層で、「その他」が60.0%、「入りたい部がないから」及び「おもしろくないから」が20.0%となっていますが、部活動に参加していないとの回答数が少ないため、明確な傾向を把握することは困難です。

中学2年生

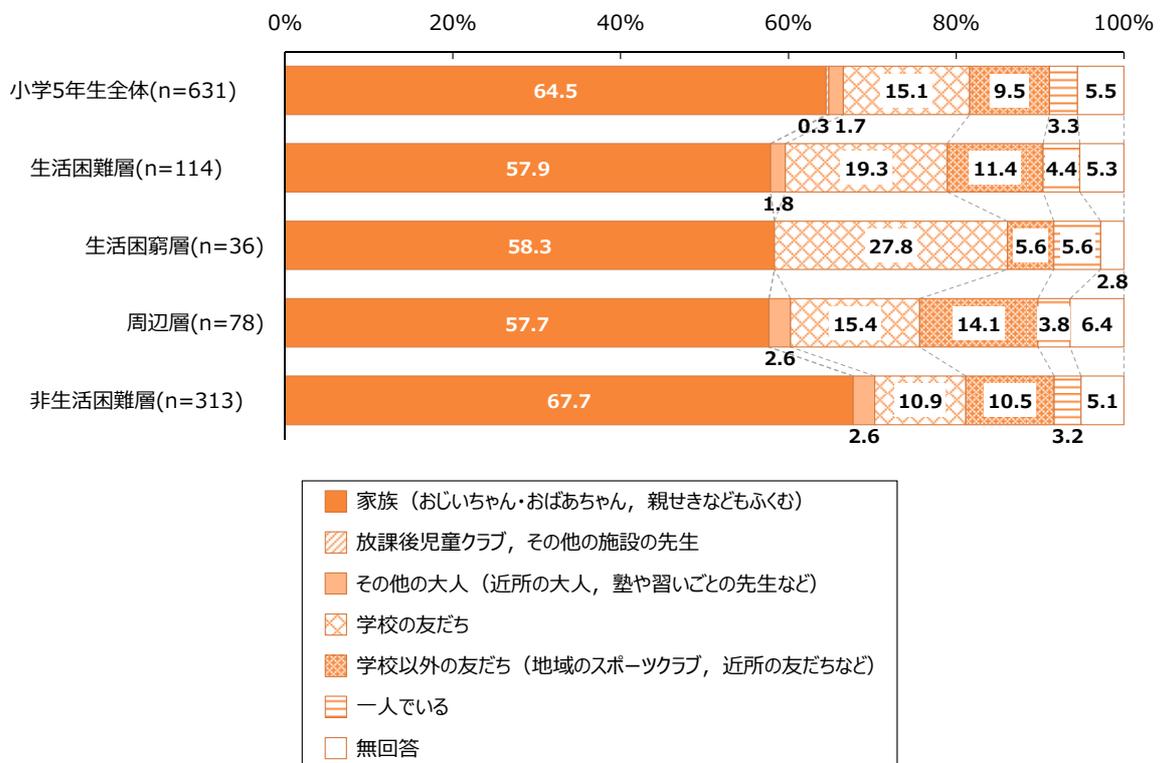


## 4 休日の過ごし方

### (1) 休日の午後を一緒に過ごす人

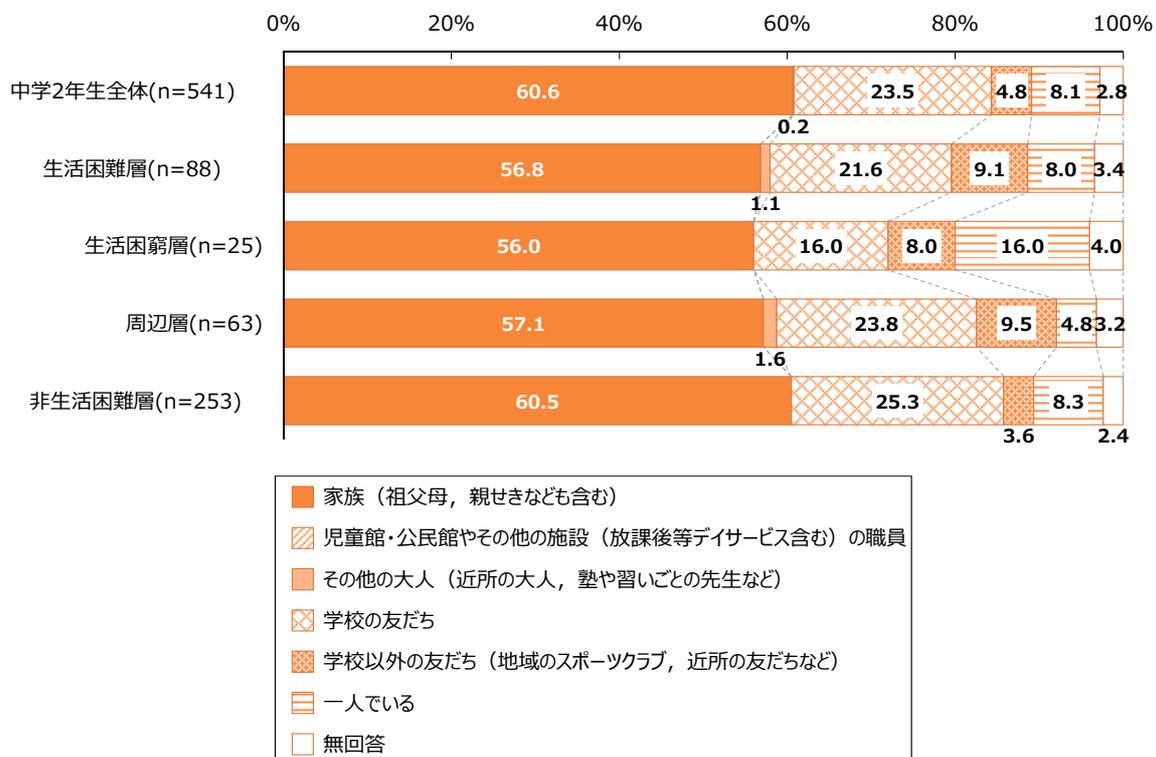
▼あなたは、休日（学校がお休みの日）の午後はだれと過ごしますか。一緒に過ごすことが一番多い人に○をつけてください。（子/小学生票問 12）

休日に一緒に過ごす人について、小学5年生全体では「家族」が64.5%、「学校の友だち」が15.1%となっています。生活困難度別では、「家族」との回答は周辺層で57.7%と低く、非生活困難層で67.7%と高くなっています。また、「学校の友だち」との回答は生活困窮層で27.8%と高くなっています。また、割合は高くありませんがいずれの層も「一人でのいる」との回答が3.2%～5.6%ありました。



▼あなたは、休日（学校がお休みの日）の午後はだれと過ごしますか。一緒に過ごすことが一番多い人に○をつけてください。（子/中学生票問12）

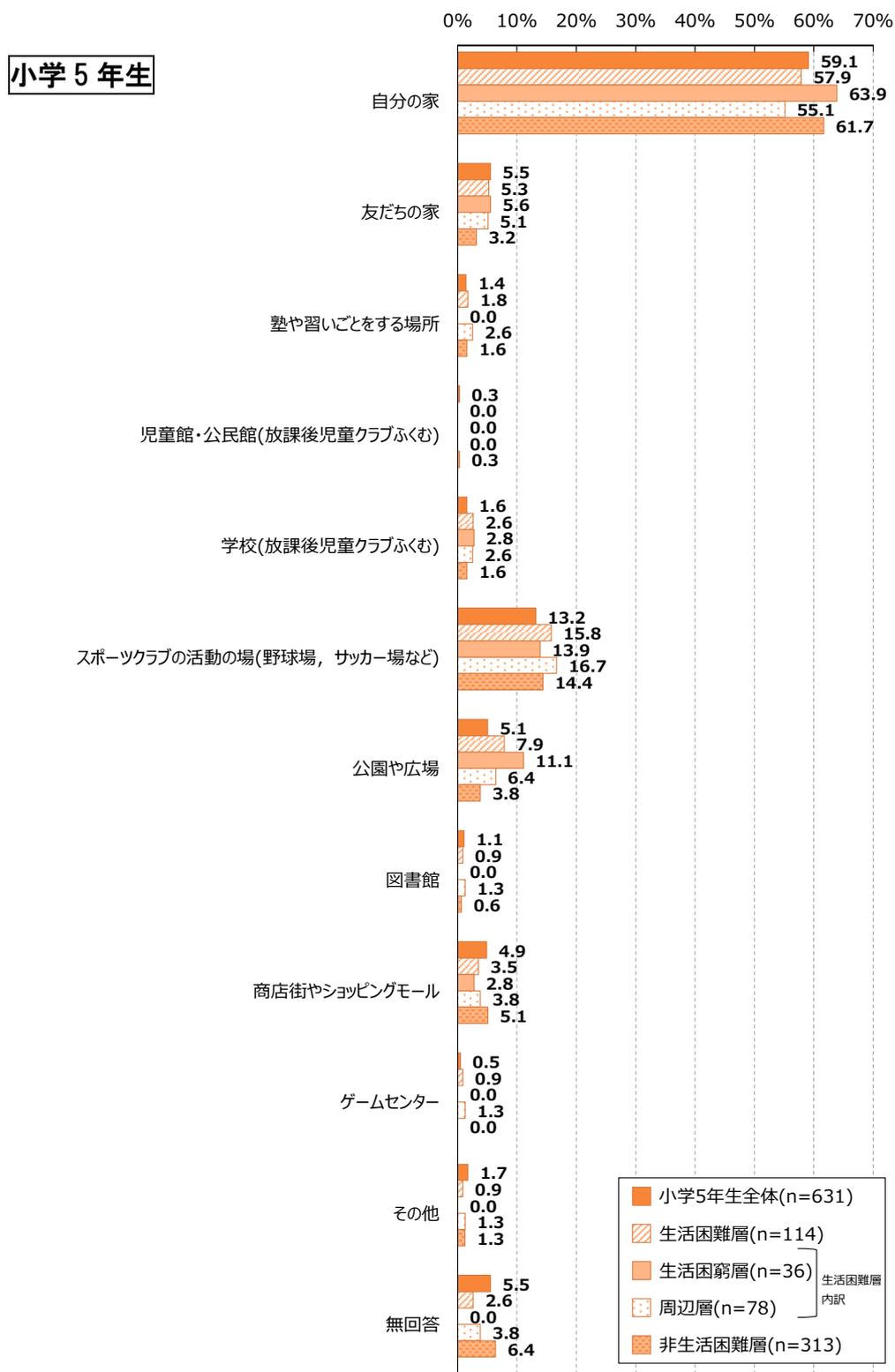
休日に一緒に過ごす人について、小学5年生全体では「家族」が60.6%、「学校の友だち」が23.5%となっています。生活困難度別では、「家族」の割合に差はありませんが、生活困窮層で「学校の友だち」が16.0%と低く、「一人でのいる」が16.0%で高くなっています。



## (2) 休日の午後を過ごす場所

▼あなたは、休日（学校がお休みの日）の午後は、どこで過ごしますか。一番多く過ごす場所に○をつけてください。（子/小学生票問 13）

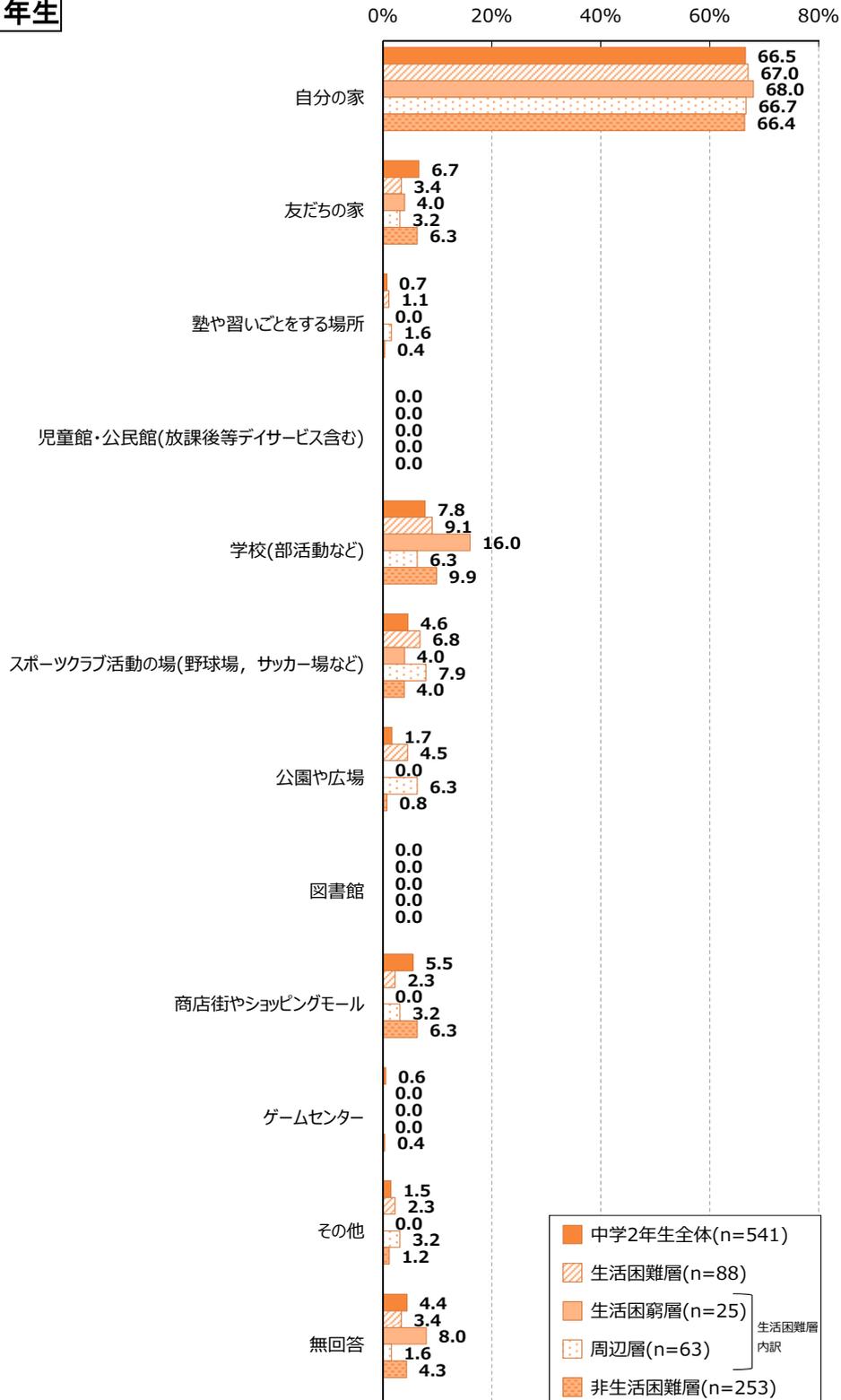
休日の午後を過ごす場所について、「自分の家」が小学5年生全体で59.1%、生活困窮層で63.9%と半数以上を占めています。また、生活困窮層では「公園や広場」が11.1%で非生活困窮層の3.8%に比べ約3倍となっています。



▼あなたは、休日（学校がお休みの日）の午後は、どこで過ごしますか。一番多く過ごす場所に○をつけてください。（子/中学生票問 13）

休日の午後を過ごす場所について、中学2年生では、「自分の家」が全体で66.5%，生活困窮層で68.0%と半数以上を占めています。また、生活困窮層では「学校（部活動など）」が16.0%で非生活困難層の9.9%に比べ約2倍となっています。

中学2年生



## 5 活動の状況

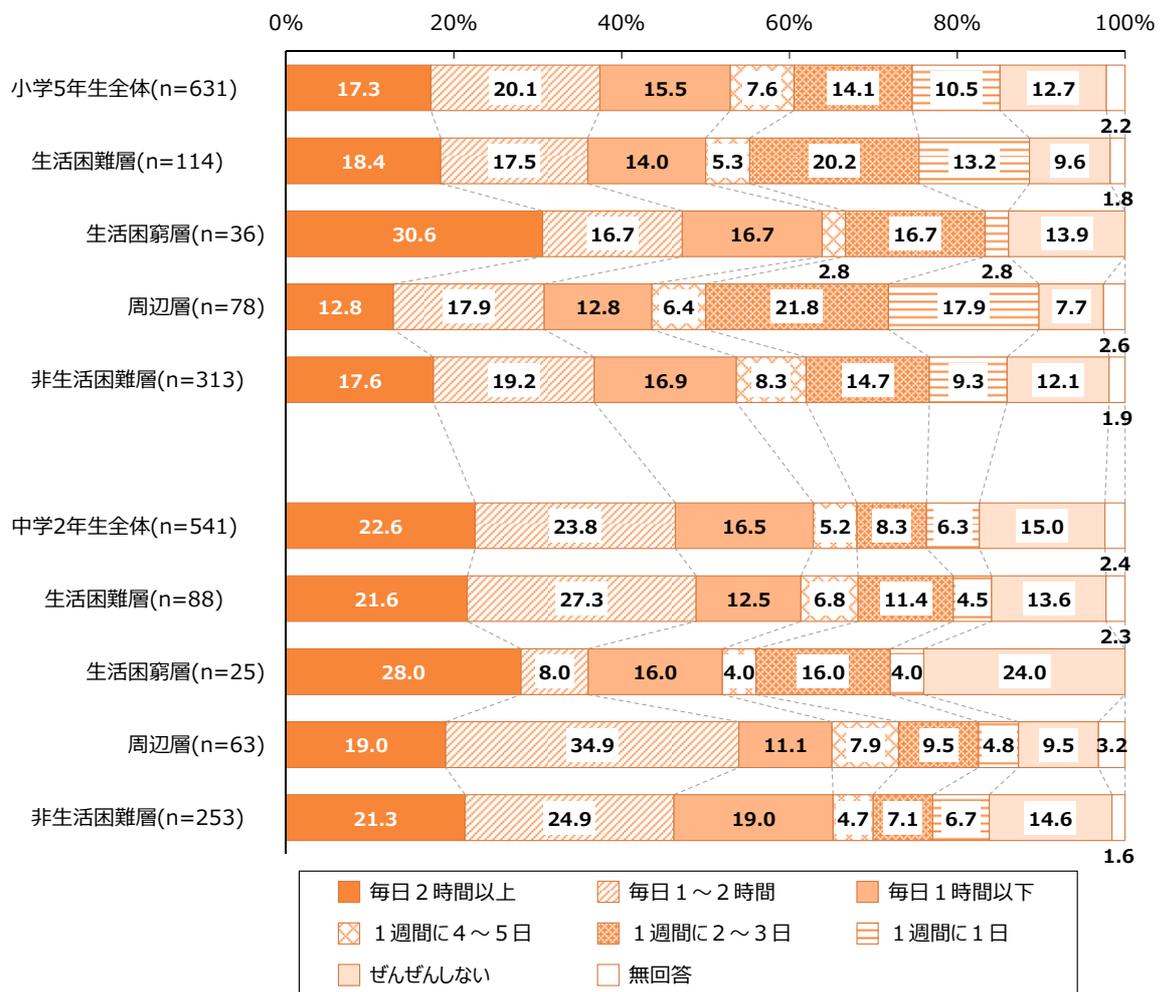
### (1) 活動の状況

▼あなたは、次の活動を、ふだんどれくらいしますか。(子/問 14)

#### A ゲーム機（コンピュータゲーム、携帯式のゲームを含む）で遊ぶ

ゲーム機で遊ぶ頻度について、「毎日 2 時間以上」、「毎日 1～2 時間」、「毎日 1 時間以下」が合わせた“毎日”の割合は、小学 5 年生全体で 52.9%，生活困難度別では、生活困窮層で 64.0%と高くなっています。

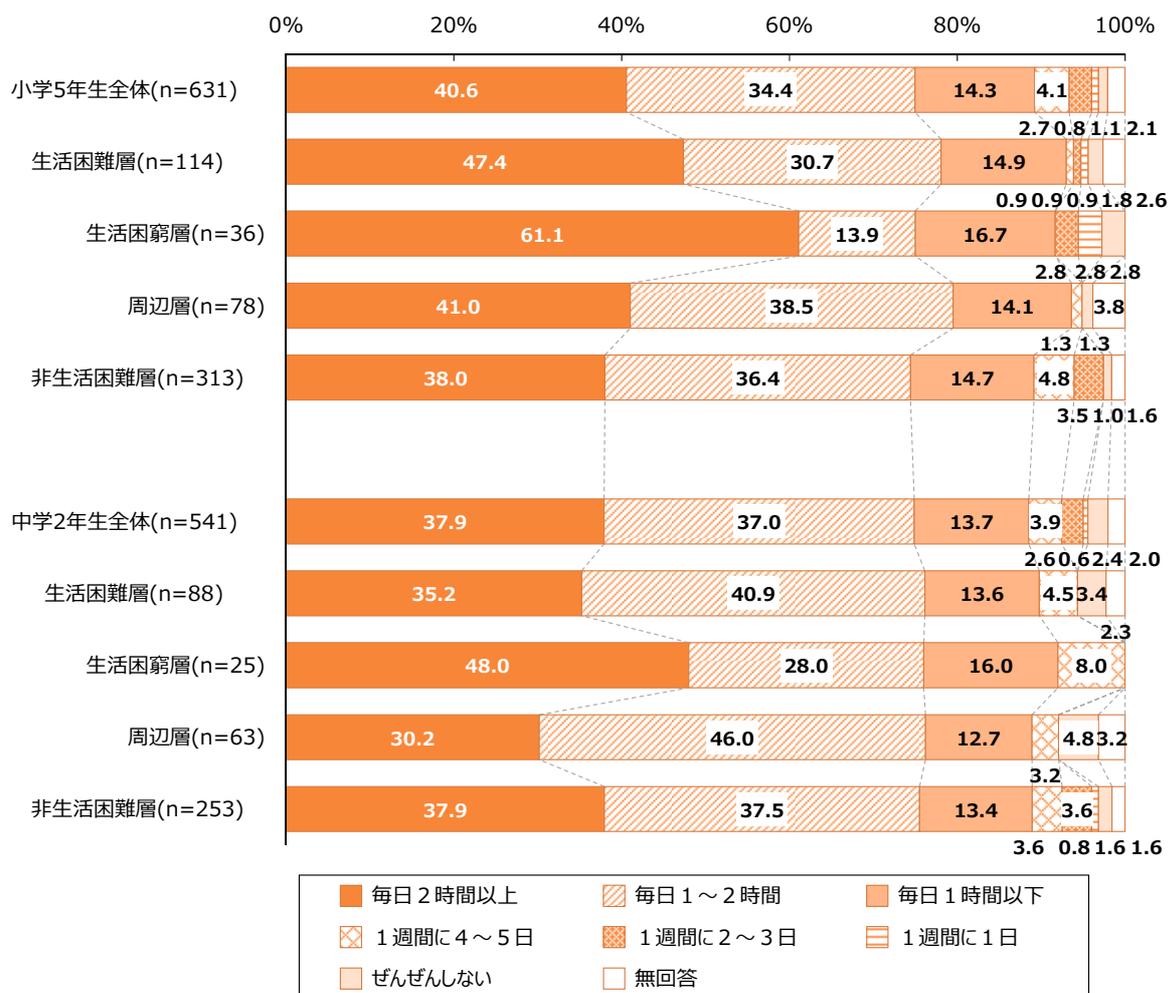
中学 2 年生では、“毎日”が、全体で 62.9%，生活困難度別では、周辺層の 65.0%，非生活困窮層の 65.2%に対し、生活困窮層で 52.0%と 13 ポイントほど低くなっています。



## B テレビを見る

テレビを見る頻度について、小学5年生全体では「毎日2時間以上」が40.6%、「毎日1～2時間」が34.4%となっています。生活困難度別では、生活困窮層で「毎日2時間以上」が高く61.1%「毎日1～2時間」が13.9%と低くなっています。

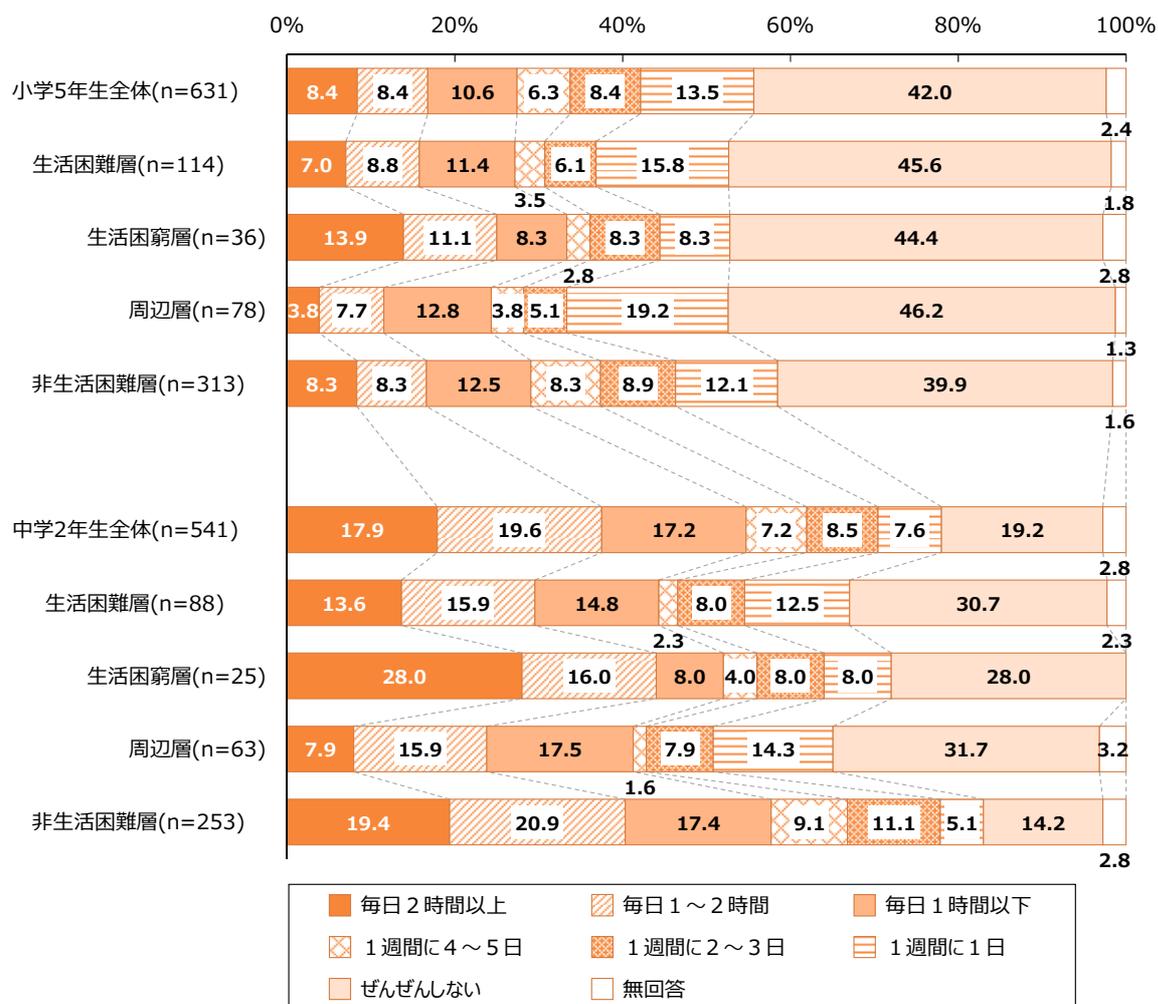
中学2年生では、全体で「毎日2時間以上」が37.9%、「毎日1～2時間」が37.0%となっています。生活困難度別では、生活困窮層で「毎日2時間以上」が高く48.0%「毎日1～2時間」が28.0%とやや低くなっています。



## C インターネットを見る

インターネットを見る頻度について、小学5年生全体で「毎日2時間以上」、「毎日1～2時間」、「毎日1時間以下」が合わせた“毎日”の割合は27.4%となっている一方、「ぜんぜんしない」は42.0%となっています。生活困難度別に“毎日”の割合をみると、生活困窮層で33.3%と高く、周辺層で24.3%と低くなっており、生活困難度との相関はみられません。

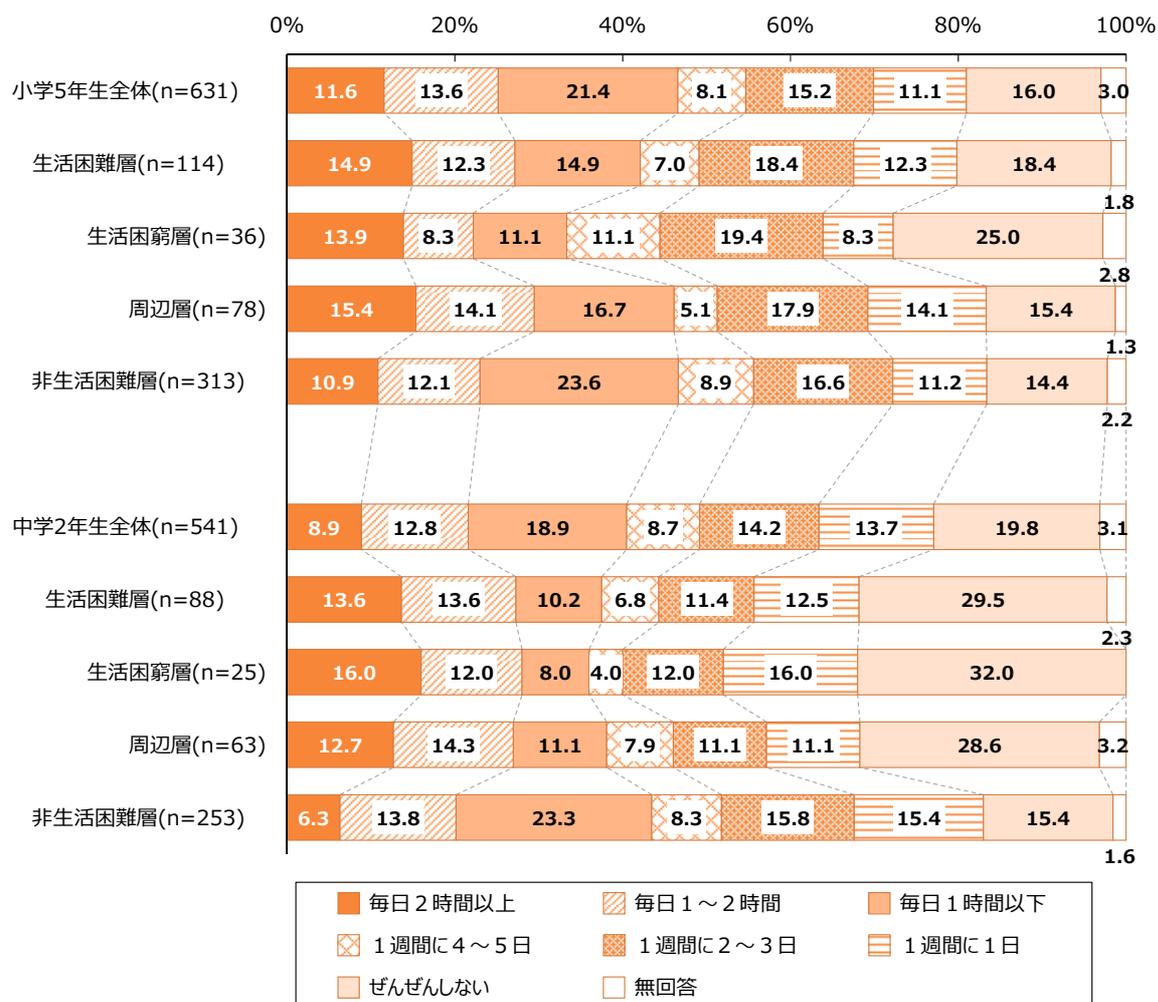
中学2年生では、小学5年生に比べ“毎日”の割合は総じて高く、全体で54.7%となっています。生活困難度別では小学5年生と同様の傾向となっています。



## D 室内でのほかの活動（読書，室内遊びなど）

室内でのほかの活動の頻度について，小学5年生全体で「毎日2時間以上」，「毎日1～2時間」，「毎日1時間以下」が合わせた“毎日”の割合は46.6%となっています。生活困難度別では，生活困窮層で33.3%と低くなっています。

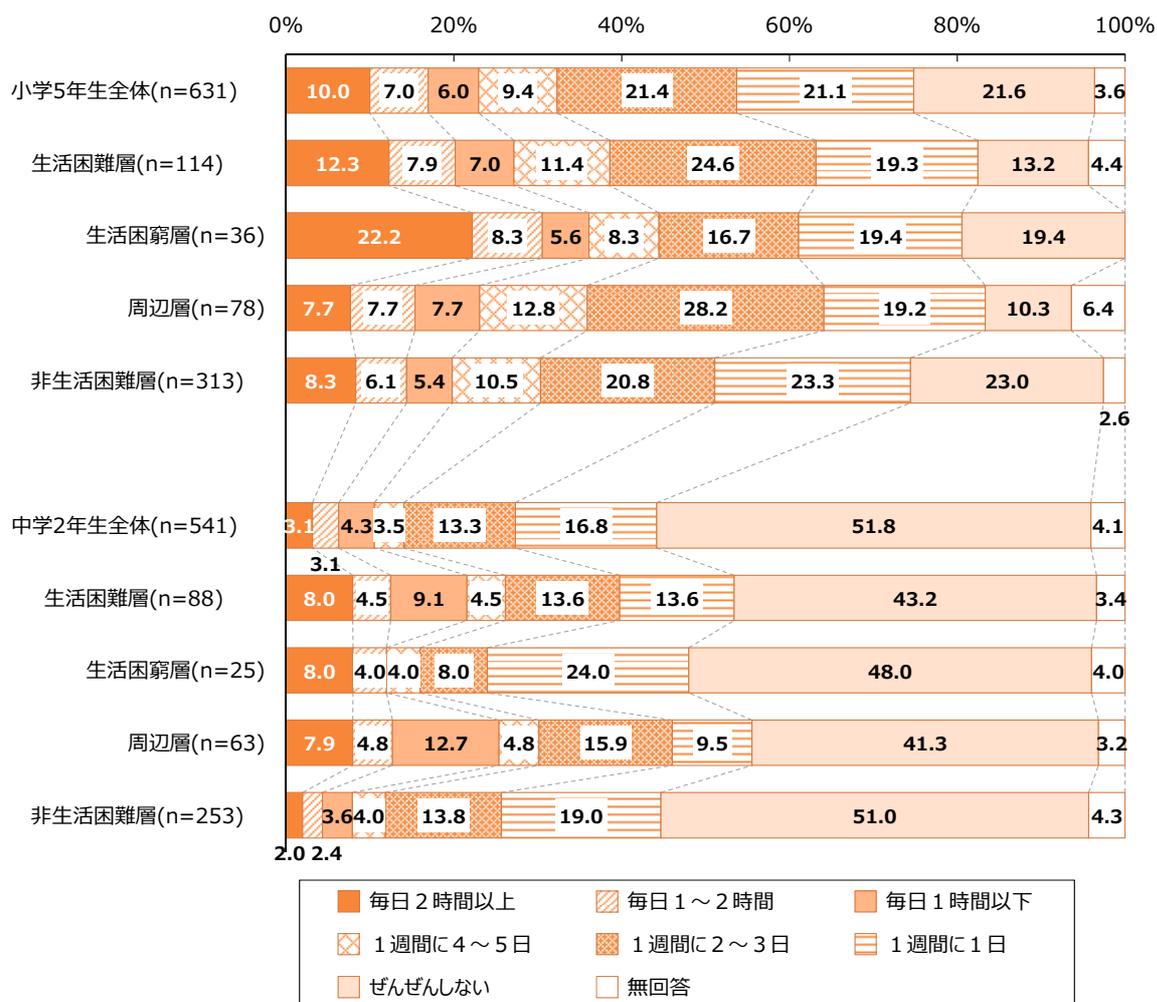
中学2年生では，“毎日”は全体で40.6%となっており，生活困難度別では，生活困窮層で36.0%，周辺層で38.1%，非生活困難層で43.4%と，生活困難度が高い層ほど低くなっています。



## E 公園や広場などの外で遊ぶ

公園や広場などの外で遊ぶ頻度について、「毎日2時間以上」、「毎日1～2時間」、「毎日1時間以下」が合わせた「毎日」と回答した割合は、小学5年生全体で23.0%となっています。生活困難度別では明確な相関がみられ、生活困窮層で36.1%、周辺層で23.1%、非生活困難層で19.8%と生活困難度が高い層ほど高くなっています。

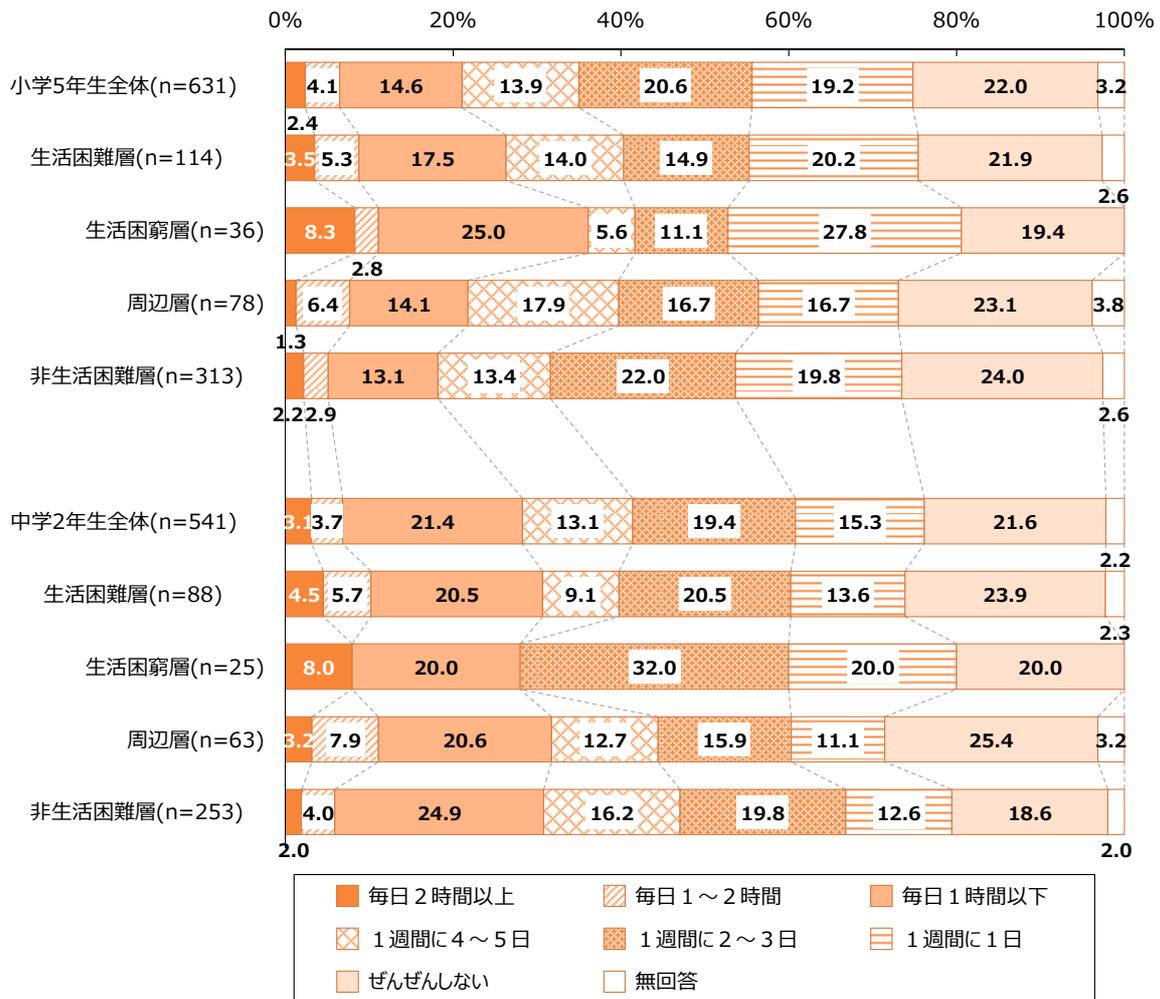
中学2年生では、「ぜんぜんしない」が約半数を占め、全体で51.8%、生活困窮層で48.0%、非生活困難層で51.0%となっています。



## F 家事（洗濯，掃除，料理，片付けなど）

家事をする頻度について、「毎日2時間以上」、「毎日1～2時間」、「毎日1時間以下」が合わせた「毎日」と回答した割合は、小学5年生全体で21.1%となっています。生活困難度別では明確な相関がみられ、生活困窮層で36.1%、周辺層で21.8%、非生活困難層で18.2%と生活困難度が高い層ほど高くなっています。

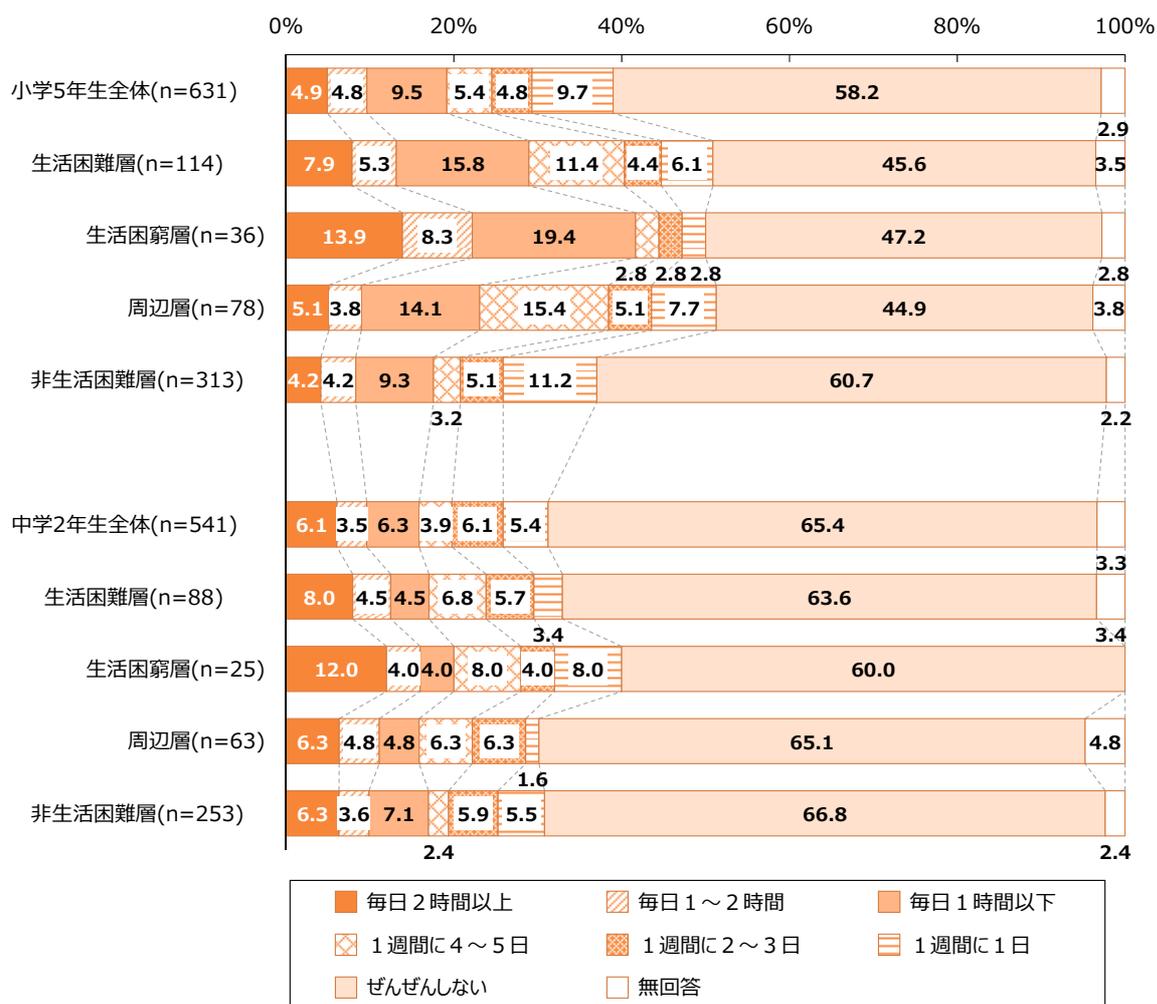
中学2年生で「毎日」と回答した割合は、全体で28.2%、生活困難度別では、3割前後となっており、明確な差はみられません。



## G 兄弟姉妹の世話や祖父母の介護

兄弟姉妹の世話や祖父母の介護の頻度について、「毎日 2 時間以上」、「毎日 1～2 時間」、「毎日 1 時間以下」が合わせた“毎日”の割合は、小学 5 年生全体で 19.2%，生活困難度別では相関関係がみられ、生活困窮層で 41.6%，周辺層で 23%，非生活困難層で 17.7%となっています。

中学 2 年生では「ぜんぜんしない」の割合がいずれの層も 6 割を超え多数を占めています。一方，“毎日”の割合は生活困難度による明確な相関がみられず、いずれの層も 2 割以下となっています。

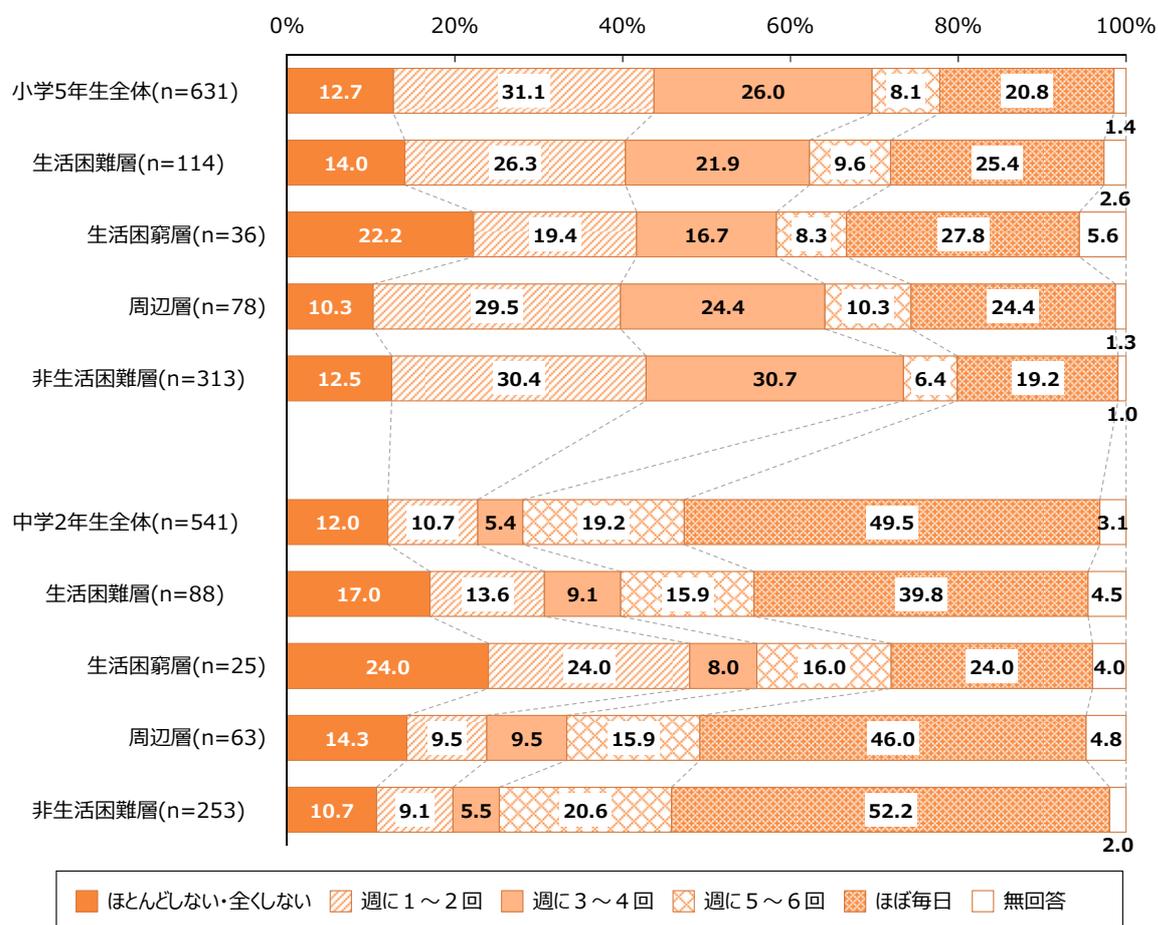


## (2) 運動の状況

▼あなたは、30分以上からだを動かす遊びや習いごとを、1週間でどれくらいしますか。  
(子/問 15)

30分以上からだを動かす遊びや習いごとの頻度について、小学5年生全体では「ほぼ毎日」が20.8%、「ほとんどしない・全くしない」が12.7%となっており、生活困難度別では、「ほぼ毎日」の割合は相関関係がみられ、生活困難度が高い層ほど高くなっています。一方、「ほとんどしない・全くしない」は生活困窮層で22.2%と他の層と比べ高くなっています。

中学2年生では、小学5年生に比べ「ほぼ毎日」の割合が総じて増え全体で49.5%と半数近くを占めていますが、生活困窮層では24.0%と減少しています。また、生活困難度による相関関係がみられ、「ほぼ毎日」は生活困難度が高い層ほど低く、「ほとんどしない・全くしない」は生活困難度が高い層ほど高くなっています。

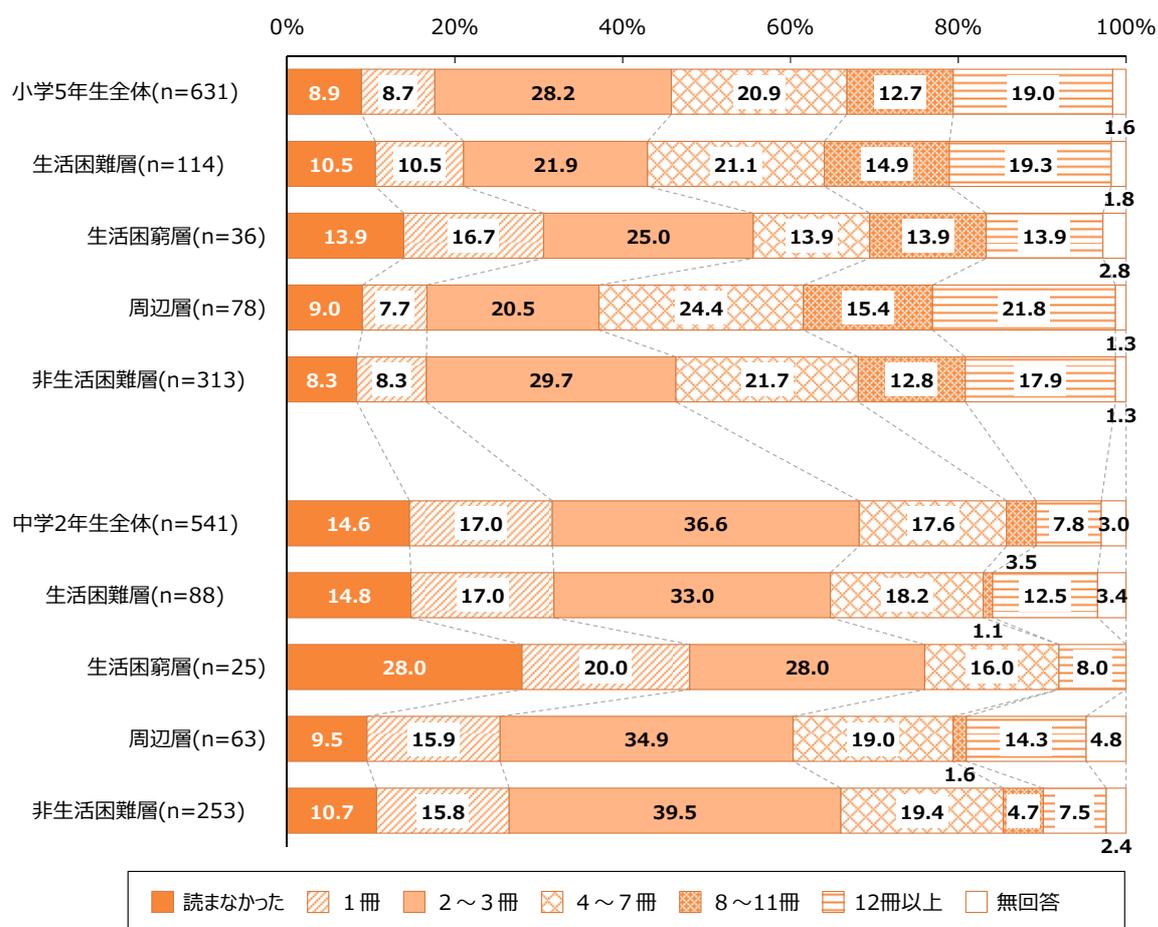


### (3) 読書の状況

#### ▼あなたは、この1か月の間に本を何冊くらい読みましたか。(子/問16)

この1か月に読んだ本の冊数について、小学5年生全体では、「2～3冊」が28.2%、「4～7冊」が20.9%、「12冊以上」が19.0%となっている一方、「読まなかった」は8.9%となっています。生活困難度別では、「読まなかった」及び「1冊」の割合が高く、「4～7冊」「8～11冊」「12冊以上」を合わせた“4冊以上”の割合が低くなっています。

中学2年生でも同様の傾向となっていますが、「読まなかった」の割合は総じて高くなっています。



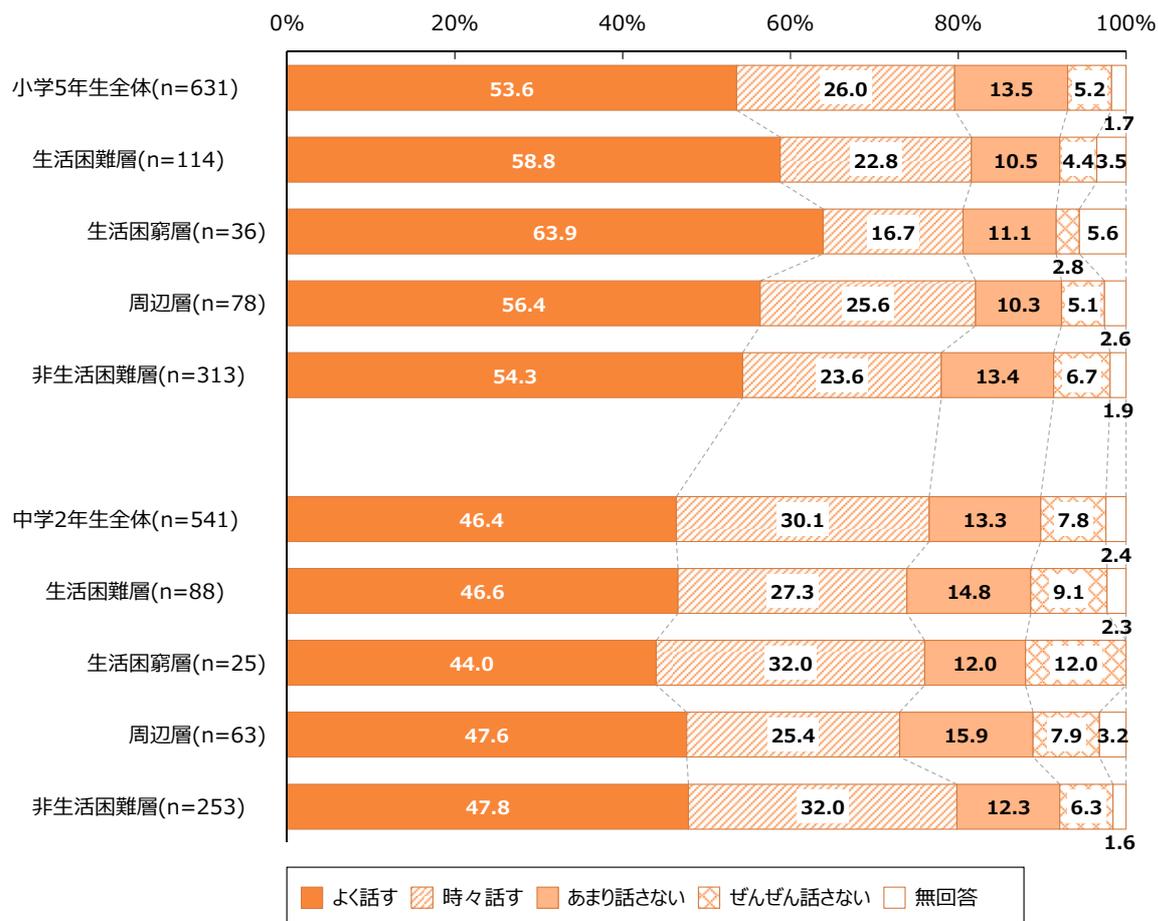
#### (4) 会話の状況

▼あなたはふだん、困っていることや悩みごと、楽しいことや悲しいことを、他の人にどれくらい話しますか。(子/問 17)

##### A 家族(親)

家族(親)との会話について、「よく話す」と「時々話す」を合わせた“話す”の割合は、小学5年生全体で79.6%、中学2年生全体で76.5%と多数を占めています。

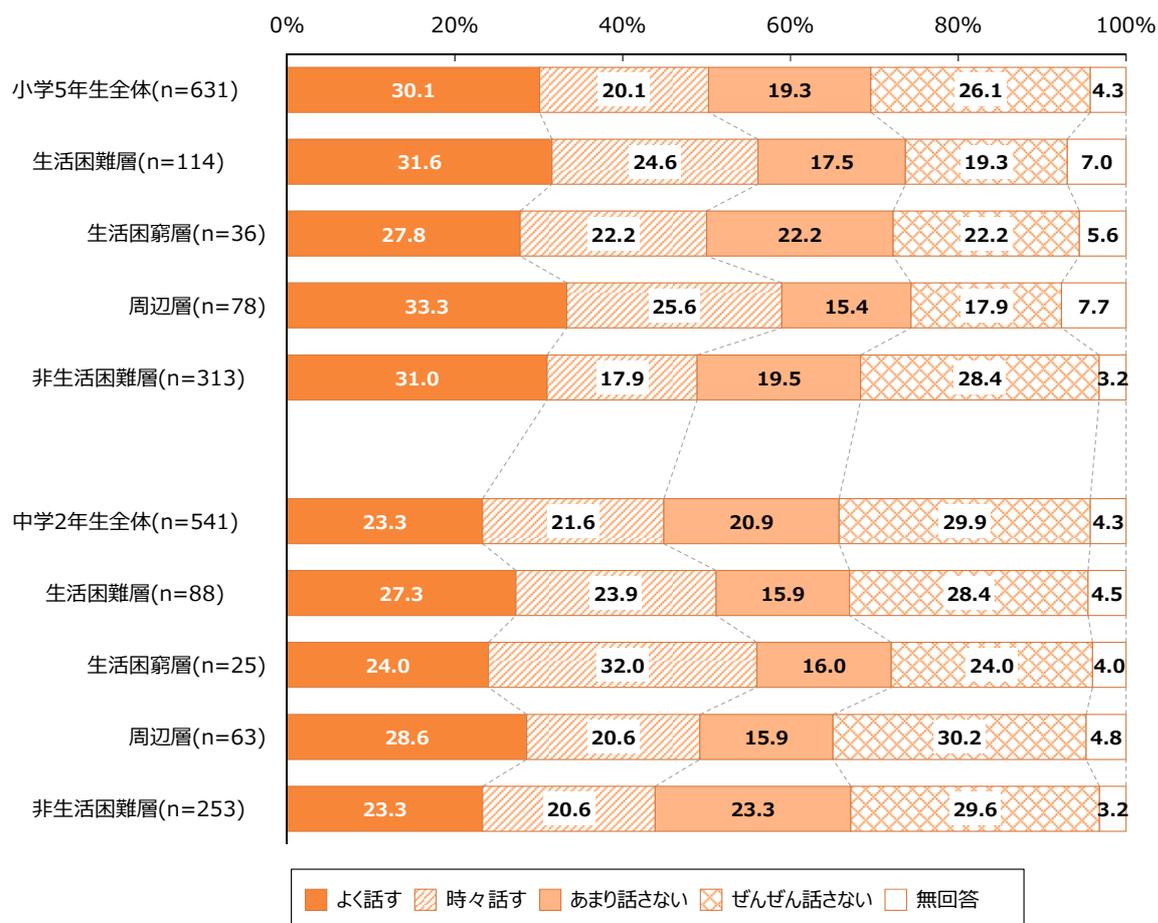
生活困難度別でも“話す”は7割以上を占めており、生活困難度による差はみられません。



## B 家族（兄弟姉妹）

家族（兄弟姉妹）との会話について、「よく話す」と「時々話す」を合わせた“話す”の割合は、小学5年生全体で50.2%，生活困難度別では明確な相関はみられず、周辺層で58.9%と高くなっています。

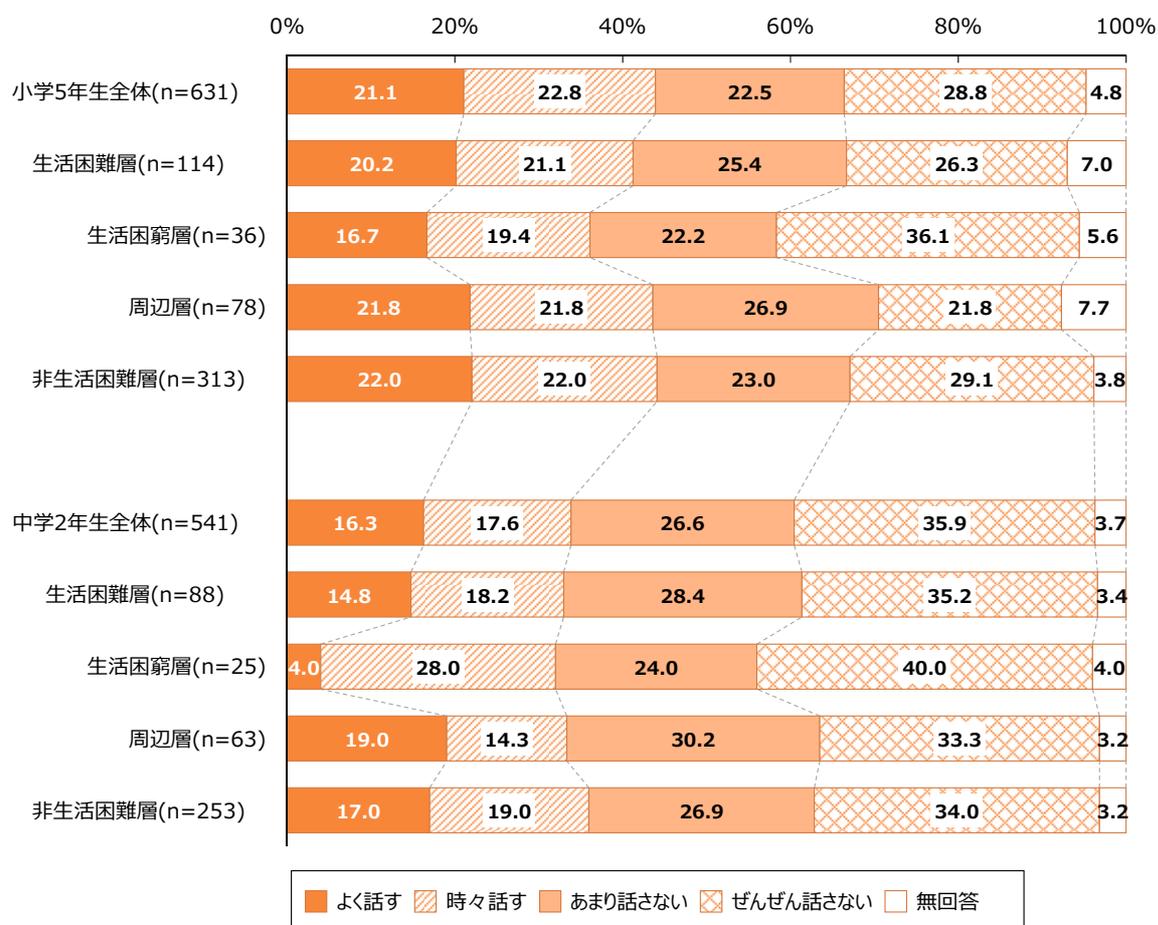
中学2年生の“話す”の割合は、全体で44.9%，生活困難度別では相関がみられ、生活困窮層で56.0%，周辺層で49.2%，非生活困難層で43.9%と生活困難度が高い層ほど高くなっています。



## C 家族（祖父母など）

家族(祖父母など)との会話について、「よく話す」と「時々話す」を合わせた“話す”の割合は、小学5年生全体で43.9%，生活困難度別では生活困窮層で36.1%と低くなっています。

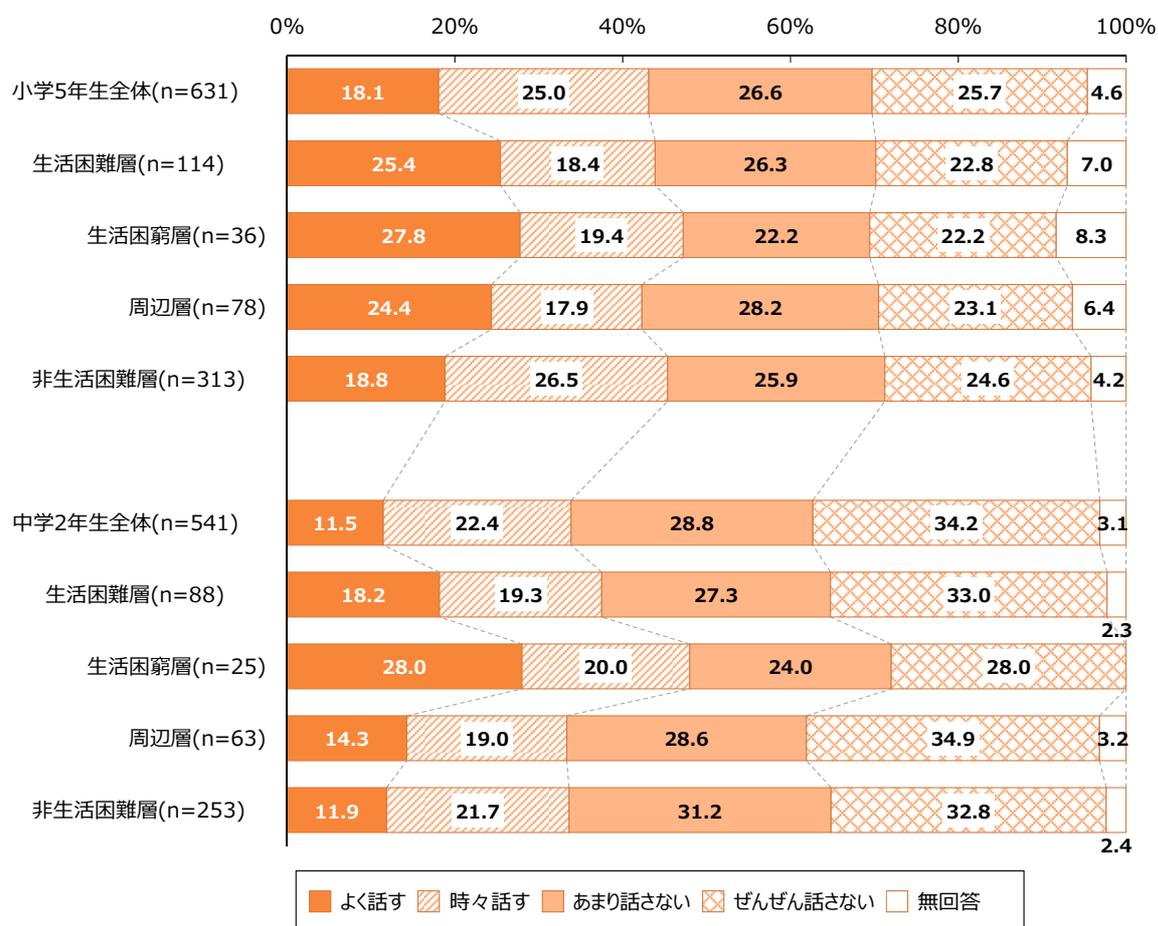
中学2年生の“話す”の割合は、全体で33.9%，生活困難度別でも同様の傾向となっています。一方、「ぜんぜん話さない」は生活困窮層で高く小学5年生で36.1%，中学2年生で40.0%となっています。



## D 学校の先生

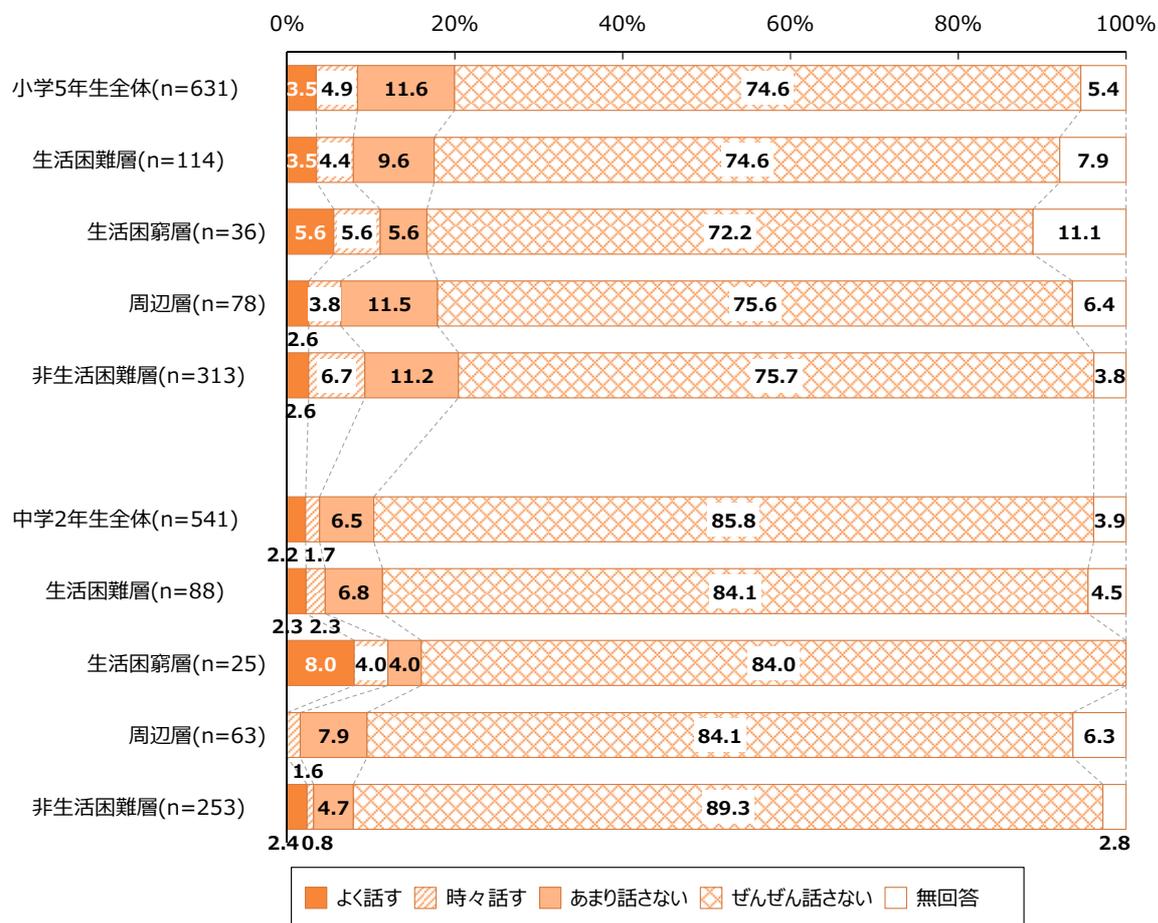
学校の先生との会話について、「よく話す」と「時々話す」を合わせた“話す”の割合は、小学5年生全体で43.1%、生活困難度別でも同様の傾向となっており大きな差はみられません。

中学2年生の“話す”の割合は、全体で33.9%、生活困難度別では生活困窮層で高く48.0%となっています。



## E 児童館・公民館の職員

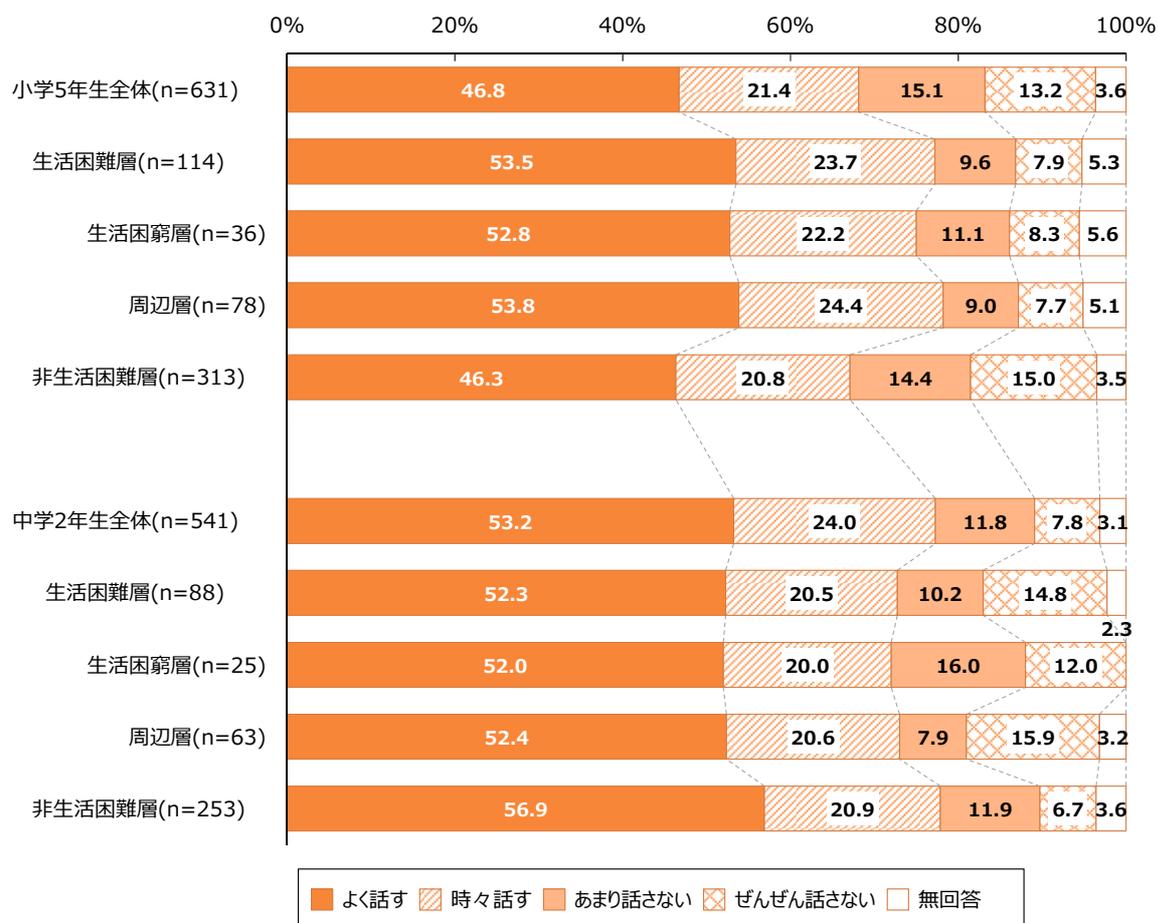
児童館・公民館の職員との会話について、小学5年生の7割以上、中学2年生の8割以上が「ぜんぜん話さない」と回答しており、生活困難度別でも同様の傾向となっています。



## F 友だち

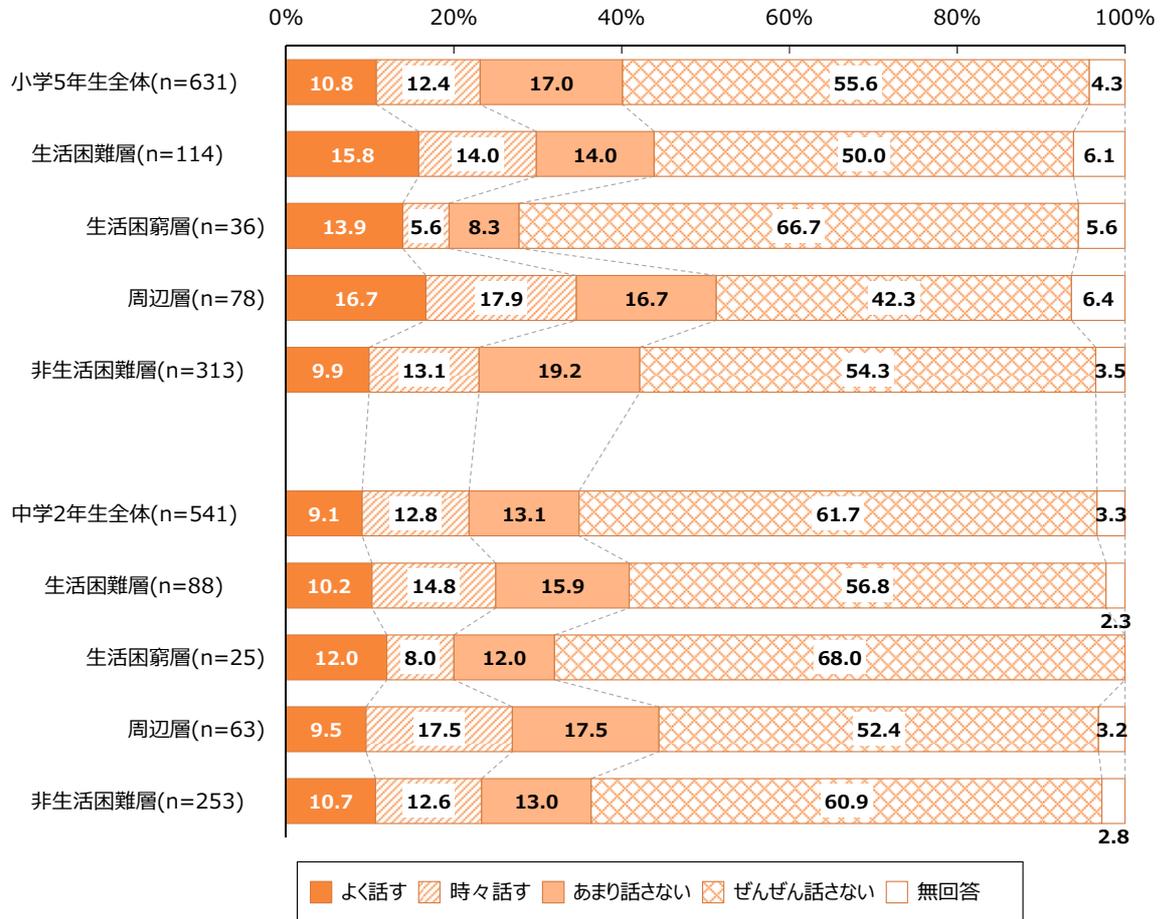
友だちとの会話について、「よく話す」と「時々話す」を合わせた“話す”の割合は、小学5年生全体で68.2%，生活困難度別では、非生活困難層の67.1%に対し、周辺層で78.2%と11ポイント高くなっています。

中学2年生の“話す”の割合は、全体で77.2%となっています。生活困難度別みても、いずれの層も7割を超え多数を占めており、明確な相関はみられません。



## G その他の大人（地域のスポーツクラブのコーチや塾・習いごとの先生など）

その他の大人との会話について、「ぜんぜん話さない」が、小学5年生の周辺層の42.3%を除きいずれの層でも半数以上を占めています。一方、「よく話す」と「時々話す」を合わせた“話す”の割合を生活困難度別にみると、周辺層で高く、小学5年生で34.6%、中学2年生で27.0%となっています。

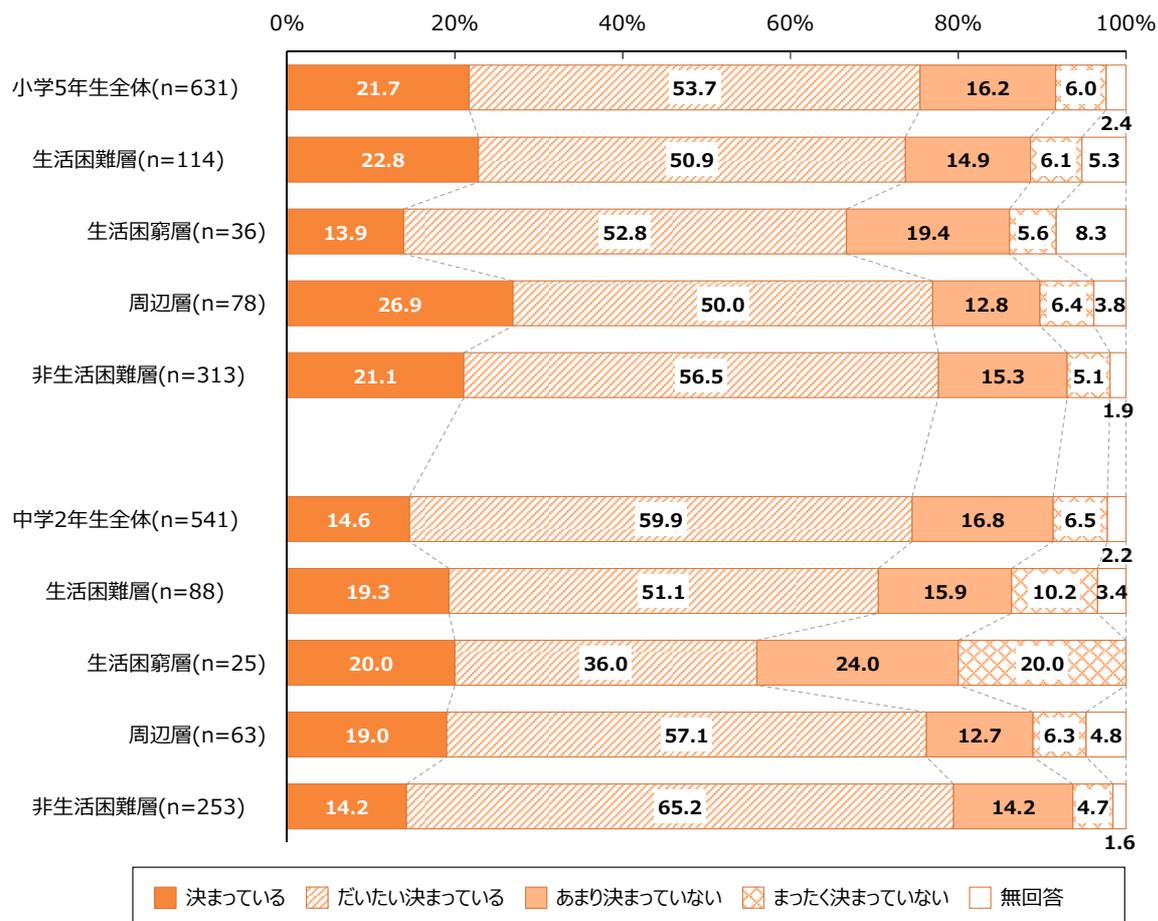


## (5) 就寝時刻

### ▼あなたは毎日、夜、寝る時刻が決まっていますか。(子/問 18)

就寝時刻について、「決まっている」「だいたい決まっている」を合わせた割合は、ほとんどの層で7割を超え多数をしめていますが、生活困窮層で低く、小学5年生全体66.7%、中学2年生で56.0%となっています。

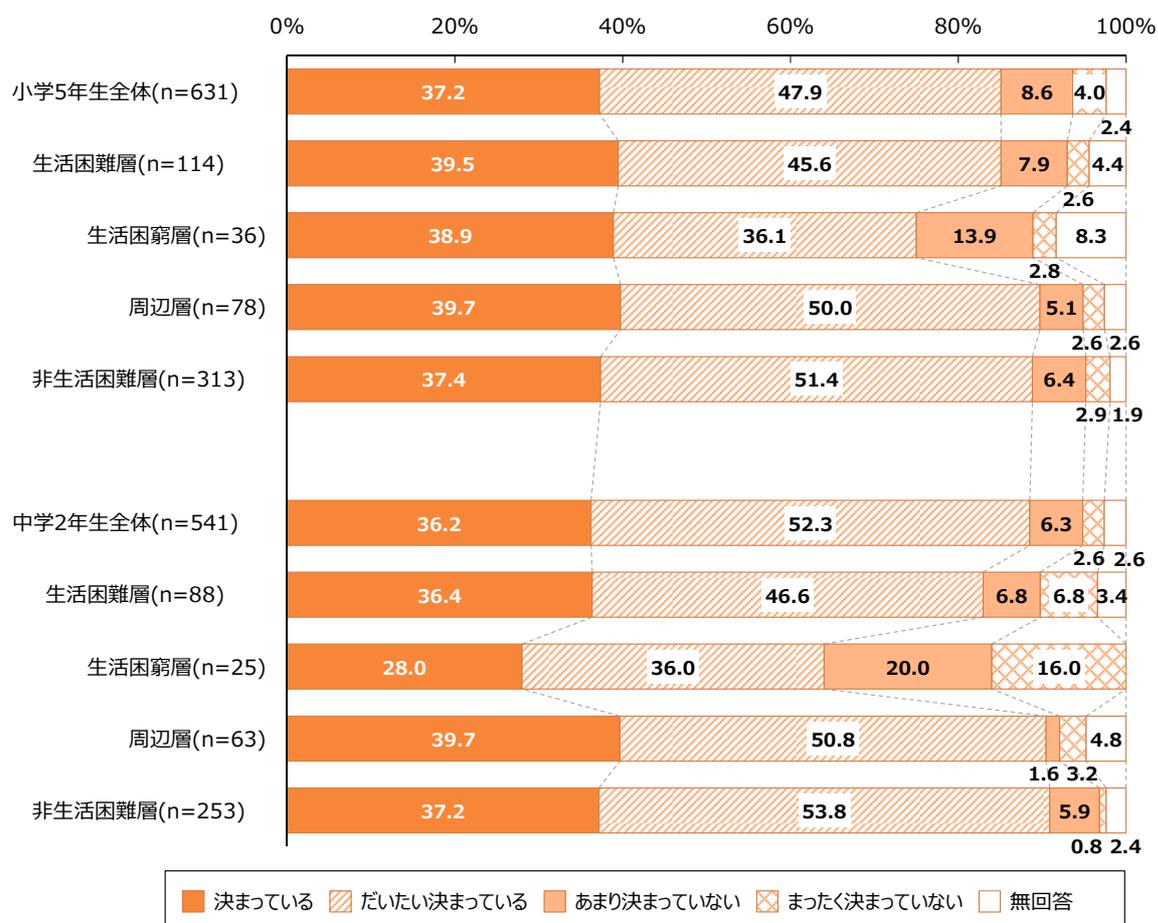
また、「まったく決まっていない」は、中学2年生の生活困窮層で20.0%と高くなっています。



## (6) 起床時刻

### ▼あなたは毎日、朝、起きる時刻が決まっていますか。(子/問 19)

起床時刻について、「決まっている」の割合は、ほとんどの層で3割を超えていますが、中学2年生の生活困窮層で28.0%と10ポイント程度低くなっています。一方、生活困窮層で「あまり決まっていない」「まったく決まっていない」を合わせた“決まっていない”の割合が高く、小学5年生で16.7%、中学2年生で36.0%となっています。



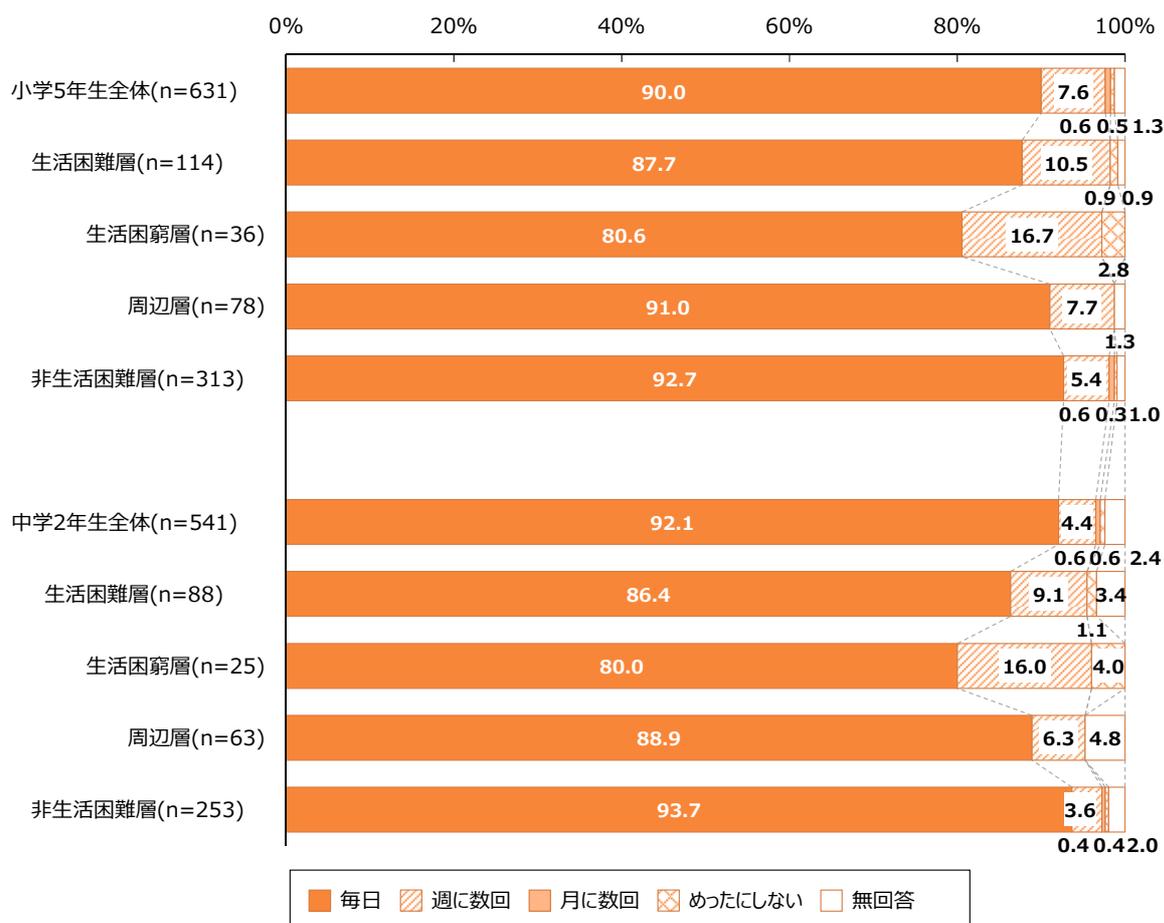
## (7) 歯磨き・入浴の頻度

▼あなたは、歯磨きや入浴（風呂，シャワー）をしますか。（子/問 20）

### A 歯磨き

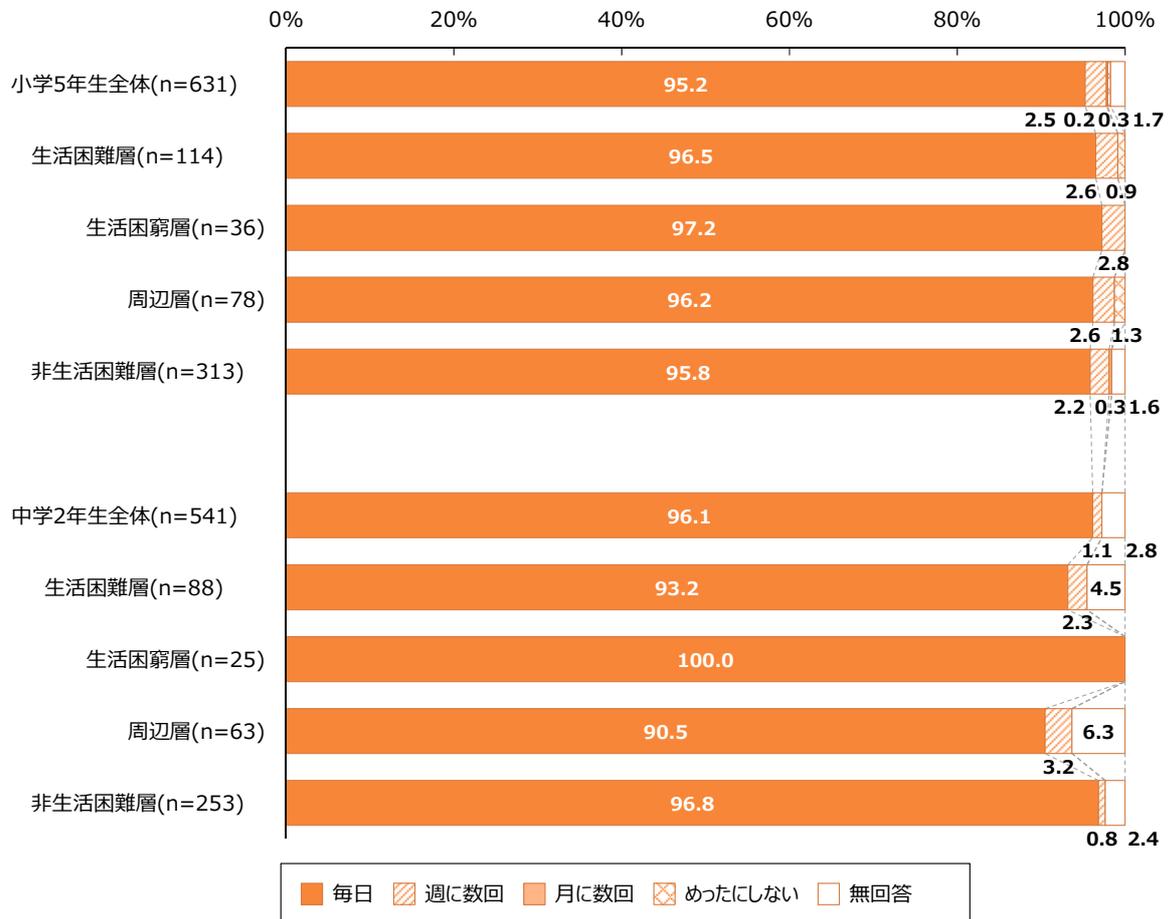
歯磨きの頻度について、小学5年生・中学2年生のほとんどの層で「毎日」が85%を超えて高くなっていますが、生活困窮層では、「週に数回」の割合がやや高く小学5年生で16.7%、中学2年生で16.0%となっています。

また、割合は少ないですが、小学5年生の生活困窮層の2.8%、中学2年生の生活困窮層の4.0%が「めったにしない」と回答しています。



## B 入浴

入浴の頻度について、小学5年生・中学2年生とも「毎日」が9割を超え大多数をしめており、生活困難度別にみても同様の傾向となっています。また、割合は少ないですが、小学5年生の周辺層の1.3%が「めったにしない」と回答しています。

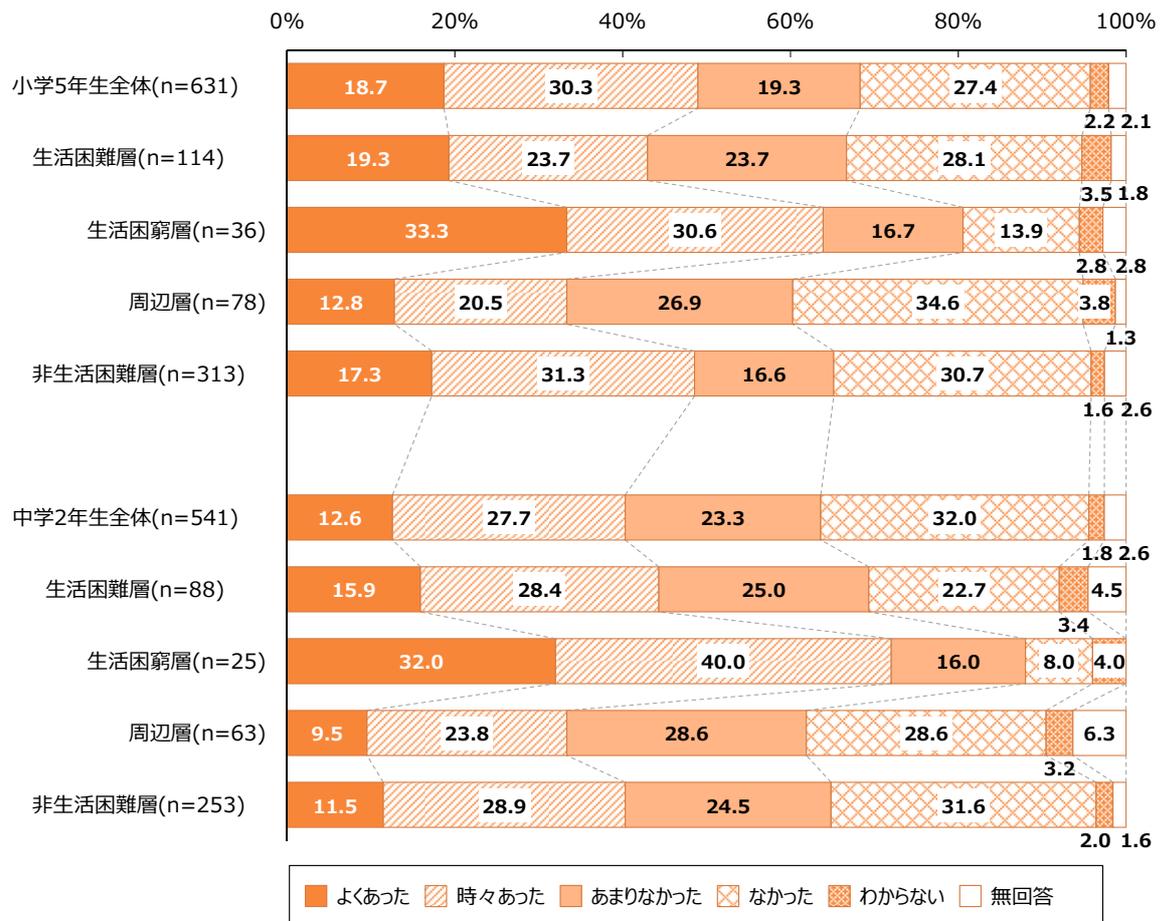


## 6 各種経験状況

▼あなたは、これまでに次のようなことがありましたか。(子/問 39)

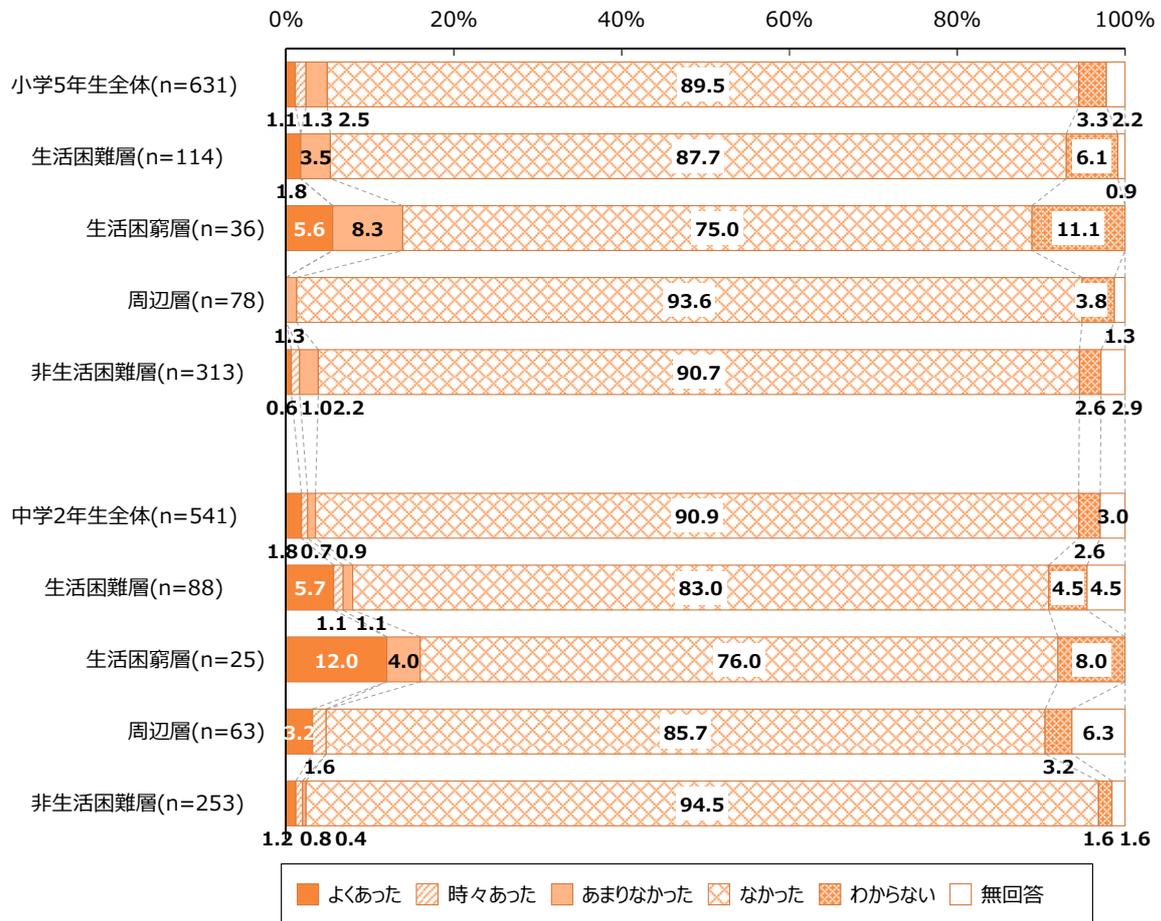
### A 学校に行きたくないと思った

学校に行きたくないと思ったことについて、「よくあった」と「時々あった」を合わせた“あった”の割合を生活困難度別にみると、生活困窮層で高く、小学5年生で63.9%、中学2年で72.0%となっています。



## B 1か月以上学校を休んだ（病気のときをのぞく）

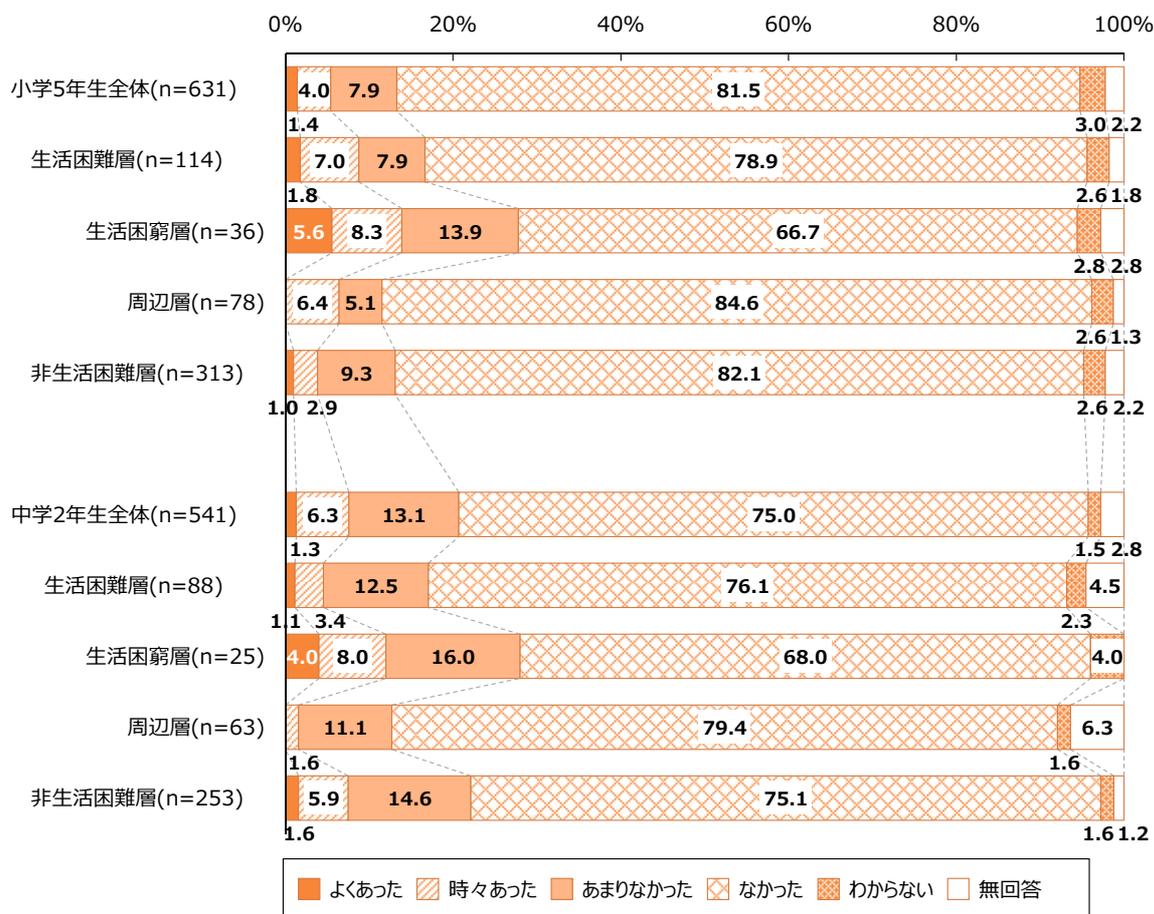
病気のときを以外で1か月以上学校を休んだことについて、「なかった」の割合が、小学5年生、中学2年生とも75%を超え多数を占めていますが、小学5年生の生活困窮層の5.6%、中学2年生の生活困窮層の12.0%「よくあった」と回答しており、他の層と比べやや高くなっています。



### C 夜遅くまで子どもだけで過ごした

夜遅くまで子どもだけで過ごしたことについて、「なかった」の割合は、小学5年生、中学2年生ともほとんどの層で75%を超え多数を占めていますが、生活困窮層では7割に満たず、小学5年生で66.7%、中学2年生で68.0%となっています。

一方、「よくあった」「時々あった」を合わせた割合を生活困難度別にみると、生活困窮層、小学5年生で13.9%、中学2年生で12.0%となっています。



## 7 居場所関連等の支援プログラムの利用意向

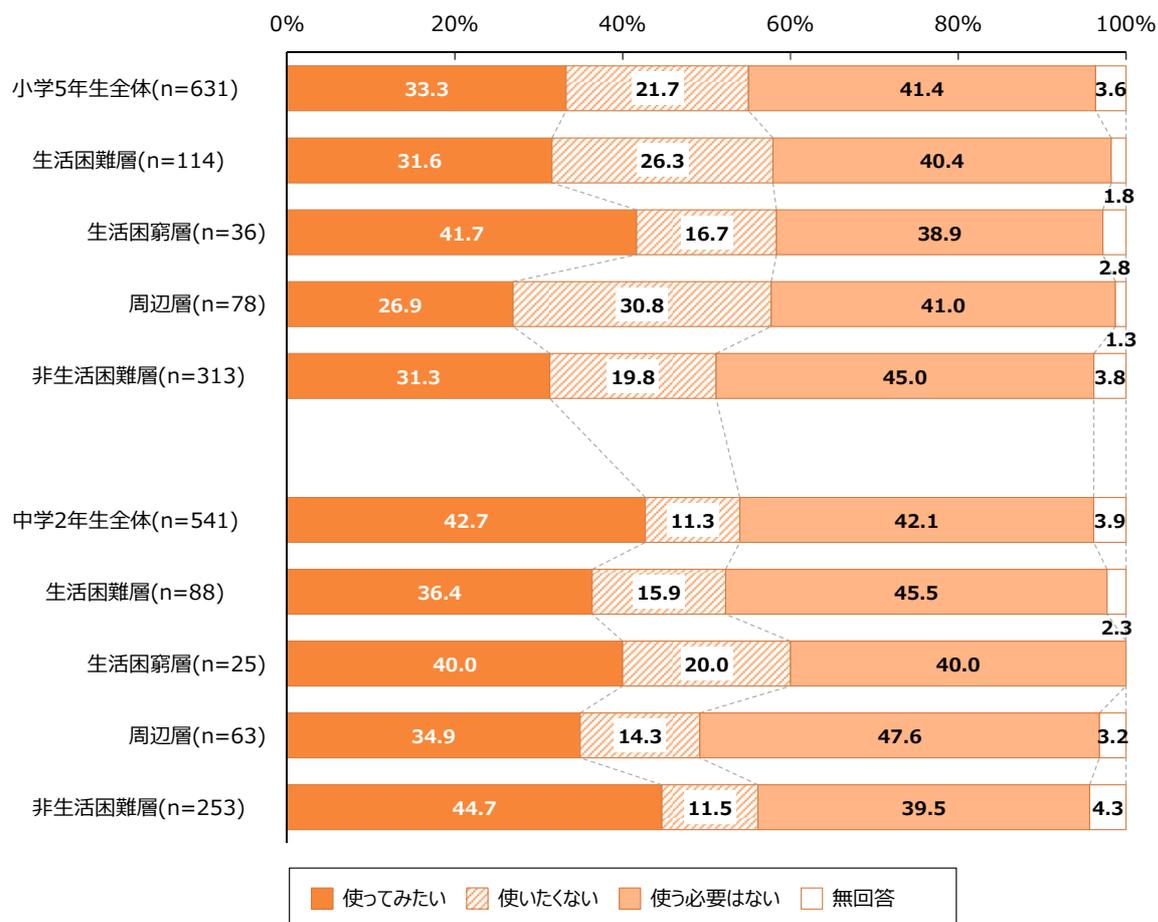
▼あなたは、次のような場所があれば使ってみたいと思いますか。(子/問 41)

### A (家以外で) 平日の放課後に夜までいることができる場所

平日の放課後に夜までいることができる場所の利用意向について、「使ってみたい」割合は、小学5年生全体で33.3%，生活困難度別では、生活困窮層で41.7%と高くなっています。

中学2年生の「使ってみたい」割合は、全体で42.7%，生活困難度別では、非生活困窮層で44.7%と高くなっています。

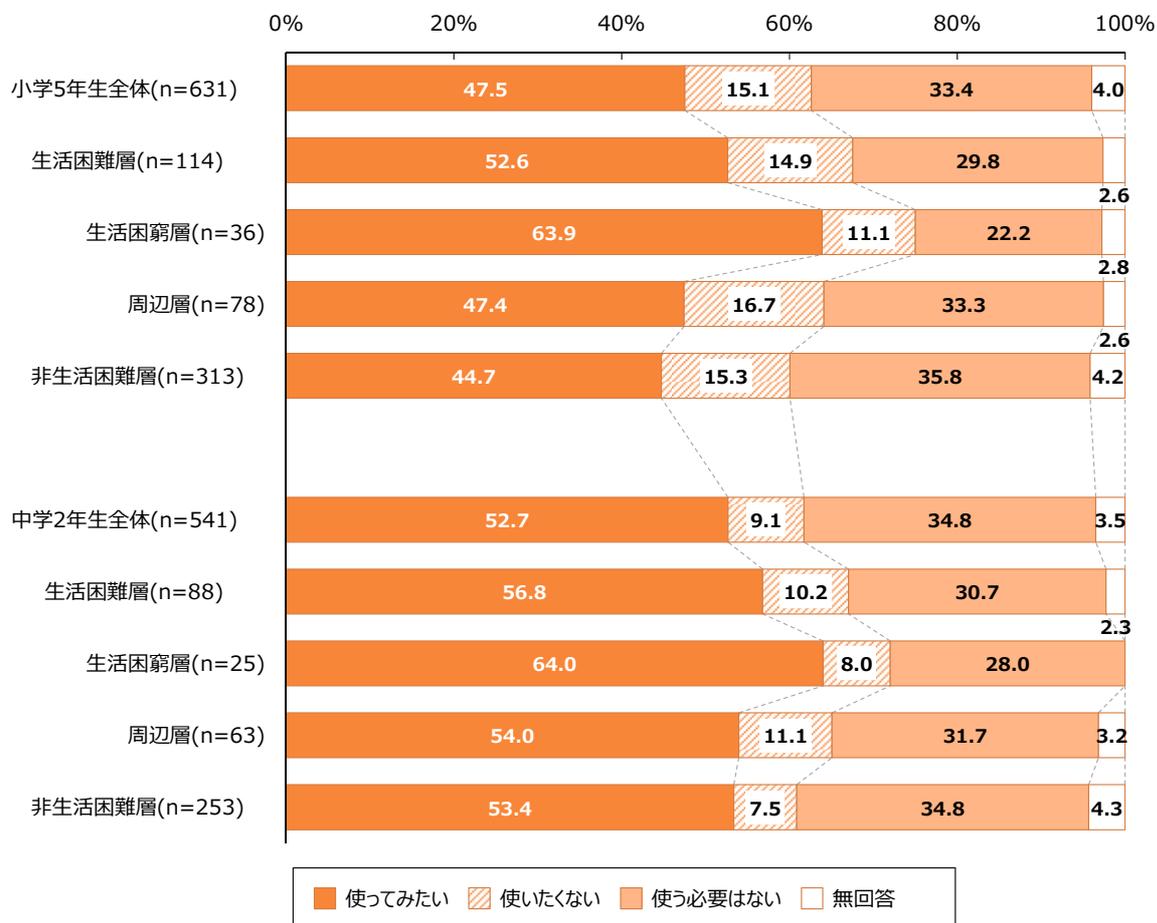
小学5年生、中学2年生とも生活困難度による明確な相関関係はみられません。



## B (家以外で) 休日にいることができる場所

平日の放課後に夜までいることができる場所の利用意向について、「使ってみたい」の割合は、小学5年生全体で47.5%、生活困難度別では相関がみられ、生活困窮層で63.9%、周辺層で47.4%、非生活困難層で44.7%と生活困難度が高い層ほど高くなっています。

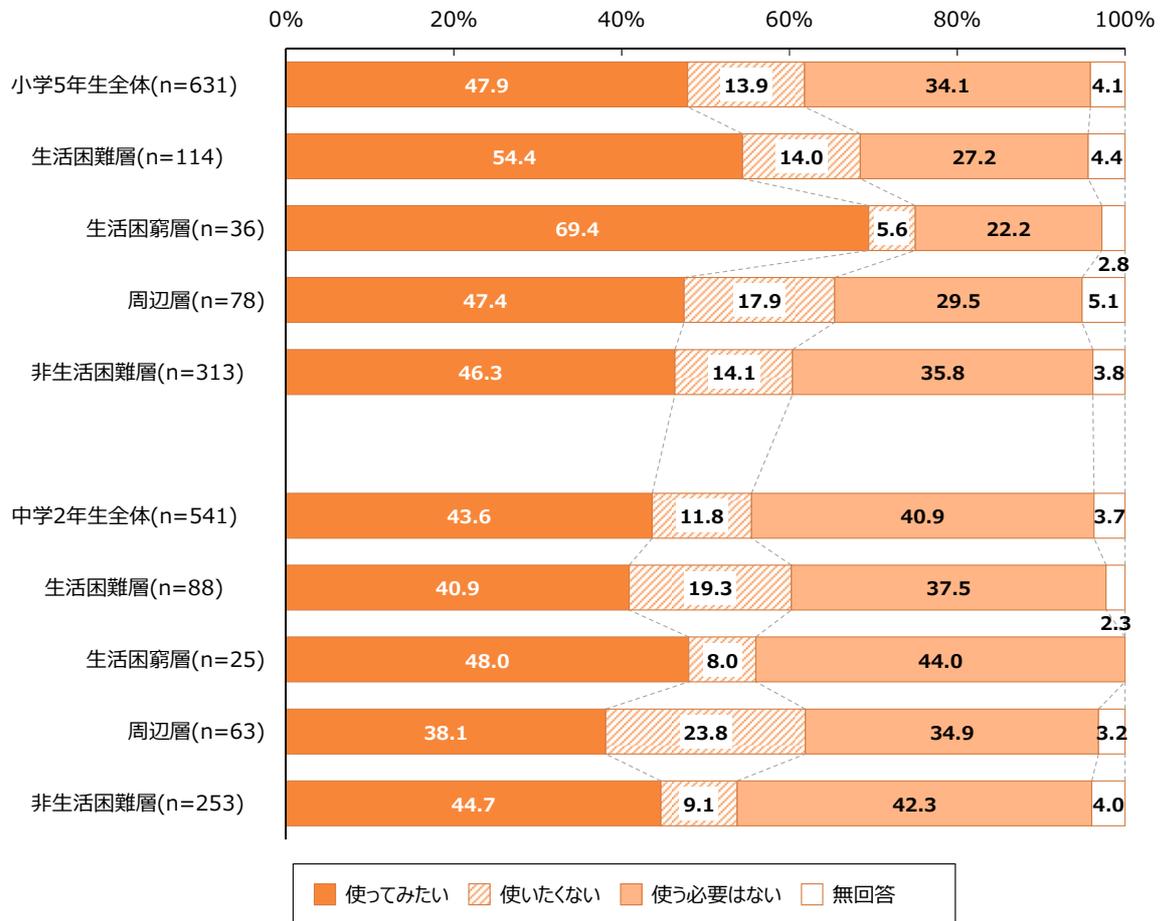
中学2年生でも同様の傾向となっています。



### C 家の人がないとき，夕ごはんをみんなで食べることができる場所

家の人がないときに夕ごはんをみんなで食べられる場所の利用意向について、「使ってみたい」は小学5年生全体で47.9%，中学2年生全体で43.6%となっています。

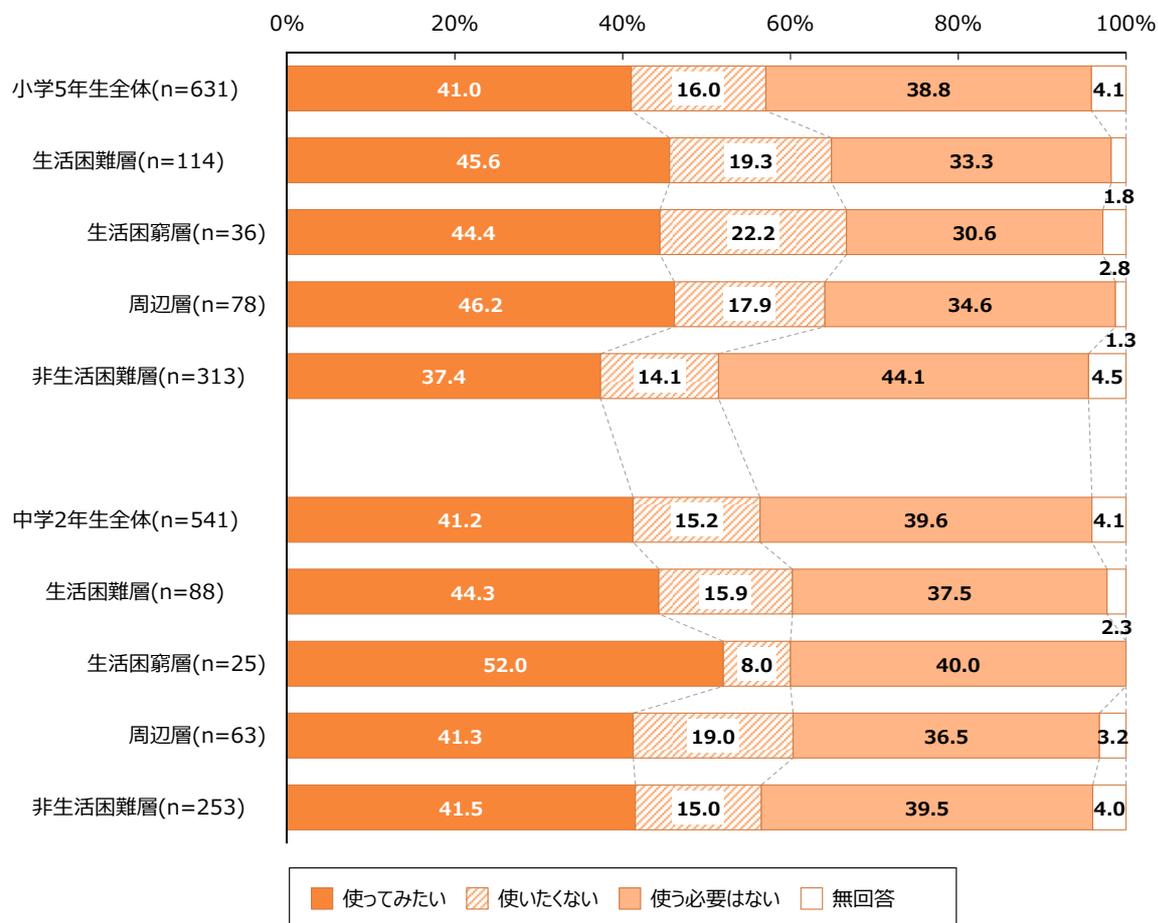
生活困難度別でみると，生活困窮層で高く，小学5年生で69.4%，中学2年生48.0%となっています。



## F (学校以外で) なんでも相談できる場所

学校以外でなんでも相談できる場所の利用意向について、「使ってみたい」は小学5年生全体で41.0%，中学2年生全体で41.2%となっています。

生活困難度別でも，小学5年生，中学2年生とも生活困難度による明確な差はみられませんが，中学2年生の生活困窮層では52.0%と半数は「使ってみたい」と回答しています。



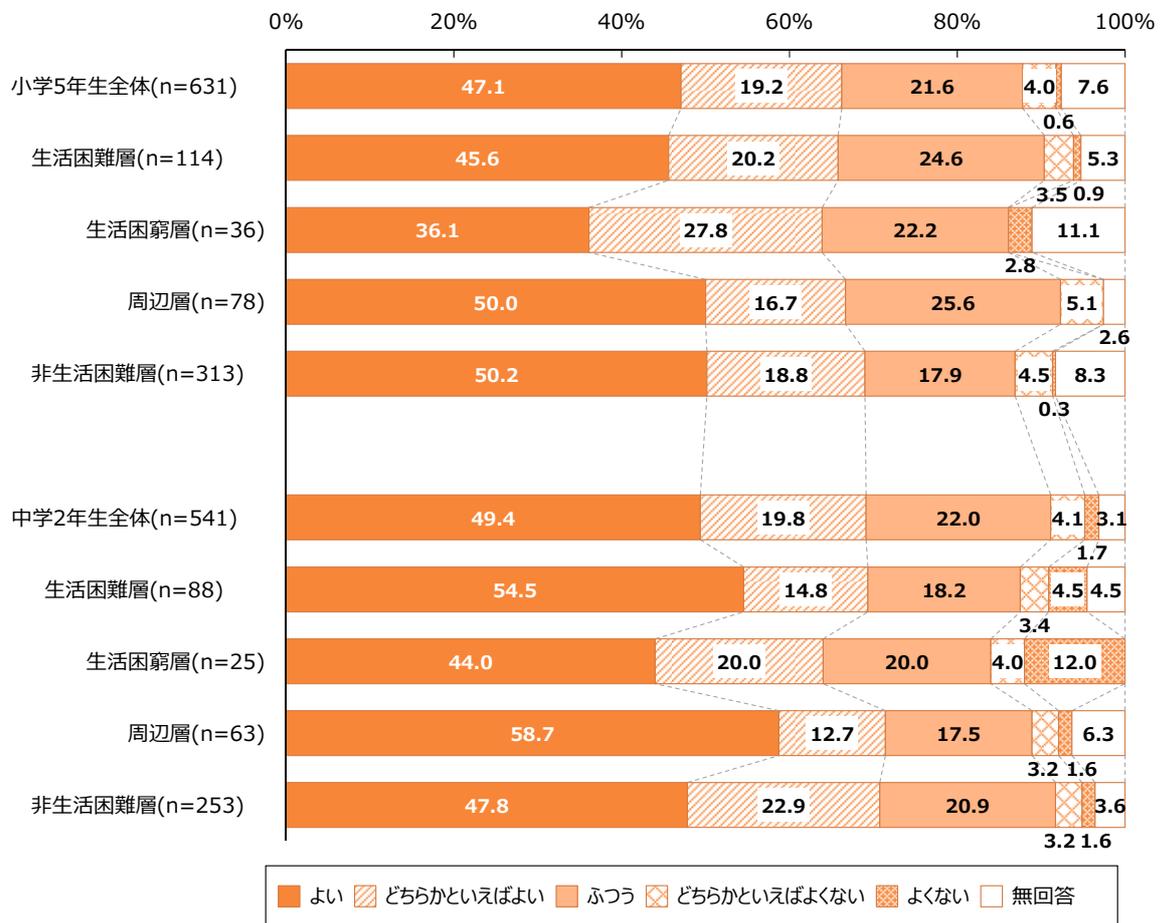
# 第5章 子どもの健康と自己肯定感

## 1 子どもの健康状態

### (1) 子どもの主観的健康状態

▼あなたは、自分の健康状態についてどう感じていますか。(子/問 25)

子どもの主観的健康状態について、「よい」と「どちらかといえばよい」を合わせた“よい”の割合は、小学5年生、中学2年生ともほとんどの層で7割前後と多数を占めており、生活困難度による明確な差はみられません。生活困窮層でやや低く、小学5年生で63.9%、中学2年生で64.0%となっています。また、中学2年生の生活困窮層の12.0%が「よくない」と回答しています。



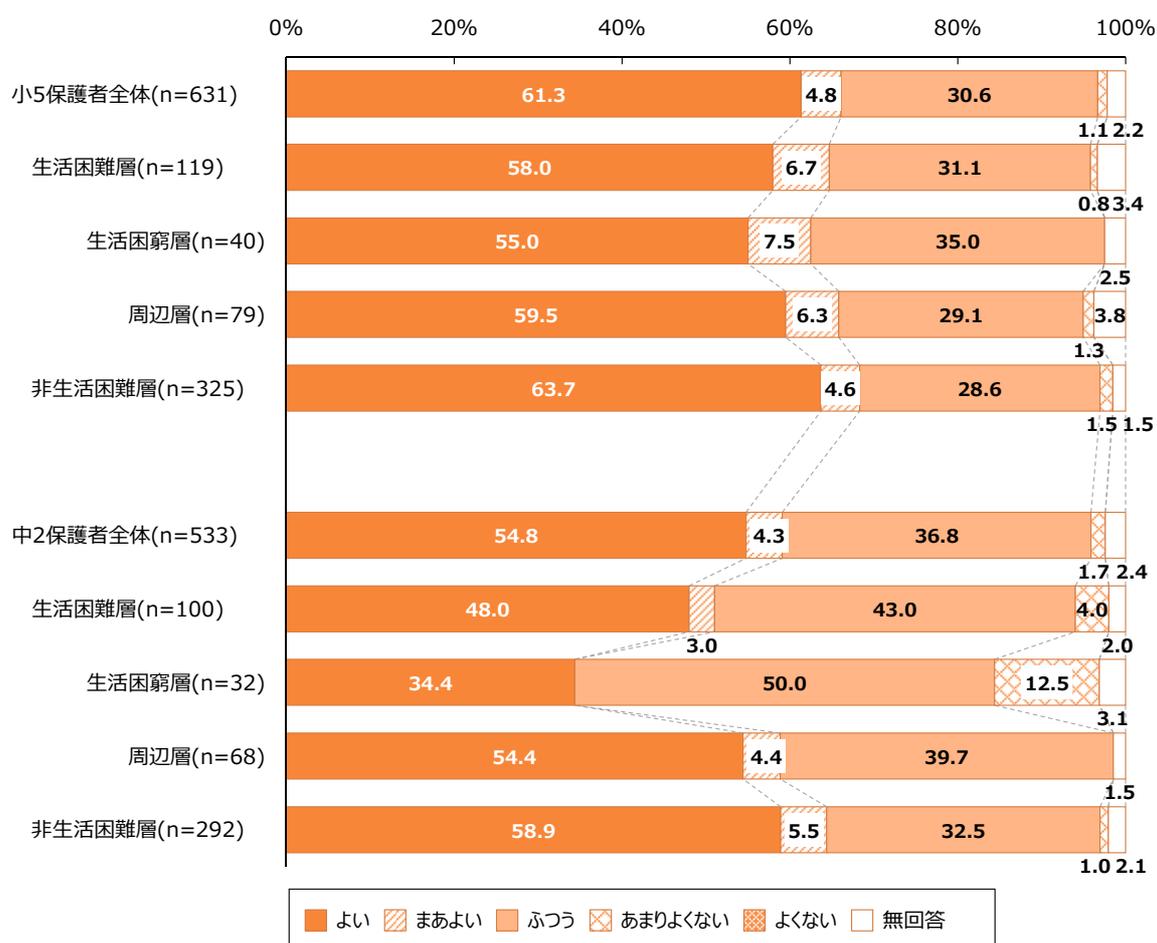
## (2) 保護者からみた子どもの健康状態

▼あなたとお子さんの健康状態についておうかがいします。それぞれ、最も近いものに○をつけてください。(保/問15)

保護者からみた子どもの健康状態について、「よい」の割合は、小学5年生全体で61.3%、生活困難度別では、相関がみられ、生活困窮層で55.0%、周辺層で59.5%、非生活困難層で63.7%と生活困難度が高い層ほど低くなっています。

中学2年生でも同様の傾向がみられますが、特に、生活困窮層で34.4%と他の層に比べ20ポイント以上低くなっています。

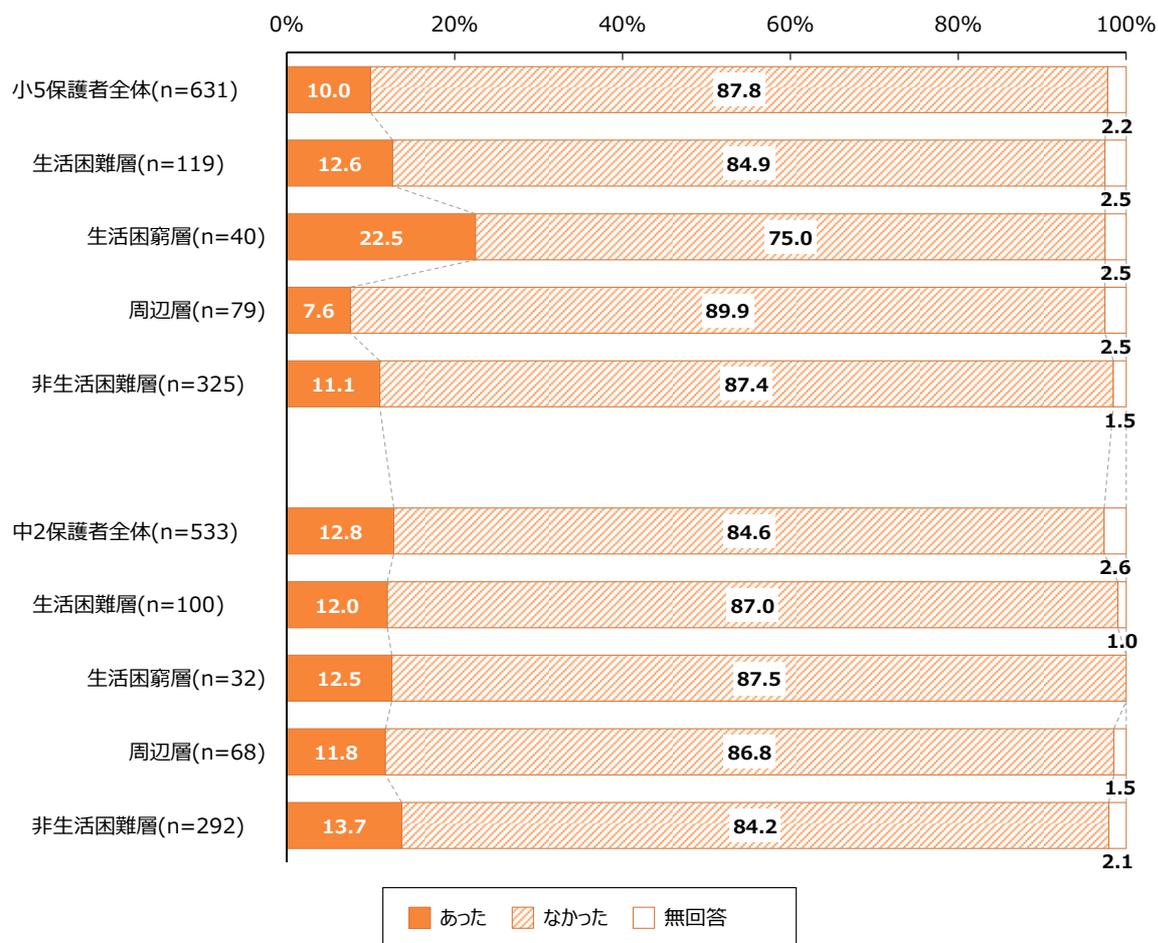
### 子ども



### (3) 子どもの医療受診抑制経験とその理由

▼過去1年間に、お子さんを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことがありますか。(保/問 16)

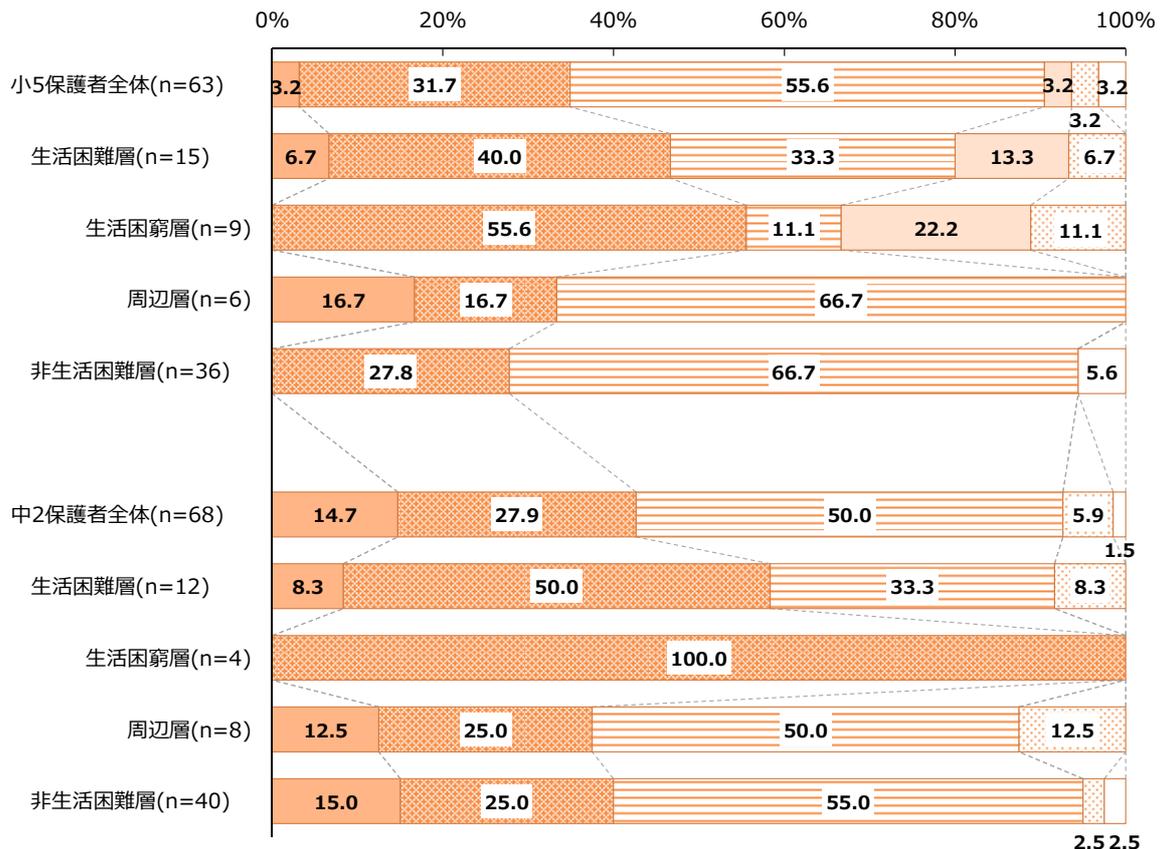
過去1年間に医療機関を受診させなかったことがあるかについて、「あった」割合を生活困難度別にみると、小学5年生の生活困窮層で22.5%と高く、中学2年生では生活困難度による相関はみられず同様の傾向となっています。



▼問 16 で「1 あった」を選んだ方におうかがいします。

その理由は、何ですか。次の中から、最も近いものに○をつけてください。(保/問 16-1)

過去 1 年間に医療機関を受診させなかったことがあったと回答した人の理由として、医療費の支払いができないなどの経済的理由の回答はありませんでしたが、「多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため」が生活困窮層で高く小学 5 年生で 55.6%、中学 2 年生で 100.0%となっています。しかし前問で受診をさせなかったとの回答数が少なく明確な傾向を把握するのは困難です。



- 公的医療保険に加入しておらず、医療費の支払いができなかったため
- ▨ 公的医療保険に加入していたが、医療機関で自己負担金を支払うことができないと思ったため
- お子さん本人が受診しなかったため
- ▨ 医療機関までの距離が遠く、通院することが困難であったため
- 多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため
- ▨ 最初は受診させようと思ったが、お子さんの様子を見て、受診させなくてもよいと判断したため
- 自分の健康状態が悪かったため
- ▨ その他
- 無回答

#### (4) 予防接種状況と未接種の理由

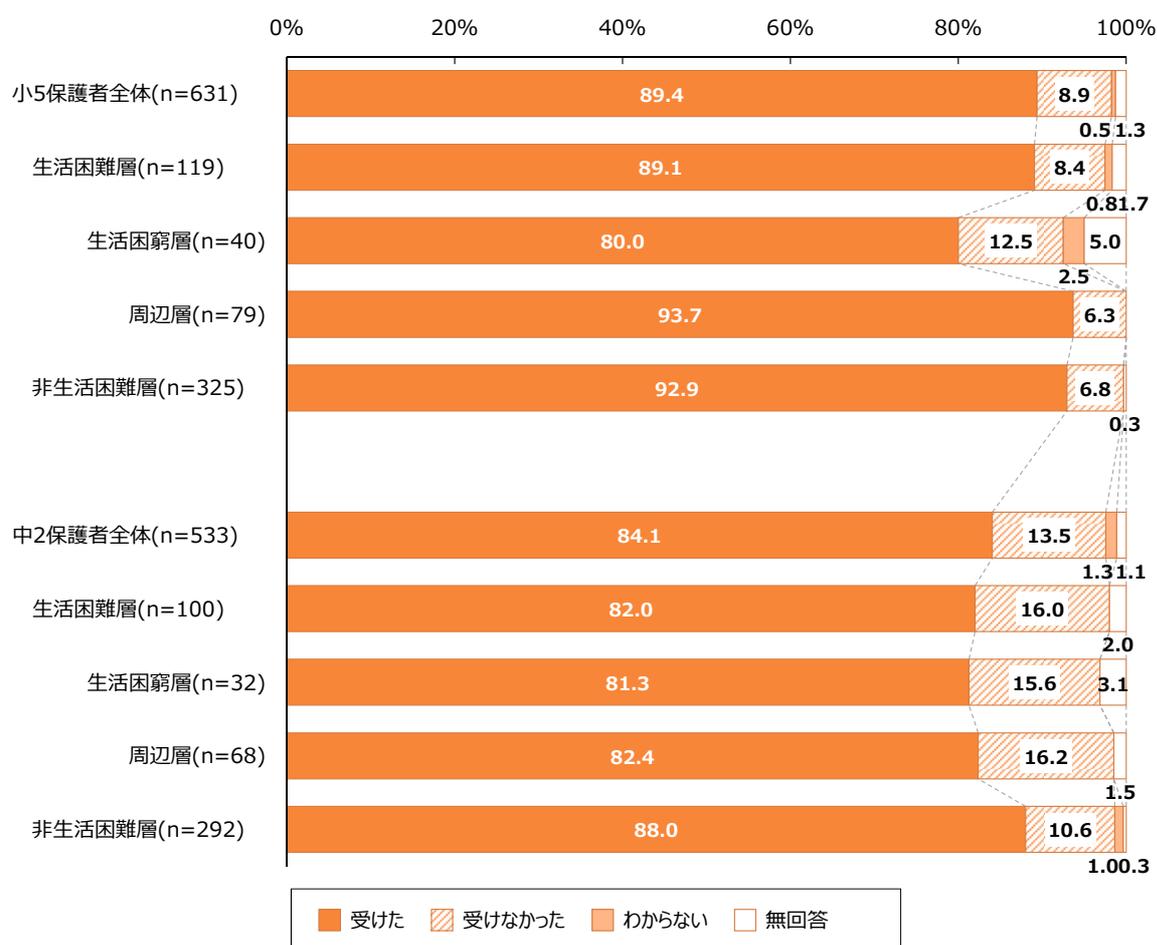
▼お子さんの予防接種の受診状況について、最も近いものに○をつけてください。(保/問 17)

※定期予防接種（結核（BCG）、麻しん・風しん、ポリオ等）は、無料で受けられます。任意接種（インフルエンザ、おたふくかぜ等）は自己負担がかかります。

##### A 定期予防接種

定期予防接種の接種状況について、「受けた」は、小学5年生全体で89.4%、中学2年生全体で84.1%となっています。

生活困難度別でも、小学5年生、中学2年生とも「受けた」は8割を超え多数を占めていますが、小学5年生の生活困窮層の12.5%、中学2年生の周辺層の16.2%は「受けなかった」と回答しています。

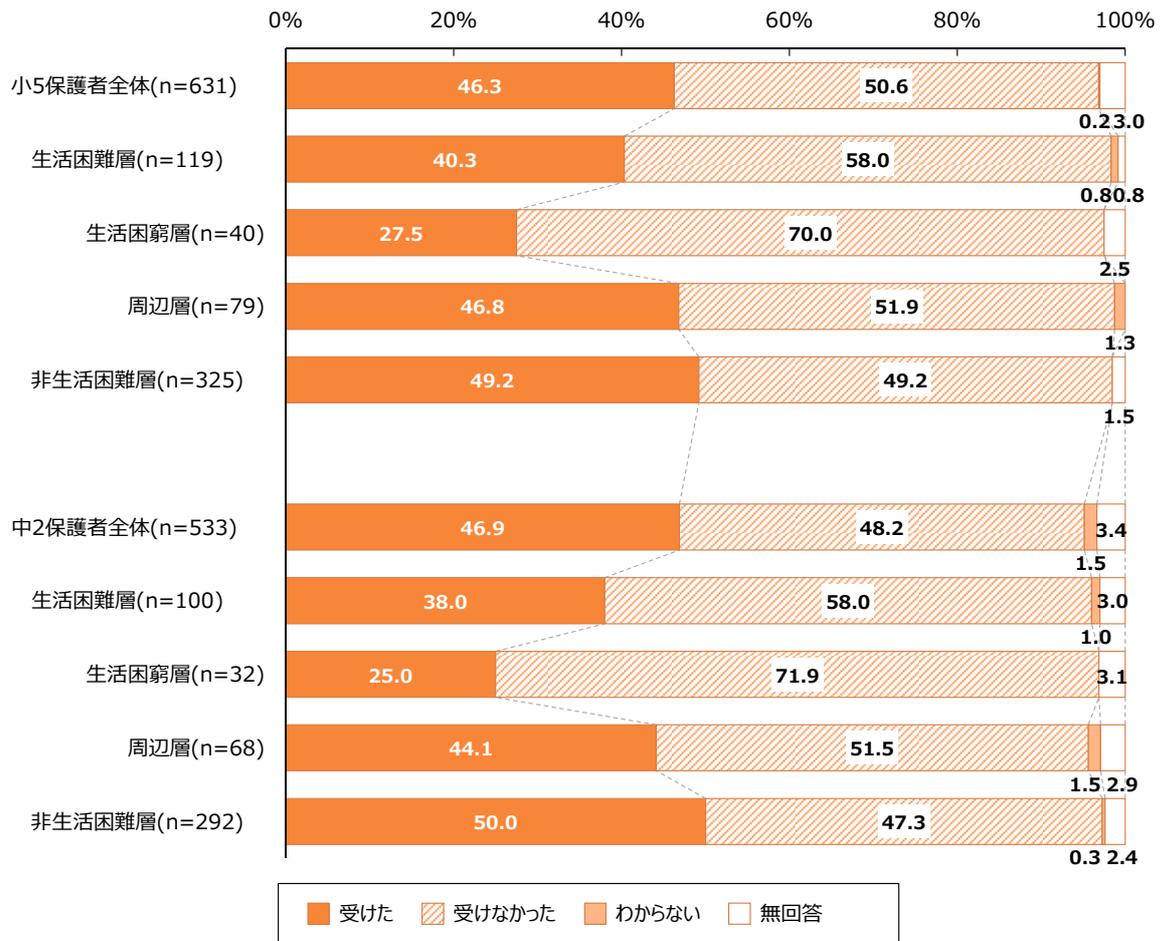


## B 任意接種（インフルエンザ）※過去1年間

任意接種（インフルエンザ）の接種状況について、「受けた」は、小学5年生全体で46.3%、中学2年生全体で46.9%となっています。

生活困難度別で見ると、小学5年生では、非生活困難層の49.2%に対し、生活困窮層で27.5%と20ポイント以上低くなっています。

中学2年生でも同様に非生活困難層の50.0%に対し、生活困窮層で25.0%と半数になっています。

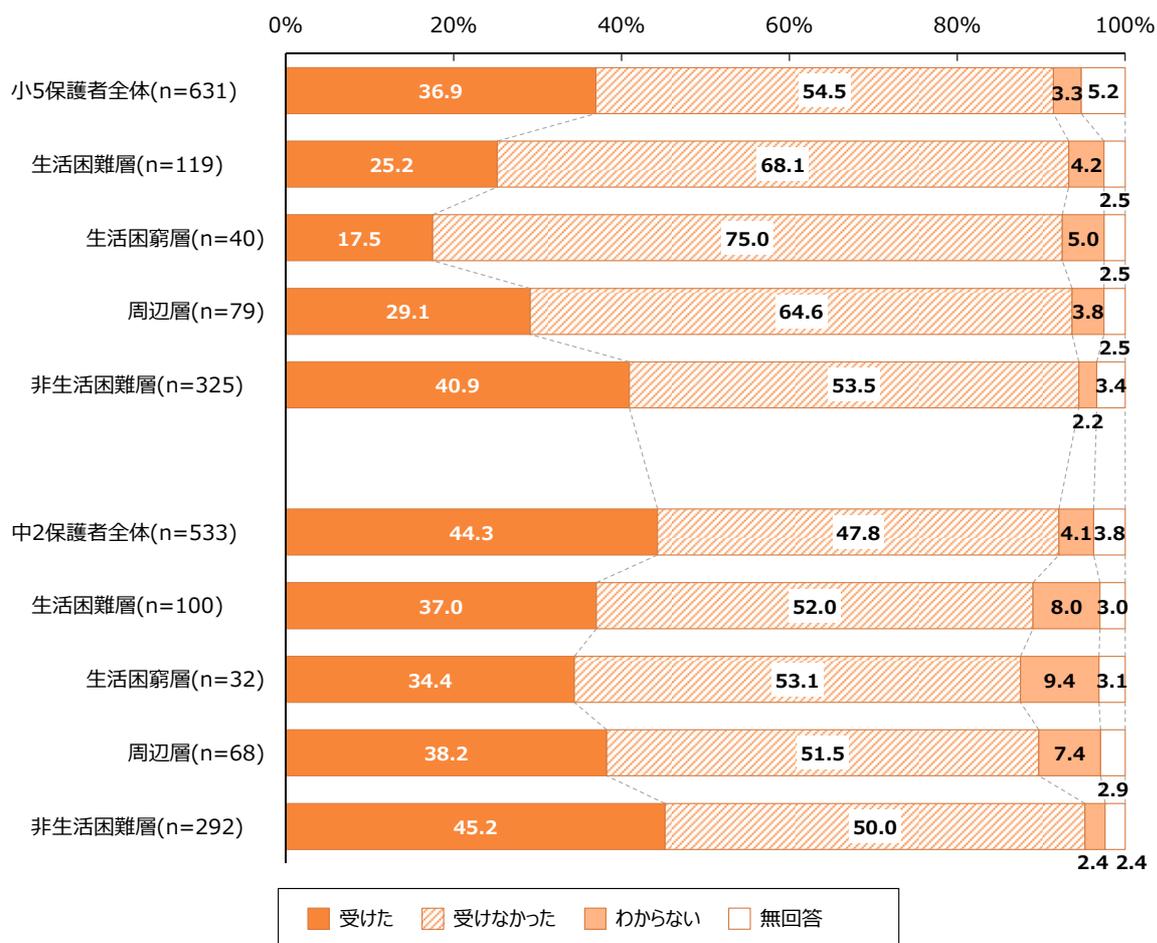


### C 任意接種（おたふくかぜ）

任意接種（おたふくかぜ）の接種状況について、「受けた」は、小学5年生全体で36.9%、中学2年生全体で44.3%となっています。

生活困難度別で見ると、小学5年生では、生活困難度との相関がみられ、生活困窮層で17.5%、周辺層で29.1%、非生活困難層で40.9%と生活困難度が高い層ほど「受けた」割合は低くなっています。

中学2年生でも、小学5年生ほど差はないものの、同様の傾向となっています。

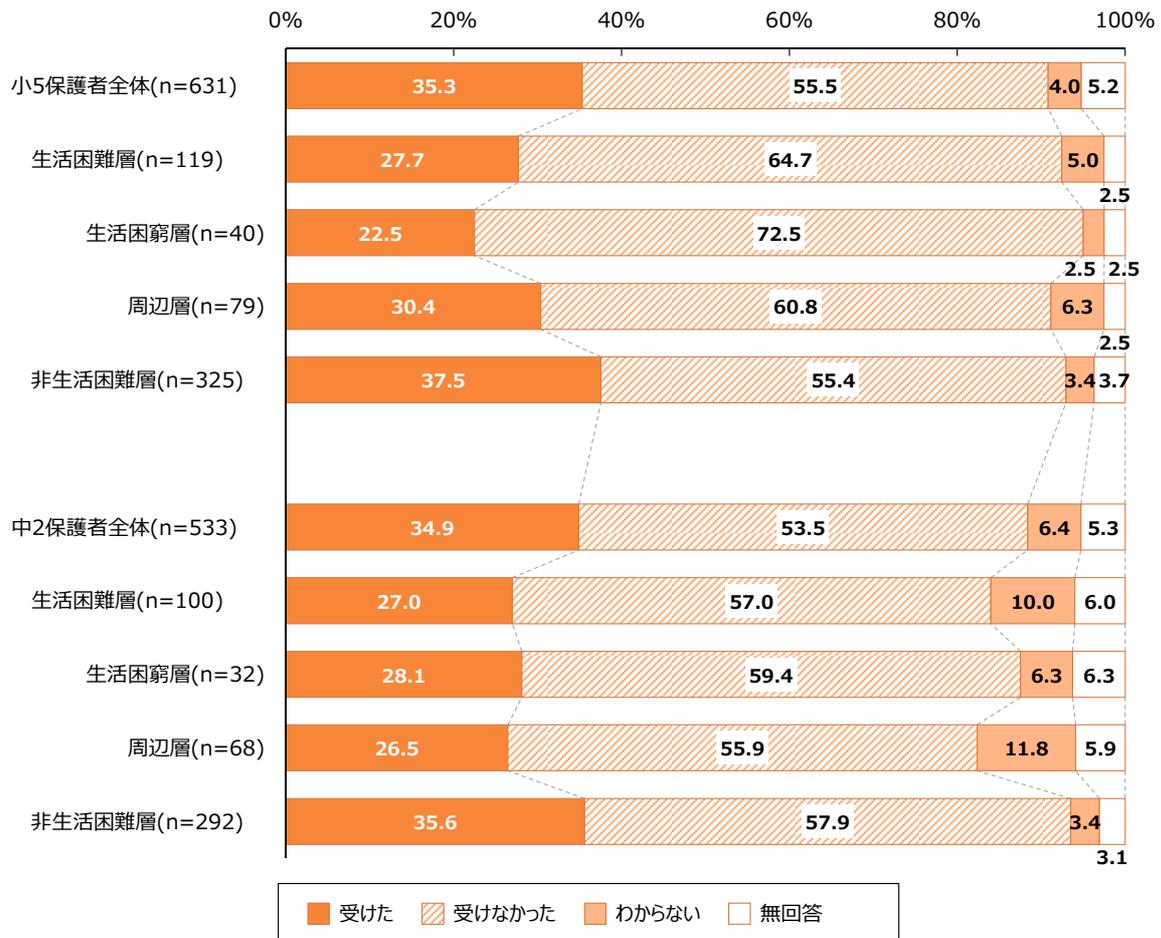


## D 任意接種（水ぼうそう）

任意接種（水ぼうそう）の接種状況について、「受けた」は、小学5年生全体で35.3%、中学2年生全体で34.9%となっています。

生活困難度別でみると、小学5年生では、生活困難度との相関がみられ、生活困窮層で22.5%、周辺層で30.4%、非生活困難層で37.5%と生活困難度が高い層ほど「受けた」割合は低くなっています。

中学2年生では、明確な相関はみられず、周辺層で26.5%とやや低くなっています。

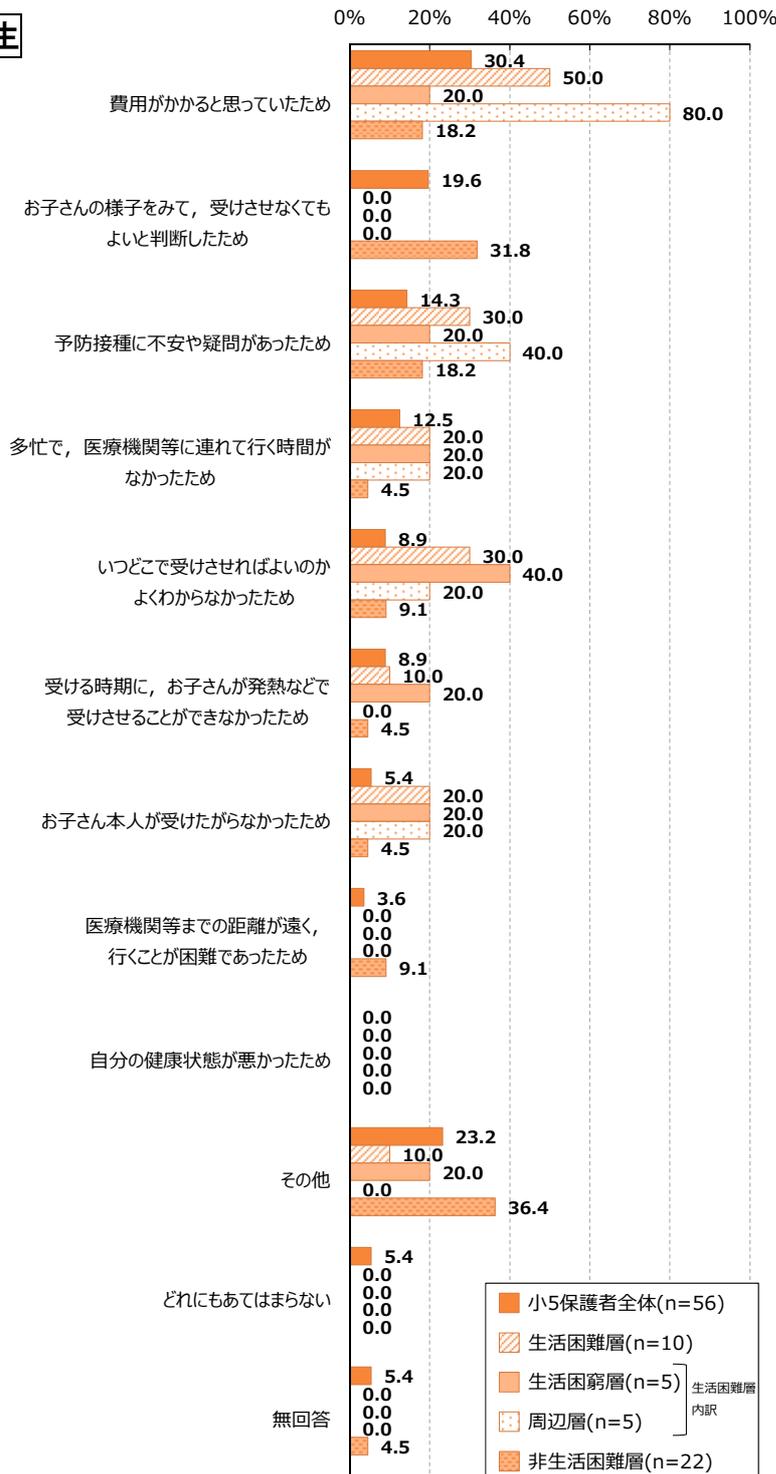


問 17-1 問 17「A 定期予防接種」について「2 受けなかった」と回答した人  
 におうかがいします。定期予防接種を受けないことがあったのはなぜですか。  
 (複数回答)

定期予防接種を「受けなかった」と回答した人の理由として、小学5年生全体では、「費用がかかると思っていたため」が30.4%、「お子さんの様子を見て、受けさせなくてもよいと判断したため」が19.6%、「予防接種に不安や疑問があったため」が14.3%となっています。

生活困窮層では「いつどこで受けさせればよいのかよくわからなかったため」が40.0%と高くなっています。

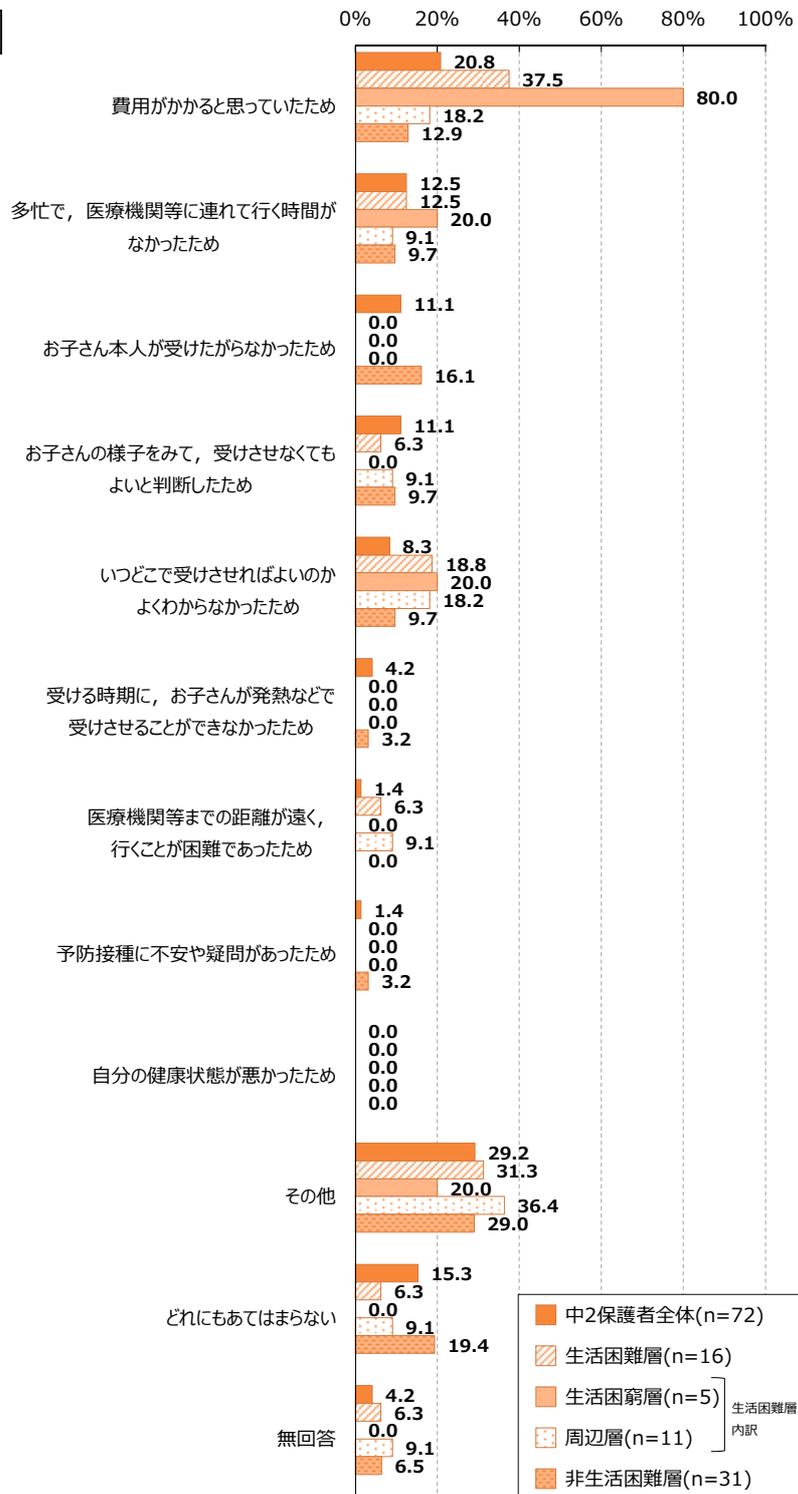
小学5年生



定期予防接種を「受けなかった」と回答した人の理由として、中学2年生全体では、「費用がかかると思っていたため」が20.8%、「多忙で、医療機関等に連れて行く時間がなかったため」が12.5%となっています。

生活困窮層では「費用がかかると思っていたため」が80.0%と多数を占め、「多忙で、医療機関等に連れて行く時間がなかったため」及び「いつどこで受けさせればよいのかよくわからなかったため」が同率で20.0%となっています。

**中学2年生**

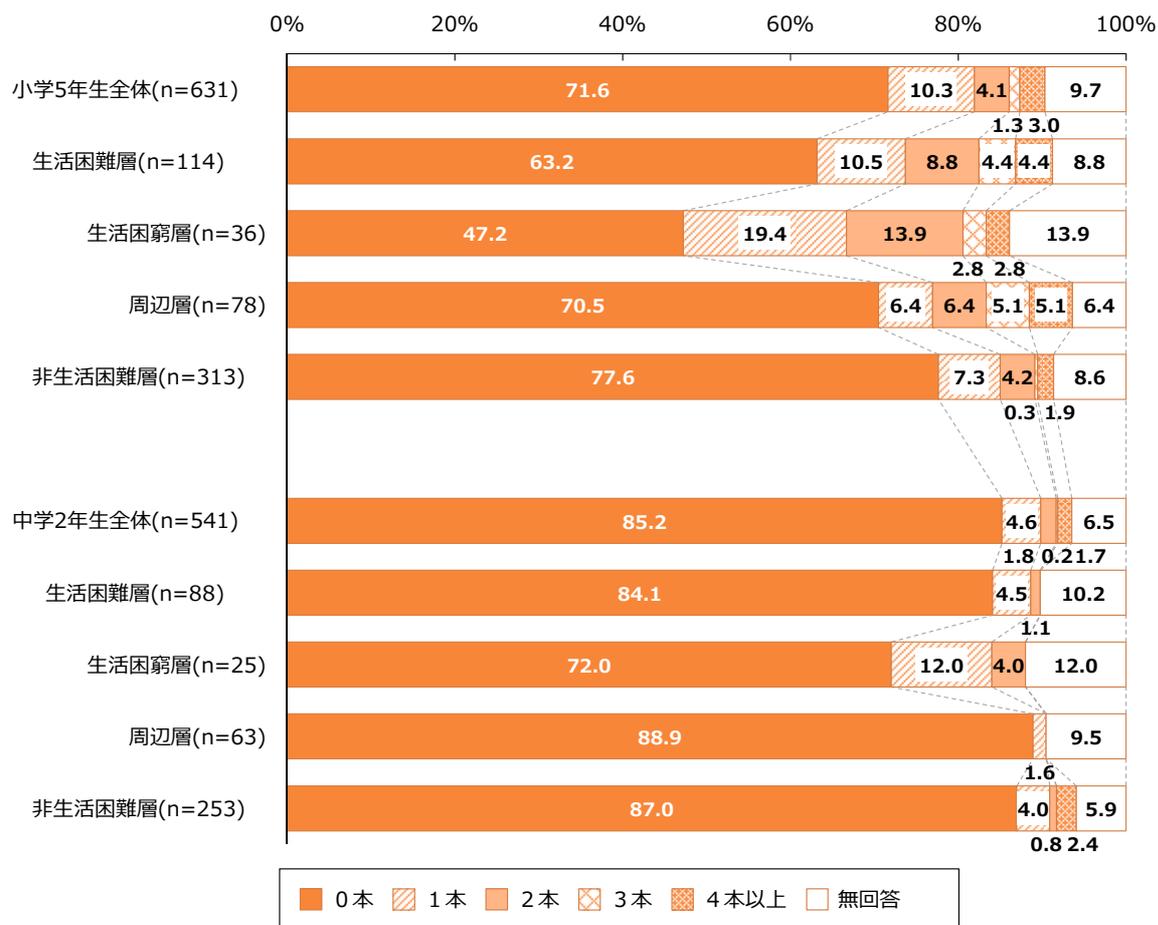


## (5) 虫歯の本数

### ▼あなたは、今、虫歯がおおよそ何本くらいありますか。(子/問 26)

虫歯の本数について、「1本」～「4本」を合わせた“ある”の割合は、小学5年生全体で18.7%、中学2年生全体で8.3%となっています。

生活困難度別にみると、小学5年生では、相関がみられ、生活困窮層で38.9%、周辺層で23.0%、非生活困難層で13.7%と生活困難度の高い層ほど“ある”の割合が高くなっています。中学2年生では明確な相関はみられませんが、生活困窮層で16.0%と高くなっています。



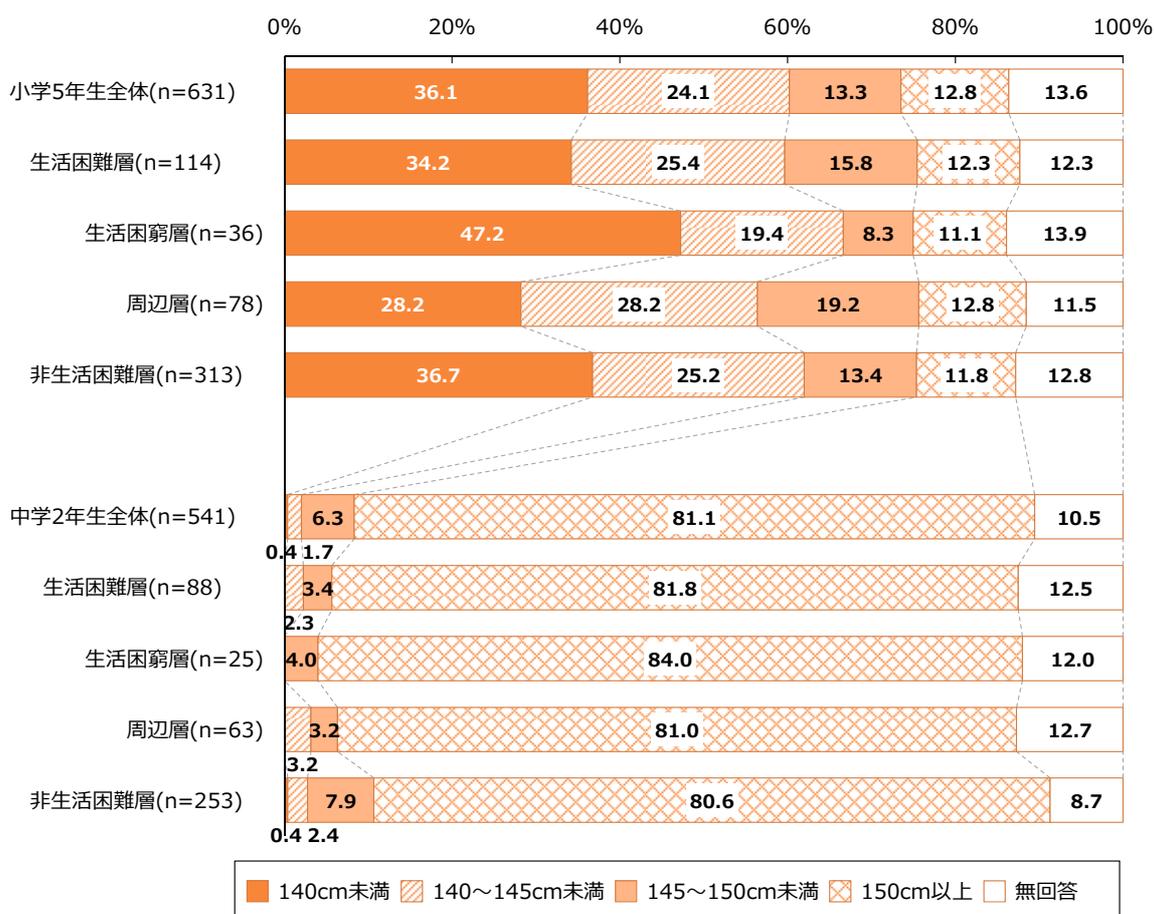
## (6) 身長・体重

### ▼あなたの身長・体重を教えてください。(子/問2)

身長について、小学5年生全体では「140cm未満」が36.1%、「140～145cm未満」が24.1%となっています。生活困難度別は、「140cm未満」が47.2%と他の層に比べ10ポイント以上高くなっています。

中学2年生では、「150cm以上」が8割を超え多数を占めており、生活困難度別でも同様の傾向となっています。

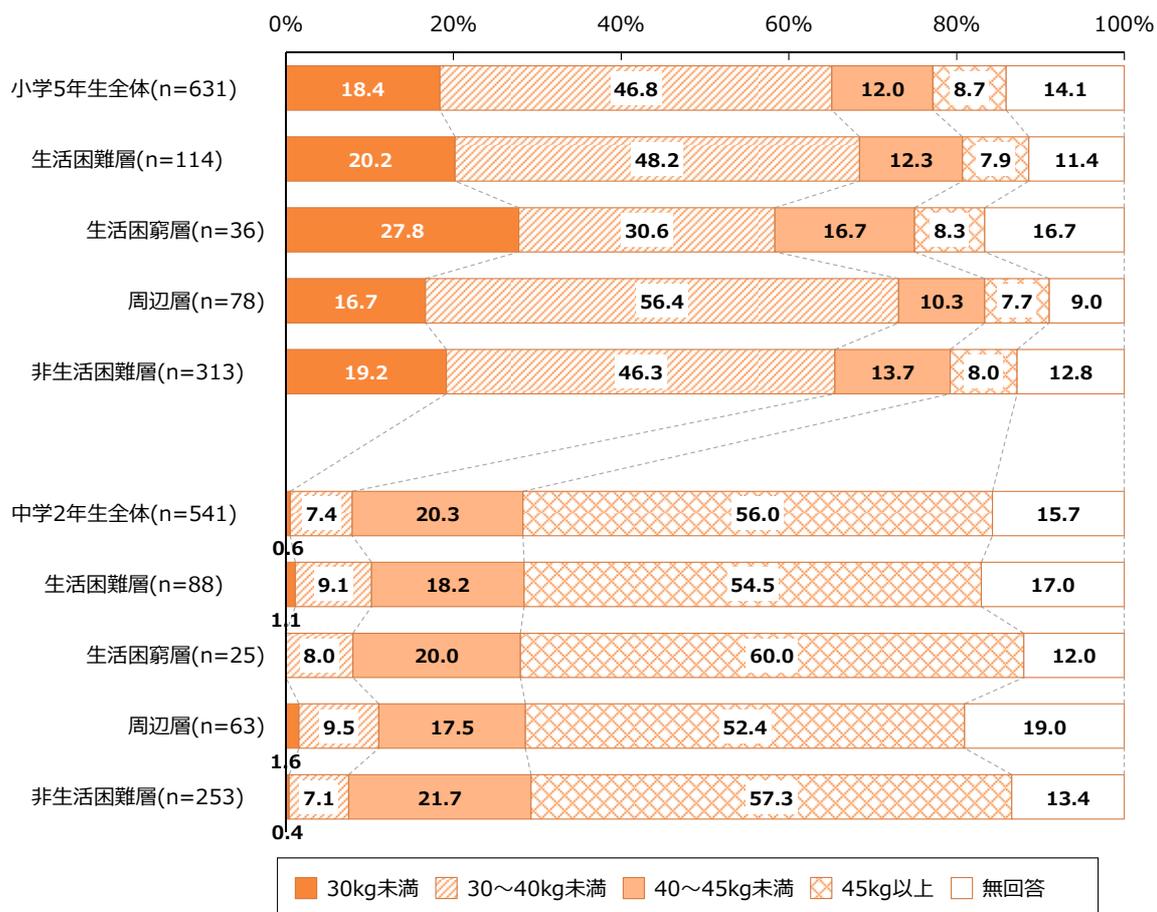
### 身長



体重について、小学5年生全体では「30～40kg未満」が46.8%、「30kg未満」が18.4%となっています。生活困難度別では、「30kg未満」が、生活困窮層で27.8%と他の層に比べ8～10ポイント高くなっています。

中学2年生では、全体で「45kg以上」が56.0%と半数以上を占め、「40～45kg未満」が20.3%となっています。生活困難度別に「45kg以上」の割合をみると、生活困窮層で60.0%とやや高くなっています。

## 体重



## 2 自己肯定感

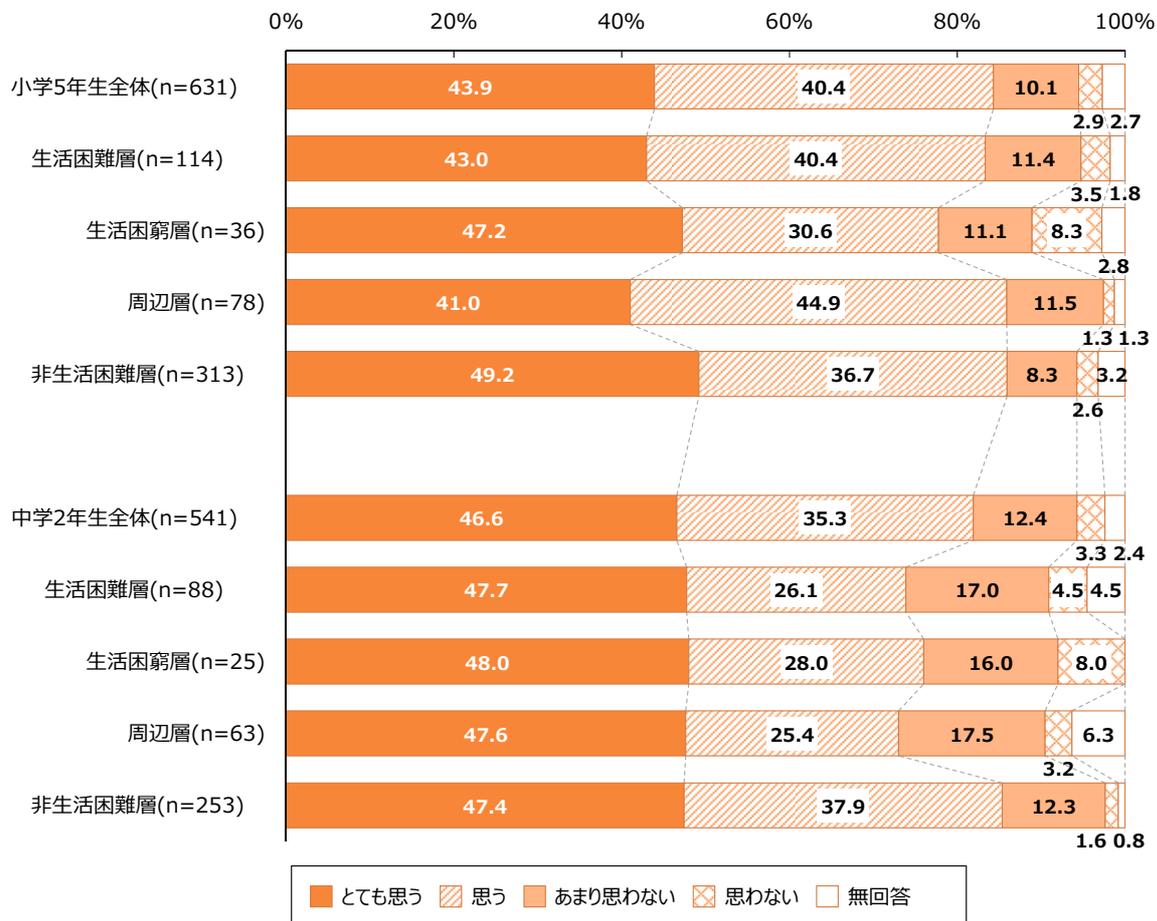
### (1) 自己肯定感

▼あなたの思いや気持ちについて、「1 とても思う」から「4 思わない」のうち、もっとも近いものに○をつけてください。(子/問 38)

#### A がんばれば、むくわれる

がんばれば、むくわれると思うかについて、「とても思う」の割合は、小学5年生の全体で43.9%、中学2年生の全体で46.6%となっています。生活困難度別でも同様の傾向となっています

また、「あまり思わない」「思わない」を合わせた“思わない”の割合は、生活困難度との相関がみられ、小学5年生の生活困窮層で19.4%、周辺層で12.8%、非生活困難層で10.9%と生活困難度が高くなるにつれ割合は増加しています。中学2年生でも同様の傾向となっています。

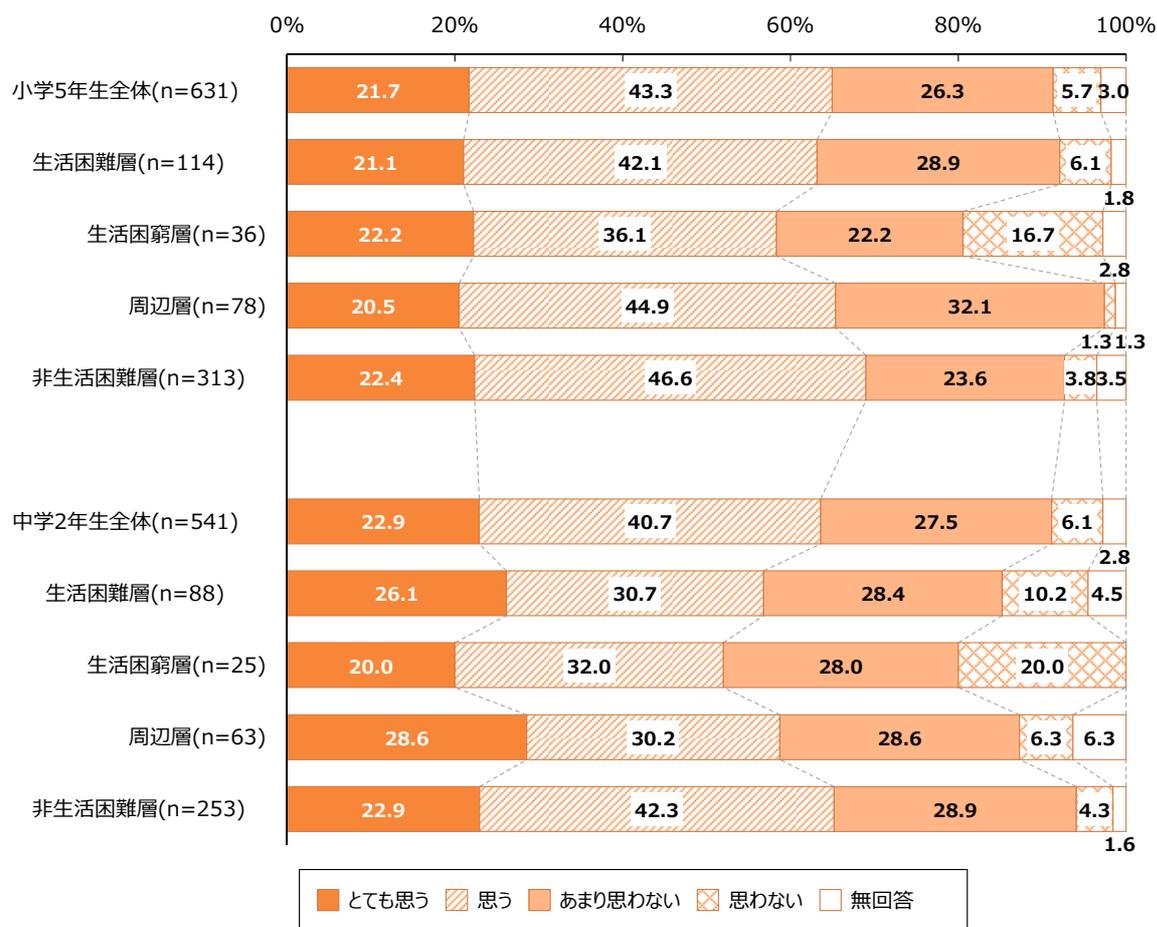


## B 自分は価値のある人間だ

自分は価値のある人間だと思うかについて、「とても思う」の割合は、小学5年生の全体で21.7%，中学2年生の全体で22.9%となっており，生活困難度別でも大きな差はみられず同様の傾向となっています。

また、「あまり思わない」「思わない」を合わせた“思わない”の割合を生活困難度別にみると，小学5年生では，相関がみられ，生活困窮層で38.9%，周辺層で33.4%，非生活困難層で27.4%と生活困難度が高い層ほど高くなっています。

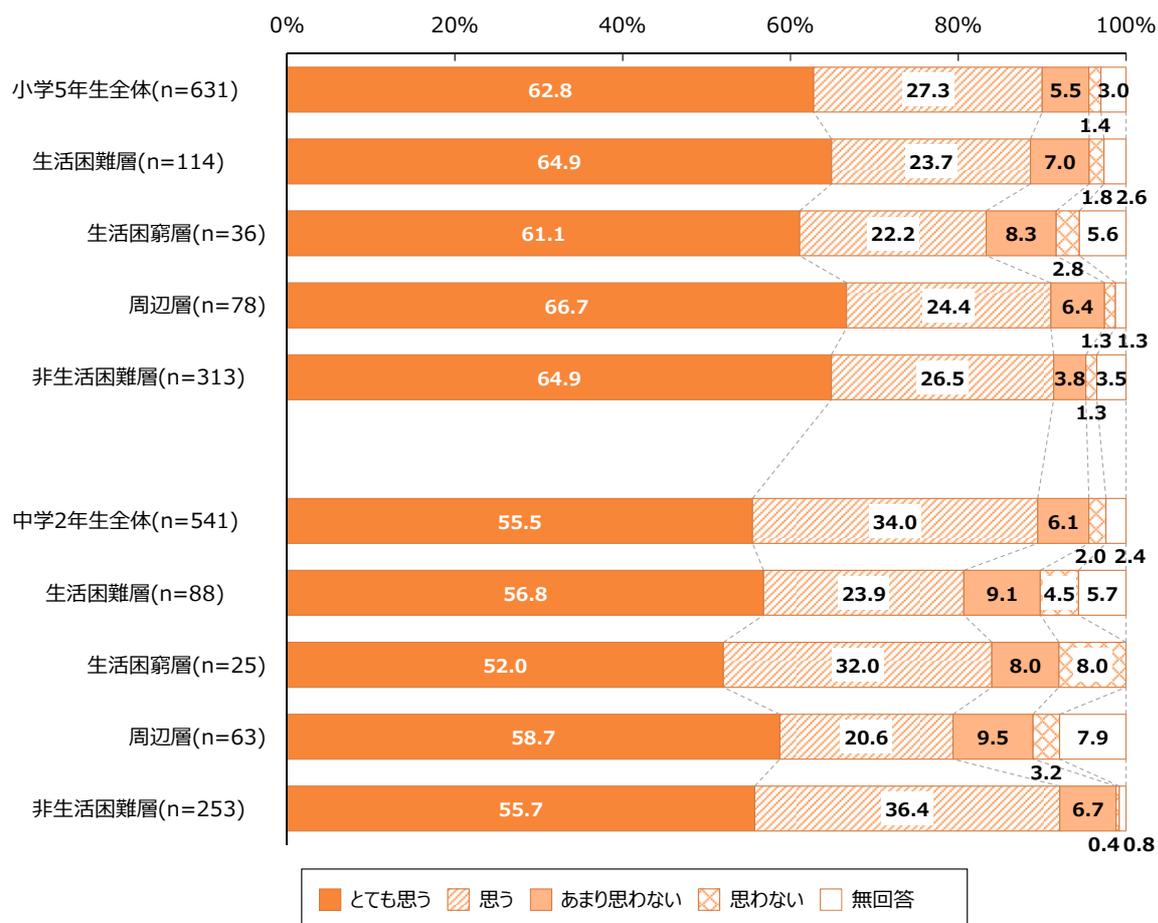
中学2年生でも同様の傾向となっています。



## C 自分は家族に大事にされている

自分は家族に大事にされていると思うかについて、小学5年生全体では「とても思う」「思う」を合わせた“思う”の割合は90.1%と大多数を占めています。生活困難度別でも、大きな差はみられませんが、生活困窮層で83.3%とやや低くなっています。

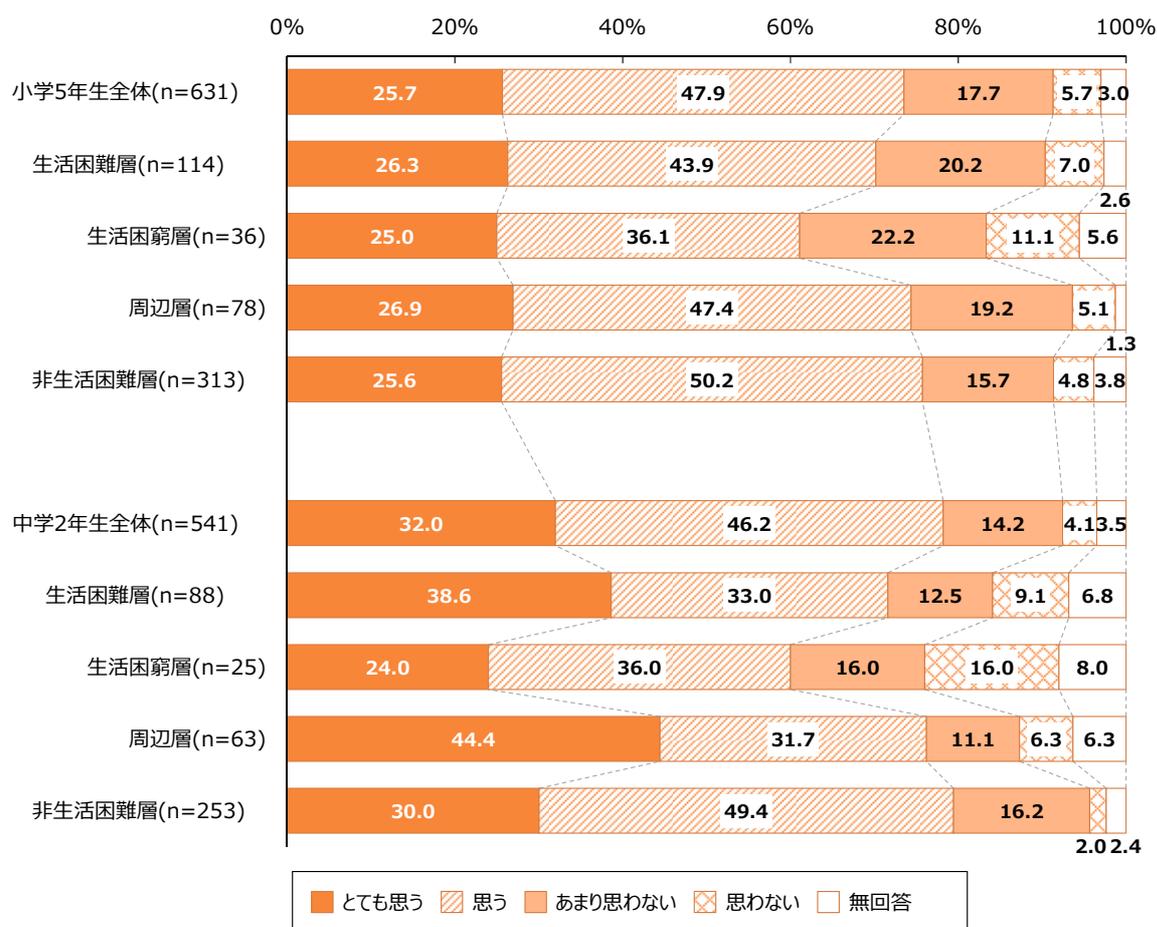
中学2年生では、小学5年生と比べ「とても思う」の割合は総じて低くなっていますが、「思う」を合わせた割合は、全体で89.5%となっています。生活困難度別でも多数を占めていますが、周辺層で79.3%とやや低くなっています。



## D 自分は友だちに好かれている

自分は友だちに好かれていると思うかについて、「とても思う」「思う」を合わせた“思う”の割合は、小学5年生の全体では73.6%、中学2年生の全体では78.2%と多数を占めています。一方、「あまり思わない」「思わない」を合わせた“思わない”割合を生活困難度別にみると、小学5年生では生活困窮層で33.3%、周辺層で24.3%、非生活困難層で20.5%と生活困難度との相関がみられます。

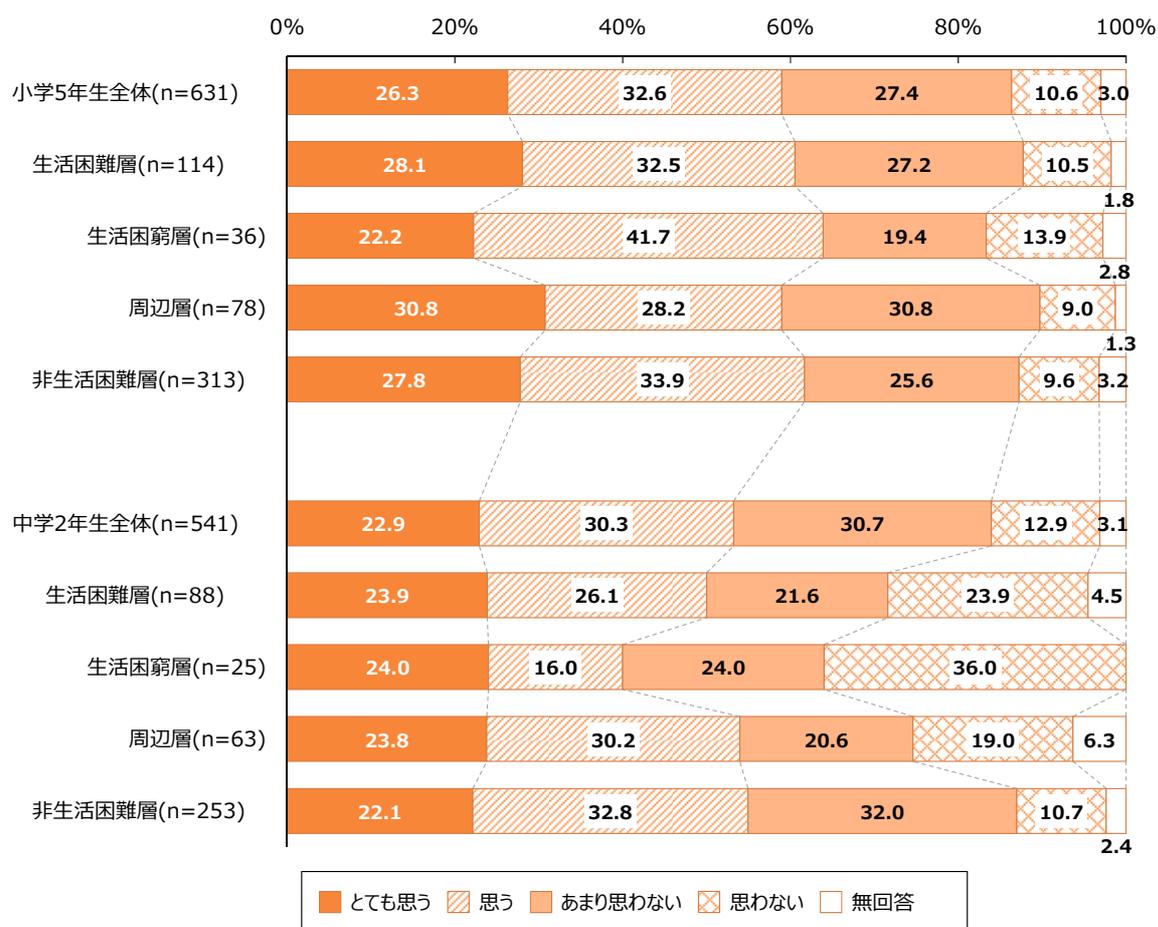
中学2年生では、生活困難度との明確な相関はみられませんが、生活困窮層で32.0%と高くなっています。



## E 不安に感じることはない

不安に感じることはないかについて、小学5年生では、「とても思う」は全体で26.3%、生活困難度別では、明確な相関はみられず、生活困窮層で22.2%と低くなっています。一方、「あまり思わない」「思わない」を合わせた“思わない”割合は、生活困難度による差はみられず4割弱は不安を感じている状況がうかがえます。

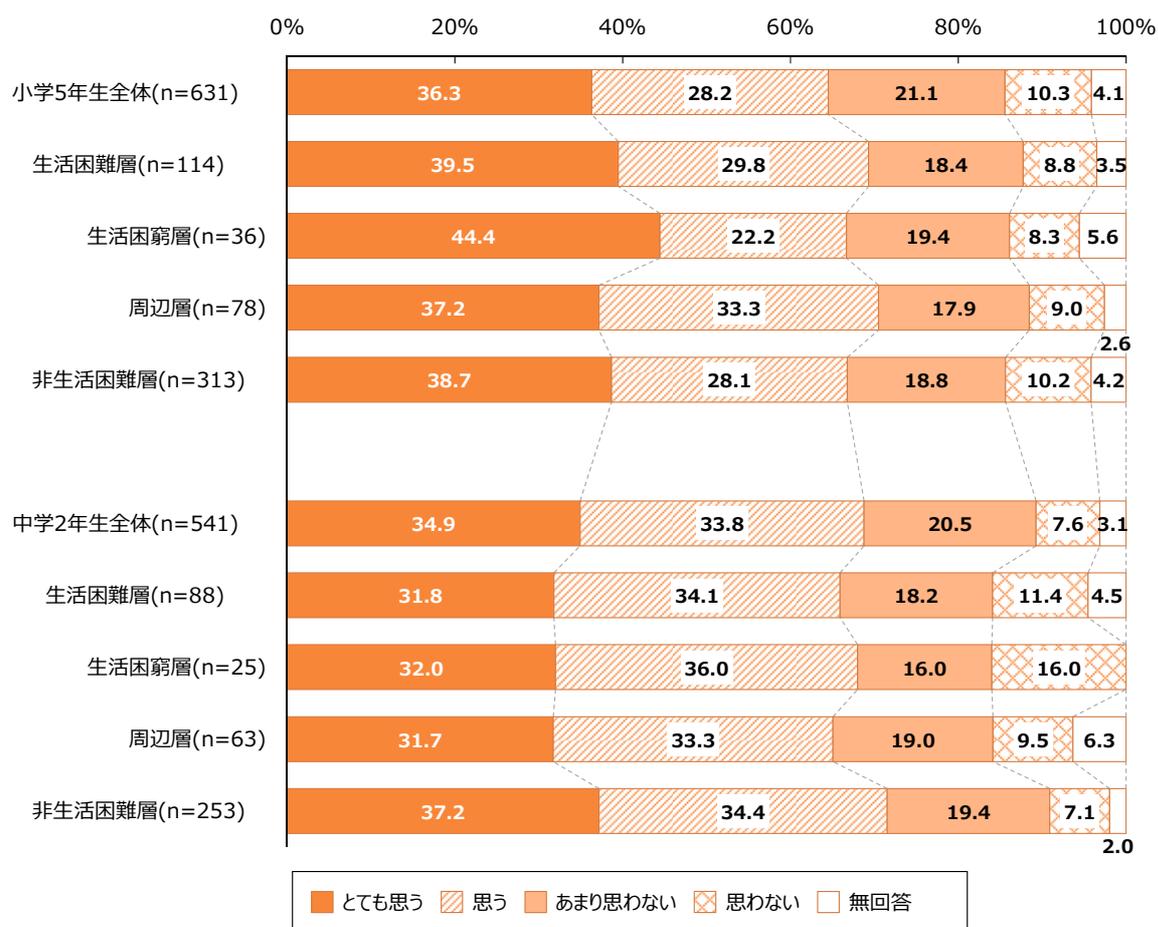
中学2年生全体では、「とても思う」と「思う」を合わせた割合は53.2%，“思わない”の割合が43.6%となっています。生活困難度別に“思わない”の割合をみると、生活困窮層で高く60.0%は何かしらの不安を感じている状況がうかがえます。



## F 孤独を感じることはない

孤独と感ずることはないかについて、小学5年生では、「とても思う」は全体で36.3%、生活困難度別では、生活困窮層で44.4%と高くなっている一方、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた“思わない”割合は、非生活困難層で29.0%と高くなっています。いずれも生活困難度との相関はみられません。

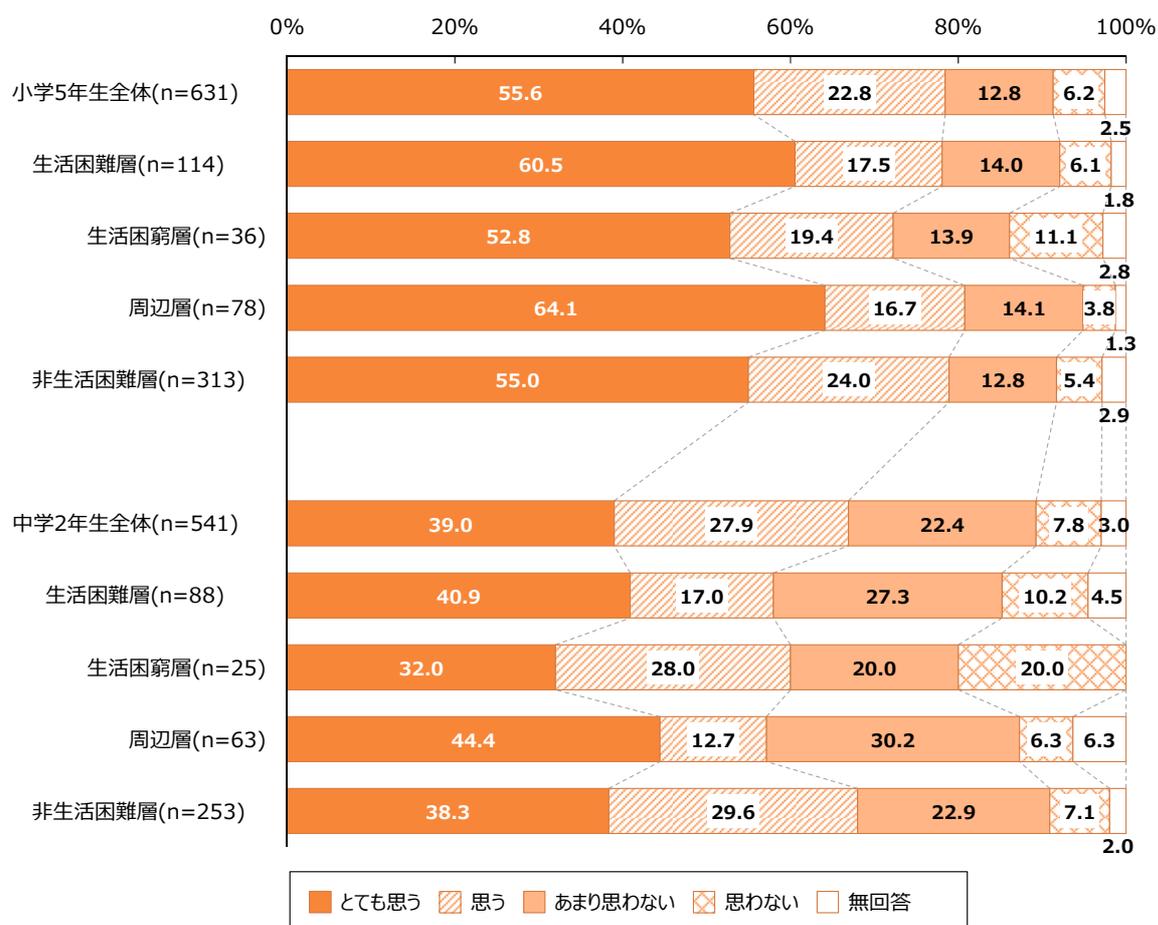
中学2年生でも、「とても思う」の割合は小学5年生と同様の傾向となっていますが、“思わない”の割合は、生活困窮層で32.0%、周辺層で28.5%、非生活困難層で26.5%と生活困難度との相関がみられ、生活困難度が高い層ほど孤独を感じる割合は高くなっています。



## G 自分の将来が楽しみだ

自分の将来が楽しみだと思うかについて、小学5年生では、「とても思う」と「思う」を合わせた“思う”の割合は、全体で78.4%と高く、生活困難度別でも7割を超え多数を占めています。生活困窮層で72.2%とやや低くなっています。

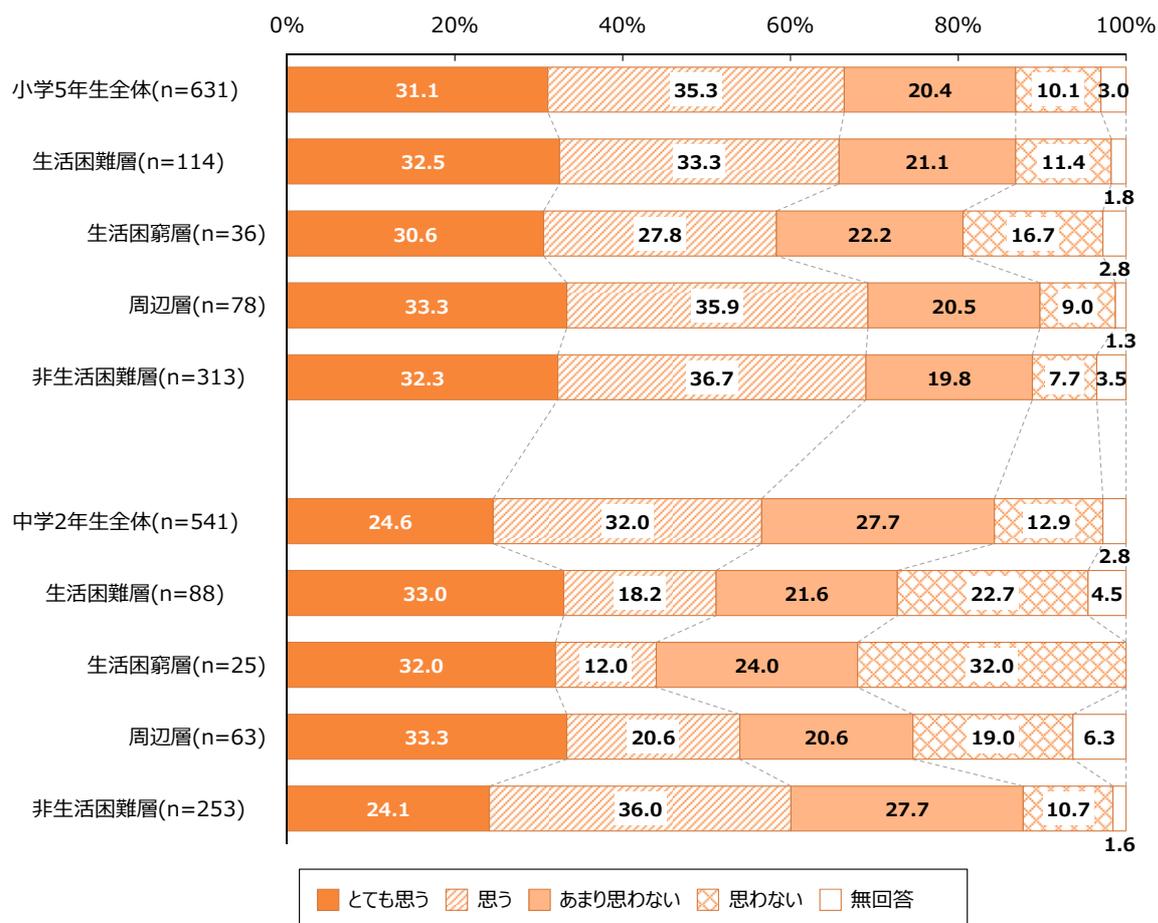
中学2年生では、小学5年生に比べ「とても思う」の割合は総じて低くなっており、「思う」を合わせた割合は全体で66.9%となっています。また、「あまり思わない」「思わない」を合わせた“思わない”の割合を生活困難度別にみると、生活困窮層で40.0%、周辺層で36.5%、非生活困難層で30.0%と生活困難度との相関がみられ、高い層ほど将来に不安を感じている状況がうかがえます。



## H 自分のことが好きだ

自分のことが好きだと思うかについて、小学5年生では、「とても思う」と「思う」を合わせた“思う”の割合は全体で66.4%，生活困難度別でみると、生活困窮層で58.4%とやや低くなっています。

中学2年生では、小学5年生に比べ“思う”の割合は10ポイントほど低く、全体で56.6%となっています。一方、「あまり思わない」「思わない」を合わせた“思わない”の割合を生活困難度別にみると、生活困窮層で56.0%と高く半数以上が否定的な回答をしています。



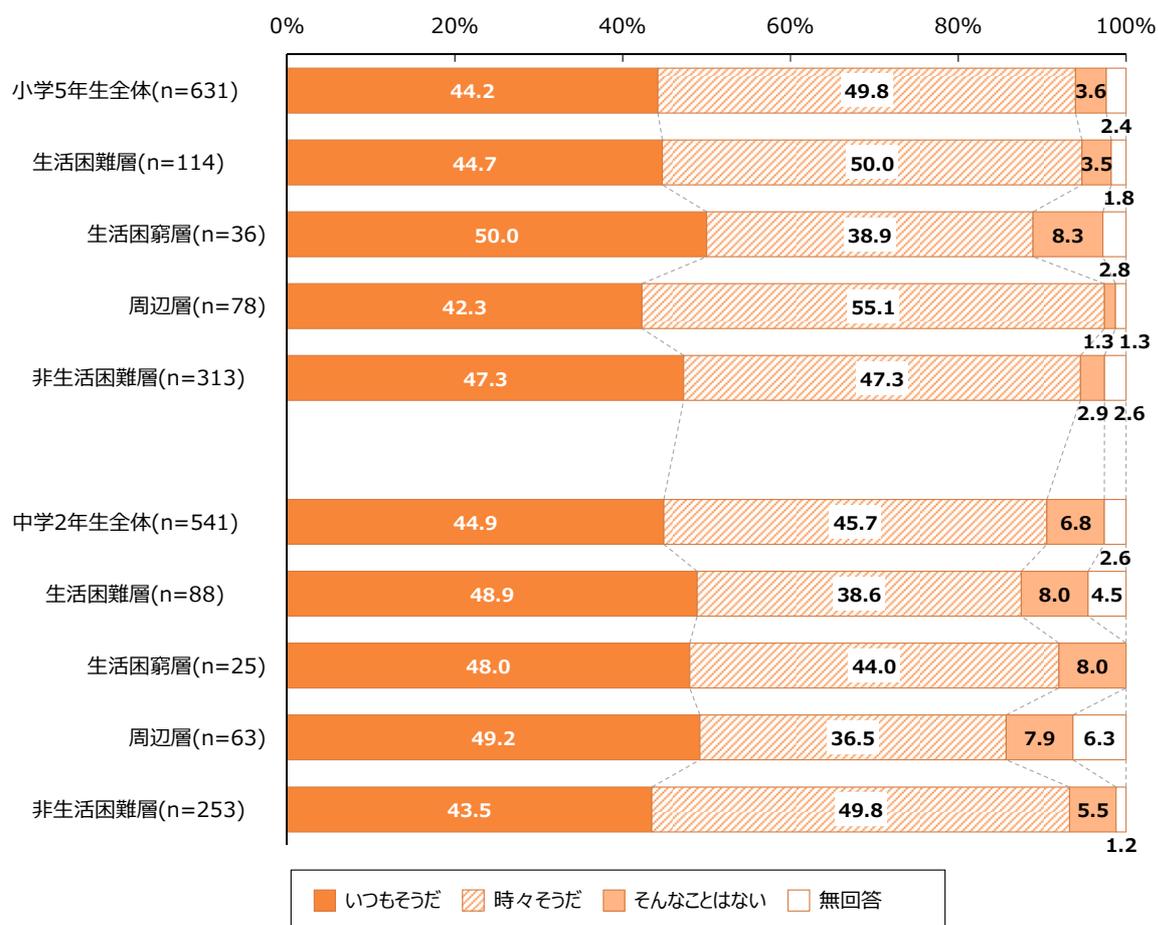
## (2) 心の状態

▼わたしたちは、楽しい日ばかりではなく、ちょっとさみしい日も、楽しくない日もあります。  
この1週間はどんな1週間だったかあてはまるところに○をつけてください。良い答え、悪い答えはありません。思ったとおりに教えてください。(子/問 40)

### A 楽しみにしていることがたくさんある

楽しみにしていることがたくさんあるかについて、「いつもそうだ」と「時々そうだ」を合わせた割合は、小学5年生全体で94.0%、中学2年生全体で90.6%と大多数を占めています。

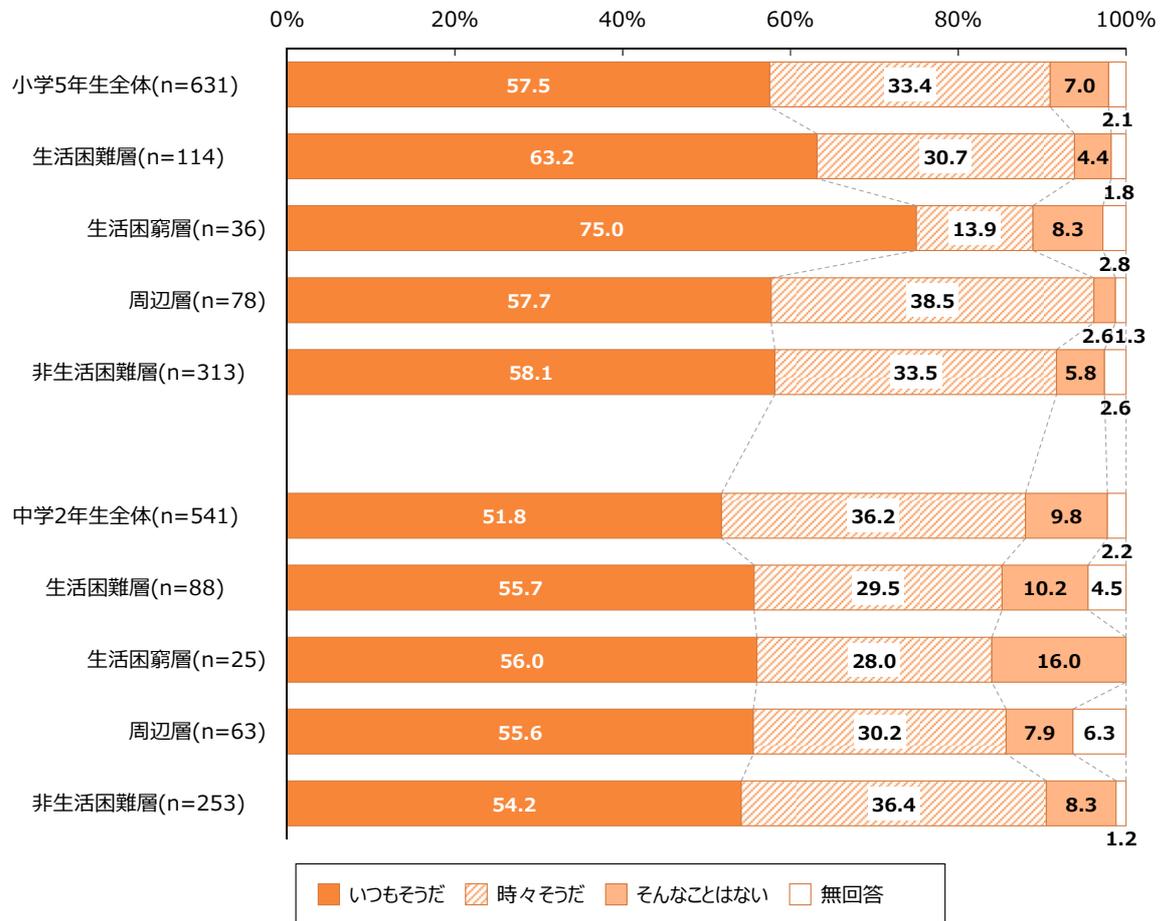
生活困難度別でも85%を超え大多数を占めており、生活困難度による差はみられません。



## B とても良く眠れる

とても良く眠れるかについて、「いつもそうだ」と「時々そうだ」を合わせた割合は、小学5年生全体で90.9%，中学2年生全体で88.0%と大多数を占めています。

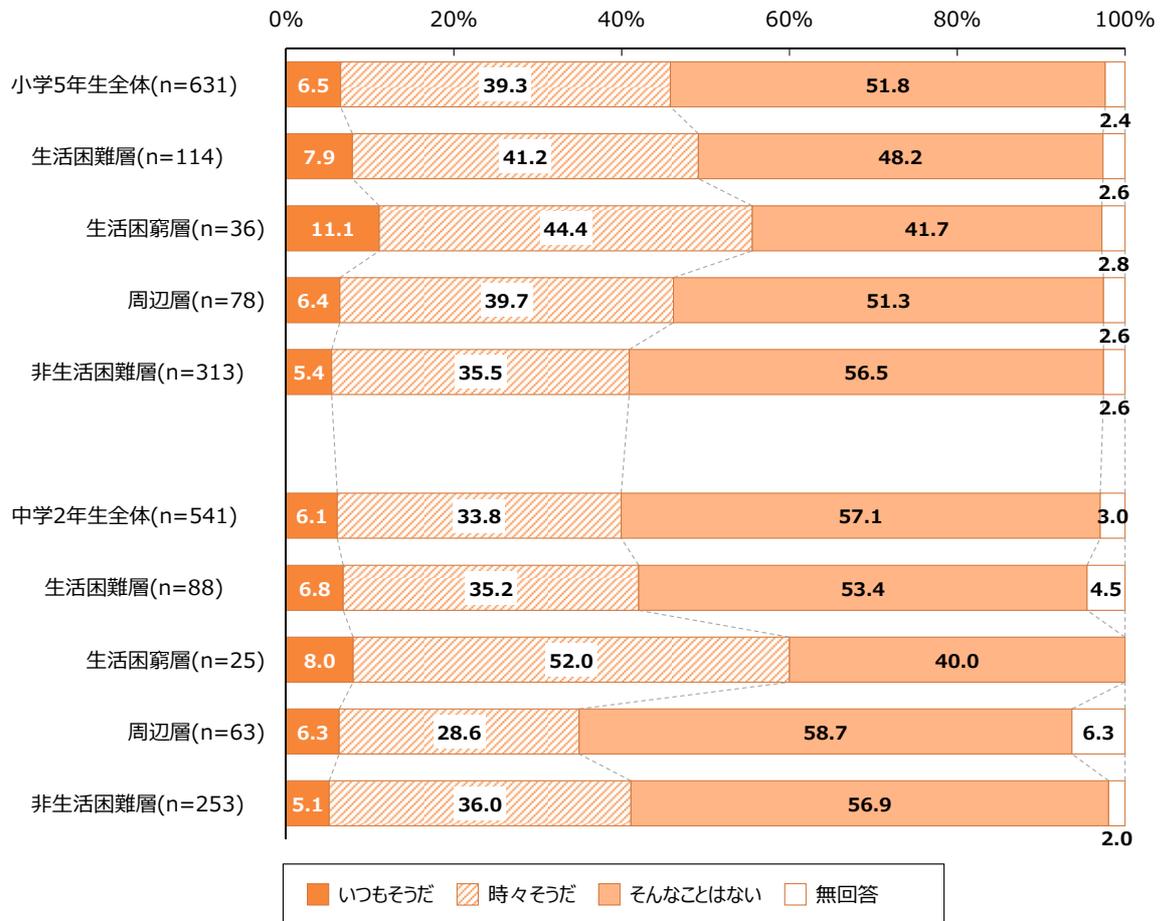
生活困難度別でも8割を超え同様の傾向となっていますが、中学2年生の生活困窮層で「そんなことはない」がやや高く16.0%となっています。



### C 泣きたいような気がする

泣きたいような気がするかについて、小学5年生、中学2年生ともほとんどの層で「そんなことはない」が半数を占めていますが、生活困窮層では10ポイント以上低く小学5年生で41.7%、中学2年生で40.0%となっています。

反対に、「いつもそうだ」「時々そうだ」を合わせた割合は生活困窮層で高く、小学5年生で55.5%、中学2年生で60.0%となっています。

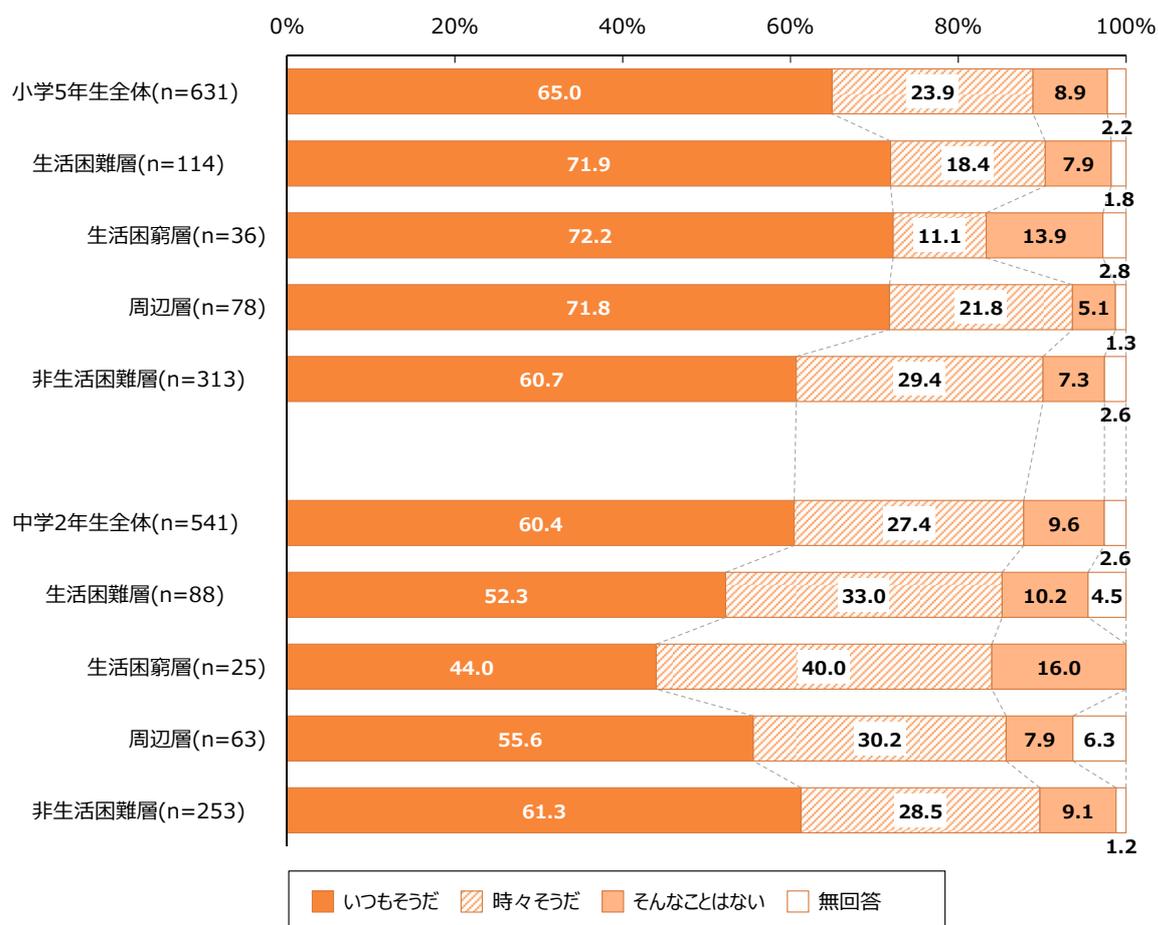


## D 遊びに出かけるのが好きだ

遊びに出かけるのが好きだについて、小学5年生では「いつもそうだ」が多数を占めており、全体で65.0%、「時々そうだ」を合わせると9割に迫ります。

生活困難度別でも、生活困窮層で83.3%とやや低いものの、多数を占めています。

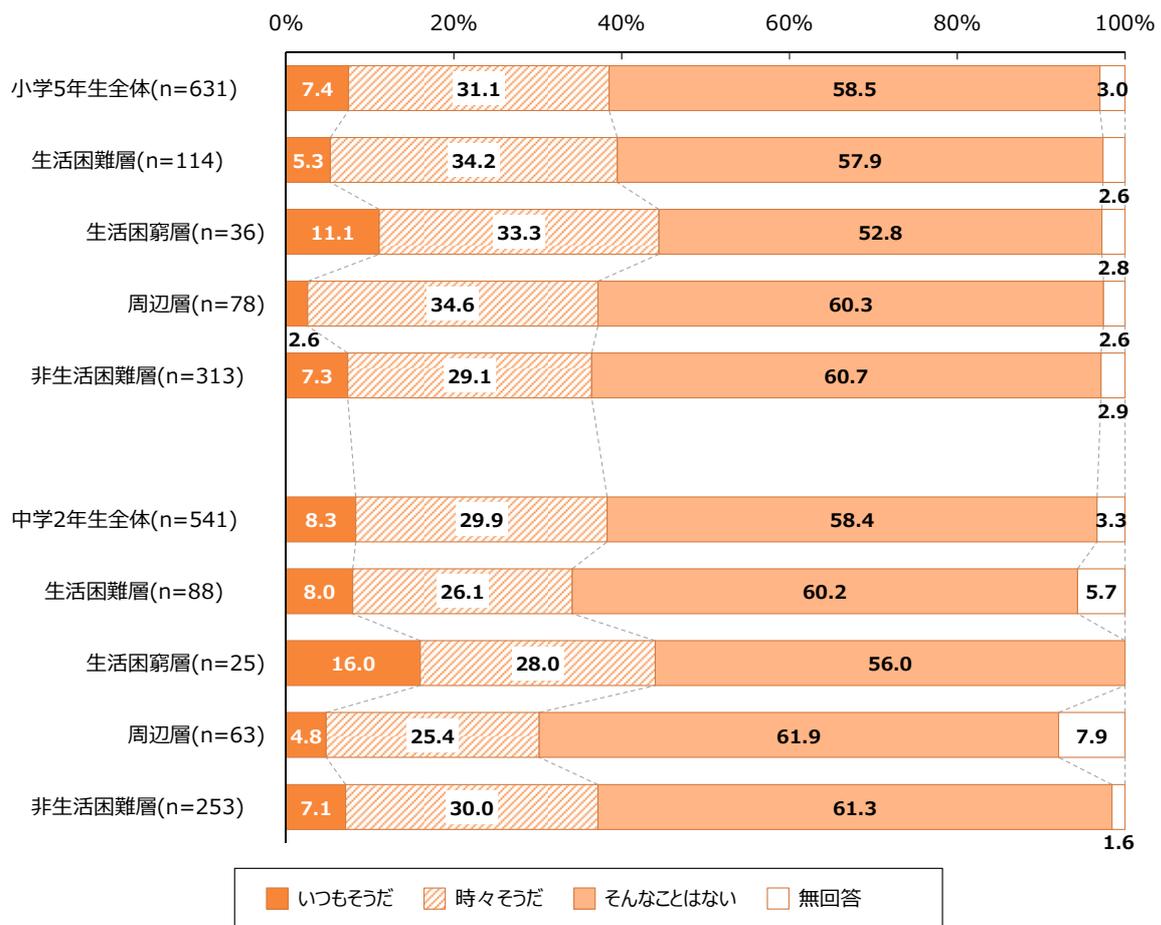
中学2年生でも「いつもそうだ」の割合は生活困難度による相関がみられ高い層で割合は低くなっていますが、「時々そうだ」を合わせた割合は8割を超え多数を占めています。



## E 逃げ出したいような気がする

逃げ出したいような気がするかについて、小学5年生では、「そんなことはない」が、全体で58.5%、生活困難度別でも明確な差はみられませんが、生活困窮層で52.8%と若干低くなっています。一方、「いつもそうだ」「時々そうだ」を合わせた割合を生活困難度別でみると、生活困窮層で44.4%、周辺層で37.2%、非生活困難層で36.4%と生活困難度が高い層ほど逃げ出したい気がする割合が高くなっています。

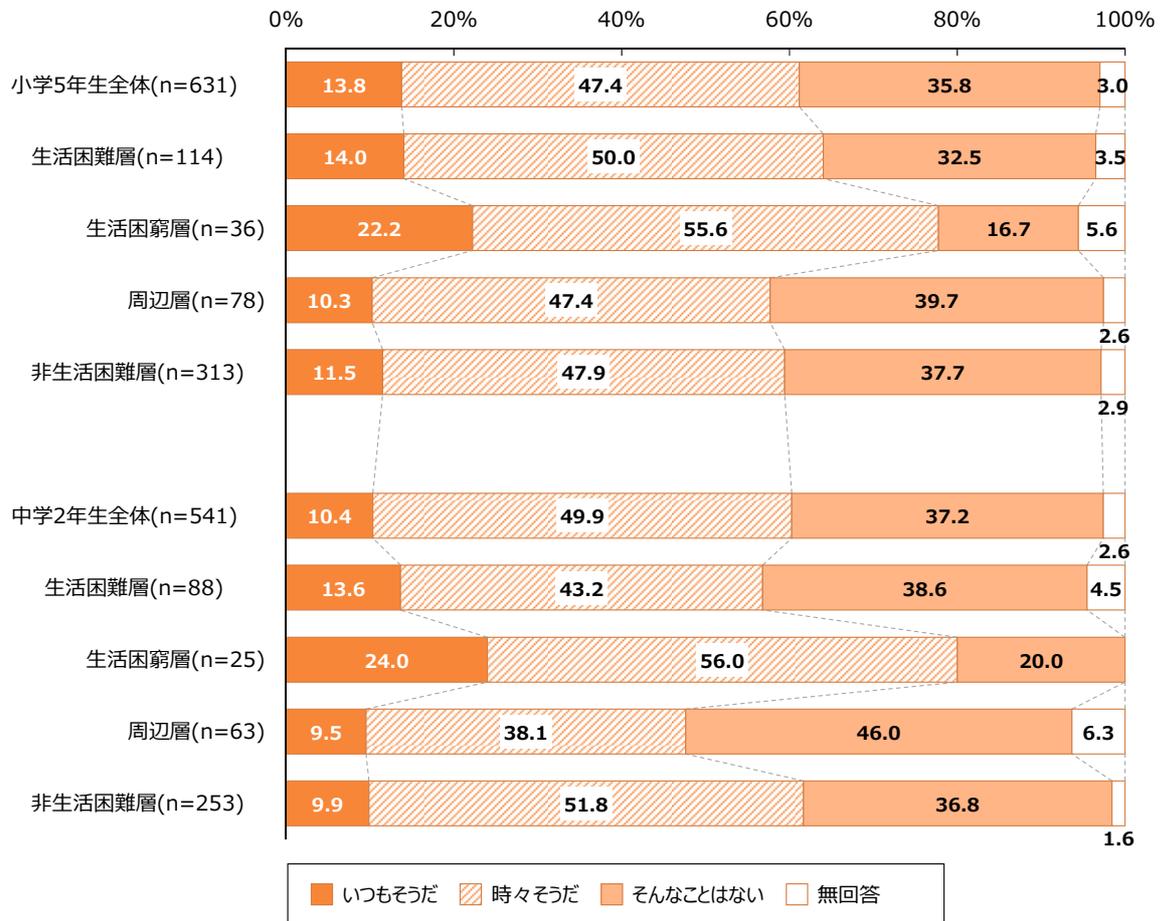
中学2年生でも同様の傾向となっていますが、周辺層で「そんなことはない」が61.9%とやや高くなっています。



## F おなかが痛くなることがある

おなかが痛くなることがあるかについて、「いつもそうだ」と「時々そうだ」を合わせた割合は、小学5年生の全体では、61.2%、生活困難度別では、生活困窮層で77.8%と他の層に比べ17~20ポイントほど高くなっています。

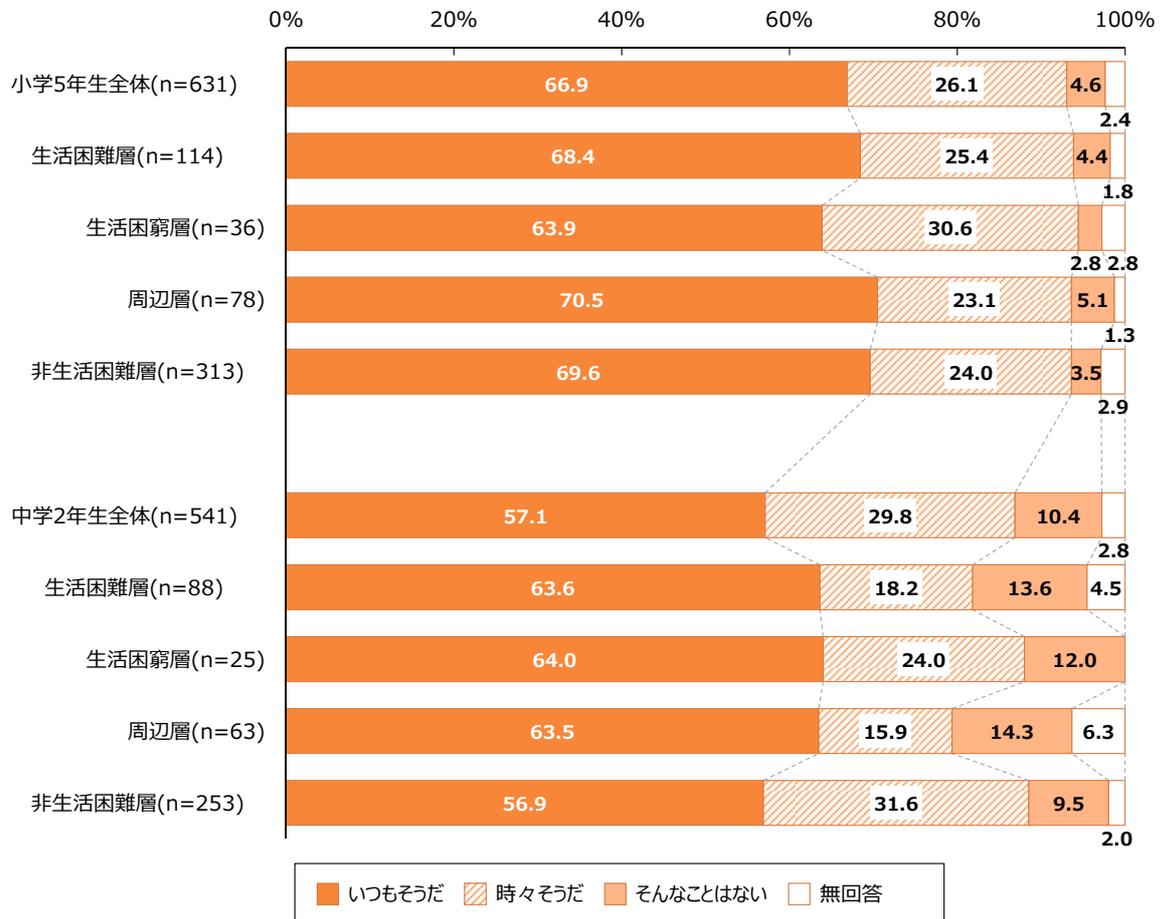
中学2年生でも同様の傾向となっています。



## G 元気いっぱいだ

元気いっぱいだと思うかについて、小学5年生では、「いつもそうだ」と「時々そうだ」を合わせた割合は9割を超え大多数を占めており、生活困難度による大きな差はみられません。

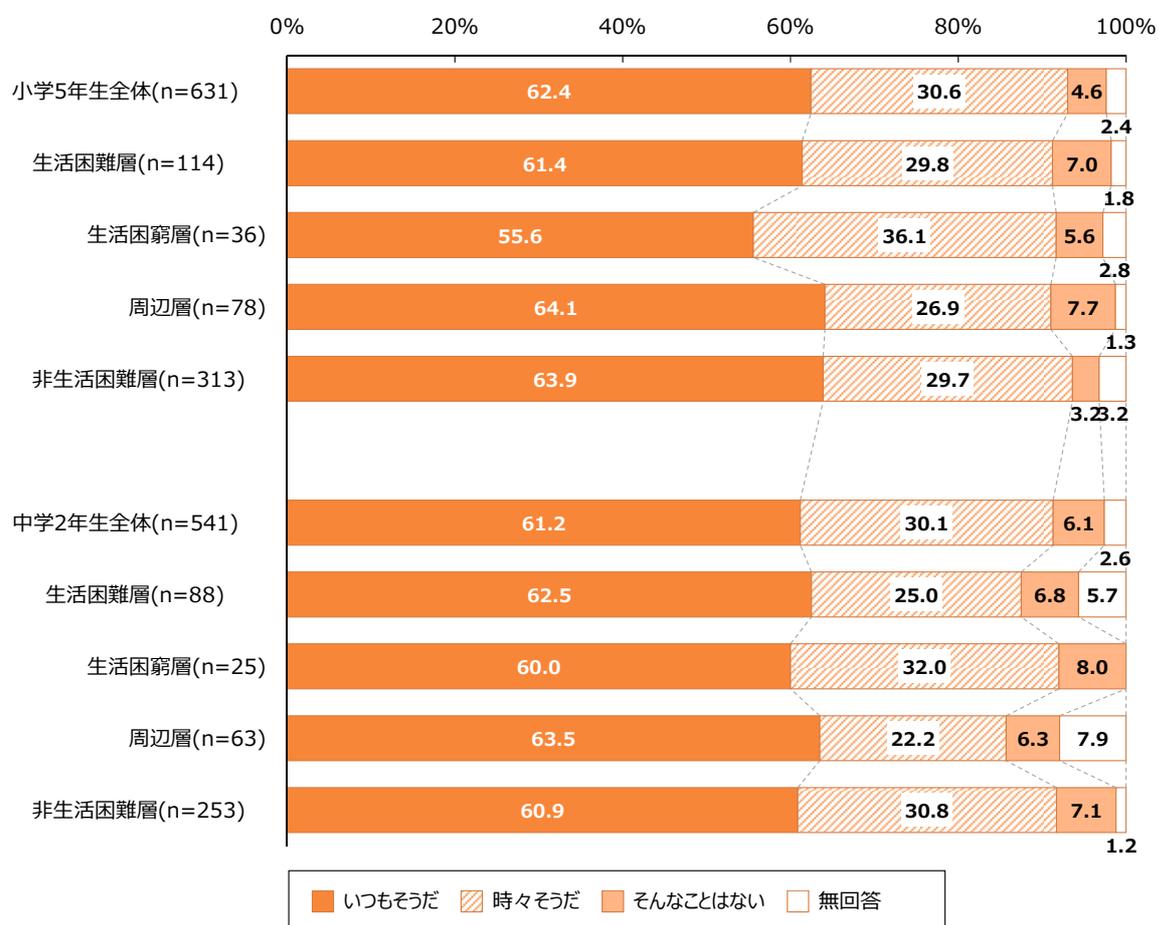
中学2年生でも同様の傾向となっていますが、周辺層で79.4%と若干低くなっています。



## H 食事が楽しい

食事が楽しいと思うかについて、小学5年生では、「いつもそうだ」と「時々そうだ」を合わせた割合は9割を超え大多数を占めており、生活困難度による大きな差はみられません。

中学2年生でも同様の傾向となっていますが、周辺層で85.7%と若干低くなっています。

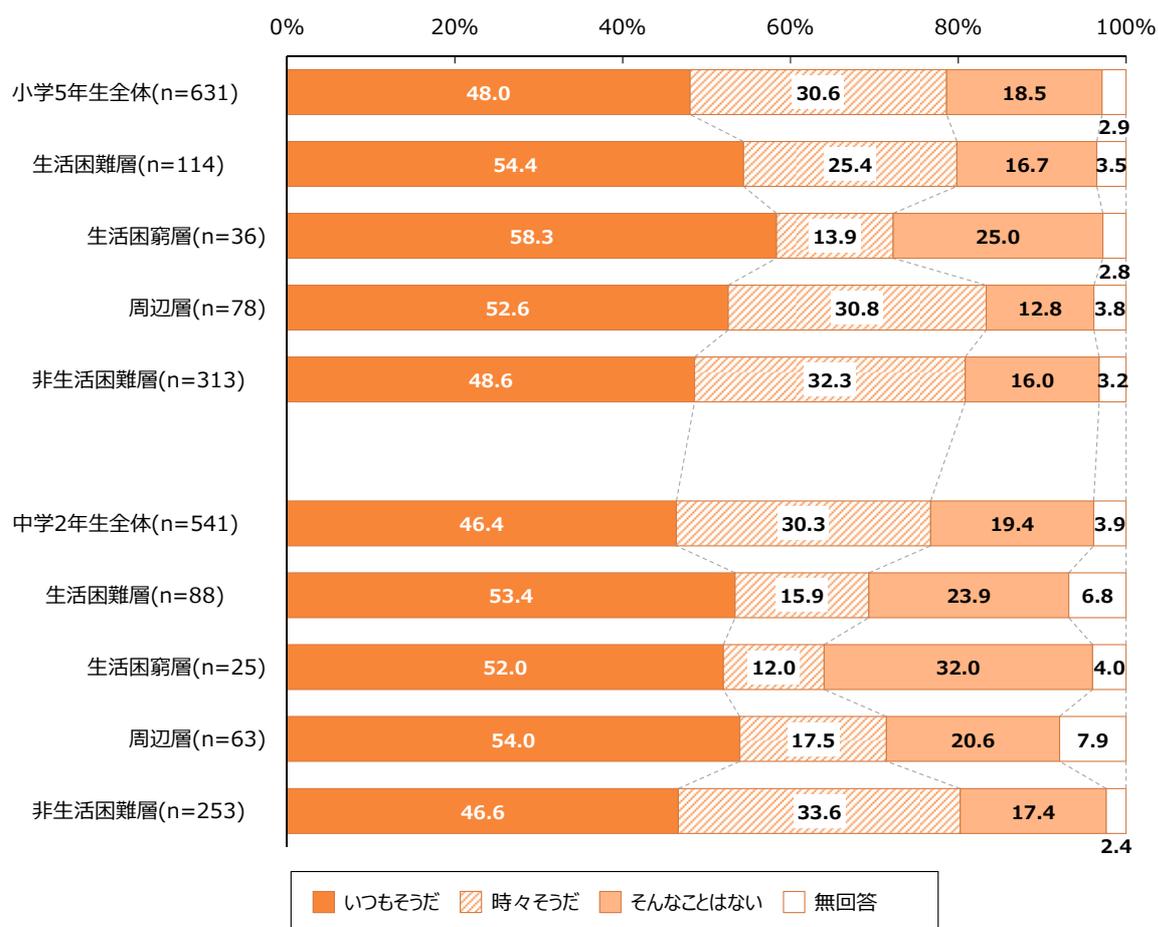


## Ⅰ いじめられても自分で「やめて」と言える

いじめられても自分で「やめて」と言えるかについて、「いつもそうだ」の割合は、小学5年生の全体で48.0%、生活困難度別では相関がみられ、生活困窮層で58.3%、周辺層で52.6%、非生活困難層で48.6%と生活困難度が高い層ほど高くなっています。

中学2年生では、全体で46.4%、生活困難度別では、非生活困難層の46.6%に対し周辺層で54.0%となっています。

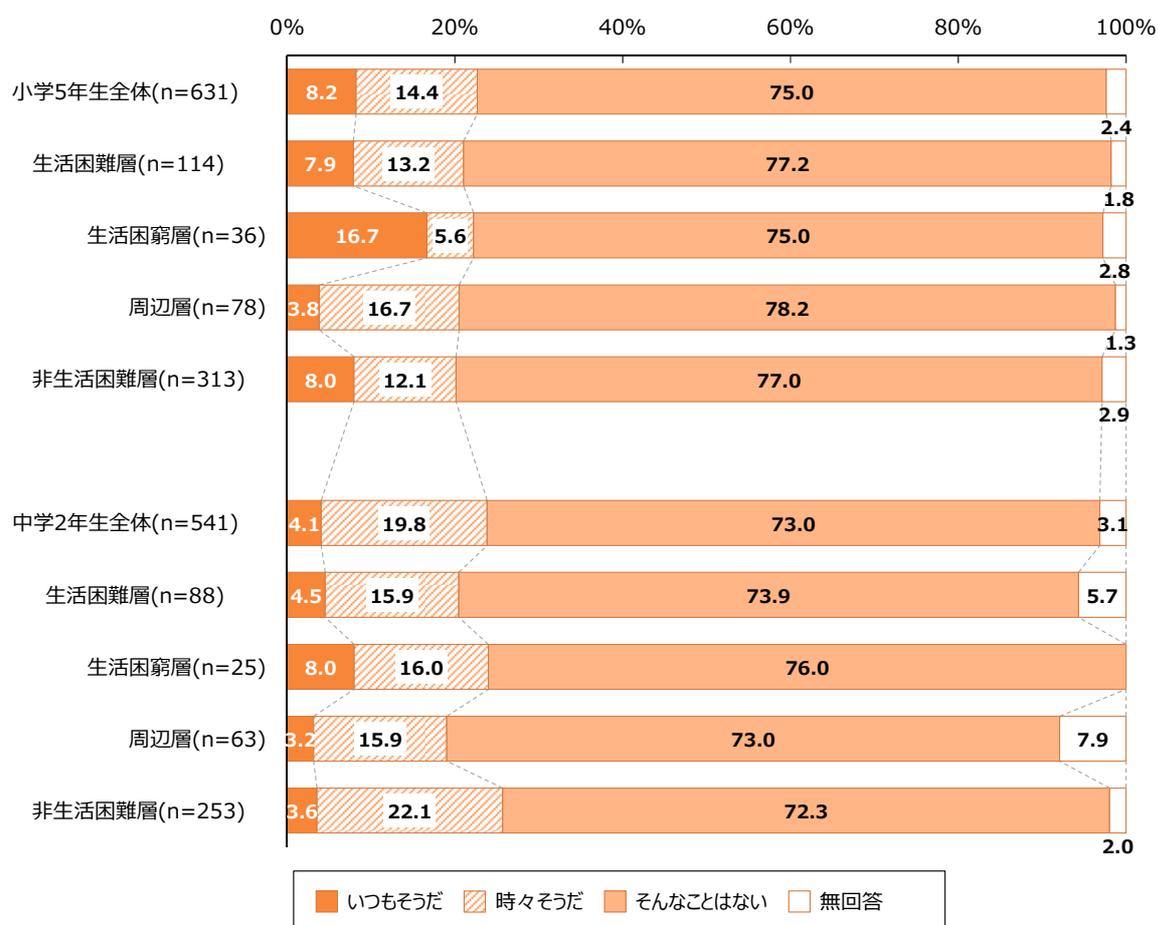
一方、「そんなことはない」は生活困窮層で高く、小学5年生で25.0%、中学2年生で32.0%となっています。



## Ｊ 生きていても仕方がないと思う

生きていても仕方がないと思うかについて、小学5年生全体では、「そんなことはない」が75.0%と多数を占めています。一方、「いつもそうだ」と「時々そうだ」を合わせた割合は、22.6%となっています。生活困難度別でも同様の傾向となっています。

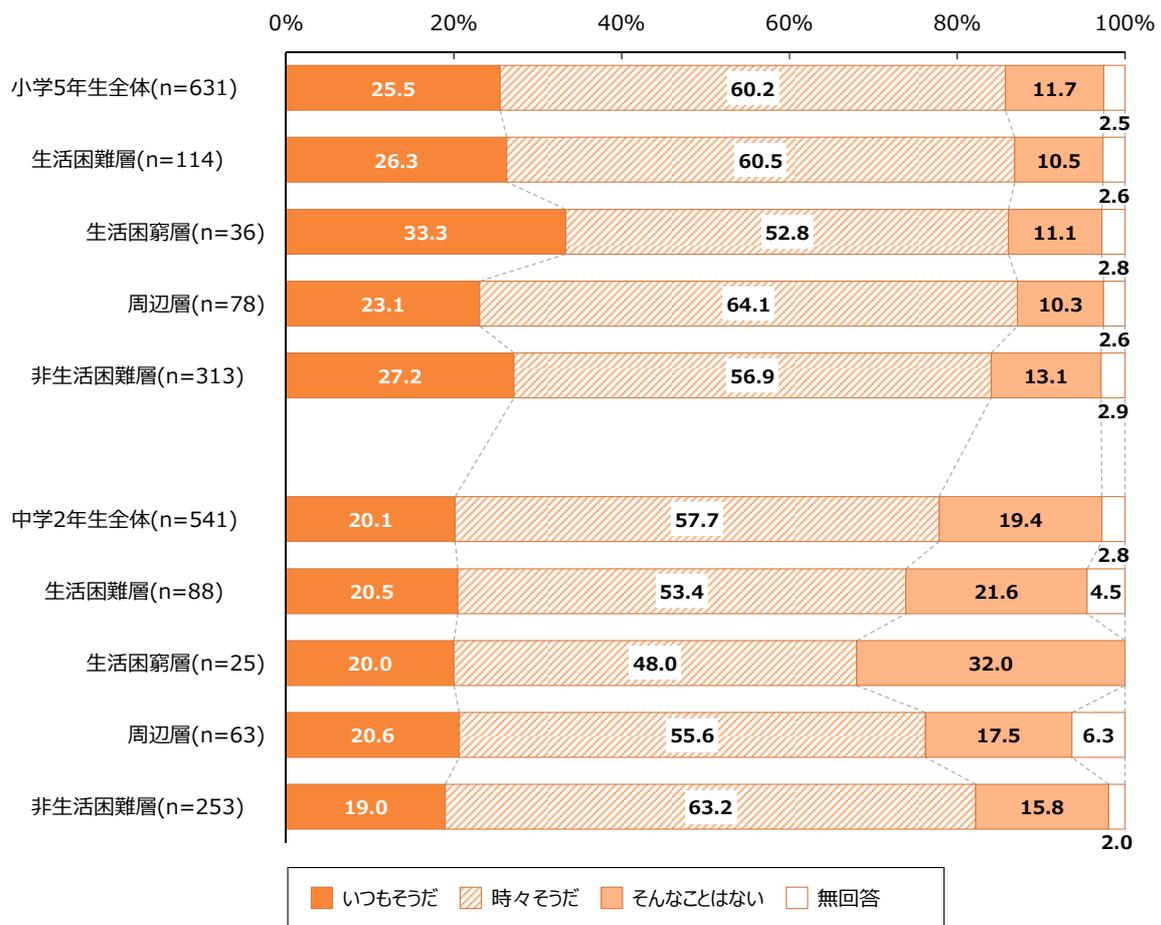
中学2年生でも同様の傾向となっていますが、「いつもそうだ」と「時々そうだ」を合わせた割合が非生活困難層で25.7%と、気力がない割合が若干高くなっています。



## K やろうと思ったことがうまくできる

やろうと思ったことがうまくできるかについて、小学5年生では、「いつもそうだ」と「時々そうだ」を合わせた割合はいずれの層も8割を超え多数を占めており、生活困難度による差はみられません。

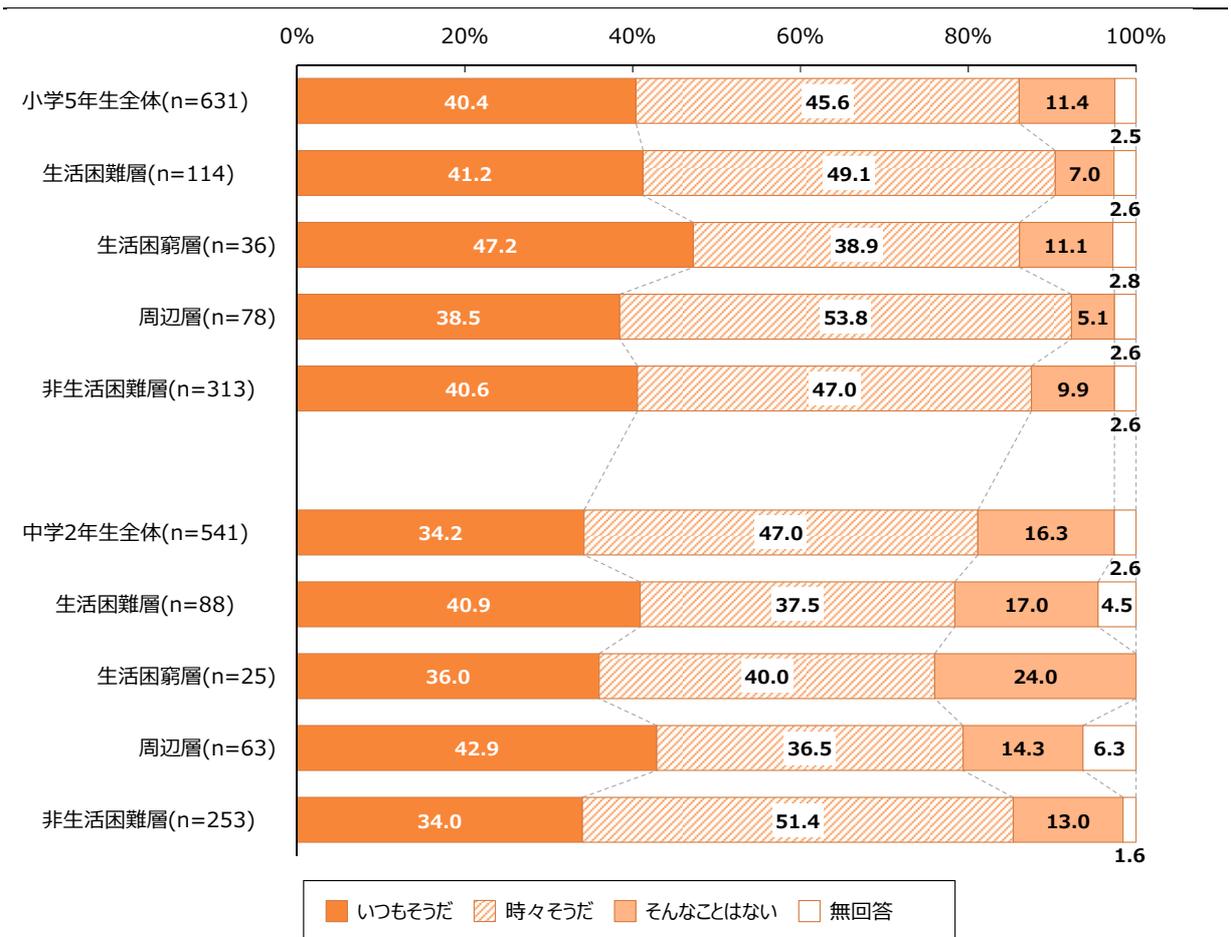
中学2年生でも、「いつもそうだ」と「時々そうだ」を合わせた割合は、全体で77.8%と多数を占めていますが、生活困難度別でも多数を占めていますが、生活困窮層で68.0%、周辺層で76.2%、非生活困難層で82.2%と生活困難度が高い層ほどうまくできる割合は低くなっています。



## L いつものように何をしてても楽しい

いつものように何をしてても楽しいかについて、小学5年生では、「いつもそうだ」と「時々そうだ」を合わせた割合はいずれの層も85%を超えて大多数を占めています。

中学2年生でも、「いつもそうだ」と「時々そうだ」を合わせた割合は75%を超えて多数を占めていますが、生活困窮層で76.0%、周辺層で79.4%、非生活困難層で85.4%と生活困難度が高い層ほど何をしてても楽しい割合は低くなっています。

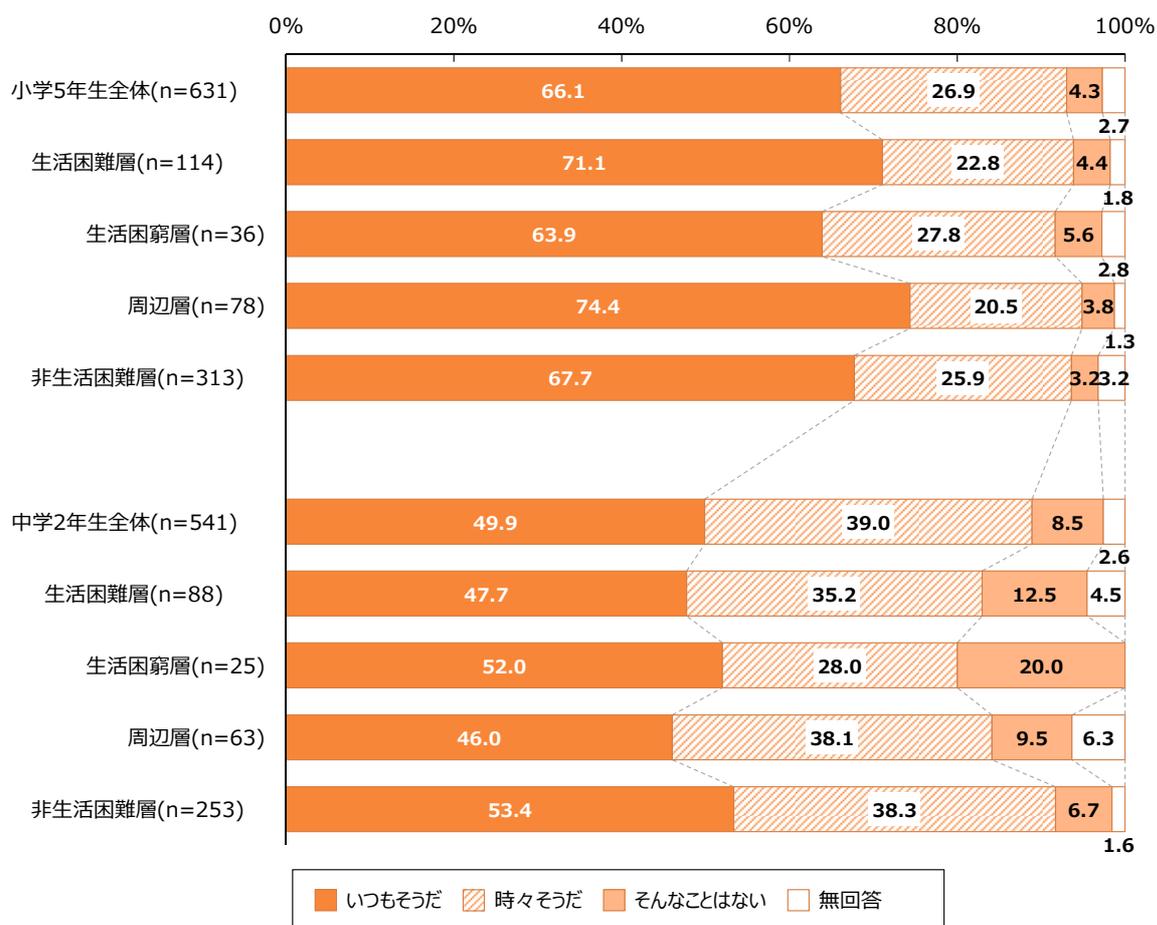


## M 家族と話すのが好きだ

家族と話すのが好きだについて、小学5年生では、「いつもそうだ」と「時々そうだ」を合わせた割合はいずれの層も9割を超え大多数を占めており、生活困難度による明確な差はみられません。

中学2年生では、小学5年生に比べ「いつもそうだ」の割合は総じて低くなっていますが、「時々そうだ」を合わせると全体で88.9%と大多数を占めています。

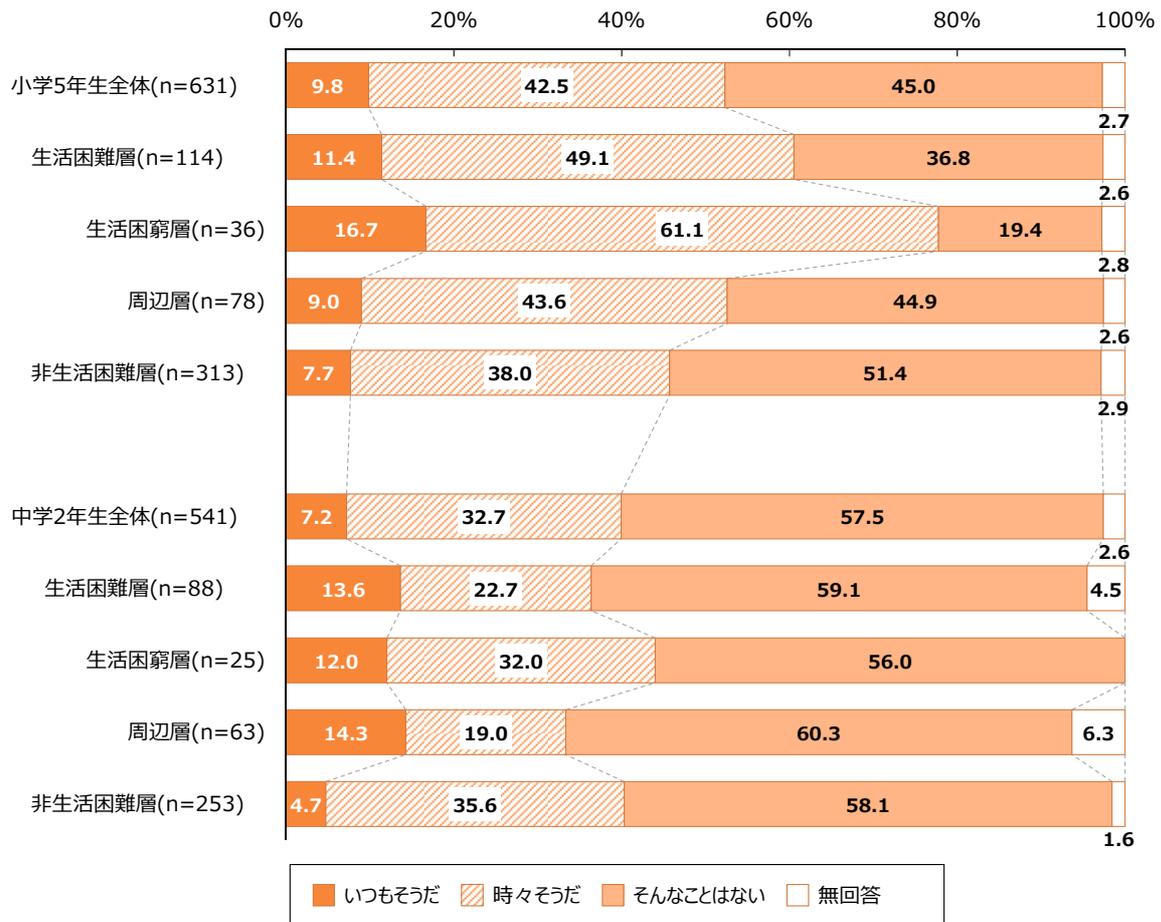
生活困難度別でも8割を超え多数を占めていますが、生活困窮層で80.0%、周辺層で84.1%、非生活困難層で91.7%と生活困難度が高い層ほど家族と話すのが好きだの割合が低くなっています。



## N こわい夢を見る

こわい夢を見るかについて、小学5年生全体では、「いつもそうだ」と「時々そうだ」を合わせた割合は52.3%と半数を超えています。生活困難度別では、生活困窮層で77.8%、周辺層で52.6%、非生活困難層で45.7%と生活困難度が高い層ほどこわい夢を見る割合が高くなっています。

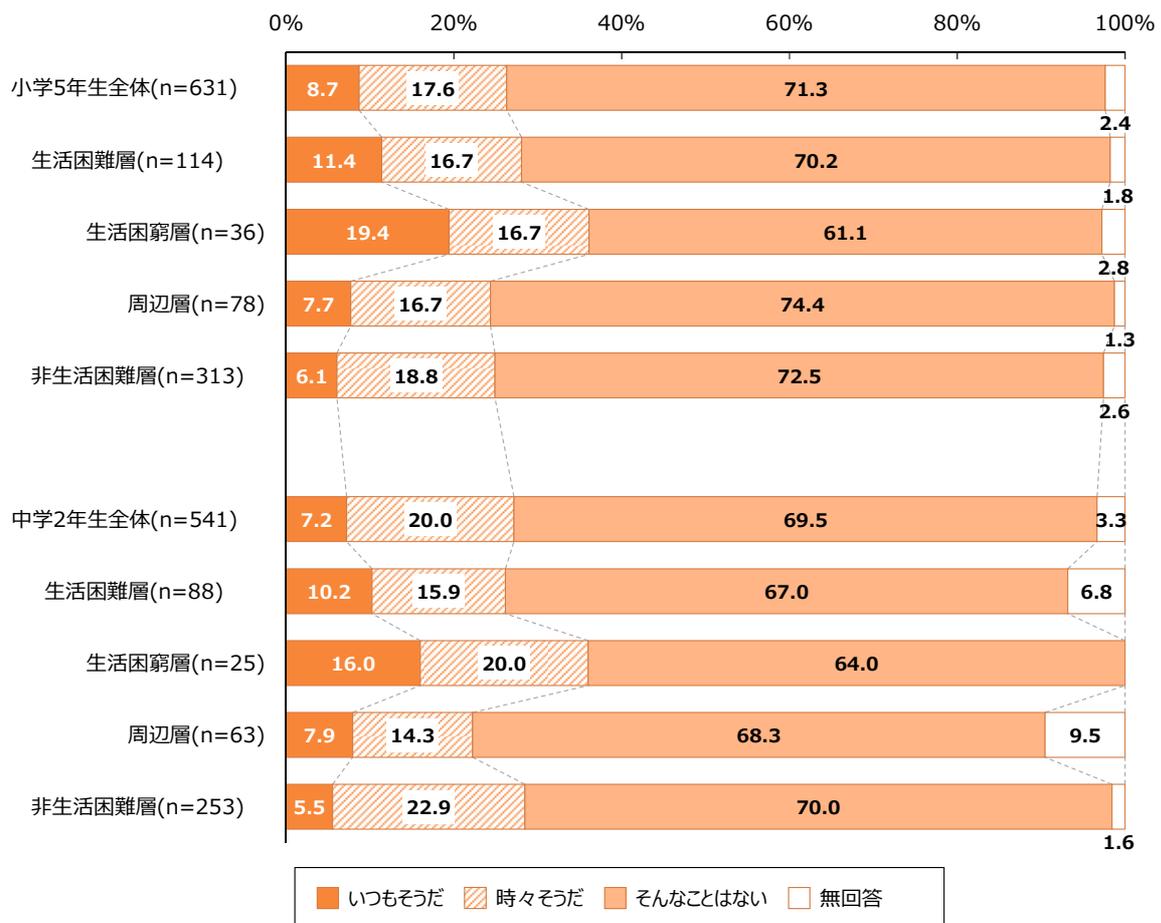
中学2年生では、小学5年生に比べこわい夢を見る割合は総じて低くなっており、「いつもそうだ」と「時々そうだ」を合わせた割合は全体で39.9%となっています。生活困難度別でも大きな差はみられませんが、生活困窮層で44.0%と若干高くなっています。



## 〇 独りぼっちの気がする

独りぼっちの気がするかについて、小学5年生ではほとんどの層で「そんなことはない」が7割を超え多数を占めていますが、生活困窮層で61.1%と10ポイントほど低くなっています。中学2年生でも同様に「そんなことはない」が多数を占めていますが、生活困窮層で64.0%とやや低くなっています。

また、「いつもそうだ」と「時々そうだ」を合わせた割合を生活困難度別にみると、生活困窮層で孤独を感じている割合が高く、小学5年生で36.1%、中学2年生で36.0%となっています。

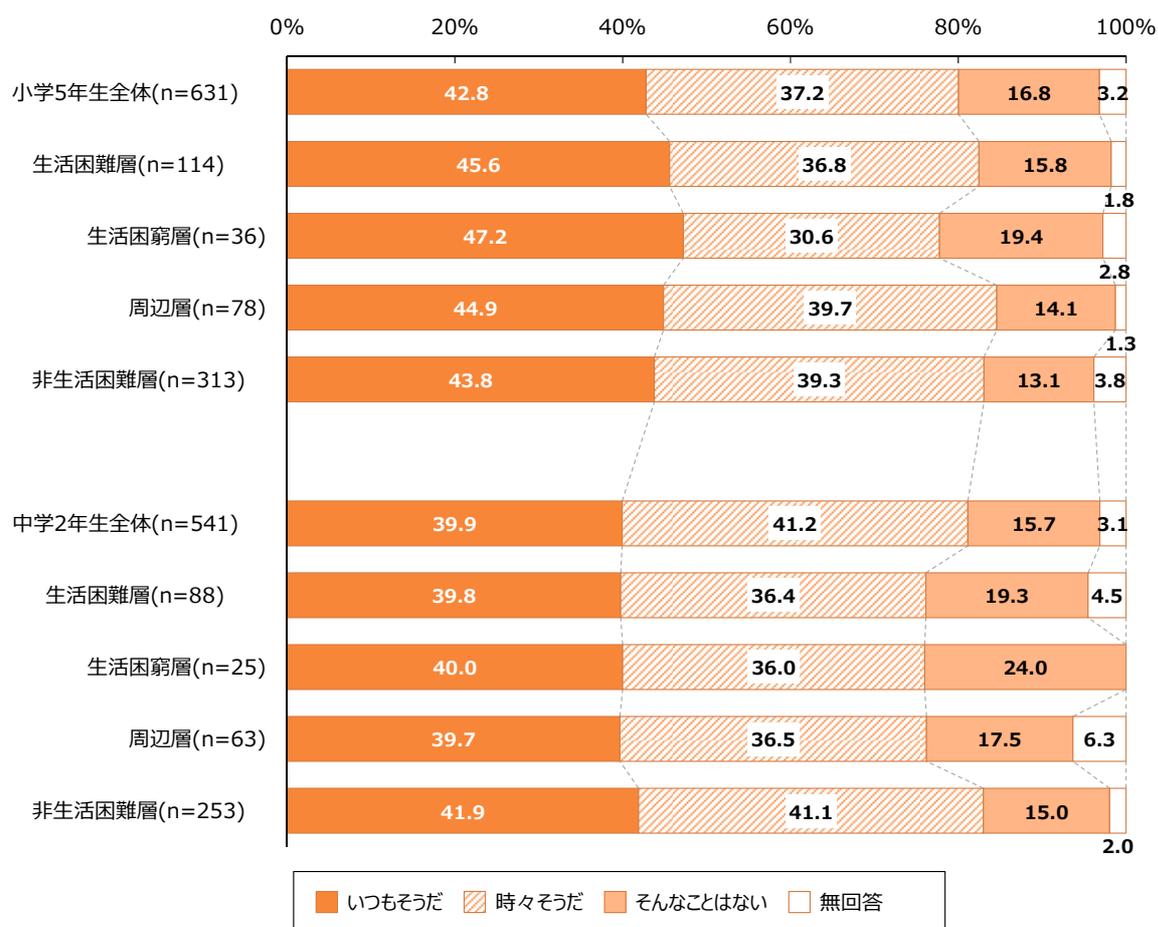


## P 落ち込んでいてもすぐに元気になれる

落ち込んでいてもすぐに元気になれるかについて、小学5年生ではほとんどの層で「いつもそうだ」と「時々そうだ」を合わせた割合は8割を超えており、多数を占めていますが、生活困窮層で77.8%と若干低くなっています。

中学2年生でも同様に、「いつもそうだ」と「時々そうだ」を合わせた割合は、いずれの層も75%を超え多数を占めています。

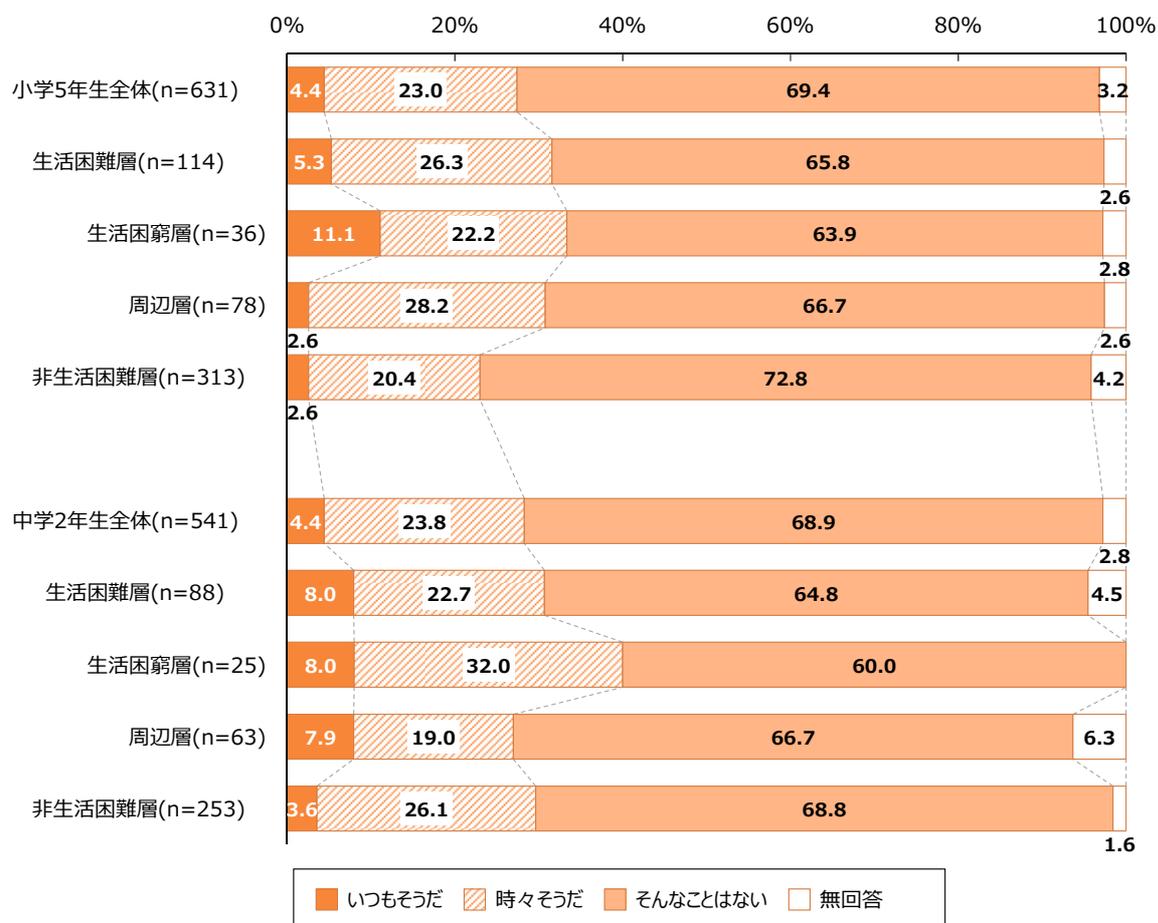
小学5年生、中学2年生とも生活困難度による大きな差はみられませんが、中学2年生の生活困窮層の24.0%は「そんなことはない」と回答しています。



## Q とても悲しい気がする

とても悲しい気がするかについて、「いつもそうだ」「時々そうだ」を合わせた割合は、小学5年生の全体で27.4%，生活困難度別では、生活困窮層で33.3%，周辺層で30.8%，非生活困難層で23.0%と生活困難度が高い層ほど悲しい気がする割合が高くなっています。

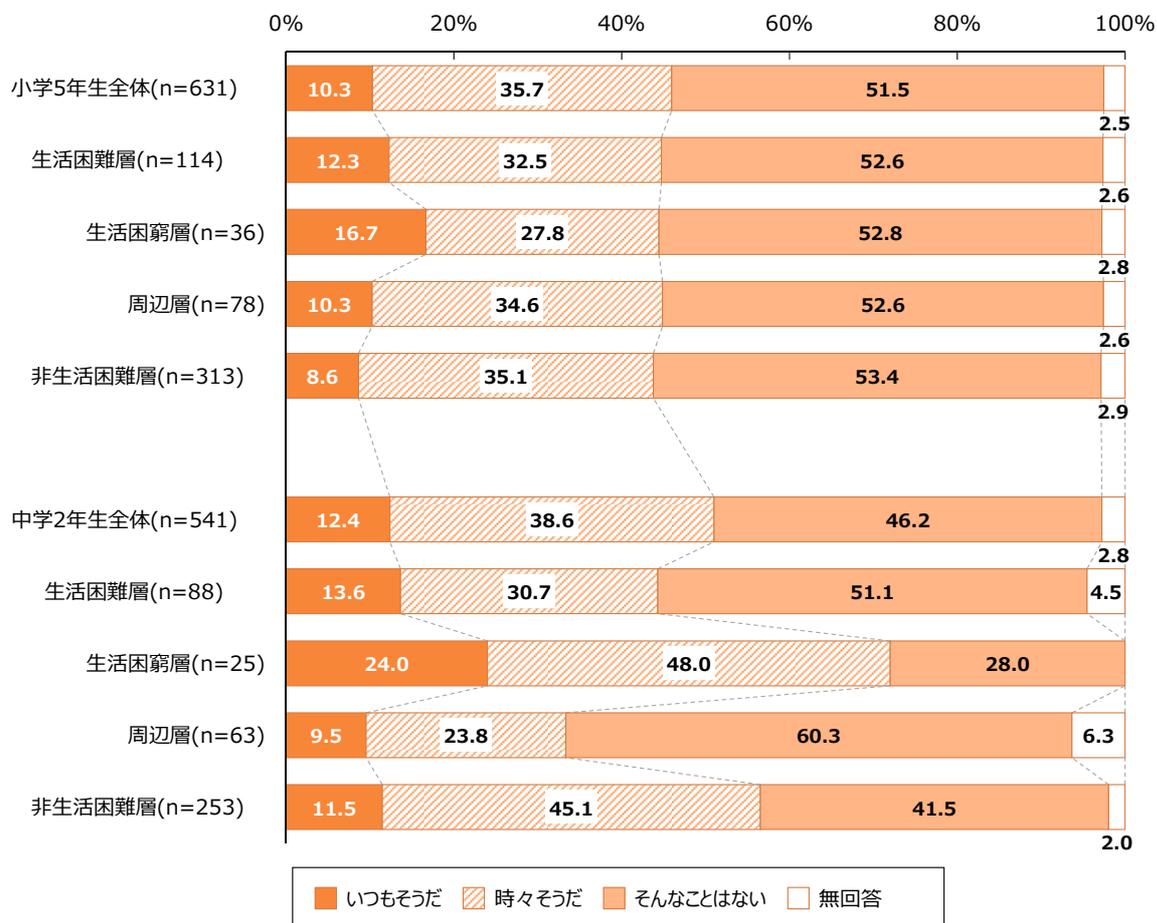
中学2年生では、小学5年生ほど明確な差はありませんが、生活困窮層で40.0%と高くなっています。



## R とても退屈な気がする

とても退屈な気がするかについて、「いつもそうだ」「時々そうだ」を合わせた割合は、小学5年生では、いずれの層も45%前後と生活困難度による明確な差はみられません。

中学2年生では、全体で51.0%、生活困難度別では、周辺層の33.3%に対し、生活困窮層で72.0%と40ポイントほど退屈な気がする割合が高くなっています。



# 第6章 子育てと各種制度・サービス

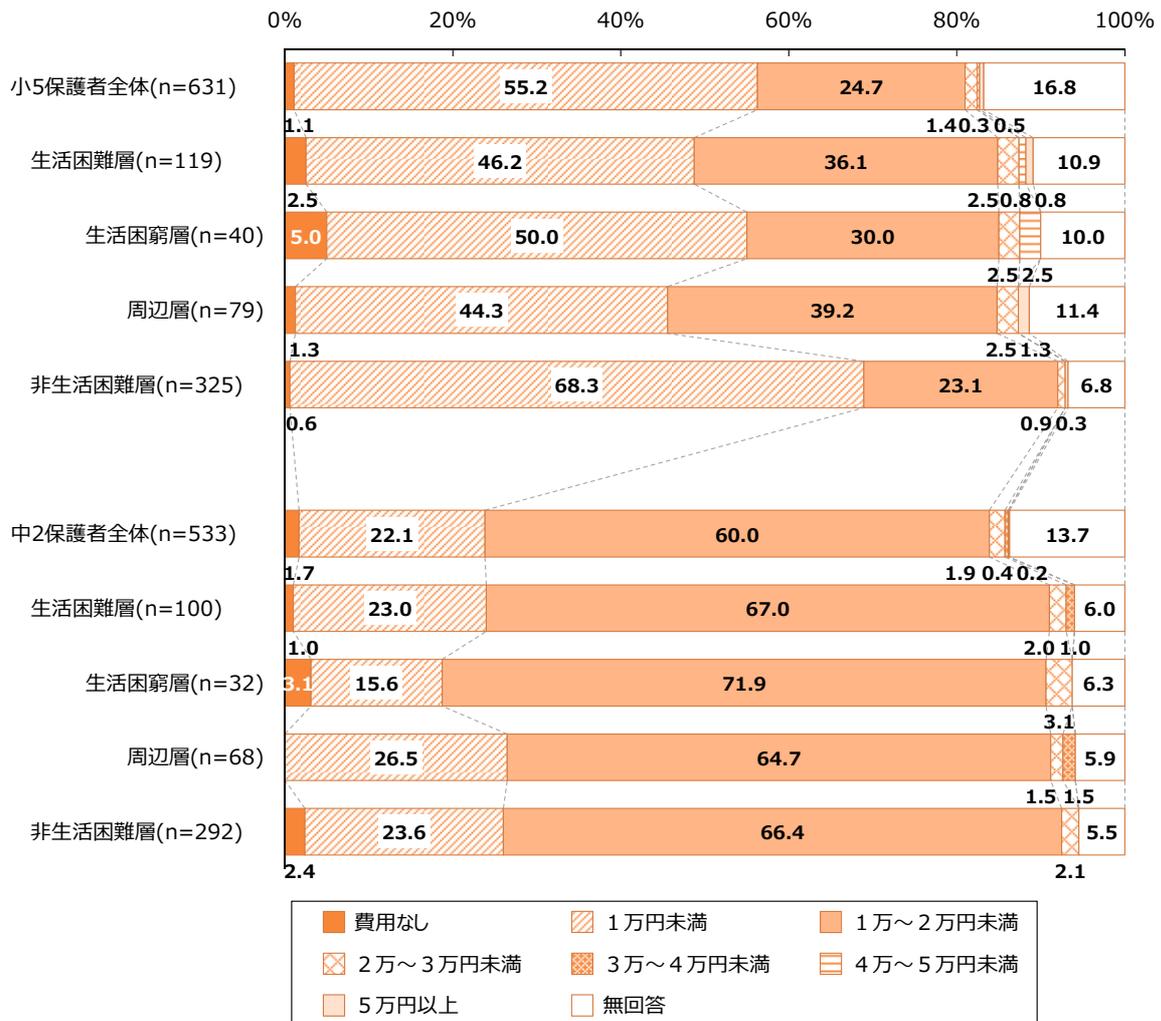
## 1 子育てにかかる費用

▼この調査票を持ち帰ったお子さんの生活費や学費について、おうかがいします。次のA～Hの費用は、毎月いくらくらいかかっていますか。平均的な金額を教えてください。  
(保/問 19)

### A 授業料・学校納付金（給食費含む）

授業料・学校納付金・給食費について、小学5年生では、全体で「1万円未満」が55.2%、「1万～2万円未満」が24.7%となっています。生活困難度別でも同様の傾向となっていますが、非生活困難層で「1万円未満」が68.3%と高く、「1万～2万円未満」が23.1%で低くなっています。

中学2年生では、全体で「1万円未満」が22.1%、「1万～2万円未満」が60.0%となっています。生活困難度別では、生活困窮層で「1万～2万円未満」が71.9%と高くなっています。



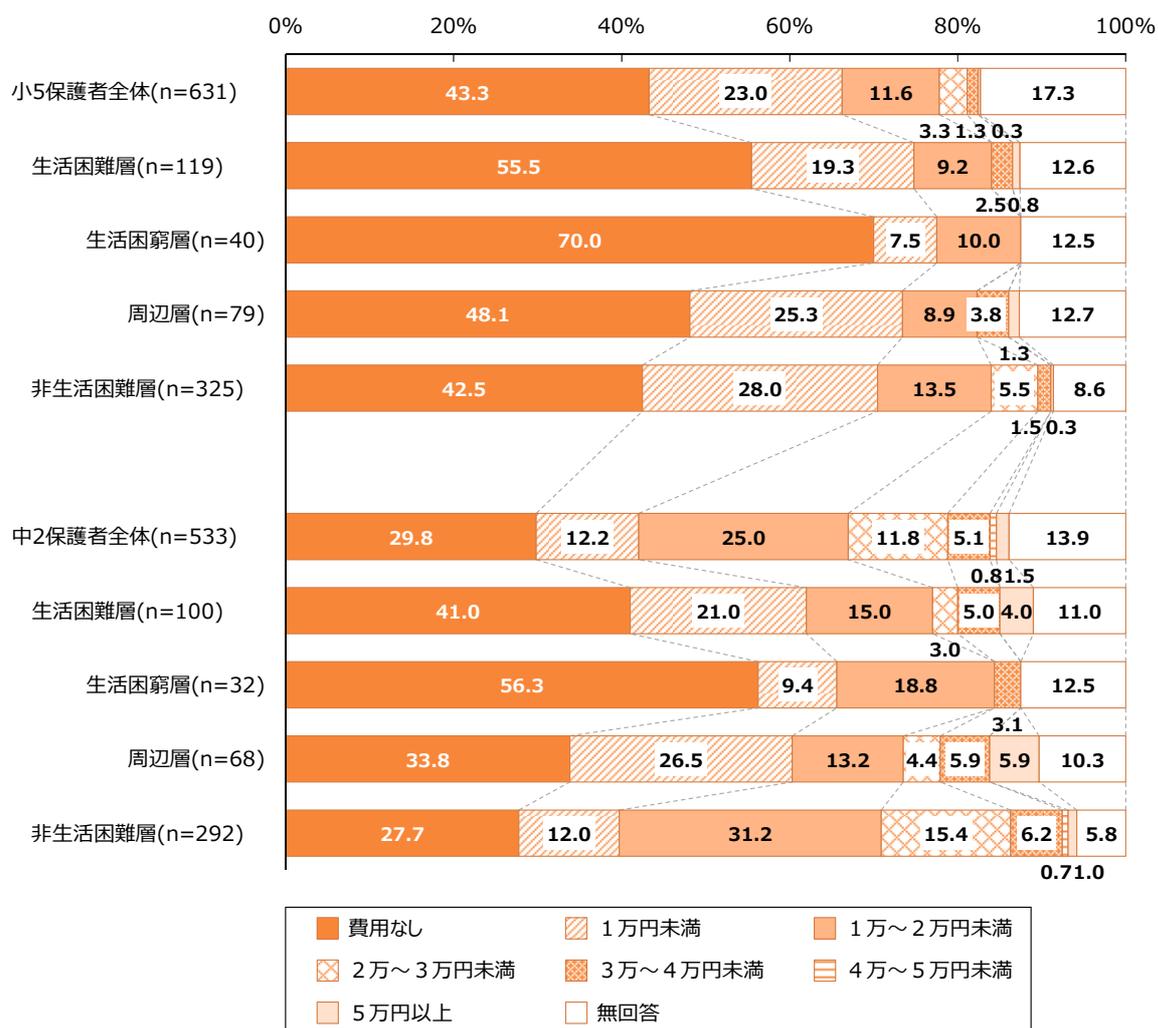
## B 塾など、学校外でかかる教育費

塾など、学校外でかかる教育費について、小学5年生全体では、「費用なし」が43.3%、「1万円未満」が23.0%、「1万～2万円未満」が11.6%となっています。

「費用なし」の割合を生活困難度別で見ると、生活困窮層で70.0%、周辺層で48.1%、非生活困難層で42.5%と生活困難度が高い層で割合が高くなっており、塾などにお金がかけていない状況がうかがえます。

中学2年生全体では、「費用なし」が29.8%、「1万～2万円未満」25.0%、「1万円未満」が12.2%となっています。

生活困難度別にみた「費用なし」の割合は、小学5年生と同様の傾向となっています。



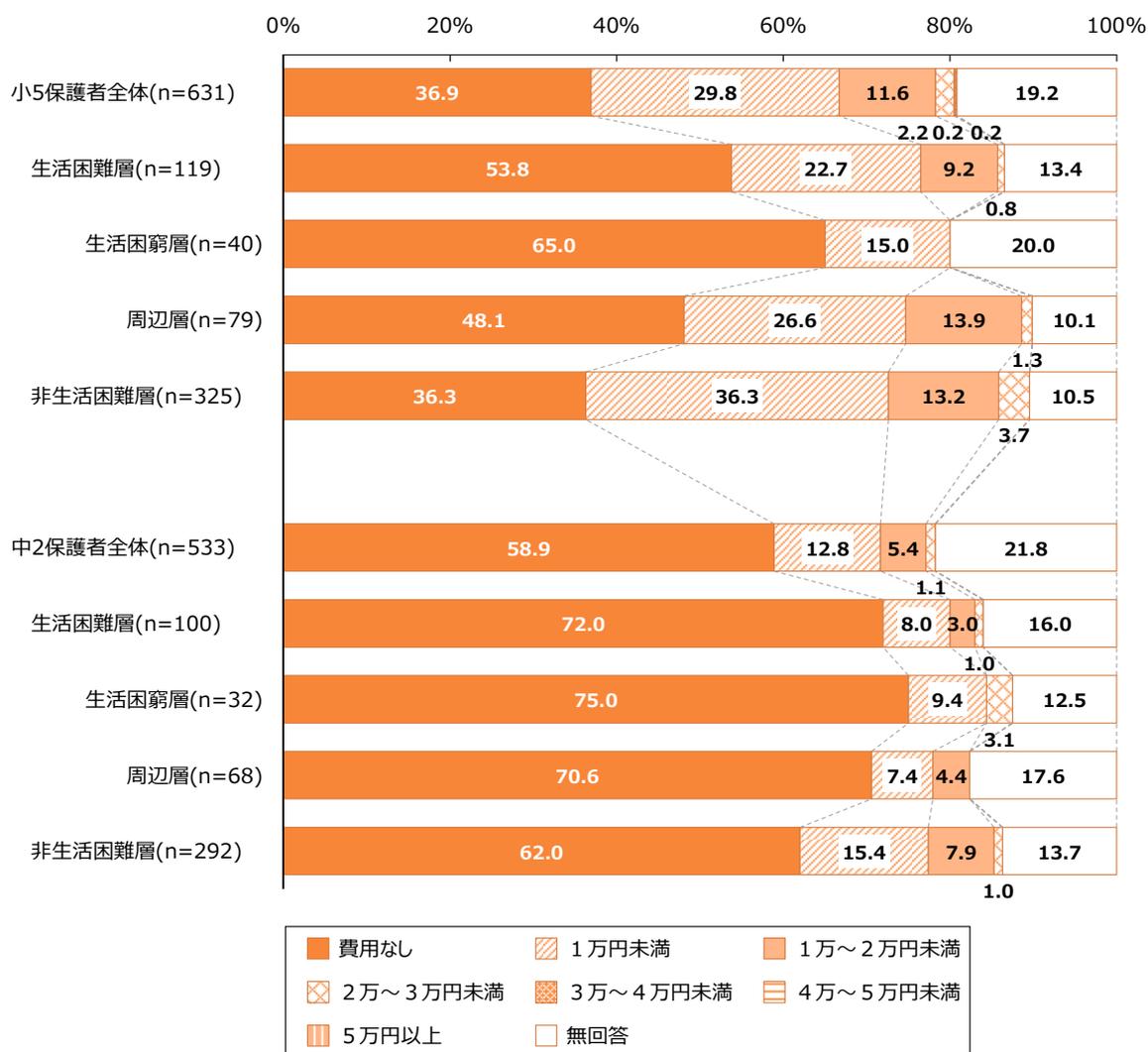
## C 習いごと（スポーツクラブなど以外）

習いごと（スポーツクラブなど以外）について、小学5年生全体では、「費用なし」が36.9%、「1万円未満」が29.8%、「1万～2万円未満」が11.6%となっています。

「費用なし」の割合を生活困難度別で見ると、生活困窮層で65.0%、周辺層で48.1%、非生活困難層で36.3%となっています。

中学2年生全体では、「費用なし」が29.8%、「1万～2万円未満」25.0%、「1万未満」が12.2%となっています。

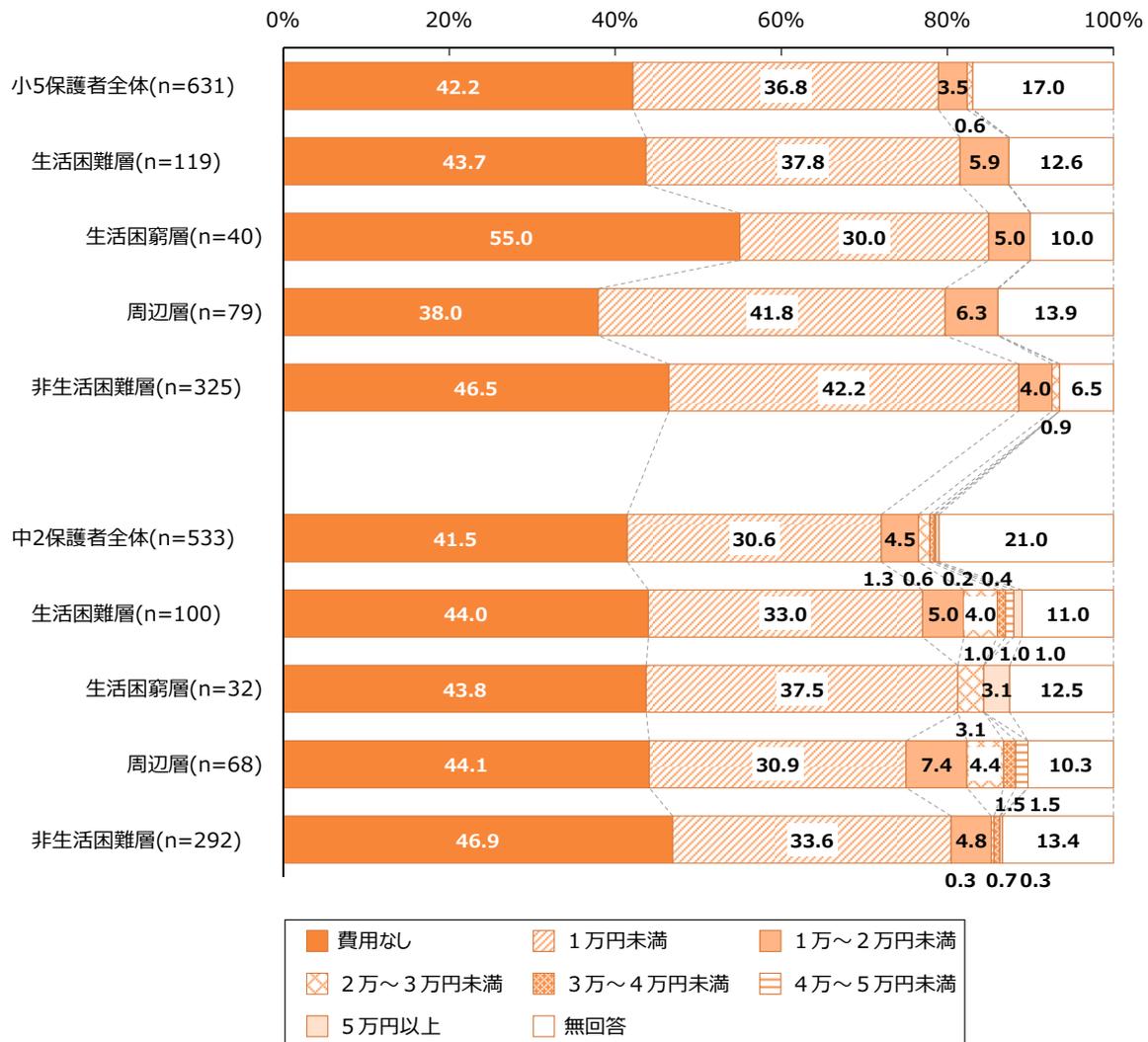
中学2年生では、小学5年生に比べ「費用なし」の割合が10～20ポイントほど高く、全体で58.9%、生活困難度別では、生活困窮層で75.0%、周辺層で70.6%、非生活困難層で62.0%となっています。小学5年生、中学2年生とも生活困難度が高い層ほど習いごとにお金がかけていない状況がうかがえます。



## D スポーツクラブ・部活動

スポーツクラブ・部活動について、小学5年生の全体では、「費用なし」が42.2%、「1万円未満」が36.8%となっています。生活困難度別では、生活困窮層で「費用なし」が55.0%と半数を超え高くなっています。

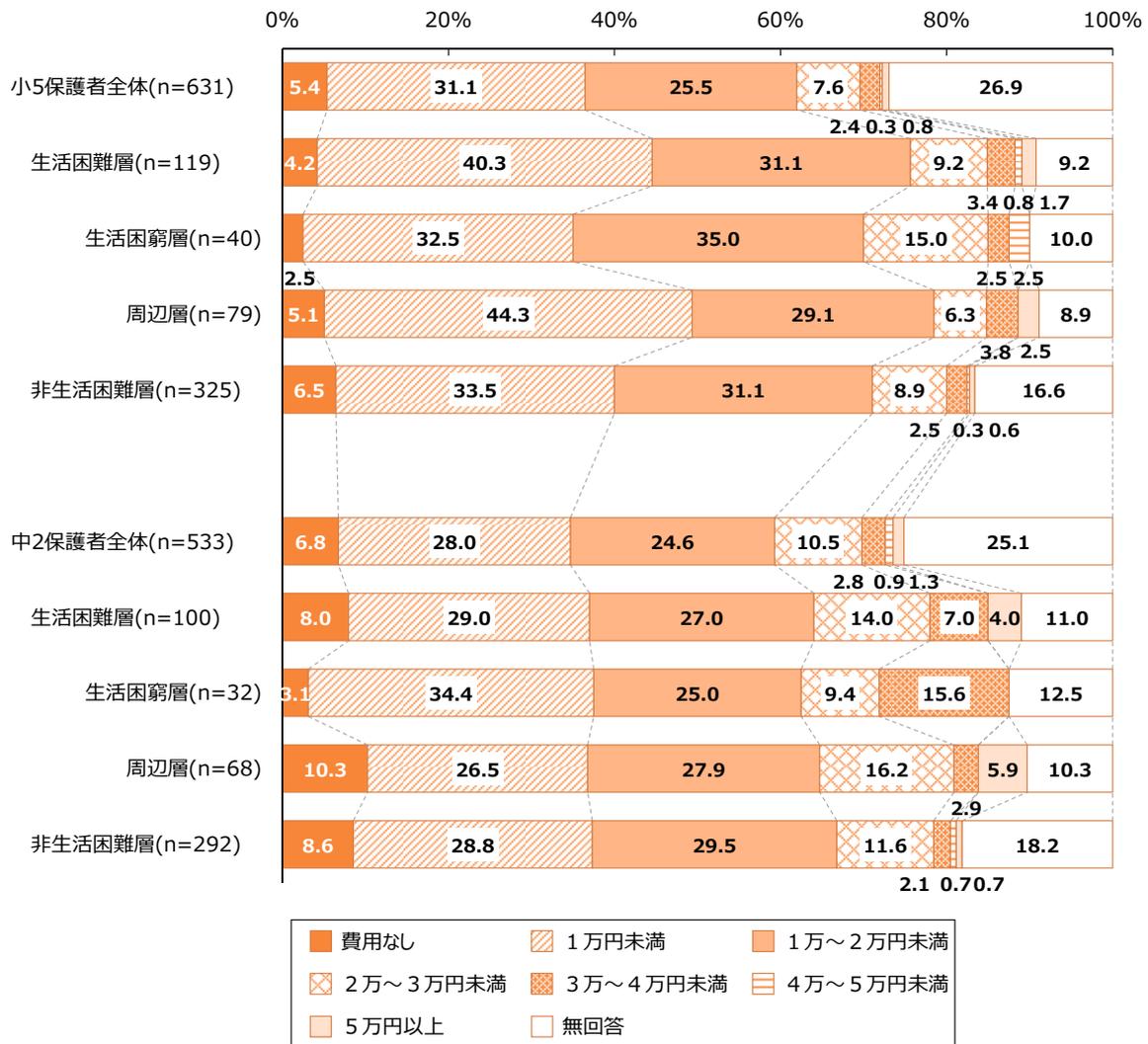
中学2年生では、全体で「費用なし」が41.5%、「1万円未満」が30.6%となっています。生活困難度別にみると「費用なし」の割合に差はみられませんが、生活困窮層で「1万円未満」が37.5%とやや低くなっています。



## E 子どもの昼食代（弁当代含む）、夕食代、おやつ代（外食含む）

子どもの昼食代、夕食代、おやつ代について、小学5年生の全体では、「1万円未満」が31.1%「1万～2万円未満」が25.5%となっています。生活困難度別では、生活困窮層で「1万～2万円未満」の35.0%及び「2万～3万円未満」の15.0%が高くなっています。

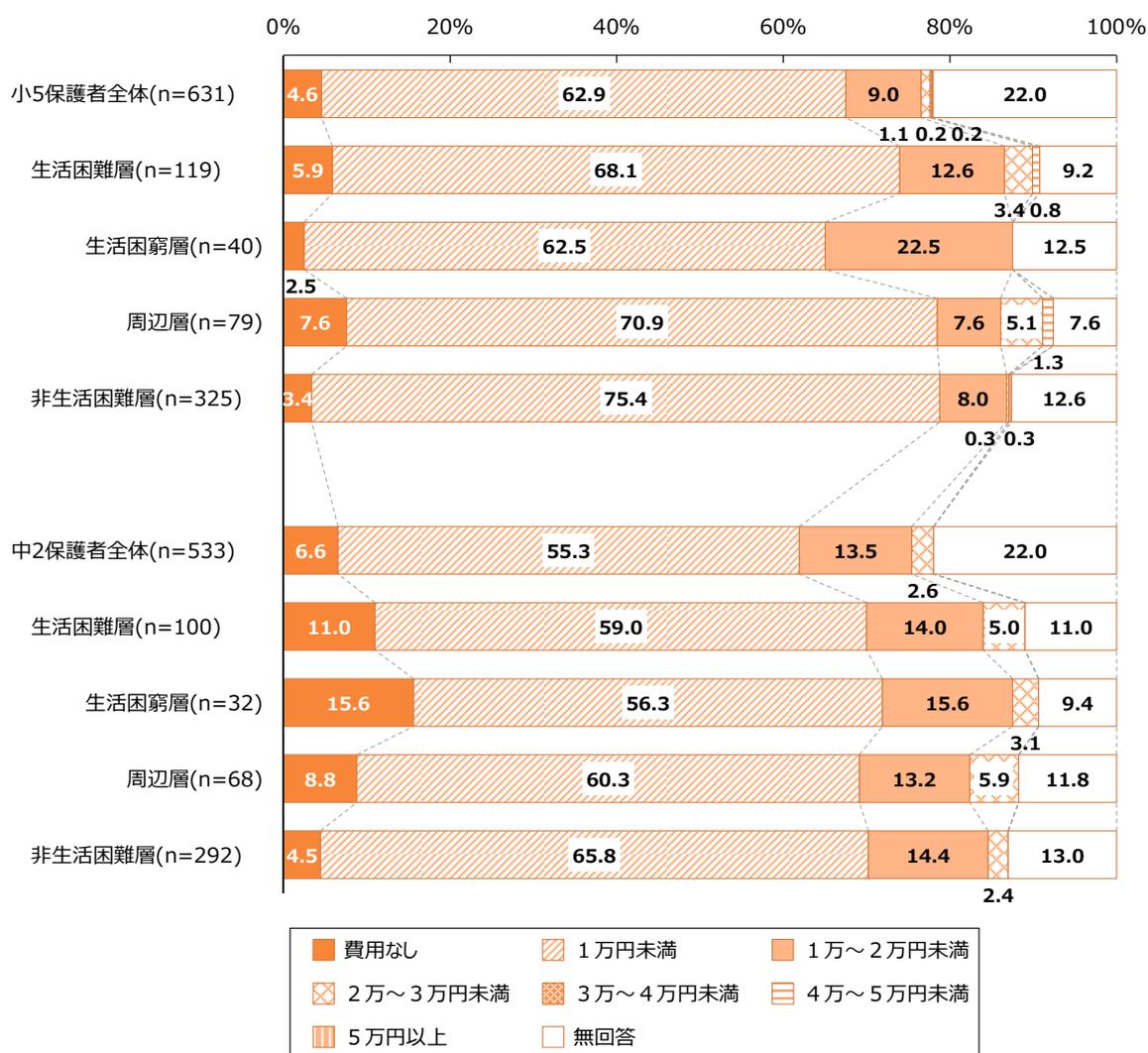
中学2年生では、全体で「1万円未満」が28.0%、「1万～2万円未満」が24.6%となっており、生活困難度別でも同様の傾向となっていますが、生活困窮層で、「3万～4万円未満」が15.6%と他の層に比べ高くなっています。



## F 子どもの服・靴

子どもの服・靴について、小学5年生の全体では、「1万円未満」が62.9%、「1万円～2万円未満」が9.0%となっています。生活困難度別でも「1万円未満」が多数を占めていますが、生活困窮層で62.5%と他の層に比べ若干低く、「1万円～2万円未満」が22.5%と高くなっています。

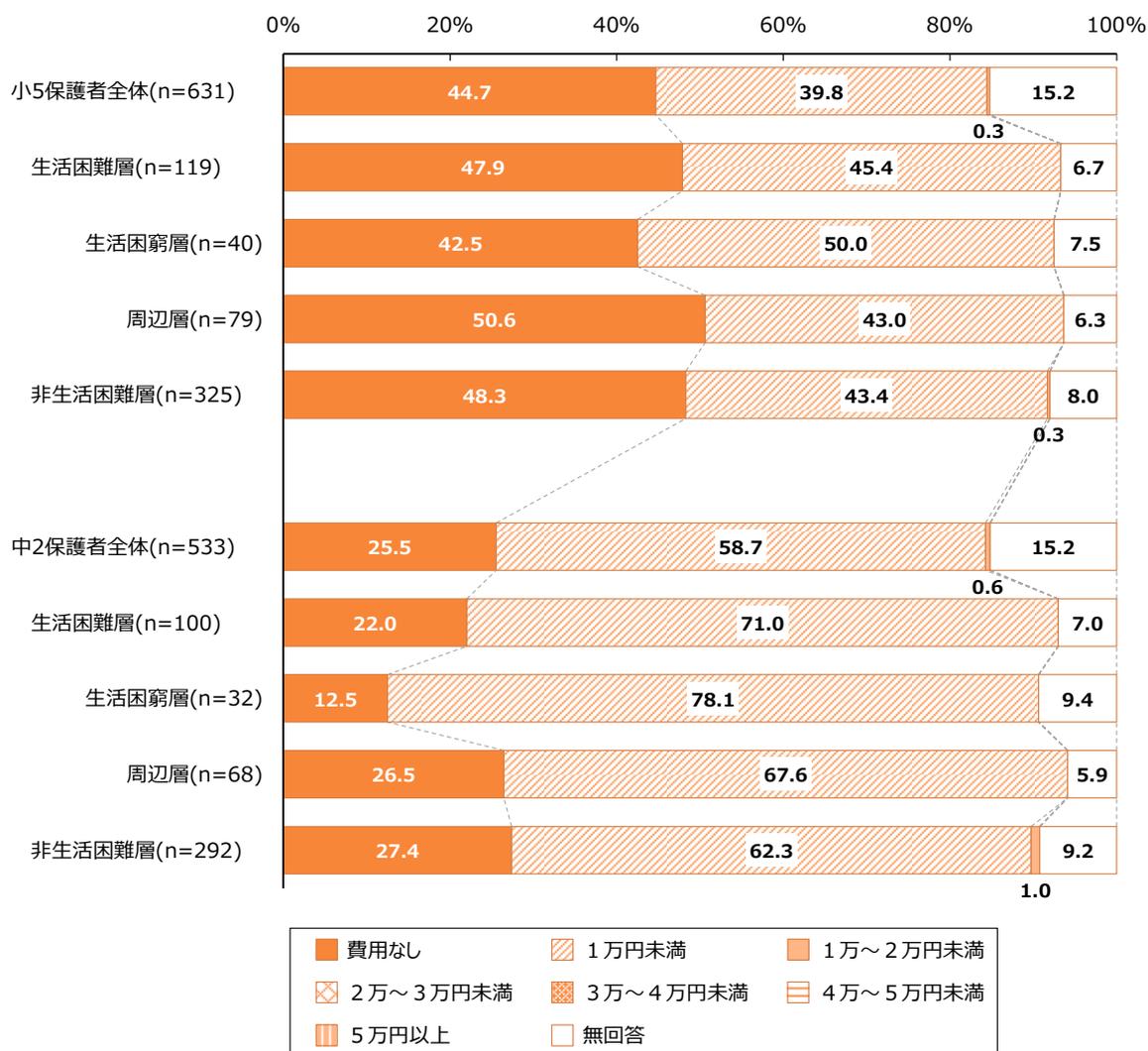
中学2年生では、全体で「1万円未満」が55.3%、「1万円～2万円未満」が13.5%となっています。生活困難度別にみても、生活困難度による大きな差はみられませんが、「費用なし」の割合は、明確な相関がみられ、生活困難度が高い層ほど高くなっています。



## G お小遣い

お小遣いについて、小学5年生では、全体で「費用なし」が44.7%、「1万円未満」が39.8%となっています。生活困難度別でも、割合に明確な差はみられず同様の傾向となっています。

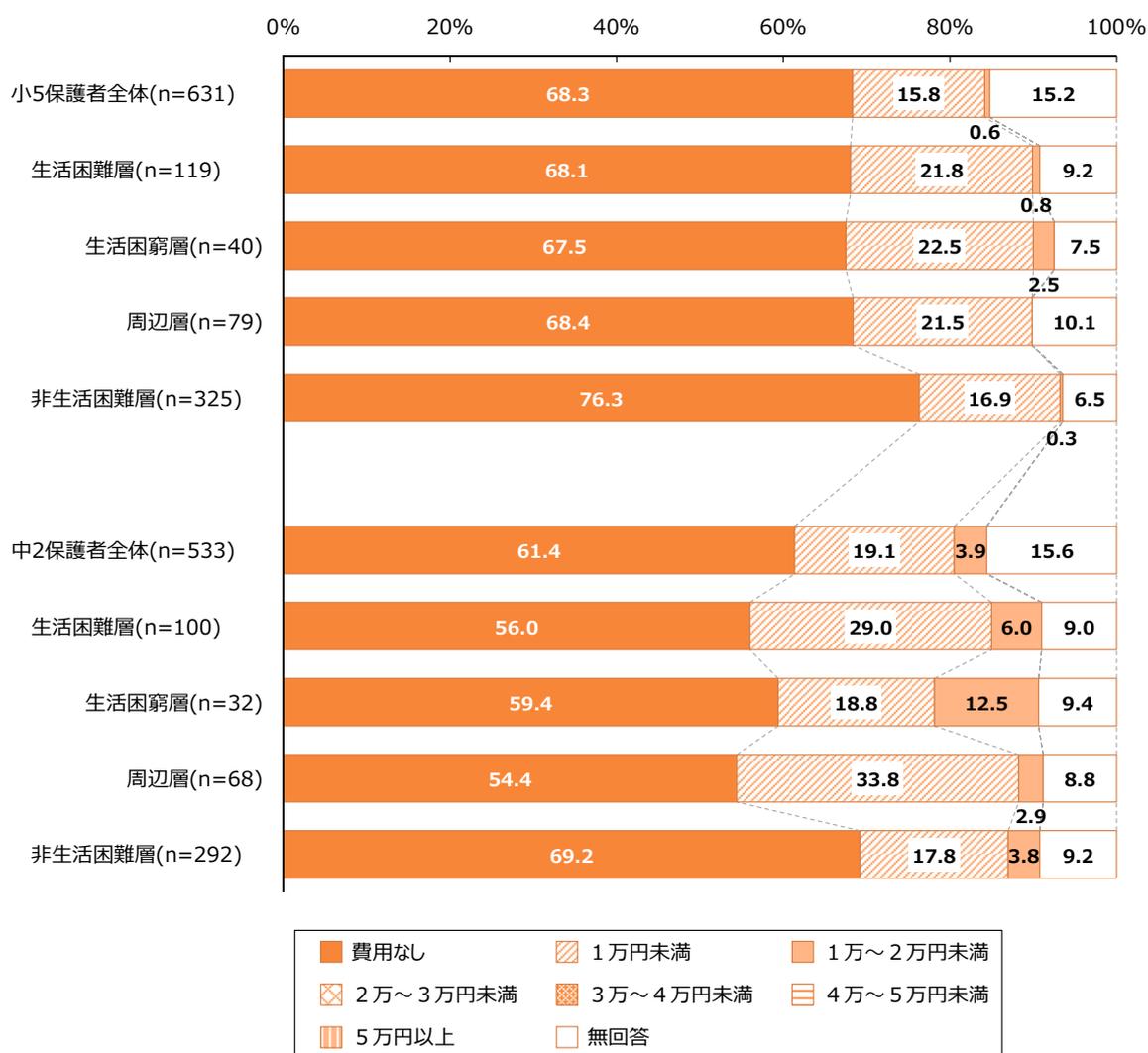
中学2年生では、全体で「1万円未満」が58.7%、「費用なし」が25.5%となっています。生活困難度別でみると、「1万円未満」の割合は、生活困窮層で78.1%、周辺層で67.6%、非生活困難層で62.3%と生活困難度が高い層ほど、お小遣いをもらっている割合が高くなっています。



## H (子どもの) 携帯・スマートフォンの代金

携帯・スマートフォンの代金について、小学5年生では、全体で「費用なし」が68.3%、「1万円未満」が15.8%となっています。生活困難度別では、「費用なし」の割合に明確な相関はみられず、非生活困難層で76.3%と高くなっています。

中学2年生では、全体で「費用なし」が61.4%、「1万円未満」が19.1%となっています。生活困難度別にみても「費用なし」の割合に明確な相関はみられず、非生活困難層で69.2%と高くなっています。また、生活困窮層で「1万～2万円未満」が12.5%と他の層に比べ3～4倍高くなっています。



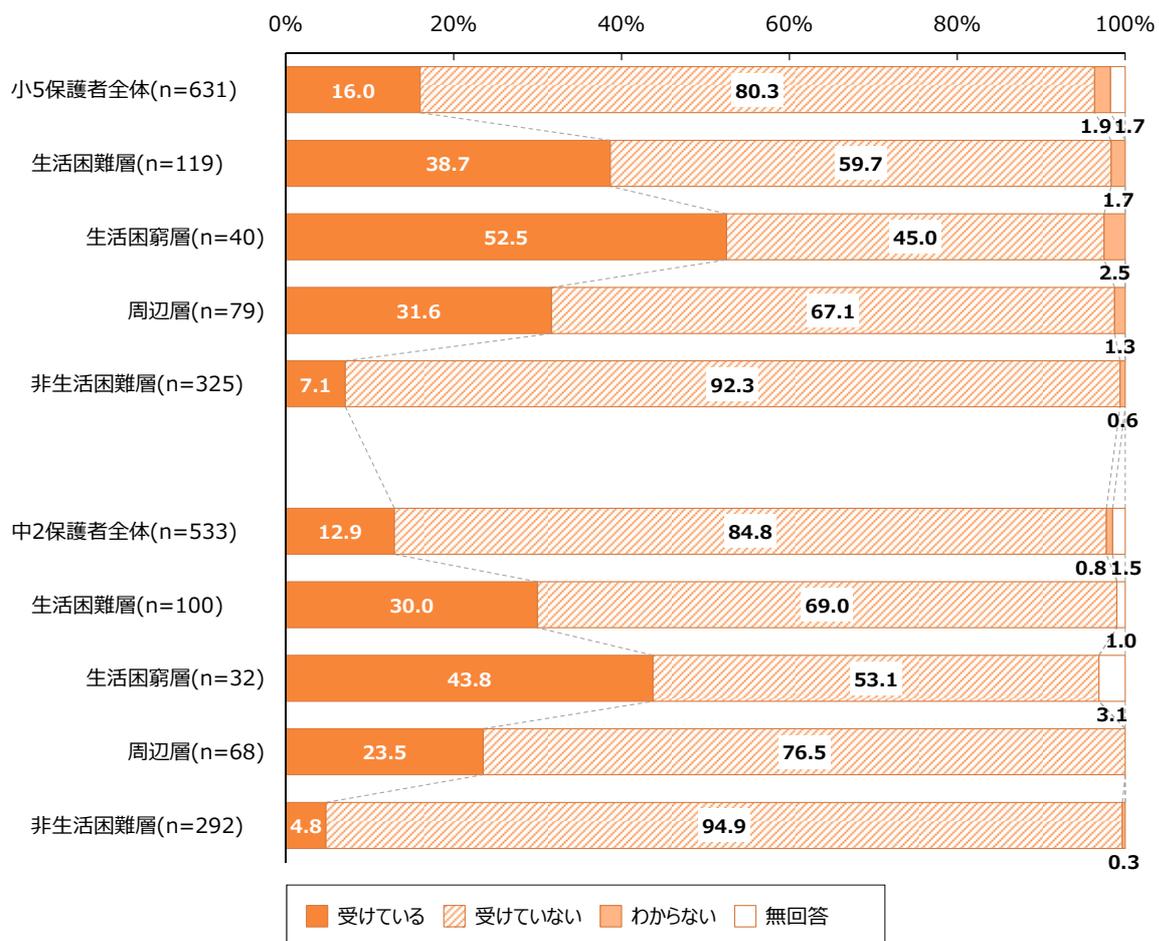
## 2 就学援助

### (1) 就学援助受給状況と受給していない理由

▼あなたのご家庭では、この調査票を持ち帰ったお子さんのために就学援助を受けていますか。  
(保/問 20)

就学援助の受給状況について、「受けている」割合は、小学5年生全体で16.0%、中学2年生全体で12.9%となっています。

生活困難度別でみると、小学5年生では生活困窮層の52.5%、周辺層の31.6%、中学2年生では、生活困窮層の43.8%、周辺層の23.5%が受給している状況となっています。



▼問 20 で「2 受けていない」を選んだ方におうかがいします。

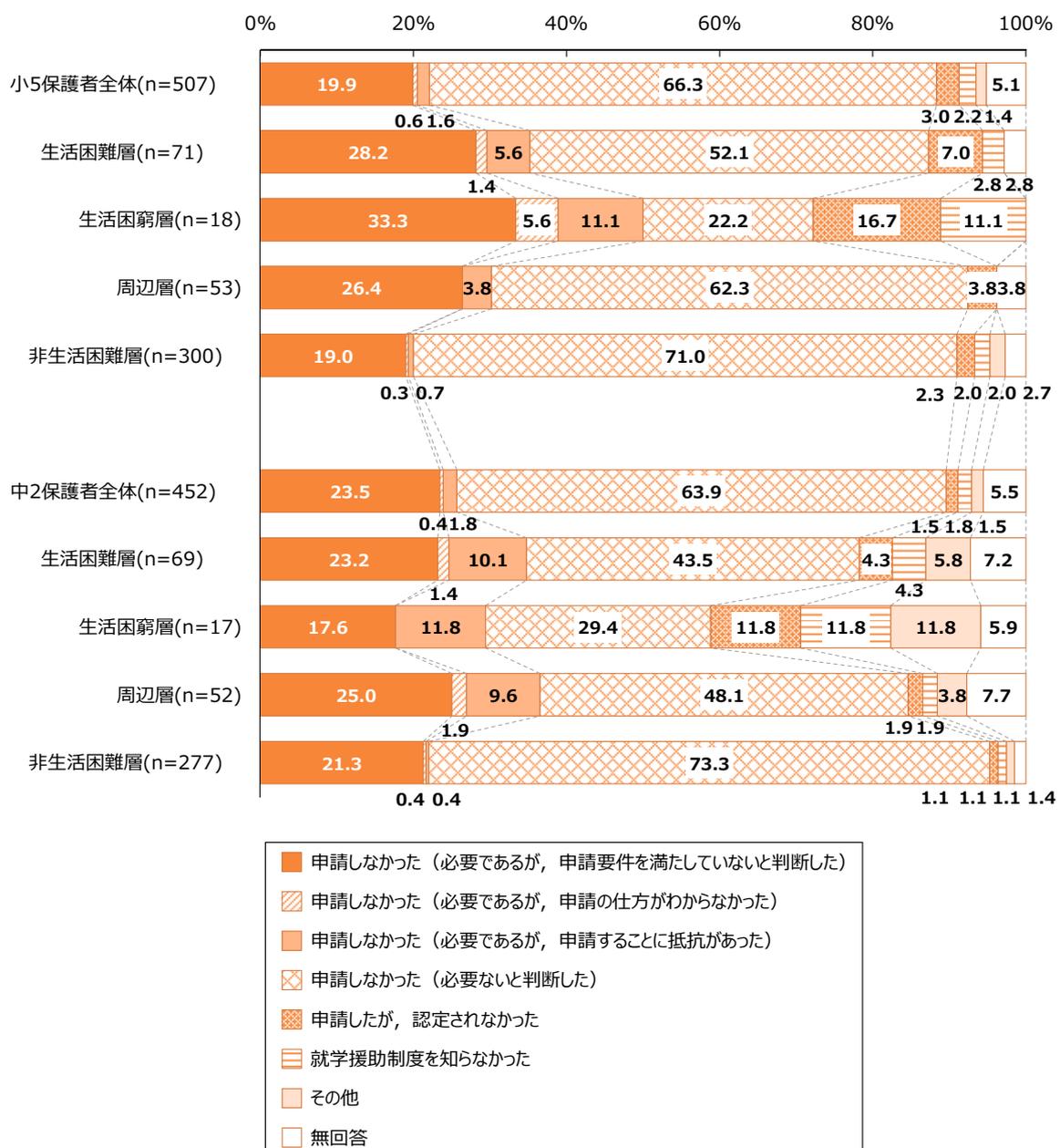
受けていない理由は、何ですか。次のうち最も近いものに○をつけてください。

(保/問 20-2)

受けていないと回答した人の理由として、小学 5 年生では、「申請しなかった（必要ないと判断した）」が全体で 66.3%と多数を占めています。生活困難度別では、「申請しなかった（必要であるが、申請要件を満たしていないと判断した）」が生活困窮層で 33.3%、周辺層で 26.4%、非生活困難層で 19.0%と生活困難度が高い層ほど高くなっています。

中学 2 年生では、「申請しなかった（必要ないと判断した）」が全体で 63.9%と多数を占め、生活困難度別では、「申請しなかった（必要であるが、申請要件を満たしていないと判断した）」が 2 割前後と明確な差はみられません。

また、小学 5 年生の生活困窮層の 11.1%、中学 2 年生の生活困窮層の 11.8%が「就学援助制度を知らなかった」と回答しています。



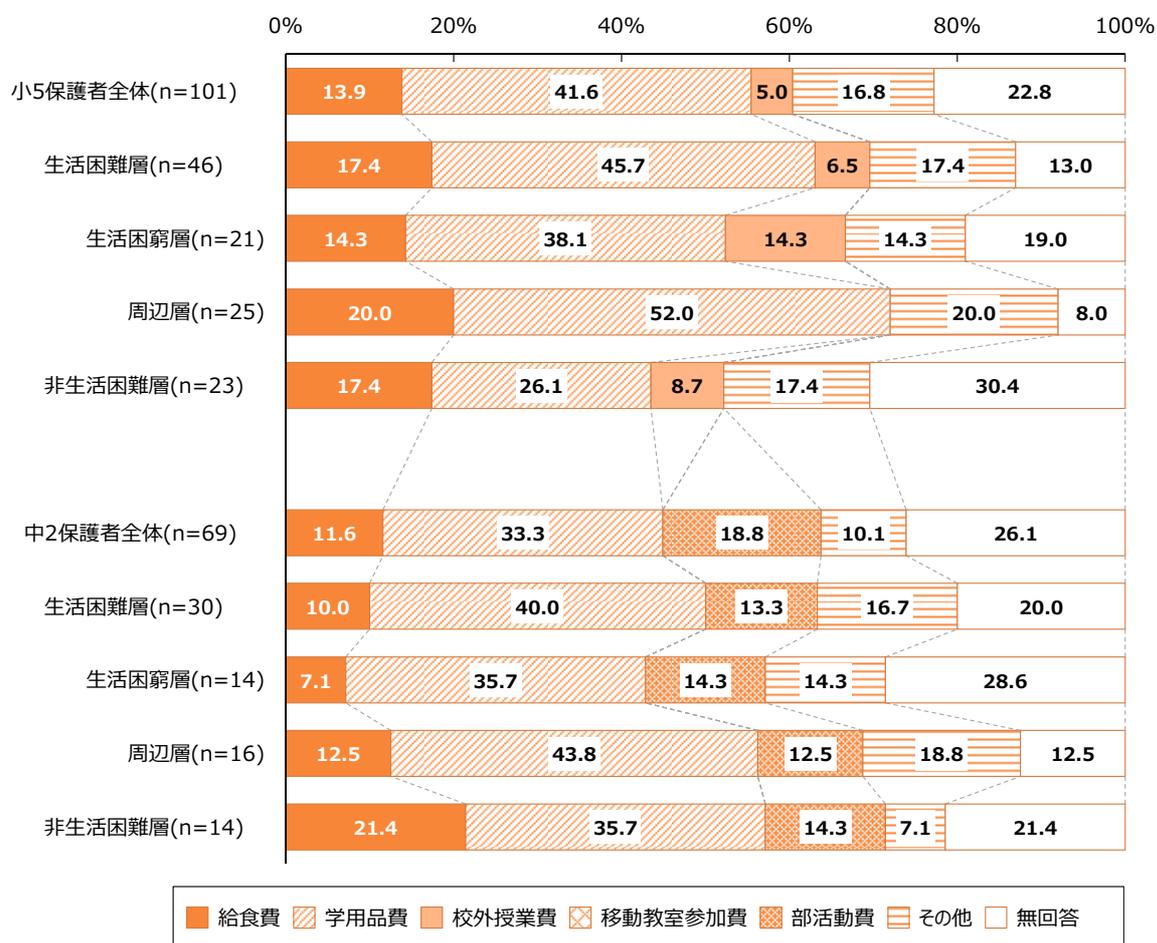
## (2) 支給額と実費との差が大きい経費

▼問 20 で「1 受けている」を選んだ方におうかがいします。

就学援助で支給されている額と実際にかかった額とで、その差が大きいものは何の経費ですか。(保/問 20-1)

就学援助を受けている人で、支給額と実費の差が大きいものについて、小学 5 年生全体では「学用品費」が 41.6%、「給食費」が 13.9%となっています。生活困難度別でも周辺層で「学用品費」が 52.0%と半数以上を占めているものの、各層の割合に大きな差はみられず同様の傾向となっています。

中学 2 年生では、全体で「学用品費」が 33.3%、「部活動費」が 18.8%となっています。生活困難度別でも大きな差はみられず同様の傾向となっていますが、「給食費」では、生活困窮層の 7.1%に対し、非生活困難層で 21.4%と 3 倍になっています。



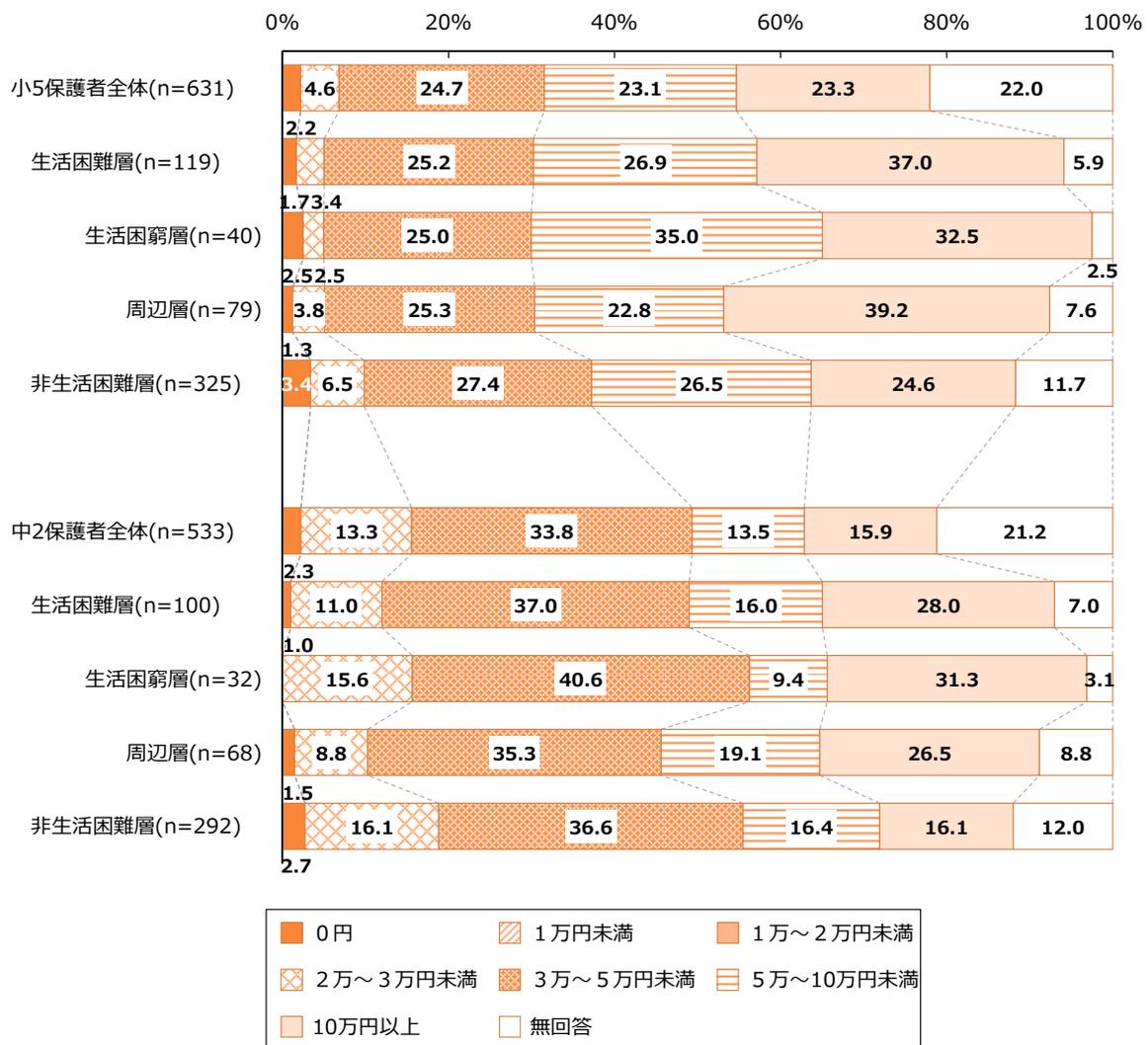
### 3 公的年金等の支給額

▼あなたの世帯で、次のような公的年金、社会保障給付金の1回あたりの支給額はいくらですか。(保/問21)

#### A 児童手当

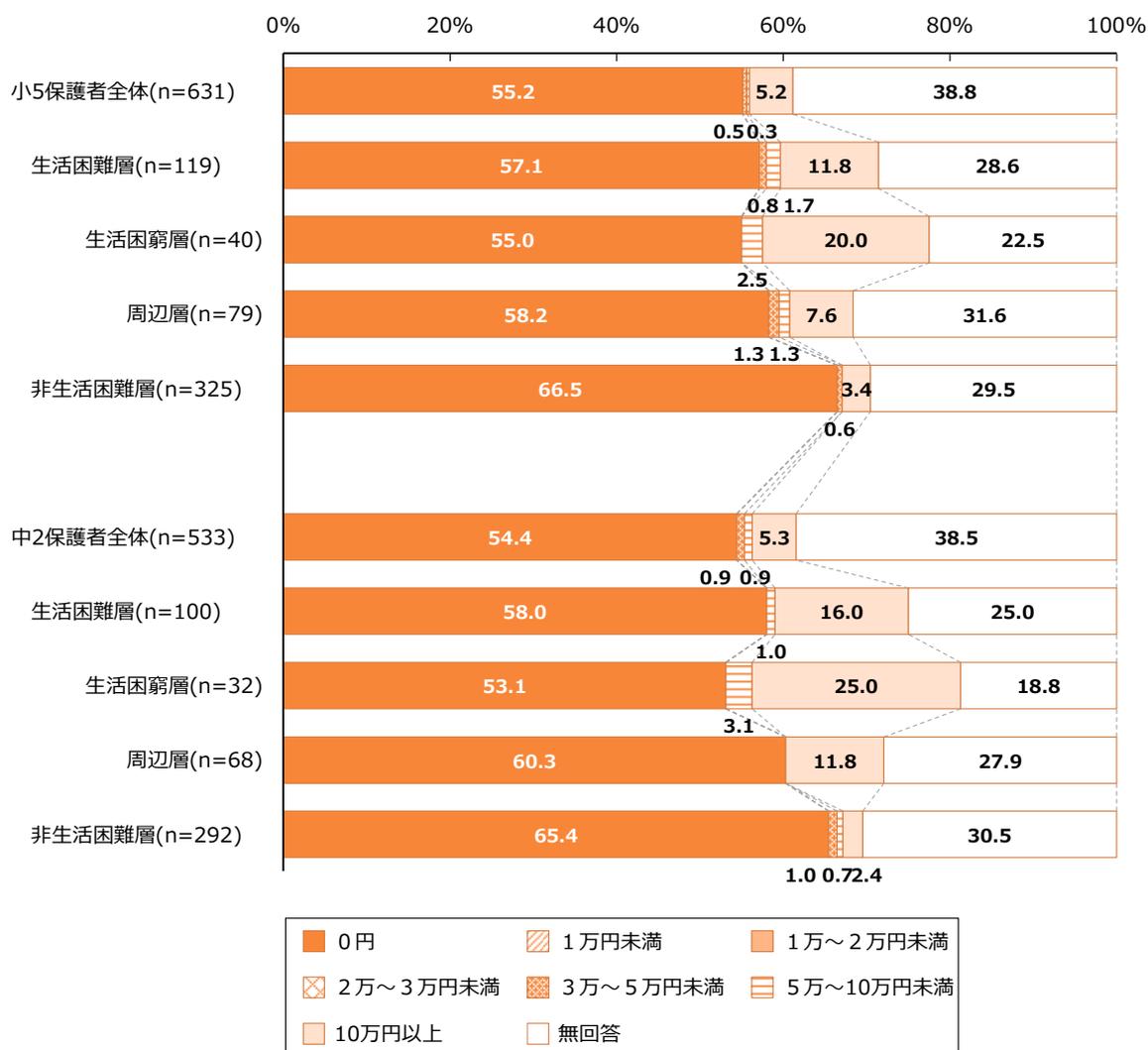
児童手当の1回あたりの支給額について、小学5年生の全体では、「3万～5万円未満」が高く24.7%、生活困難度別でみると、生活困窮層では「5万～10万円未満」が高く35.0%、周辺層では「10万円以上」が高く37.0%となっています。

中学2年生では総じて「3万～5万円未満」が高く、全体の33.8%、生活困窮層の40.6%、周辺層の35.3%、非生活困窮層の36.6%が回答しています。また、生活困窮層では、31.3%が「10万円以上」と回答している一方、いずれの層でも「2万～3万円未満」との回答が8%～16%ありました。



## B 児童扶養手当

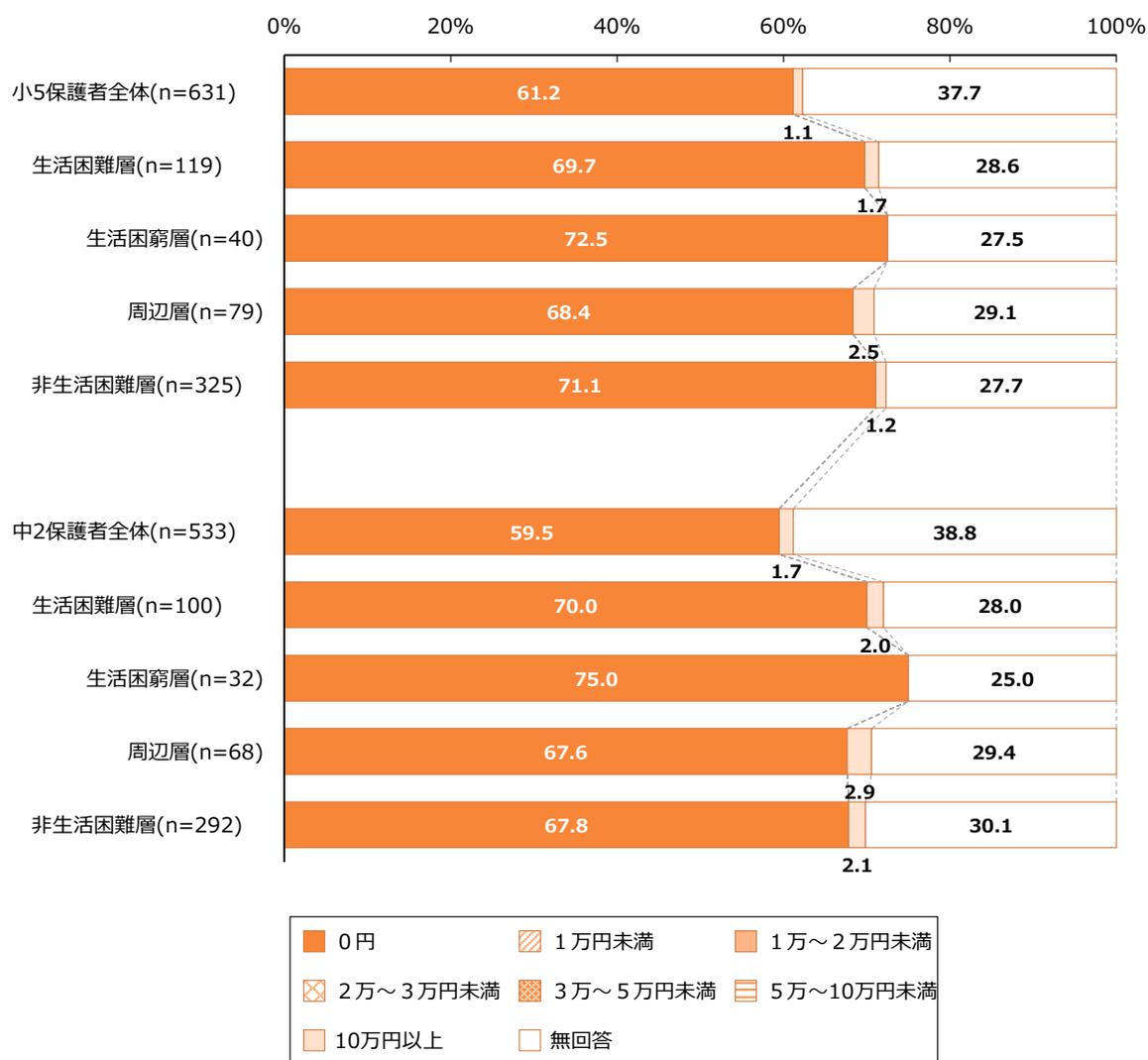
児童扶養手当の1回あたりの支給額について、「0円」が多数を占めていますが、「10万円以上」の割合を生活困難度別にみると、小学5年生の生活困窮層で20.0%、周辺層で7.6%、中学2年生の生活困窮層で25.0%、周辺層で11.8%となっています。



## C 特別児童扶養手当

特別児童扶養手当の1回あたりの支給額について、いずれも「0円」が多数を占めており、「10万円以上」との回答は、小学5年生全体で1.1%、周辺層で2.5%、非生活困難層で1.2%となっています。

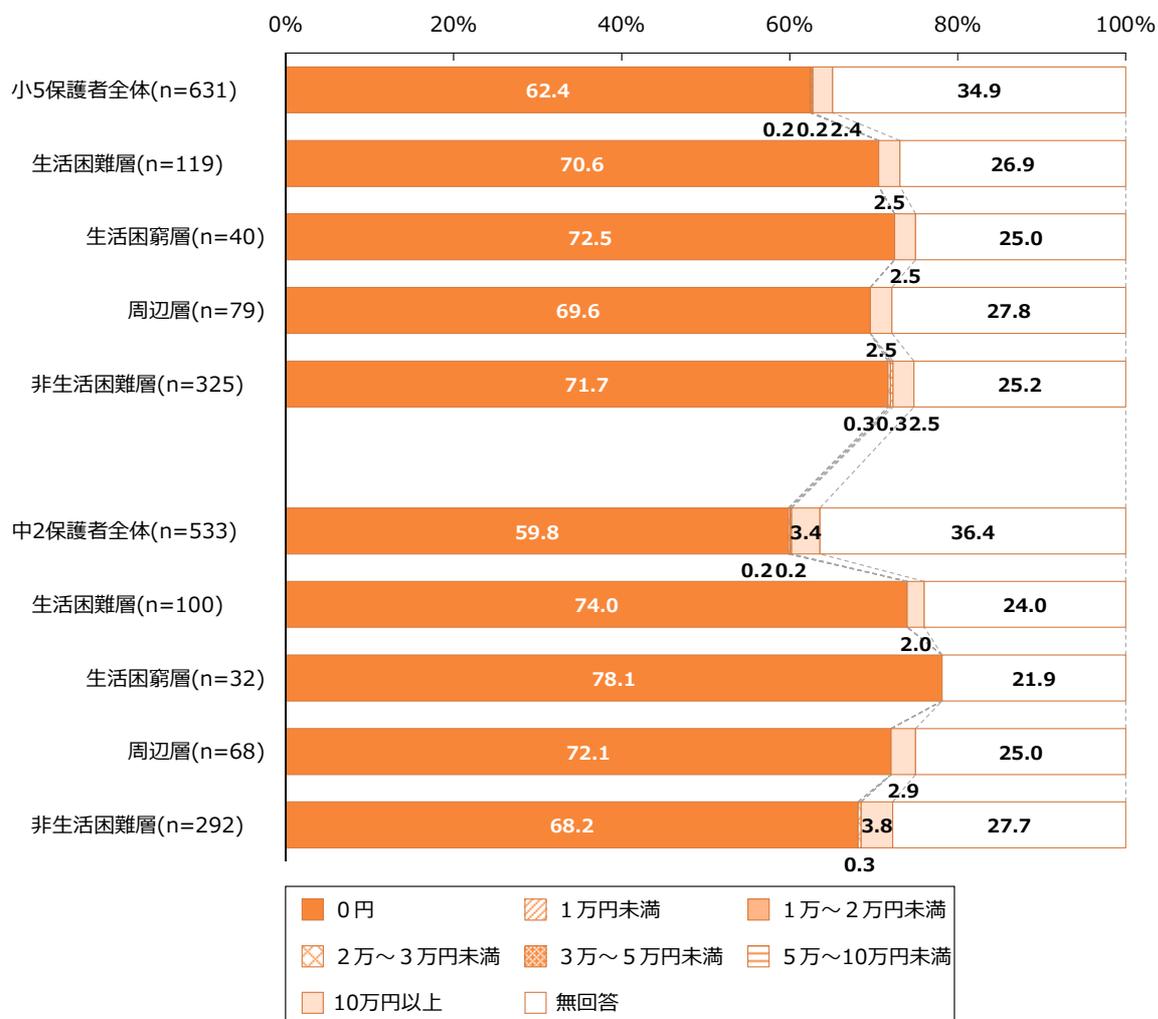
中学2年生では、全体で1.7%、周辺層で2.9%、非生活困難層で2.1%となっています。



## D 年金（遺族年金，老齢年金など）

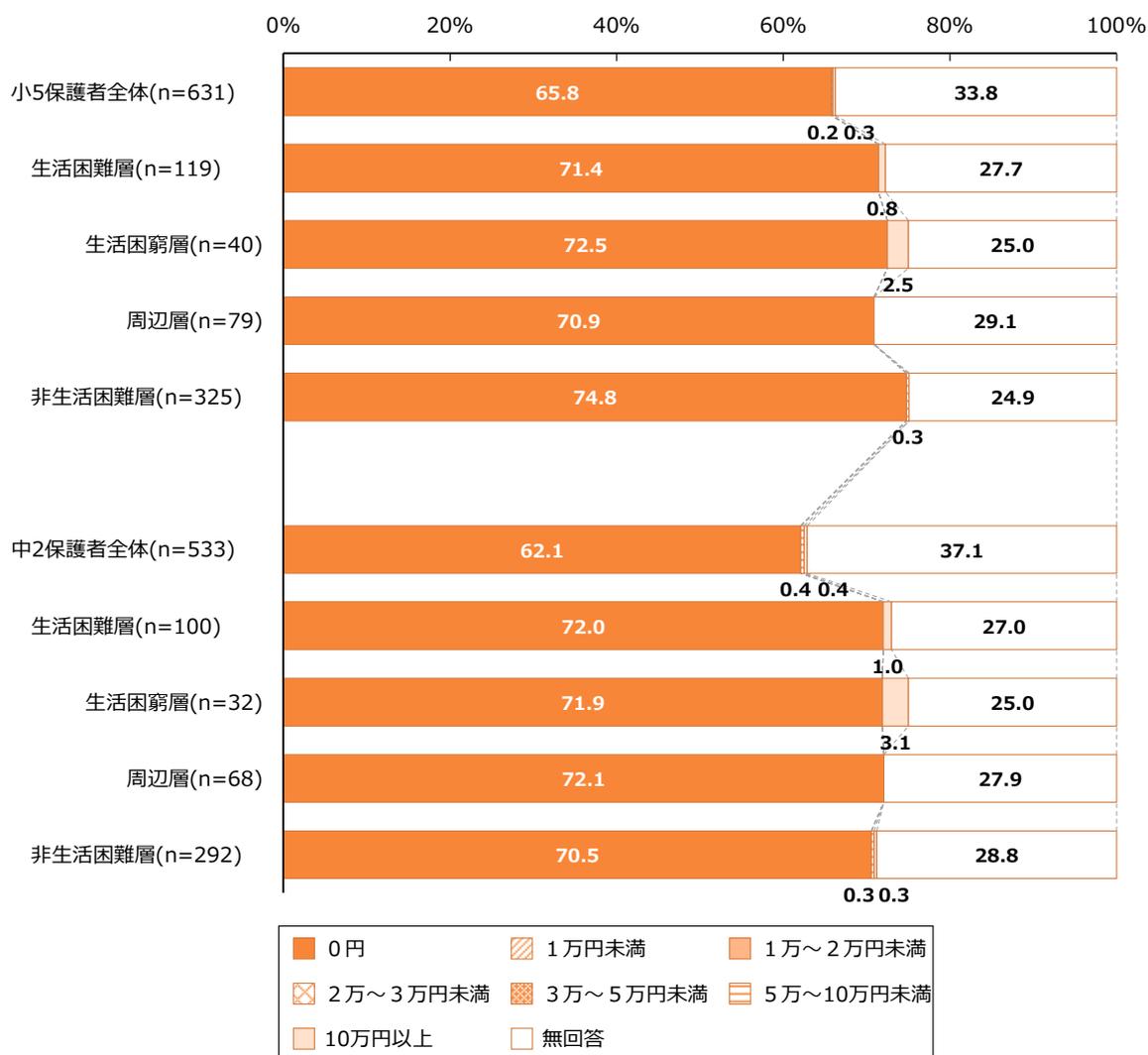
年金（遺族年金，老齢年金など）の1回あたりの支給額について，いずれも「0円」が多数を占めており，「10万円以上」との回答は，小学5年生全体で2.4%，生活困難度別ではいずれの層も2.5%となっています。

中学2年生では，全体で3.4%，周辺層で2.9%，非生活困難層で3.8%となっています。



## E 生活保護

生活保護の1回あたりの支給額について、いずれも「0円」が多数を占めており、「10万円以上」との回答は、小学5年生全体で0.3%、生活困窮層で2.5%、中学2年生では、全体で0.4%、生活困窮層で3.1%、非生活困難層で0.3%となっています。



## 4 世帯年収

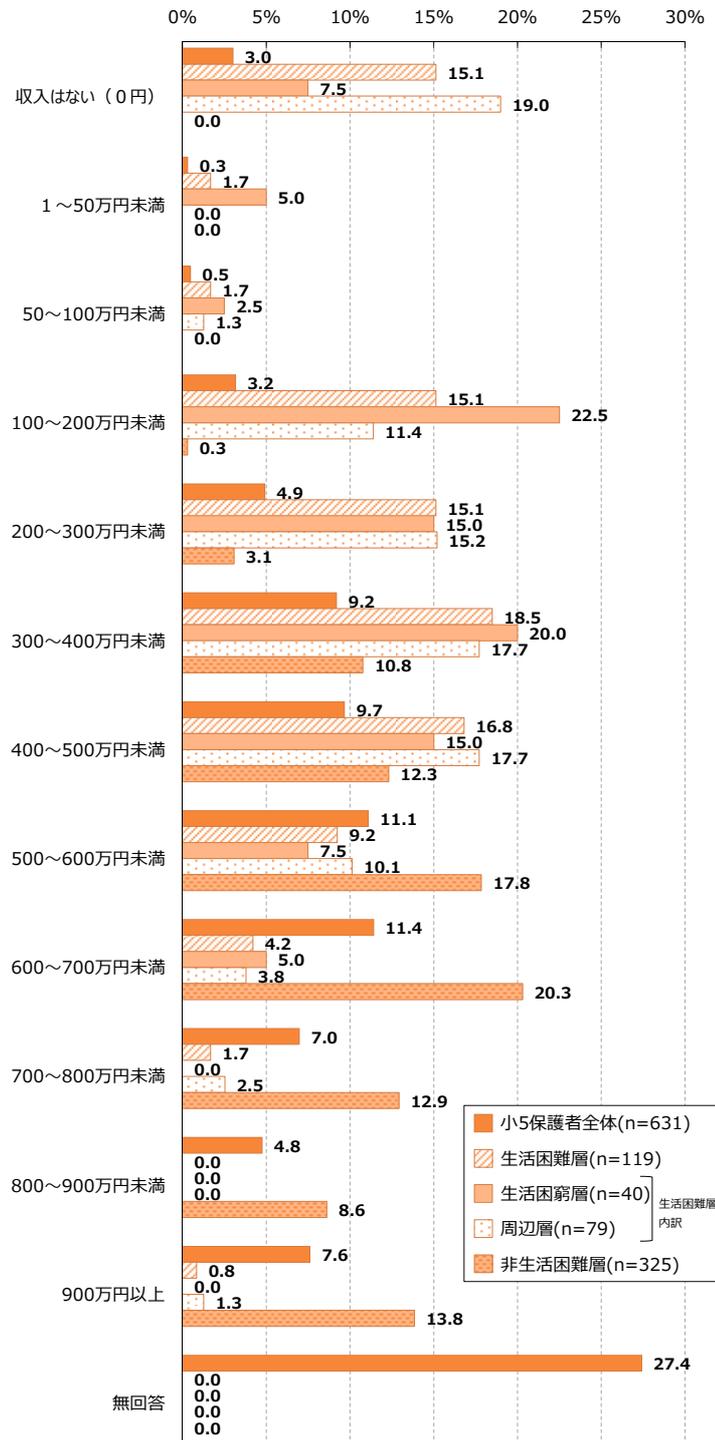
▼上記問 21 で回答いただいた、公的年金と社会保障給付金以外の収入についてお聞きします。  
 お子さんと生計を共にしている世帯全員の方の、おおよその年間収入（税込）はいくらですか。（保/問 22）

世帯の年間収入について、小学 5 年生全体では「600～700 万円未満」が 11.4%、「500～600 万円未満」が 11.1%、「400～500 万円未満」が 9.7%となっています。

生活困窮層では「100～200 万円未満」が 22.5%、「300～400 万円未満」が 20.0%、「200～300 万円未満」及び「400～500 万円未満」が 15.0%となっています。

また、周辺層では「収入はない」が 19.0%で最も高くなっています。

### 小学 5 年生

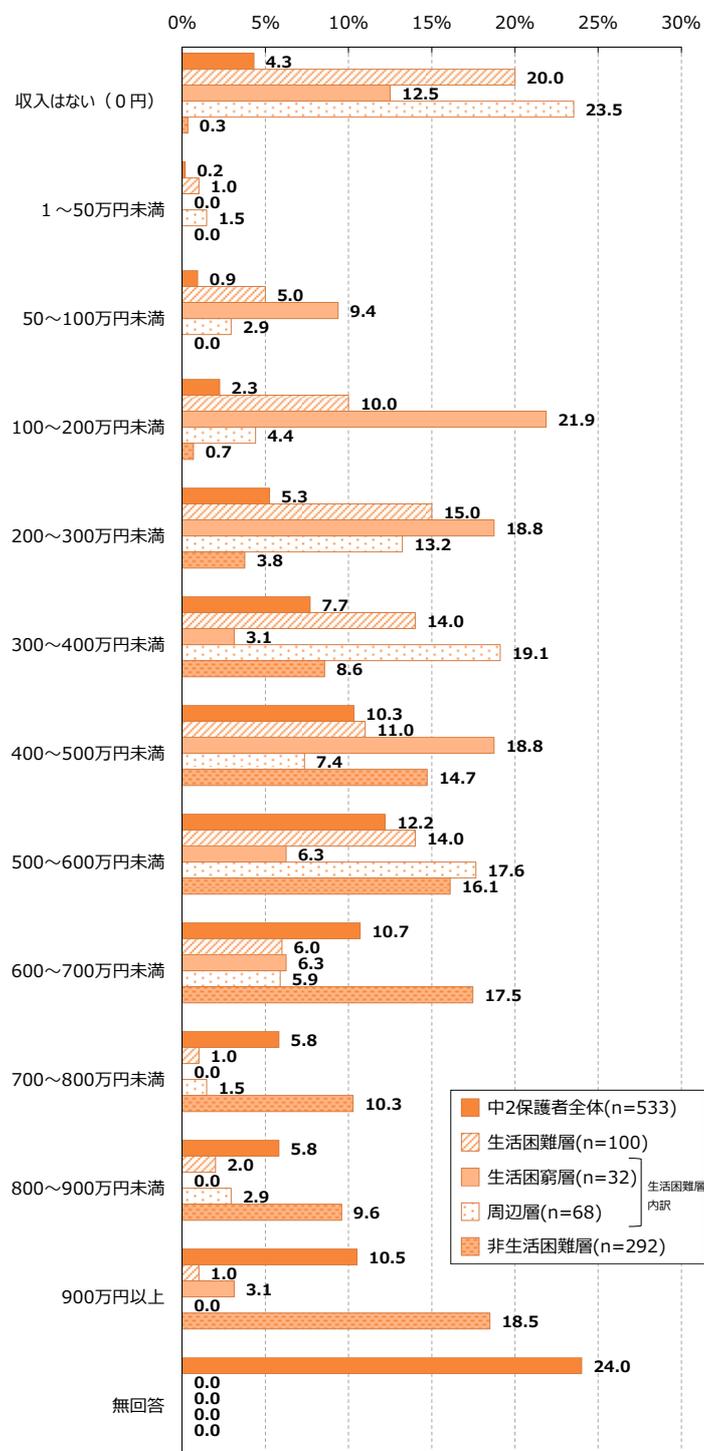


世帯の年間収入について、中学2年生全体では、「500～600万円未満」が12.2%、「600～700万円未満」が10.7%、「900万円以上」が10.5%となっています。

生活困窮層では「100～200万円未満」が21.9%、「200～300万円未満」が16.5%及び「400～500万円未満」が18.8%、「収入はない」が12.5%となっています。

また、周辺層では「収入はない」が23.5%で最も高くなっています。

### 中学2年生



## 5 子どもとのかかわり

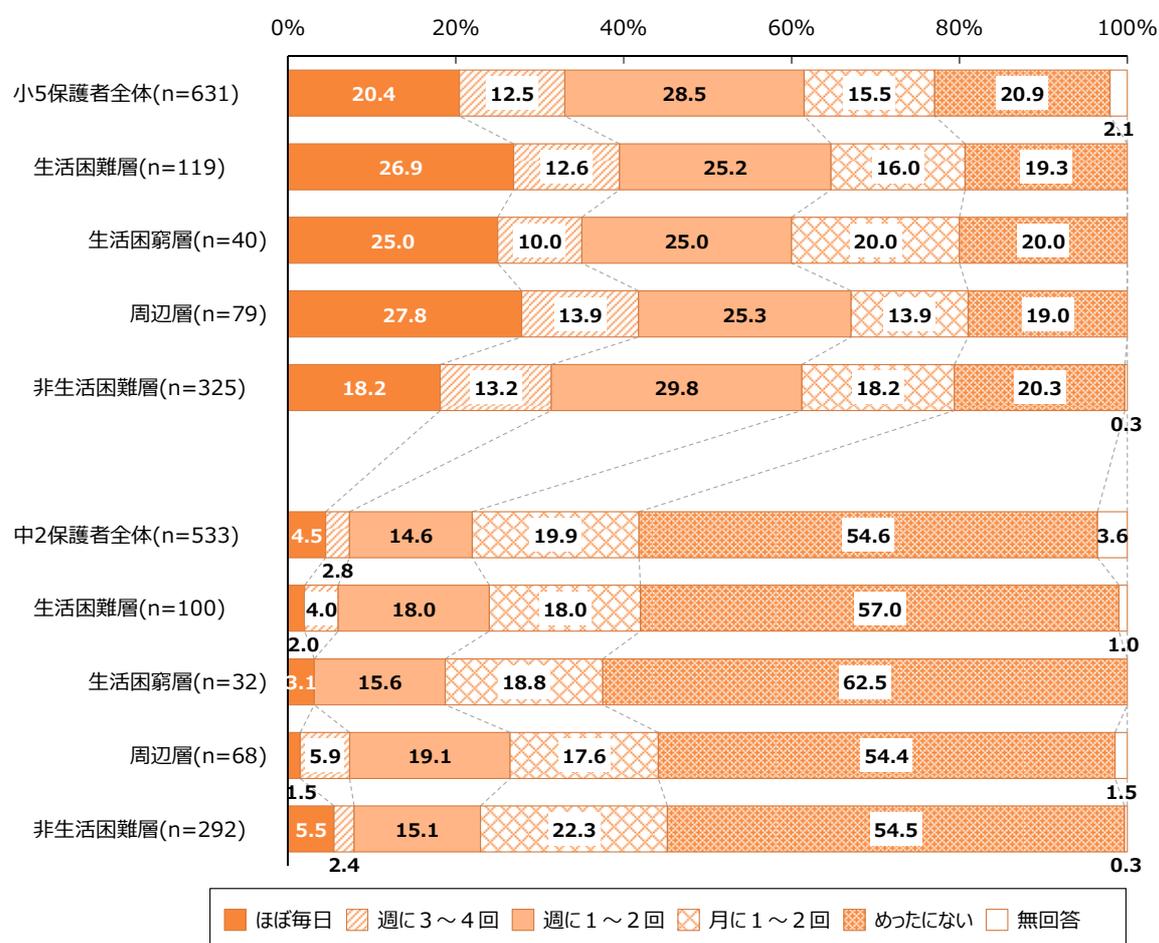
### (1) 子どもとのかかわり頻度

▼あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることがありますか。(保/問 25)

#### A 子どもの勉強をみる

子どもの勉強をみる頻度について、「ほぼ毎日」、「週に3~4回」及び「週に1~2回」を合わせた“週に1回以上”の割合を生活困難度別にみると、小学5年生では、生活困窮層で60.0%、周辺層で67.0%、非生活困難層で61.2%となっています。

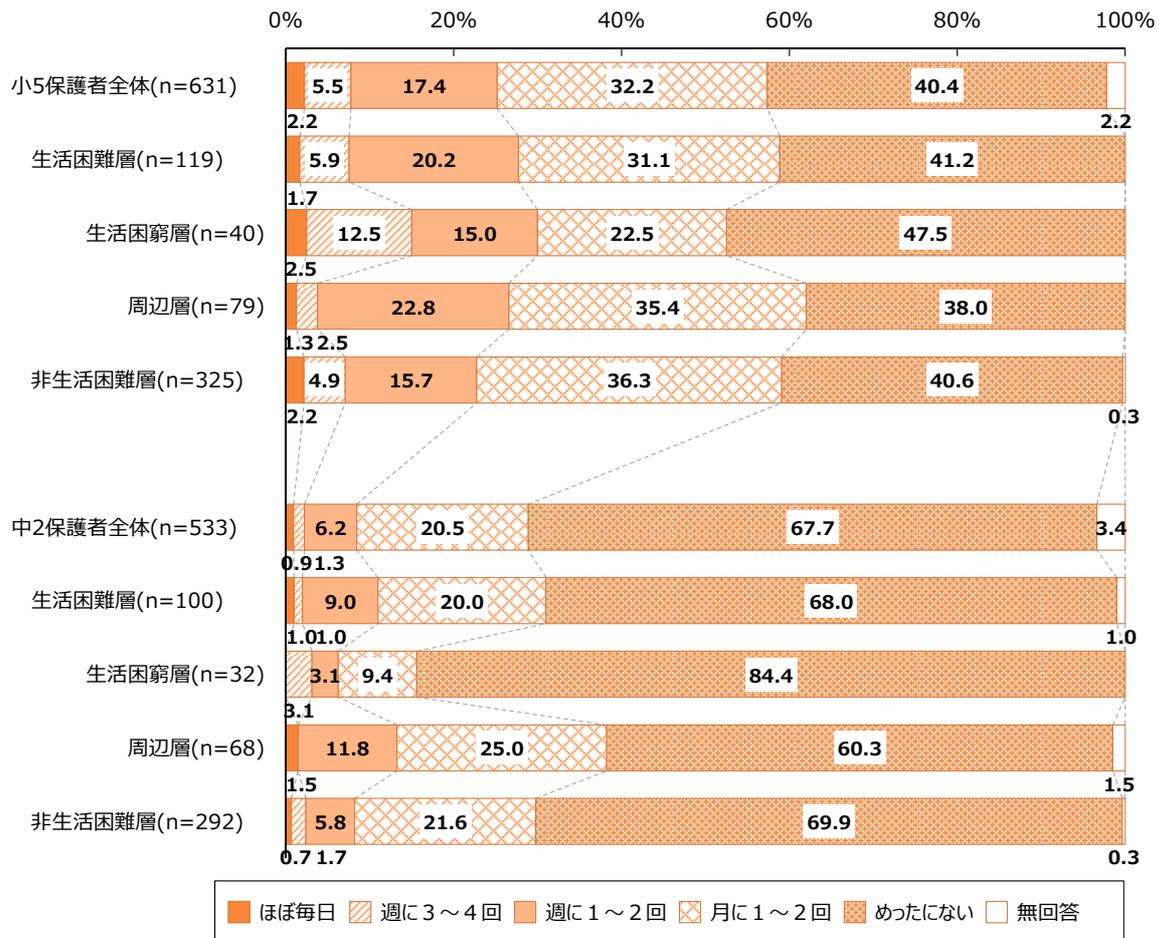
中学2年生では小学5年生に比べかかわる頻度は総じて減少し、生活困窮層で18.7%、周辺層で26.5%、非生活困難層で23.0%となっています。



## B 子どもとからだを動かして遊ぶ（キャッチボールなど）

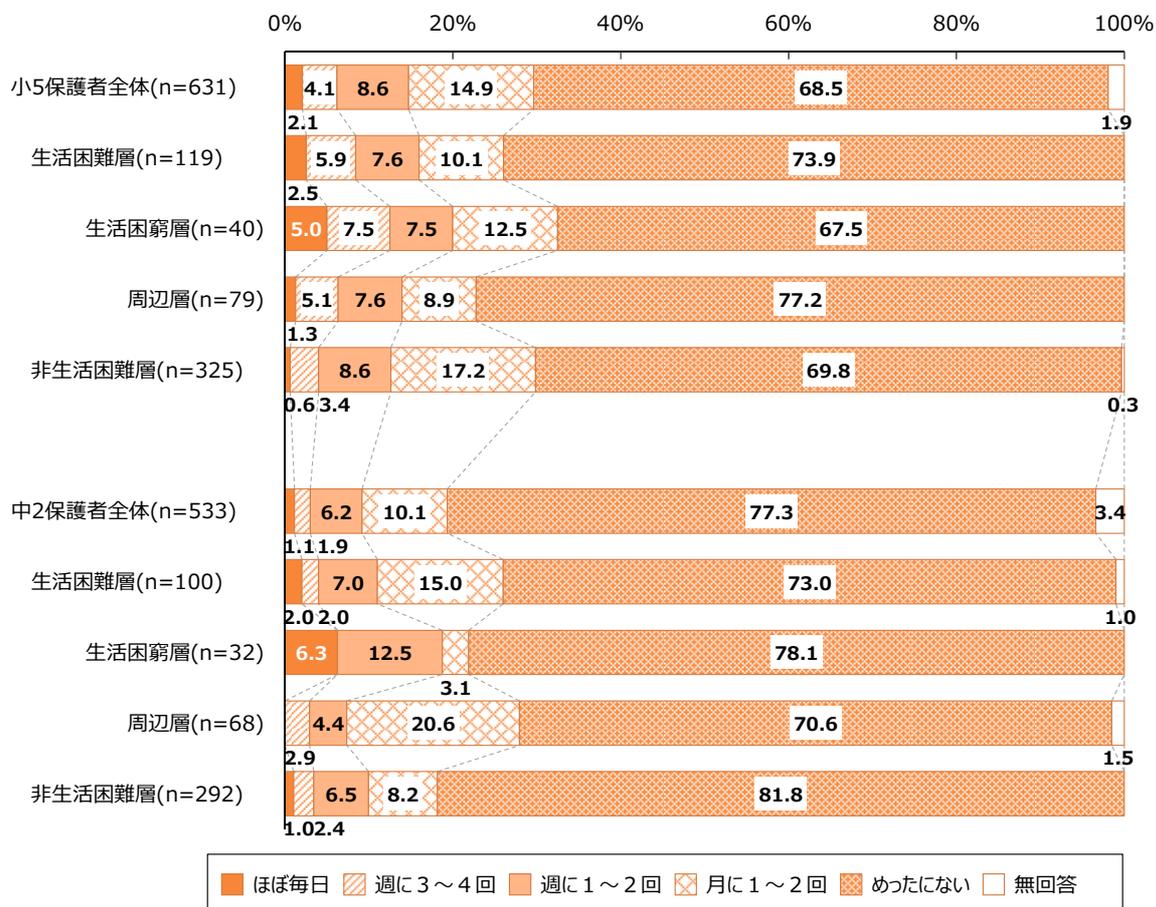
子どもとからだを動かして遊ぶ頻度について、「ほぼ毎日」、「週に3～4回」及び「週に1～2回」を合わせた“週に1回以上”の割合を生活困難度別にみると、小学5年生では、生活困窮層で30.0%、周辺層で26.6%、非生活困難層で22.8%と生活困難度との相関がみられます。高い層ほど割合は高くなっています。

中学2年生では小学5年生に比べかわる頻度は総じて減少し、生活困窮層で6.2%、周辺層で13.3%、非生活困難層で8.2%と、周辺層でやや高くなっています。



## C 子どもとコンピュータゲームで遊ぶ（テレビゲーム・パソコンゲーム・携帯ゲームなど）

子どもとコンピュータゲームで遊ぶ頻度について、小学5年生、中学2年生のいずれも「めったにない」が多数をを占め小学5年生全体で68.5%，中学2年生全体で77.3%となっています。生活困難度別にみても多少の差はあるものの同様の傾向となっています。

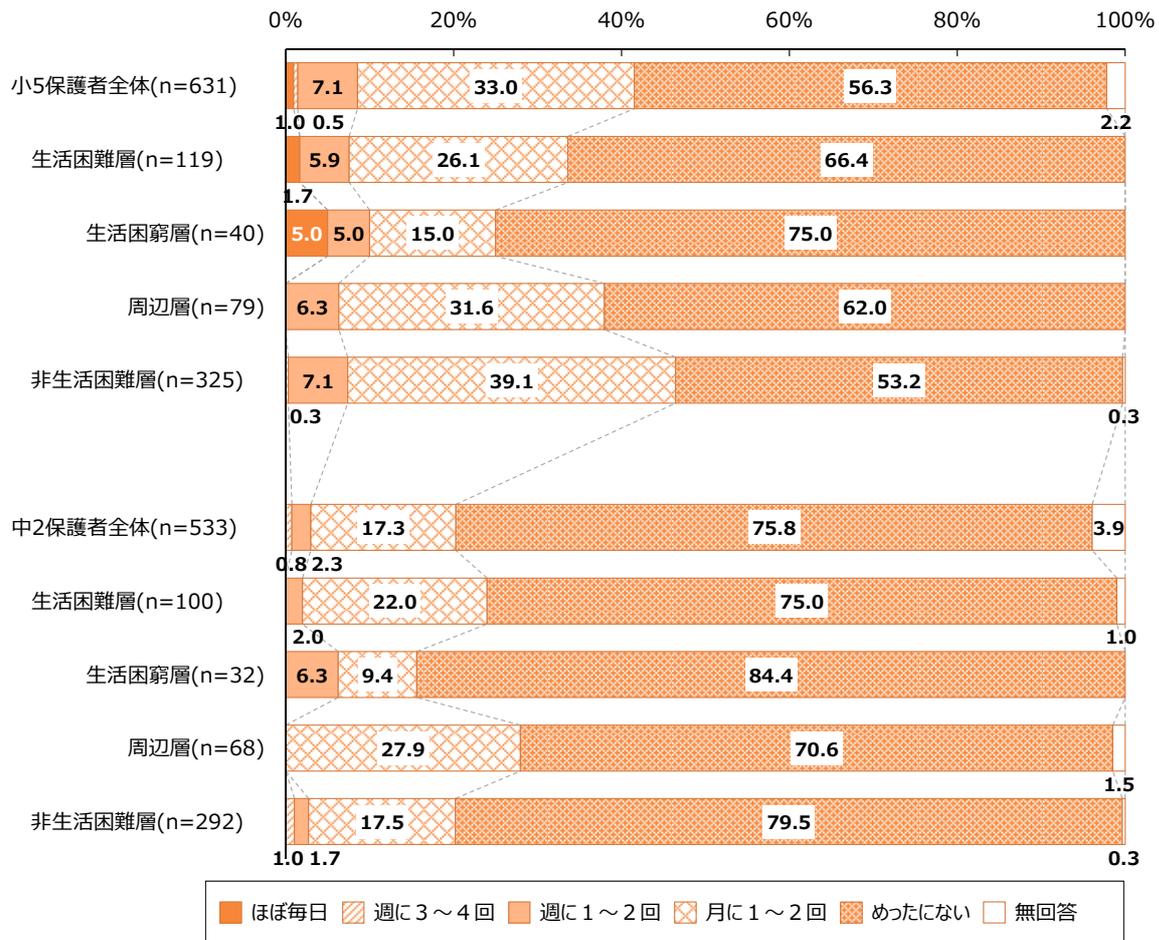


## D 子どもとカードゲームなどで遊ぶ（トランプ・ボードゲーム・将棋など）

子どもとカードゲームなどで遊ぶ頻度について、小学5年生全体で、「めったにない」が56.3%と半数以上を占め、「月に1～2回」は33.0%となっています。

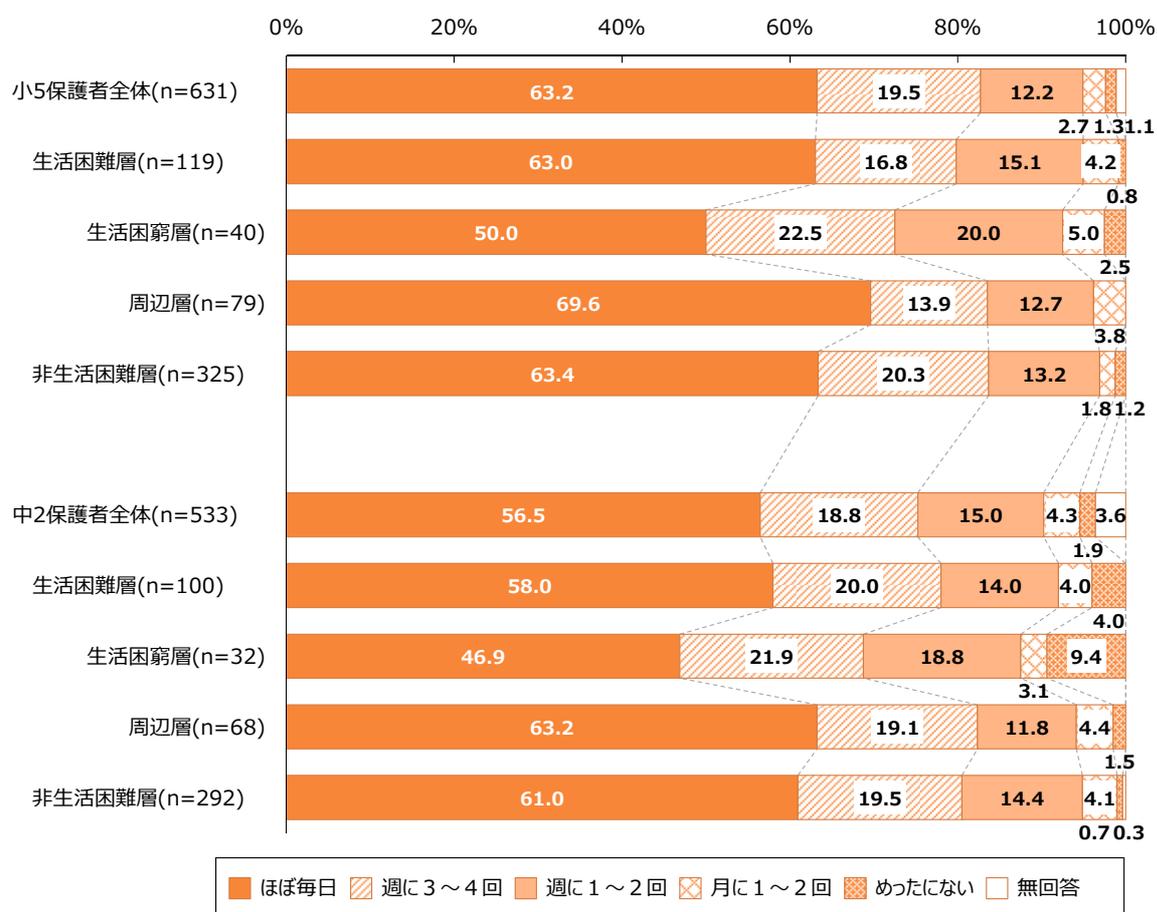
生活困難度別にみると、「めったにない」が生活困窮層で75.0%、周辺層で62.0%、非生活困難層で53.2%と生活困難度が高い層ほど割合が高くなっています。

中学2年生全体では「めったにない」が多数を占め75.8%となっています。生活困難度別にみても同様の傾向となっていますが、生活困窮層では「週に1～2回」の割合も他の層に比べ高くなっています。



## E 子どもと学校生活の話をする

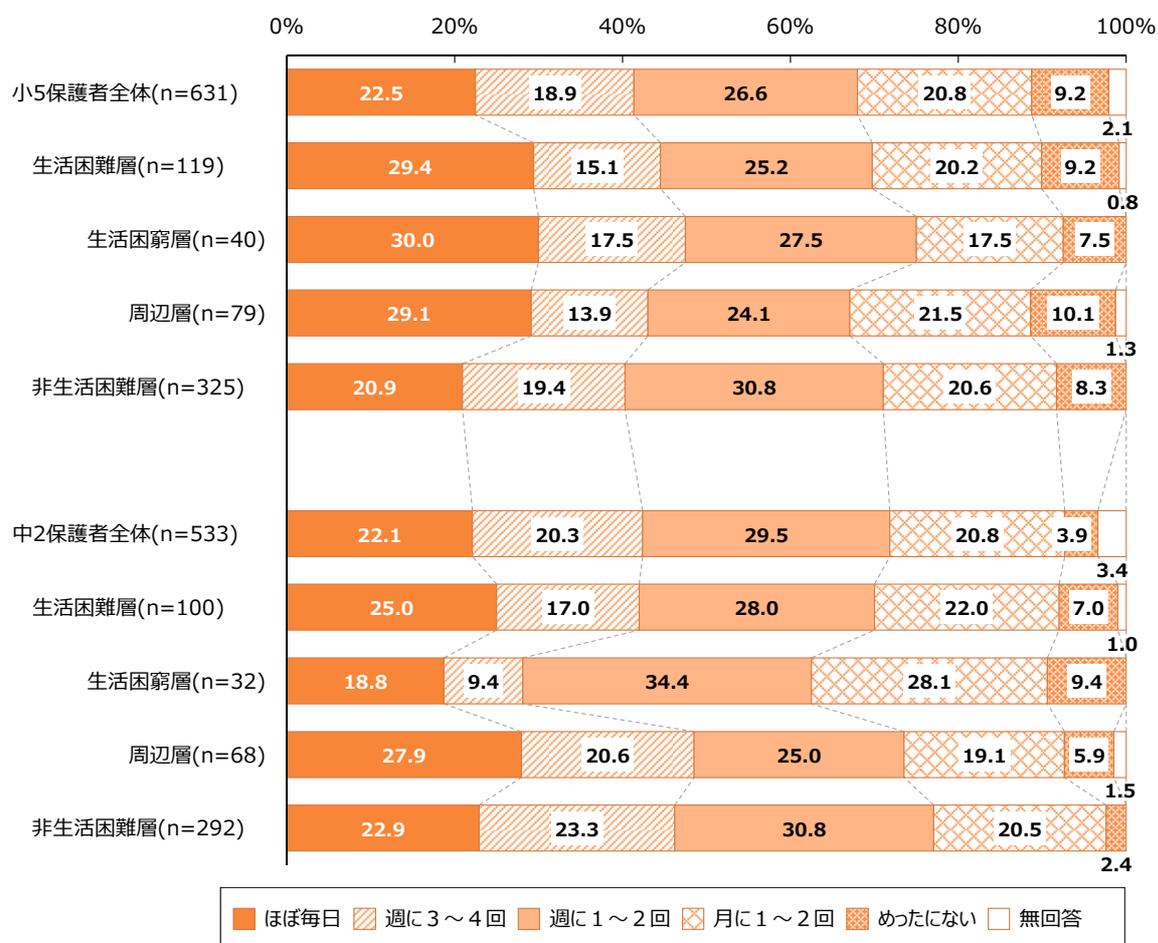
子どもと学校生活の話をする頻度について、「ほぼ毎日」が多数を占め小学5年生全体で63.2%、中学2年生では若干低くなっているものの、全体で56.5%となっています。生活困難度別にみても同様の傾向となっていますが、生活困窮層では小学5年生、中学2年生とも「ほぼ毎日」の割合は低く、「週に3~4回」及び「週1~2回」の割合が高くなっています。また、中学2年生の生活困窮層の9.4%は「めったにしない」と回答しています。



## F 子どもと勉強や成績の話をする

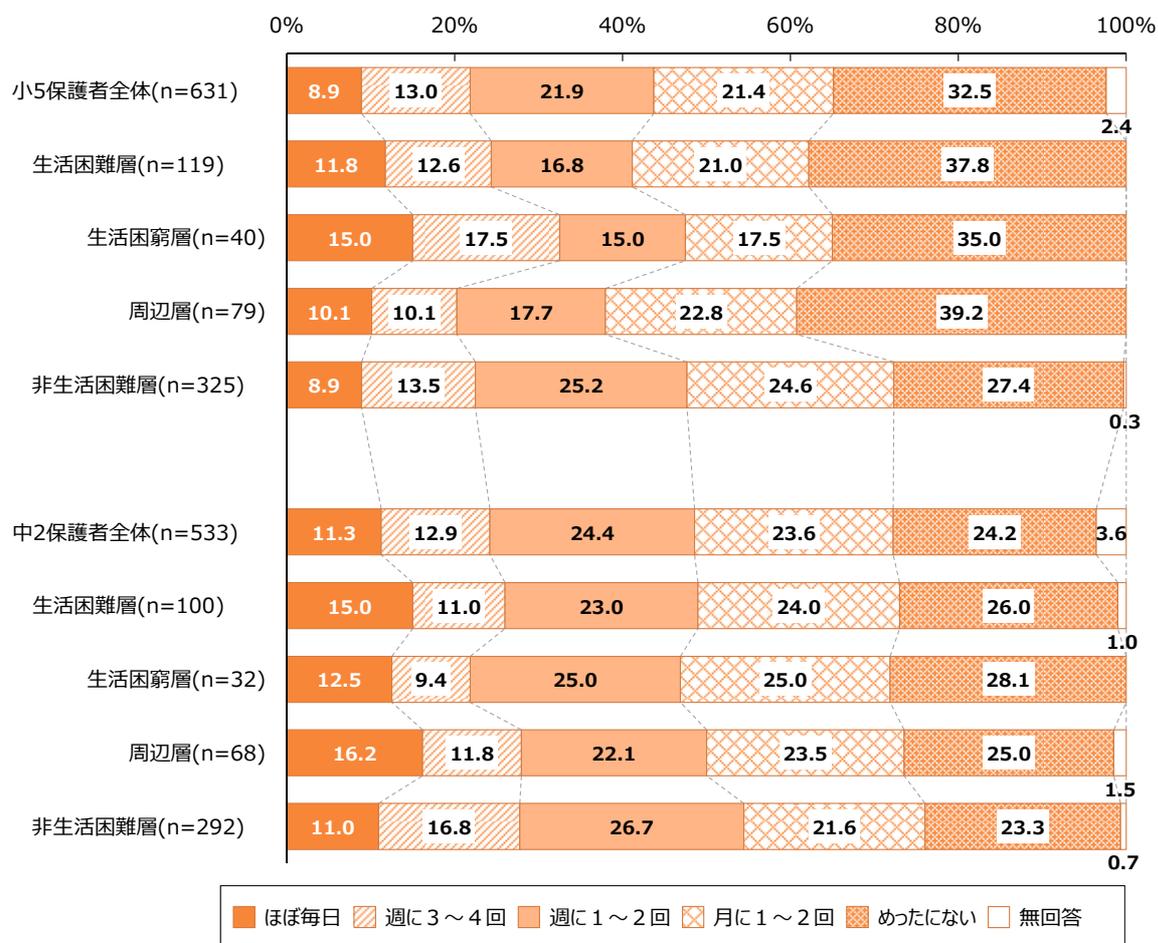
子どもと勉強や成績の話をする頻度について、「ほぼ毎日」、「週に3～4回」及び「週に1～2回」を合わせた“週に1回以上”の割合は6～7割と多数を占めていますが、生活困難度別にみると、小学5年生では、生活困窮層で75.0%、周辺層で67.1%、非生活困難層で71.1%

中学2年生では、生活困窮層で62.6%、周辺層で73.5%、非生活困難層で77.0%となっており、生活困難度が高い層ほど割合は低くなっています。



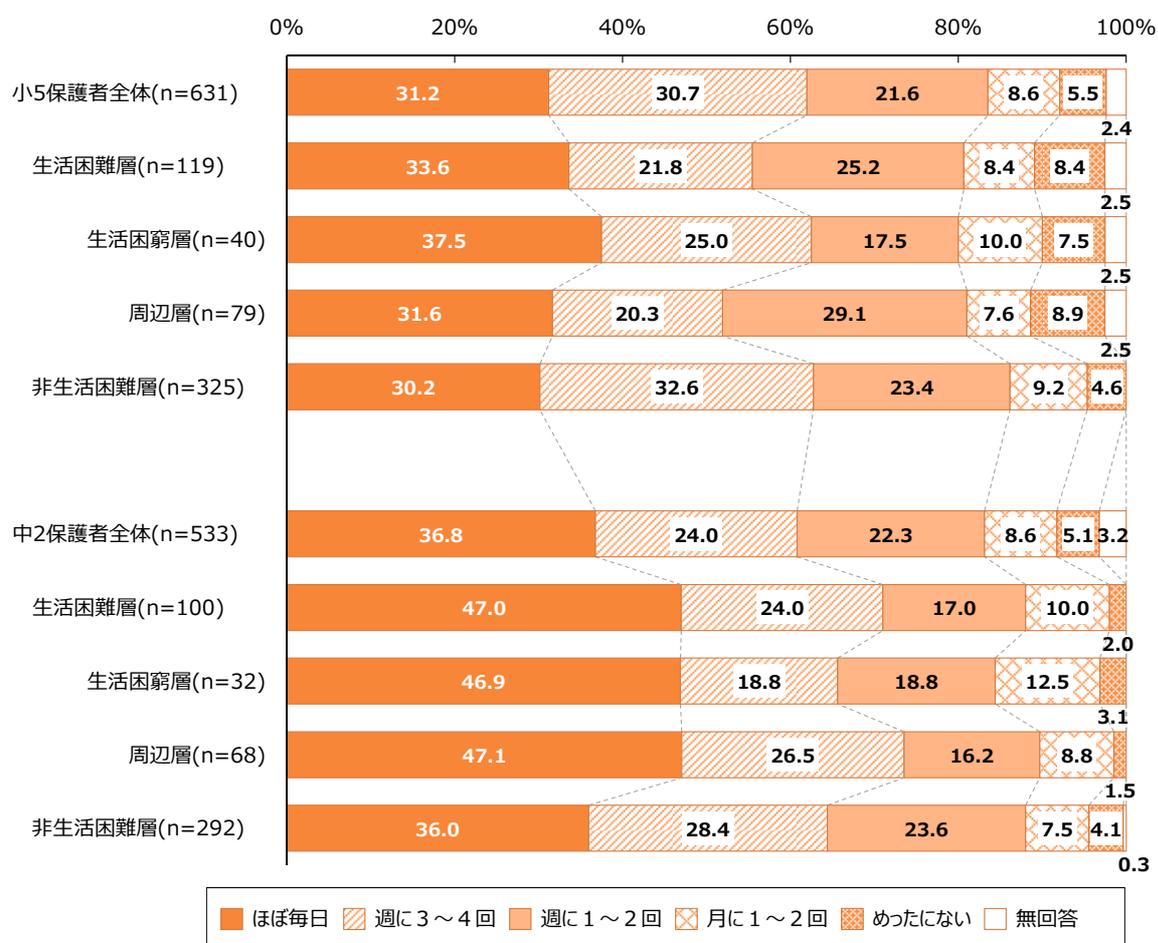
## G 子どもと政治経済・社会問題などのニュースの話をする

子どもと政治経済・社会問題などのニュースの話をする頻度について、「ほぼ毎日」、「週に3～4回」及び「週に1～2回」を合わせた“週に1回以上”の割合を生活困難度別にみると、小学5年生では、生活困窮層で47.5%、周辺層で37.9%、非生活困難層で47.6%となっています。中学2年生では、生活困窮層で46.9%、周辺層で50.1%、非生活困難層で54.5%となっており、生活困難度が高い層ほど割合は低くなっています。



## H 子どもとテレビ番組（ニュースを除く）の話をする

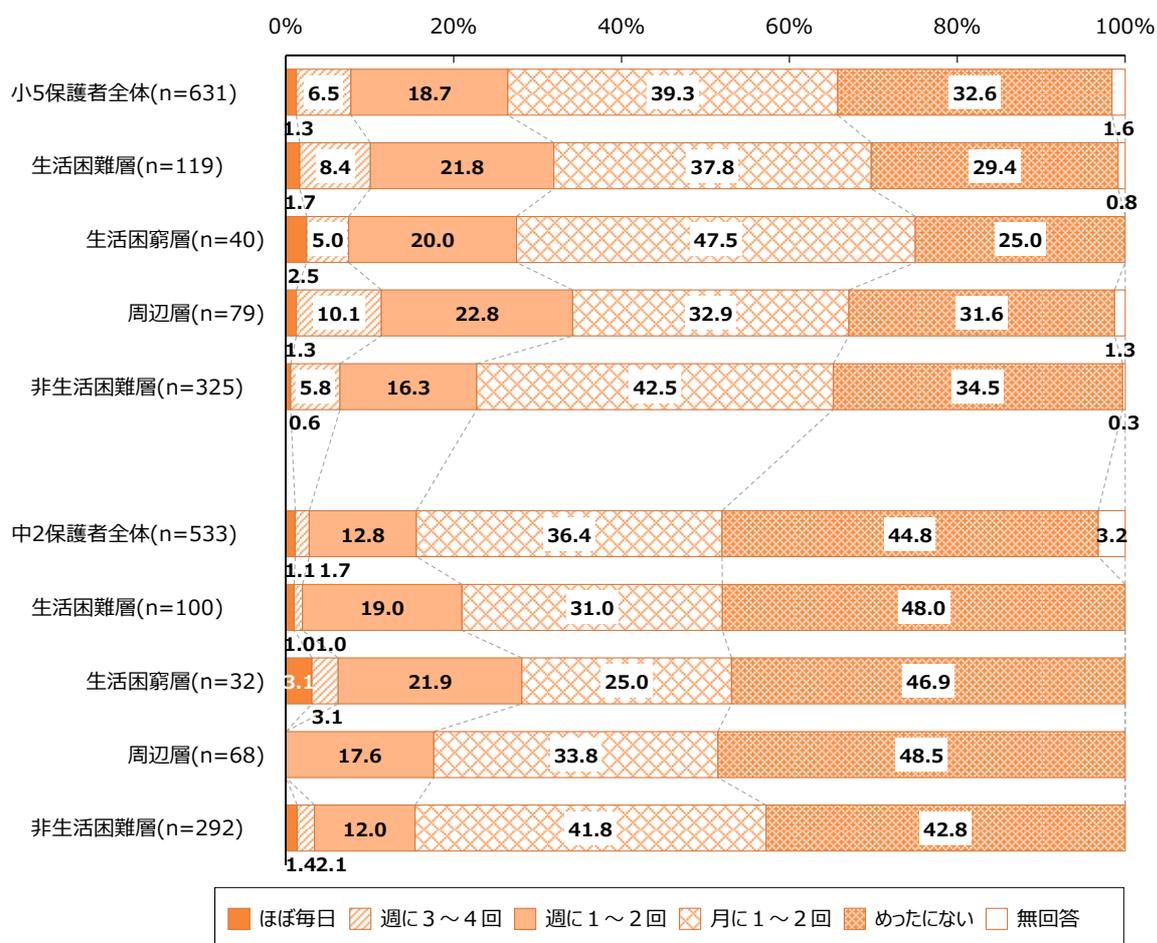
子どもとテレビ番組（ニュースを除く）の話をする頻度について、「ほぼ毎日」、「週に 3～4 回」及び「週に 1～2 回」を合わせた“週に 1 回以上”の割合は 8 割を超えと多数を占めています。また、生活困難度別でも大きな差はみられず、小学 5 年生では、生活困窮層で 80.0%、周辺層で 81.0%、非生活困難層で 86.2%となっており、中学 2 年生でも同様の傾向となっています。



## Ⅰ 子どもと一緒に料理をする

子どもと一緒に料理をする頻度については、小学5年生では、全体で「月に1~2回」が39.3%、「めったにない」が32.6%となっており、生活困難度別でも同様の傾向がみられますが、生活困窮層では「月に1~2回」が若干高くなっています。

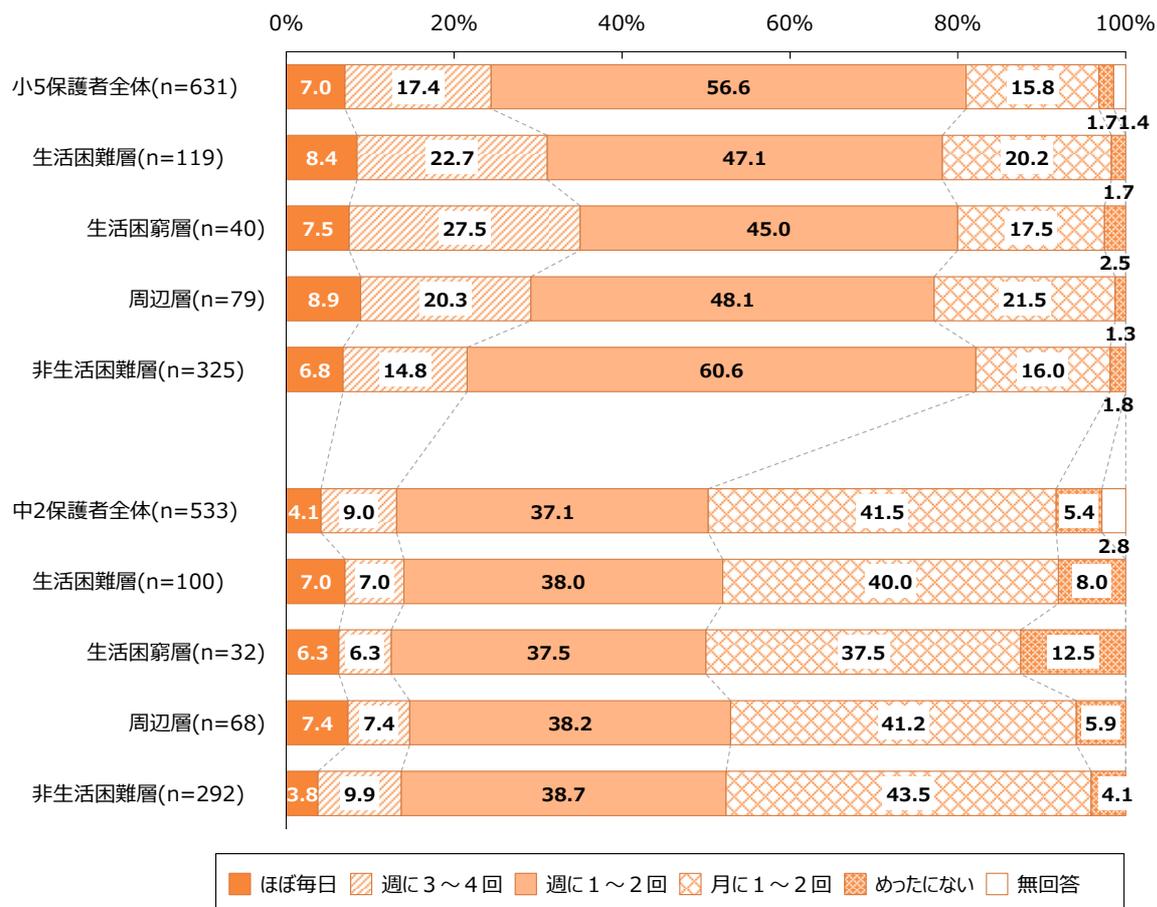
中学2年生では、小学5年生に比べ一緒に料理をする頻度は低く、「めったにない」が全体で44.8%、生活困難度別でも同様の傾向となっています。



## Ｊ 子どもと一緒に外出をする

子どもと一緒に外出をする頻度について、小学5年生では「週に1～2回」が多数を占め、全体で56.6%、生活困難度別では、生活困窮層で45.0%、周辺層で48.1%、非生活困難層で60.6%と生活困難度が高くなるにつれ減少の傾向がみられます。

中学2年生では、小学5年生に比べ一緒に外出する頻度は低くなり、全体で「月に1～2回」が41.5%、「週に1～2回」が37.1%となっています。生活困難度別でも大きな差はみられず同様の傾向となっています。

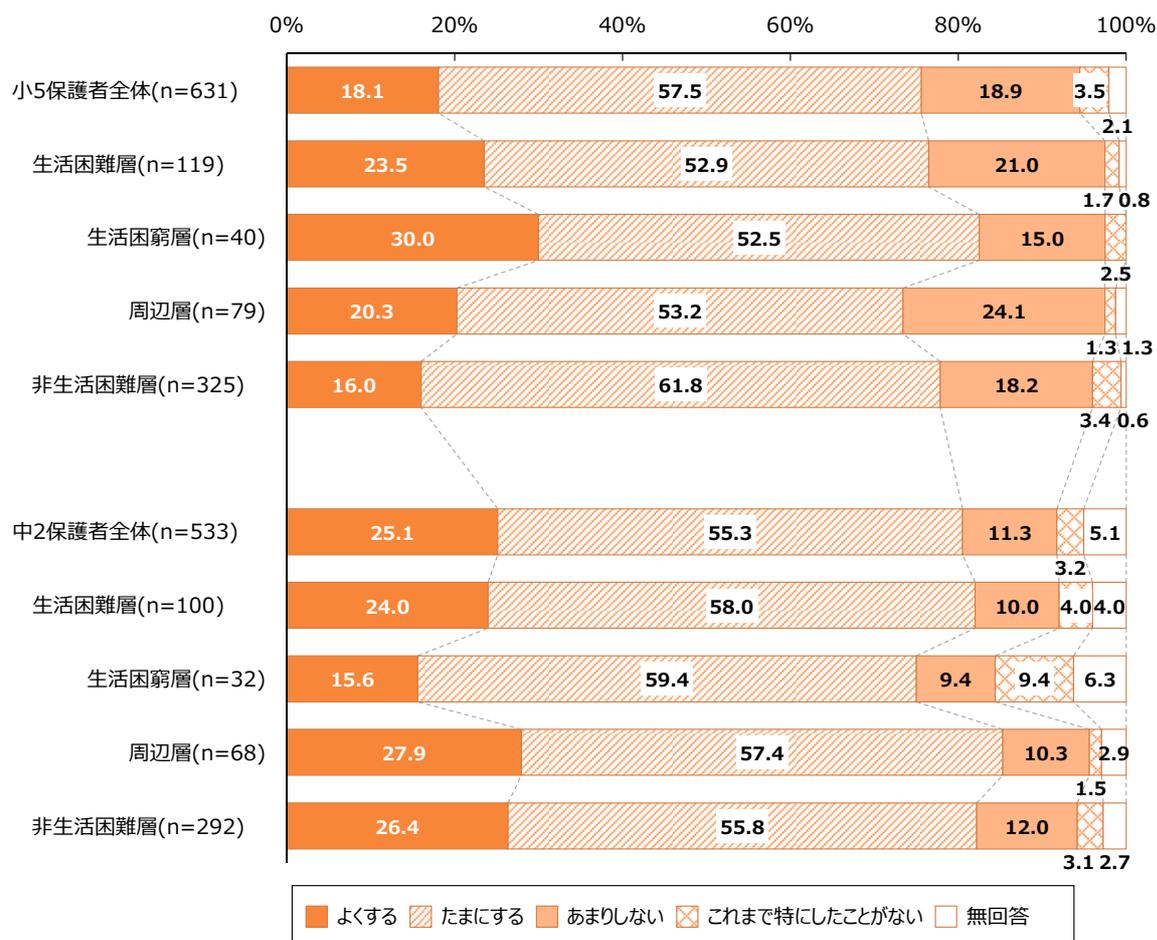


## (2) 子どもの将来についての会話

▼あなたは、お子さんの将来（夢・進路・職業等）について、お子さんと一緒に考えたり、話したりすることがありますか。（保/問 26）

子どもの将来についての会話の頻度について、「よくする」「たまにする」を合わせた割合は、小学5年生全体で75.6%、中学2年生全体で80.4%となっています。

生活困難度別にみても75%前後と多数を占めている一方、「あまりしない」「これまで特にしたことがない」を合わせた割合は小学5年生の周辺層で25.4%、中学2年生の生活困窮層で18.8%とやや高くなっています。



## 6 こどものしつけ

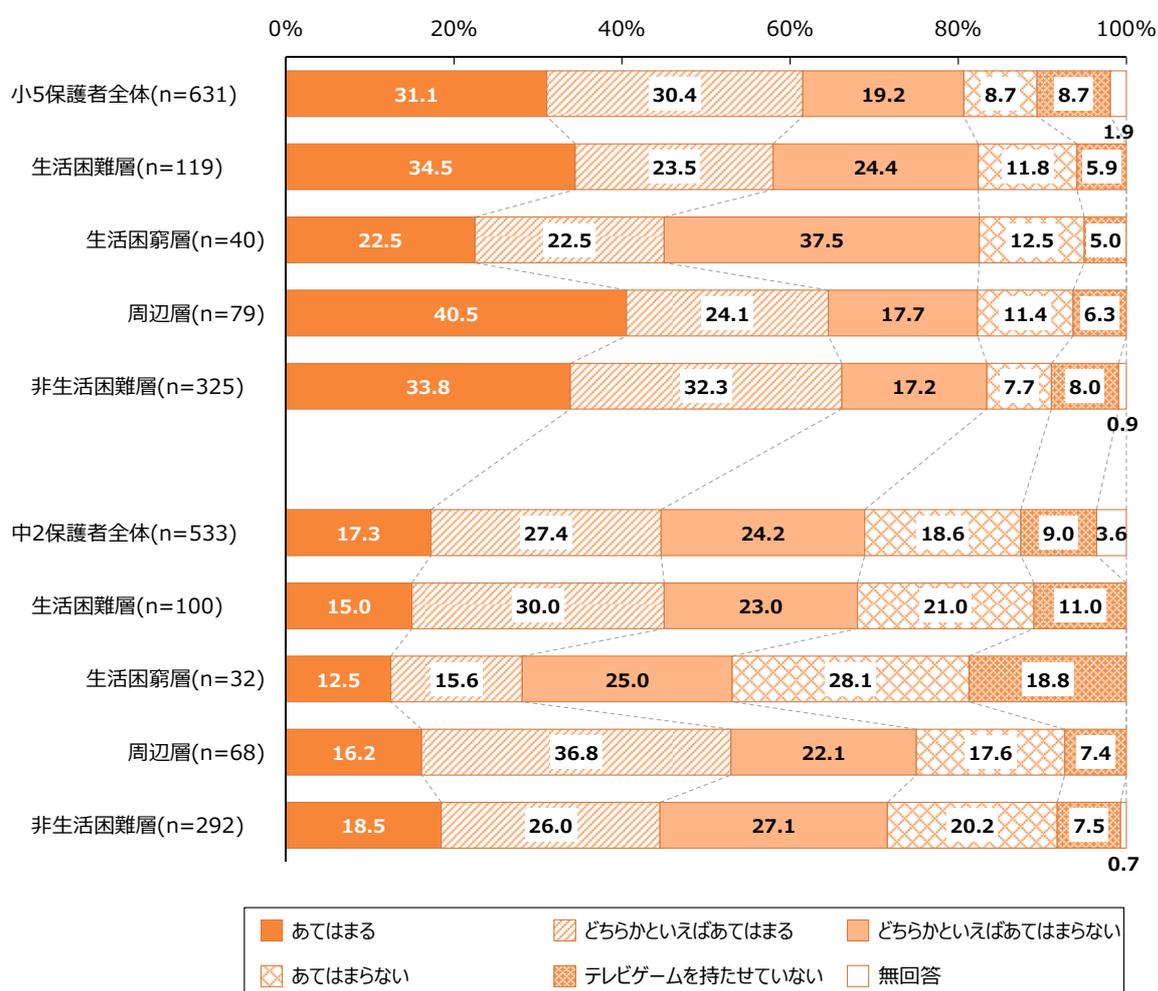
▼あなたのご家庭では、お子さんに対して、次のことをしていますか。(保/問 28)

### A テレビゲームで遊ぶ時間を限定している

テレビゲームで遊ぶ時間を限定しているかについて、「あてはまる」の割合は、小学5年生全体で31.1%、生活困難度別では、生活困窮層で22.5%、周辺層で40.5%、非生活困難層で33.8%と、生活困窮層で低くなっています。一方、生活困窮層では「どちらかといえばあてはまらない」の割合が37.5%と他の層に比べ2倍以上高くなっています。

中学2年生では、「あてはまる」の割合は総じて低く、全体で17.3%、生活困難度別でも同様の傾向となっています。

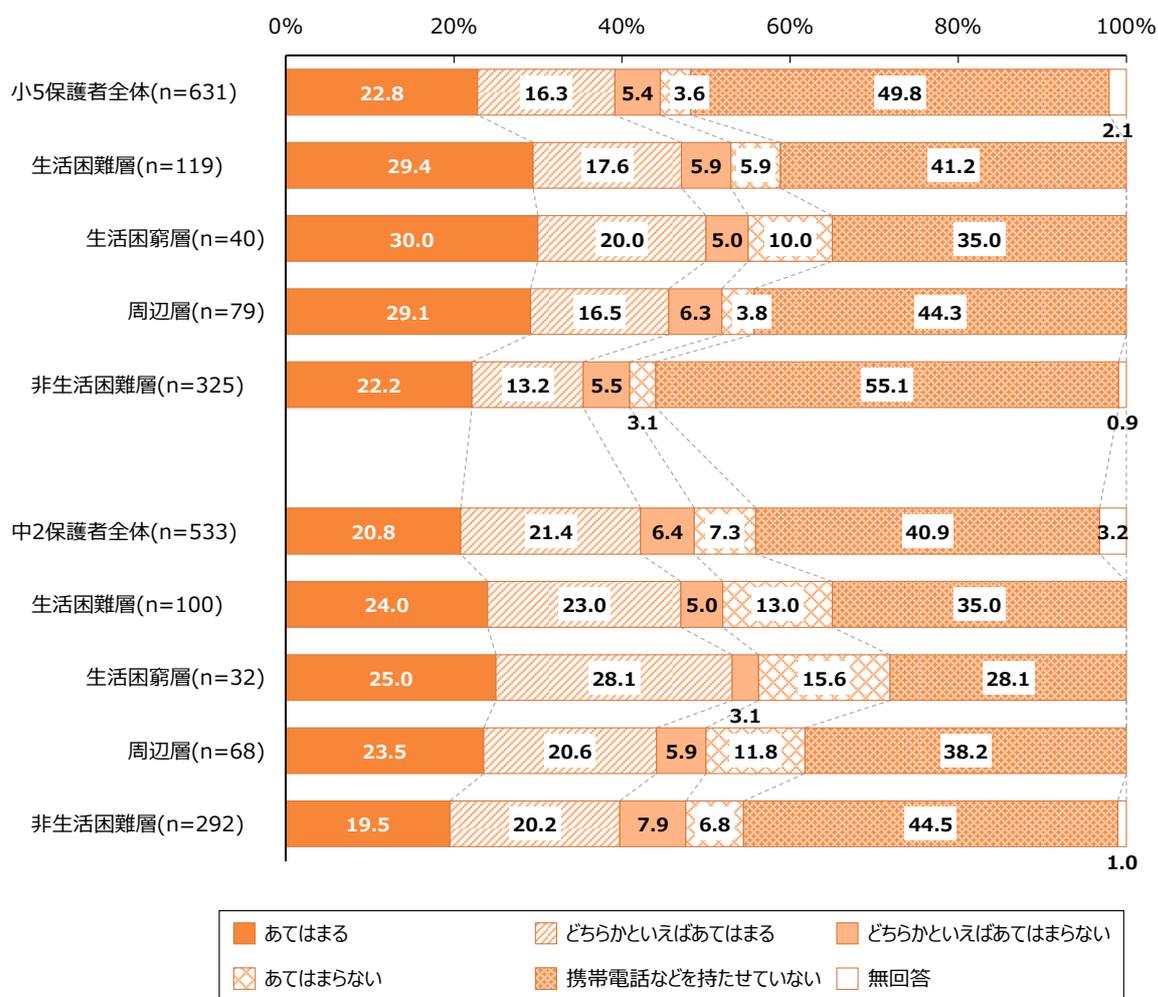
また、生活困窮層の18.8%は「テレビゲームを持たせていない」と回答しています。



## B 携帯電話やスマートフォンの使い方についてルールや約束をつくっている

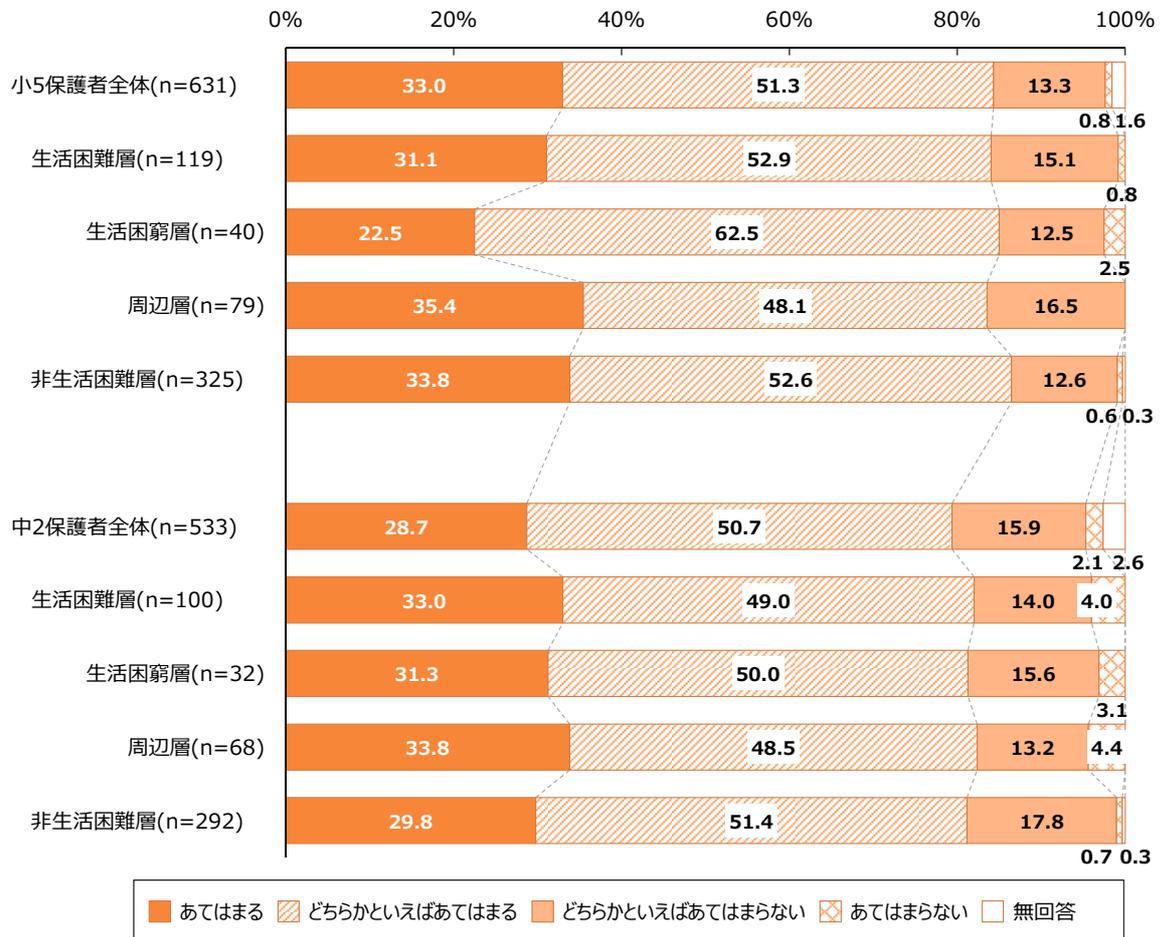
スマートフォンなどの使い方についてルールをつくっているかについて、「あてはまる」の割合は、小学5年生全体で22.8%，中学2年生全体で20.8%となっています。

生活困難度別でも「あてはまる」の割合では同様の傾向がみられますが、「携帯電話などを持たせていない」の割合は生活困難度による相関がみられ、高い層ほど携帯電話などを持たせている割合が高くなっています。



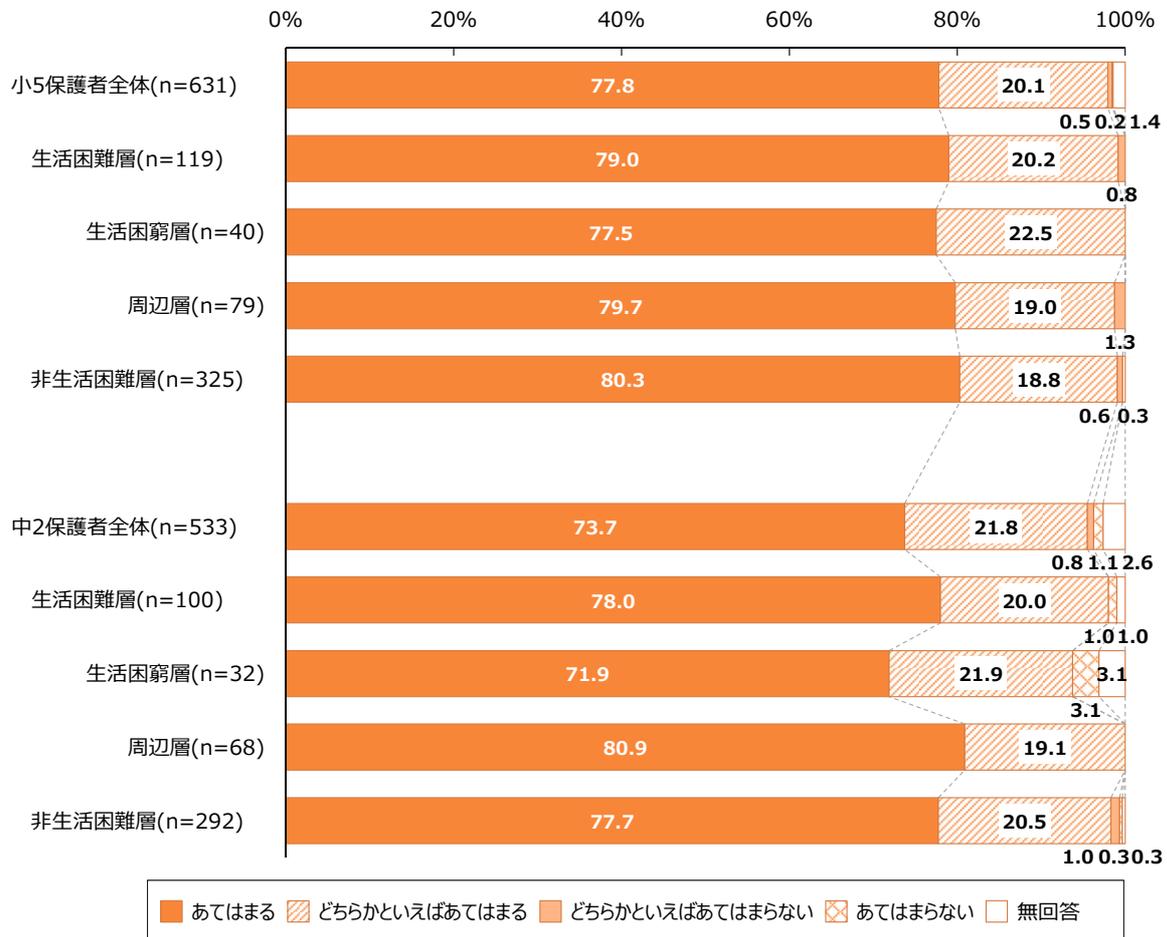
### C 子どものよいところをほめるなどして自信を持たせるようにしている

よいところをほめるなどして自信を持たせるようにしているかについて、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合わせた割合は、いずれの層も8割前後と多数を占めており、生活困難度別でも同様の傾向となっています。



## D 子どもが悪いことをしたらきちんと叱っている

悪いことをしたらきちんと叱っているかについて、「あてはまる」の割合は、小学5年生全体で77.8%，中学2年生全体で73.7%となっています。「どちらかといえばあてはまる」を合わせると、9割超と大多数を占めており、生活困難度別でも同様の傾向となっています。

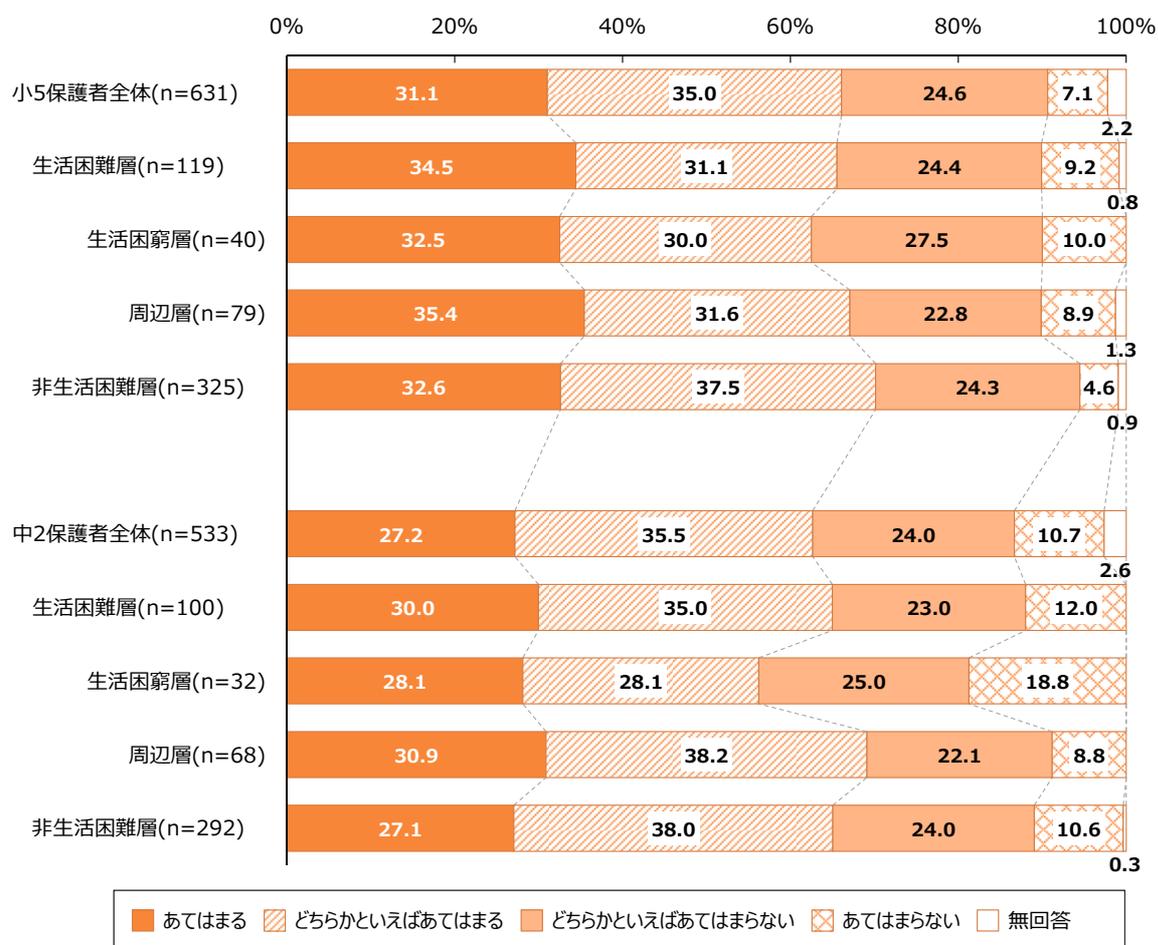


## E 子どもに本や新聞を読むようにすすめている

本や新聞を読むようにすすめているかについて、「あてはまる」の割合は、小学5年生全体で31.1%、中学2年生全体で27.2%となっています。

生活困難度別では、小学5年生の生活困窮層で32.5%、周辺層で35.4%、非生活困難層で32.6%と、周辺層で割合は高く、中学2年生でも同様の傾向となっています。

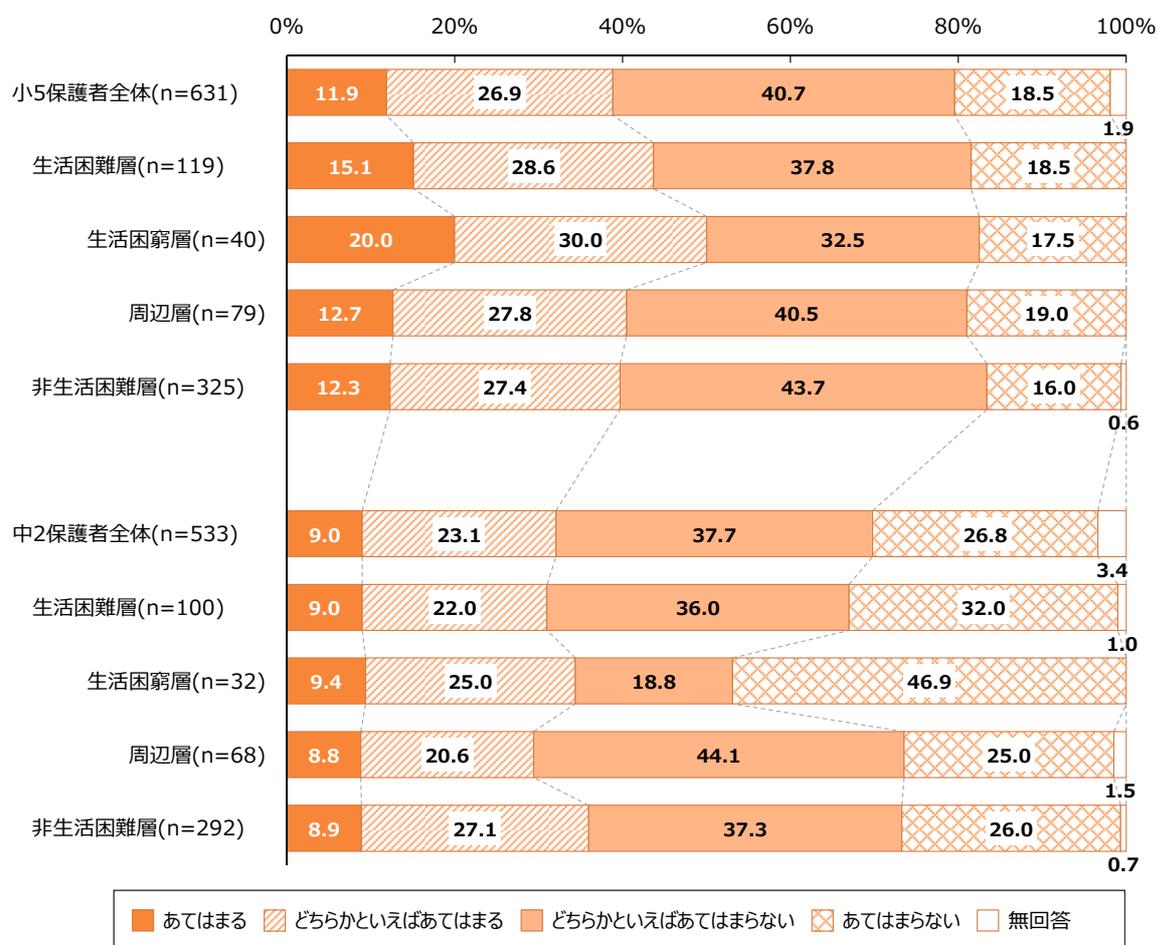
一方、中学2年生の生活困窮層の18.8%は「あてはまらない」と回答しています。



## F 子どもと読んだ本の感想を話し合ったりしている

読んだ本の感想を話し合ったりしているかについて、「あてはまる」の割合は、小学5年生全体で11.9%、中学2年生全体で9.0%となっています。

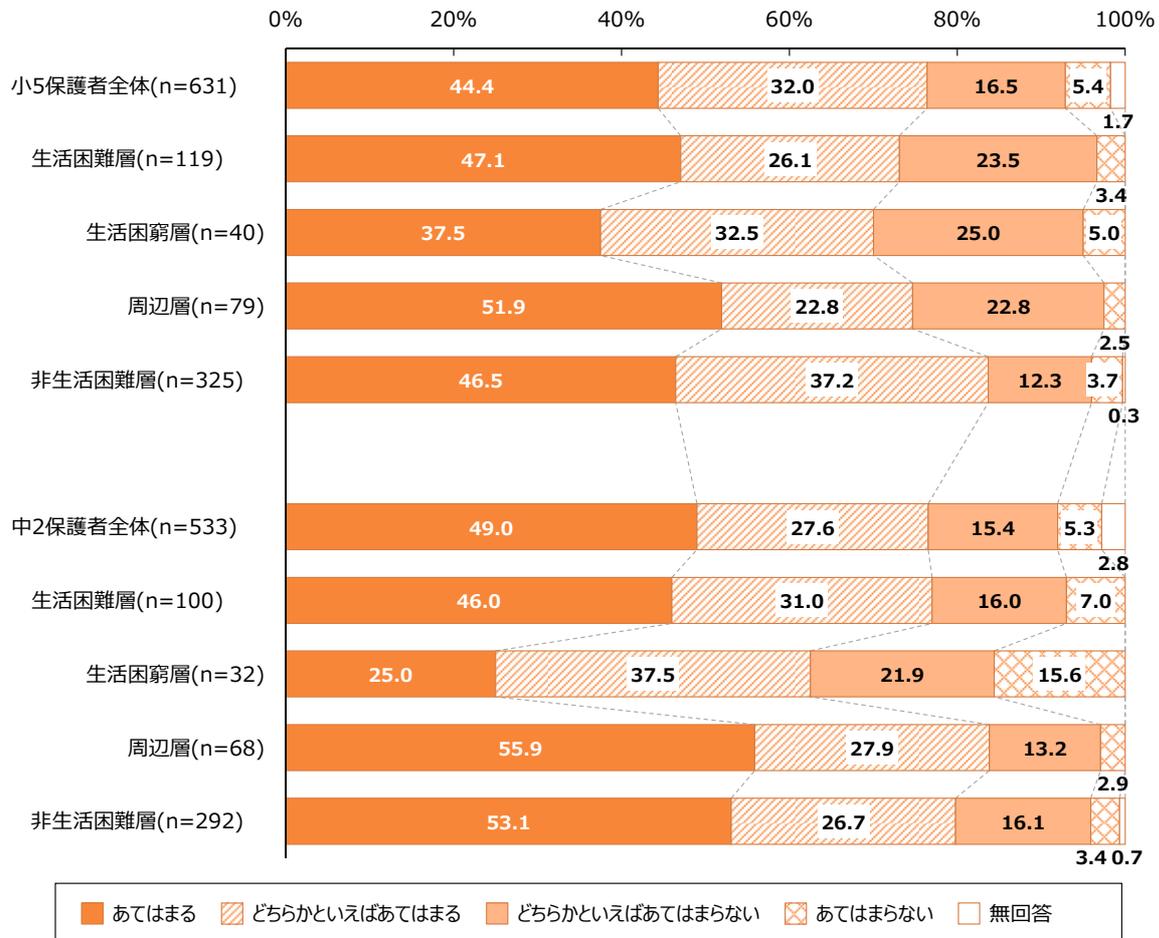
生活困難度別では、小学5年生の生活困窮層で20.0%と若干高く、中学2年生では生活困難度による明確な差はみられません。一方、中学2年生の生活困窮層で「あてはまらない」の割合が高く46.9%となっています。



## G 子どもが小さいころ、絵本の読み聞かせをした

小さいころ、絵本の読み聞かせをしたかについて、「あてはまる」の割合は、小学5年生全体で44.4%、中学2年生全体で49.0%となっています。

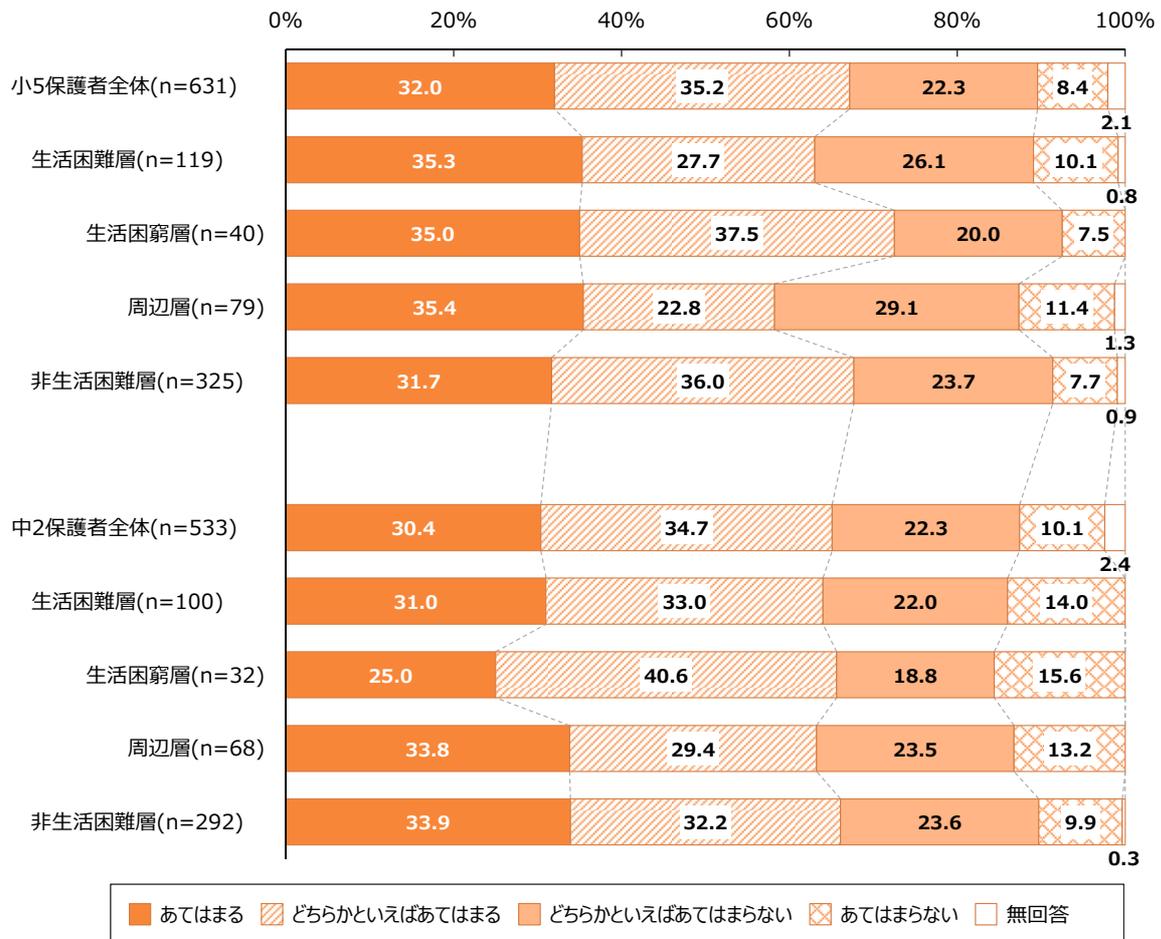
生活困難度別では、生活困窮層で低く、小学5年生で37.5%、中学2年生で25.0%となっています。一方、中学2年生の生活困窮層で「あてはまらない」の割合が高く15.6%となっています。



## H 子どもに「勉強しなさい」とよく言っている

『勉強しなさい』とよく言っているかについて、「あてはまる」の割合は、小学5年生全体で32.0%，中学2年生全体で30.4%となっています。

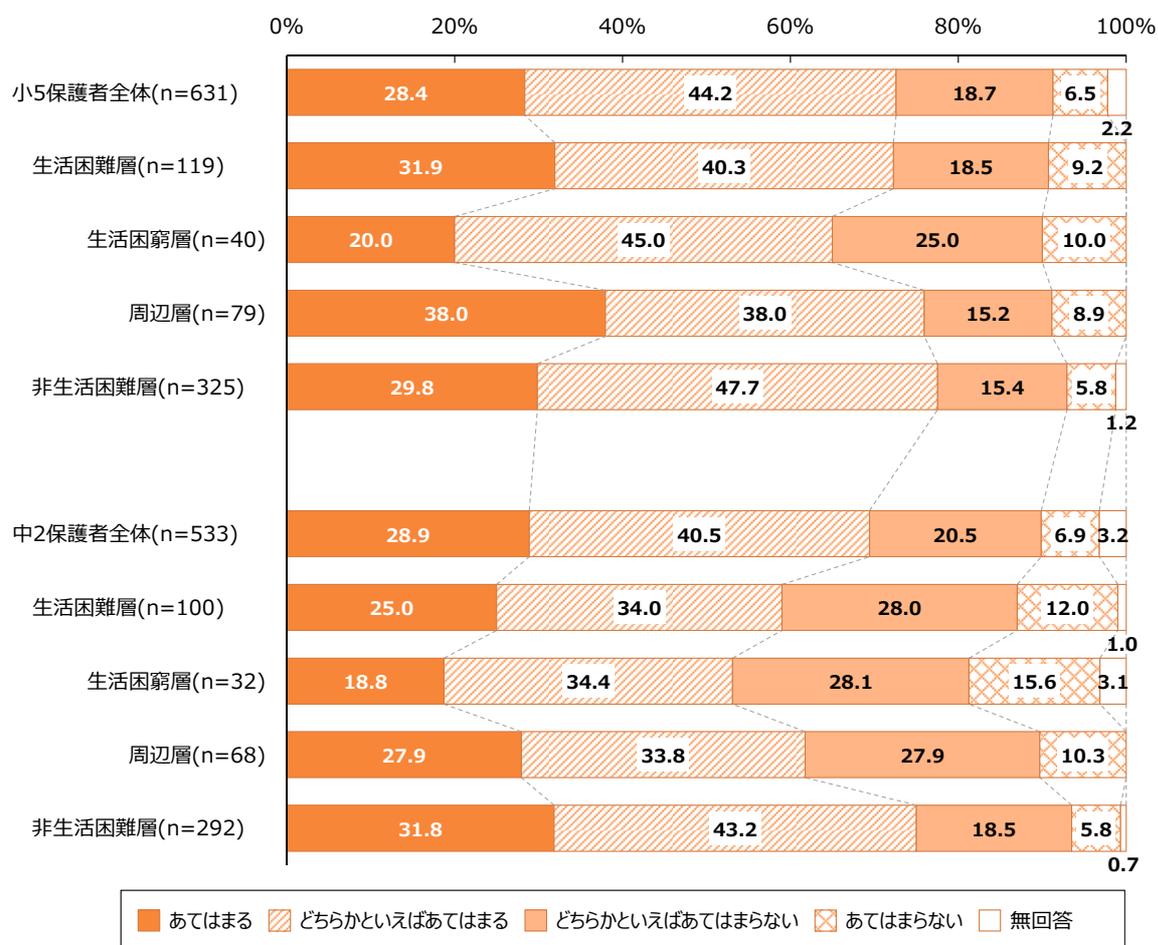
生活困難度別では、中学2年生の生活困窮層で25.0%と若干低いものの、生活困難度による明確な差はみられず、同様の傾向となっています。一方「あてはまらない」の割合は、中学2年生で生活困難度との相関がみられ、困難度が高い層ほど割合が高くなっています。



## Ⅰ 計画的に勉強するよう子どもに促している

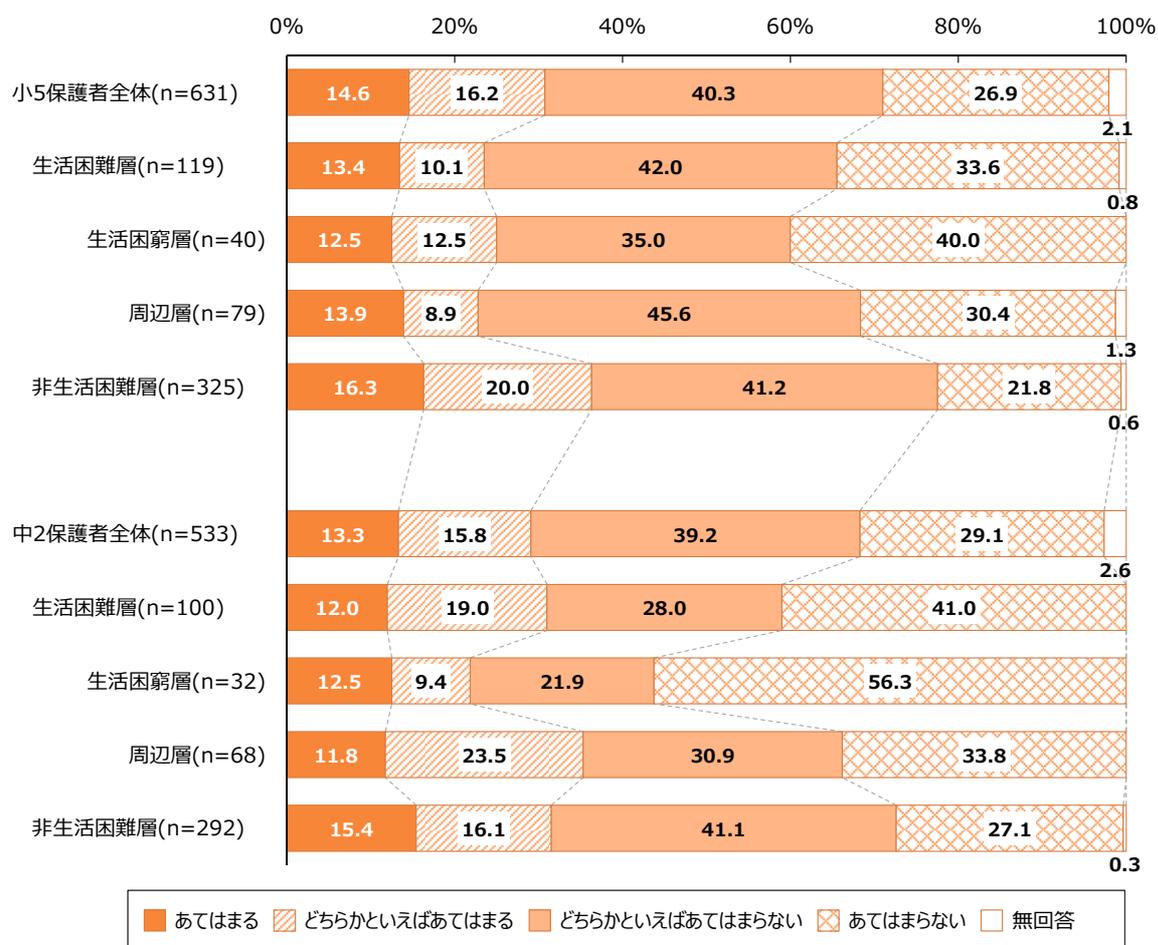
計画的に勉強するよう促しているかについて、「あてはまる」の割合は、小学5年生全体で28.4%，中学2年生全体で28.9%となっています。

生活困難度別では、小学5年生の生活困窮層で20.0%と低く、周辺層で38.0%と高くなっています。中学2年生では、生活困窮層で18.8%，周辺層で27.9%，非生活困難層で31.8%と困難度が高い層ほど「あてはまる」の割合は低くなっています。



## Ｊ お子さんが英語や外国の文化に触れるよう意識している

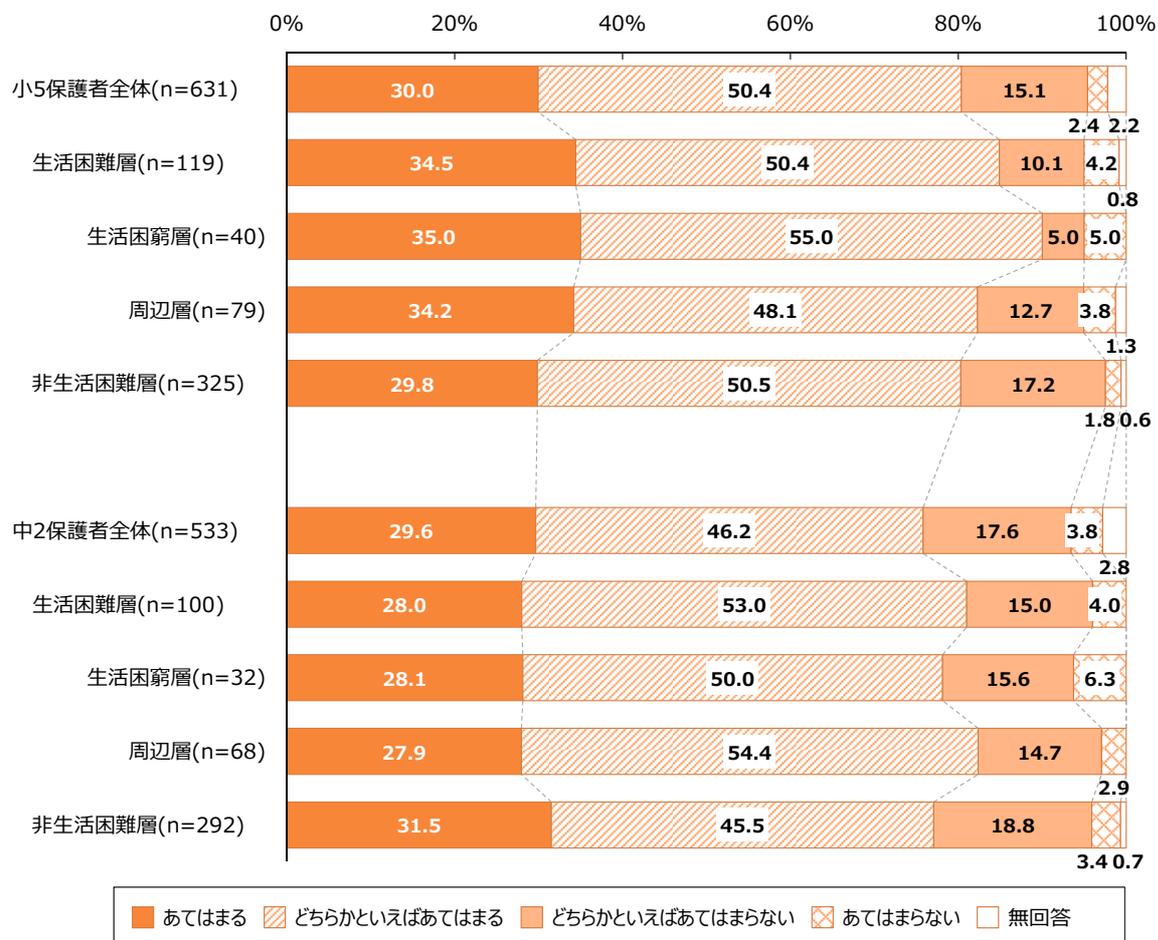
英語や外国の文化に触れるよう意識しているかについて、「あてはまる」の割合は、小学5年生、中学2年生とも2割以下と低くなっています。一方、「あてはまらない」の割合を生活困難度別にみると、小学5年生の生活困窮層で40.0%、周辺層で30.4%、非生活困難層で21.8%と、生活困難度が高い層ほど「あてはまらない」の割合は高く、中学2年生でも同様の傾向となっています。



## K 子どもの心配事や悩みごとの相談によく乗っている

心配事や悩みごとの相談によく乗っているかについて、「あてはまる」の割合は、小学5年生全体で30.0%，中学2年生全体で29.6%となっています。

生活困難度別でも明確な差はみられず、小学5年生，中学2年生とも同様の傾向となっています。



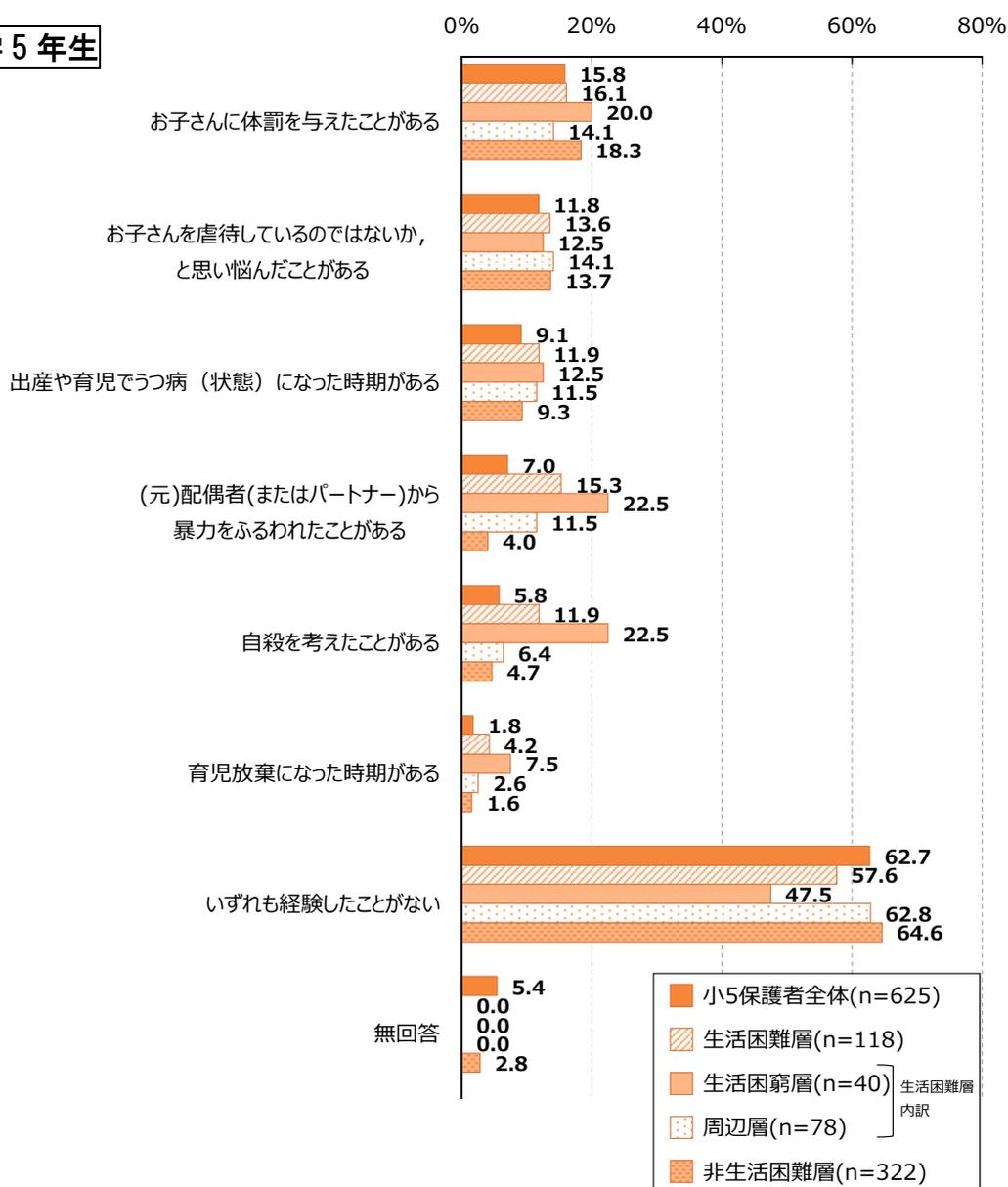
## 7 子育て上の経験

▼あなたは子育てにかかわってから、次のような経験をしたことがありますか。  
(保/問 41 複数回答)

子育てにかかわってからの経験について、小学5年生全体では「いずれも経験したことがない」が62.7%と最も多く、「お子さんに体罰を与えたことがある」が15.8%、「お子さんを虐待しているのではないかと、思い悩んだことがある」が11.8%となっています。

生活困窮層では、他の層に比べ「いずれも経験したことがない」が47.5%と低く、「(元)配偶者(またはパートナー)から暴力をふるわれたことがある」及び「自殺を考えたことがある」が22.5%と高くなっています。

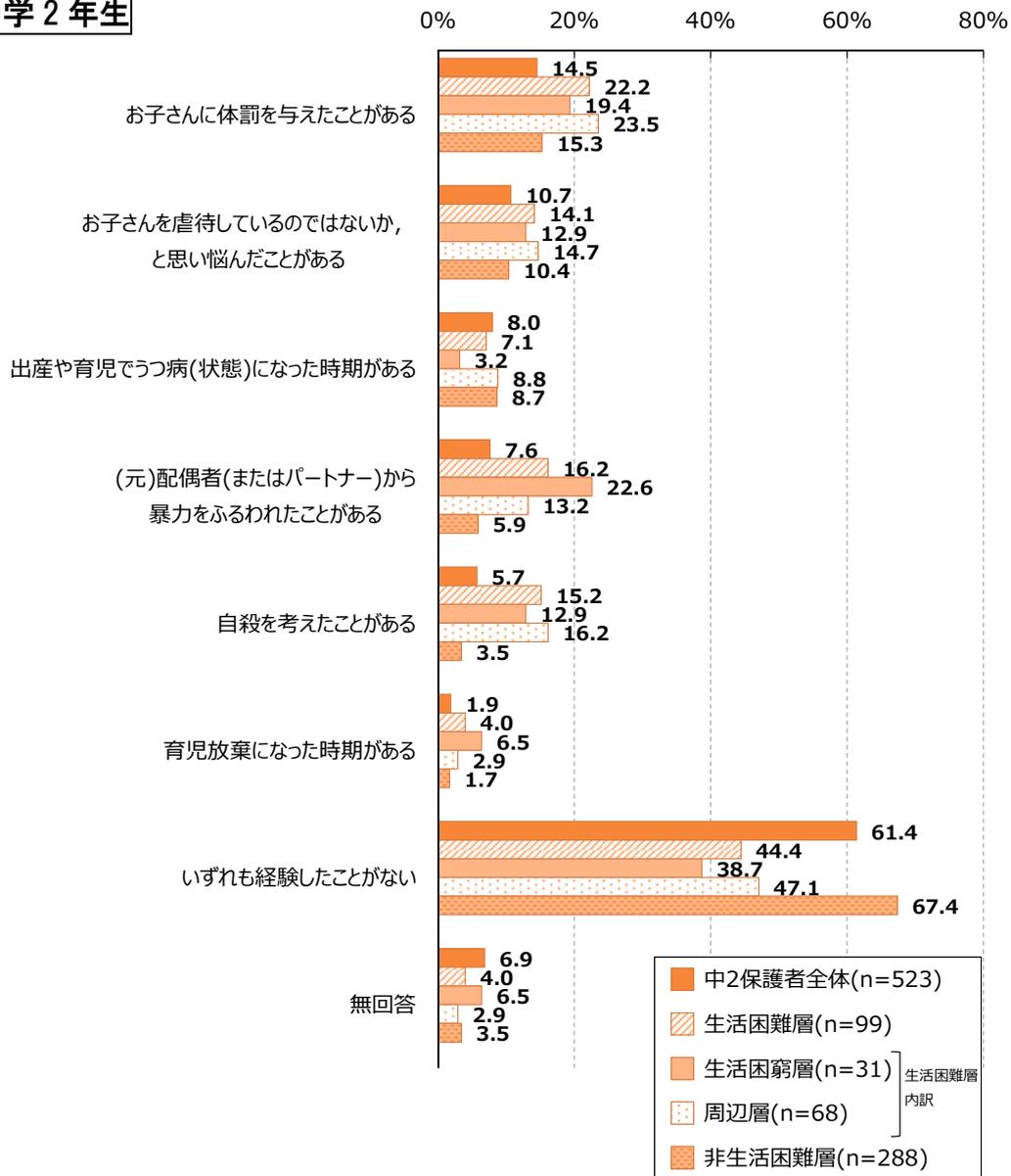
### 小学5年生



子育てにかかわってからの経験について、中学2年生全体では「いずれも経験したことがない」が61.4%、「お子さんに体罰を与えたことがある」が14.5%、「お子さんを虐待しているのではないか、と思い悩んだことがある」が10.7%となっています。

生活困窮層では他の層に比べ「いずれも経験したことがない」が38.7%と低く、「(元)配偶者(またはパートナー)から暴力をふるわれたことがある」が22.6%と高くなっています。

### 中学2年生



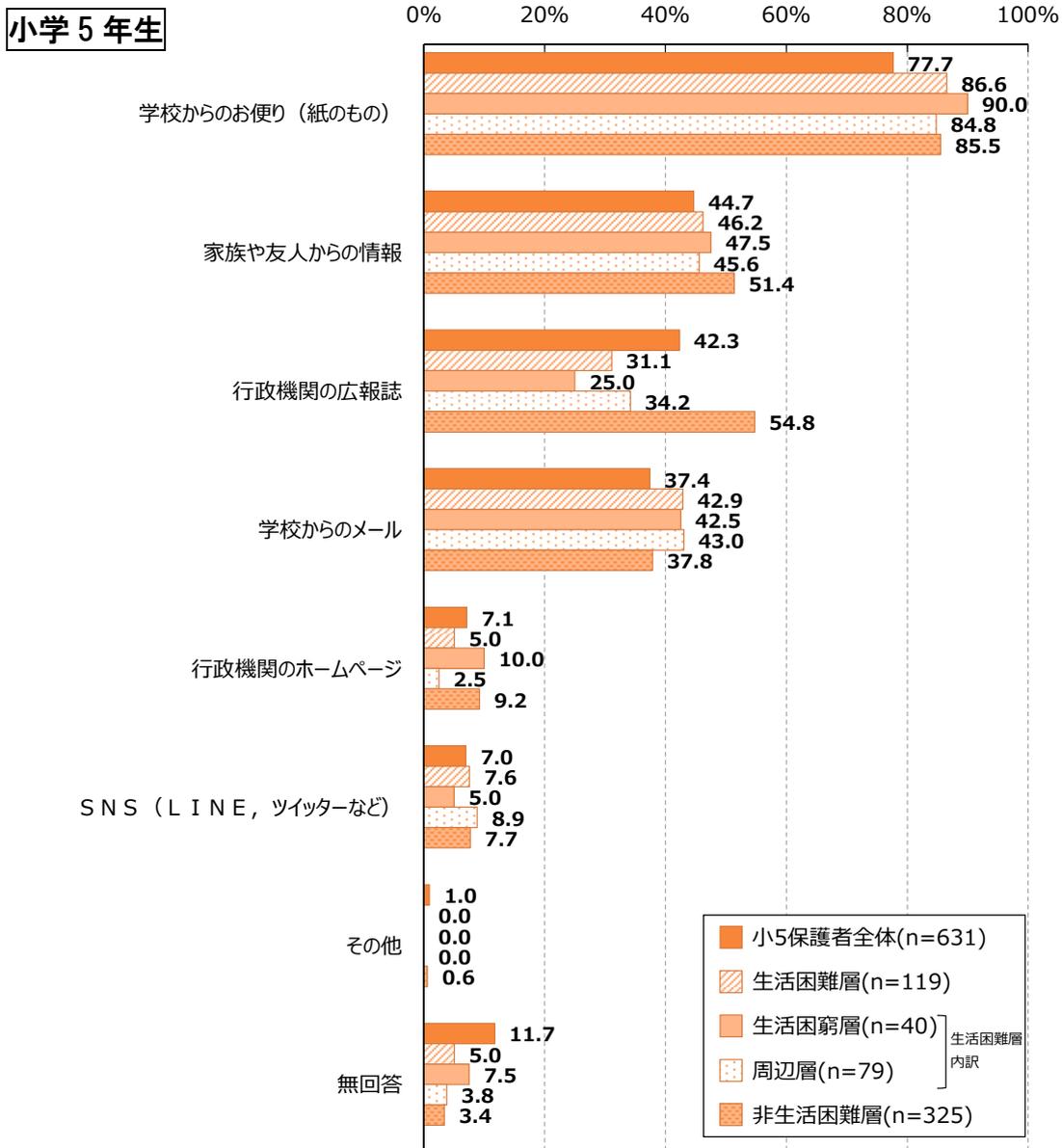
## 8 制度・サービスの利用

### (1) 子ども関連情報の入手方法の現状と意向

▼あなたは、子どもに関する施策等の情報をどのような方法で受け取っていますか。また、今後、受け取りたいですか。(保/問 43 複数回答)

#### A 現在の受け取り方法

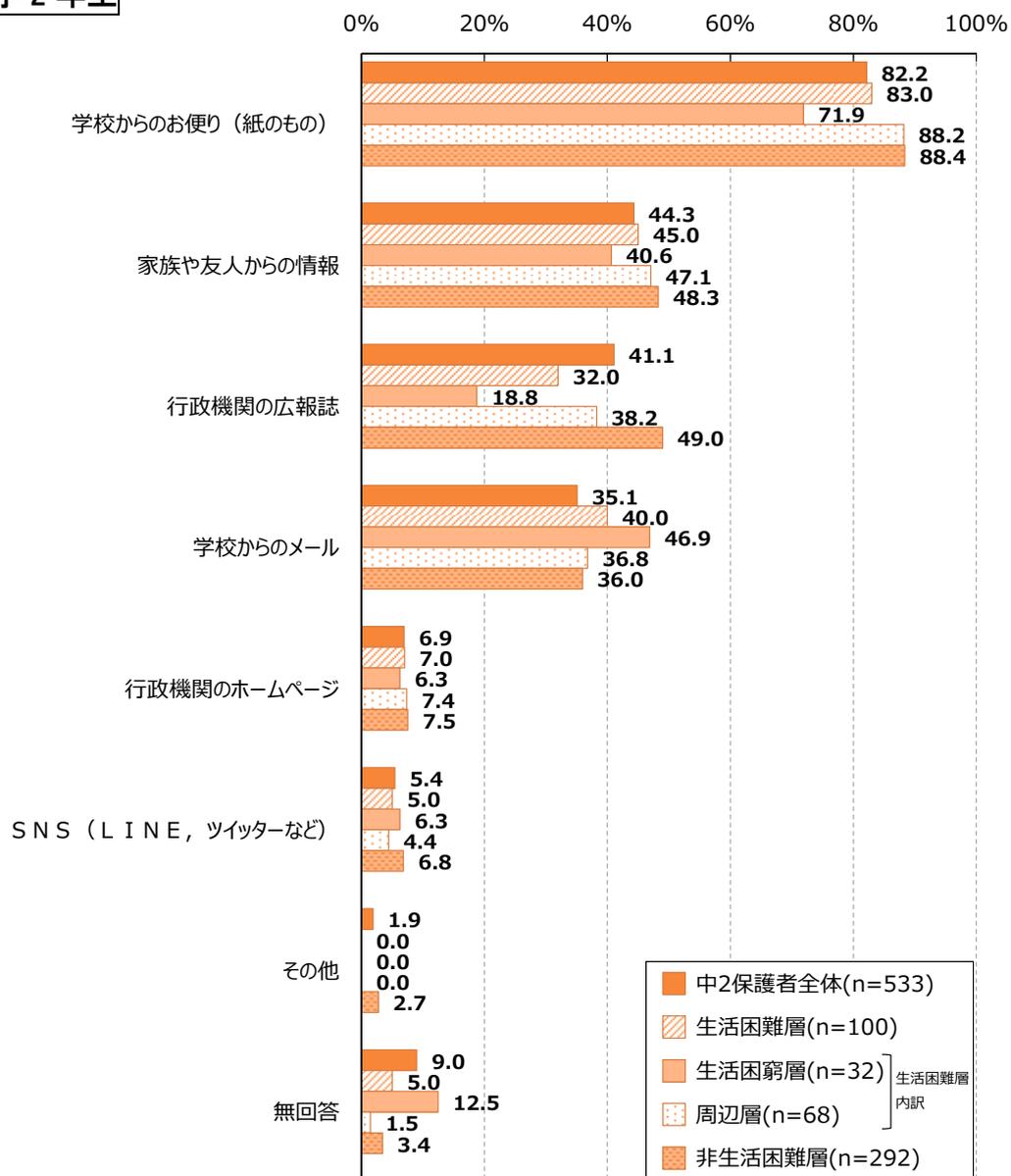
現在の受け取り方法について、小学5年生全体では「学校からのお便り（紙のもの）」が77.7%、「家族や友人からの情報」が44.7%、「行政機関の広報誌」が42.3%となっています。生活困窮層では「行政機関の広報誌」が25.0%と他の層に比べて低くなっています。



現在の受け取り方法について、中学2年生全体では「学校からのお便り（紙のもの）」が82.2%、「家族や友人からの情報」が44.3%、「行政機関の広報誌」が41.1%となっています。

生活困窮層では「学校からのお便り（紙のもの）」が71.9%、「行政機関の広報誌」が18.8%と他の層に比べて低くなっています。

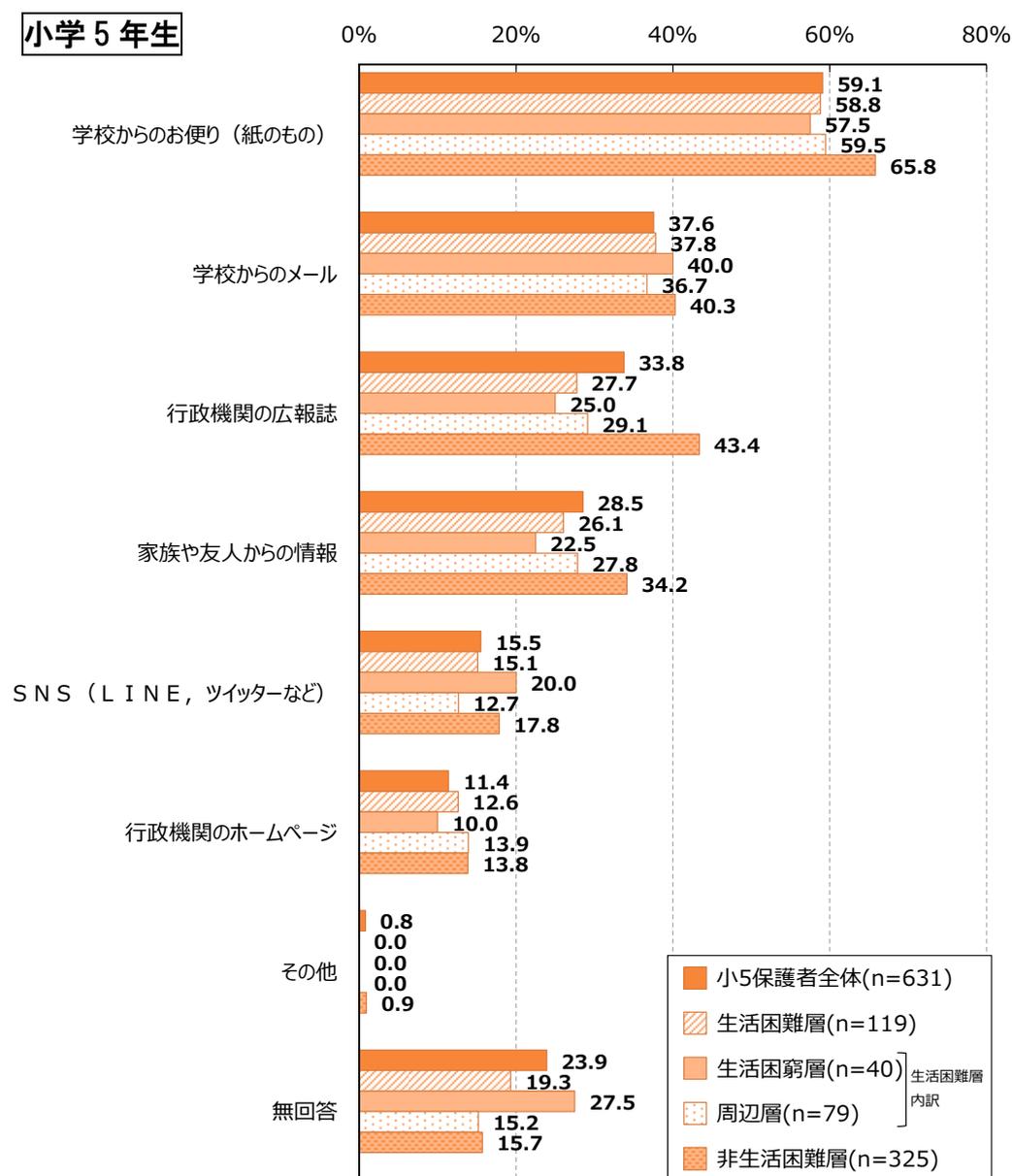
### 中学2年生



## B 今後、受け取りたい方法

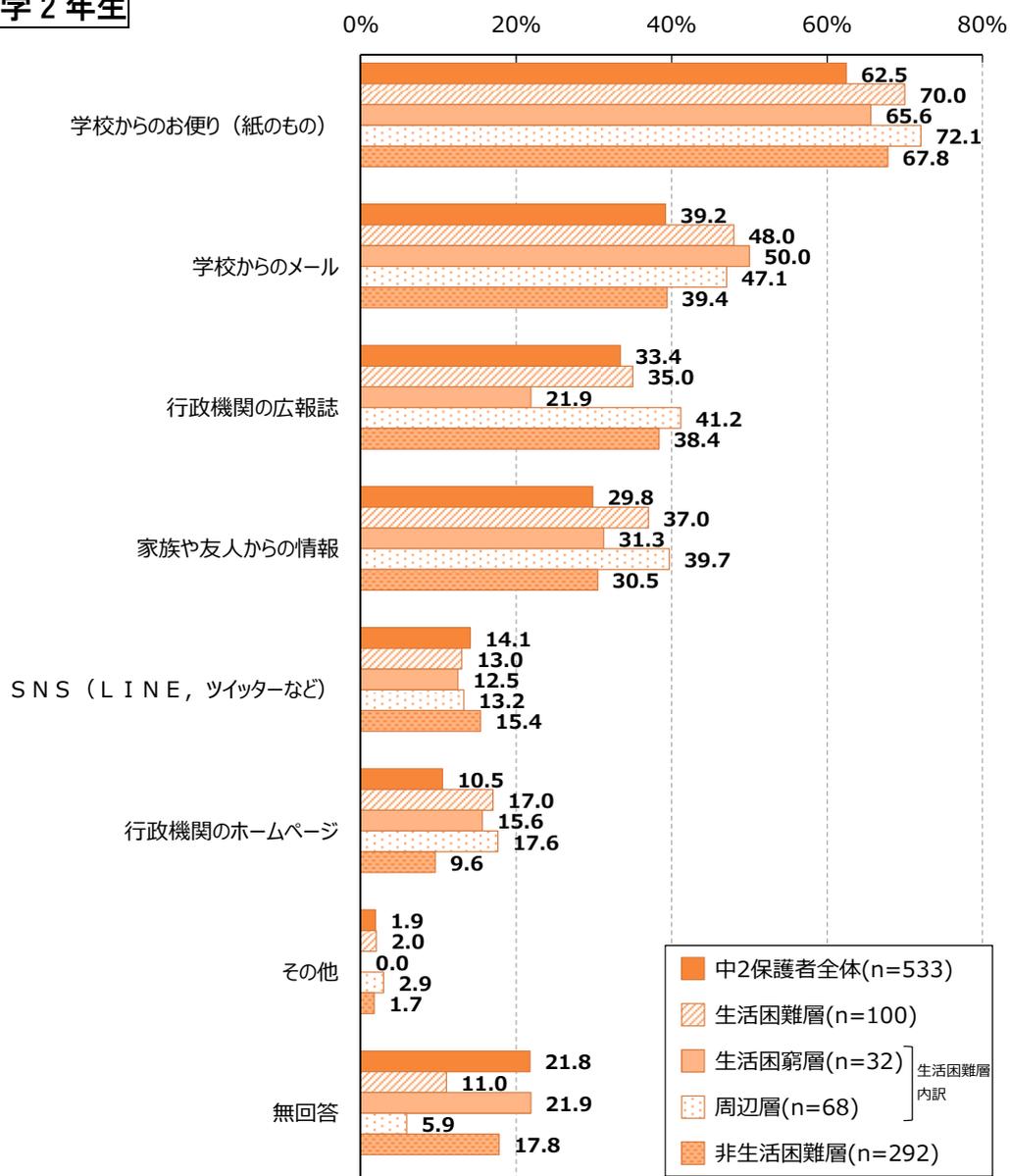
今後、受け取りたい方法について、小学5年生全体では「学校からのお便り（紙のもの）」が59.1%、「学校からのメール」が37.6%、「行政機関の広報誌」が33.8%となっています。

生活困窮層では「行政機関の広報誌」が25.0%、「家族や友人からの情報」が22.5%と、他の層に比べて低くなっています。



今後、受け取りたい方法について、中学2年生全体では「学校からのお便り（紙のもの）」が62.5%、「学校からのメール」が39.2%、「行政機関の広報誌」が33.4%となっています。生活困窮層では「行政機関の広報誌」が21.9%と他の層に比べて低くなっています。

### 中学2年生



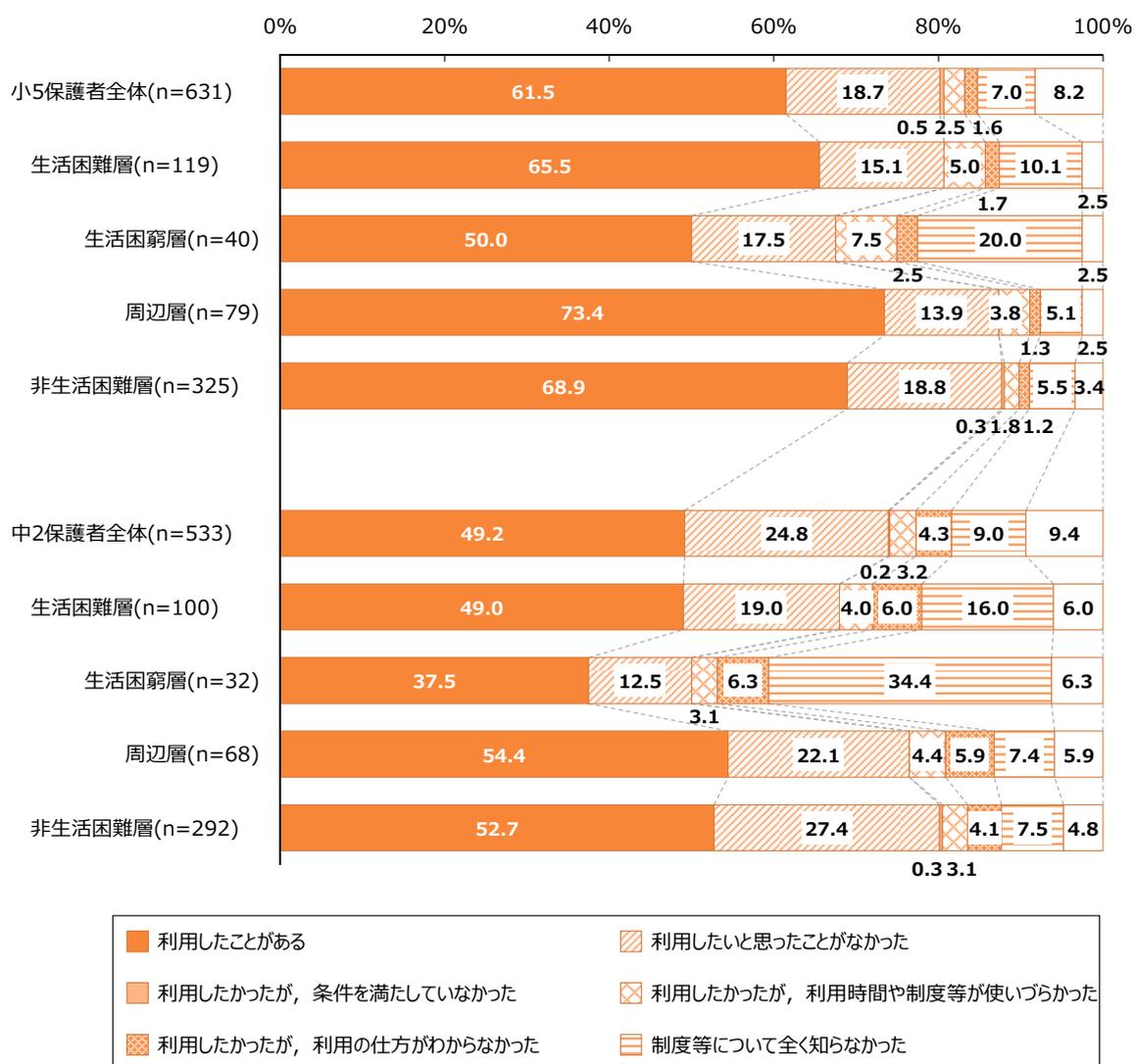
## (2) 各種支援制度の利用経験

▼次のA～Hの支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。利用したことがない場合は、その理由に最も近いものにつけてください。(保/問 44)

### A 地域子育て支援センター・子育てひろば

地域子育て支援センター・子育てひろばについて、「利用したことがある」の割合は、小学5年生全体で61.5%、中学2年生全体で49.2%となっています。

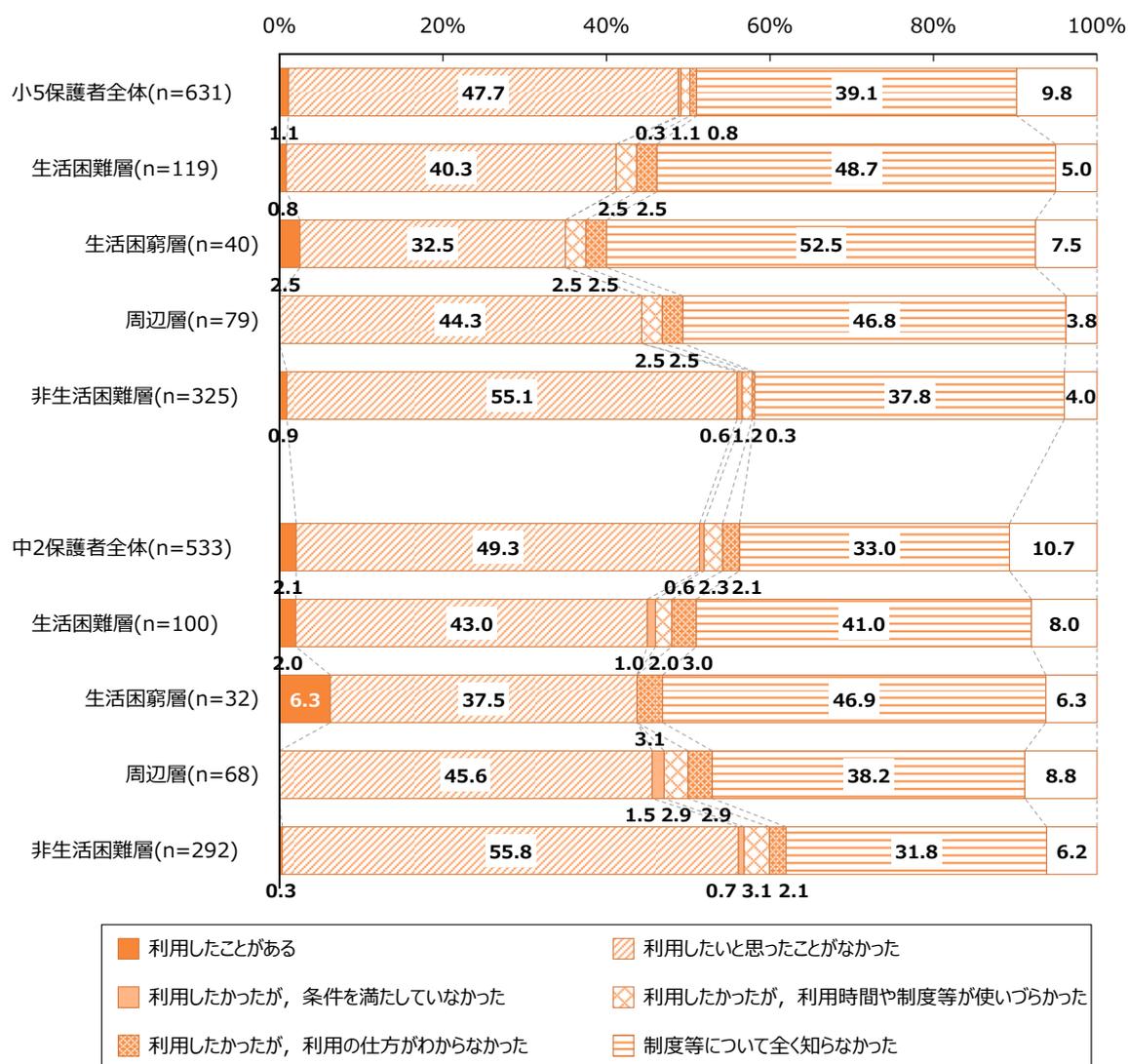
生活困難度別では、「利用したことがある」の割合は、生活困窮層で低く、小学5年生で50.0%、中学2年生で37.5%、となっている一方、「制度等について全く知らなかった」割合は生活困窮層で高く小学5年生で20.0%、中学2年生で34.4%となっています。



## B 子育て短期支援事業（ショートステイ）

子育て短期支援事業について、「制度等について全く知らなかった」の割合は、小学5年生全体で39.1%、中学2年生全体で33.0%となっています。

生活困難度別では、小学5年生の生活困窮層で52.5%、周辺層で46.8%、非生活困難層で37.8%と、生活困難度が高い層ほど「制度等について全く知らなかった」の割合が高く、中学2年生でも同様の傾向となっています。

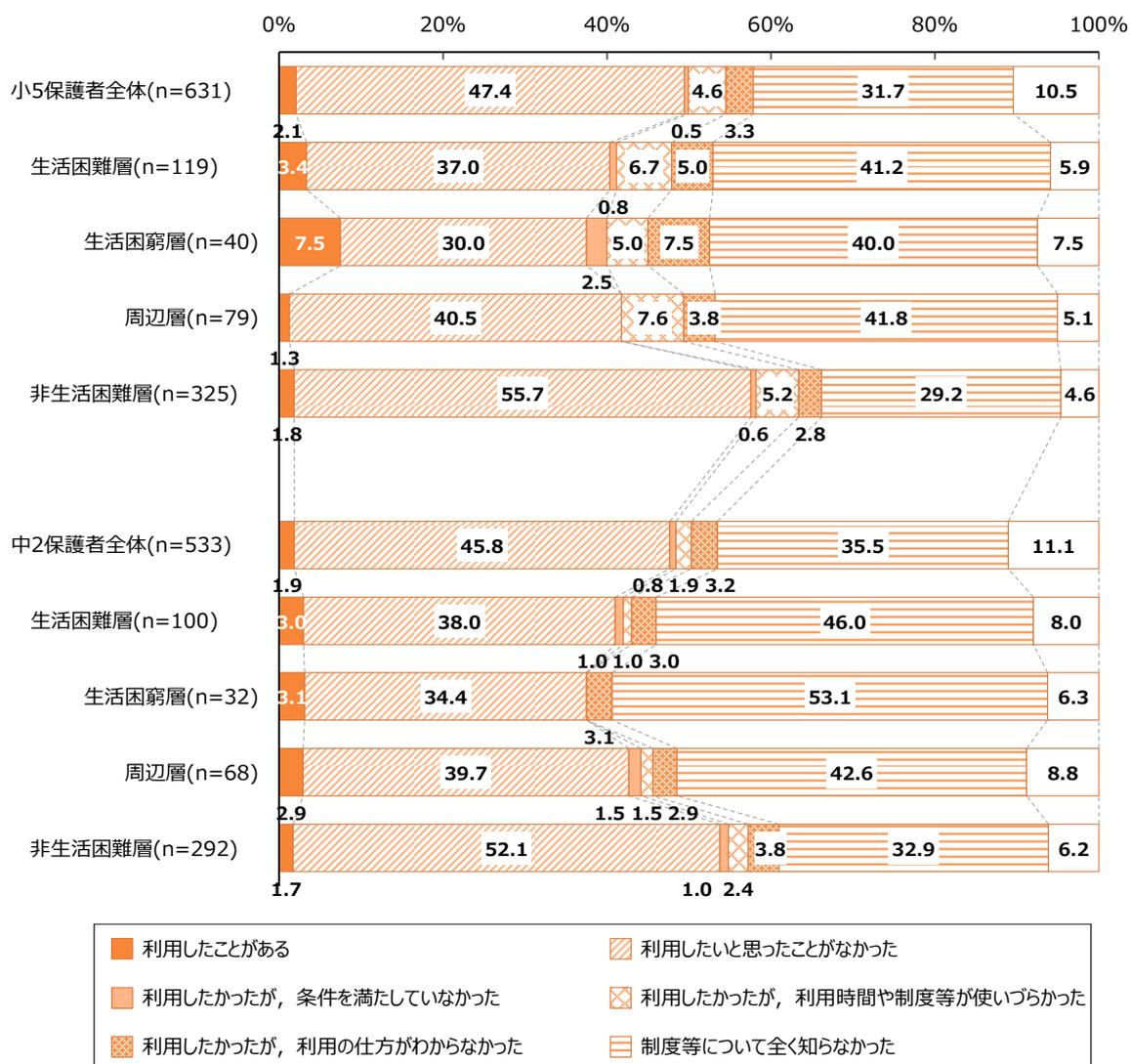


## C ファミリー・サポート・センター

ファミリー・サポート・センターについて、「制度等について全く知らなかった」の割合は、小学5年生全体で31.7%，中学2年生全体で35.5%となっています。

生活困難度別では、小学5年生では、非生活困難層の29.2%に対し、周辺層で41.8%と12ポイント高くなっています。

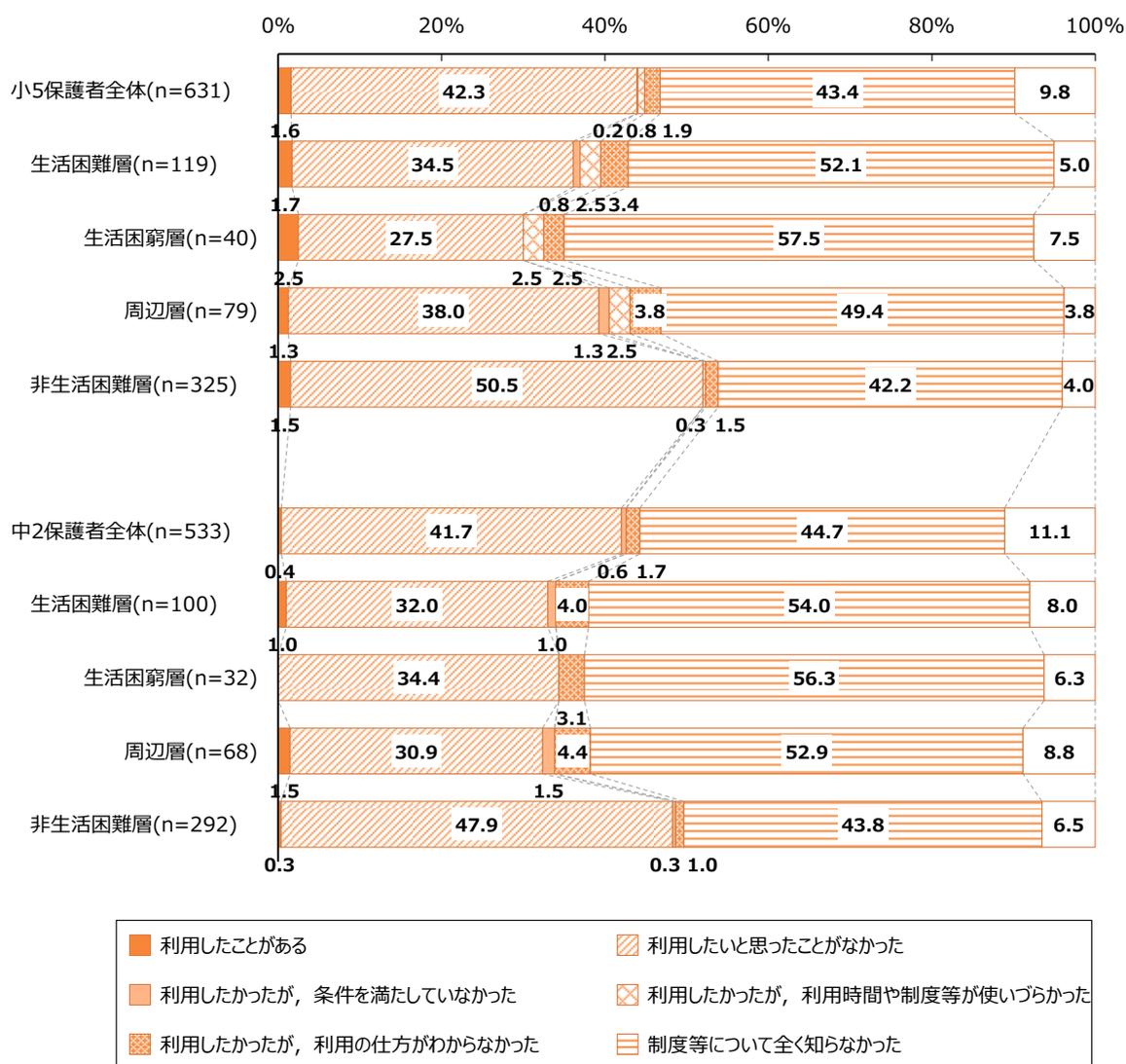
中学2年生では、生活困窮層で53.1%，周辺層で42.6%，非生活困難層で32.9%と、生活困難度が高い層ほど「制度等について全く知らなかった」の割合が高くなっています。



## D 子ども食堂

子ども食堂について、「制度等について全く知らなかった」の割合は、小学5年生全体で43.4%、中学2年生全体で44.7%となっています。

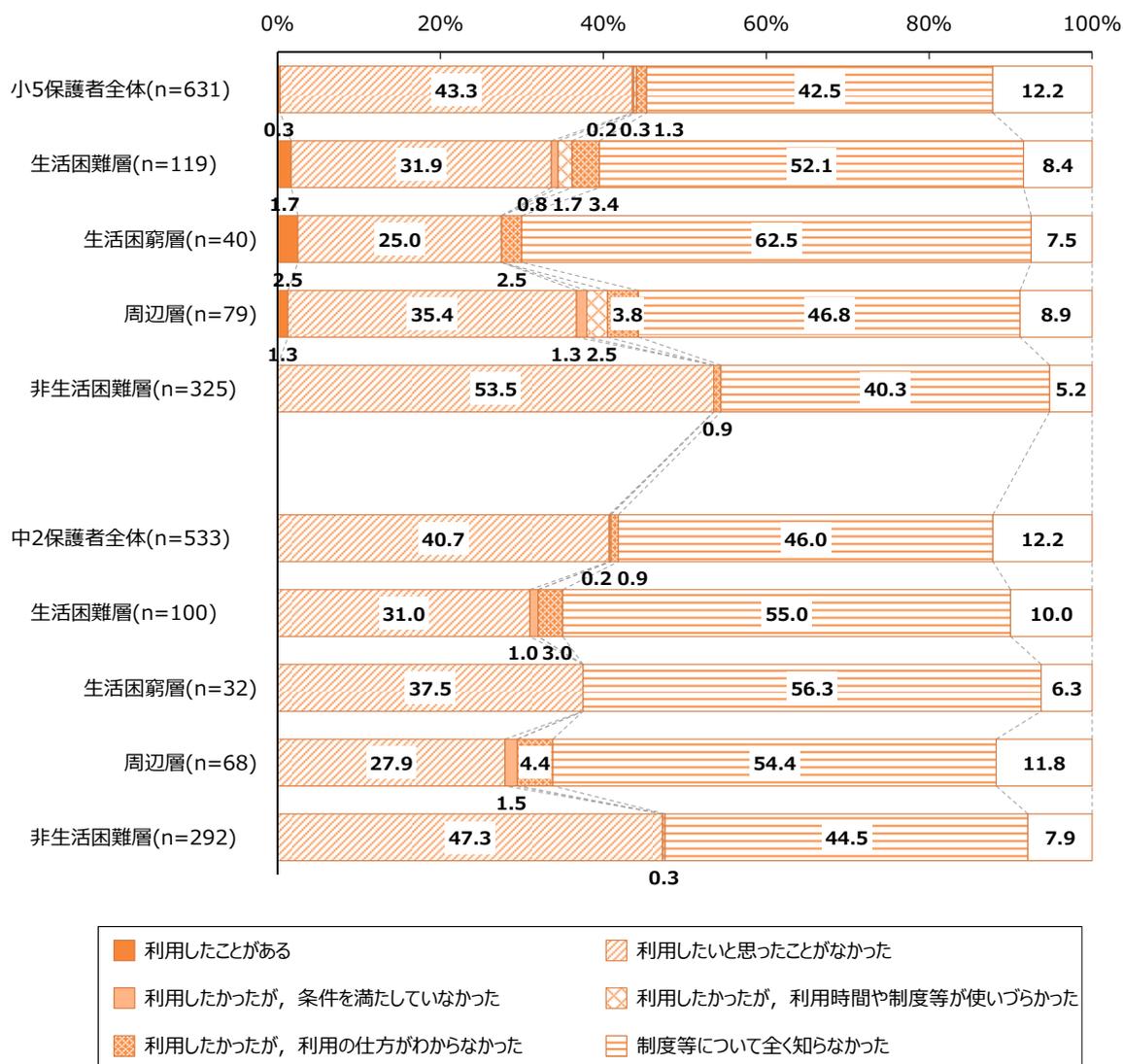
生活困難度別では、小学5年生の生活困窮層で57.5%、周辺層で49.4%、非生活困難層で42.2%と、生活困難度が高い層ほど「制度等について全く知らなかった」の割合が高く、中学2年生でも小学5年生ほど差はないものの、同様の傾向となっています。



## E フードバンクによる食料支援

フードバンクによる食料支援について、「制度等について全く知らなかった」の割合は、小学5年生全体で42.5%，中学2年生全体で46.0%となっています。

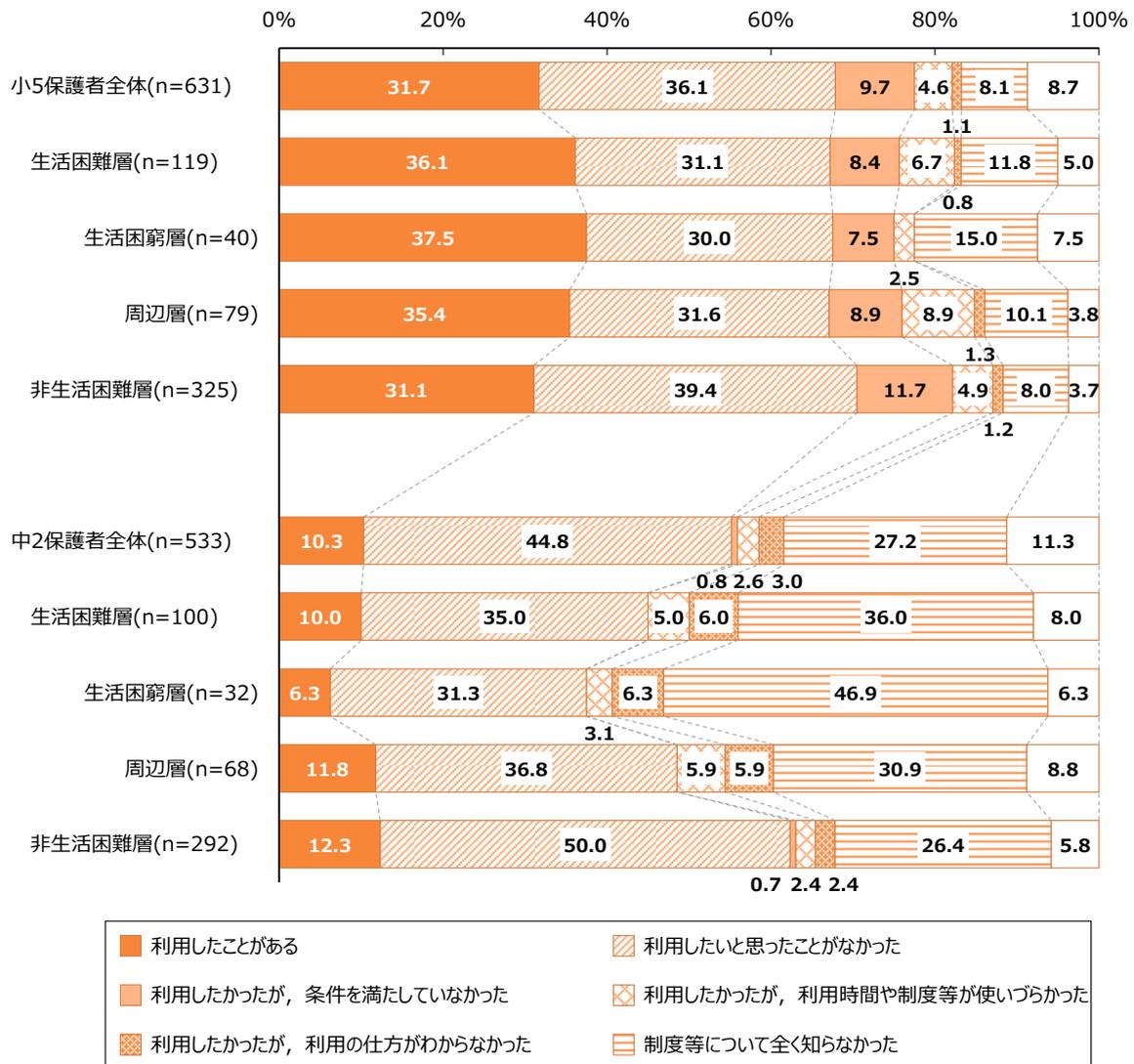
生活困難度別では、小学5年生の生活困窮層で62.5%，周辺層で46.8%，非生活困難層で40.3%と、生活困難度が高い層ほど「制度等について全く知らなかった」の割合が高く、中学2年生でも小学5年生ほど明確な差はないものの、同様の傾向となっています。



## F 子どもが自由に時間を過ごせる場所(児童館・放課後児童クラブ・公民館など)

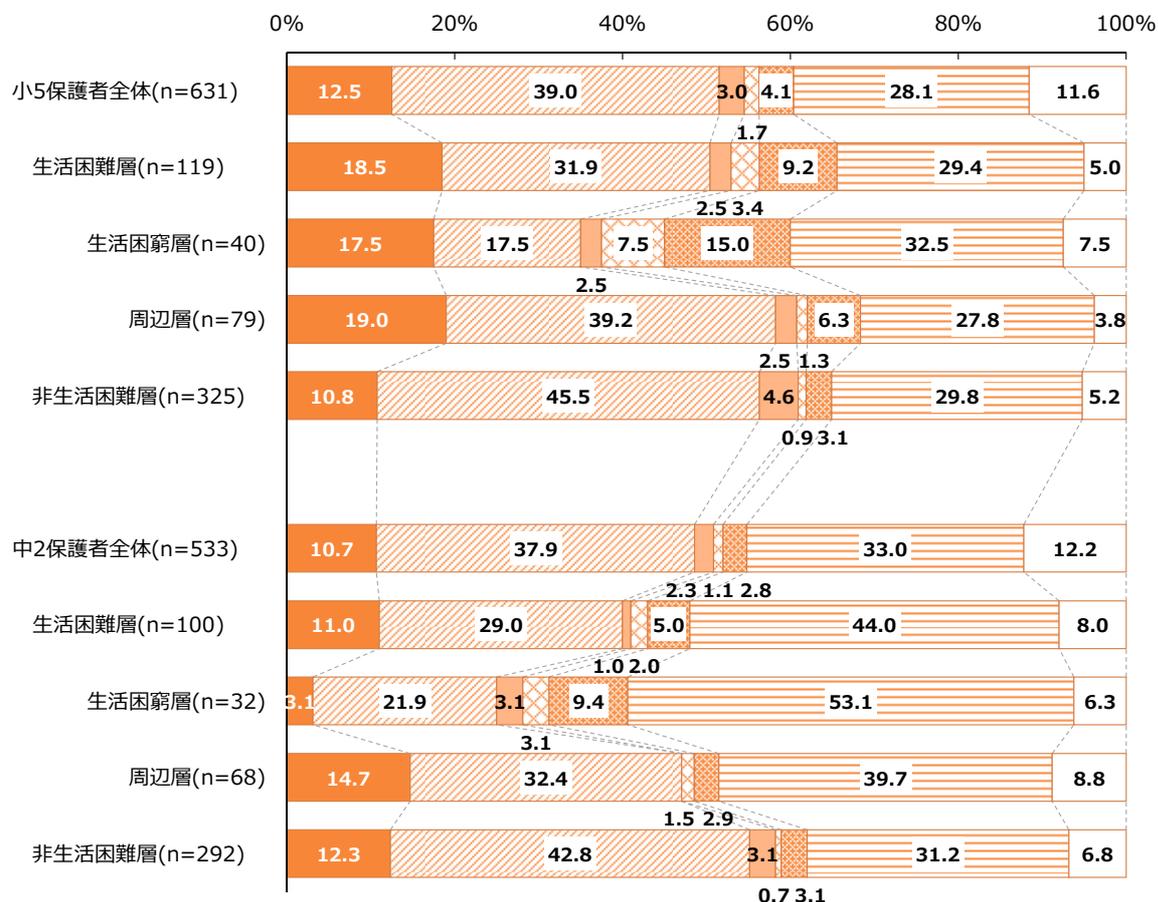
子どもが自由に時間を過ごせる場所について、「利用したことがある」の割合は、小学5年生の全体で31.7%となっており、生活困難度別でも同様の傾向となっています。

中学2年生では、小学5年生に比べ「利用したことがある」の割合は総じて低く、全体で10.3%となっています。また、「制度等について全く知らなかった」の割合は、中学2年生で高く、全体で27.2%、生活困難度別では、生活困難度との相関がみられ、困難度が高い層ほど割合は高く、生活困窮層では46.9%と約半数が回答しています。



## G 学校が実施する補講（学習支援）

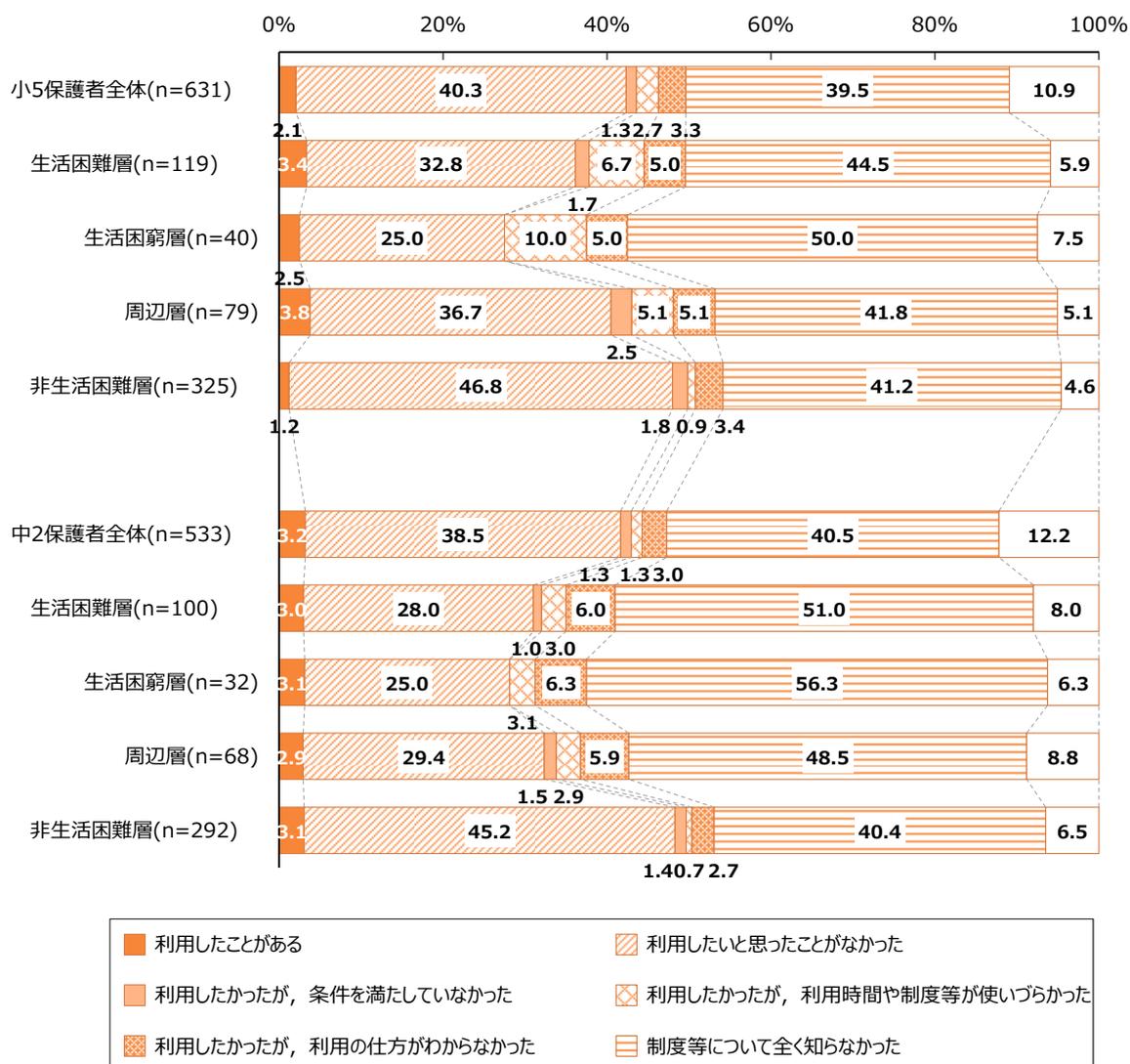
学校が実施する補講について、「利用したことがある」の割合は、小学5年生全体で12.5%、中学2年生全体で10.7%となっています。また、「制度等について全く知らなかった」の割合を生活困難度別でみると、中学2年生では、生活困難度との相関がみられ、困難度が高い層ほど割合は高く、生活困窮層では53.1%と半数以上が回答しています。



## H 学校以外が実施する学習支援

学校以外が実施する学習支援について、「制度等について全く知らなかった」の割合は、小学5年生全体で39.5%，中学2年生全体で40.5%となっています。

生活困難度別に「制度等について全く知らなかった」の割合をみると、小学5年生では、生活困難度との相関がみられ、困難度が高い層ほど割合は高く、生活困窮層では50.0%と半数が回答しています。中学2年生でも同様の傾向がみられるものの、割合はやや高くなっています。



### (3) 各種経済的支援制度の利用経験

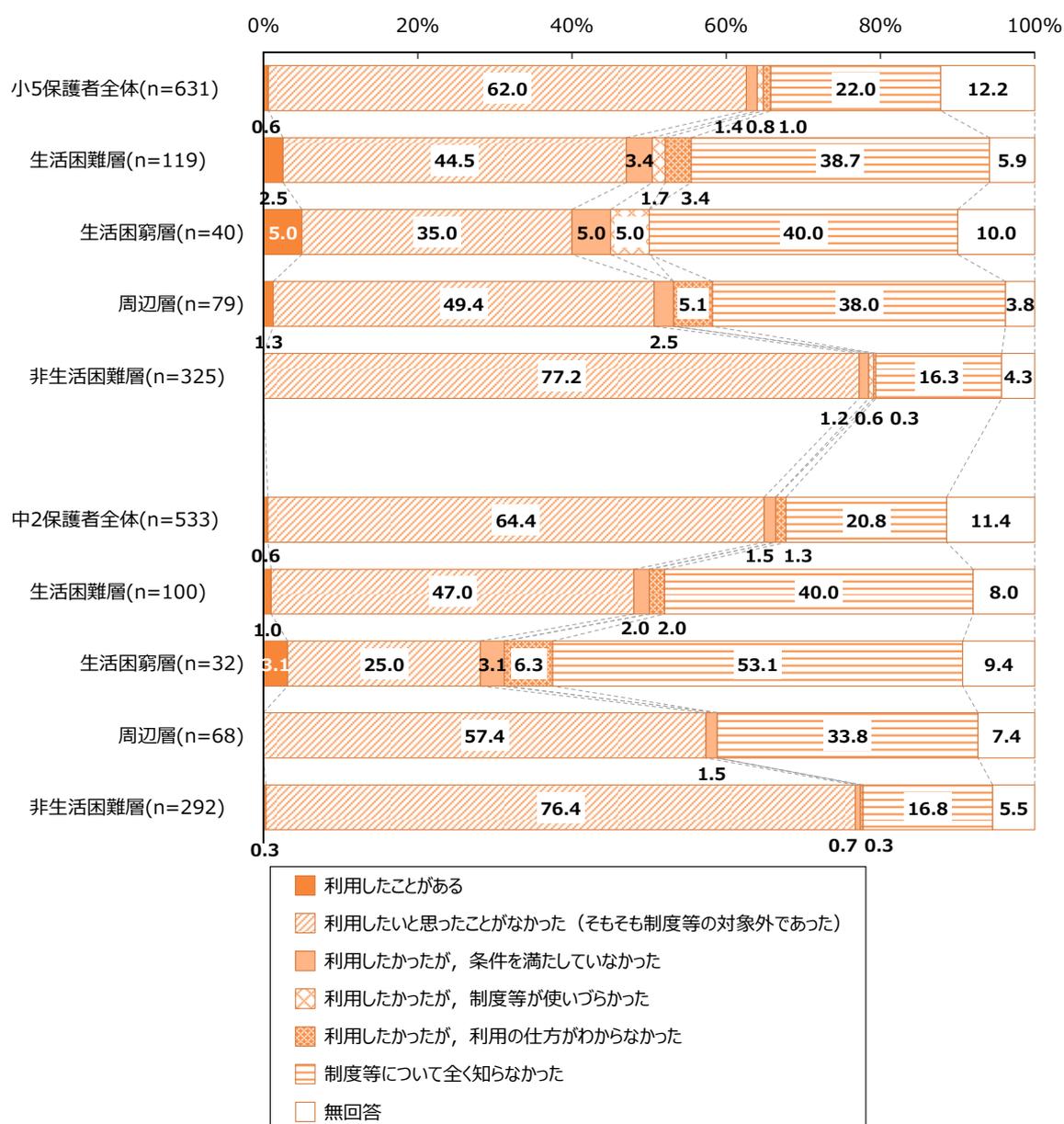
▼次のI~Lの支援制度等は、これまでに利用・受給（以下「利用」という。）したことがありますか。利用したことがない場合は、その理由に最も近いものについて○をつけてください。

（保/問 45）

#### I 生活福祉資金の貸付

生活福祉資金の貸付について、「制度等について全く知らなかった」の割合は、小学5年生全体で22.0%、中学2年生全体で20.8%となっています。

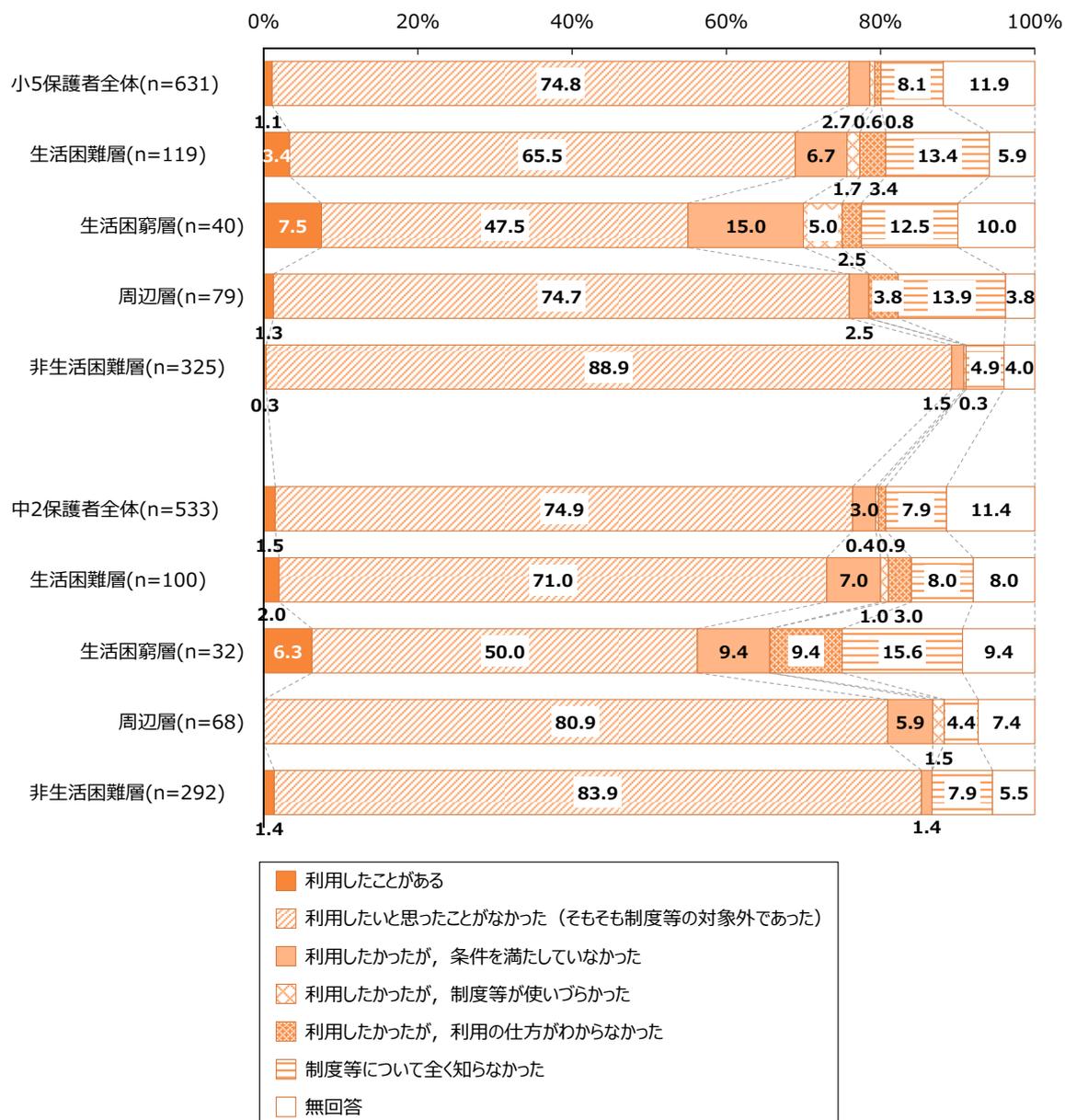
生活困難度別では、小学5年生の生活困窮層で40.0%、周辺層で38.0%、非生活困難層で16.3%と、生活困難度が高い層ほど「制度等について全く知らなかった」の割合が高く、中学2年生でも同様の傾向となっています。



## J 生活保護

生活保護について、「利用したことがある」の割合は、小学5年生全体で1.1%、中学2年生全体で1.5%となっています。

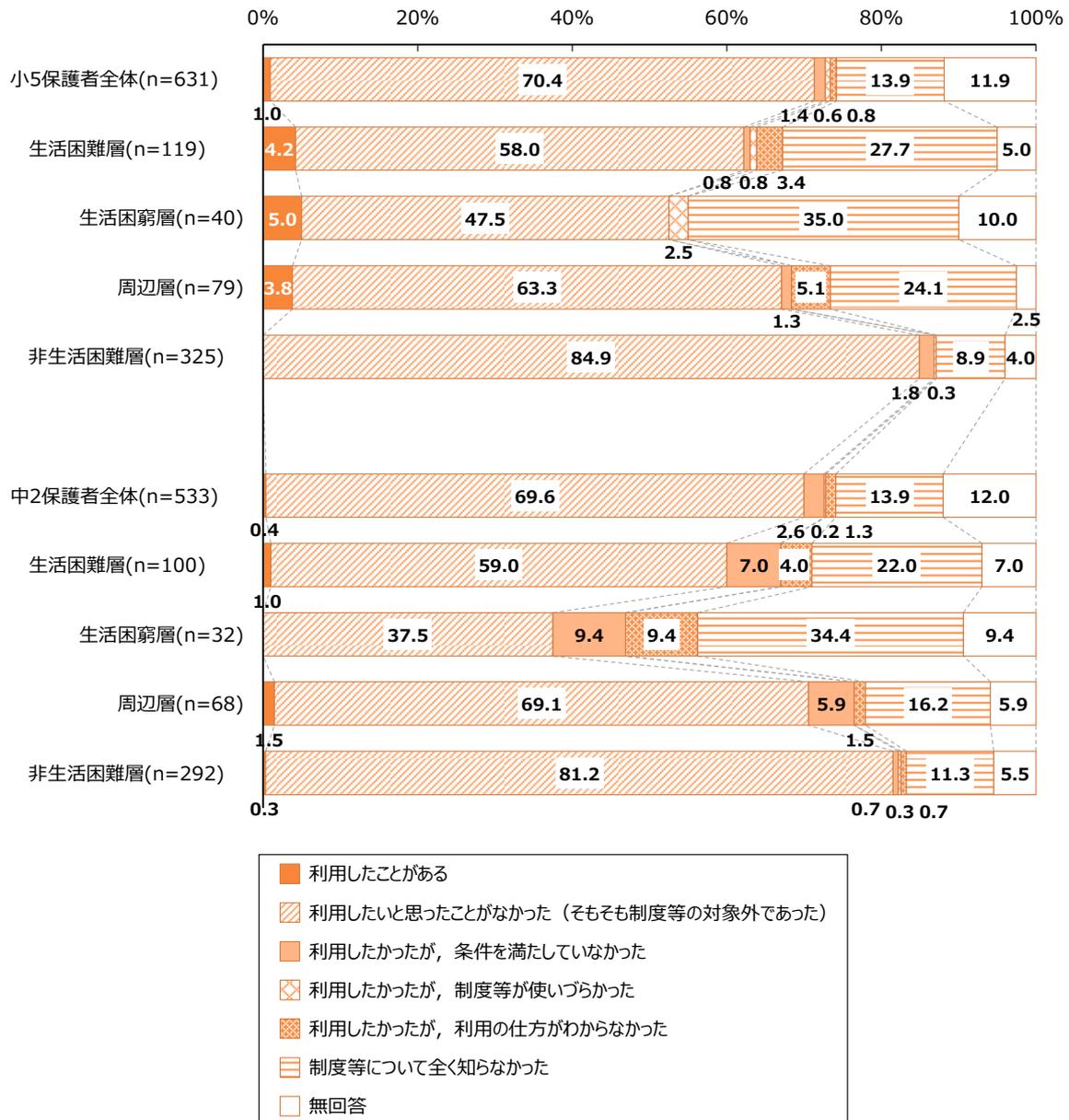
生活困難度別では、小学5年生の生活困窮層で7.5%、中学2年生の生活困窮層で6.3%と、生活困窮層で「利用したことがある」の割合が高くなっています。



## K 母子及び父子福祉資金の貸付

母子及び父子福祉資金の貸付について、「制度等について全く知らなかった」の割合は、小学5年生全体で13.9%，中学2年生全体で13.9%となっています。

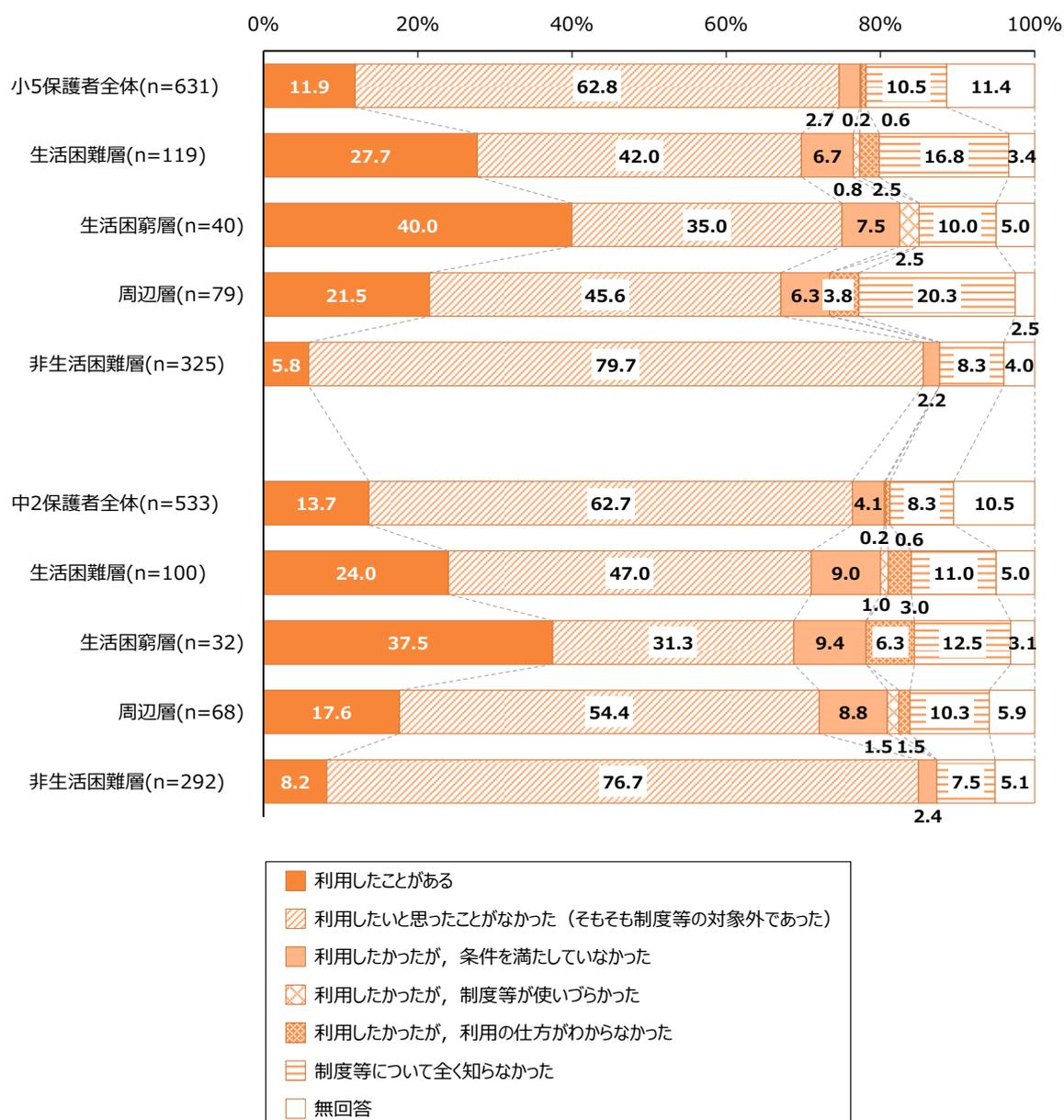
生活困難度別では、小学5年生の生活困窮層で35.0%，周辺層で24.1%，非生活困難層で8.9%と、生活困難度が高い層ほど「制度等について全く知らなかった」の割合が高く、中学2年生でも同様の傾向となっています。



## L 児童扶養手当

児童扶養手当について、「利用したことがある」の割合は、小学5年生全体で11.9%、中学2年生全体で13.7%となっています。

生活困難度別では、小学5年生の生活困窮層で40.0%、周辺層で21.5%、非生活困難層で5.8%と、生活困難度が高い層ほど「利用したことがある」の割合が高く、中学2年生でも同様の傾向となっています。



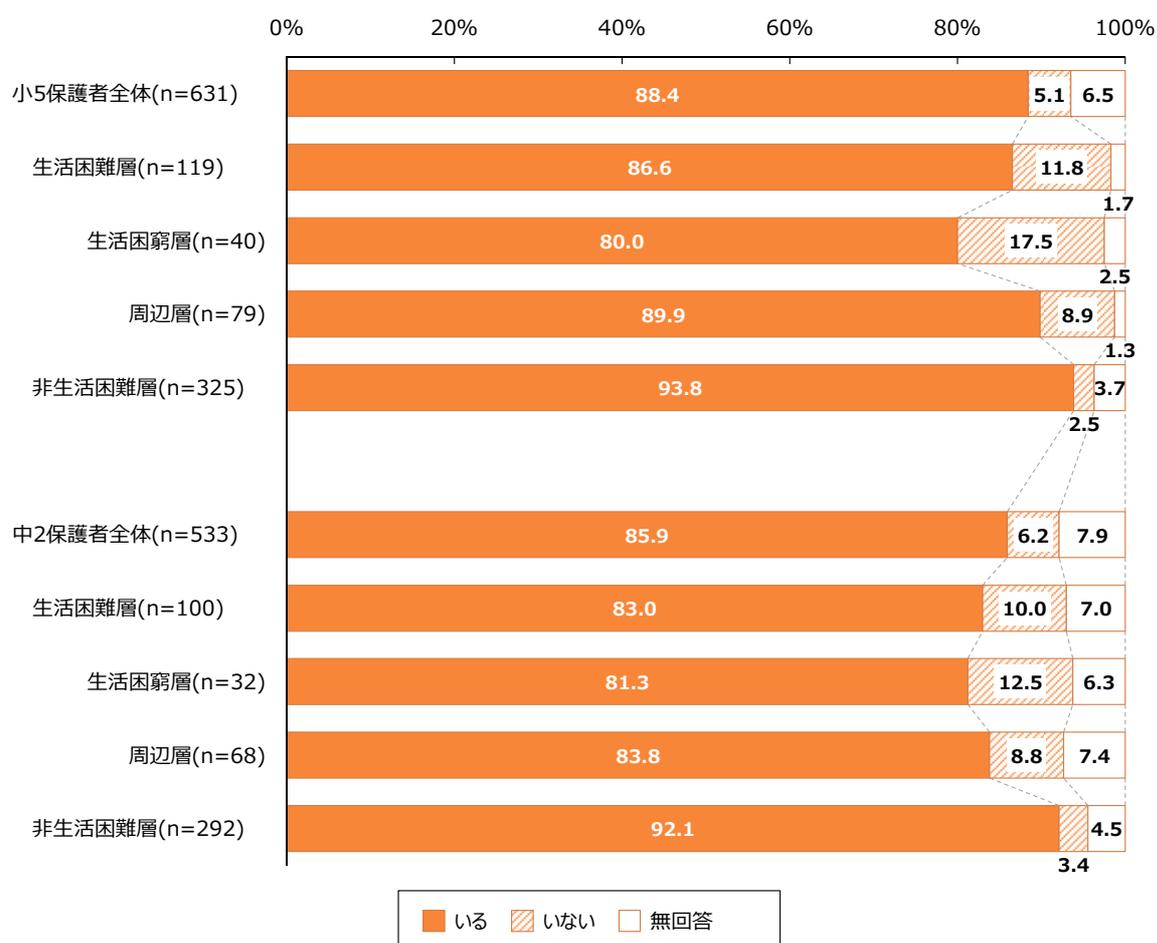
## 9 相談

### (1) 相談相手の有無

▼あなたは、本当に困ったときや悩みがあるとき、相談できる人（家族、友人、親戚、同僚など）がいますか。（保/問 46）

相談相手の有無について、「いる」の割合は、小学5年生全体で88.4%、中学2年生全体で85.9%と多数を占めています。

生活困難度別では、小学5年生の生活困窮層で80.0%、周辺層で89.9%、非生活困難層で93.8%と、生活困難度が高い層ほど「いる」の割合は低く、中学2年生でも同様の傾向となっています。



## (2) 公的相談機関の利用経験

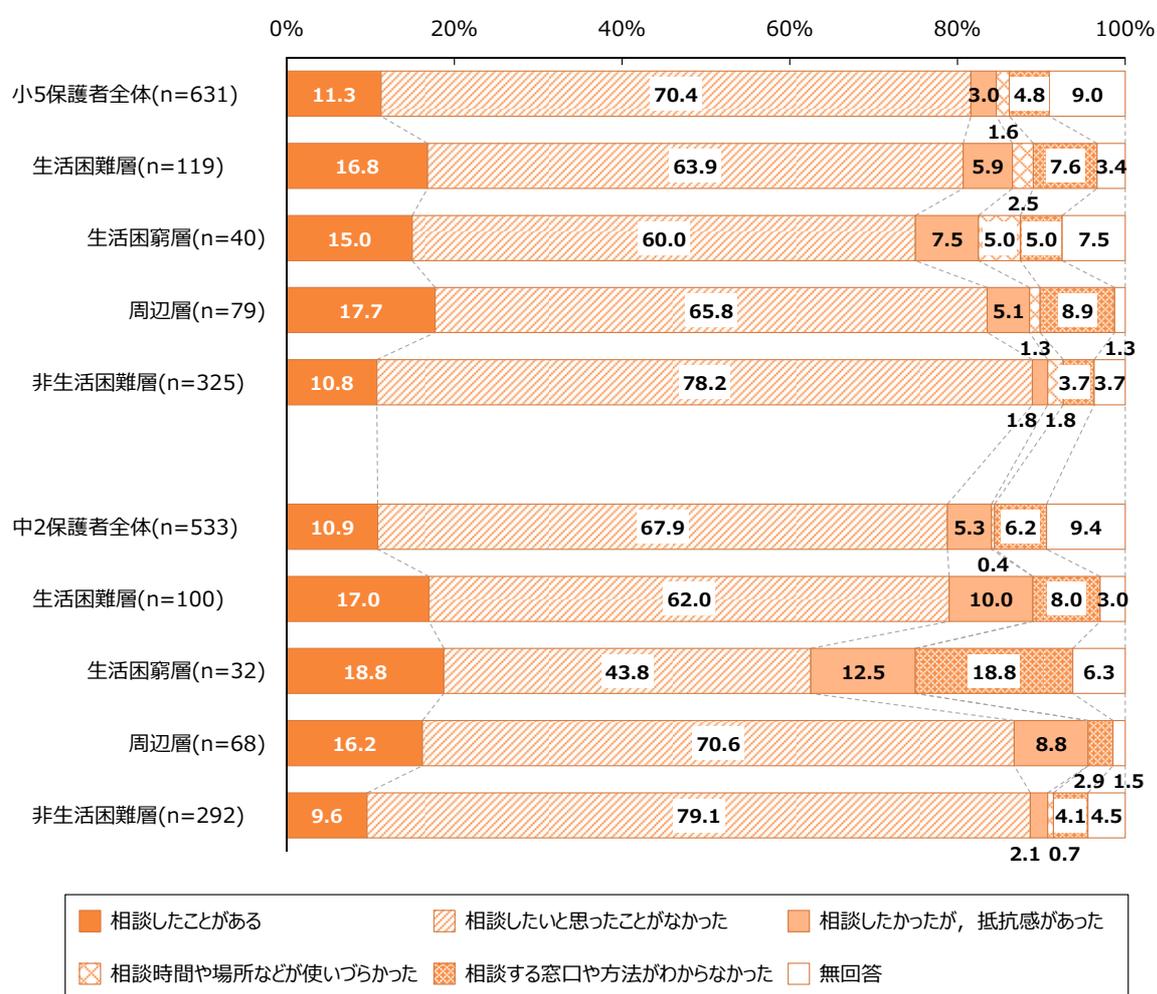
▼あなたは、これまでに困ったときに次の公的機関に相談したことがありますか。相談したことがない場合は、その理由に最も近いものについて○をつけてください。(保/問 47)

### A 県・市町の窓口

県・市町の窓口について、「相談したことがある」の割合は、小学5年生全体で11.3%、中学2年生全体で10.9%となっています。

生活困難度別に「相談したことがある」の割合をみると、小学5年生では生活困窮層で15.0%、周辺層で17.7%とやや高くなっています。中学2年生では生活困窮層で18.8%、周辺層で16.2%、非生活困難層で9.6%と、生活困難度が高い層ほど割合が高くなっています。

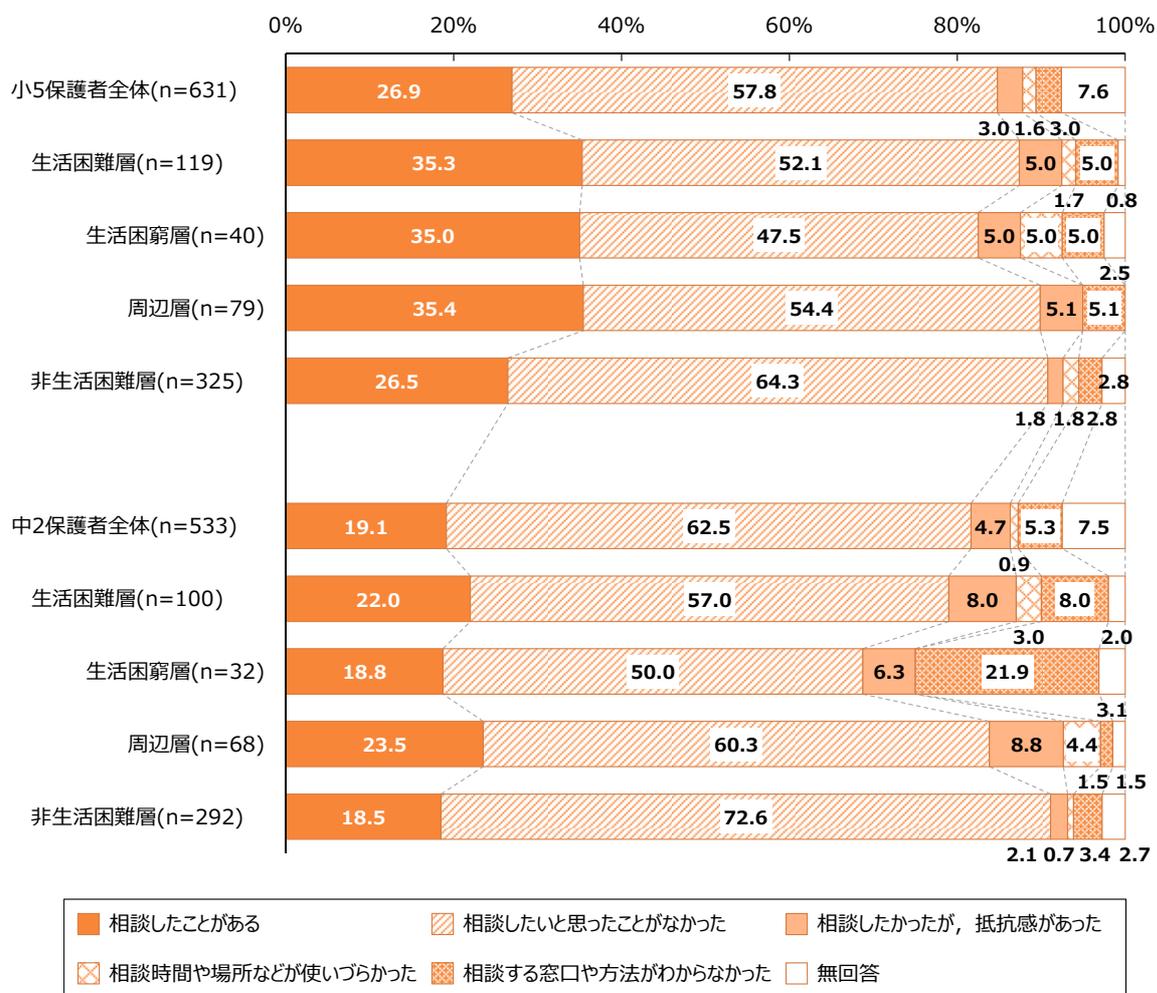
一方、「相談する窓口や方法がわからなかった」は、小学5年生では周辺層で8.9%、中学2年生では生活困窮層で18.8%とやや高い割合となっています。



## B 地域子育て支援センター

地域子育て支援センターについて、「相談する窓口や方法がわからなかった」の割合は、小学5年生全体で3.0%、中学2年生全体で5.3%となっています。

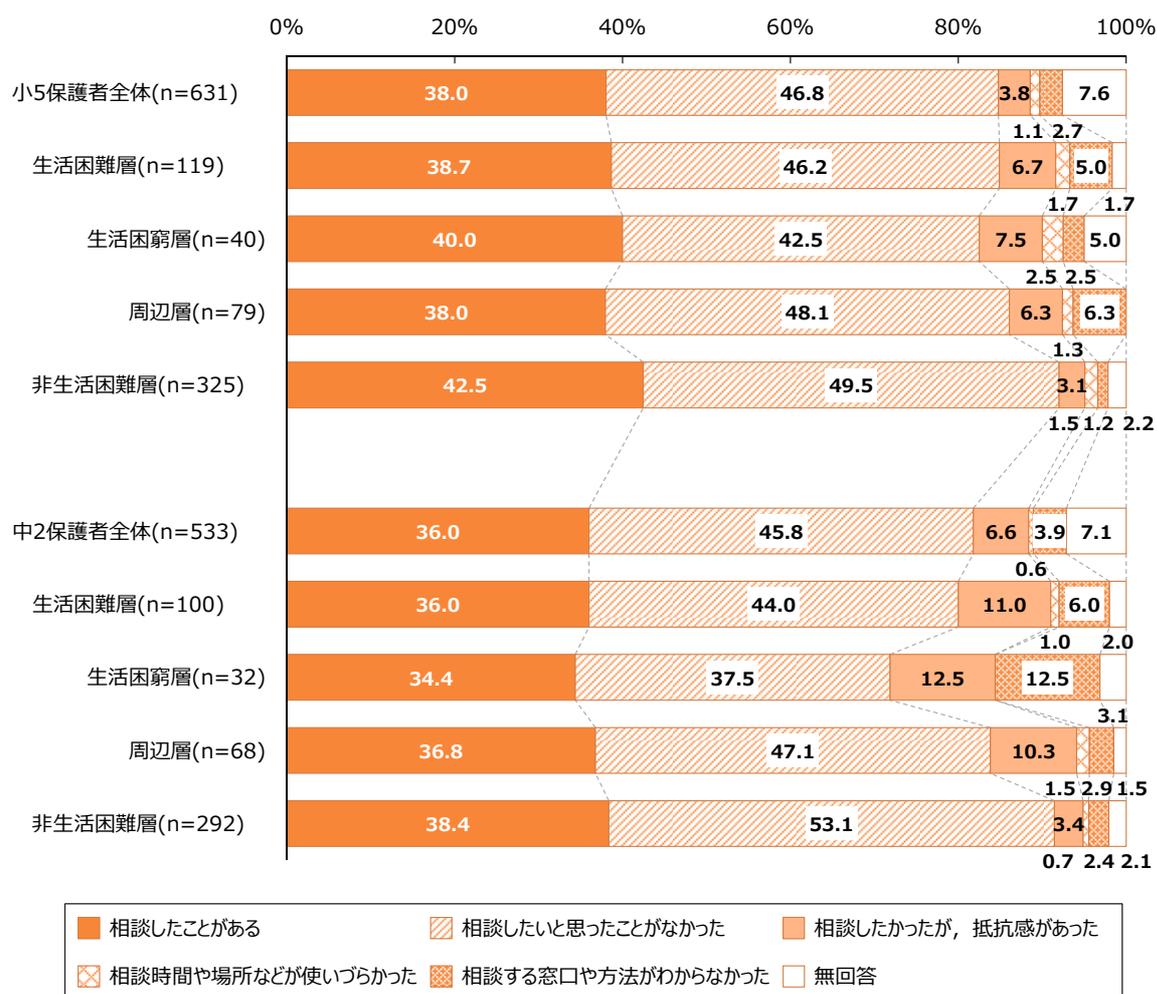
生活困難度別に「相談する窓口や方法がわからなかった」の割合をみると、小学5年生では生活困難度による差はみられませんが、中学2年生では生活困窮層で21.9%と高い割合となっています。



### C 学校・保育所・幼稚園の先生，スクールカウンセラーなど

学校などの先生，スクールカウンセラーなどについて，「相談したことがある」の割合は，小学5年生全体で38.0%，中学2年生全体で36.0%となっています。また，「相談したかったが，抵抗感があった」の割合は，小学5年生全体で3.8%，中学2年生全体で6.6%となっています。

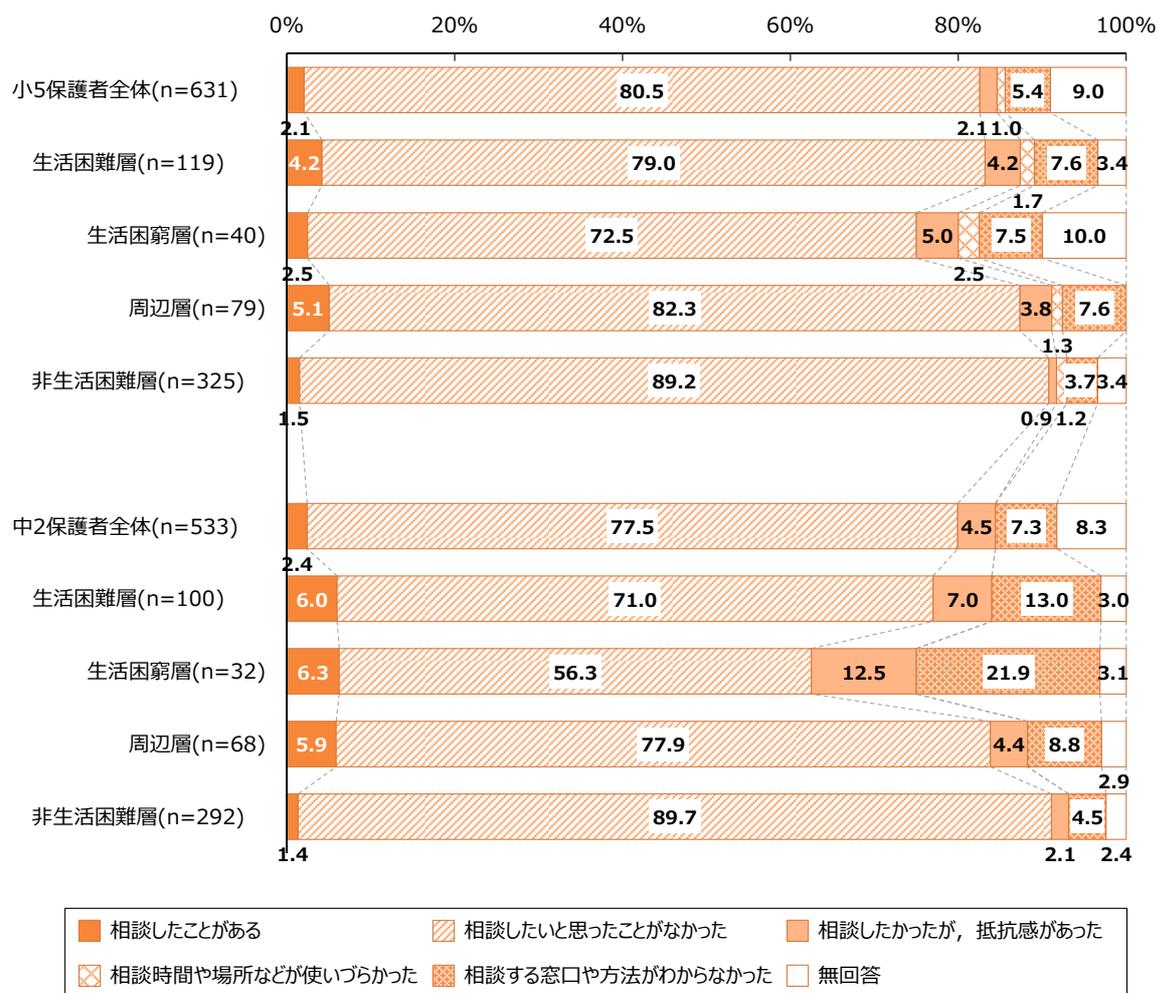
生活困難度別では，「利用したことがある」の割合はいずれも3～4割となっていますが，「相談したかったが，抵抗感があった」の割合は，小学5年生の生活困窮層で7.5%，中学2年生の生活困窮層で12.5%と，生活困窮層でやや高くなっています。



## D 民生委員児童委員

民生委員児童委員について、「相談する窓口や方法がわからなかった」の割合は、小学5年生全体で5.4%、中学2年生全体で7.3%となっています。

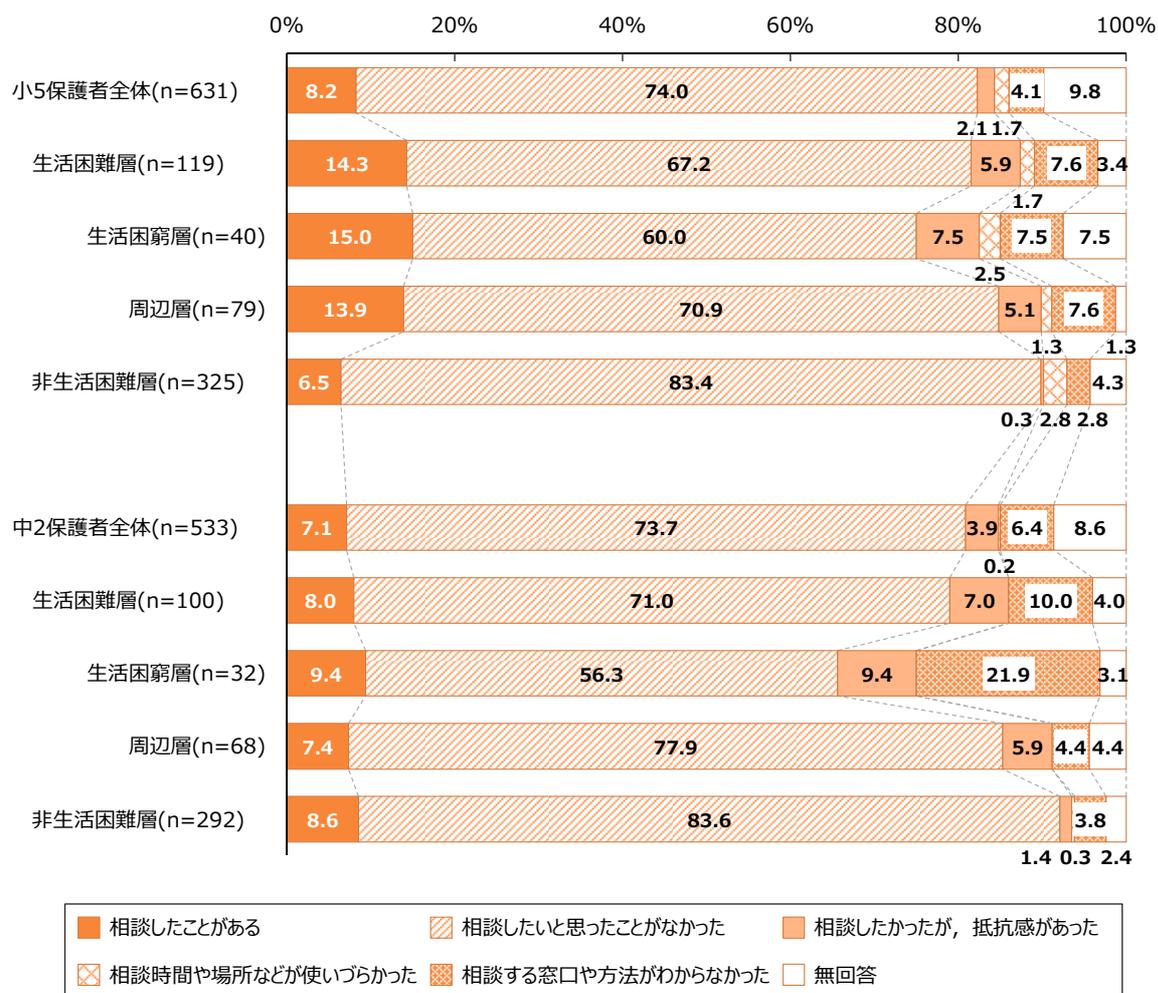
生活困難度別に「相談する窓口や方法がわからなかった」の割合をみると、小学5年生では生活困窮層で7.5%、周辺層で7.6%とやや高くなっています。中学2年生では生活困窮層で21.9%、周辺層で8.8%、非生活困窮層で4.5%と、生活困難度が高い層ほど高い割合となっています。



## E 保健所（保健センター）

保健所について、「相談する窓口や方法がわからなかった」の割合は、小学5年生全体で4.1%、中学2年生全体で6.4%となっています。

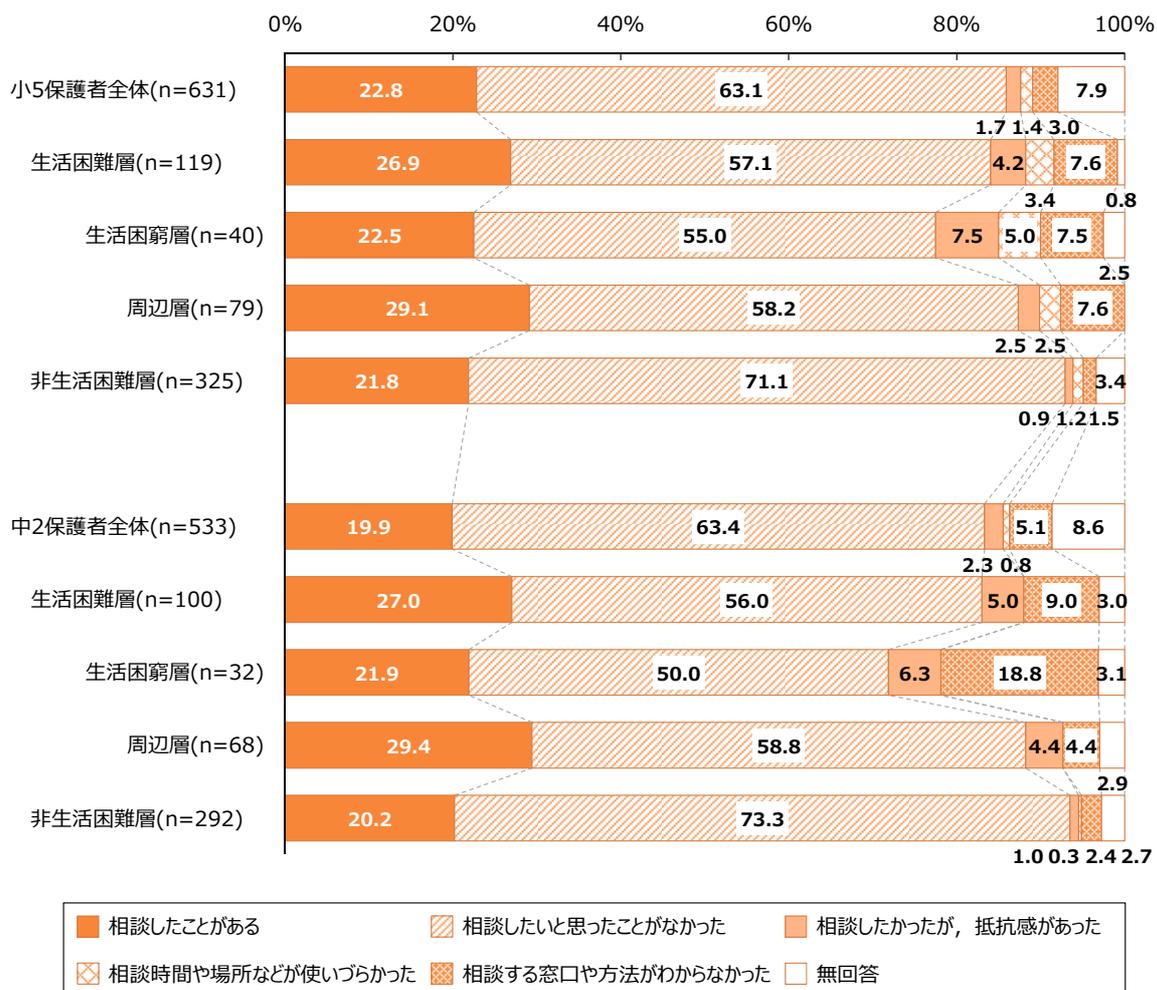
生活困難度別に「相談する窓口や方法がわからなかった」の割合をみると、小学5年生では生活困窮層で7.5%、周辺層で7.6%とやや高くなっています。中学2年生では生活困窮層で21.9%、周辺層で4.4%、非生活困窮層で3.8%と、生活困難度が高い層ほど高い割合となっています。



## F ハローワーク

ハローワークについて、「相談する窓口や方法がわからなかった」の割合は、小学5年生全体で3.0%、中学2年生全体で5.1%となっています。

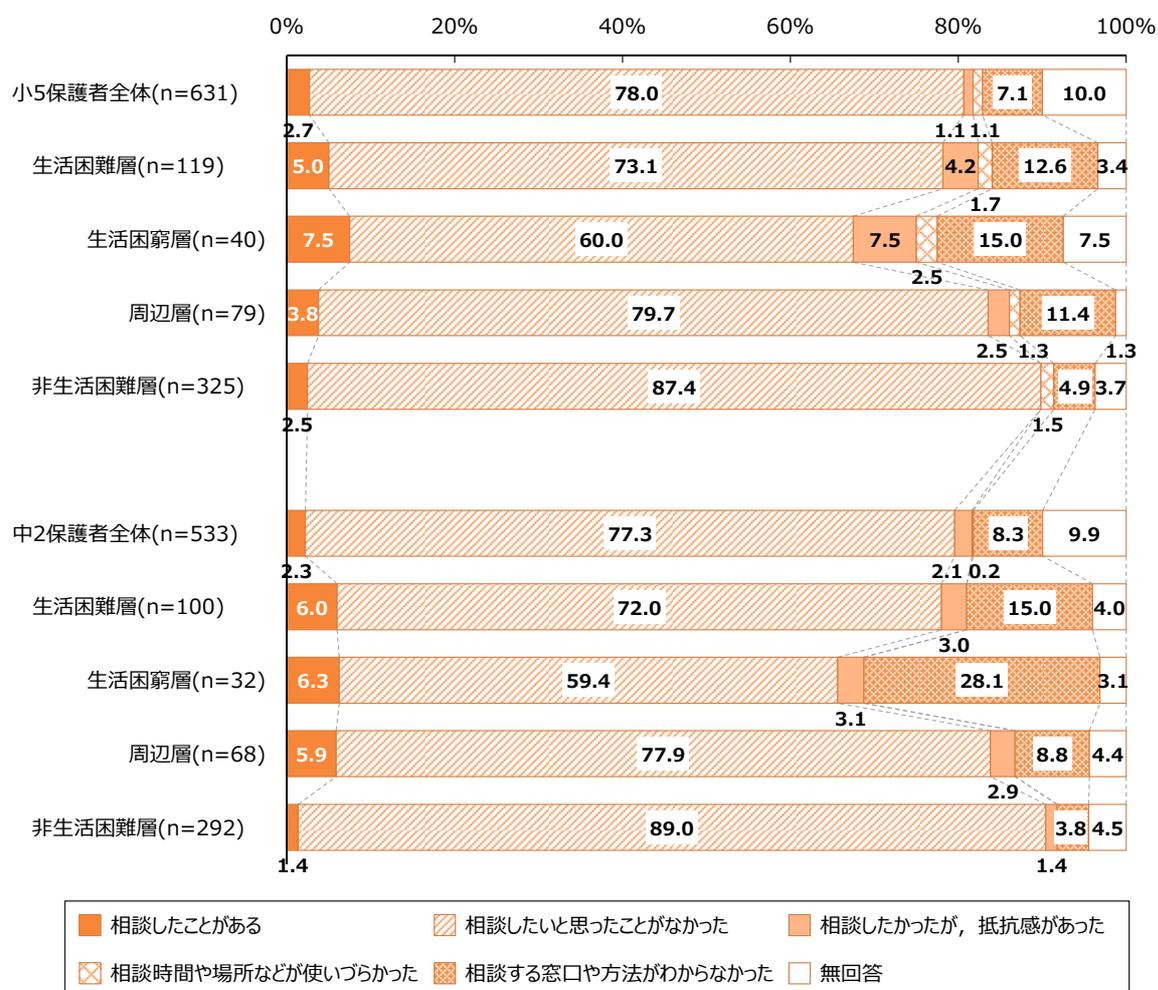
生活困難度別に「相談する窓口や方法がわからなかった」の割合をみると、小学5年生では生活困窮層で7.5%、周辺層で7.6%とやや高くなっています。中学2年生では生活困窮層で18.8%、周辺層で4.4%、非生活困窮層で2.4%と、生活困難度が高い層ほど高い割合となっています。



## G 上記以外の公的機関

上記以外の公的機関について、「相談する窓口や方法がわからなかった」の割合は、小学5年生全体で7.1%、中学2年生全体で8.3%となっています。

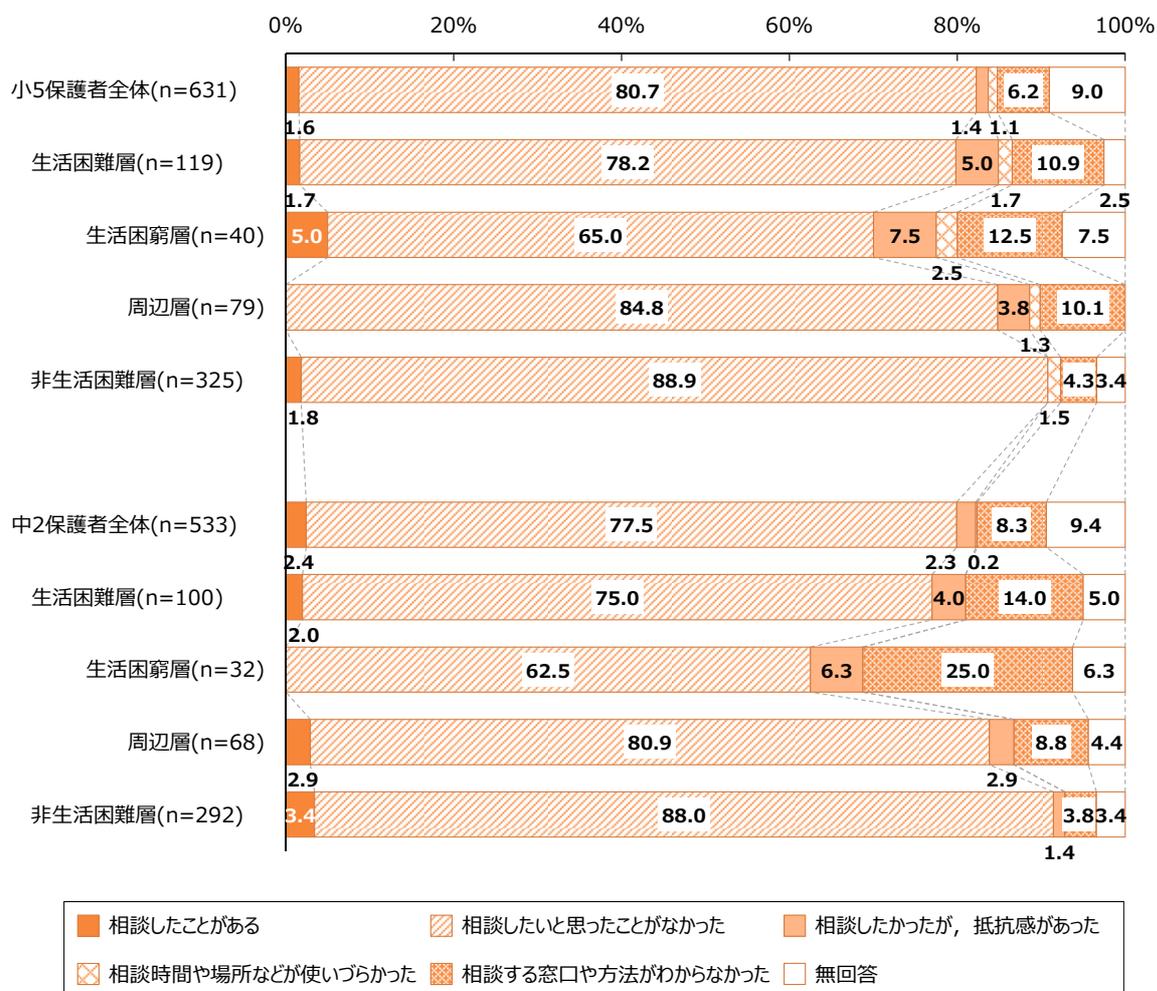
生活困難度別に「相談する窓口や方法がわからなかった」の割合をみると、小学5年生の生活困窮層で15.0%、周辺層で11.4%、非生活困難層で4.9%と、生活困難度が高い層ほど高い割合となっており、中学2年生も同様の傾向となっています。



## H 社会福祉協議会

社会福祉協議会について、「相談する窓口や方法がわからなかった」の割合は、小学5年生全体で6.2%、中学2年生全体で8.3%となっています。

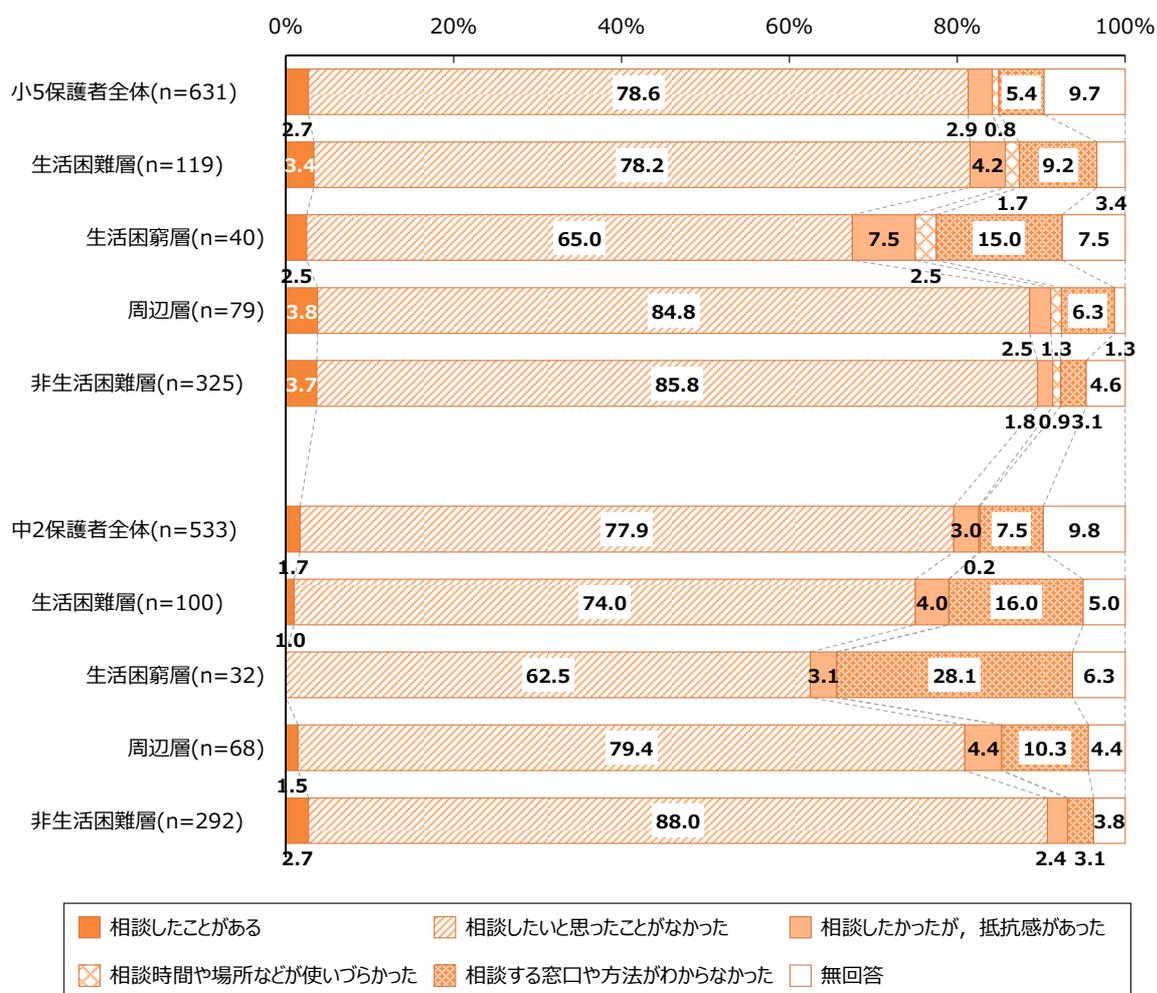
生活困難度別に「相談する窓口や方法がわからなかった」の割合をみると、小学5年生の生活困窮層で12.5%、周辺層で10.1%、非生活困難層で4.3%と、生活困難度が高い層ほど高い割合となっており、中学2年生も同様の傾向となっています。



## I インターネットの相談サイト

インターネットの相談サイトについて、「相談する窓口や方法がわからなかった」の割合は、小学5年生全体で5.4%、中学2年生全体で7.5%となっています。

生活困難度別に「相談する窓口や方法がわからなかった」の割合をみると、小学5年生の生活困窮層で15.0%、周辺層で6.3%、非生活困難層で3.1%と、生活困難度が高い層ほど高い割合となっており、中学2年生も同様の傾向となっています。



# 第7章 保護者の状況

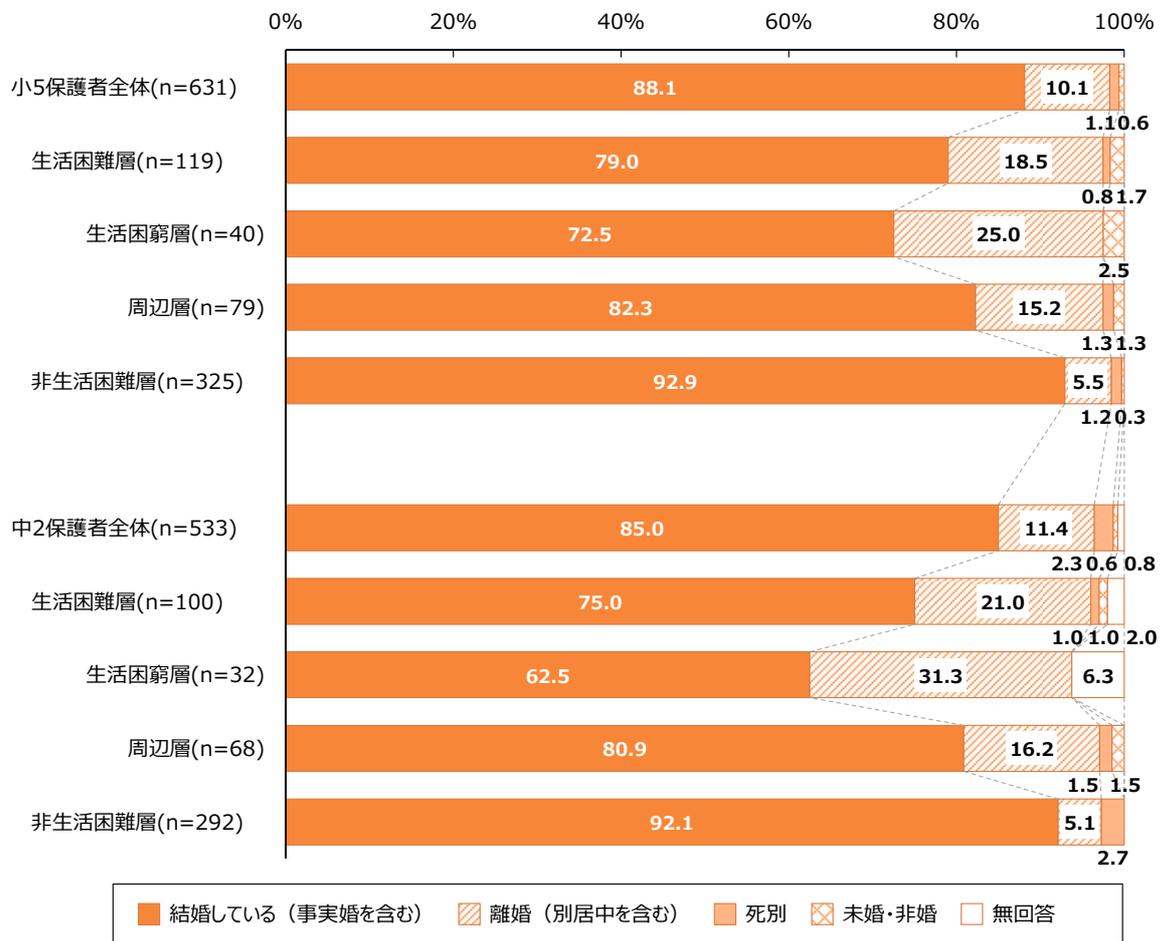
## 1 回答者

### (1) 婚姻状況

▼現在のあなたの婚姻状況を教えてください。(保/問5)

婚姻の状況について、「結婚している（事実婚含む）」の割合は、小学5年生全体で88.1%、中学2年生全体で85.0%となっています。

生活困難度別では、小学5年生の生活困窮層で72.5%、周辺層で82.3%、非生活困難層で92.9%と、生活困難度が高い層ほど「結婚している（事実婚含む）」の割合は低く、中学2年生でも同様の傾向となっています。



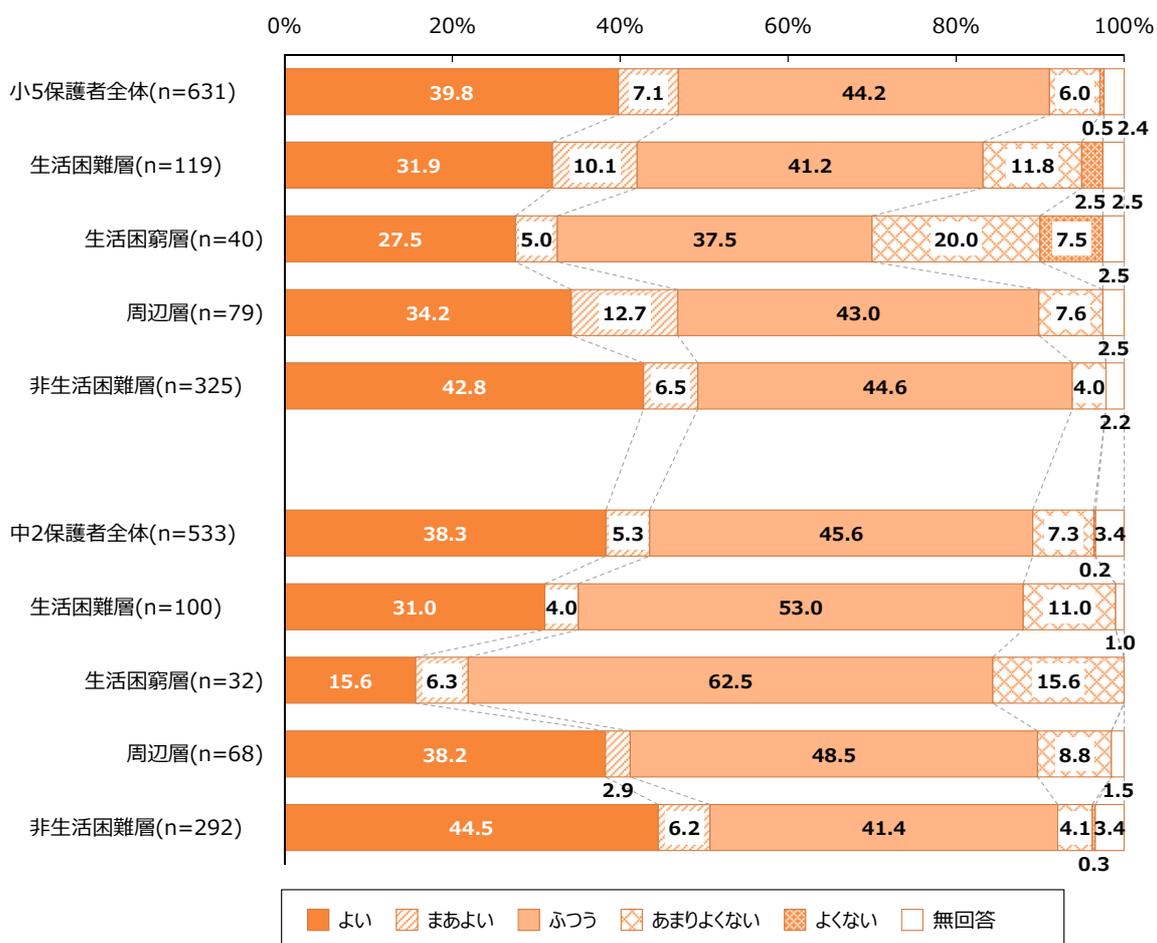
## (2) 健康状態

▼あなたとお子さんの健康状態についておうかがいします。それぞれ、最も近いものに○をつけてください。(保/問 15)

健康状態について、「あまりよくない」「よくない」を合わせた“よくない”と回答した割合は、小学5年生全体で6.5%，中学2年生全体で7.5%となっています。

生活困難度別に“よくない”の割合をみると、小学5年生では非生活困難層の4.0%に対し生活困窮層で27.5%と約7倍，中学2年生では非生活困難層の4.4%に対し生活困窮層で15.6%と約4倍になっています。

### 保護者



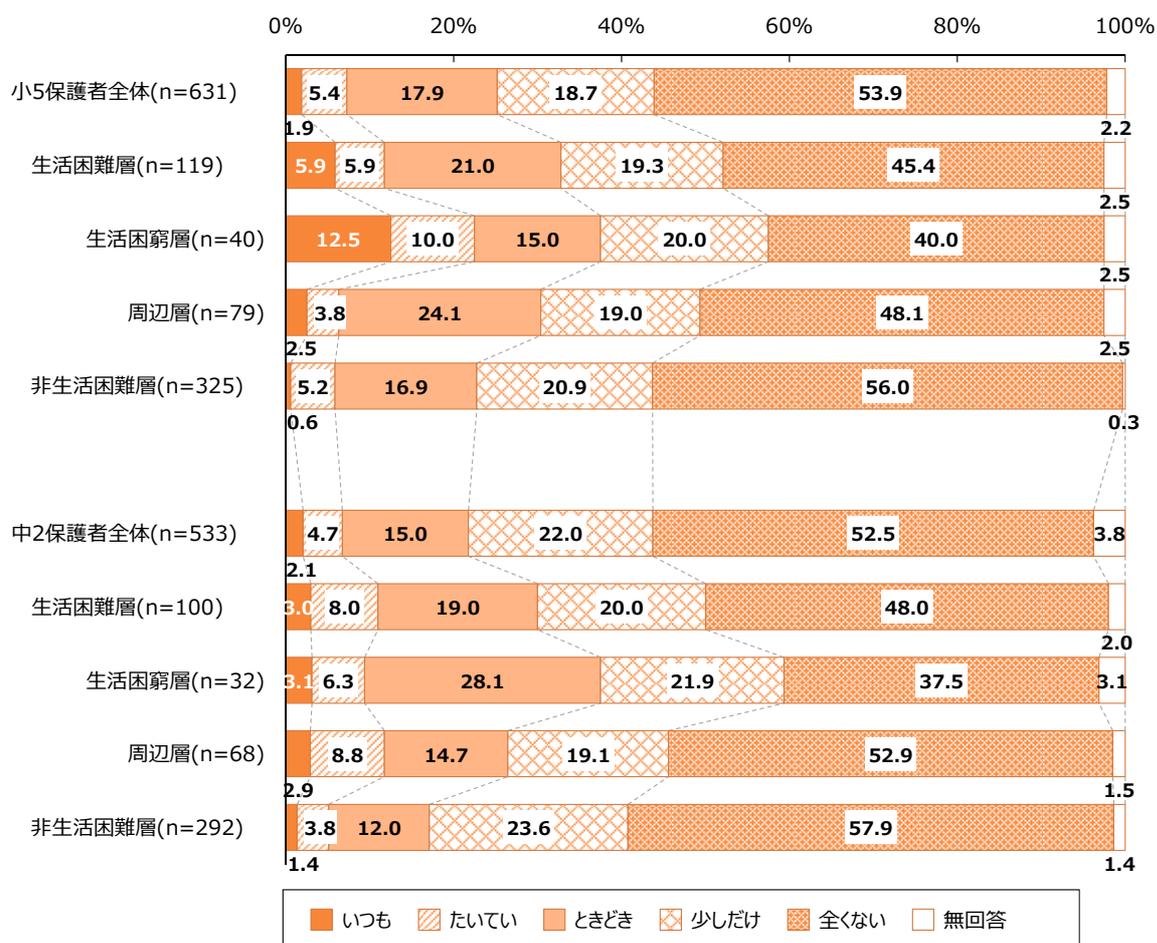
### (3) 心の状態

▼次のA～Fの質問について、あなたは、1か月の間に次のことがありましたか。(保/問 18)

#### A 神経過敏に感じましたか

1か月の間に神経過敏に感じたかについて、「いつも」「たいてい」「ときどき」を合わせた“感じた”と回答した割合は、小学5年生全体で25.2%、中学2年生全体で21.8%となっています。

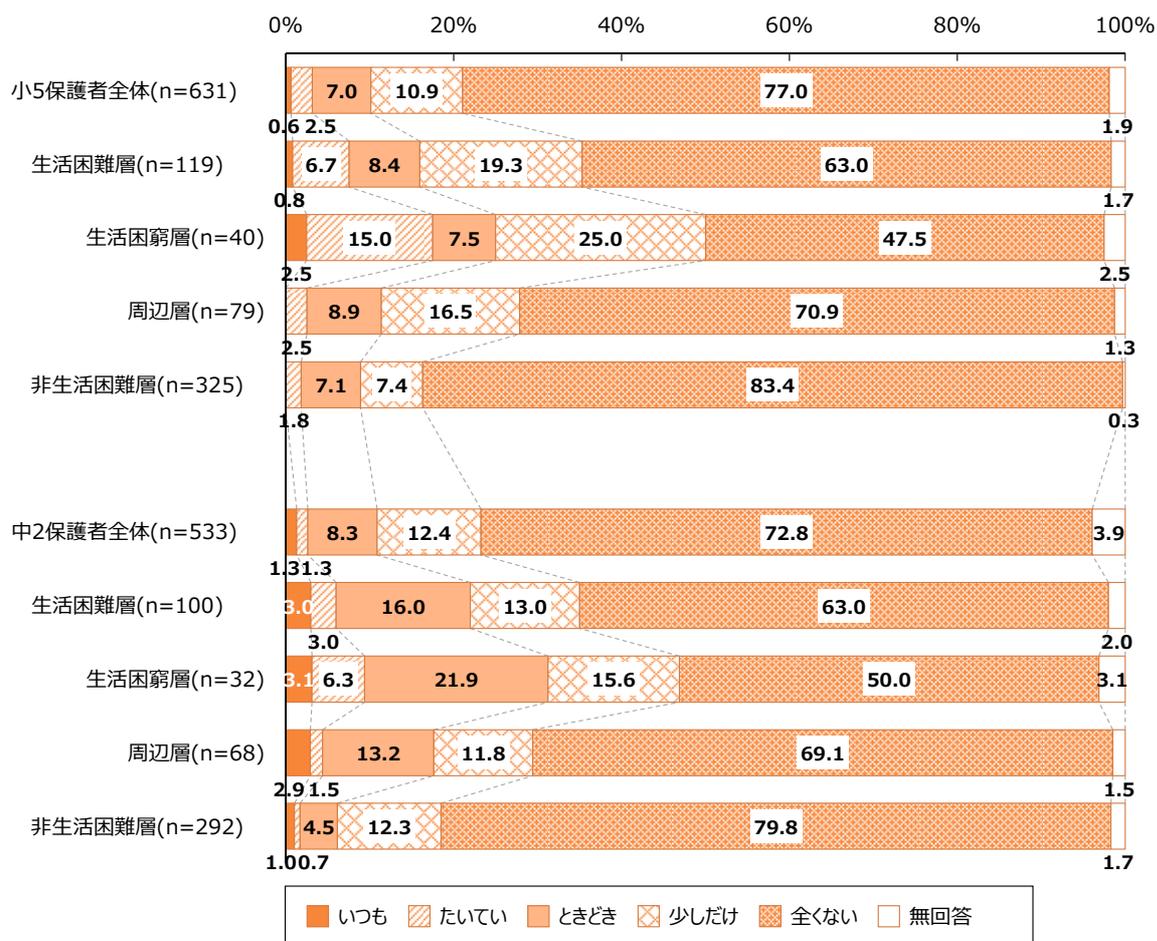
生活困難度別に“感じた”の割合をみると、小学5年生では生活困窮層で37.5%、周辺層で30.4%、非生活困難層で22.7%と、生活困難度が高い層ほど“感じた”と回答した割合が高く、中学2年生でも同様の傾向となっています。



## B 絶望的だと感じましたか

1 か月の間に絶望的だと感じたかについて、「いつも」「たいてい」「ときどき」を合わせた“感じた”と回答した割合は、小学5年生全体で10.1%、中学2年生全体で10.9%となっています。

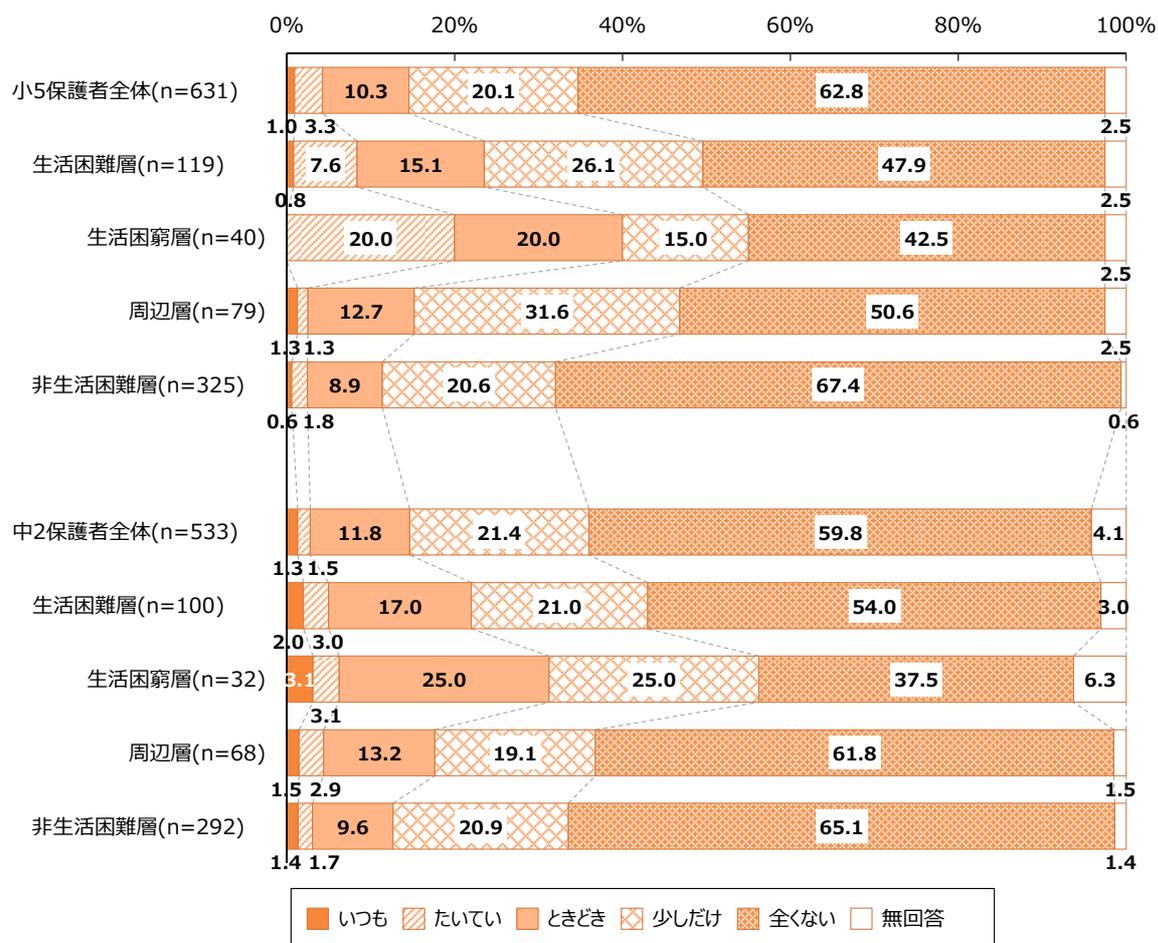
生活困難度別に“感じた”の割合をみると、小学5年生では生活困窮層で25.0%、周辺層で11.4%、非生活困難層で8.9%と、生活困難度が高い層ほど“感じた”と回答した割合が高く、中学2年生でも同様の傾向となっています。



## C そわそわ、落ち着かなく感じましたか

1 か月の間にそわそわ落ち着かなく感じたかについて、「いつも」「たいてい」「ときどき」を合わせた“感じた”と回答した割合は、小学5年生全体で14.6%、中学2年生全体で14.6%となっています。

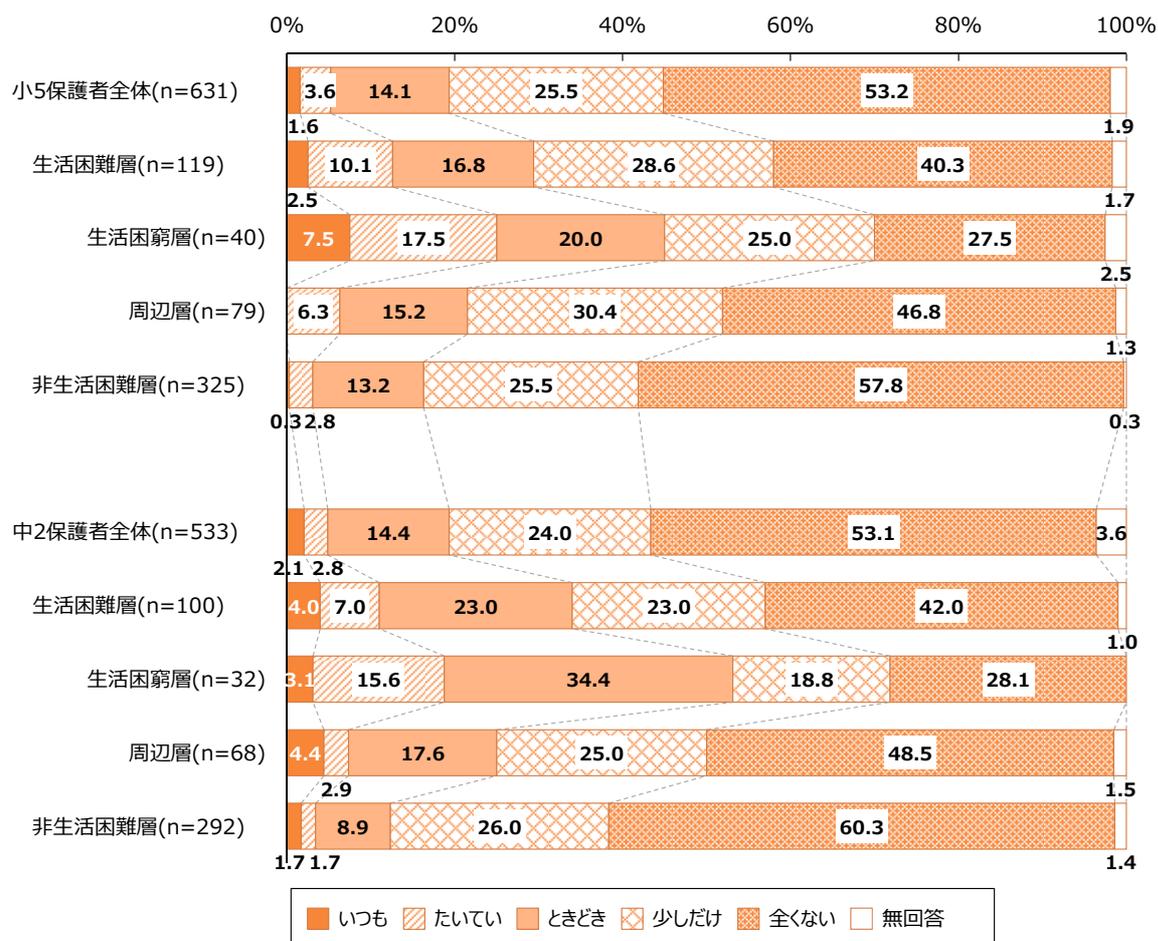
生活困難度別に“感じた”の割合をみると、小学5年生では生活困窮層で40.0%、周辺層で15.3%、非生活困難層で11.3%と、生活困難度が高い層ほど“感じた”と回答した割合が高く、中学2年生でも同様の傾向となっています。



## D 気分が沈み込んで、何が起ころってても気が晴れないように感じましたか

1か月の間に気が晴れないように感じたかについて、「いつも」「たいてい」「ときどき」を合わせた“感じた”と回答した割合は、小学5年生全体で19.3%、中学2年生全体で19.3%となっています。

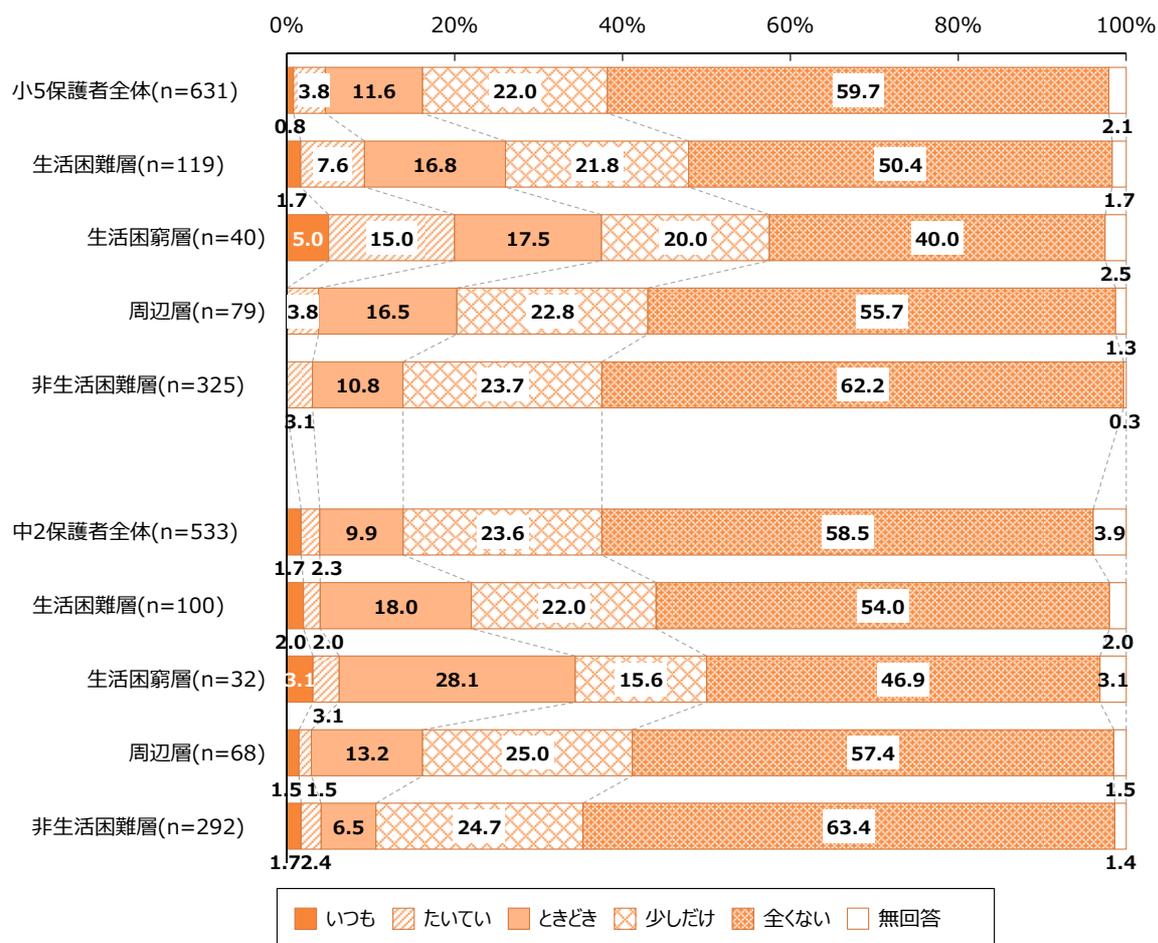
生活困難度別に“感じた”の割合をみると、小学5年生では生活困窮層で45.0%、周辺層で21.5%、非生活困難層で16.3%と、生活困難度が高い層ほど“感じた”と回答した割合が高く、中学2年生でも同様の傾向となっています。



## E 何をするのも骨折りだと感じましたか

1か月の間に何をするのも骨折りだと感じたかについて、「いつも」「たいてい」「ときどき」を合わせた“感じた”と回答した割合は、小学5年生全体で16.2%、中学2年生全体で13.9%となっています。

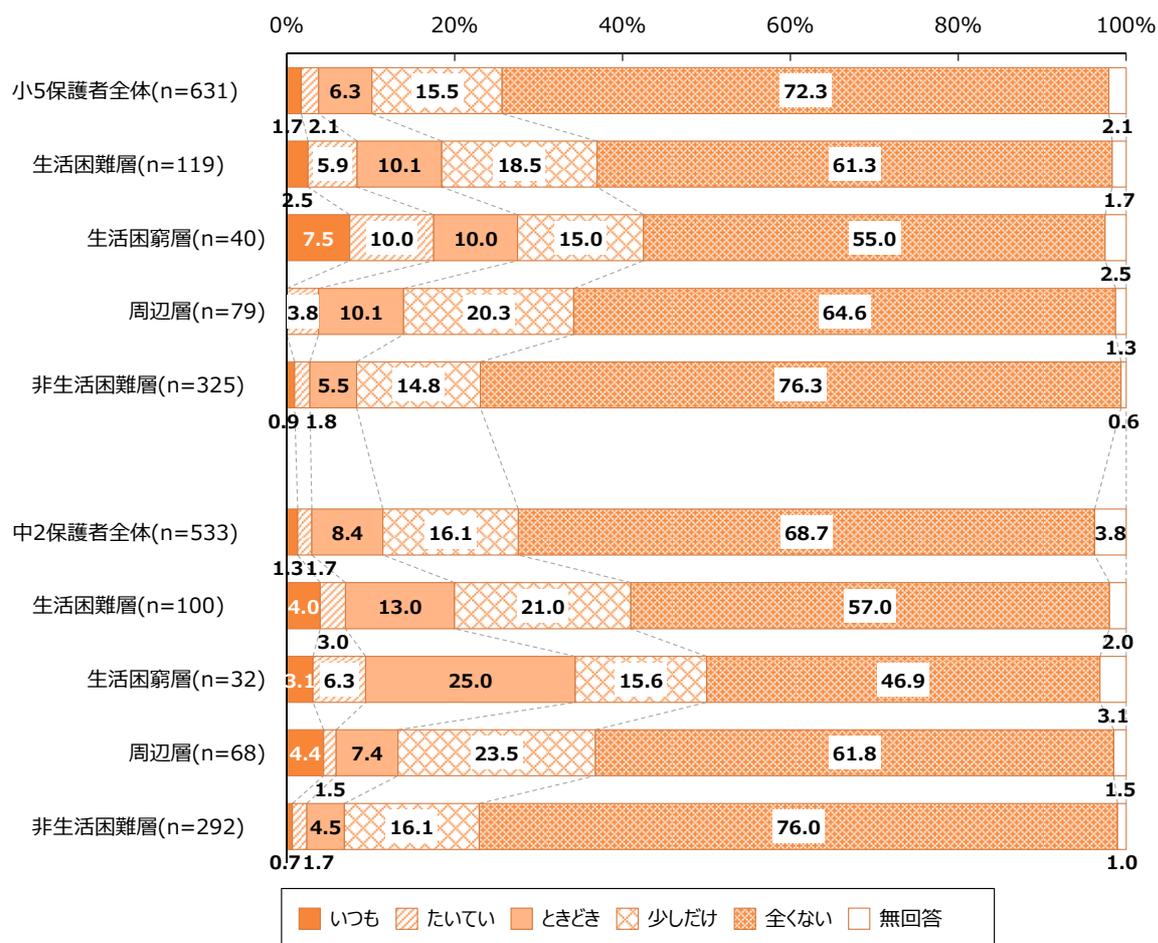
生活困難度別に“感じた”の割合をみると、小学5年生では生活困窮層で37.5%、周辺層で20.3%、非生活困難層で13.9%と、生活困難度が高い層ほど“感じた”と回答した割合が高く、中学2年生でも同様の傾向となっています。



## F 自分は価値のない人間だと感じましたか

1か月の間に自分は価値のない人間だと感じたかについて、「いつも」「たいてい」「ときどき」を合わせた“感じた”と回答した割合は、小学5年生全体で10.1%，中学2年生全体で11.4%となっています。

生活困難度別に“感じた”の割合をみると、小学5年生では生活困窮層で27.5%，周辺層で13.9%，非生活困難層で8.2%と、生活困難度が高い層ほど“感じた”と回答した割合が高く、中学2年生でも同様の傾向となっています。

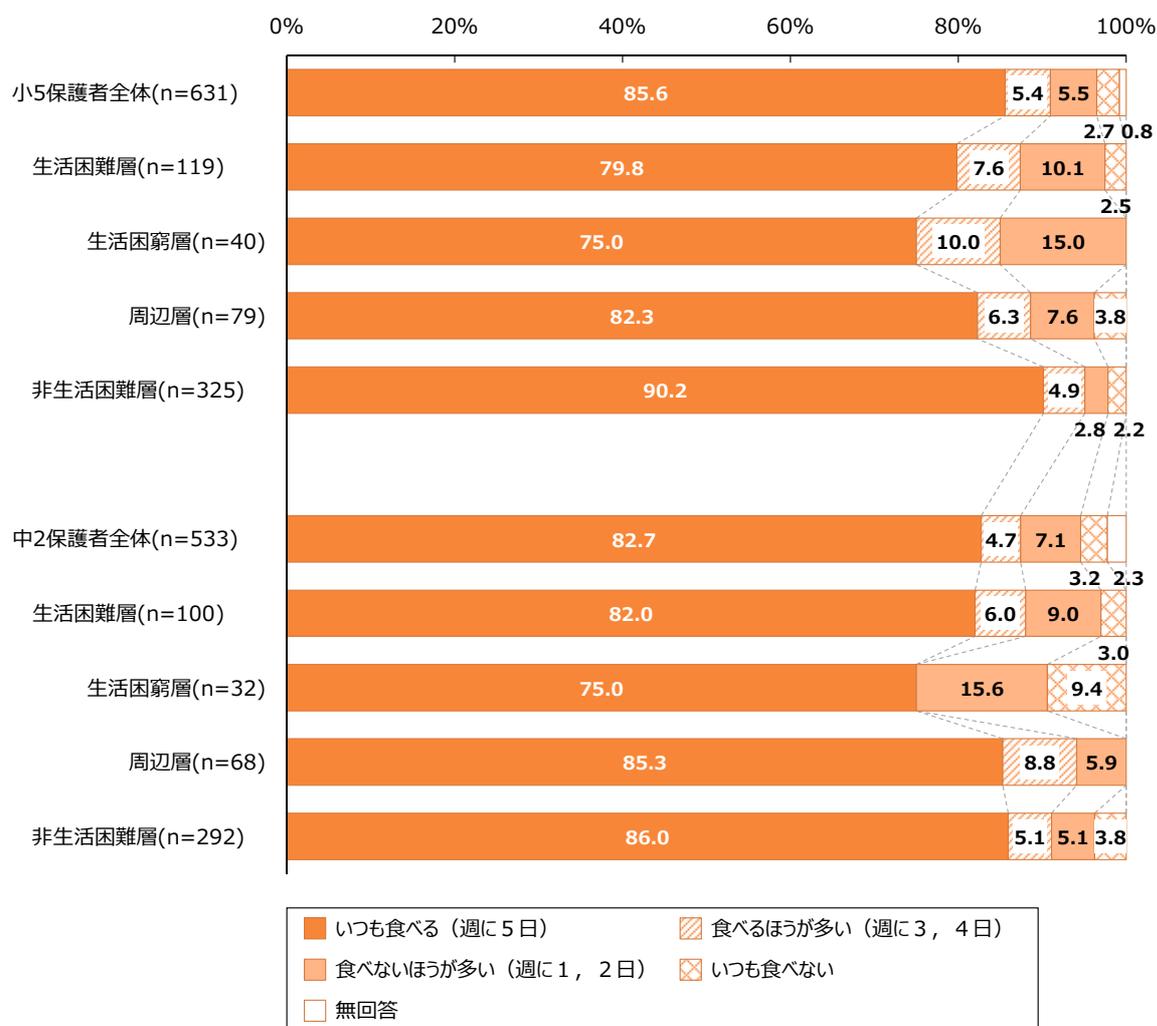


#### (4) 平日に朝食をとる頻度

▼あなたは、平日（お子さんが学校に行く日）に毎日、朝ごはんを食べますか。（保/問 23）

朝食をとる頻度について、「いつも食べる（週に5日）」の割合は、小学5年生全体で85.6%、中学2年生全体で82.7%となっています。

生活困難度別では、小学5年生の生活困窮層で75.0%、中学2年生の生活困窮層で75.0%と生活困難度が高い層ほど「いつも食べる（週に5日）」と回答した割合が低くなっています。



## (5) 朝食を一緒にとる人

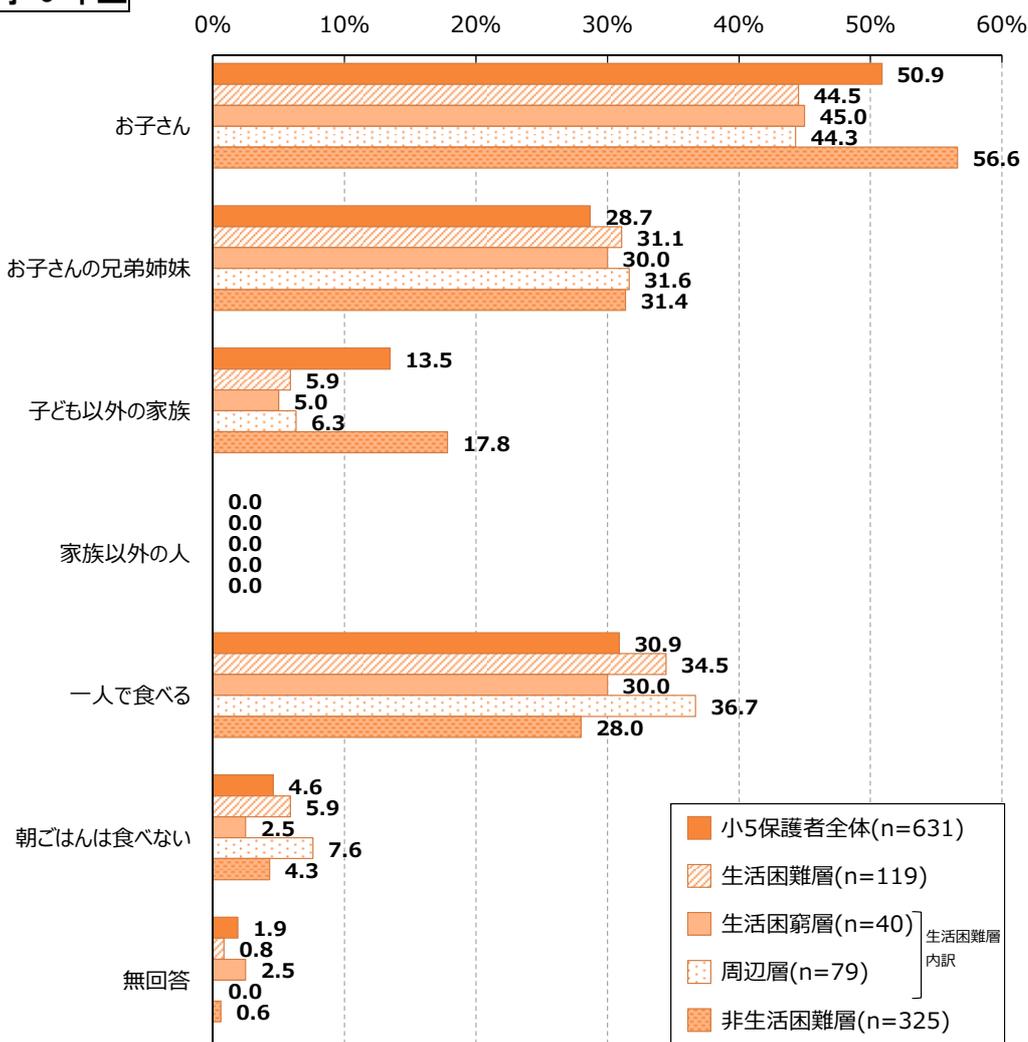
▼あなたは、平日（お子さんが学校に行く日）に朝ごはんをだれと食べますか。

（保/問 24 複数回答）

朝食を一緒にとる人について、小学5年生全体では「お子さん」が50.9%、「一人で食べる」が30.9%、「お子さんの兄弟姉妹」が28.7%となっています。

生活困窮層では「お子さん」が45.0%、「一人で食べる」及び「お子さんの兄弟姉妹」が30.0%となっています。

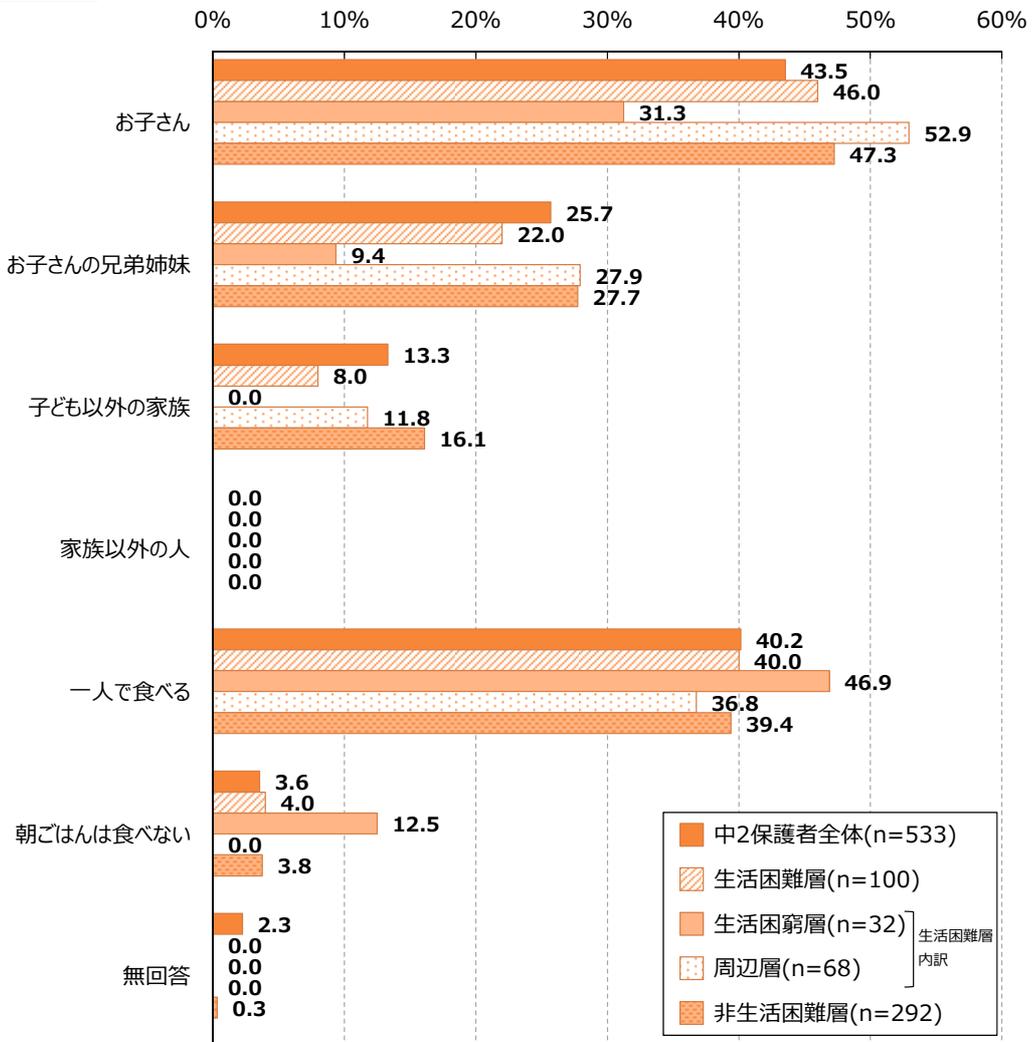
### 小学5年生



中学2年生全体では「お子さん」が43.5%、「一人で食べる」が40.2%、「お子さんの兄弟姉妹」が25.7%となっています。

生活困難度別にみると、「お子さん」、「お子さんの兄弟姉妹」などの割合が他の層に比べて低い一方、「一人で食べる」、「朝ごはんは食べない」との割合が高くなっています。

**中学2年生**



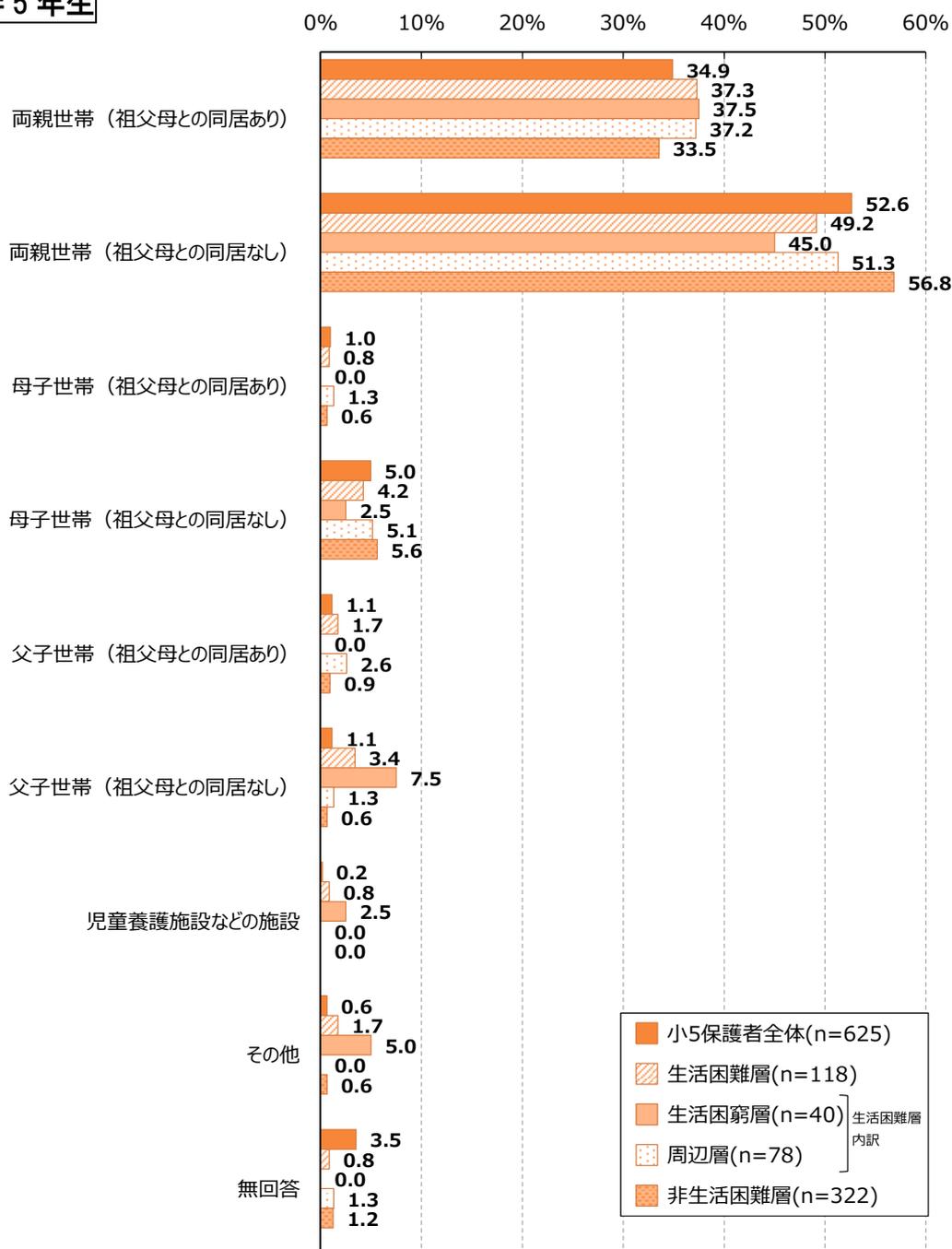
## (6) 15歳の頃の家族構成

▼あなたが15歳の頃のご家庭の様子に最も近いものに○をつけてください。(保/問 38)

15歳の頃の家族構成について、小学5年生全体では「両親世帯（祖父母との同居なし）」が52.6%、「両親世帯（祖父母との同居あり）」が34.9%となっています。

生活困難度別では、生活困窮層で「両親世帯（祖父母との同居なし）」が45.0%と、やや低い割合となっています。

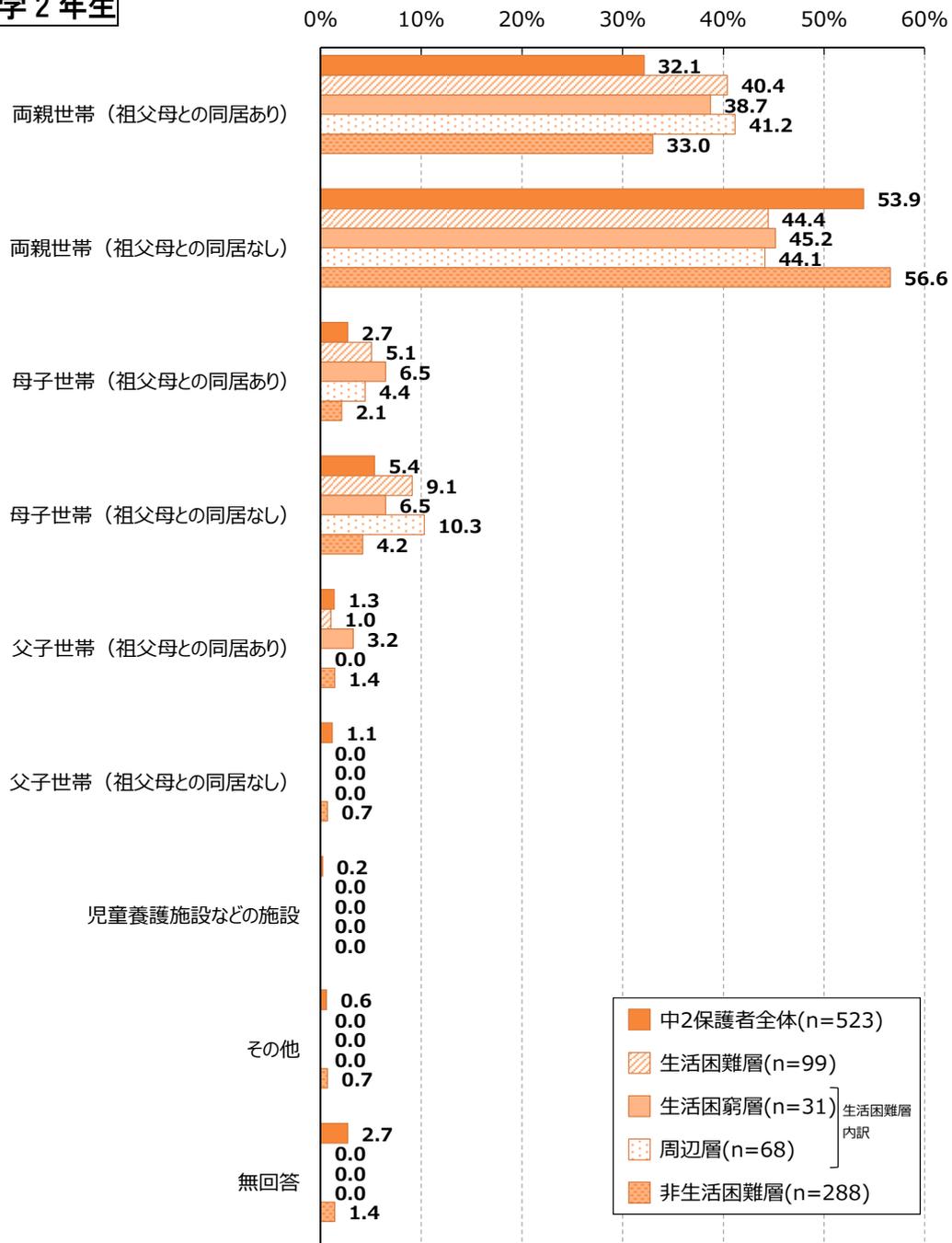
### 小学5年生



中学2年生全体では「両親世帯（祖父母との同居なし）」が53.9%、「両親世帯（祖父母との同居あり）」が32.1%となっています。

生活困難度別では、生活困窮層で「両親世帯（祖父母との同居なし）」が45.2%、「両親世帯（祖父母との同居あり）」が38.7%となっています。

### 中学2年生

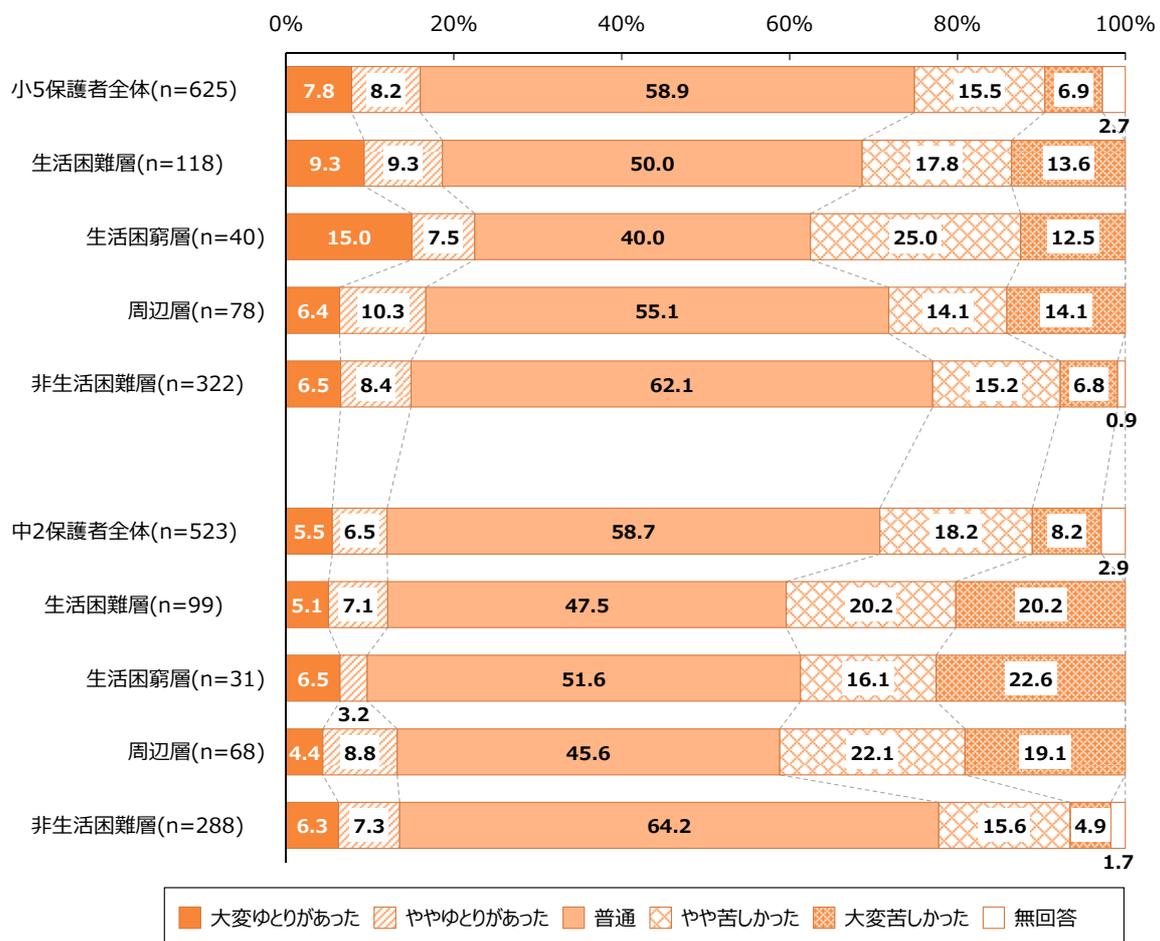


## (7) 15歳の頃の(主観的)暮らし向き

▼あなたが15歳の頃の、あなたのご家庭の暮らし向きについて、最も近いものに○をつけてください。(保/問 39)

15歳の頃の(主観的)暮らし向きについて、「やや苦しかった」「大変苦しかった」を合わせた“苦しかった”と回答した割合は、小学5年生全体で22.4%，中学2年生全体で26.4%となっています。

生活困難度別に“苦しかった”の割合をみると、小学5年生では生活困窮層で37.5%，周辺層で28.2%，非生活困難層で22.0%と、生活困難度が高い層ほど“苦しかった”と回答した割合が高くなっていますが、中学2年生では生活困窮層で38.7%，周辺層で41.2%，非生活困難層で20.5%と、周辺層でやや高い割合となっています。



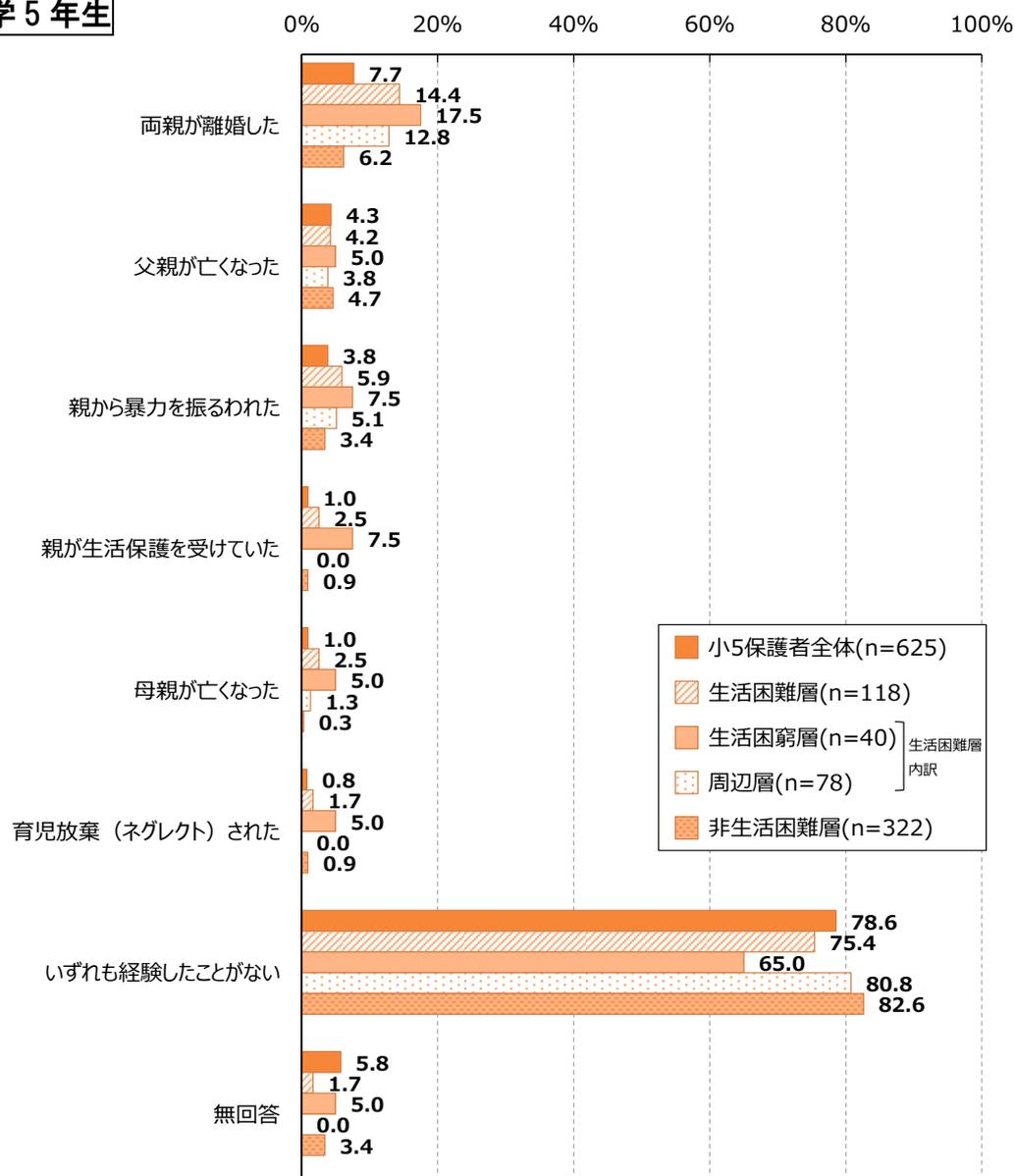
## (8) 成人するまでの体験

▼あなたは、成人する前に次のような体験をしたことがありますか。(保/問 40 複数回答)

成人するまでの体験について、小学5年生全体では「いずれも経験したことがない」が78.6%、「両親が離婚した」が7.7%、「父親が亡くなった」が4.3%となっています。

生活困難度別にみると、生活困窮層では「両親が離婚した」が17.5%、「親が生活保護を受けていた」が7.5%と、他の層に比べてやや高い割合となっています。

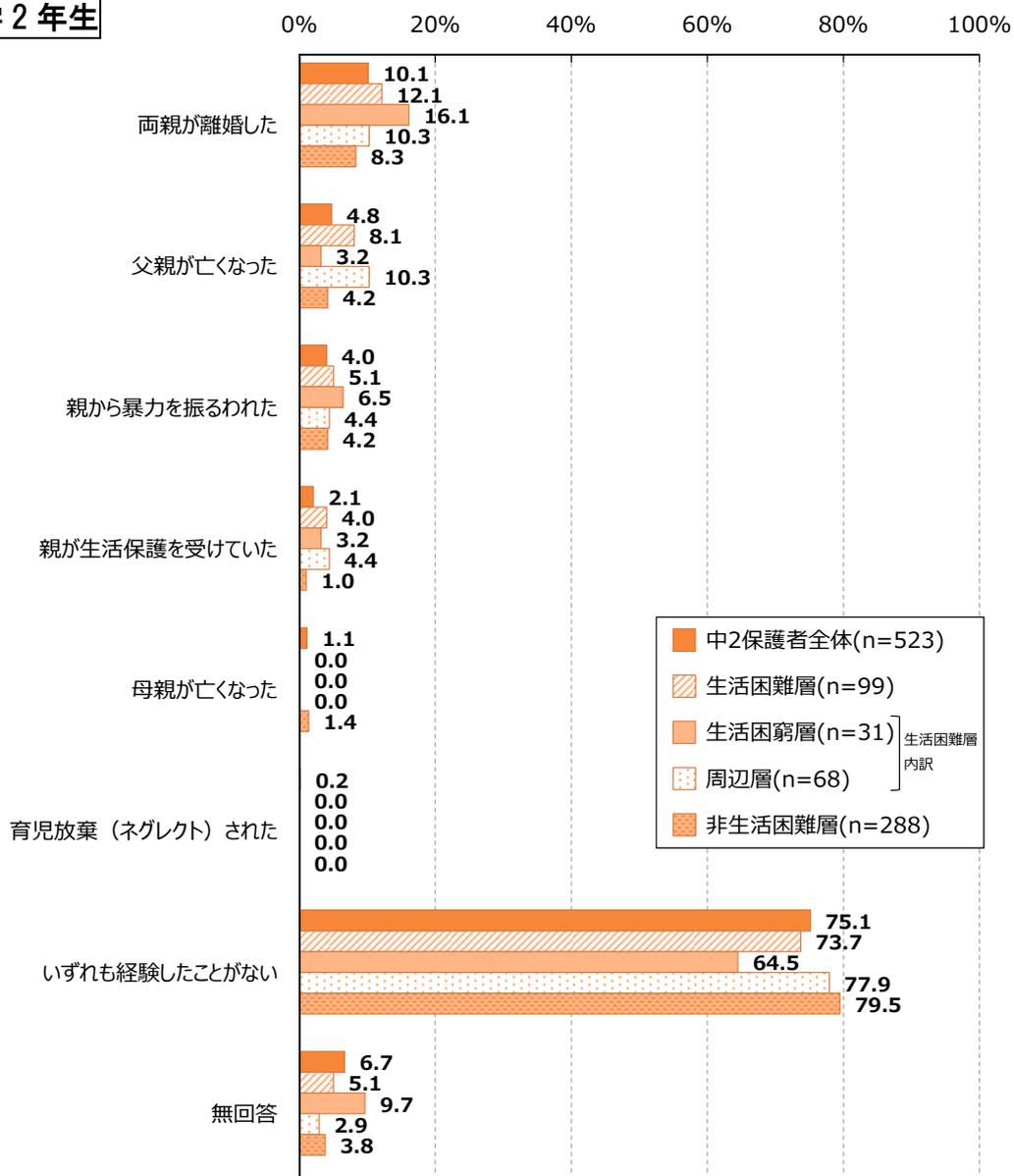
### 小学5年生



中学2年生全体では「いずれも経験したことがない」が75.1%、「両親が離婚した」が10.1%、「父親が亡くなった」が4.8%となっています。

生活困難度別にみると、生活困窮層では「両親が離婚した」が16.1%と、他の層に比べてやや高い割合となっています。

**中学2年生**



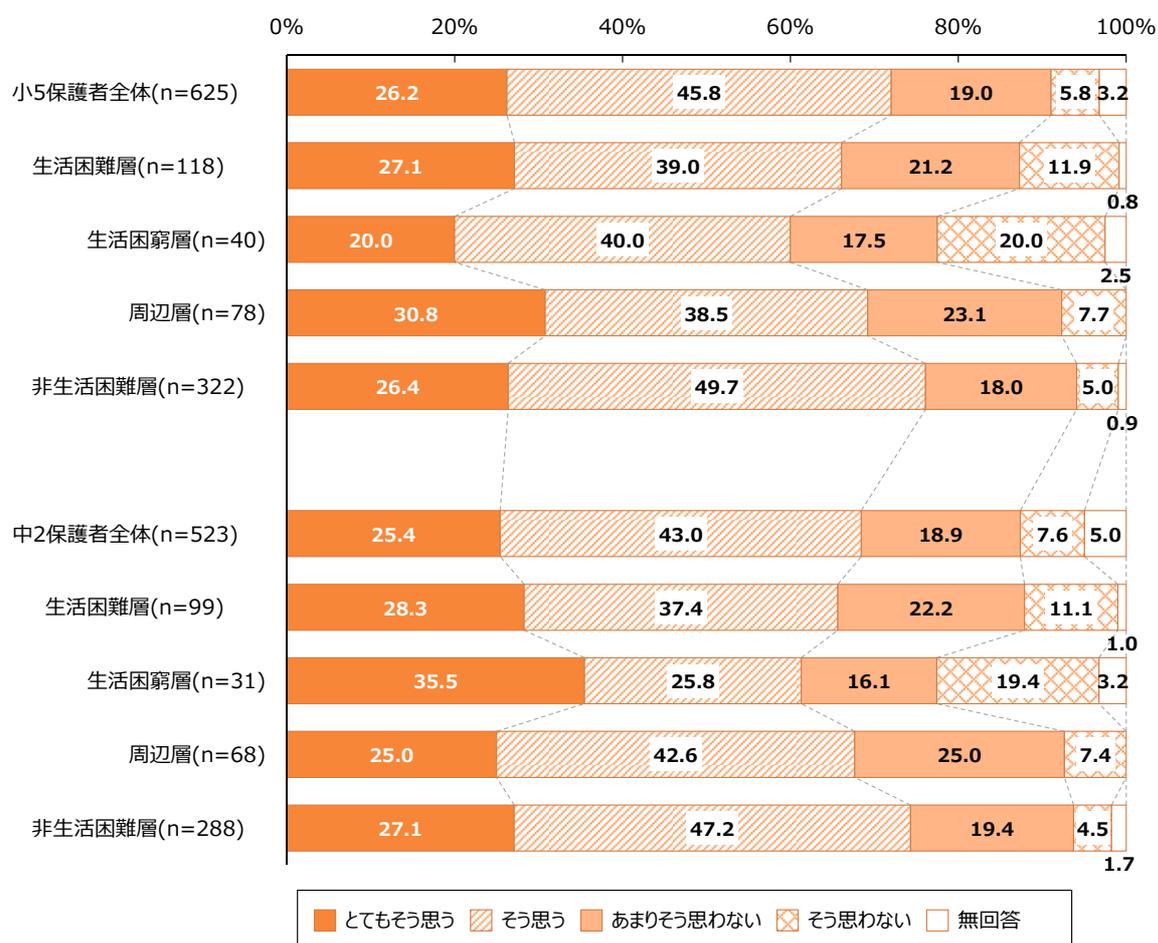
## (9) 子どもの頃の親の接し方

▼あなたの親は子どものころのあなたに対してどのように接していましたか。もっとも近いと思うものに○をつけてください。(保/問 42)

### A 一緒に楽しい時間を過ごしてくれた

一緒に楽しい時間を過ごしてくれたかについて、「とてもそう思う」の割合は、小学5年生全体で26.2%、中学2年生全体で25.4%となっています。

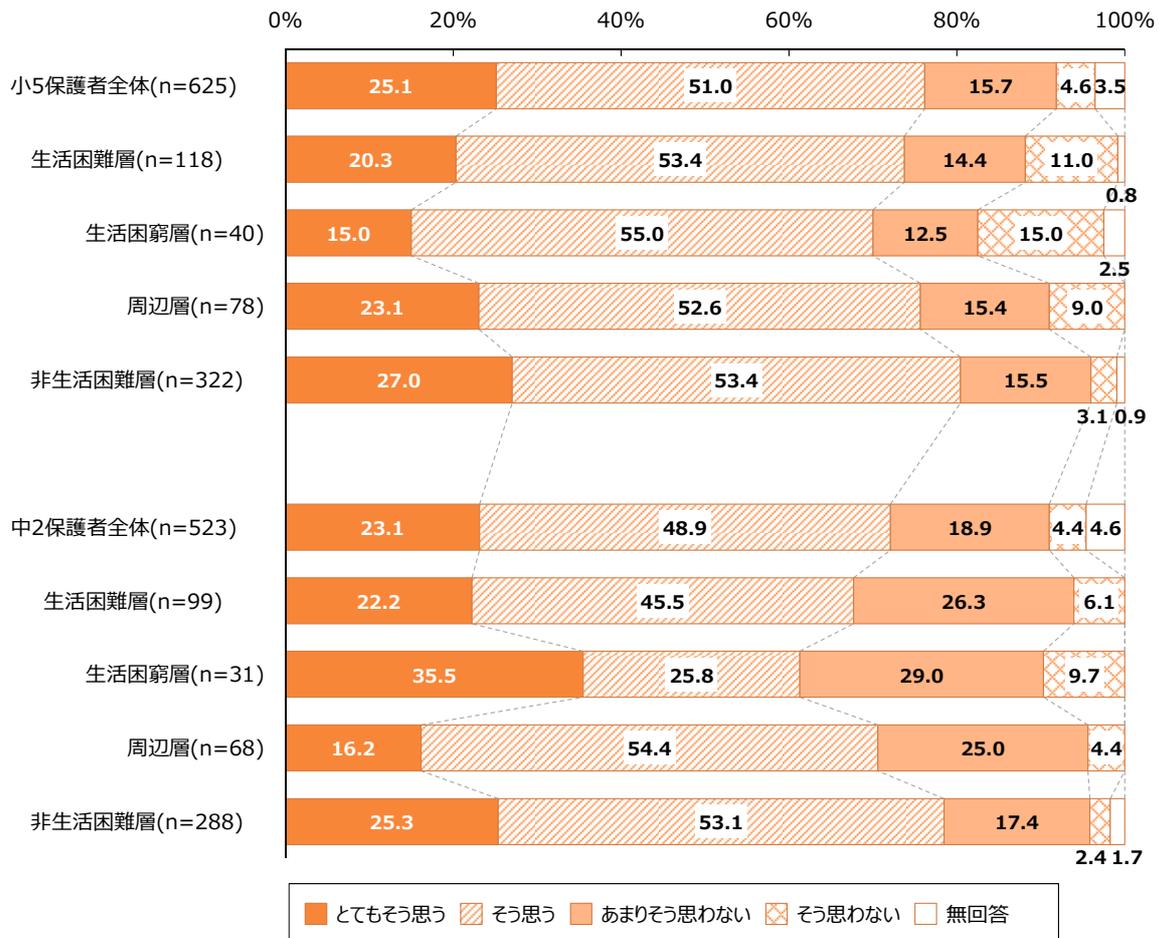
生活困難度別に「とてもそう思う」の割合をみると、小学5年生では生活困窮層で20.0%、周辺層で30.8%、非生活困難層で26.4%と、生活困窮層で低くなっています。また、中学2年生では生活困窮層で35.5%、周辺層で25.0%、非生活困難層で27.1%となっており、周辺層で低くなっています。



## B 自分が喜ぶことをしてくれた

自分が喜ぶことをしてくれたかについて、「とてもそう思う」の割合は、小学5年生全体で25.1%、中学2年生全体で23.1%となっています。

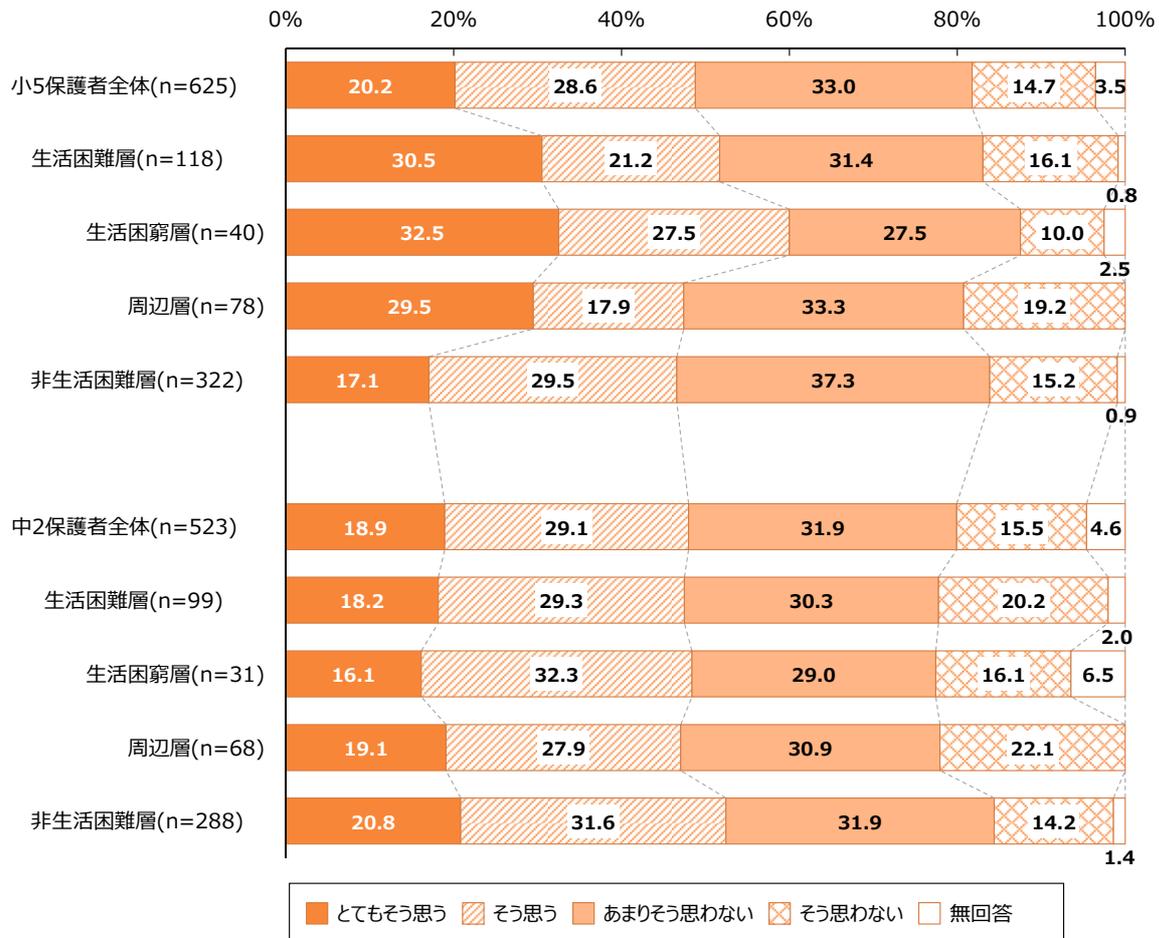
生活困難度別に「とてもそう思う」の割合をみると、小学5年生では生活困窮層で15.0%、周辺層で23.1%、非生活困難層で27.0%と、生活困難度が高い層ほど低い割合となっています。また、中学2年生では生活困窮層で35.5%、周辺層で16.2%、非生活困難層で25.3%となっており、周辺層で低くなっています。



### C 決まりを作って厳しく言われた

決まりを作って厳しく言われたかについて、「とてもそう思う」の割合は、小学5年生全体で20.2%、中学2年生全体で18.9%となっています。

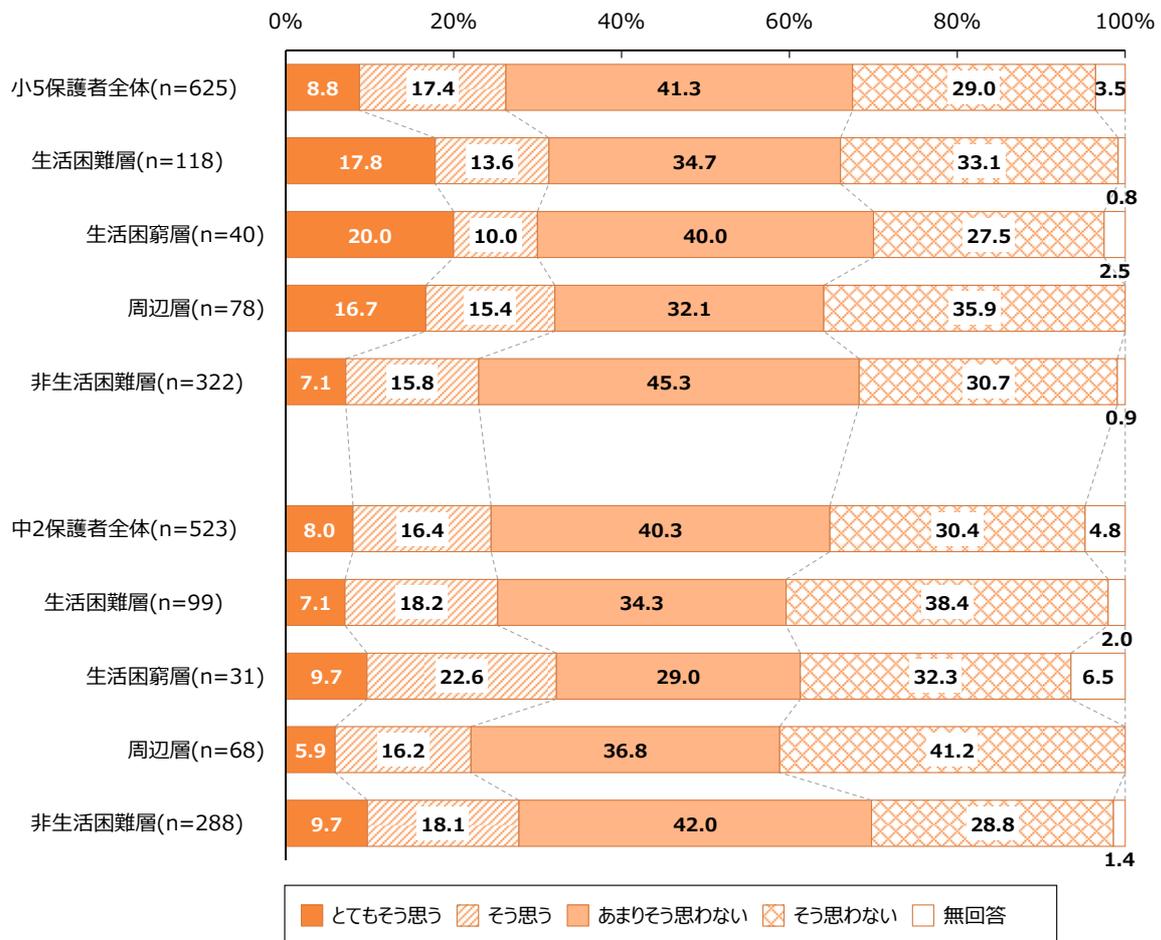
生活困難度別に「とてもそう思う」の割合をみると、小学5年生では生活困窮層で32.5%、周辺層で29.5%、非生活困難層で17.1%となっており、生活困難度が高い層ほど割合が高くなっています。一方、中学2年生では生活困難度による大きな差はみられません。



## D やるべきことができるまで何度も細かく指示された

やるべきことができるまで何度も細かく指示されたかについて、「とてもそう思う」の割合は、小学5年生全体で8.8%、中学2年生全体で8.0%となっています。

生活困難度別に「とてもそう思う」の割合をみると、小学5年生では生活困窮層で20.0%、周辺層で16.7%、非生活困難層で7.1%となっており、生活困難度が高い層ほど割合が高くなっています。一方、中学2年生では生活困難度による大きな差はみられません。



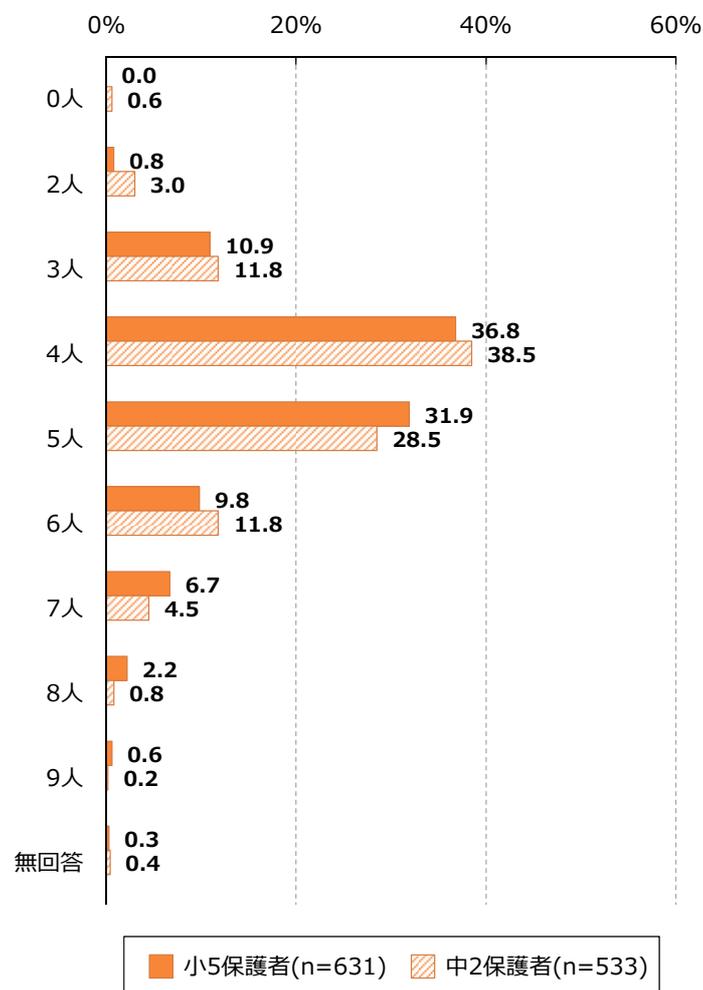
## 2 家族

### (1) 同居人数

▼お子さんと同居しているご家族の人数を教えてください。あなたとお子さんも含みます。  
(保/問6) ※単身赴任しているご家族も含めてください。

同居人数について、小学5年生全体では「4人」が36.8%、「5人」が31.9%、「3人」が10.9%となっています。

中学2年生全体では「4人」が38.5%、「5人」が28.5%、「3人」及び「6人」が11.8%となっています。

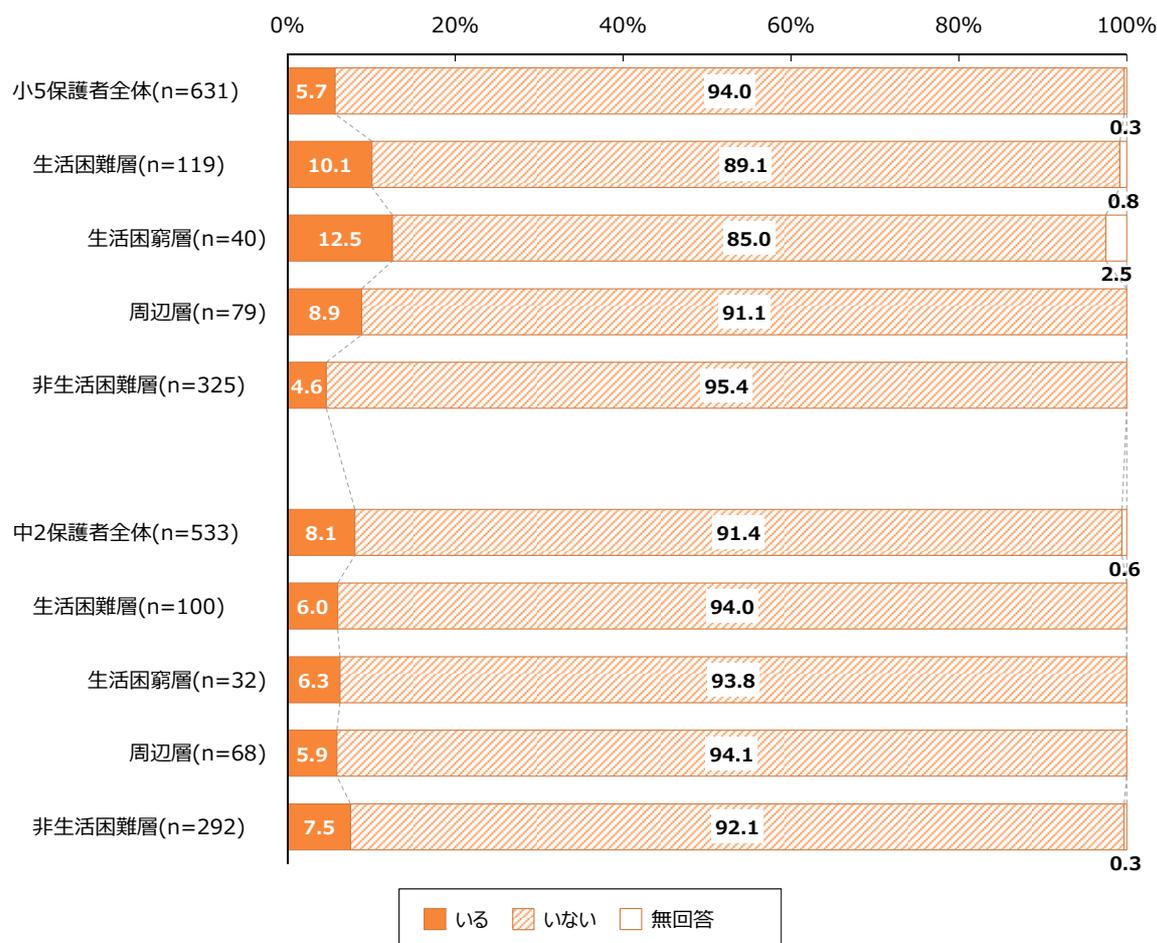


## (2) 高齢・障害の同居家族の有無

▼お子さんと同居しているご家族の中に、高齢であったり障害があったりするなど、介護が必要な方はいますか。(保/問 8)

介護が必要な同居家族の有無について、「いない」が9割前後と多数を占めています。

一方、「いる」を生活困難度別みると、小学5年生の生活困窮層で12.5%、周辺層で8.9%、非生活困難層で4.6%と、生活困難度が高い層ほど割合が高くなっています。一方、中学2年生では生活困難度による大きな差はみられません。

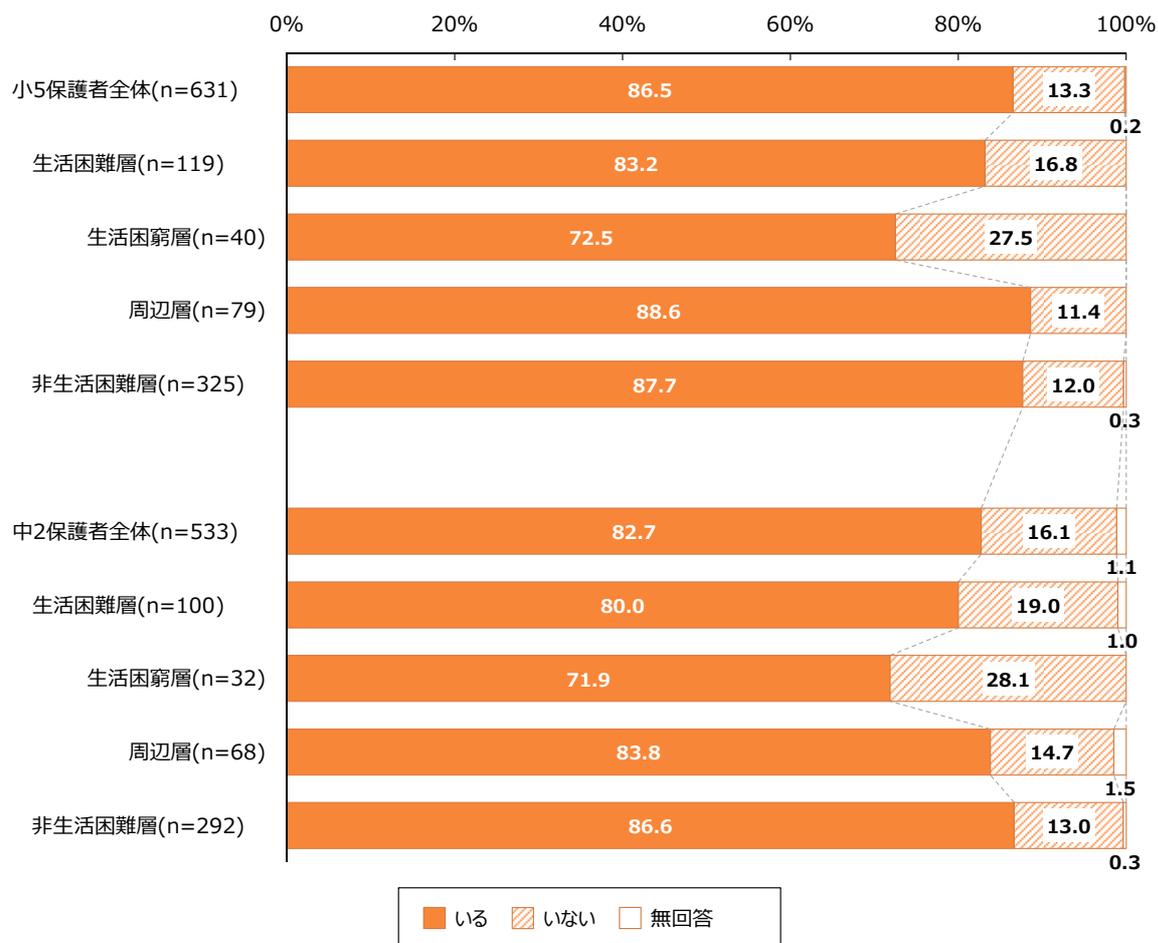


### (3) 頼れる親族・友人の有無

▼お子さんが病気のときや、ご自身の用事するときなどに頼れる親族や友人などがいますか。  
(保/問 9)

頼れる親族・友人の有無について、「いる」の割合は、小学5年生全体で86.5%、中学2年生全体で82.7%となっています。

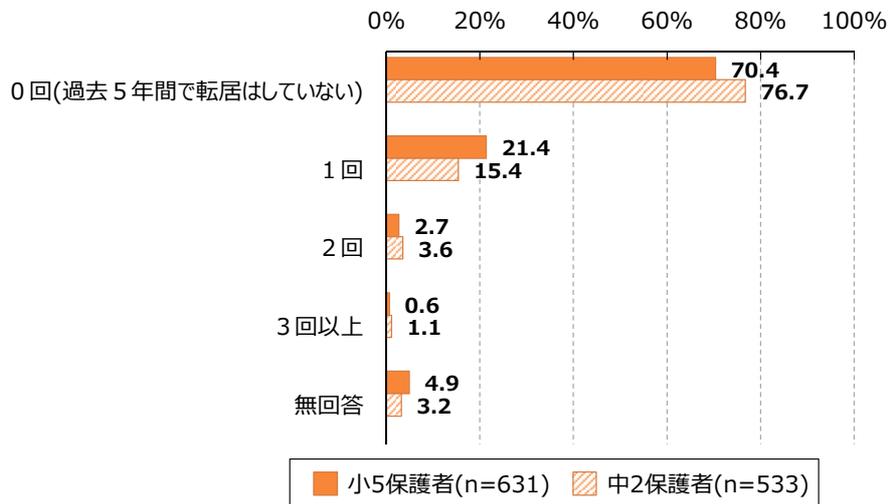
生活困難度別では、小学5年生の生活困窮層で72.5%、中学2年生の生活困窮層で71.9%と、生活困窮層で「いる」の割合が低くなっています。



#### (4) 転居経験

▼あなたのご家庭では、過去5年の間に、何回転居しましたか。(保/問 34)

転居経験について、「0回（過去5年間で転居はしていない）」が、小学5年生で70.4%、中学2年生で76.7%と多数を占めています。



### 3 母親のこと

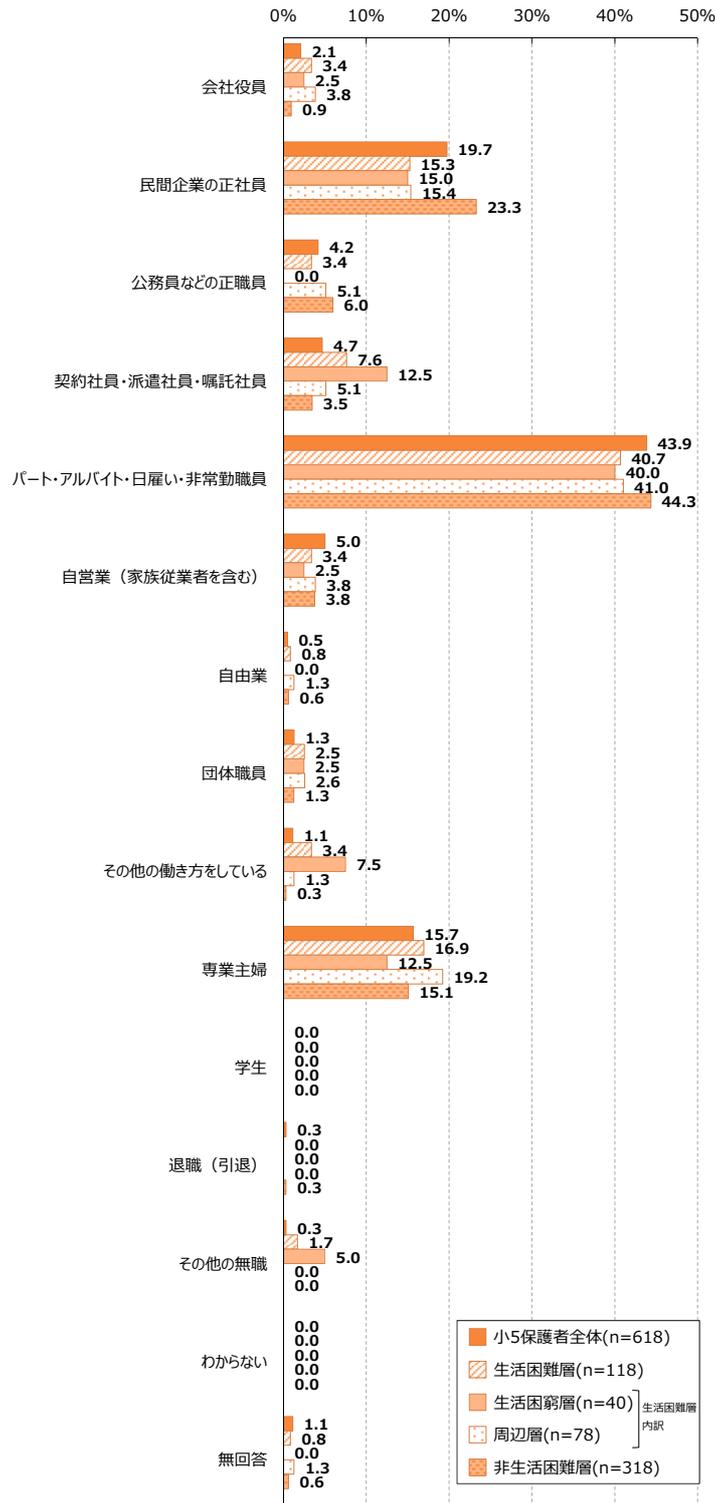
#### (1) 職業

▼お子さんのお母さまの現在のお仕事は、次のどれに最も近いですか。(保/問 10)

母親の職業について、小学5年生全体では「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が43.9%、「民間企業の正社員」が19.7%、「専業主婦」が15.7%となっています。

生活困難度別にみると、生活困窮層では「契約社員・派遣社員・嘱託社員」、「その他の働き方をしている」の割合が他の層に比べて高くなっています。

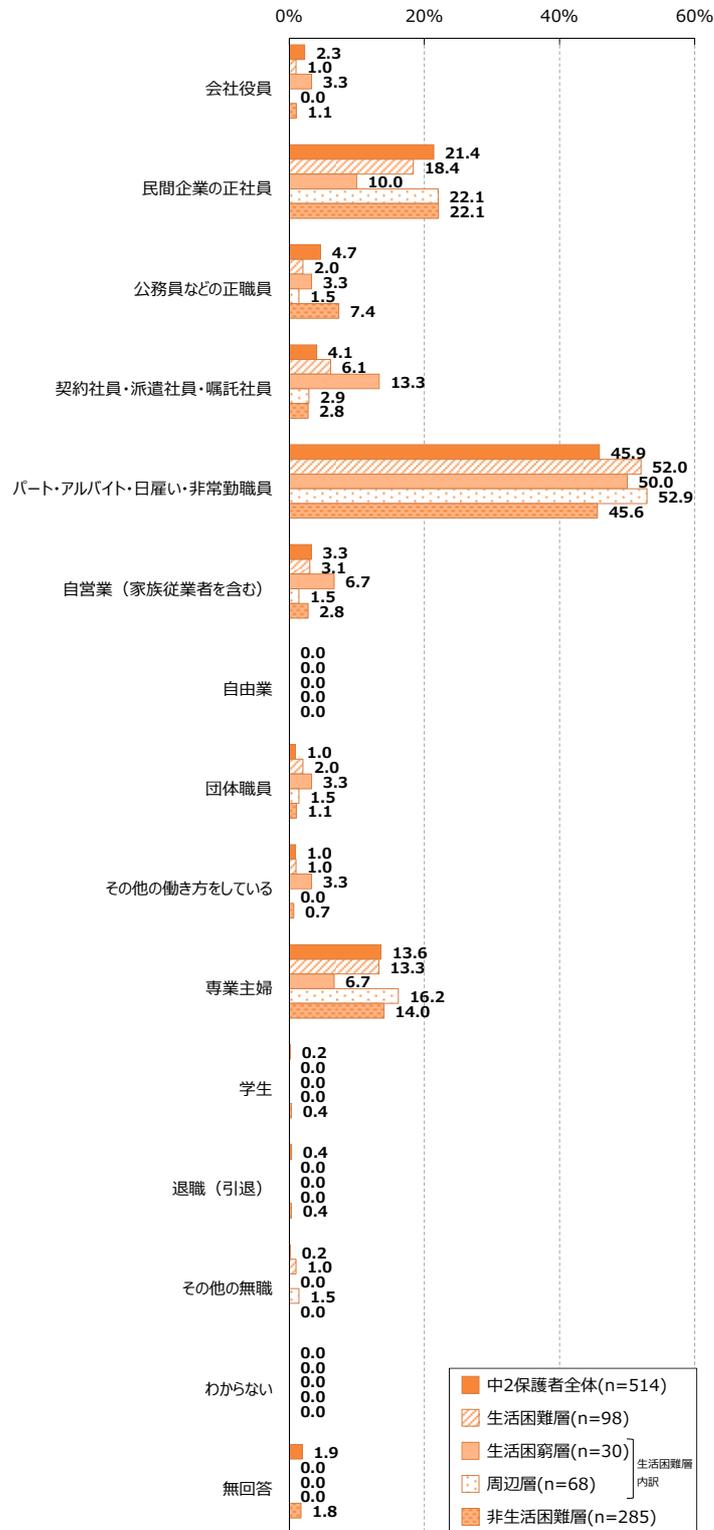
#### 小学5年生



中学2年生全体では「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が45.9%、「民間企業の正社員」が21.4%、「専業主婦」が13.6%となっています。

生活困難度別にみると、生活困窮層では「民間企業の正社員」、「専業主婦」の割合が他の層に比べて低くなっています。

**中学2年生**



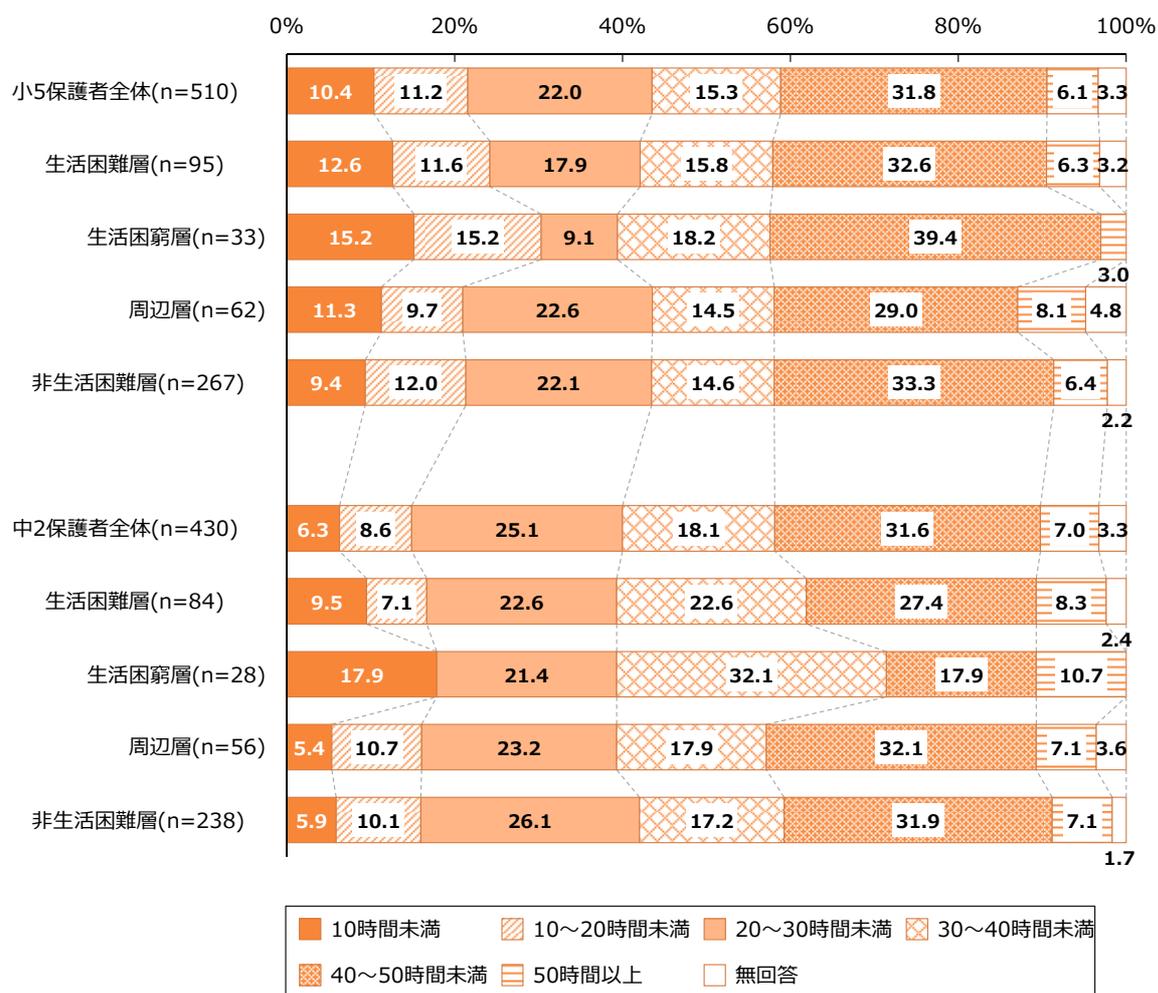
## (2) 就労時間

▼問10で「1」～「9」を選んだ方におうかがいします。

お子さんのお母さまは、1週間に平均何時間、お仕事をされていますか。(保/問10-1)

母親の就労時間について、小学5年生全体では「40～50時間未満」が31.8%、「20～30時間未満」が22.0%、「30～40時間未満」が15.3%となっています。また、中学2年生全体では「40～50時間未満」が31.6%、「20～30時間未満」が25.1%、「30～40時間未満」が18.1%となっています。

生活困難度別にみると、小学5年生では「40～50時間未満」、中学2年生では「10時間未満」「30～40時間未満」の割合が他の層に比べてやや高くなっています。



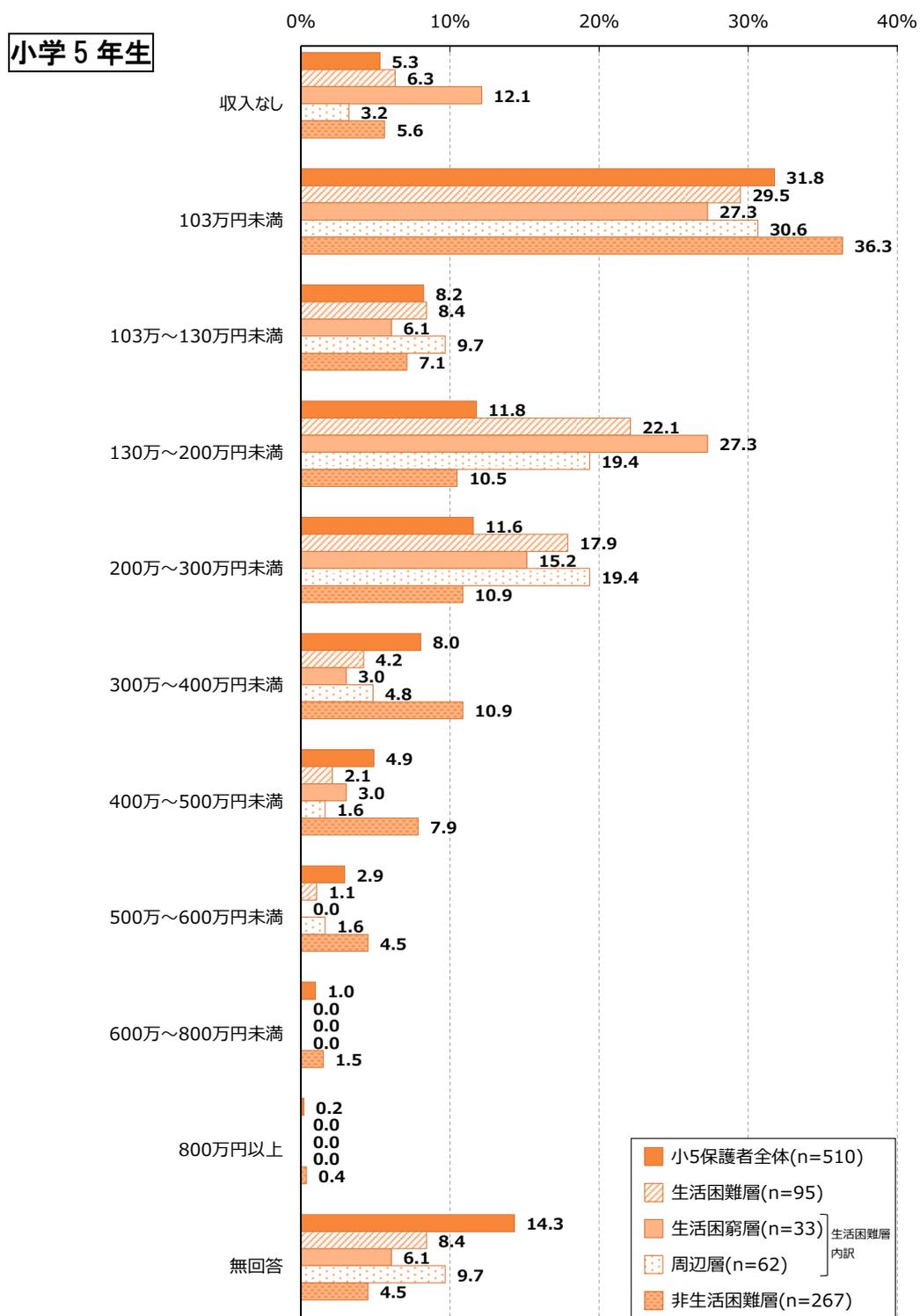
### (3) 税込収入

▼問10で「1」～「9」を選んだ方におうかがいします。

昨年1年間（平成28年1月～12月）を合計した、お子さんのお母さまのお仕事からの収入（税込）は、およそいくらですか。（保/問10-2）

母親の税込収入について、小学5年生全体では「103万円未満」が31.8%、「130万～200万円未満」が11.8%、「200万～300万円未満」が11.6%となっています。

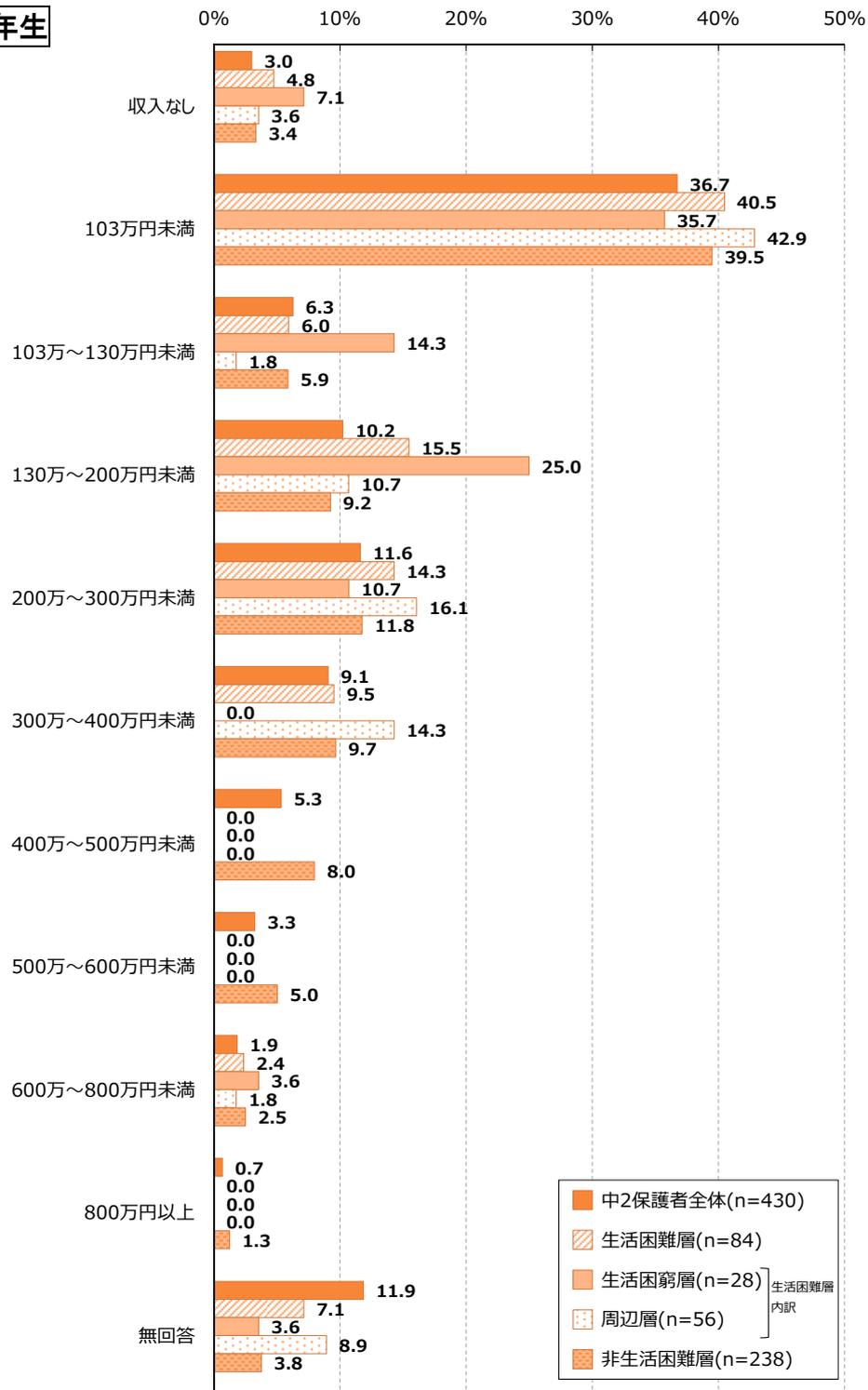
生活困窮層では「103万円未満」及び「130万～200万円未満」が27.3%、「200万～300万円未満」が15.2%となっています。



中学2年生全体では「103万円未満」が36.7%、「200万～300万円未満」が11.6%「130万～200万円未満」が10.2%となっています。

生活困窮層では「103万円未満」が35.7%、「130万～200万円未満」が25.0%「103万～130万円未満」14.3%となっています。

**中学2年生**



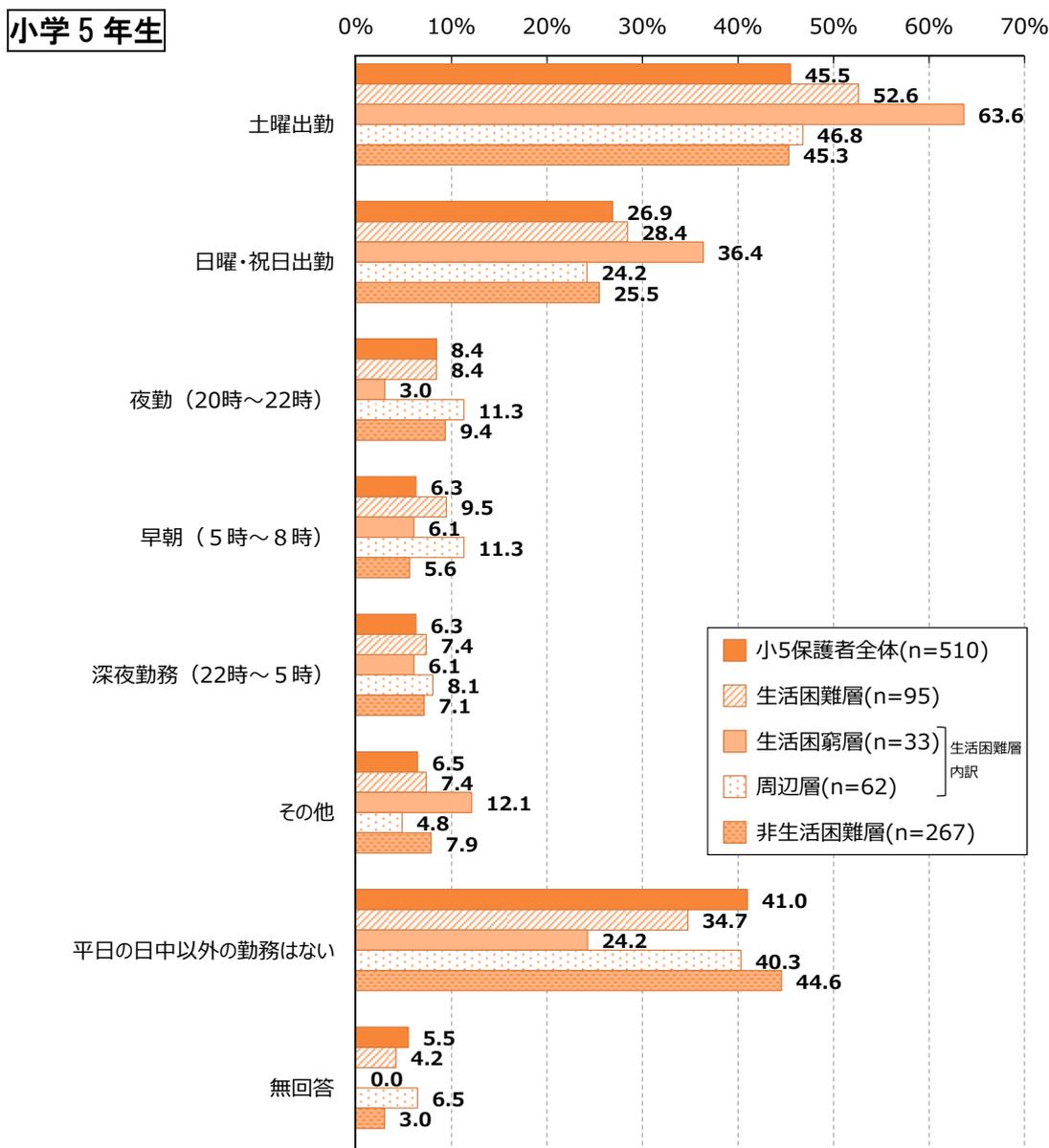
#### (4) 平日日中以外の勤務状況

▼問10で「1」～「9」を選んだ方におうかがいします。

お母さまは、平日の日中以外の勤務がありますか。(保/問10-3 複数回答)

母親の平日日中以外の勤務状況について、小学5年生全体では「土曜出勤」が45.5%、「平日の日中以外の勤務はない」が41.0%、「日曜・祝日出勤」が26.9%となっています。

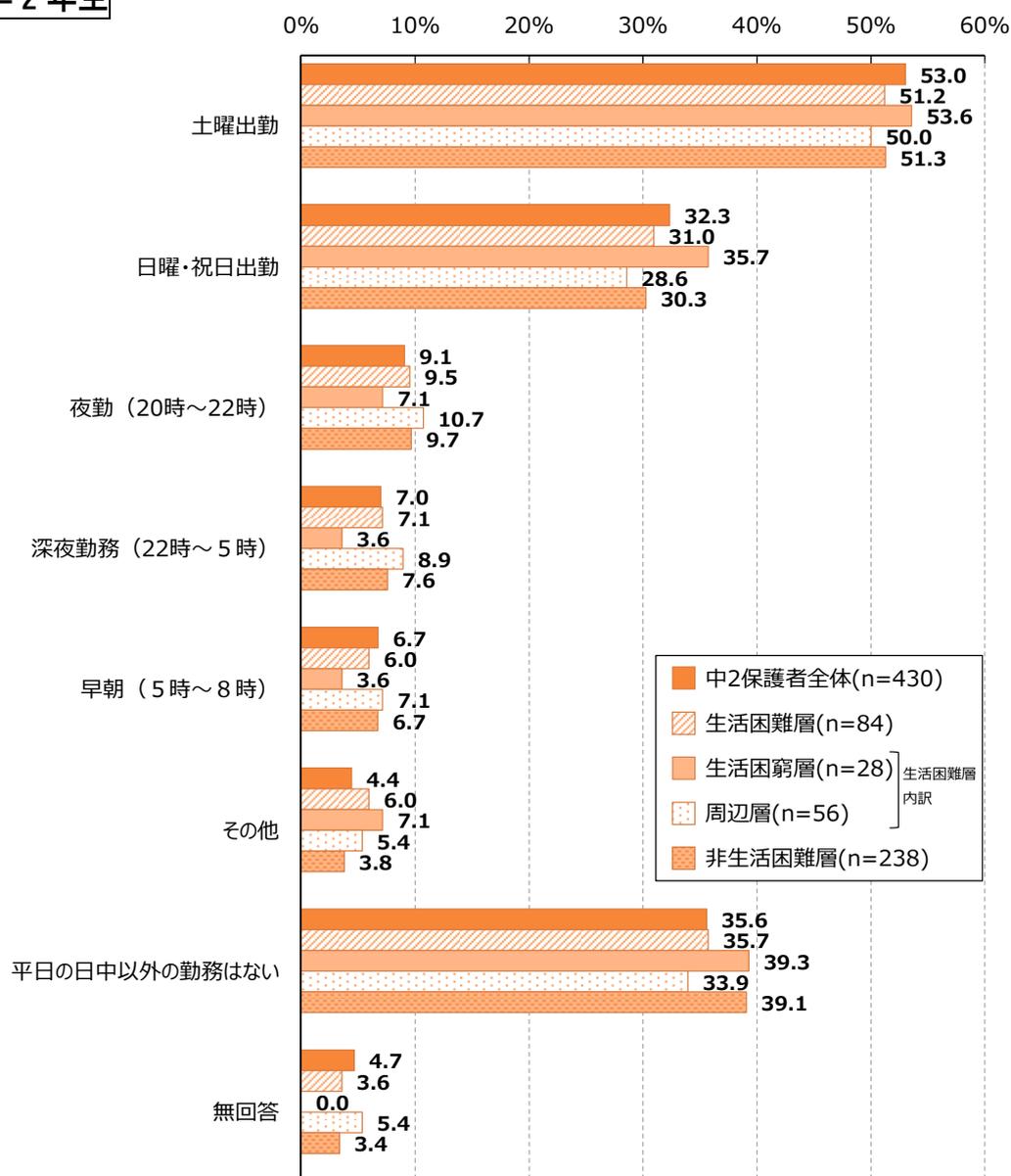
生活困窮層では「平日の日中以外の勤務はない」が24.2%と他の層に比べて低く、「土曜出勤」が63.6%と高くなっています。



中学2年生全体では「土曜出勤」が53.0%、「平日の日中以外の勤務はない」が35.6%、「日曜・祝日出勤」が32.3%となっています。

生活困窮層では「土曜出勤」が53.6%、「平日の日中以外の勤務はない」が39.3%、「日曜・祝日出勤」が35.7%と、生活困難度による大きな差はみられません。

### 中学2年生



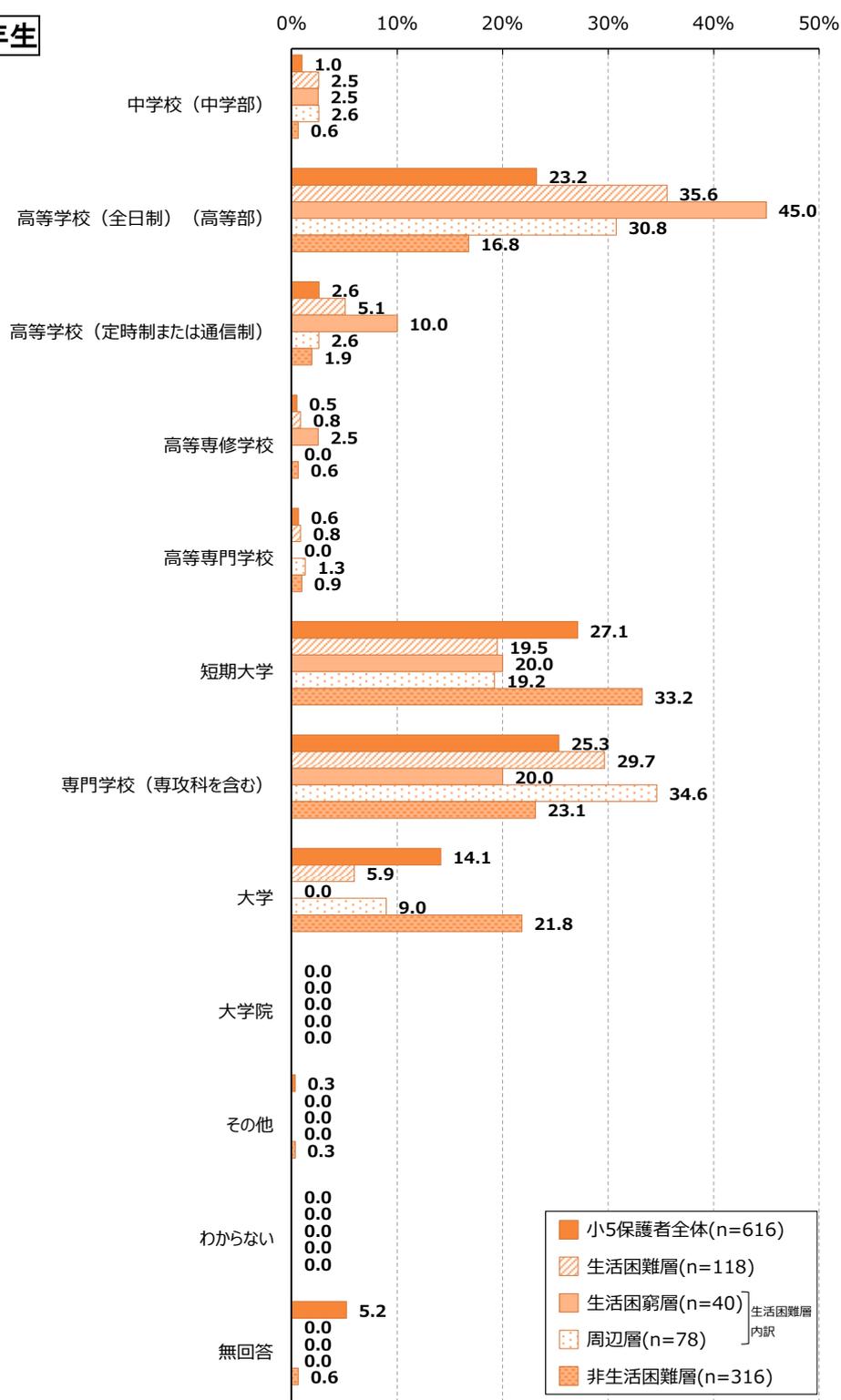
## (5) 最終学歴

▼お子さんのお母さまが、最後に通われた学校は次のどれにあてはまりますか。(保/問 36)

母親の最終学歴について、小学5年生全体では「短期大学」が27.1%、「専門学校（専攻科を含む）」が25.3%、「高等学校（全日制）（高等部）」が23.2%となっています。

生活困窮層では「高等学校（全日制）（高等部）」が45.0%と他の層に比べて高くなっています。

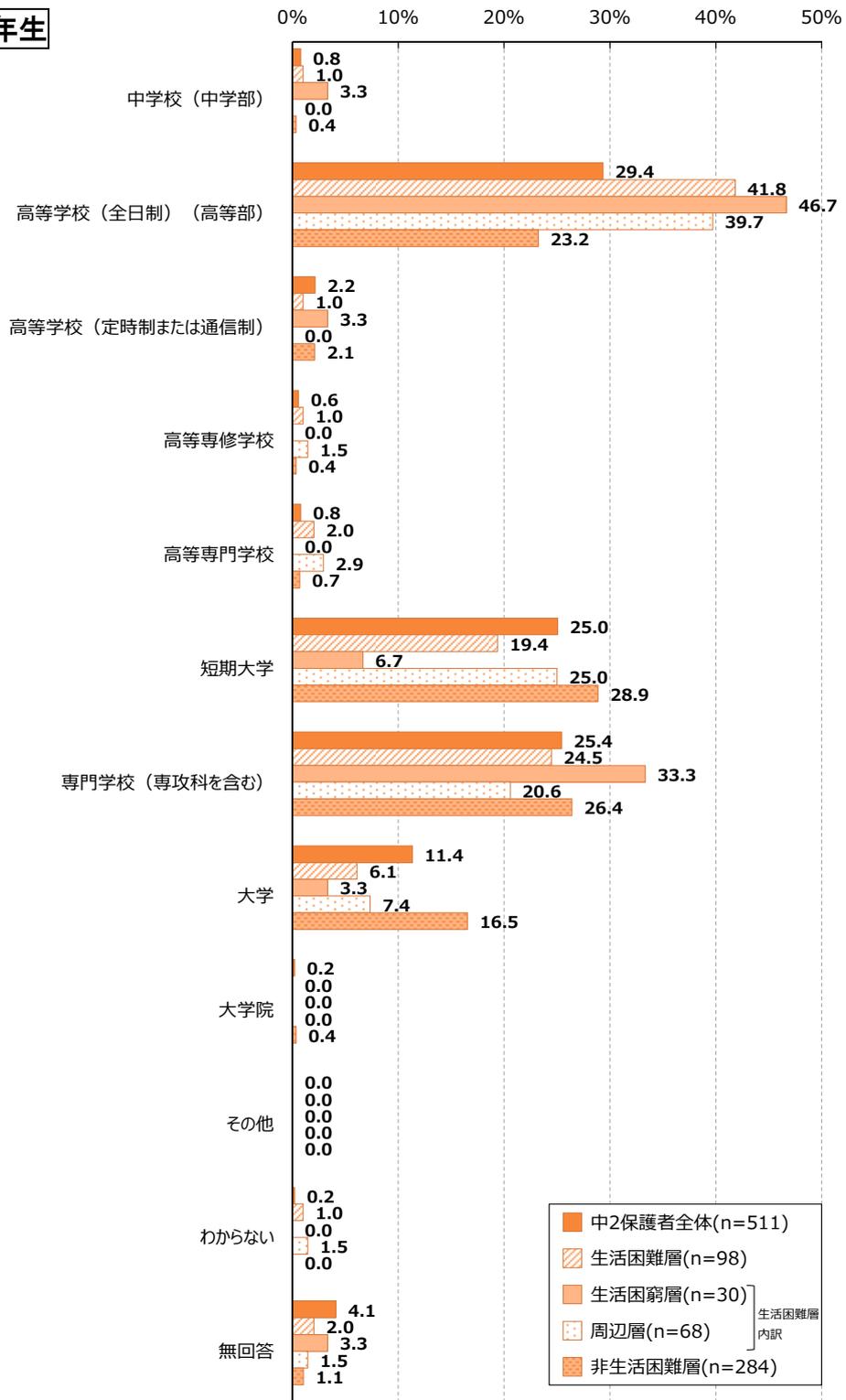
### 小学5年生



中学 2 年生全体では「高等学校（全日制）（高等部）」が 29.4%、「専門学校（専攻科を含む）」が 25.4%、「短期大学」が 25.0%となっています。

生活困窮層では「高等学校（全日制）（高等部）」が 46.7%、「専門学校（専攻科を含む）」が 33.3%と他の層に比べて高く、「短期大学」が 6.7%と低くなっています。

**中学 2 年生**



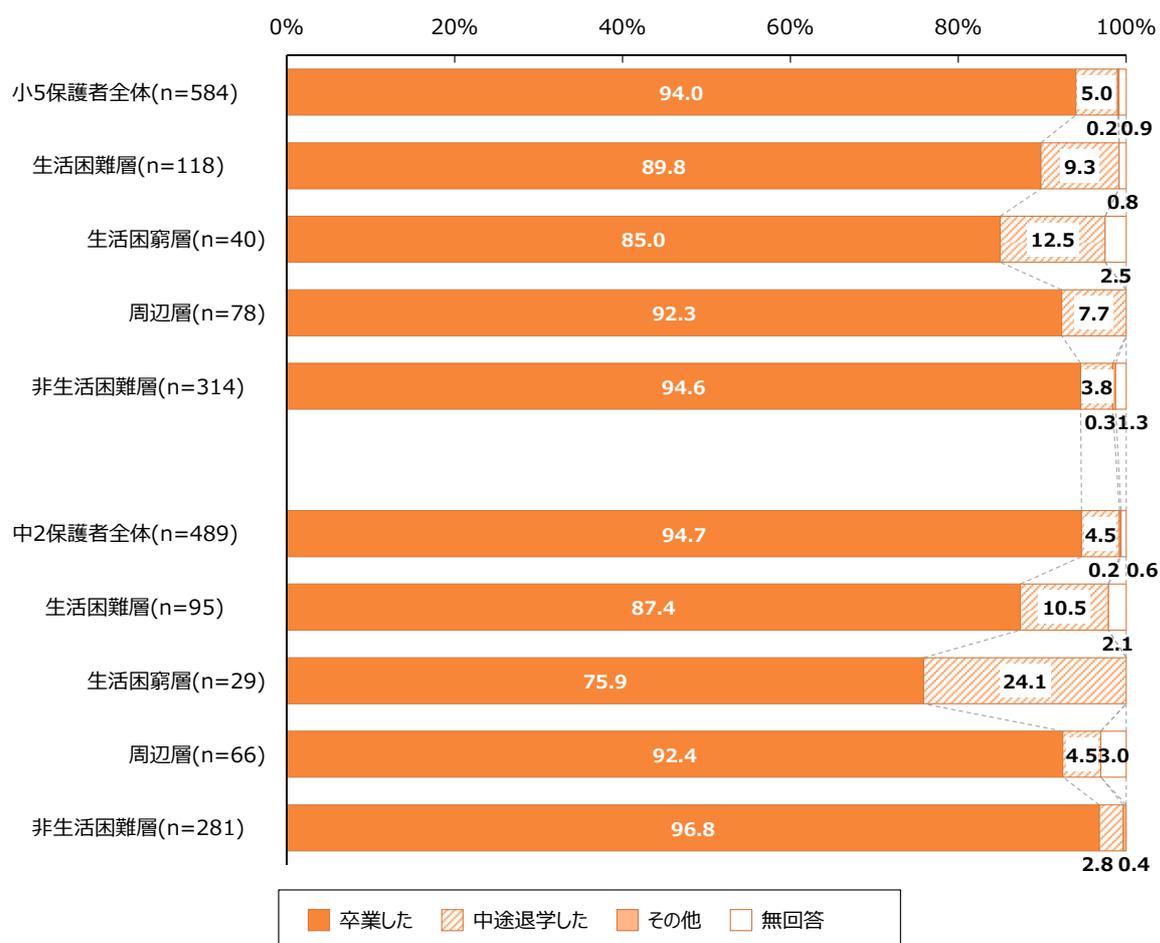
## (6) 最終学校の卒業の有無

▼問 36 で「1」～「10」を選んだ方におうかがいします。

お子さんのお母さまは、問 36 で答えた学校を卒業されましたか。(保/問 36-1)

最終学校の卒業の有無について、「卒業した」の割合は、小学5年生全体で94.0%、中学2年生全体で94.7%となっています。一方「中途退学した」の割合は、小学5年生全体で5.0%、中学2年生全体で4.5%となっています。

生活困難度別に「卒業した」の割合をみると、小学5年生の生活困窮層で85.0%、周辺層で92.3%と、困難度が高い層ほど低くなっており、中学2年生も同様の傾向となっています。



## 4 父親のこと

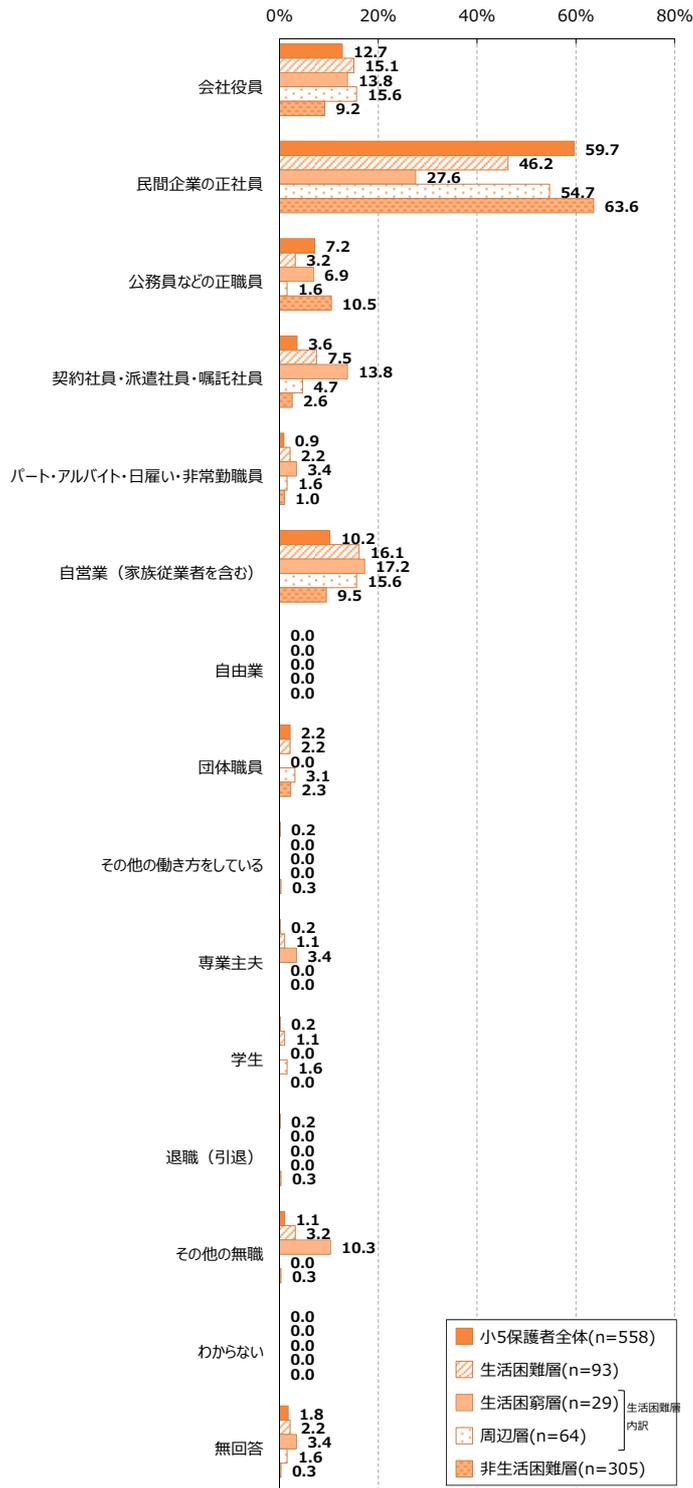
### (1) 職業

▼お子さんのお父さまの現在のお仕事は、次のどれに最も近いですか。(保/問 11)

父親の職業について、小学5年生全体では「民間企業の正社員」が59.7%、「会社役員」が12.7%、「自営業（家族従業者を含む）」が10.2%となっています。

生活困窮層では「契約社員・派遣社員・嘱託社員」が13.8%と他の層に比べて高く、「民間企業の正社員」が27.6%と割合が低くなっています。

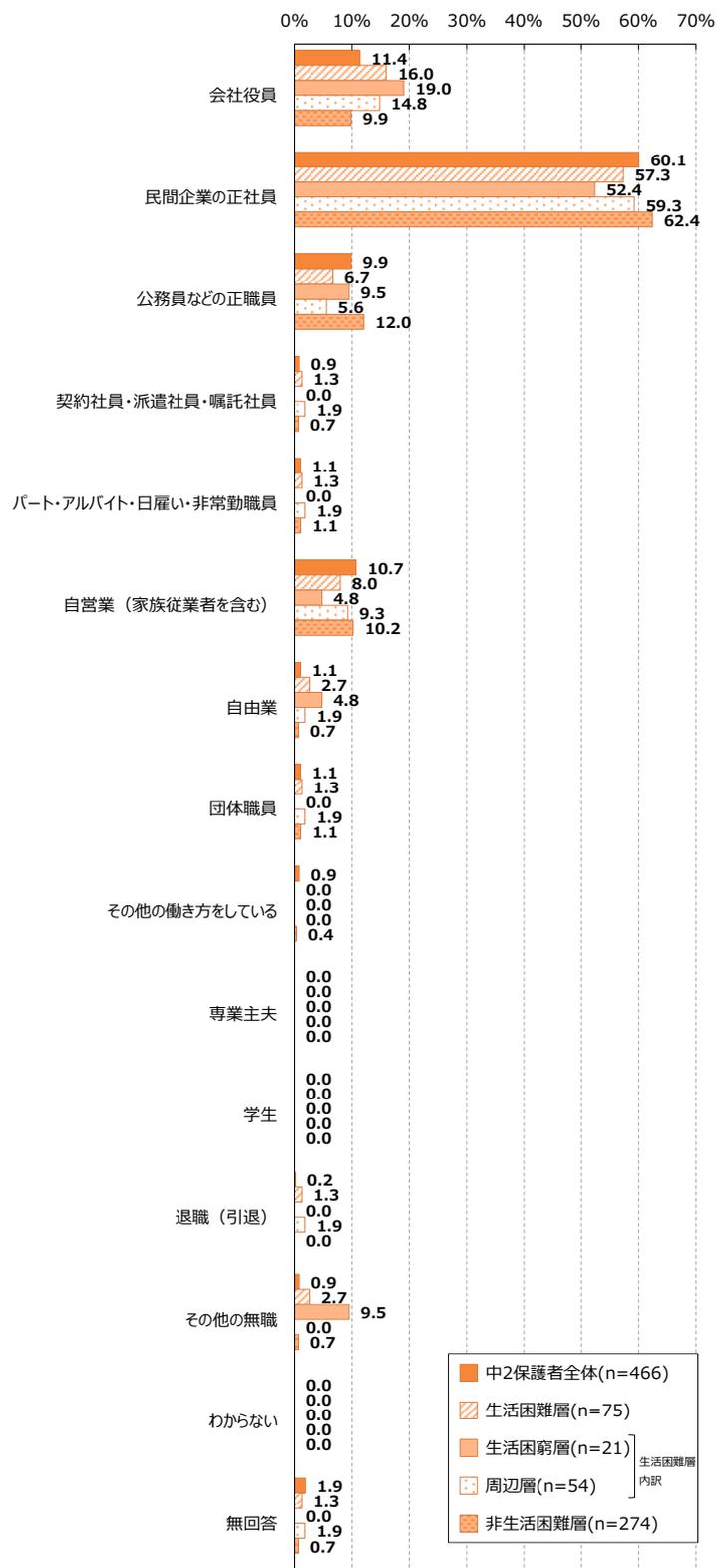
#### 小学5年生



中学2年生全体では「民間企業の正社員」が60.1%、「会社役員」が11.4%、「自営業（家族従業者を含む）」が10.7%となっています。

生活困難度別にみると、生活困窮層では「会社役員」が会社役員%と他の層に比べてやや高く、「民間企業の正社員」が52.4%、「自営業（家族従業者を含む）」が4.8%と低くなっています。

### 中学2年生



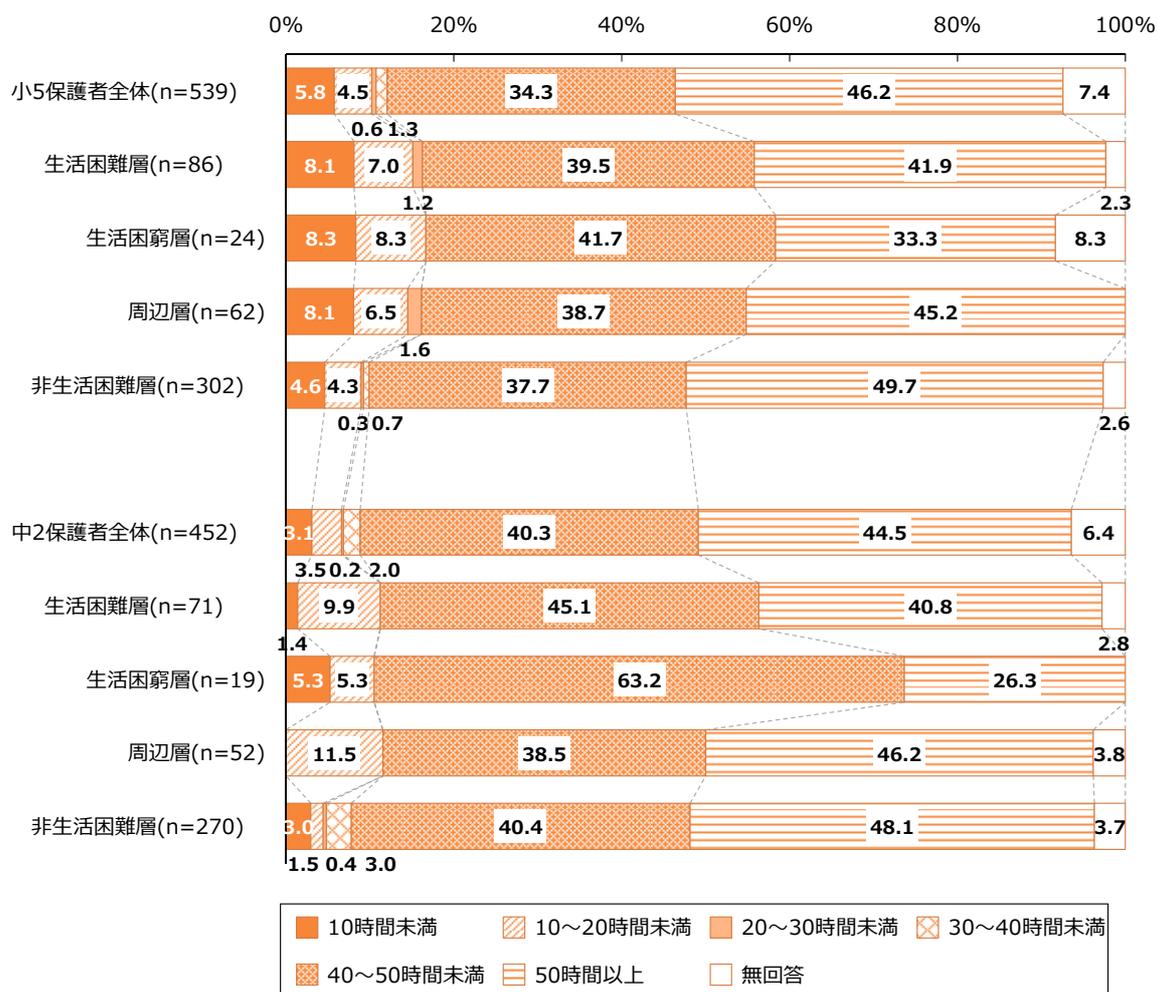
## (2) 就労時間

▼問 11 で「1」～「9」を選んだ方におうかがいします。

お子さんのお父さまは、1週間に平均何時間、お仕事をされていますか。(保/問 11-1)

父親の就労時間について、小学5年生全体では「50時間以上」が46.2%、「40～50時間未満」が34.3%となっています。また、中学2年生全体では「50時間以上」が44.5%、「40～50時間未満」が40.3%となっています。

生活困難度別に「50時間以上」の割合をみると、小学5年生の生活困窮層で33.3%、中学2年生の生活困窮層で26.3%と、生活困窮層で低い割合となっています。



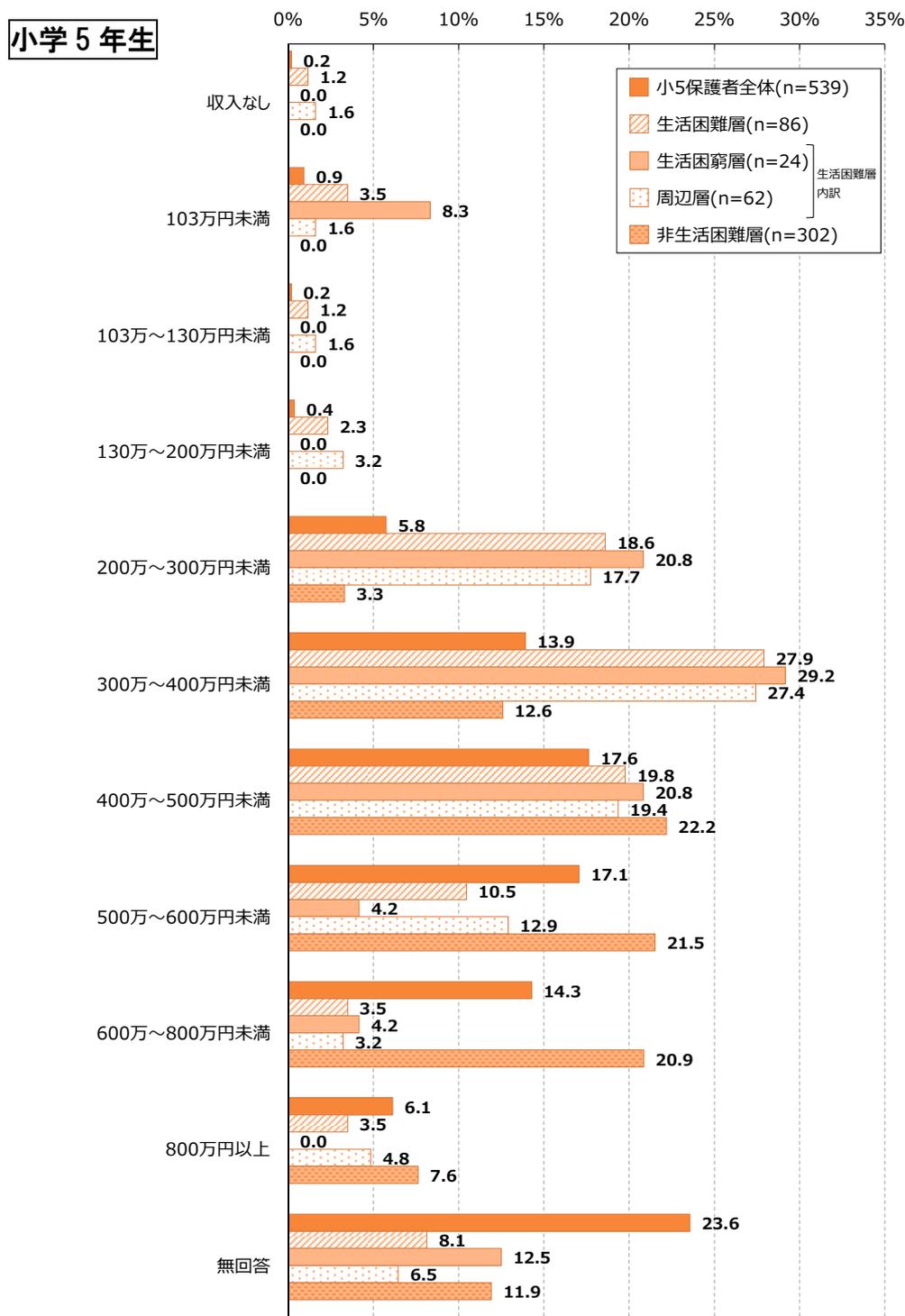
### (3) 税込収入

▼問11で「1」～「9」を選んだ方におうかがいします。

昨年1年間（平成28年1月～12月）を合計した、お子さんのお父さまのお仕事からの収入（税込）はおよそいくらですか。（保/問11-2）

父親の税込収入について、小学5年生全体では「400万～500万円未満」が17.6%、「500万～600万円未満」が17.1%、「600万～800万円未満」が14.3%となっています。

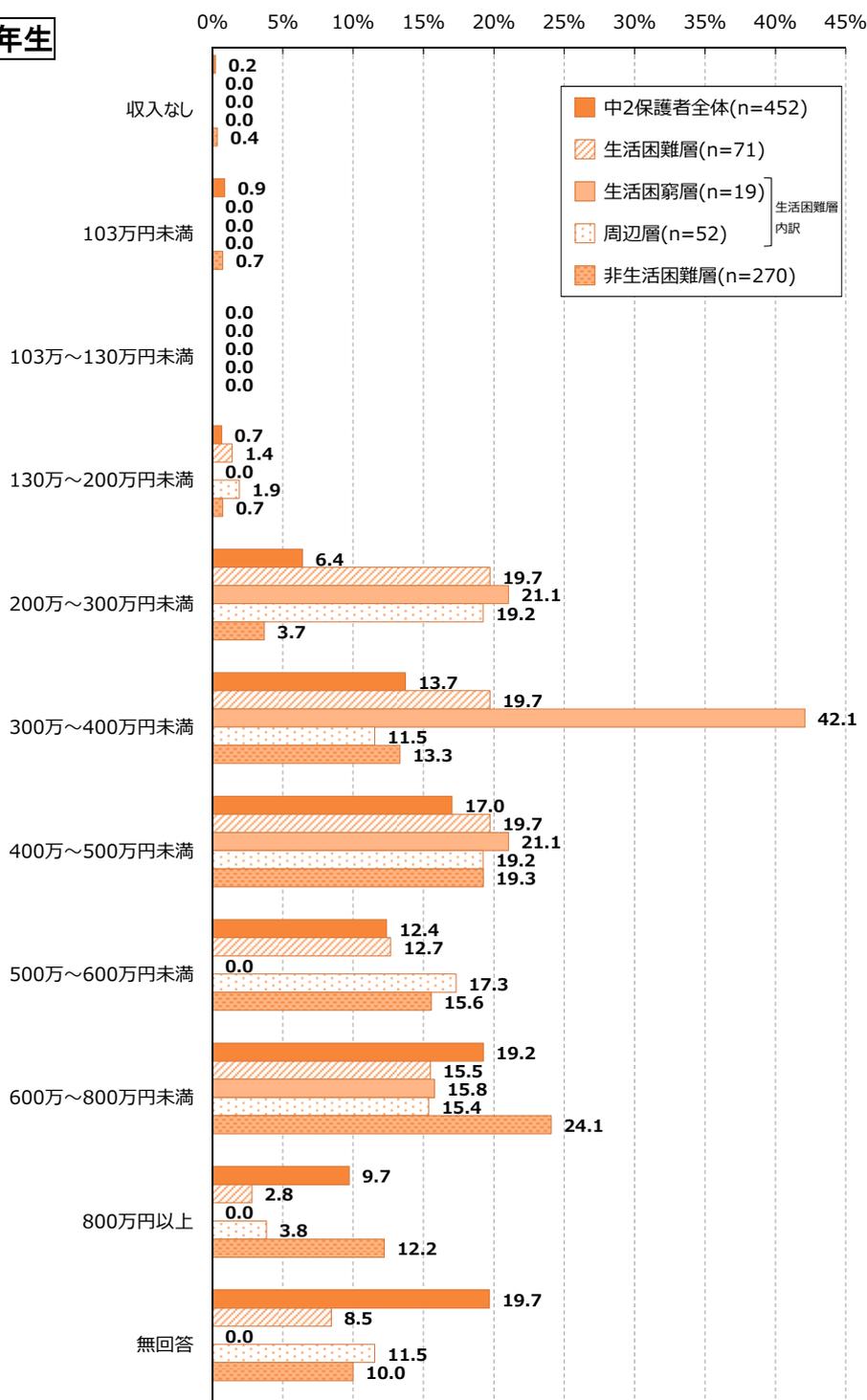
生活困窮層では「300万～400万円未満」が29.2%、「200万～300万円未満」及び「400万～500万円未満」が20.8%となっています。



中学2年生全体では「600万～800万円未満」が19.2%、「400万～500万円未満」が17.0%、「300万～400万円未満」が13.7%となっています。

生活困窮層では「300万～400万円未満」が42.1%、「200万～300万円未満」及び「400万～500万円未満」が21.1%となっています。

### 中学2年生



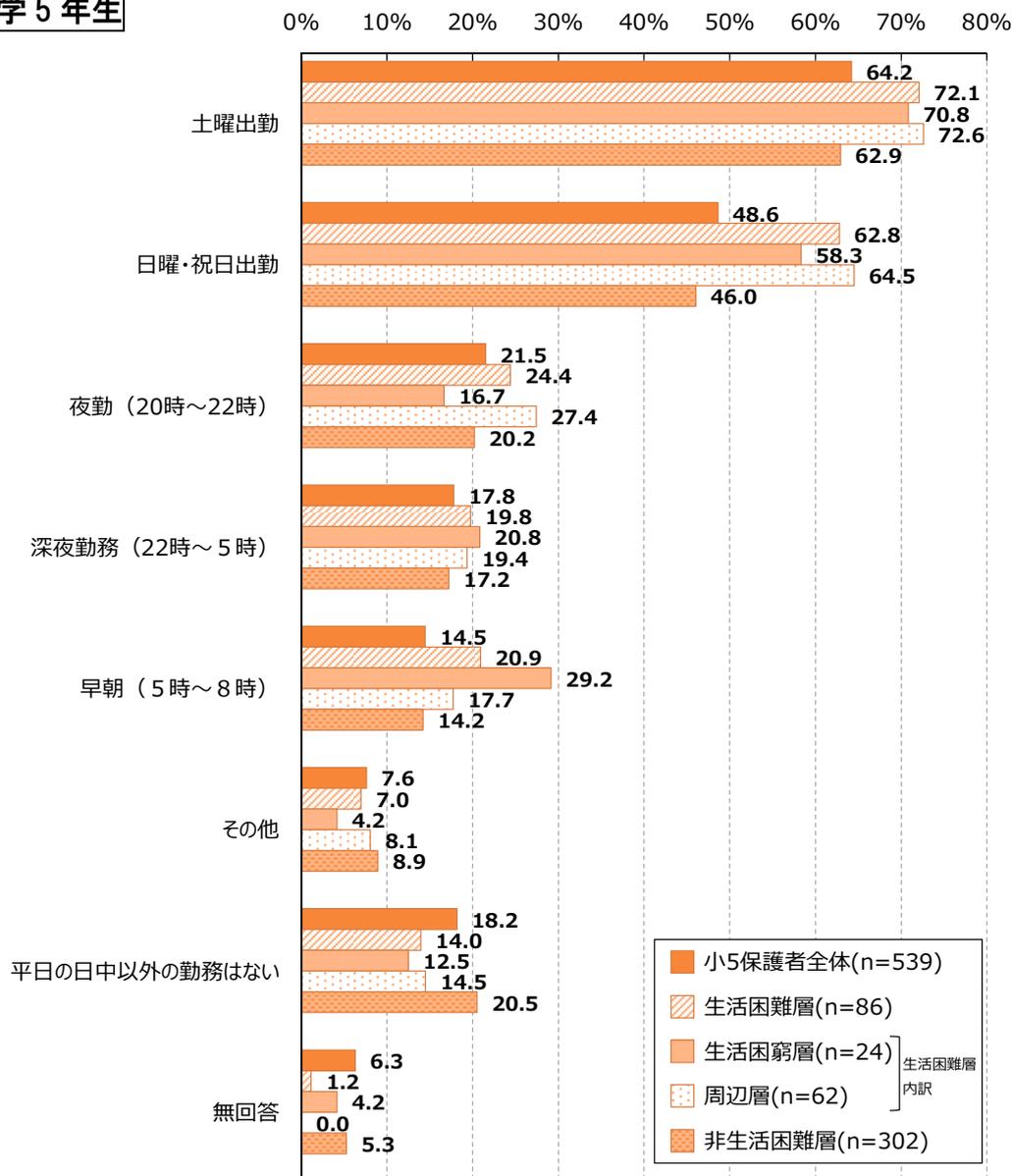
#### (4) 平日日中以外の勤務状況

▼問 11 で「1」～「9」を選んだ方におうかがいします。お父さまは、平日の日中以外の勤務がありますか。(保/問 11-3 複数回答)

父親の平日日中以外の勤務状況について、小学5年生全体では「土曜出勤」が64.2%、「日曜・祝日出勤」が48.6%、「夜勤（20時～22時）」が21.5%となっています。

生活困窮層では「平日の日中以外の勤務はない」が12.5%と他の層に比べてやや低く、「早朝（5時～8時）」が29.2%と高い割合となっています。

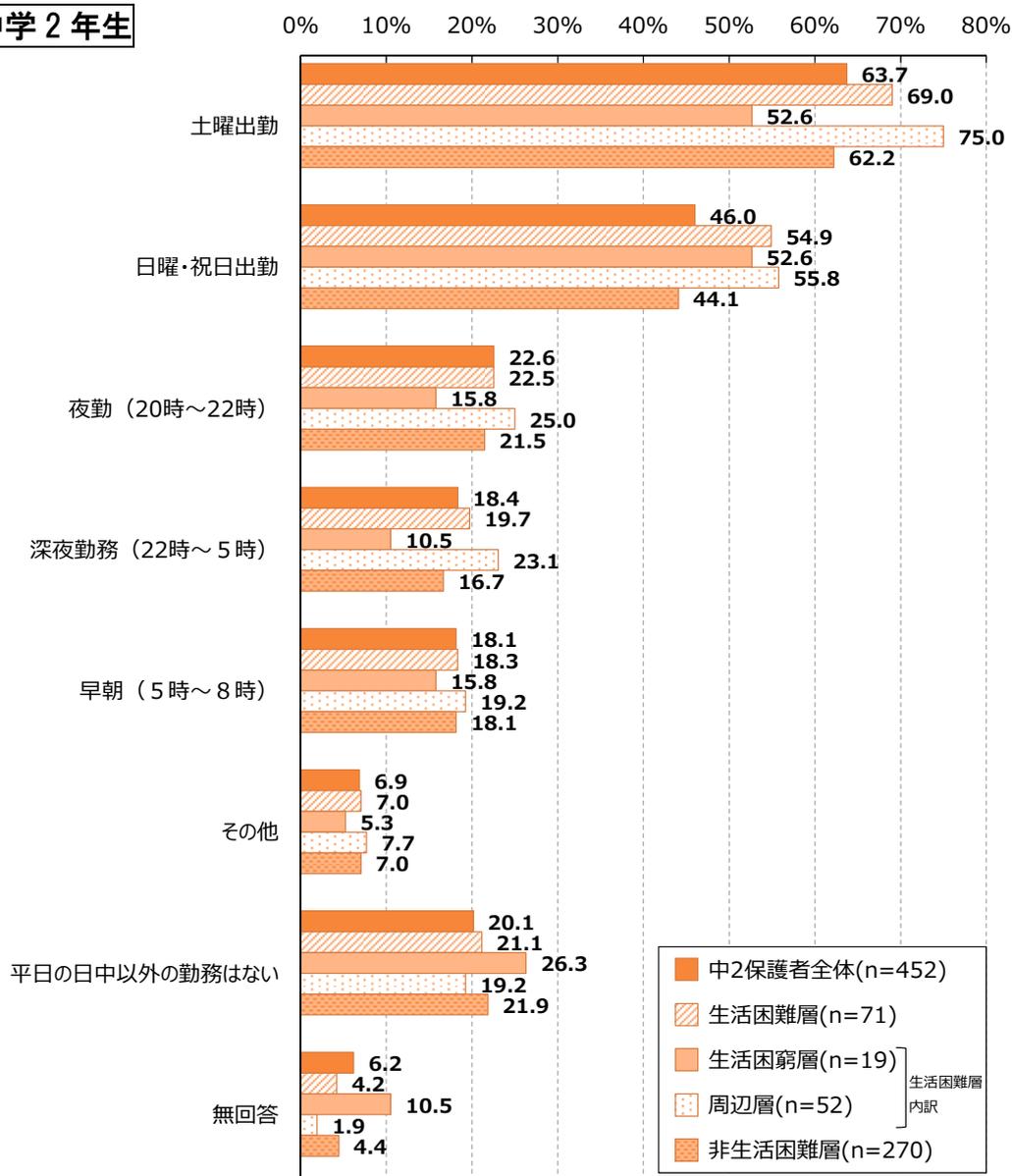
#### 小学5年生



中学2年生全体では「土曜出勤」が63.7%、「日曜・祝日出勤」が46.0%、「夜勤（20時～22時）」が22.6%となっています。

生活困窮層では「平日の日中以外の勤務はない」が26.3%と他の層に比べてやや高い一方、「土曜出勤」が52.6%、「夜勤（20時～22時）」が15.8%、「深夜勤務（22時～5時）」が10.5%と低い割合となっています。

### 中学2年生



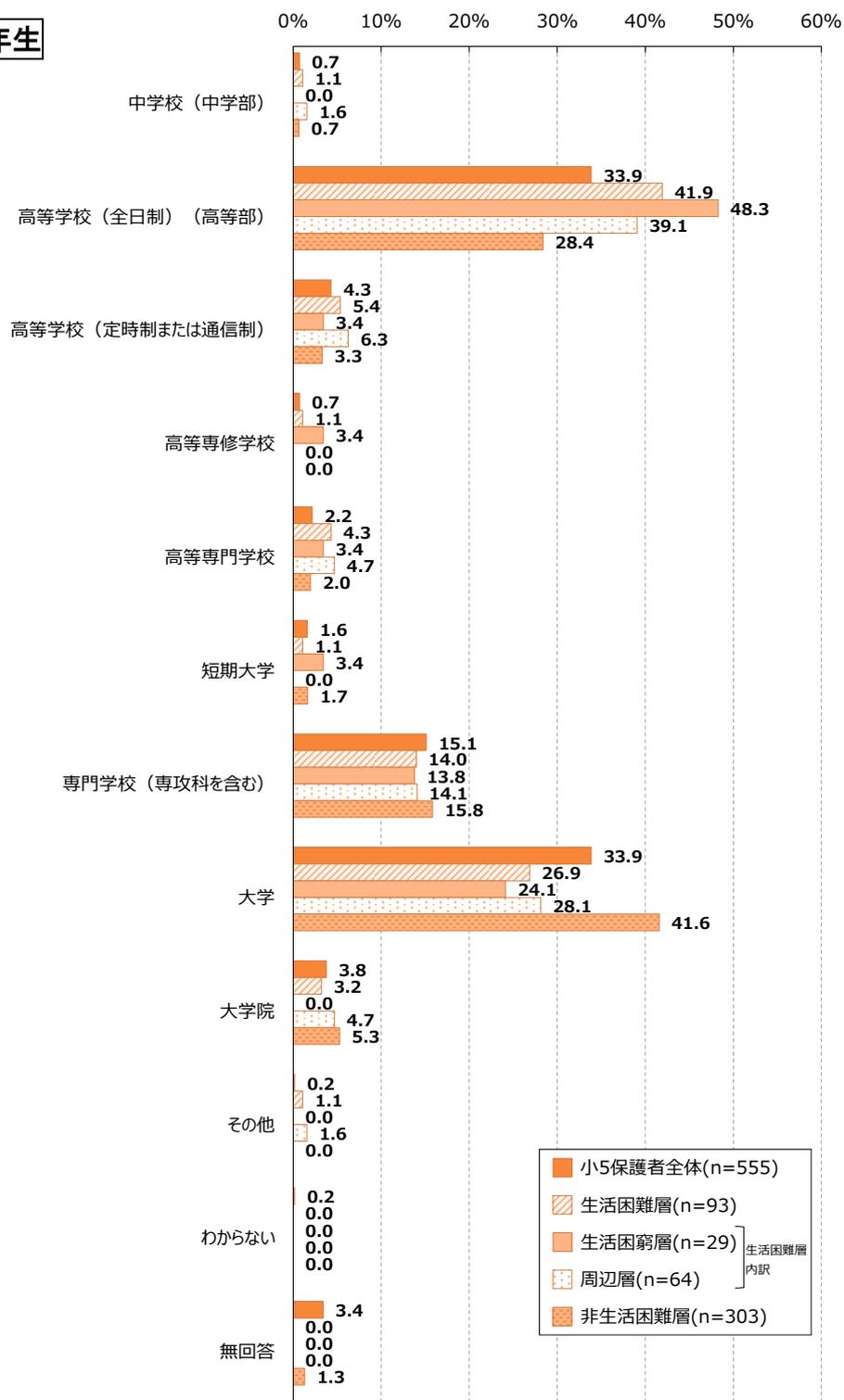
## (5) 最終学歴

▼お子さんのお父さまが、最後に通われた学校は次のどれにあてはまりますか。(保/問 37)

父親の最終学歴について、小学5年生全体では「高等学校（全日制）（高等部）」及び「大学」が33.9%、「専門学校（専攻科を含む）」が15.1%となっています。

生活困窮層では「高等学校（全日制）（高等部）」が48.3%と他の層に比べて高く、「大学」が24.1%と低い割合となっています。

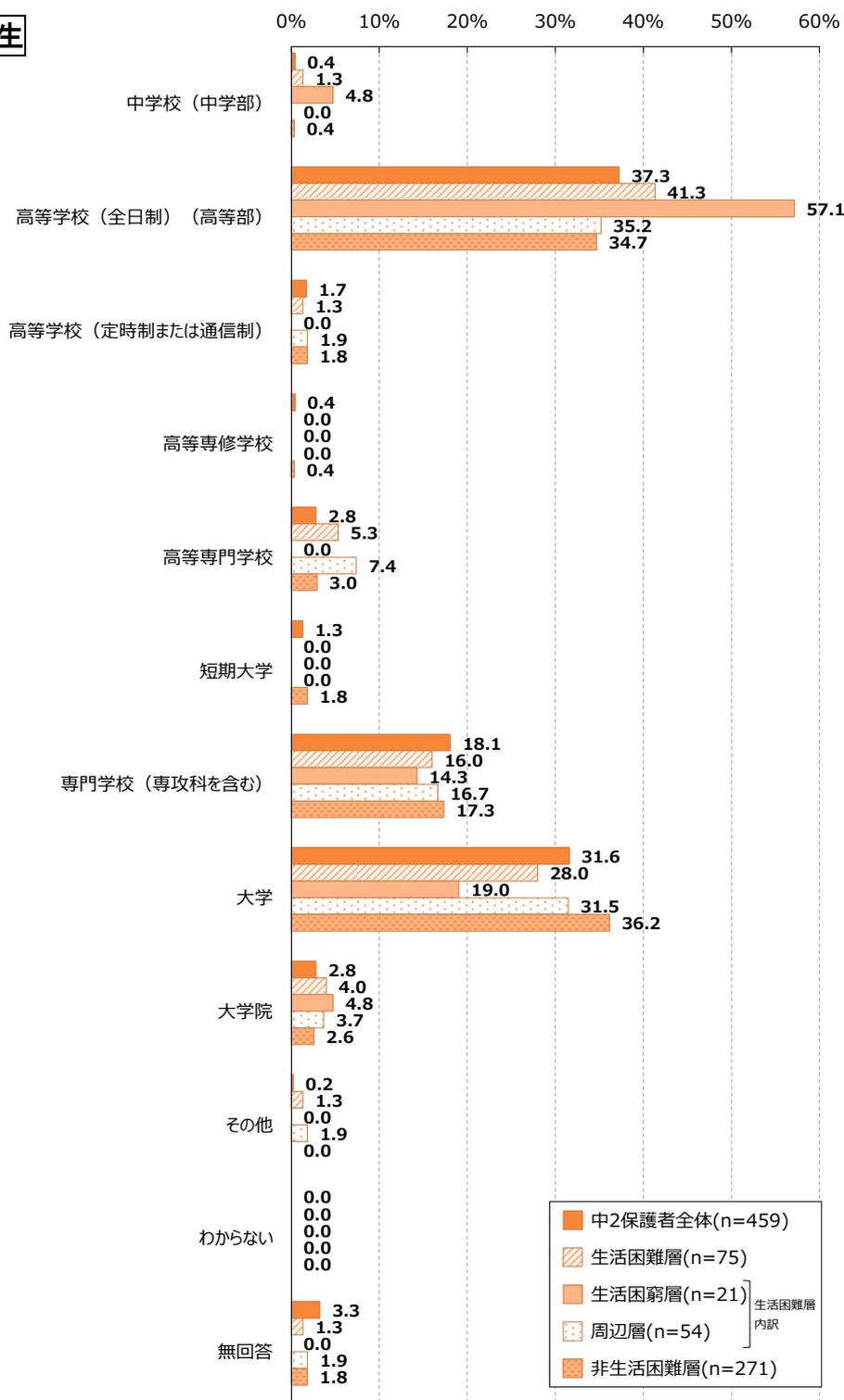
### 小学5年生



中学2年生全体では「高等学校（全日制）（高等部）」が37.3%、「大学」が33.9%、「専門学校（専攻科を含む）」が15.1%となっています。

生活困窮層では「高等学校（全日制）（高等部）」が57.1%と他の層に比べて高く、「大学」が19.0%と低い割合となっています。

### 中学2年生



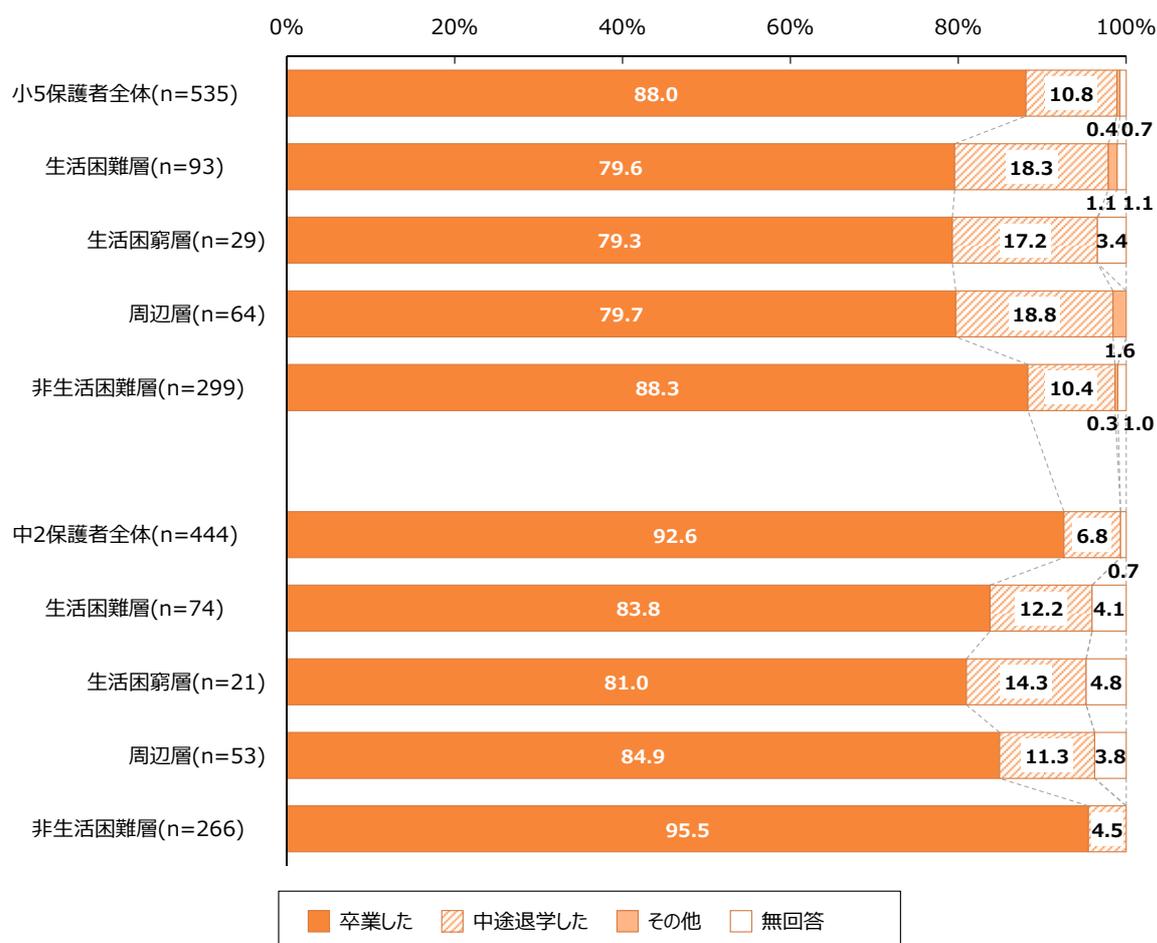
## (6) 最終学校の卒業の有無

▼問 37 で「1」～「10」を選んだ方におうかがいします。

お子さんのお父さまは、問 37 で答えた学校を卒業されましたか。(保/問 37-1)

最終学校の卒業の有無について、「卒業した」の割合は、小学5年生全体で88.0%、中学2年生全体で92.6%と多数を占めています。一方「中途退学した」の割合は、小学5年生全体で10.8%、中学2年生全体で6.8%となっています。

生活困難度別に「卒業した」の割合をみると、小学5年生の生活困窮層で79.3%、周辺層で79.7%と、困難度が高い層ほど低くなっており、中学2年生も同様の傾向となっています。



# 第8章 三原市独自設問

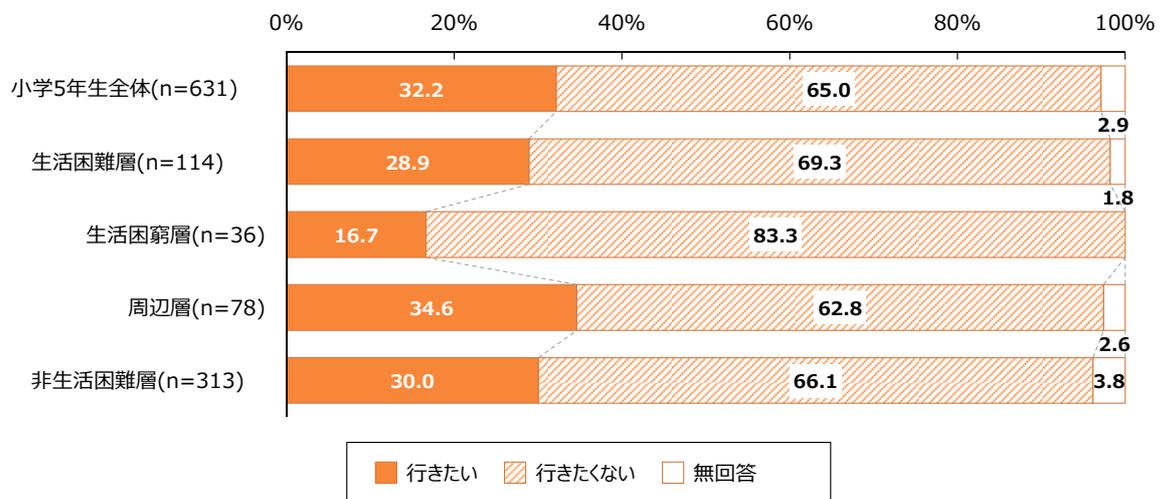
## 1 子ども票独自設問

### (1) 放課後児童クラブについて

▼あなたは、放課後児童クラブが利用できれば、行きたいと思いますか。(子/小学生問 42)

放課後児童クラブに行きたいかについて、小学5年生全体では「行きたい」が32.2%、「行きたくない」が65.0%となっています。

生活困難度別に「行きたい」の割合をみると、生活困窮層で16.7%、周辺層で34.6%、非生活困窮層で30.0%と、生活困窮層で低い割合となっています。



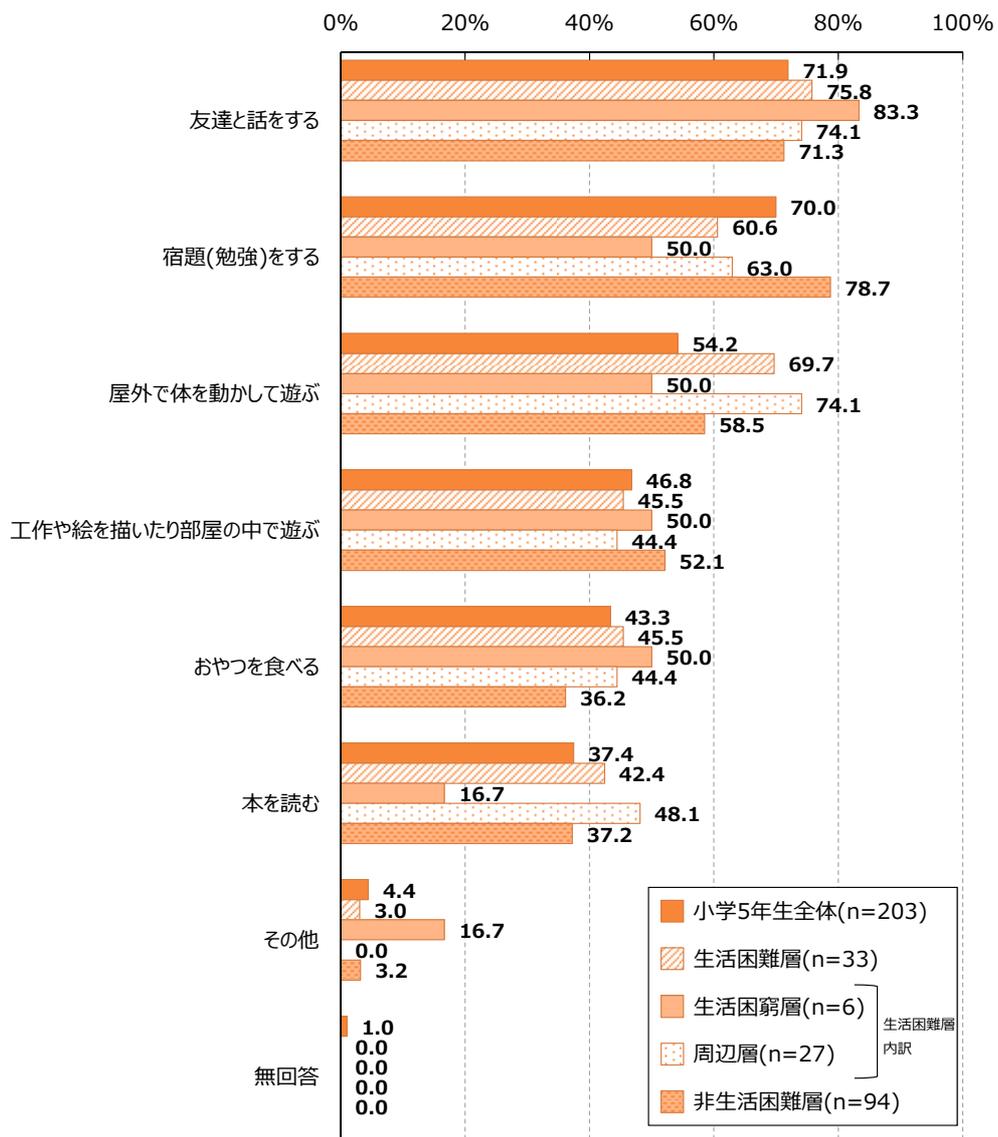
▼放課後児童クラブに「1 行きたい」と答えた人におききします。

放課後児童クラブで、何をしたいですか。(子/小学生問 42-1 複数回答)

放課後児童クラブに行きたいと回答した人の放課後児童クラブでしたいことについて、小学5年生全体では「友達と話をする」が71.9%、「宿題(勉強)をする」が70.0%、「屋外で体を動かして遊ぶ」が54.2%となっています。

生活困難度別では、生活困窮層で「宿題(勉強)をする」「本を読む」等の割合が他の層に比べて低くなっています。

**小学5年生**



▼放課後児童クラブに「2 行きたくない」と答えた人におききします。  
放課後児童クラブに行きたくない理由を教えてください。(子/小学生問 42-2)

放課後児童クラブに行きたくない理由の主な意見

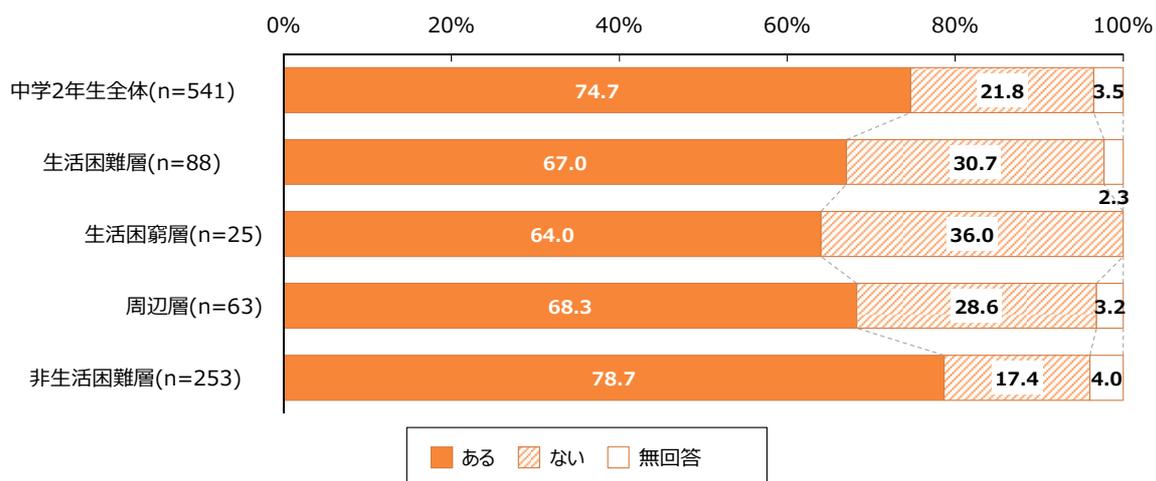
分類	主な意見
楽しくない・楽しなさそう	1 回行っておもしろくなかったから。 おもしろくないから。 行ってもつまらないから。 前にいった時に、たのしくないとおもったし、ひとりであそんでいる時間が多かったから。 楽しなさそうだから。 など
留守番	一人で留守番ができるから
行けない	4 年生以上は行けないから。 5 年生だからはいれないから。 など
家族がいる・家が好き	家ぞくといる時がなくなるから。 家にいたいから。 家に家族がいるから。 早く家に帰りたいから。 家でゆっくりするほうがいいから。 家が好き。 など
行きたくない	行きたくないから。 めんどくさいから。 など
不満がある	うるさいし勉強に集中できない。 しばられてる感があって嫌。 公園などであそべないから。 仲のいい人がいないから。 など
必要がない・興味がない	行く必要がないから。 あまり楽しそうじゃないし行く必要がないから。 特に興味がない。 など
友だちと遊びたい	いろいろな友だちと遊びたいから。 いろんな所で友達と遊びたいから。 自由にあそびたい。 自由に友達と遊びたいから。 放課後にともだちとあそびたいから。 など
習いごと・用事がある	習い事がいそがしいから。 野球の練習をするから。 サッカーがあるから。 塾に行って、勉強したいから。 など

## (2) 高校進学について

### ▼あなたは、行きたい高校がありますか。(子/中学生問 42)

進学を希望する高校について、中学2年生全体全体では「ある」が74.7%、「ない」が21.8%となっています。

生活困難度別に「ある」の割合をみると、生活困窮層で64.0%、周辺層で68.3%、非生活困難層で78.7%と、生活困難度が高い層ほど低い割合となっています。



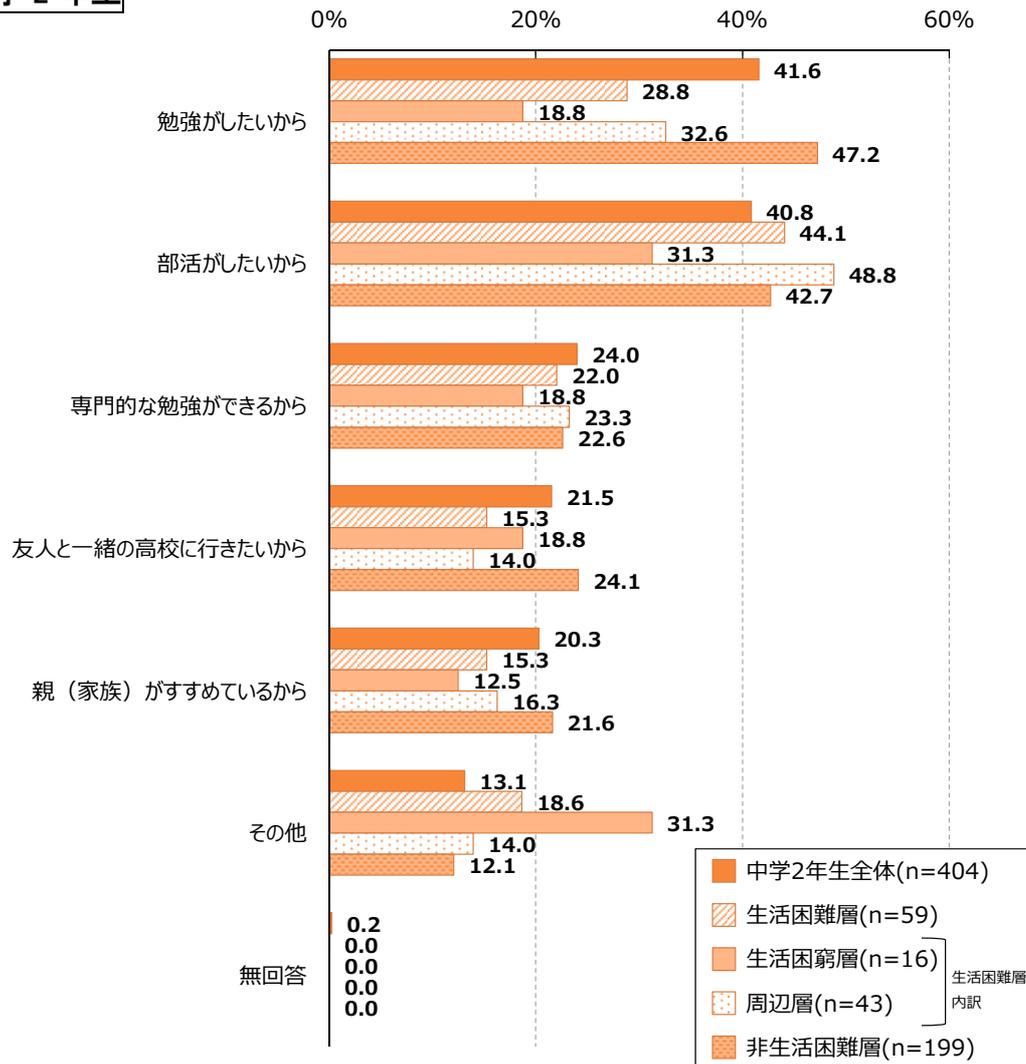
▼行きたい高校が「1 ある」と答えた人におききします。

あなたがその高校に行きたい理由は何ですか。（子/中学生問 42-1 複数回答）

行きたい高校があると回答した人の理由として、中学2年生全体では「勉強がしたいから」が41.6%、「部活がしたいから」が40.8%、「専門的な勉強ができるから」が24.0%となっています。

生活困難度別では、生活困窮層で「勉強がしたいから」「部活がしたいから」等の割合が他の層に比べて低くなっています。

**中学2年生**

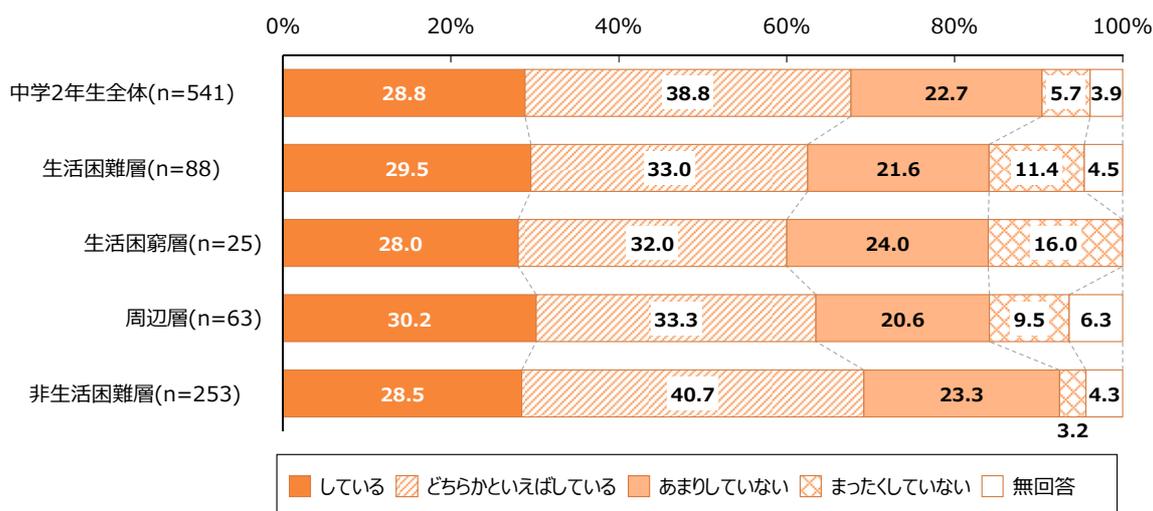


▼あなたは、高校進学について、家族と話しをしたり、相談することがありますか。

(子/中学生票 42-2)

高校進学について家族と話すことがあるかについて、「あまりしていない」と「まったくしていない」を合わせた”していない”と回答した割合は、中学2年生全体で28.4%となっています。

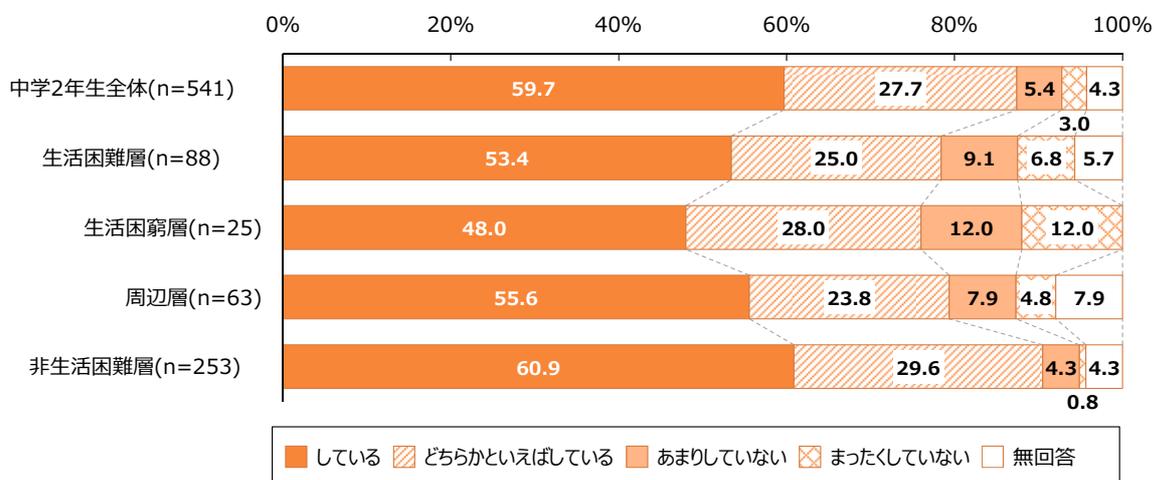
生活困難度別に”していない”の割合をみると、生活困窮層で40.0%、周辺層で30.1%、非生活困難層で26.5%と、生活困難度が高い層ほど高い割合となっています。



▼あなたの家族は、高校進学について、応援してくれていますか。(子/中学生問 42-3)

高校進学について家族の応援があるかについて、「あまりしていない」と「まったくしていない」を合わせた”していない”と回答した割合は、中学2年生全体で8.4%となっています。

生活困難度別に”していない”の割合をみると、生活困窮層で24.0%、周辺層で12.7%、非生活困難層で5.1%と、生活困難度が高い層ほど高い割合となっています。

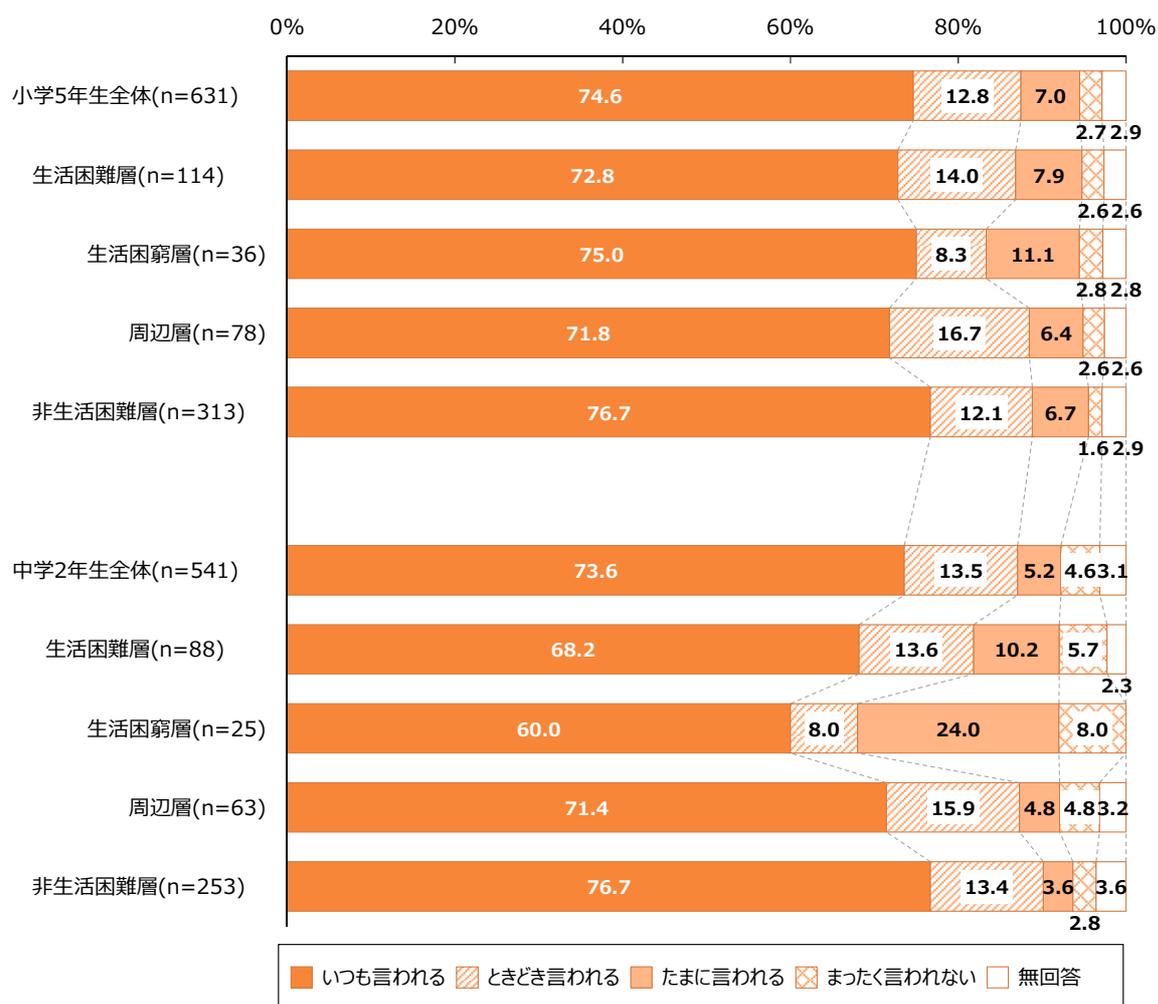


### (3) 家族からの声かけなど

▼あなたが学校に行く前に、家族から「忘れ物をしていないか」や「行ってらっしゃい」など、言われますか。(子/問 43)

登校前に家族からの声かけがあるかについて、「いつも言われる」の割合は、小学5年生全体で74.6%、中学2年生全体で73.6%となっています。

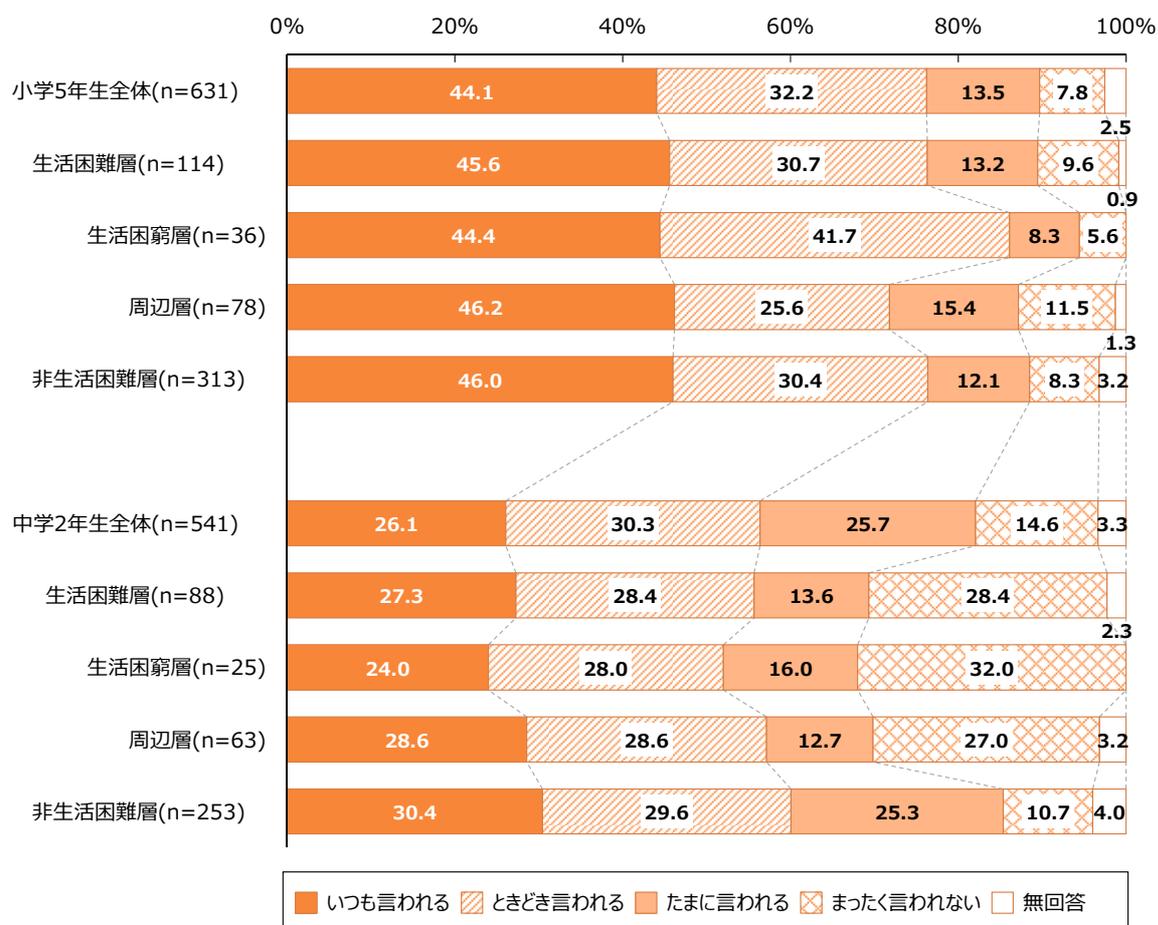
生活困難度別に「いつも言われる」の割合をみると、小学5年生ではいずれも7割を超え、生活困難度による差はみられませんが、中学2年生では、生活困窮層で60.0%、周辺層で71.4%、非生活困難層で76.7%と、生活困難度が高い層ほど低い割合となっています。



▼あなたは、家族から「宿題がすすんでいるか」と言われますか。(子/問 45)

家族から宿題がすすんでいるかと言われるかについて、「いつも言われる」の割合は、小学5年生全体で44.1%，中学2年生全体で26.1%となっています。

生活困難度別に「いつも言われる」の割合をみると、小学5年生ではいずれも4～5割と生活困難度による差はみられませんが、中学2年生では、生活困窮層で24.0%，周辺層で28.6%，非生活困難層で30.4%と、生活困難度が高い層ほど低い割合となっています。

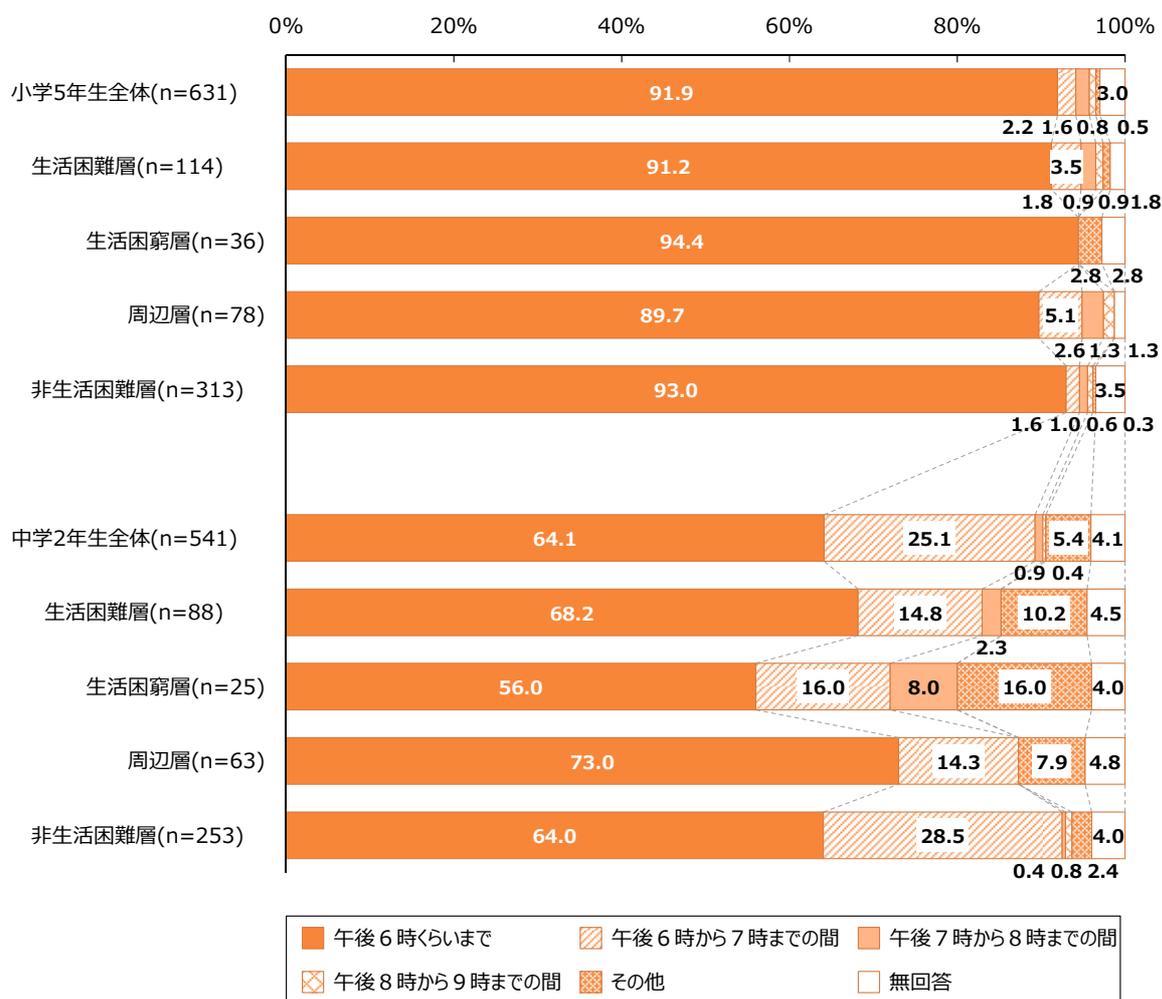


#### (4) 平日の帰宅時間

##### ▼あなたは、平日（学校に行く日）家に何時に帰りますか。（子/問 44）

平日の帰宅時間について、小学5年生全体では「午後6時くらいまで」が91.9%となっています。また、中学2年生全体では「午後6時くらいまで」が64.1%、「午後6時から7時までの間」が25.1%となっています。

生活困難度別にみると、小学5年生ではいずれも「午後6時くらいまで」が約9割となっており生活困難度による差はみられません。また中学2年生では“午後7時まで”が生活困窮層で72.0%、周辺層で87.3%、非生活困難層で92.5%と、生活困難度が高い層ほど低い割合となっています。



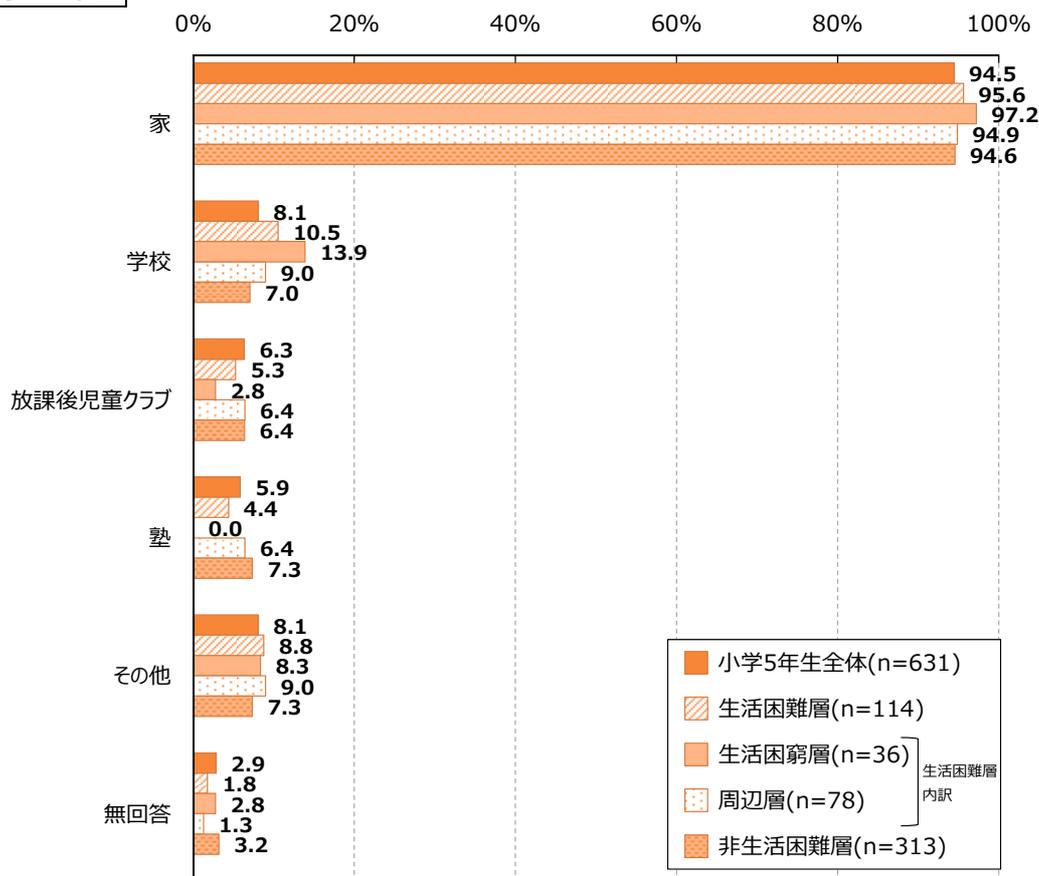
## (5) 宿題をする場所

▼あなたは、学校の宿題をどこでしていますか。(子/問 46 複数回答)

宿題をする場所について、小学5年生全体では「家」が94.5%、「学校」が8.1%、「放課後児童クラブ」が6.3%となっています。

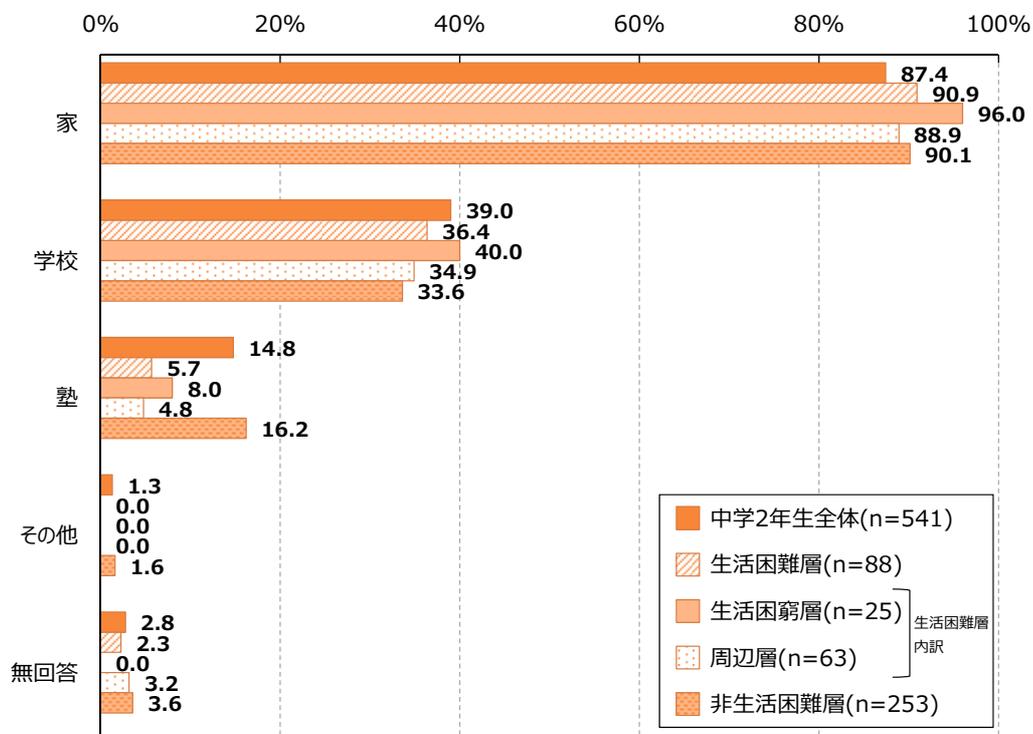
生活困難度別では、生活困窮層で「学校」が13.9%と他の層に比べてやや高い割合となっています。

### 小学5年生



中学2年生全体では、「家」が87.4%、「学校」が39.0%、「塾」が14.8%となっています。  
生活困難度別では、生活困窮層で「家」が96.0%と他の層に比べてやや高い割合となっています。

### 中学2年生



## 2 保護者票独自設問

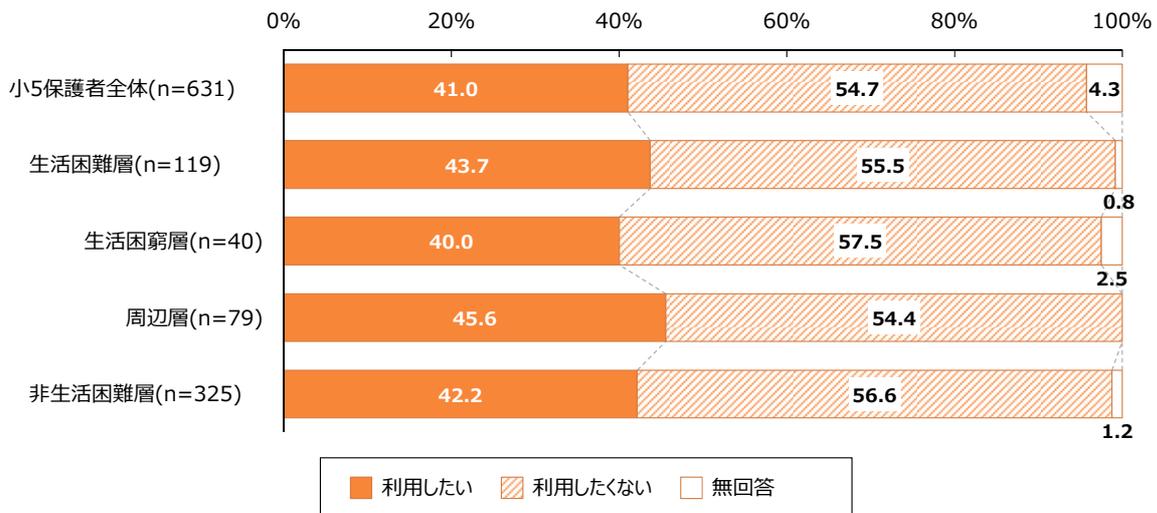
### (1) 放課後児童クラブについて

▼あなたは、お子さんが放課後児童クラブが利用できれば、利用したいと思いますか。

(保/小学生問 48)

放課後児童クラブの利用意向について、小学5年生全体では「利用したい」が41.0%、「利用したくない」が54.7%となっています。

生活困難度別では「利用したい」がいずれも約4割となっており、生活困難度による差はみられません。

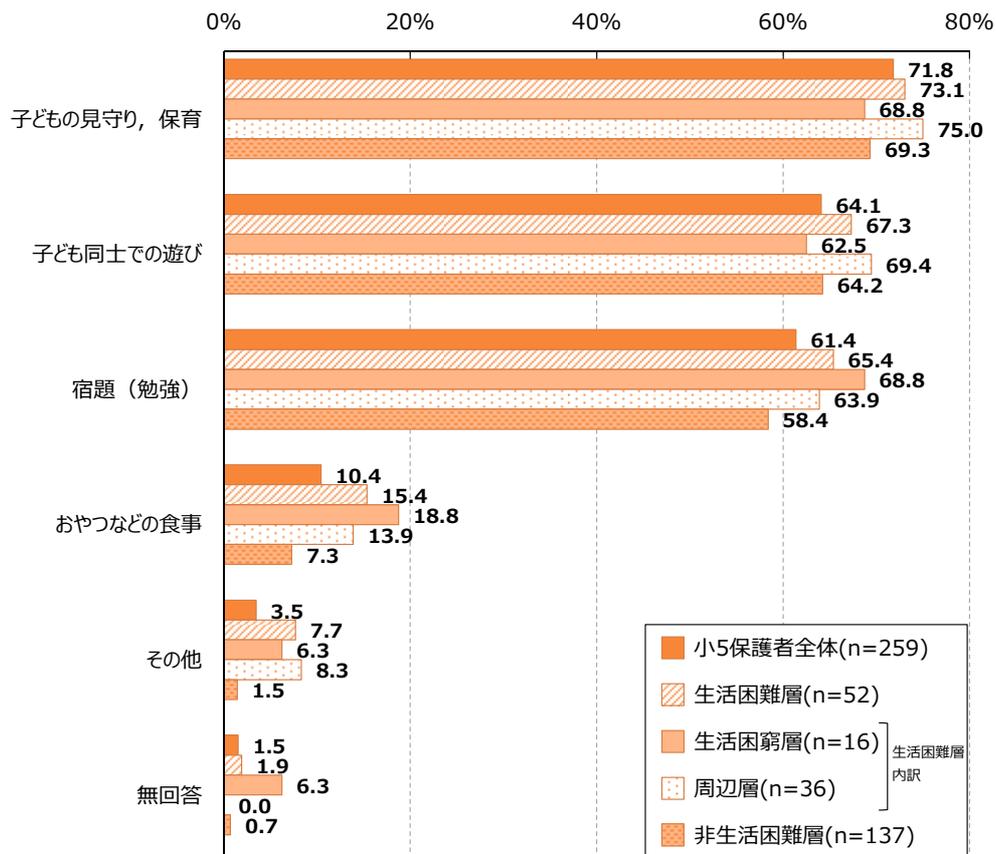


▼放課後児童クラブを「1 利用したい」と答えた人におききします。

放課後児童クラブに、何を期待されますか。(保/小学生問 48-1 複数回答)

利用したいと回答した人が放課後児童クラブに期待することは、小学5年生全体では「子どもの見守り、保育」が71.8%、「子ども同士での遊び」が64.1%、「宿題（勉強）」が61.4%となっています。

生活困難度別では、生活困窮層で「宿題（勉強）」「おやつなどの食事」等の割合が他の層に比べて高くなっています。



■その他の主な意見

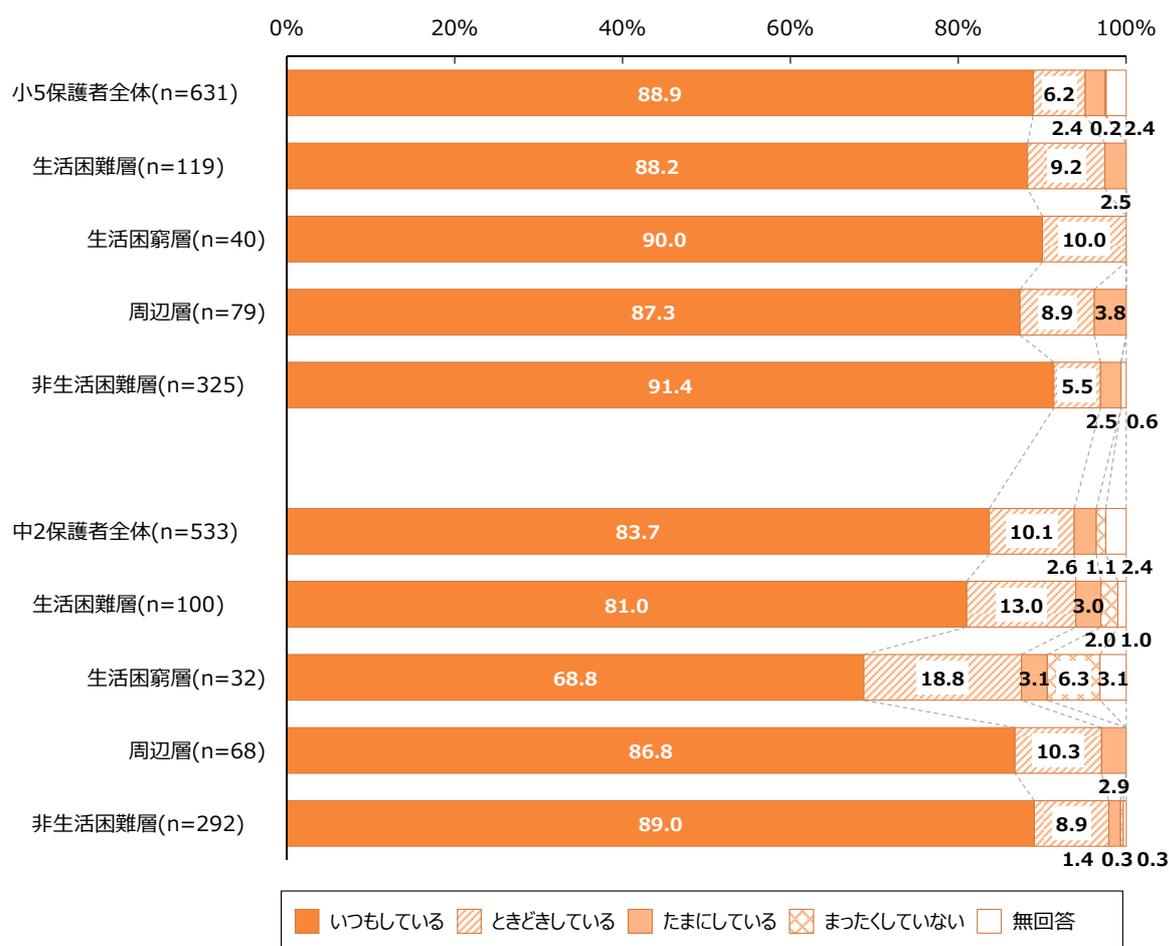
小学6年生までの受け入れ／長期休みの時（夏休み）  
 長期のお休みなど、有料でいいので給食になれば利用したい  
 色々な情報を聞いてきて欲しい／大人との交流，地域の人との交流  
 学年の違う子や，年輩の方とのかかわりを学んでほしかった  
 クラブの時間延長／家庭の母としてではなく先生としての保育  
 時間，曜日，学年に制限をなくしてほしい

## (2) 子どもへの声かけなど

▼あなたは、お子さんが学校に行く前に、「忘れ物をしていないか」や「行ってらっしゃい」など、声をかけられていますか。(保/小学生問 49・中学生問 48)

登校前に子どもに声かけしているかについて、「いつもしている」の割合は、小学5年生全体で88.9%、中学2年生全体で83.7%となっています。

生活困難度別に「いつもしている」の割合をみると、小学5年生ではいずれも約9割と生活困難度による差はみられませんが、中学2年生では、生活困窮層で68.8%、周辺層で86.8%、非生活困難層で89.0%と、生活困難度が高い層ほど低い割合となっています。

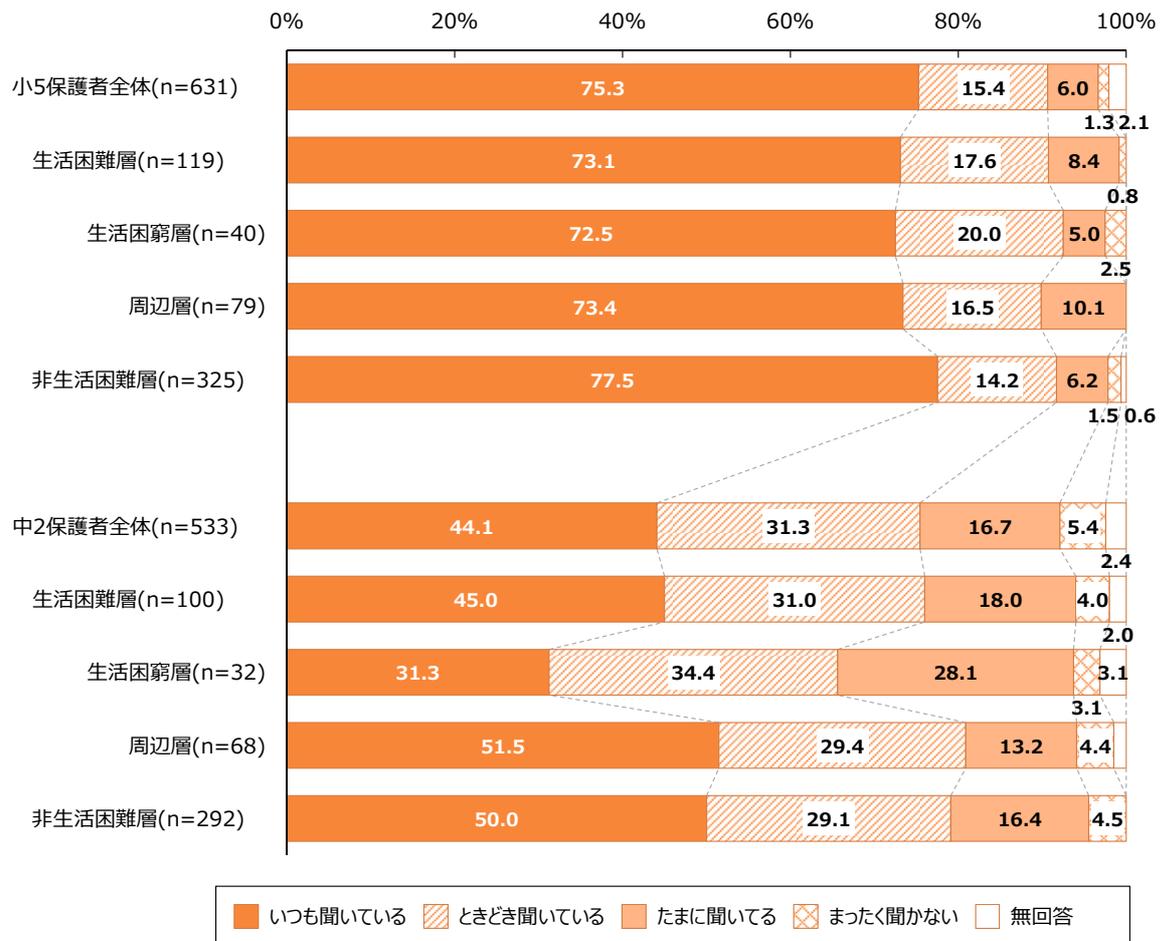


▼あなたは、お子さんに「宿題がすすんでいるか」と聞いていますか。

(保/小学生問 51・中学生問 50)

子どもに宿題がすすんでいるかと聞いているかについて、「いつも聞いている」の割合は、小学5年生全体で75.3%、中学2年生全体で44.1%となっています。

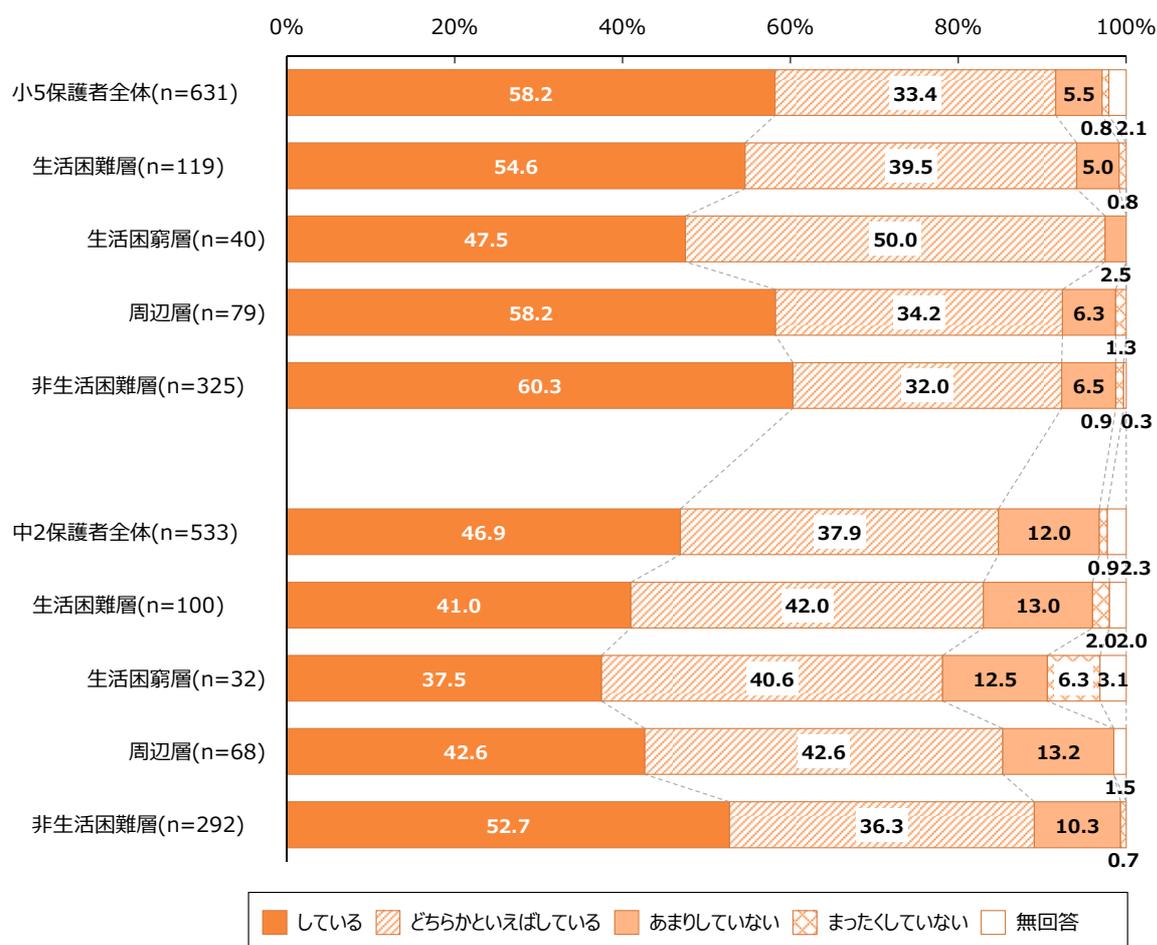
生活困難度別に「いつも聞いている」の割合をみると、小学5年生ではいずれも約7割と生活困難度による差はみられませんが、中学2年生では、生活困窮層で31.3%、周辺層で51.5%、非生活困難層で50.0%と、生活困窮層で低い割合となっています。



▼あなたは、お子さんの通知表やテストの結果などを見て、お子さんを褒めていますか。  
 (保/小学生問 52・中学生問 51)

通知表やテストの結果を見て子どもを褒めているかについて、「あまりしていない」と「まったくしていない」を合わせた”していない”と回答した割合は、小学5年生全体で6.3%、中学2年生全体で12.9%となっています。

生活困難度別に”していない”の割合をみると、小学5年生では生活困窮層で2.5%、周辺層で7.6%、非生活困難層で7.4%と、周辺層でやや高くなっています。また、中学2年生では生活困窮層で18.8%、周辺層で13.2%、非生活困難層で11.0%と、生活困難度が高い層ほど高くなっています。



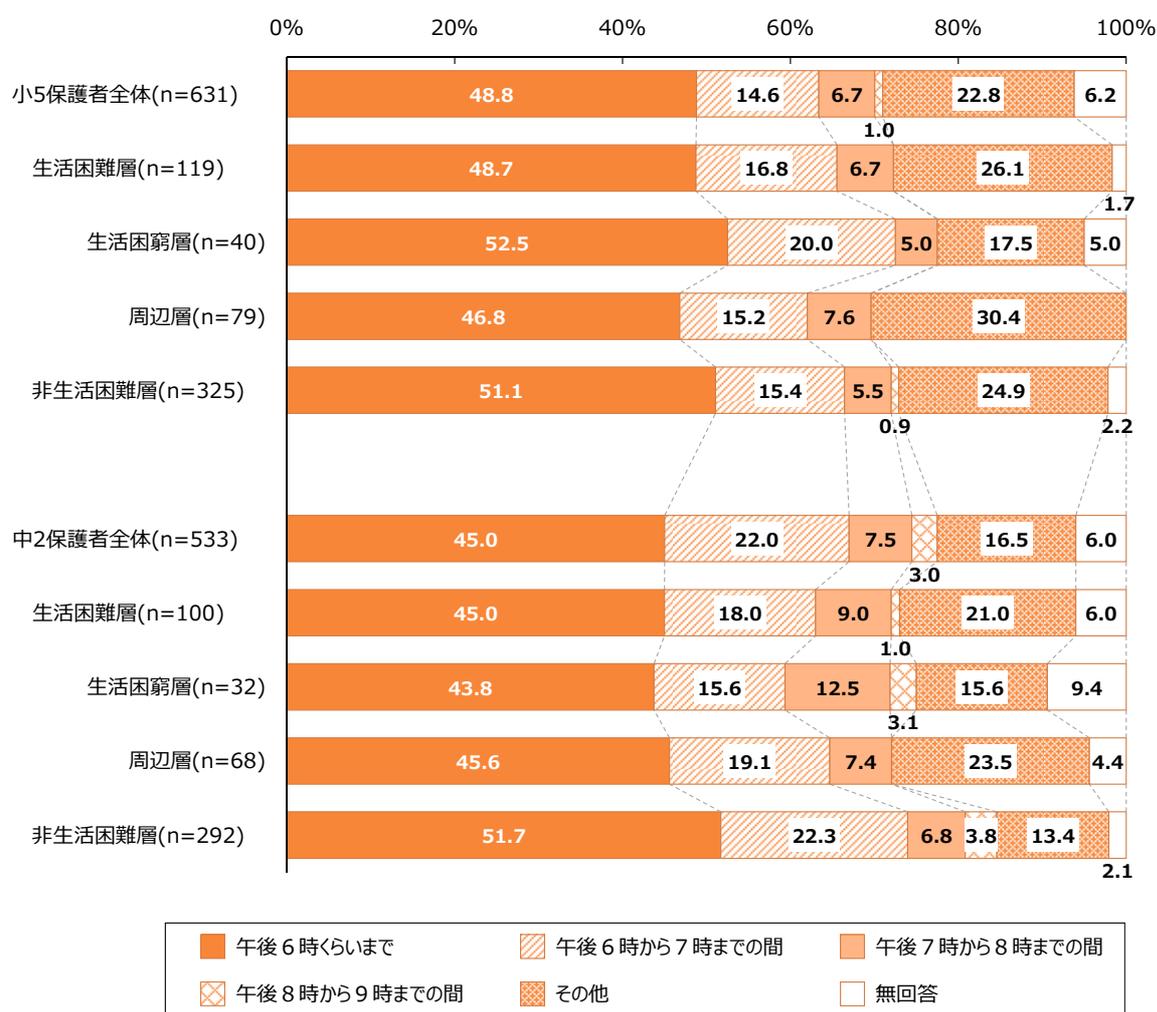
## (2) 平日の帰宅時間

▼あなたは、平日（お子さんが学校に行く日）家に何時に帰りますか。

（保/小学生問 50・中学生問 49）

平日の帰宅時間について、小学5年生全体では「午後6時くらいまで」が48.8%、「その他」が22.8%となっています。また、中学2年生全体では「午後6時くらいまで」が45.0%、「午後6時から7時までの間」が22.0%となっています。

生活困難度別に午後7時まで”の割合をみると、小学5年生では、生活困窮層で72.5%、周辺層で62.0%、非生活困窮層で66.5%と、生活困窮層が高くなっていますが、中学2年生では生活困窮層で59.4%、周辺層で64.7%、非生活困窮層で74%と、生活困難度が高い層ほど低い割合となっています。

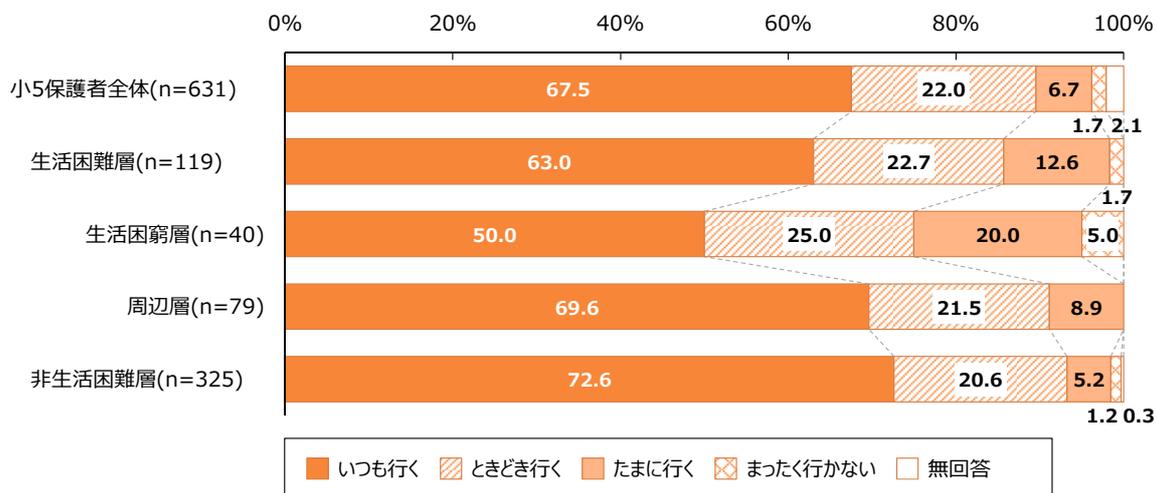


### (3) 学校の参観日（クラブ活動の応援）の参加頻度

#### ▼あなたは、お子さんの学校の参観日に行きますか。（保/小学生問 53）

学校の参観日に行くかについて、「いつも行く」の割合は、小学5年生全体で67.5%となっています。

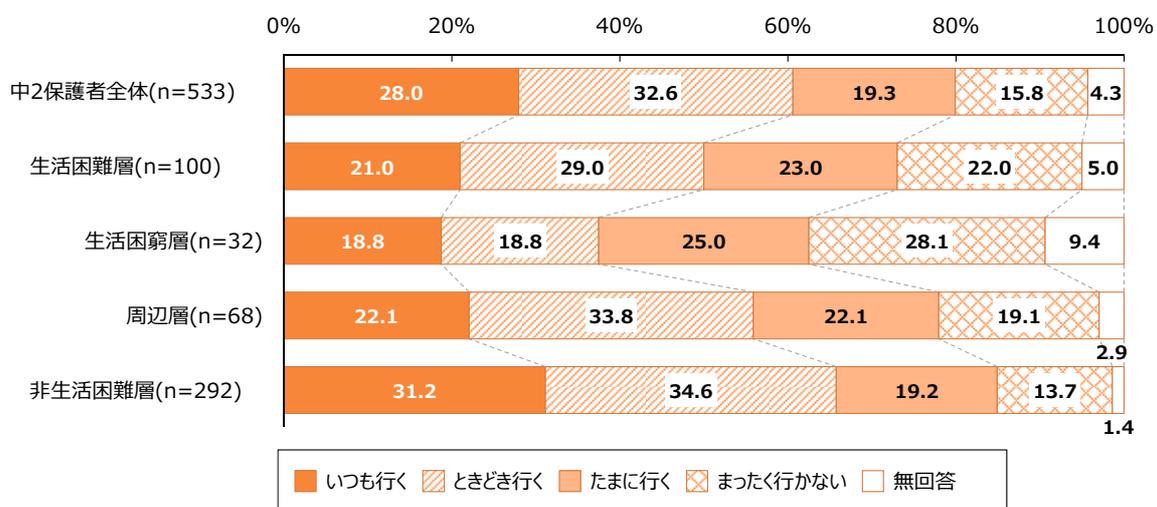
生活困難度別では、小学5年生の生活困窮層で50.0%，周辺層で69.6%，非生活困難層で72.6%と、生活困難度が高い層ほど「いつも行く」の割合が低くなっています。



#### ▼あなたは、お子さんのクラブ活動の応援に行きますか。（保/中学生問 52）

クラブ活動の応援に行くかについて、「いつも行く」の割合は、中学2年生全体で28.0%となっています。

生活困難度別では、中学2年生の生活困窮層で18.8%，周辺層で22.1%，非生活困難層で31.2%と、生活困難度が高い層ほど「いつも行く」の割合が低くなっています。



#### (4) 友達の名前

▼あなたは、お子さんの友達の名前をフルネームで何人知っていますか。

(保/小学生問 54・中学生問 53)

子どもの友達のフルネームを何人知っているかについて、「3人以上」の割合は、小学5年生全体で86.7%、中学2年生全体で82.7%となっています。一方「0人」の割合は、小学5年生全体で2.7%、中学2年生全体で3.0%となっています。

生活困難度別に「3人以上」の割合をみると、小学5年生の生活困窮層で77.5%、中学2年生の生活困窮層で56.3%と生活困窮層で低くなっています。

